

都内事業所における温暖化対策の取組状況

～地球温暖化対策報告書のデータ集計・分析結果～

データの集計条件等について

集計

本冊子のデータは、令和 5 年度に提出された令和 4 年度実績値を含め、令和 6 年 1 月 17 日時点で集計した結果を示します。

原単位

原単位は、建物の延床面積 1 m²当たりの数値です。

- ・ CO₂ 排出原単位は、事業所の CO₂ 排出量を当該事業所の延床面積で除した値です。
- ・ エネルギー消費原単位は、事業所のエネルギー消費量を当該事業所の延床面積で除した値です。

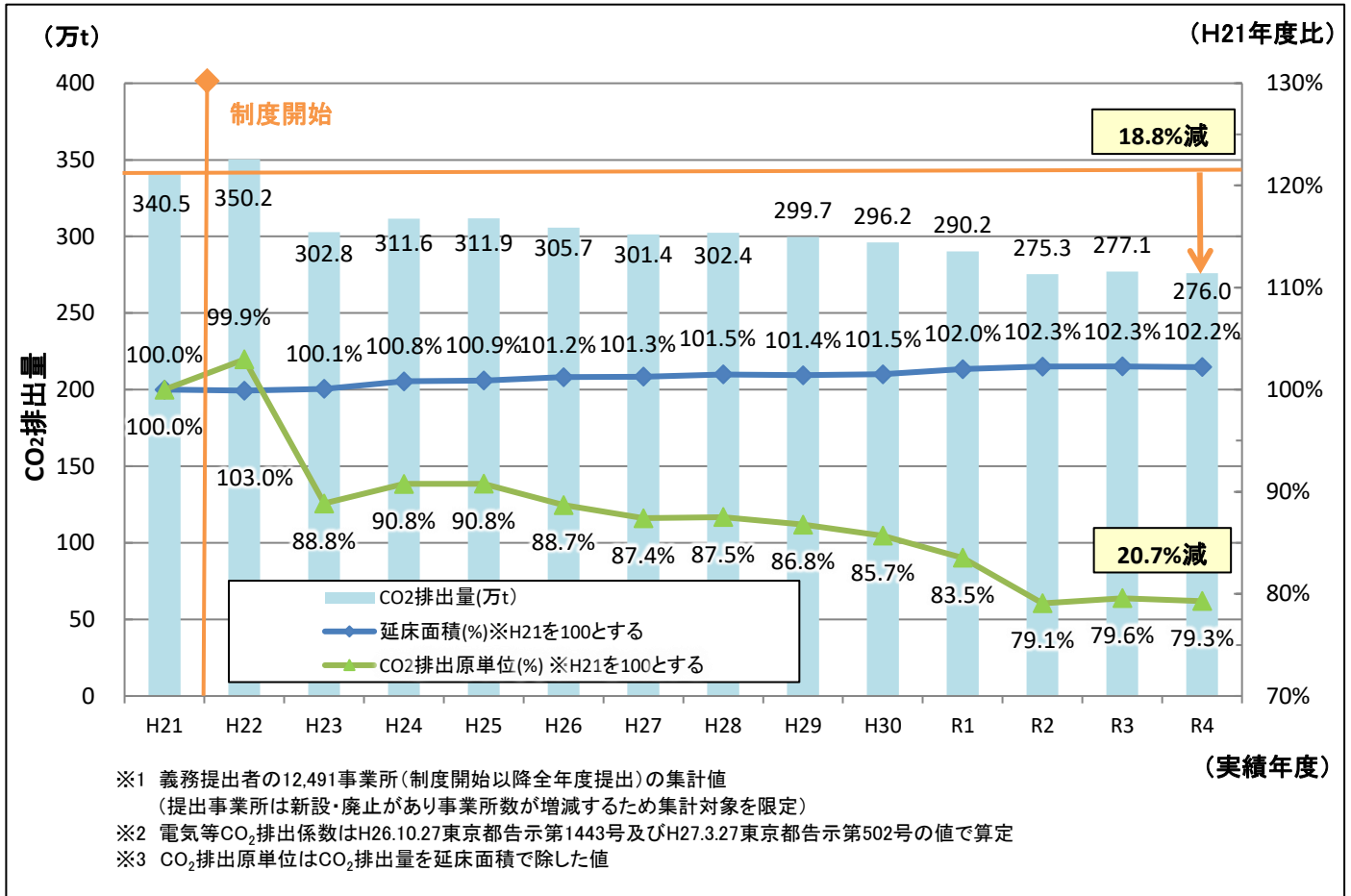
集計データの見方

電気等 CO₂ 排出係数は、H26.10.27 東京都告示第 1443 号及び H27.3.27 東京都告示第 502 号の値で算定しております。

例) 電力 : 0.489 t-CO₂/千 kWh

地球温暖化対策報告書 集計結果<全体概要>

1 14年連続提出中小規模事業所(12,491)の総CO₂排出量及びCO₂排出原単位の推移



2 提出事業者数・事業所数の推移

提出事業者数														
実績年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
義務	285	312	314	284	288	290	286	283	289	285	278	272	250	249
任意	1,220	1,335	1,552	1,799	1,990	1,935	1,866	1,851	1,826	1,804	1,652	1,669	1,795	1,916
合計	1,505	1,647	1,866	2,083	2,278	2,225	2,152	2,134	2,115	2,089	1,930	1,941	2,045	2,165

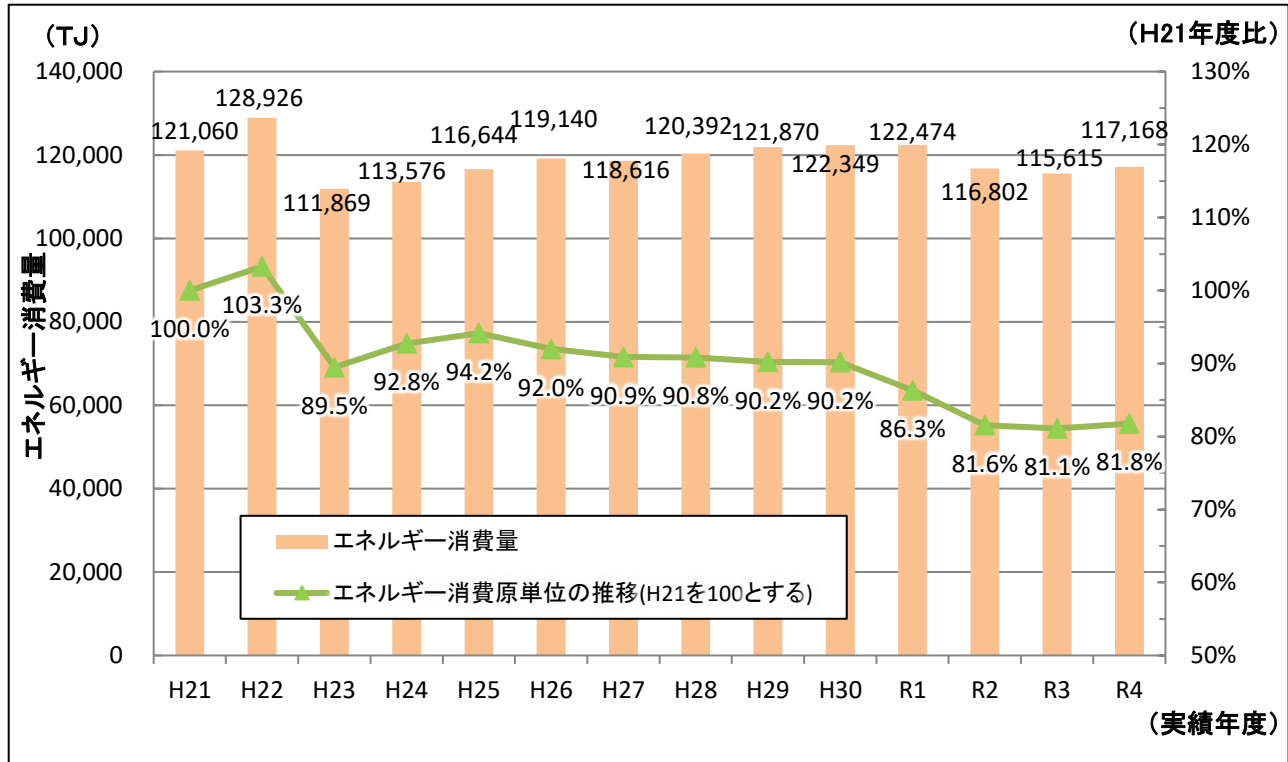
提出事業所数														
実績年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
義務	21,276	22,743	21,875	22,304	22,355	23,002	22,915	22,967	23,251	23,228	23,497	22,325	21,528	22,192
任意	11,104	11,504	11,442	11,320	11,976	11,576	11,421	11,226	10,891	10,898	10,885	11,850	10,964	10,128
合計	32,380	34,247	33,317	33,624	34,331	34,578	34,336	34,193	34,142	34,126	34,382	34,175	32,492	32,320

※ 令和4年度実績は令和6年1月17日時点

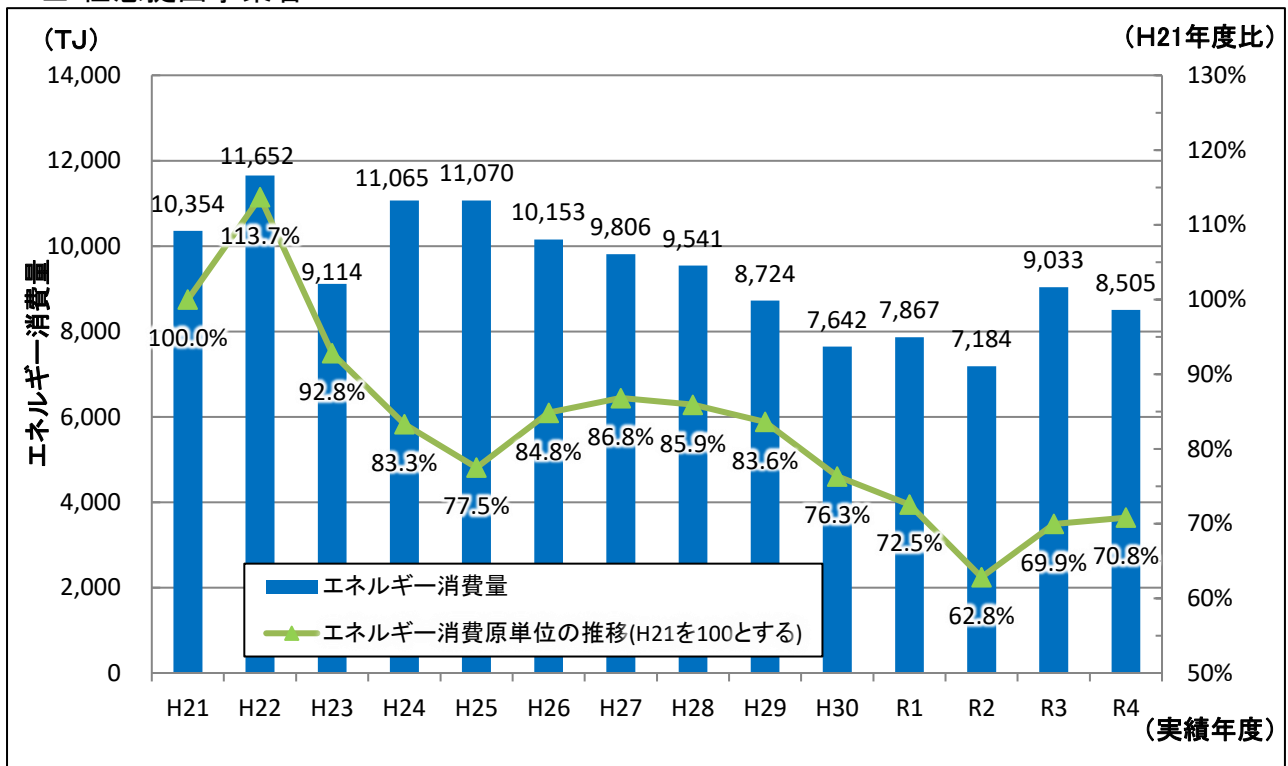
地球温暖化対策報告書 集計結果<全体概要>

3 提出者区分(義務・任意)ごとのエネルギー消費量とエネルギー消費原単位の推移

■ 義務提出事業者



■ 任意提出事業者

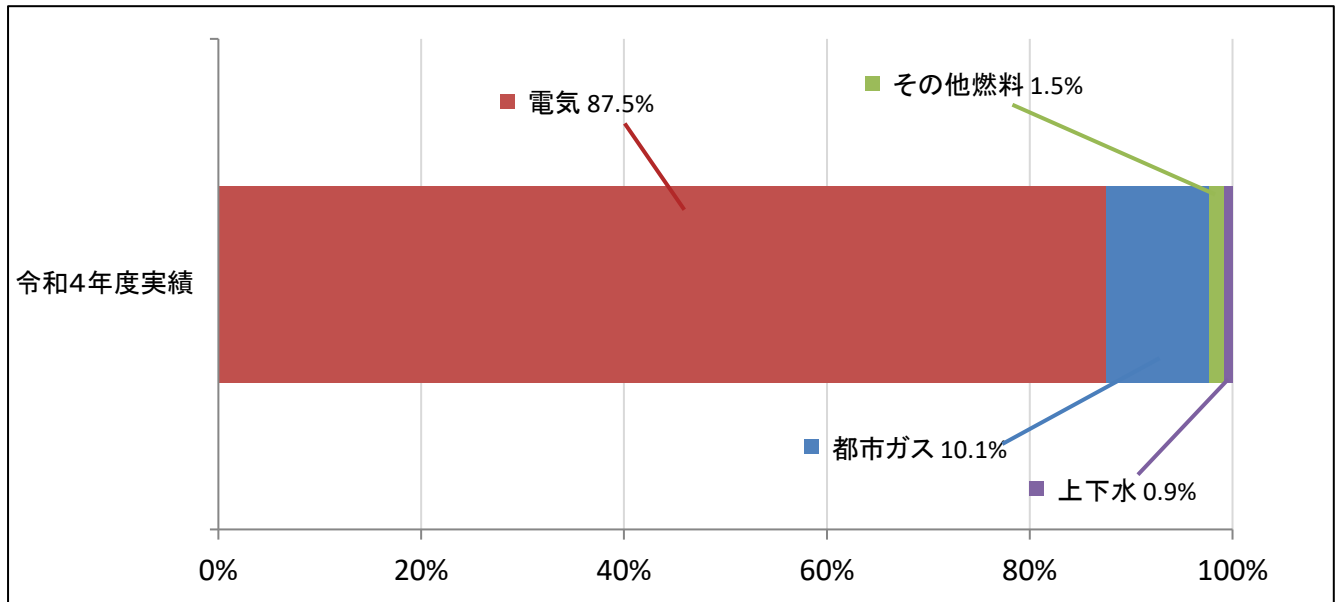


14カ年度連続提出事業所のCO₂排出量は合計276万トンとなり、制度開始前年度の平成21年度と比べると18.8%削減されました。また、排出原単位は制度開始前年度の平成21年度を100とすると79.3%となり、20.7%改善されました。

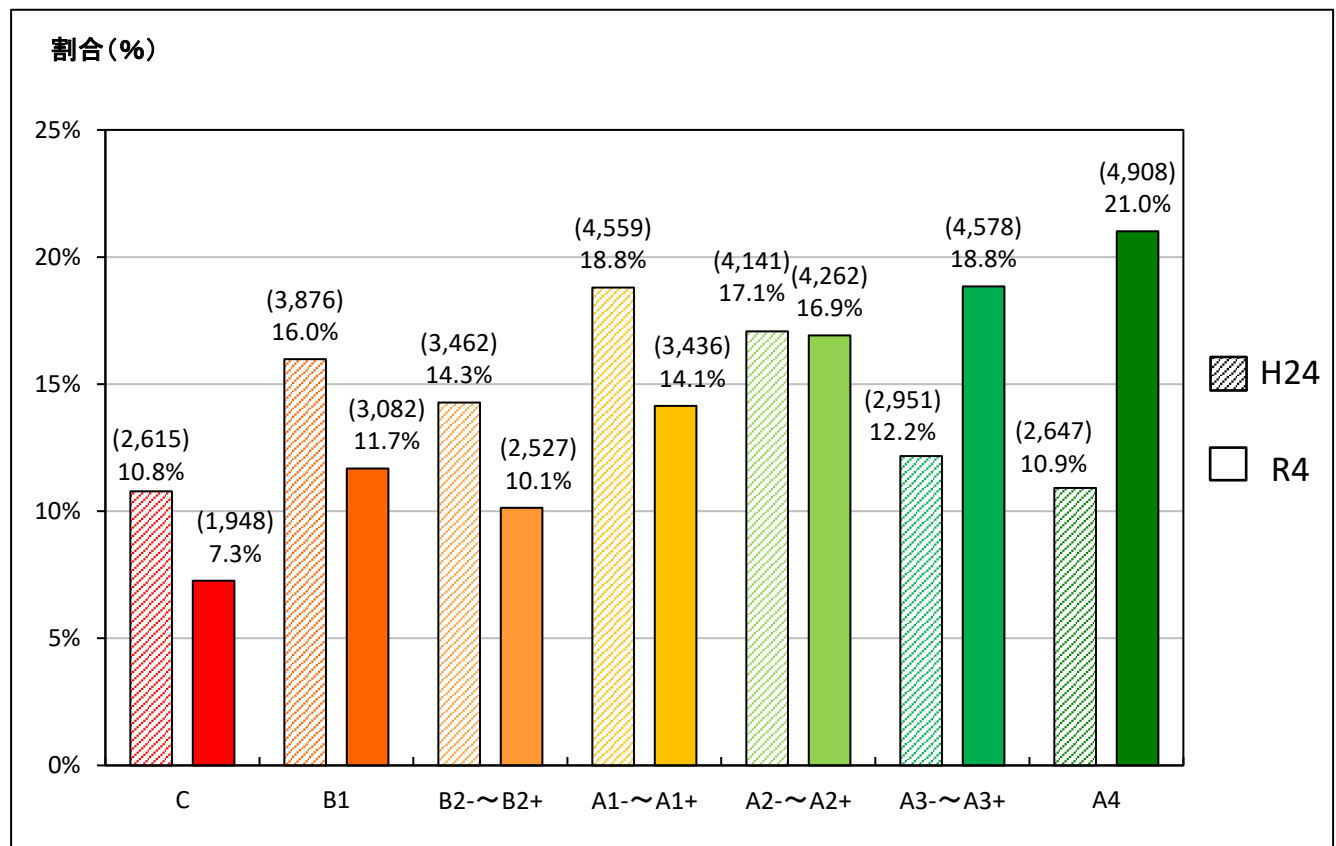
令和4年度の排出原単位は、前年度とほぼ同程度となり、事業所における省エネルギーが定着したことが伺えますが、新型コロナウイルス感染症による経済活動の縮小の影響をうけていることが想定されます。

地球温暖化対策報告書 集計結果<全体概要>

4 CO₂排出量の構成比(上下水道の使用に伴う排出量を含む)



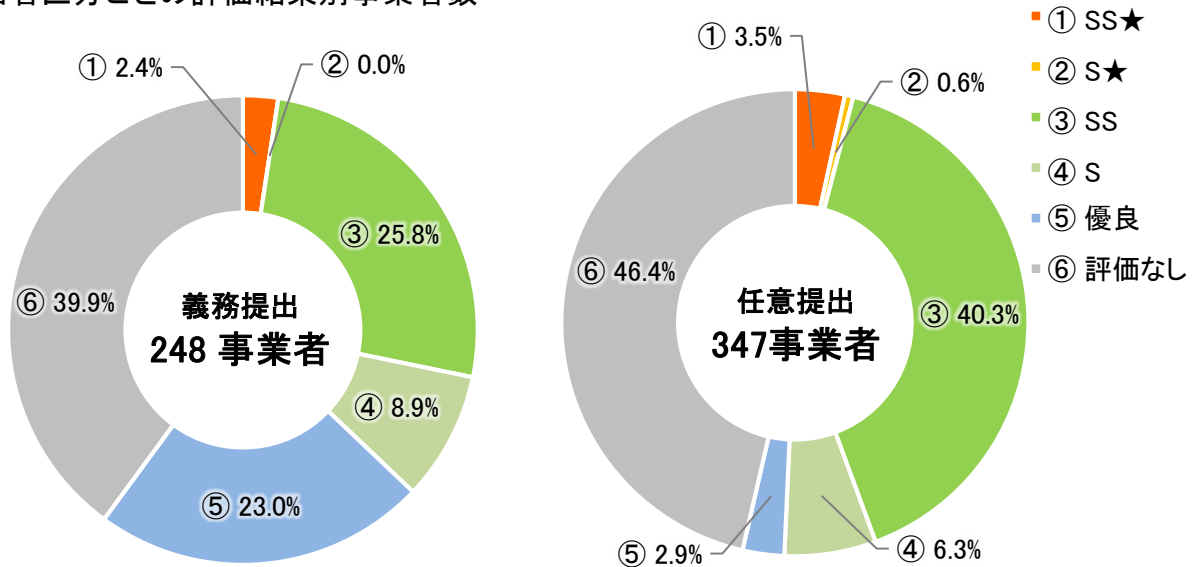
5 ベンチマーク区分ごとの報告事業所率(H24とR4比較)



※ エネルギー使用期間が一年未満の事業所は除く

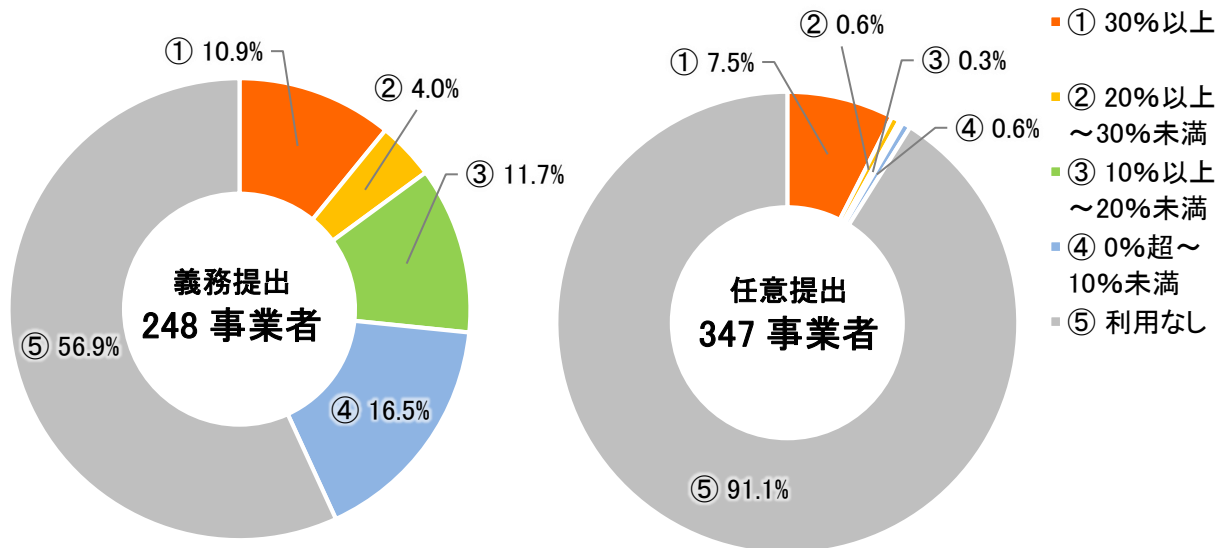
地球温暖化対策報告書 集計結果<全体概要>

6 提出者区分ごとの評価結果別事業者数



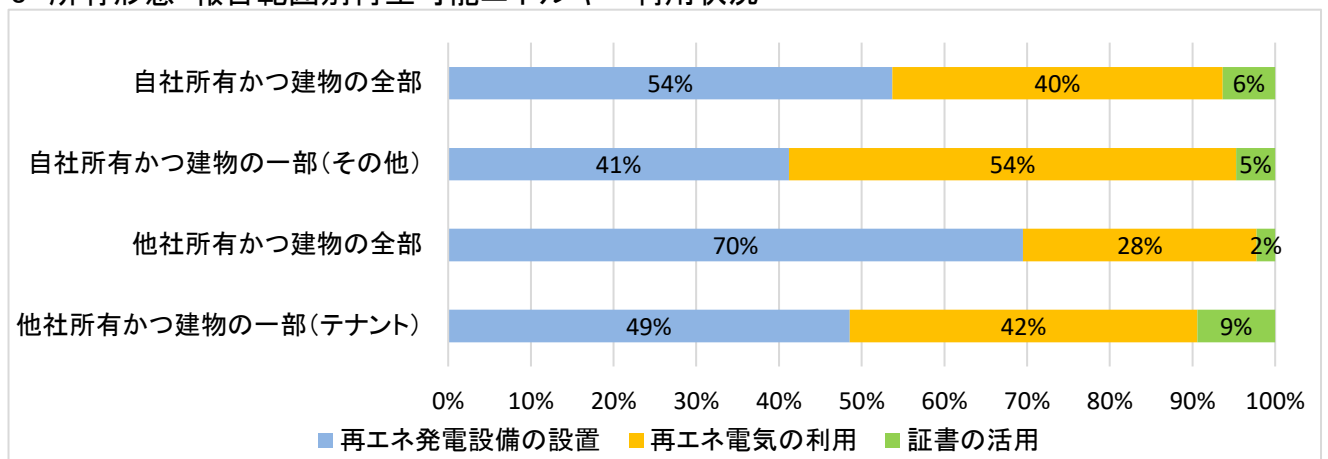
※令和6年1月17日審査終了時点の評価です。

7 提出者区分ごとの再生可能エネルギー利用事業所率の分布



※「事業者」単位毎の再生可能エネルギーの導入事業所率のグラフです。

8 所有形態・報告範囲別再生可能エネルギー利用状況



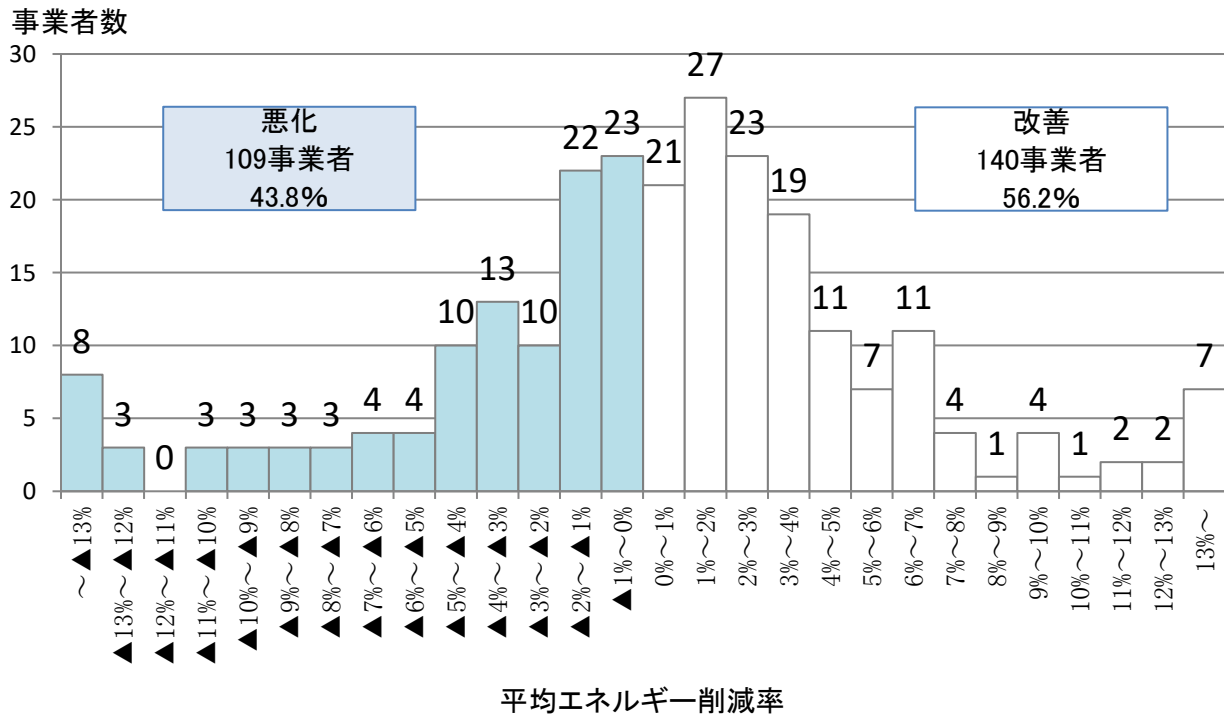
※再生可能エネルギーを導入している「事業所」を所有形態・報告範囲別に分類し、その分類毎の再生可能エネルギー利用状況の内訳のグラフです。

地球温暖化対策報告書 集計結果〈全体概要〉

9 直近5カ年度の義務提出事業者の平均エネルギー削減率(※1)の分布

集計対象は直近5カ年度(H30～R4実績)の義務提出事業者(249事業者)

(※1)平均エネルギー削減率：直近5カ年における1カ年度当たりの削減率(幾何平均)

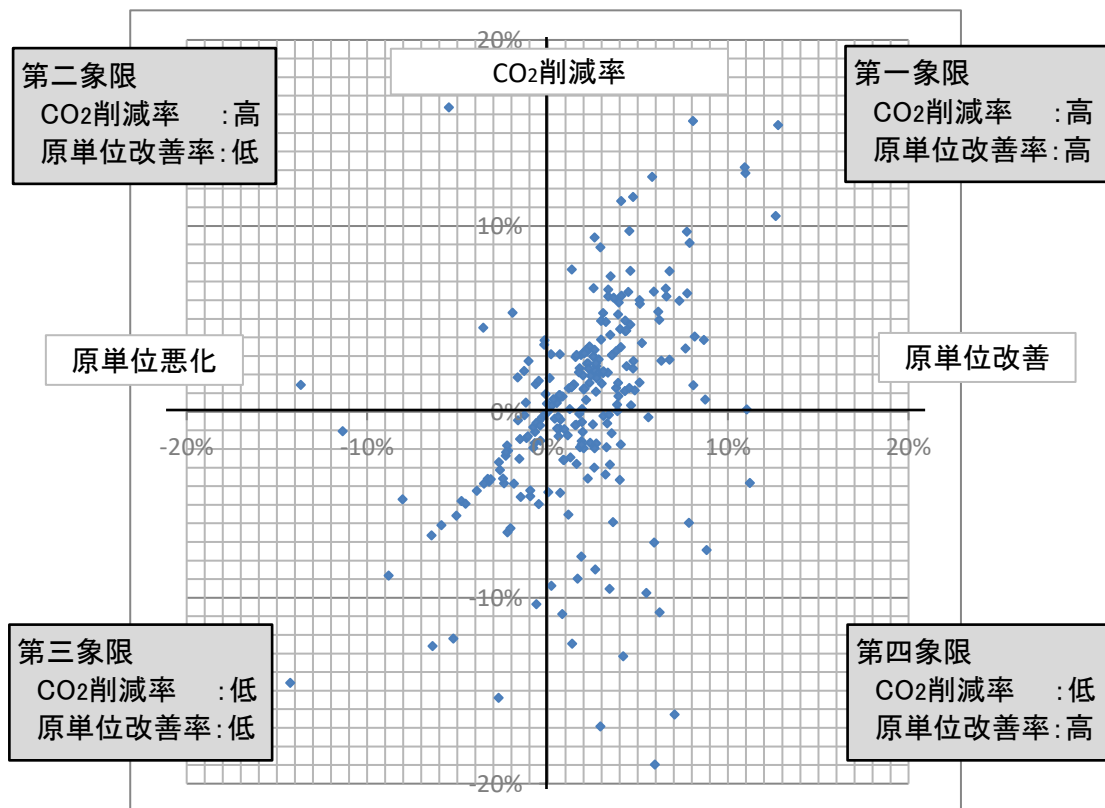


10 直近5カ年度の義務提出事業者の平均CO2削減率(※2)と平均原単位改善率(※3)の分布

集計対象は直近5カ年度(H30～R4実績)の義務提出事業者(249事業者)

(※2)平均CO2削減率：直近5カ年度における1カ年度当たりのCO2の削減率(幾何平均)

(※3)平均原単位改善率：直近5カ年度における1カ年度当たりの原単位の改善率(幾何平均)



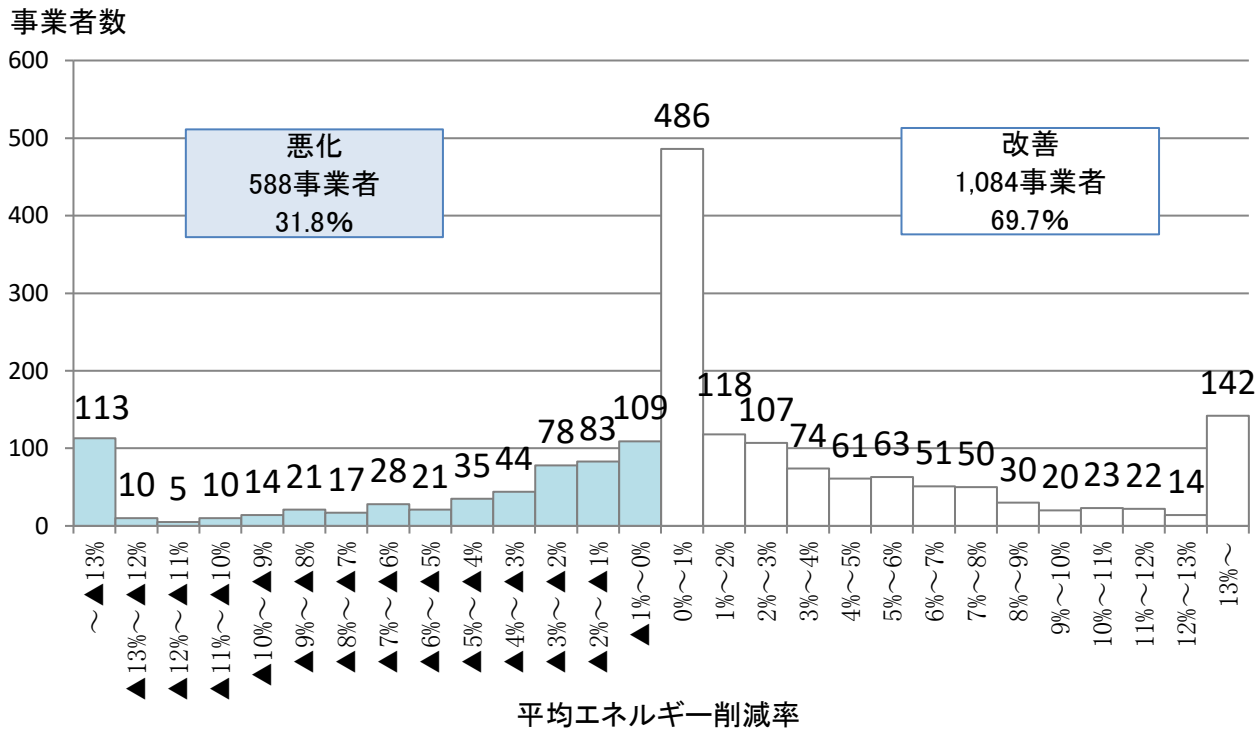
グラフ9及び10については、義務提出事業者単位で、補正前の実績数値をもとに集計しております。事業者からご提出いただく事業所数の増減によって合計CO2排出量、合計延床面積が変化します。そのためCO2削減率だけでなく、CO2排出原単位(単位延床面積当たりのCO2排出量)の改善率を合わせて評価する必要があります。

地球温暖化対策報告書 集計結果<全体概要>

11 直近5カ年度の任意提出事業者の平均エネルギー削減率(※1)の分布

集計対象は直近5カ年度(H30～R4実績)の任意提出事業者(1,672事業者)

(※1)平均エネルギー削減率：直近5カ年度における1カ年度当たりの削減率(幾何平均)

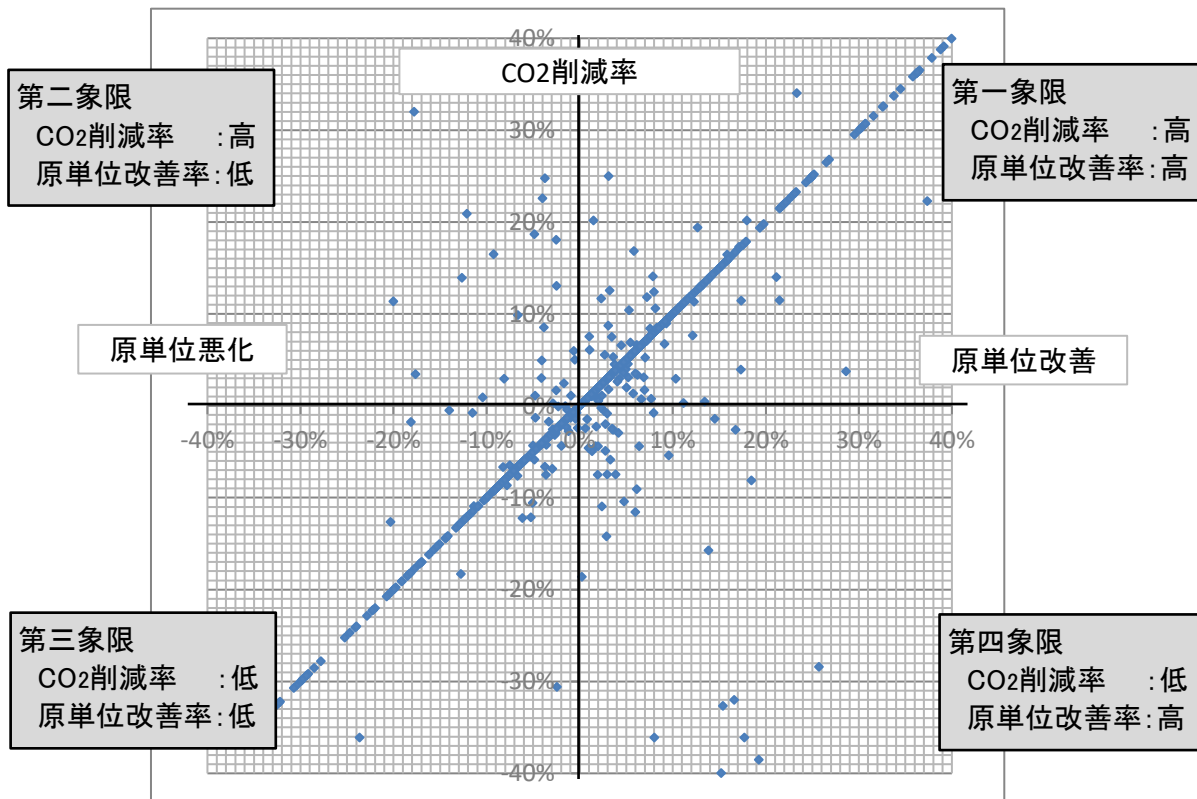


12 直近5カ年度の任意提出事業者のCO2削減率(※2)と平均原単位改善率(※3)の分布

集計対象は直近5カ年度(H30～R4実績)の任意提出事業者(1,672事業者)

(※2)平均CO2削減率：直近5カ年度における1カ年度当たりのCO2の削減率(幾何平均)

(※3)平均原単位改善率：直近5カ年度における1カ年度当たりの原単位の改善率(幾何平均)



グラフ11及び12については、任意提出事業者単位で、補正前の実績数値をもとに集計しております。事業者からご提出いただく事業所数の増減によって合計CO2排出量、合計延床面積が変化します。そのためCO2削減率だけでなく、CO2排出原単位(単位延床面積当たりのCO2排出量)の改善率を合わせて評価する必要があります。

グラフ12においては、CO2削減率が改善すると上に、CO2排出原単位が改善されると右へプロットされます。なお、1事業所のみの方の場合、原単位改善率とCO2削減率が同率となるため、グラフにおいて直線状の分布となります。

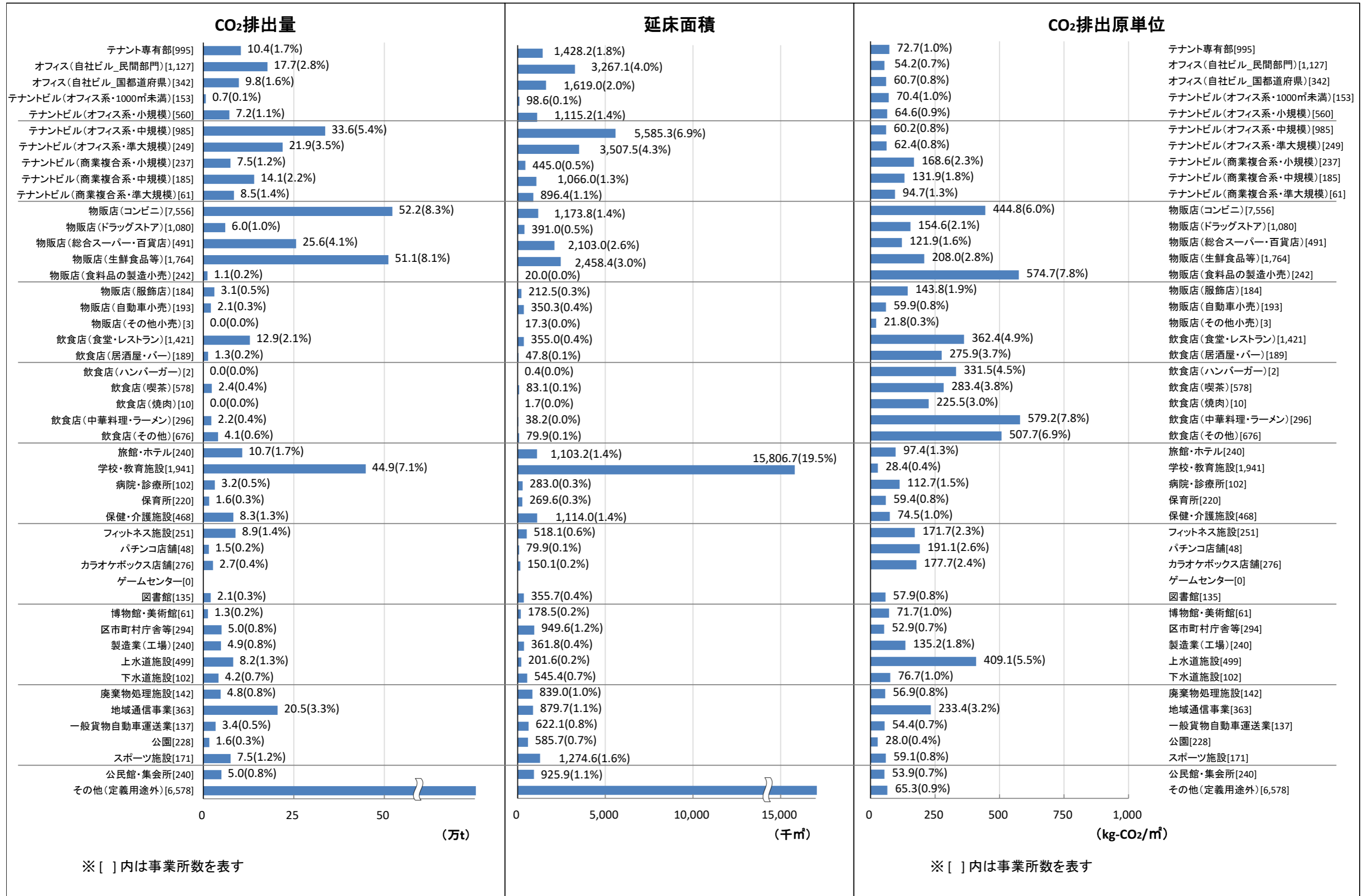
地球温暖化対策報告書 集計結果<全体概要>

13 5年連続提出事業所の用途区分ごとのエネルギー消費原単位改善率(H30とR4の比較)

1	テナント専有部 10.2%	19	飲食店(その他) 5.5%
2(1)	オフィス(自社ビル_民間部門) 11.0%	20	旅館・ホテル 8.7%
2(2)	オフィス(自社ビル_国都道府県) 7.5%	21	学校・教育施設 -8.5%
3(1)	テナントビル(オフィス系・1000㎡未満) 12.6%	22	病院・診療所 1.3%
3(2)	テナントビル(オフィス系・小規模) 14.4%	23	保育所 -4.5%
3(3)	テナントビル(オフィス系・中規模) 12.7%	24	保健・介護施設 0.6%
3(4)	テナントビル(オフィス系・準大規模) 14.7%	25	フィットネス施設 7.5%
4(1)	テナントビル(商業複合系・小規模) 9.5%	26	パチンコ店舗 18.7%
4(2)	テナントビル(商業複合系・中規模) 13.4%	27	カラオケボックス店舗 12.7%
4(3)	テナントビル(商業複合系・準大規模) 10.3%	28	ゲームセンター 0.0%
5	物販店(コンビニ) 3.8%	29	図書館 4.8%
6	物販店(ドラッグストア) 11.0%	30	博物館・美術館 -0.9%
7	物販店(総合スーパー・百貨店) 13.4%	31	区市町村庁舎等 2.6%
8	物販店(生鮮食品等) 4.0%	32	製造業(工場) 12.1%
9	物販店(食料品の製造小売) 18.0%	33	上水道施設 0.4%
10	物販店(服飾店) -36.1%	34	下水道施設 -5.1%
11	物販店(自動車小売) 32.9%	35	廃棄物処理施設 -1.2%
12	物販店(その他小売) 83.1%	36	地域通信事業 -2.8%
13	飲食店(食堂・レストラン) 13.0%	37	一般貨物自動車運送業 -1.3%
14	飲食店(居酒屋・バー) 14.7%	38	公園 16.3%
15	飲食店(ハンバーガー) 1.4%	39	スポーツ施設 1.0%
16	飲食店(喫茶) -17.6%	40	公民館・集会所 12.2%
17	飲食店(焼肉) -5.5%	41	その他(定義用途外) 7.6%
18	飲食店(中華料理・ラーメン) 17.1%		

地球温暖化対策報告書 集計結果<全体概要>

14 事業所の用途区分ごとのCO₂排出量、延床面積、CO₂排出原単位<令和4年度実績報告事業所>

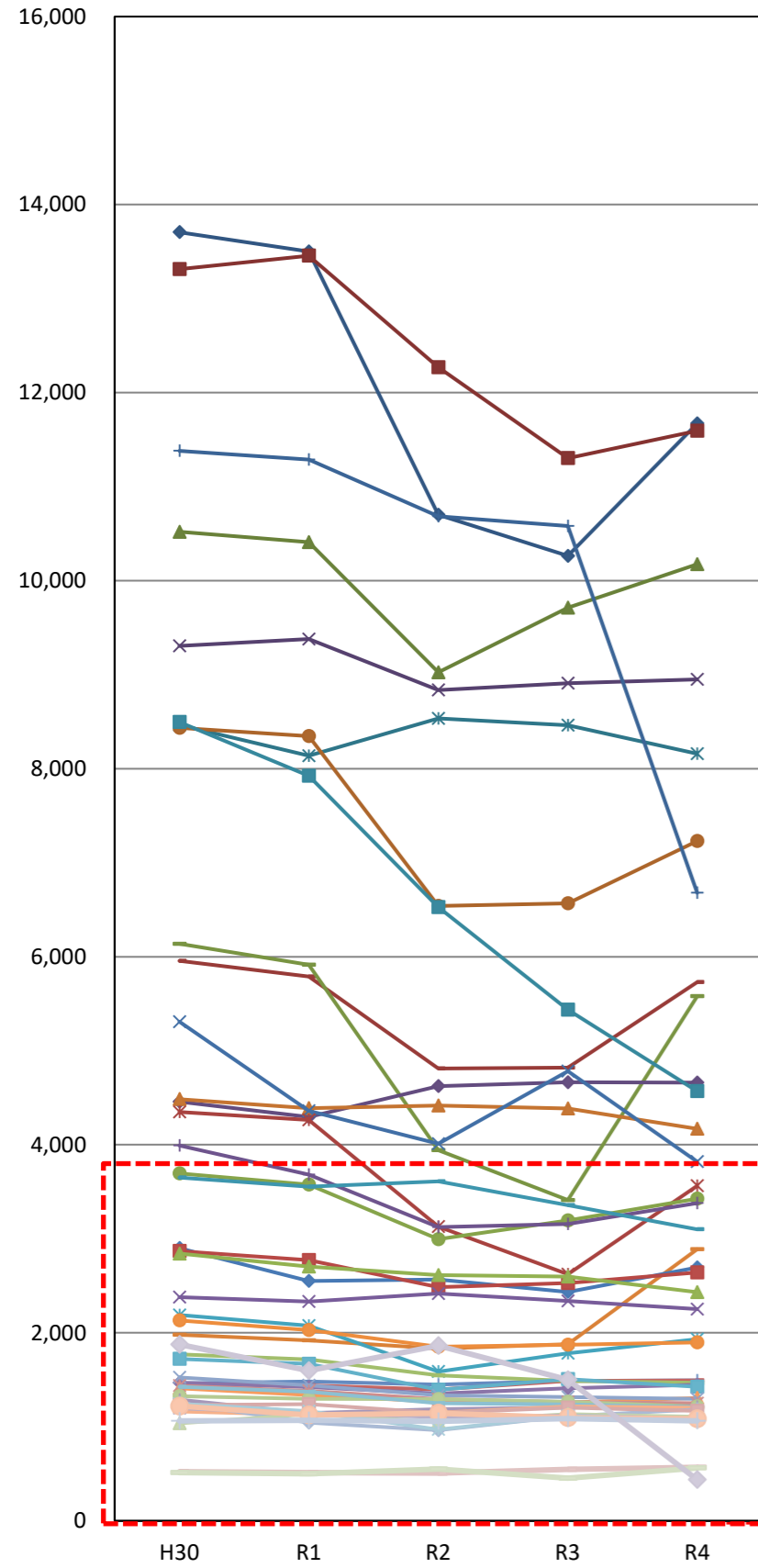


地球温暖化対策報告書 集計結果<全体概要>

15 事業所の用途区分ごとのエネルギー消費原単位の推移

■ 平均値の推移

(MJ/m²)

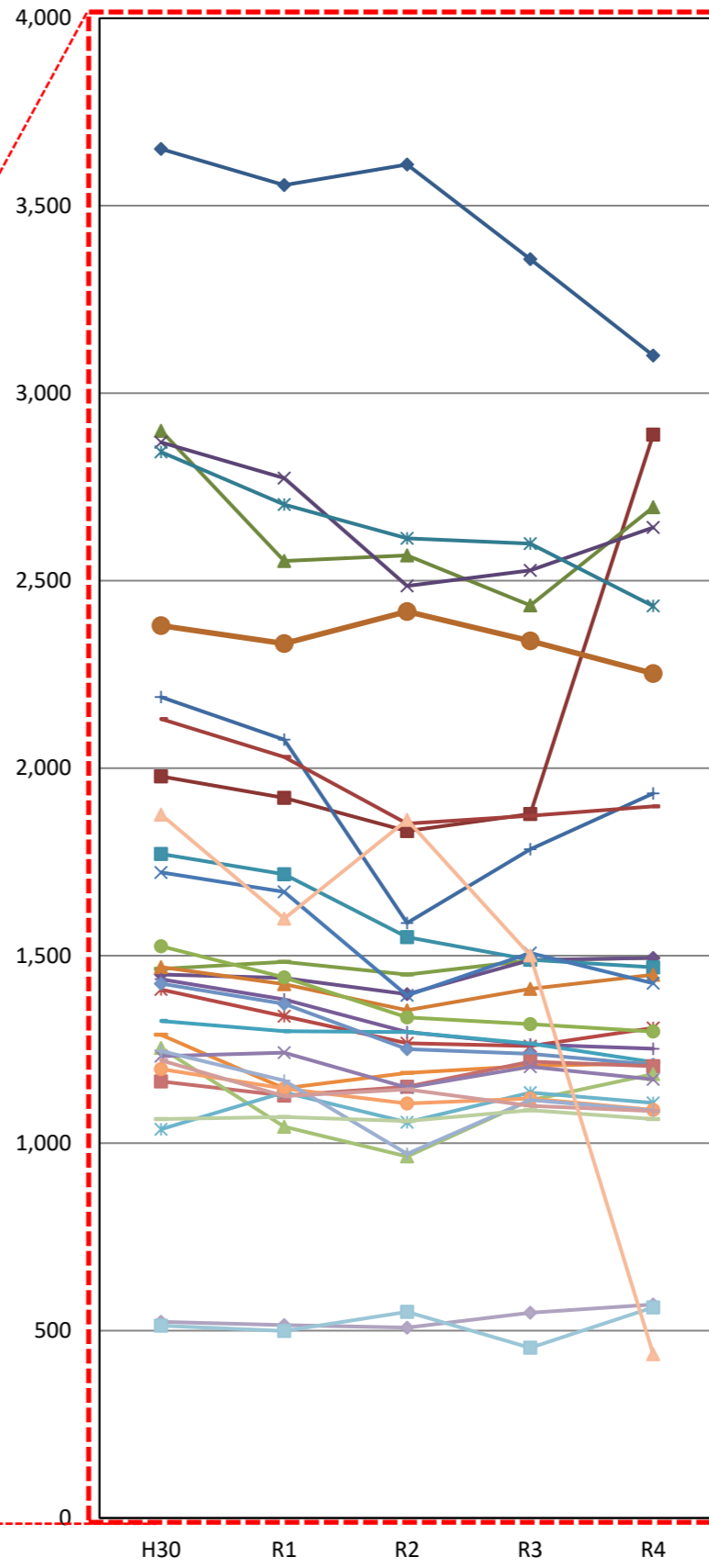


- ◆ 飲食店(中華料理・ラーメン)
- 物販店(食料品の製造小売)
- ▲ 飲食店(その他)
- ✕ 物販店(コンビニ)
- ✱ 上水道施設
- 飲食店(食堂・レストラン)
- ✱ 飲食店(ハンバーガー)
- 飲食店(喫茶)
- 飲食店(居酒屋・バー)
- ◆ 地域通信事業
- 飲食店(焼肉)
- ▲ 物販店(生鮮食品等)
- ✕ パチンコ店舗
- ✱ カラオケボックス店舗
- フィットネス施設
- ✕ テナントビル(商業複合系・小規模)
- 物販店(ドラッグストア)
- 物販店(服飾店)
- ◆ 製造業(工場)
- テナントビル(商業複合系・中規模)
- ▲ 物販店(総合スーパー・百貨店)
- ✕ 病院・診療所
- 旅館・ホテル
- テナントビル(商業複合系・準大規模)
- 保健・介護施設
- 下水道施設
- テナント専用部
- ◆ 博物館・美術館
- テナントビル(オフィス系・1000㎡未満)
- ▲ その他(定義用途外)
- ✕ テナントビル(オフィス系・小規模)
- ✱ テナントビル(オフィス系・準大規模)
- オフィス(自社ビル_国都道府県)
- 物販店(自動車小売)
- テナントビル(オフィス系・中規模)
- 保育所
- スポーツ施設
- 図書館
- 廃棄物処理施設
- オフィス(自社ビル_民間部門)
- 公民館・集会所
- 一般貨物自動車運送業
- 区市町村庁舎等
- 学校・教育施設
- 公園
- 物販店(その他小売)

(年度)

■ 平均値の推移(拡大版)

(MJ/m²)



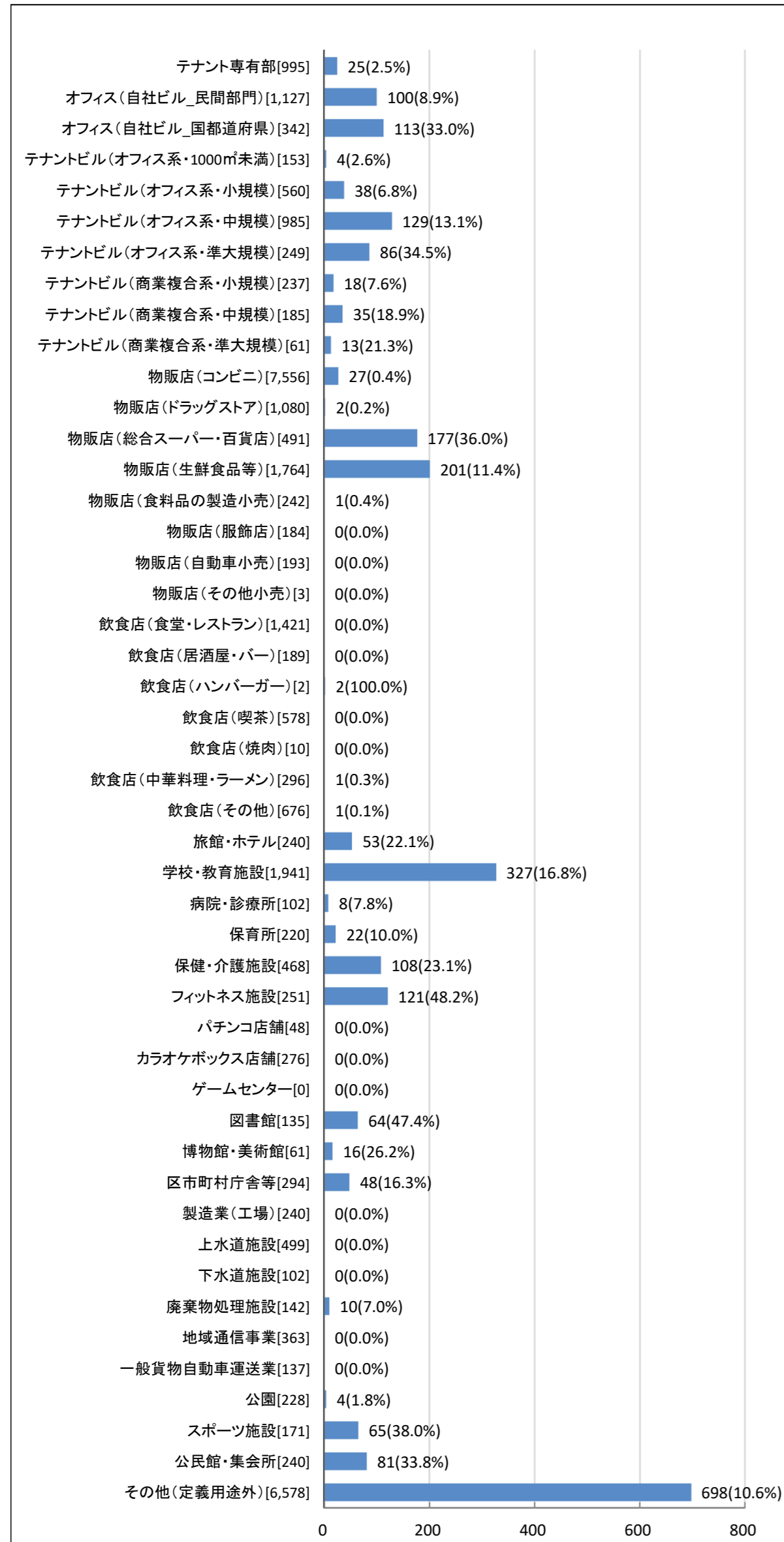
- ◆ 物販店(ドラッグストア)
- 物販店(服飾店)
- ▲ 製造業(工場)
- ✕ テナントビル(商業複合系・中規模)
- ✱ 物販店(総合スーパー・百貨店)
- 病院・診療所
- 旅館・ホテル
- テナントビル(商業複合系・準大規模)
- 保健・介護施設
- 下水道施設
- テナント専用部
- ▲ 博物館・美術館
- ✕ テナントビル(オフィス系・1000㎡未満)
- ✱ その他(定義用途外)
- テナントビル(オフィス系・小規模)
- テナントビル(オフィス系・準大規模)
- オフィス(自社ビル_国都道府県)
- 物販店(自動車小売)
- テナントビル(オフィス系・中規模)
- 保育所
- スポーツ施設
- 図書館
- 廃棄物処理施設
- オフィス(自社ビル_民間部門)
- 公民館・集会所
- 一般貨物自動車運送業
- 区市町村庁舎等
- 学校・教育施設
- 公園
- 物販店(その他小売)

(年度)

地球温暖化対策報告書 集計結果(全体概要)

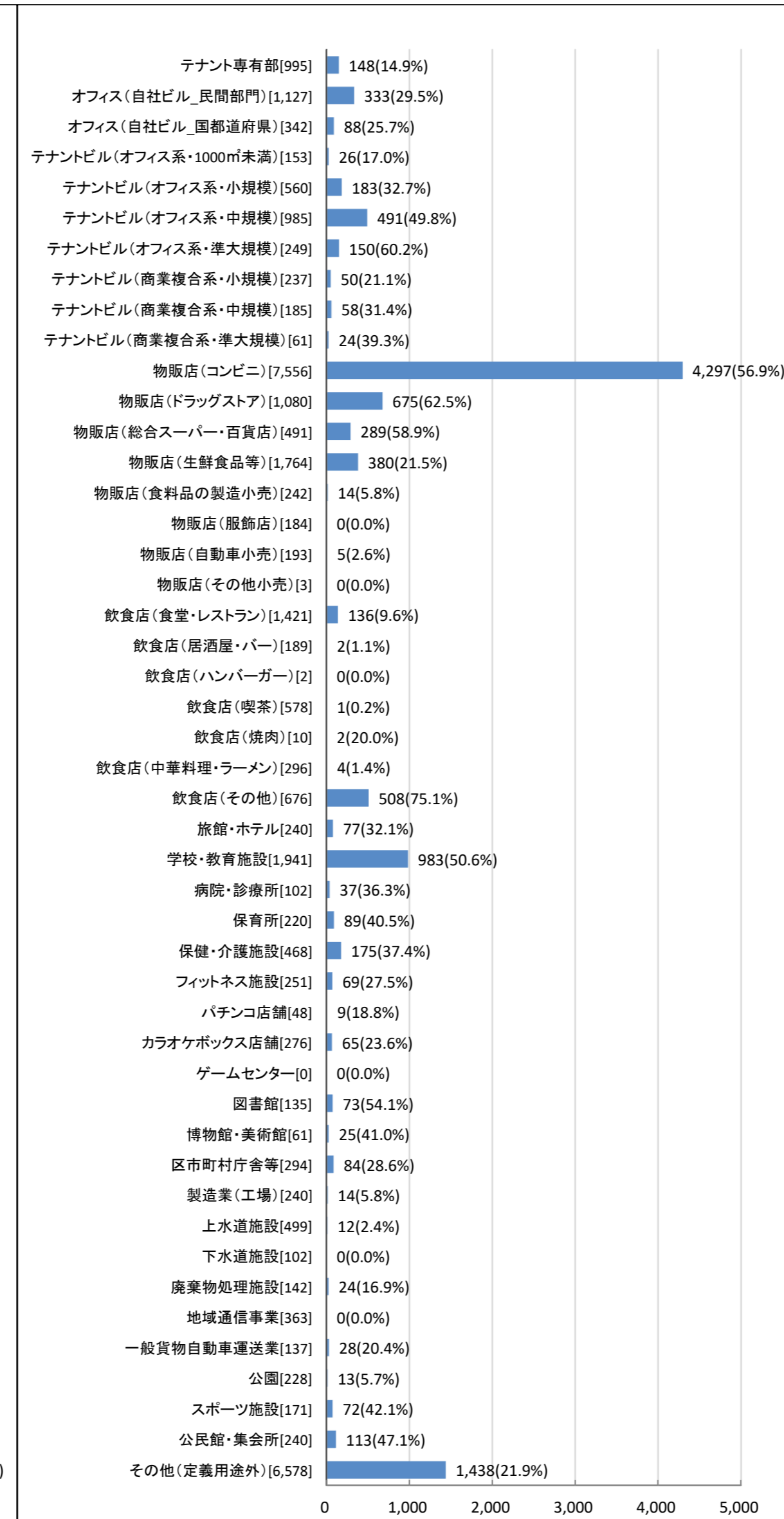
16 事業所用途区分ごとの空調、換気設備の保守対策および導入対策の実施状況

D103 業務部門 中央熱源方式空調設備 中央熱源機器等の定期点検の実施



※ [] 内は事業所数を表す

D104 業務部門 個別方式空調設備 空調フィルターの清掃・点検



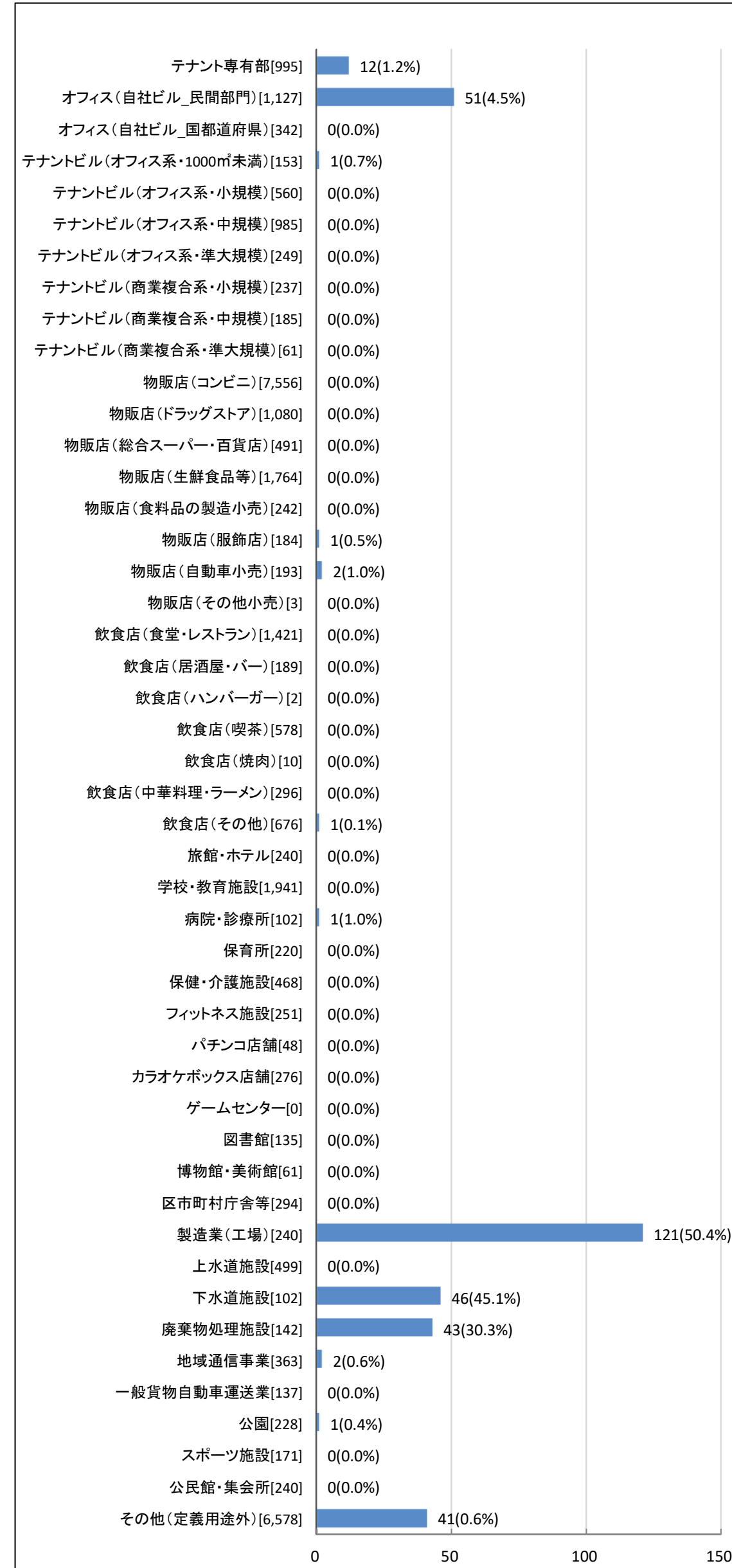
※ [] 内は事業所数を表す

D105 業務部門 換気設備 換気フィルターの清掃・点検



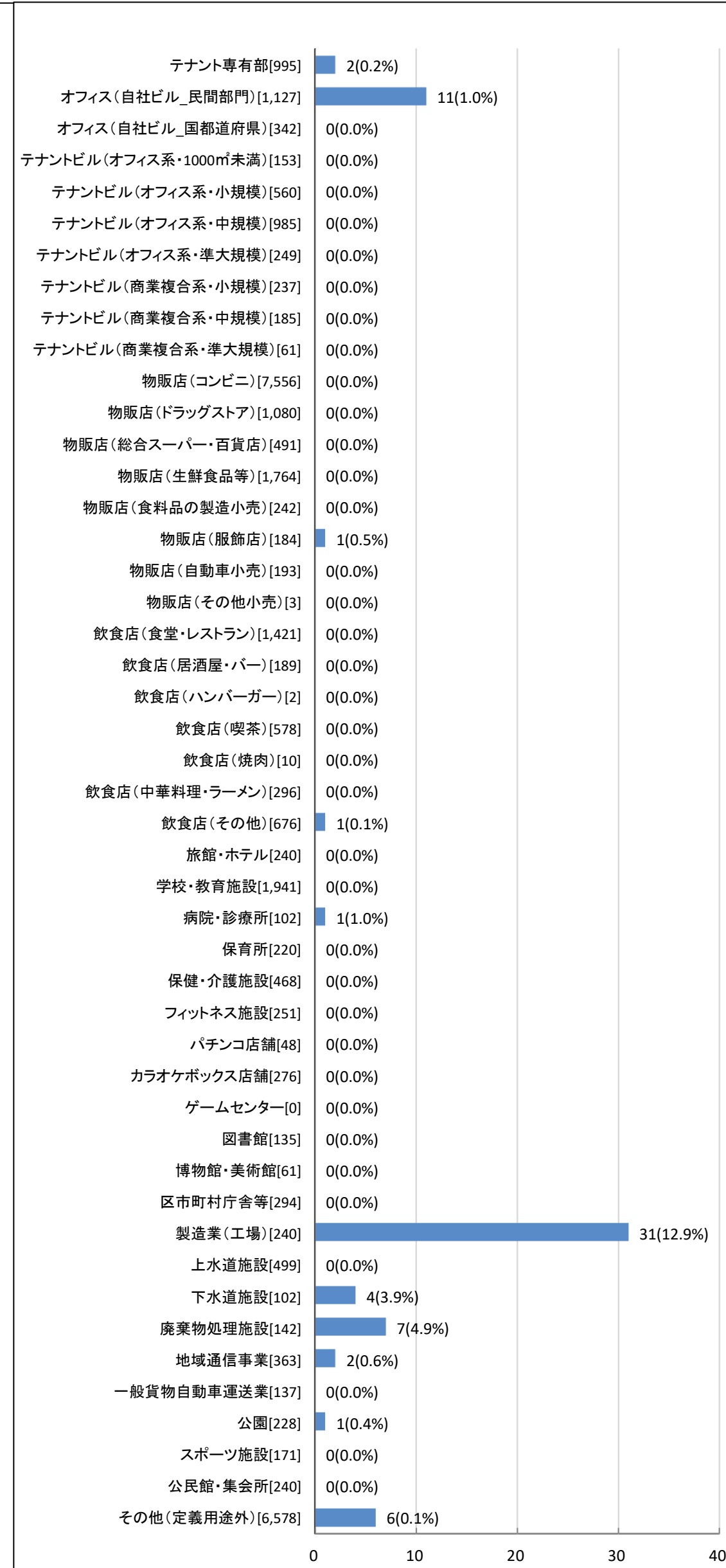
※ [] 内は事業所数を表す

E114 業務部門 空調機の効率化 高効率パッケージの採用



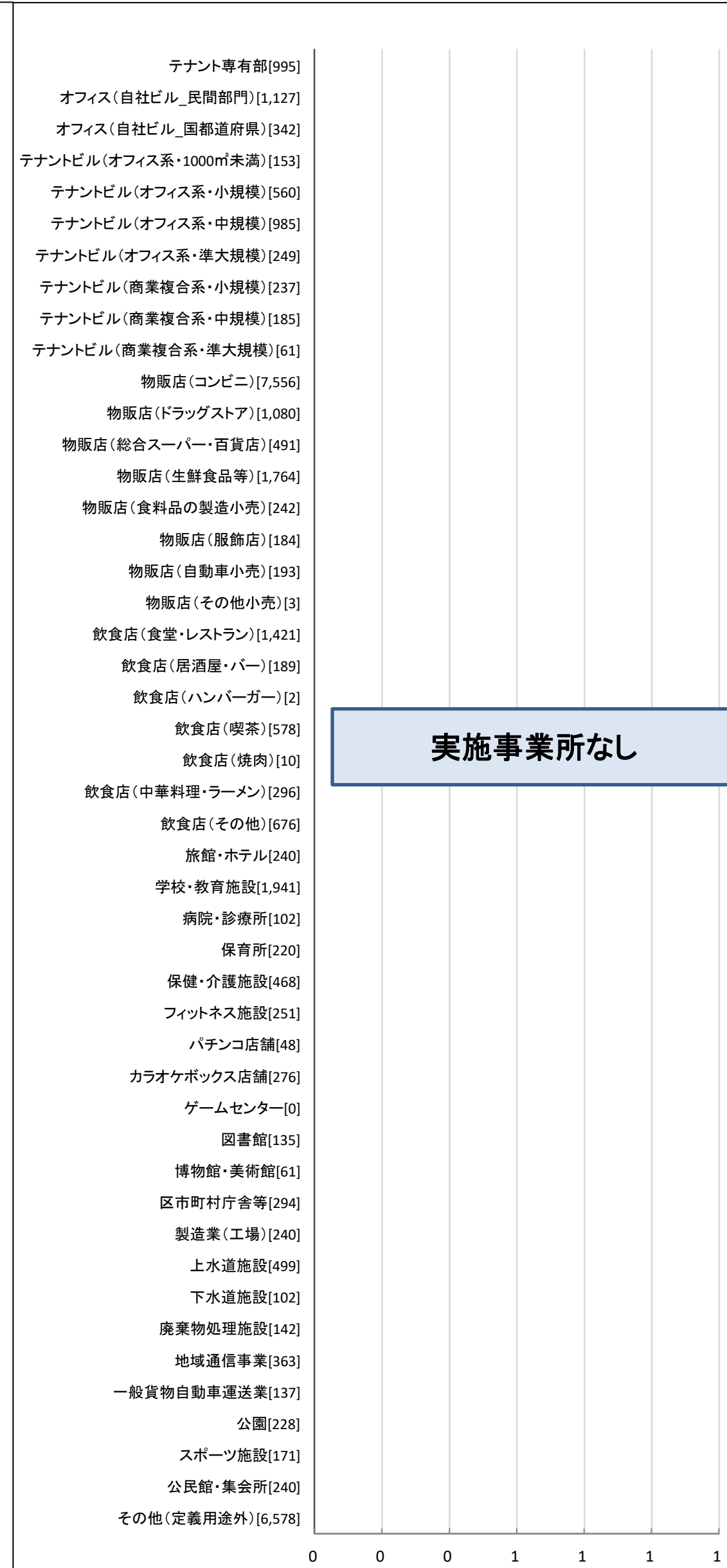
※ [] 内は事業所数を表す

D204 産業部門 個別方式 空調設備 空調フィルターの清掃・点検



※ [] 内は事業所数を表す

E214 産業部門 空調機の効率化 高効率パッケージの採用



※ [] 内は事業所数を表す

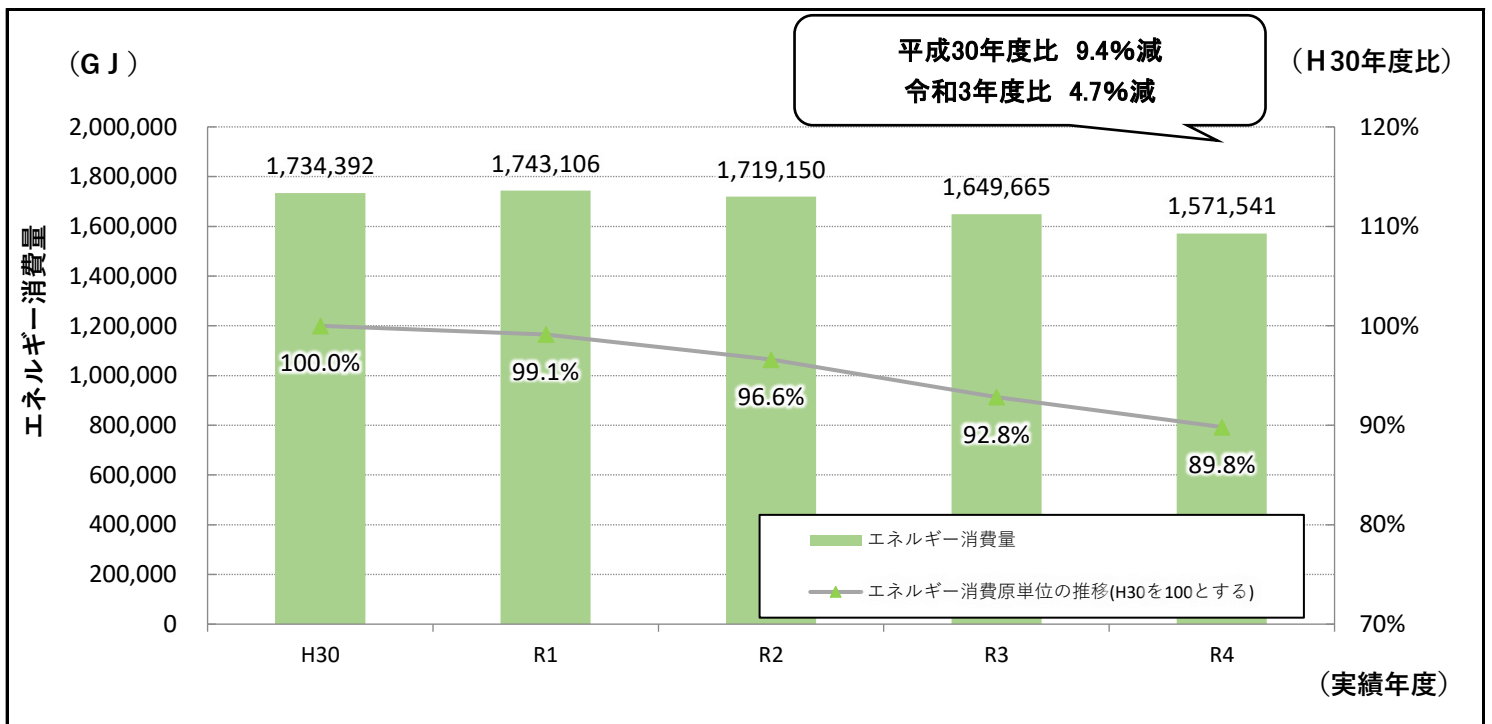
実施事業所なし

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数
テナント専有部	995	978

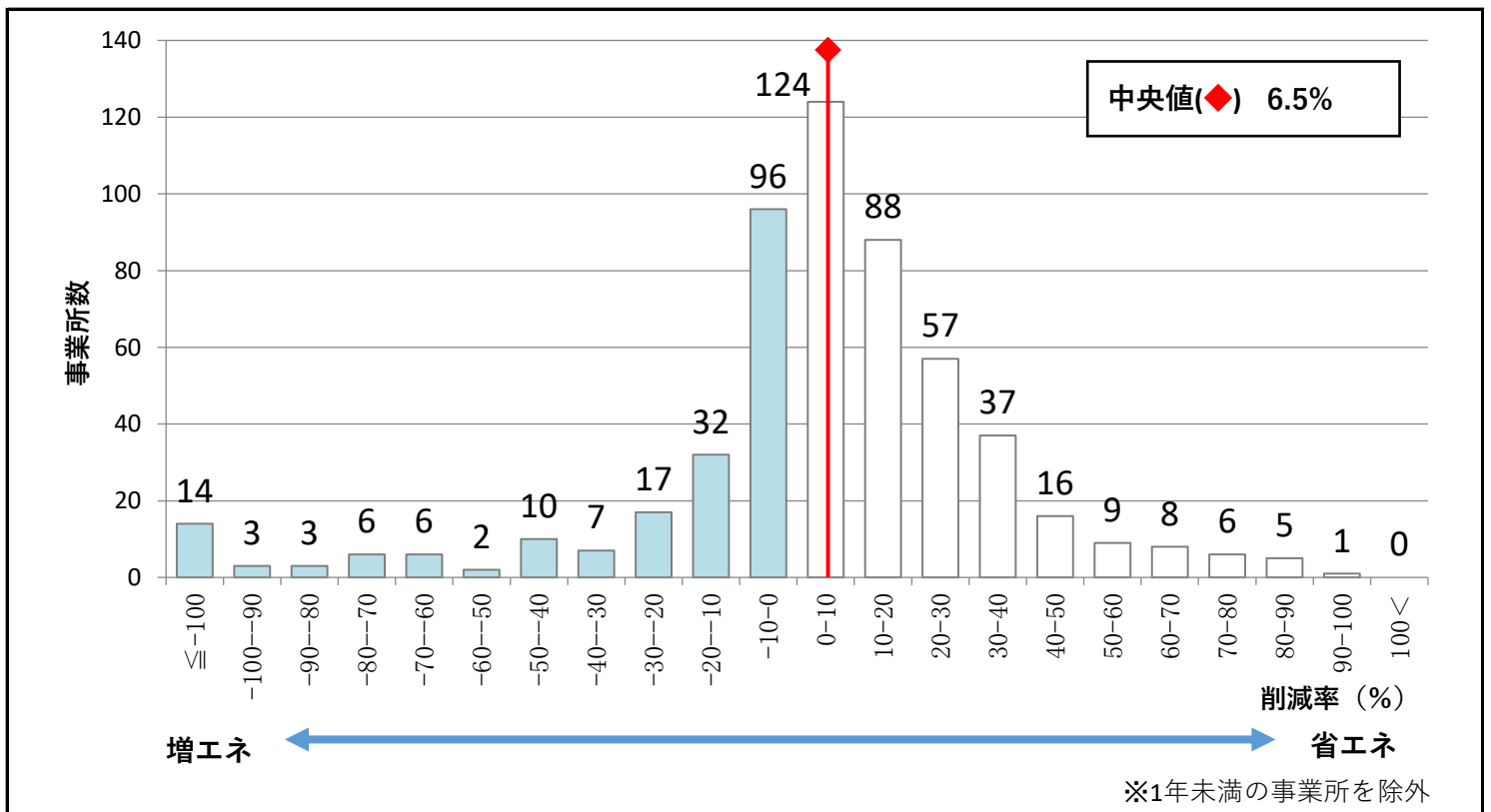
<集計対象の説明>

- ・R4年度実績分を提出した事業所
- ・日本標準産業分類「6911 貸事務所業」「96** 外国公務」等を除く全ての産業分類
- ・報告範囲の主たる用途「事務所」
- ・所有形態「他者所有」
- ・報告範囲「建物の一部(テナント)」

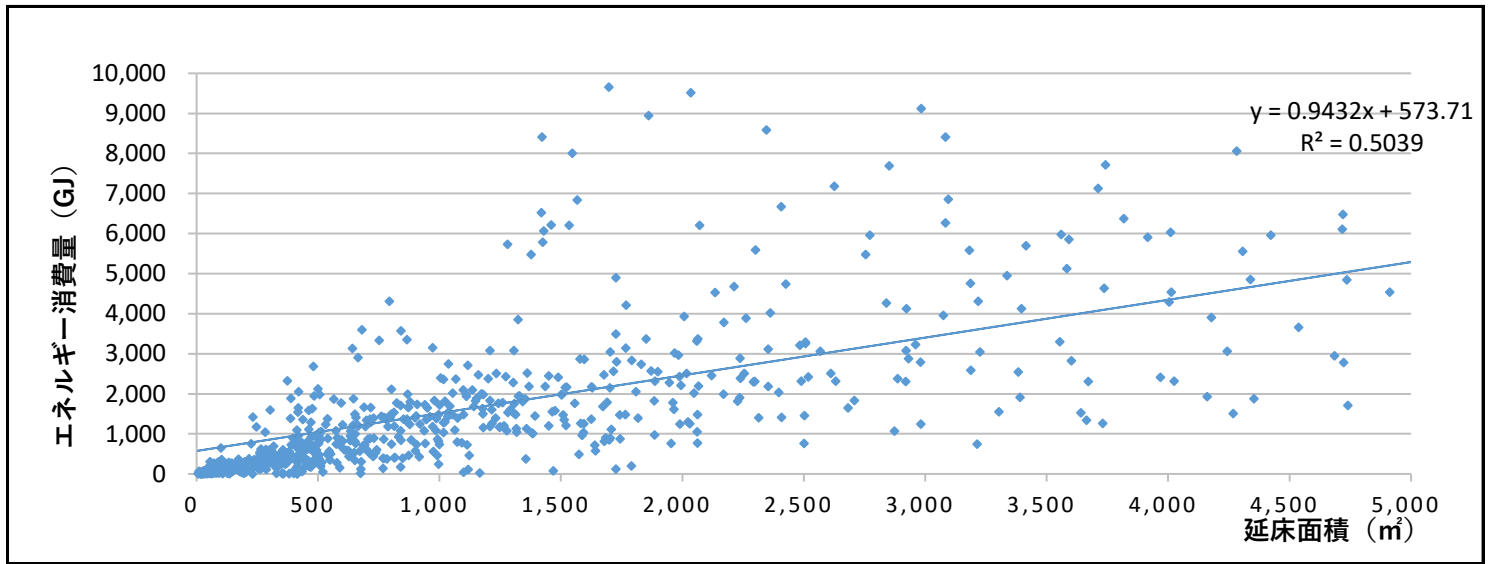
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:584)



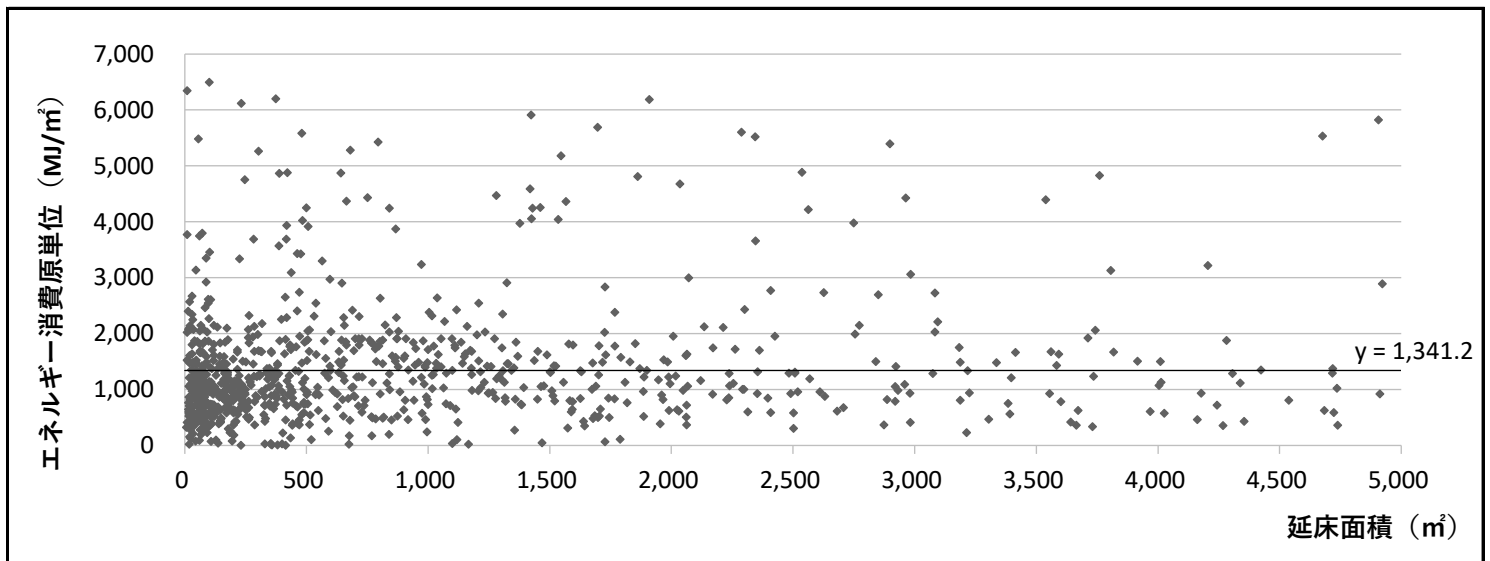
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:547)



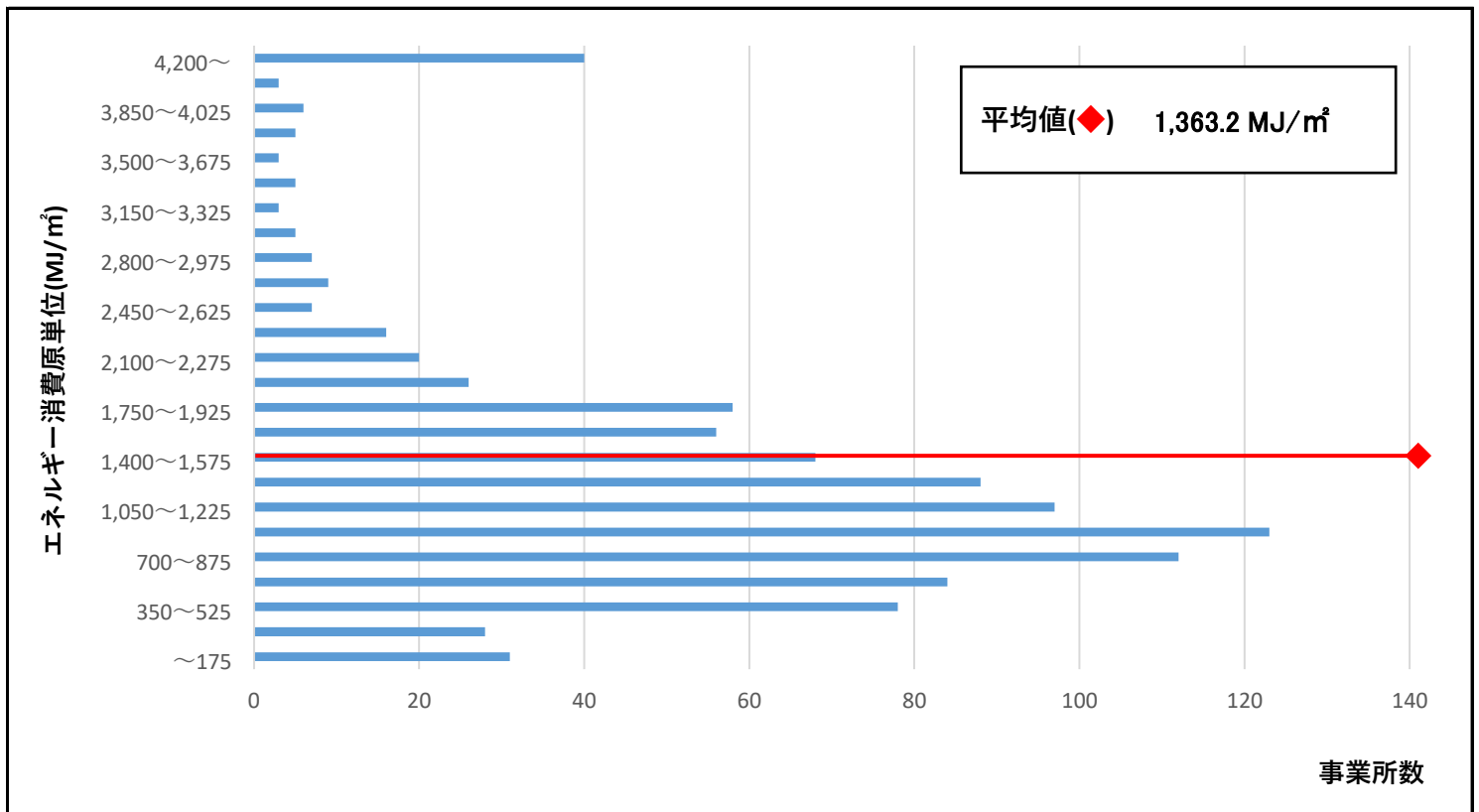
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



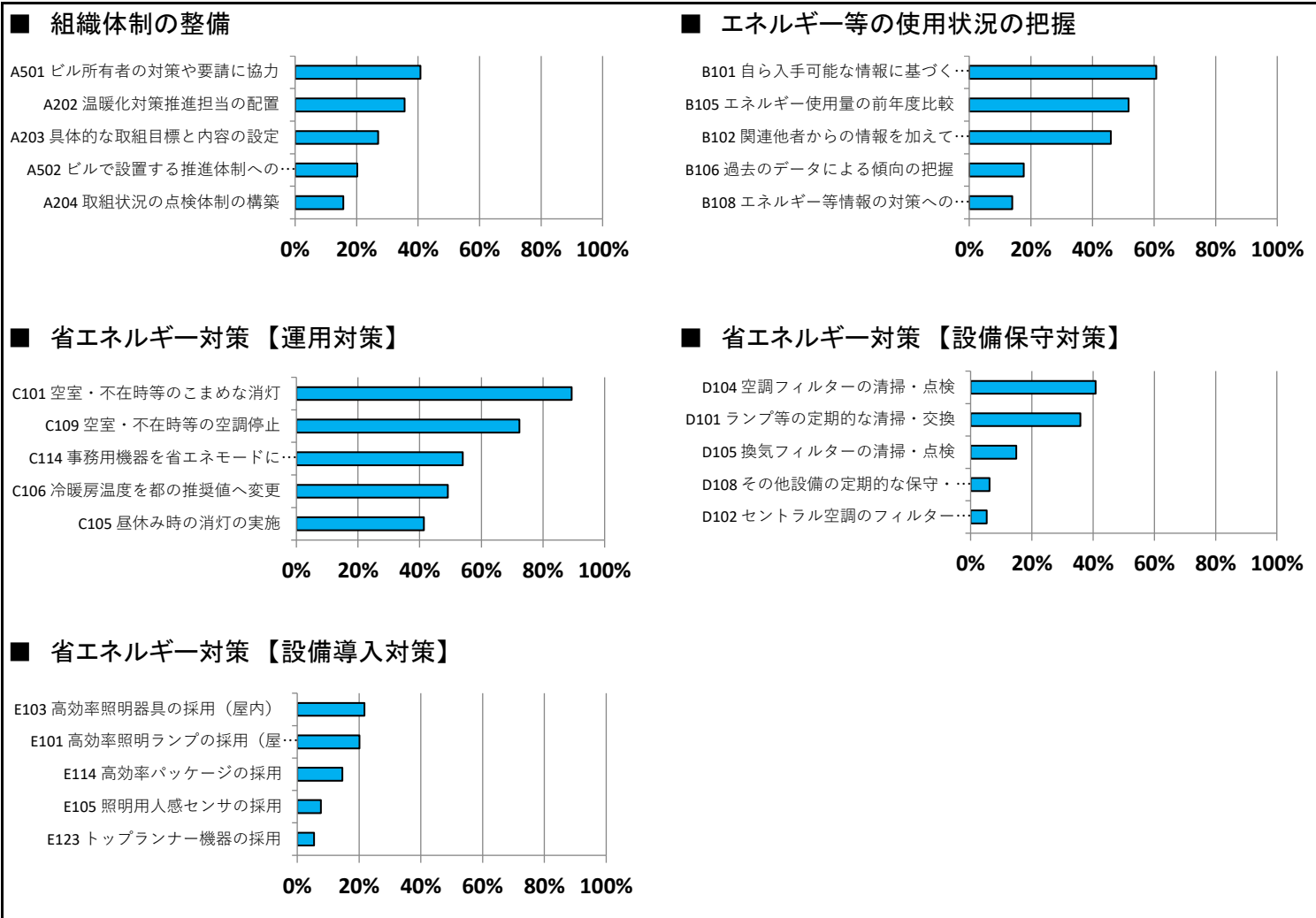
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

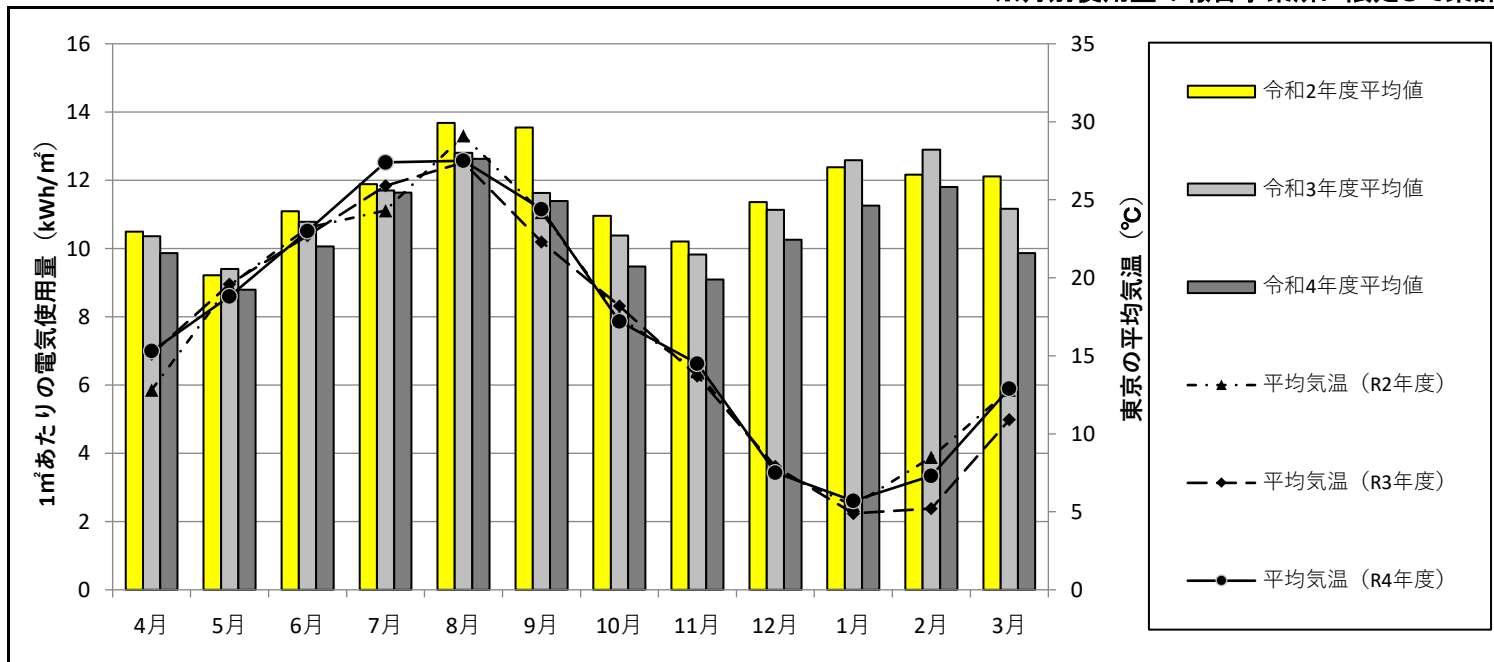


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

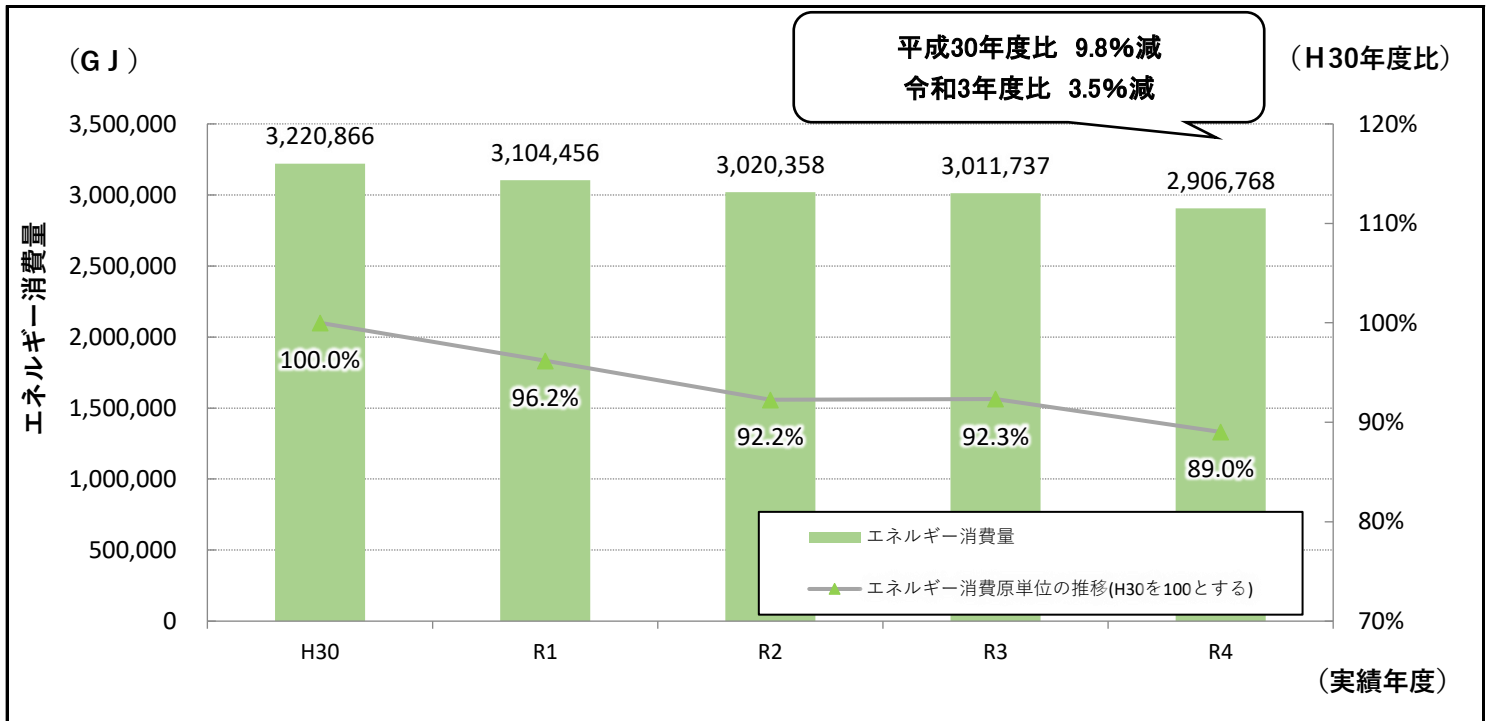
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



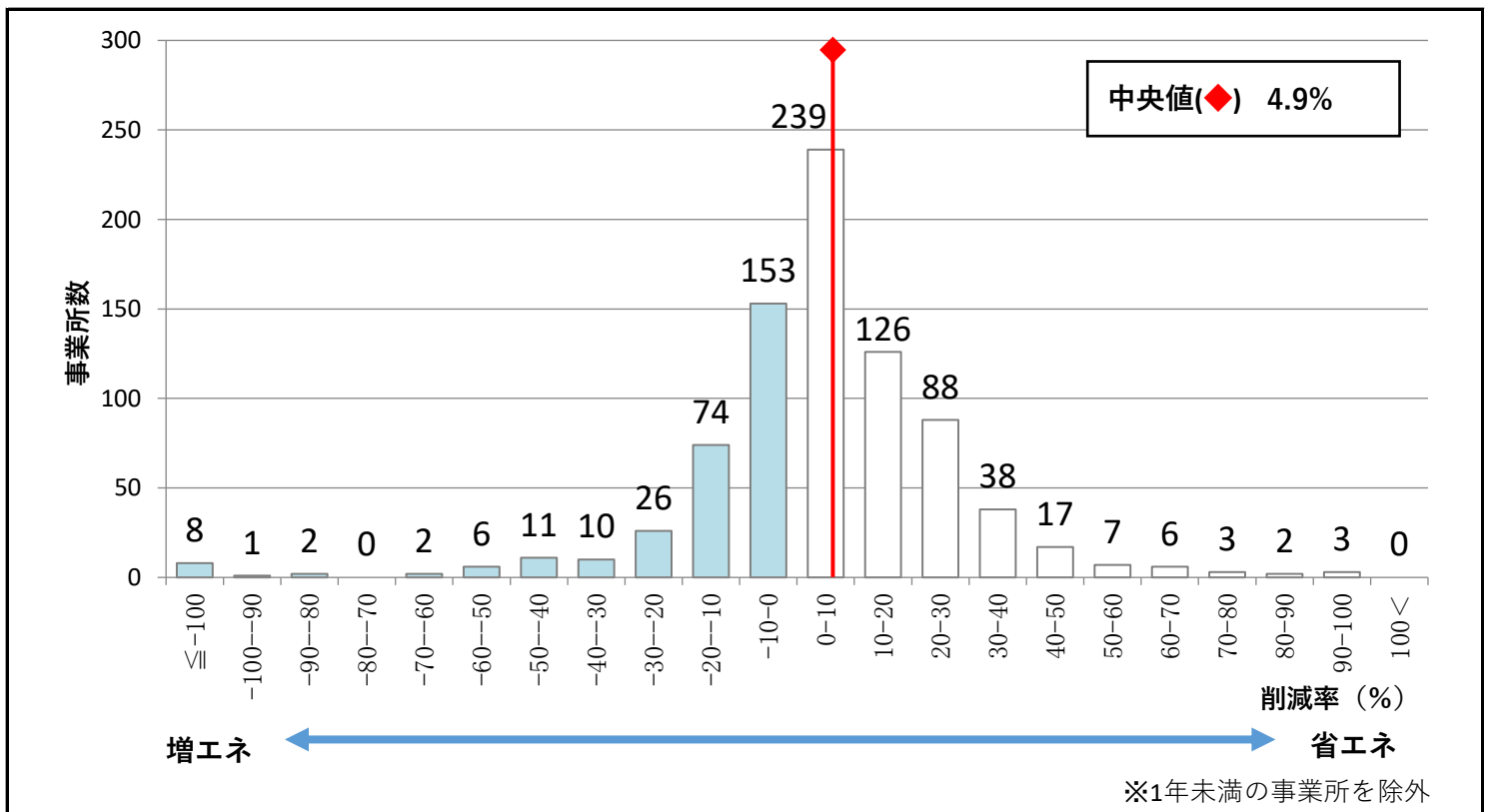
空調や照明などの主要設備はビルオーナーの資産である場合が多く、独自に設備改善を行うと退去時に原状復旧の義務が生じるため、省エネは運用改善が主体になります。室温の緩和や照明の間引きによる照度の適正化などは効果が大いいため優先的に行う対策です。また窓際は晴天時1,000Lx以上の照度になるため晴天時の消灯を心がけましょう。またビルオーナーとテナントが協同で省エネを行うグリーンリース契約の仕組みを活用することで高効率設備の導入が進みやすくなります。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「6911 貸事務所業」「96** 外国公務」「97** 国家公務」「98** 地方公務」を除く ・報告範囲の主たる用途「事務所」 ・所有形態「自己所有」 ・報告範囲「建物の全部」
オフィス(自社ビル_民間部門)	1,127	1,095	

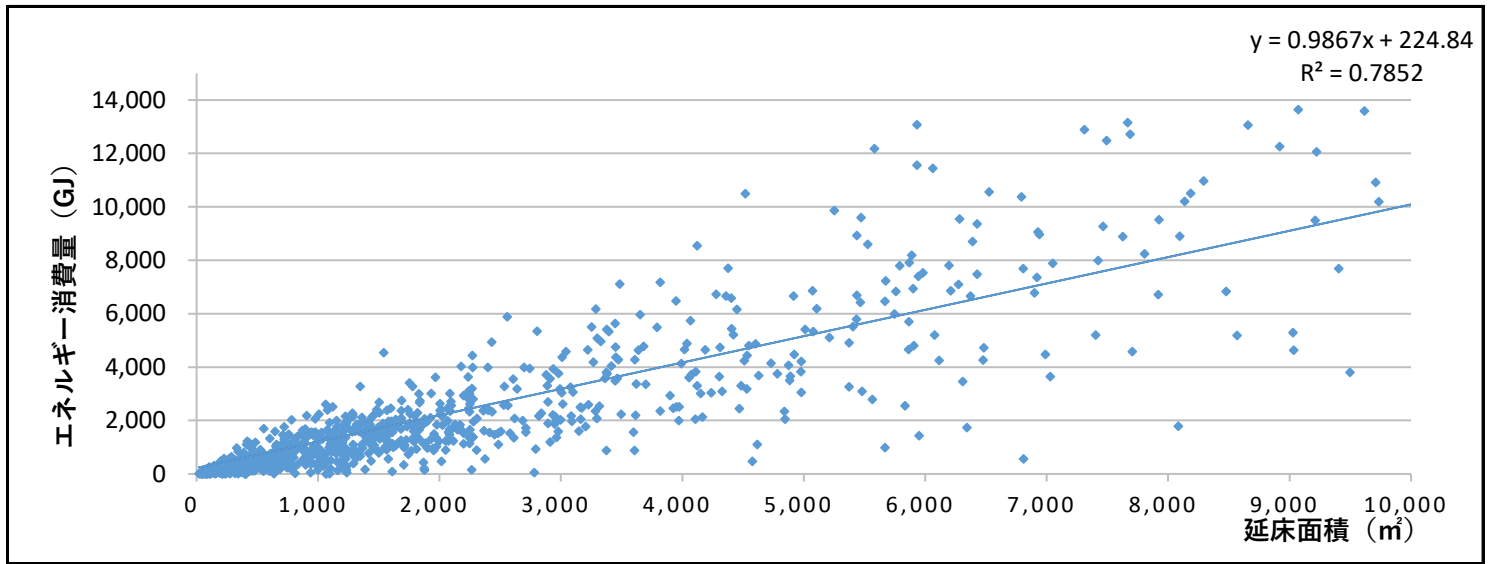
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:838)



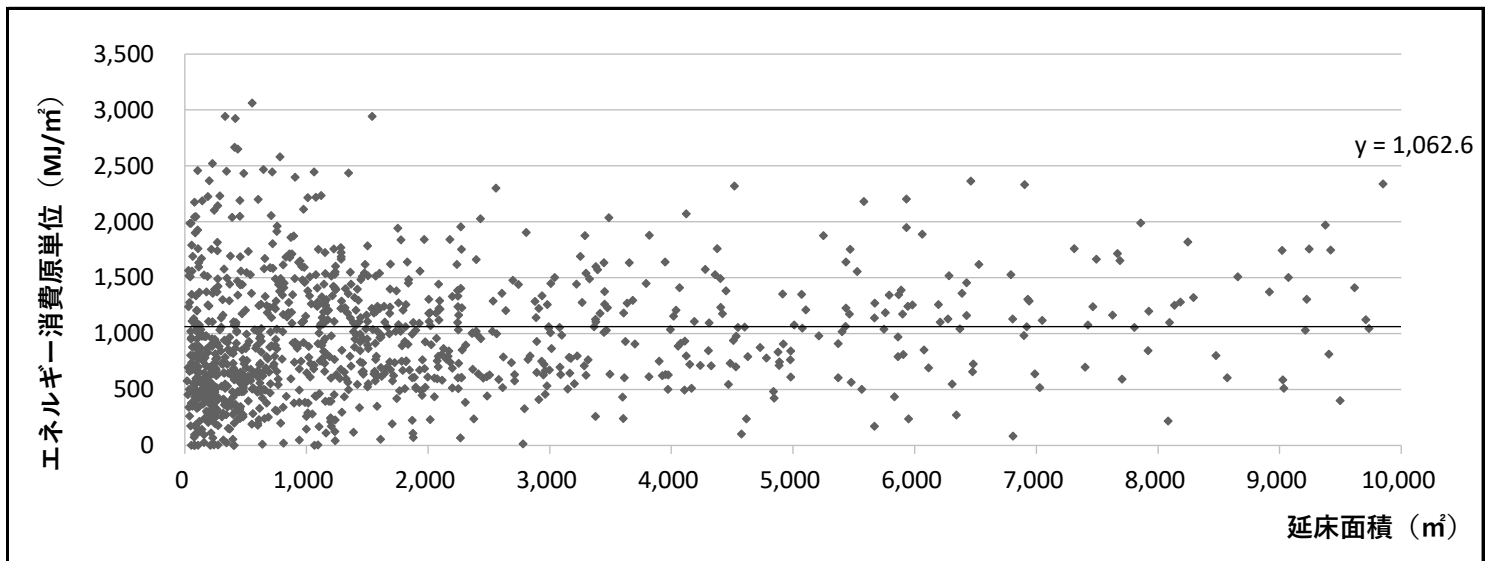
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:822)



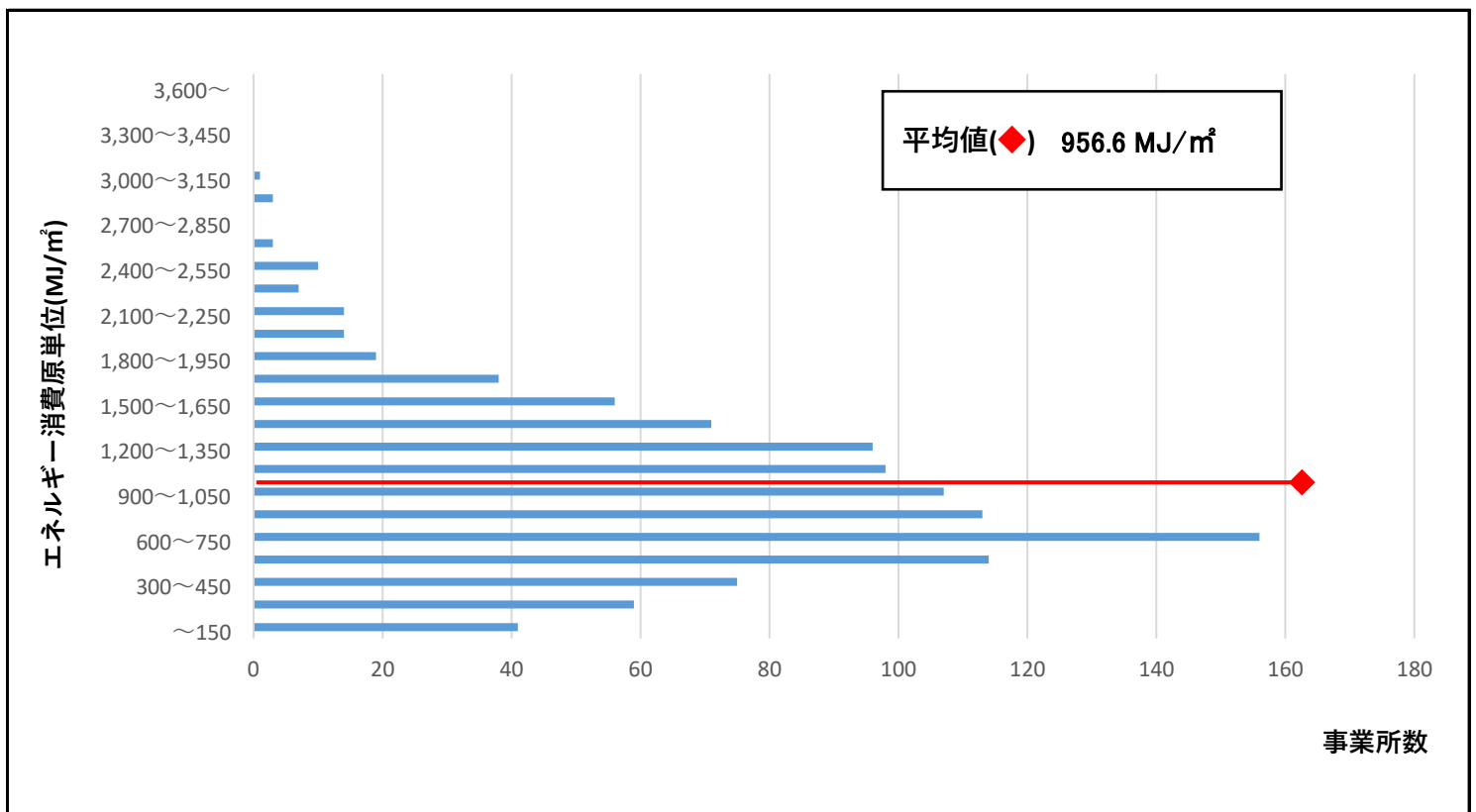
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



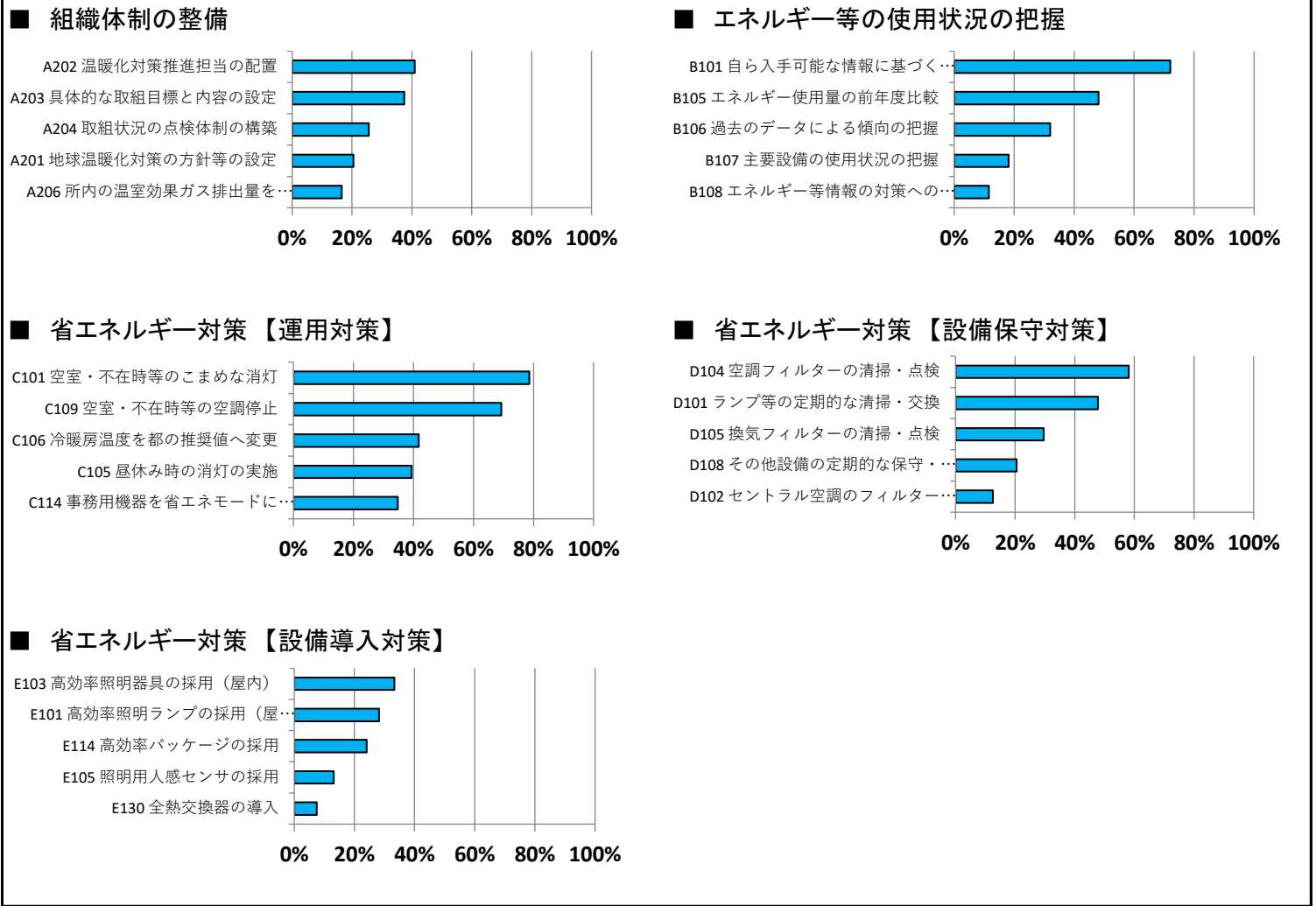
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

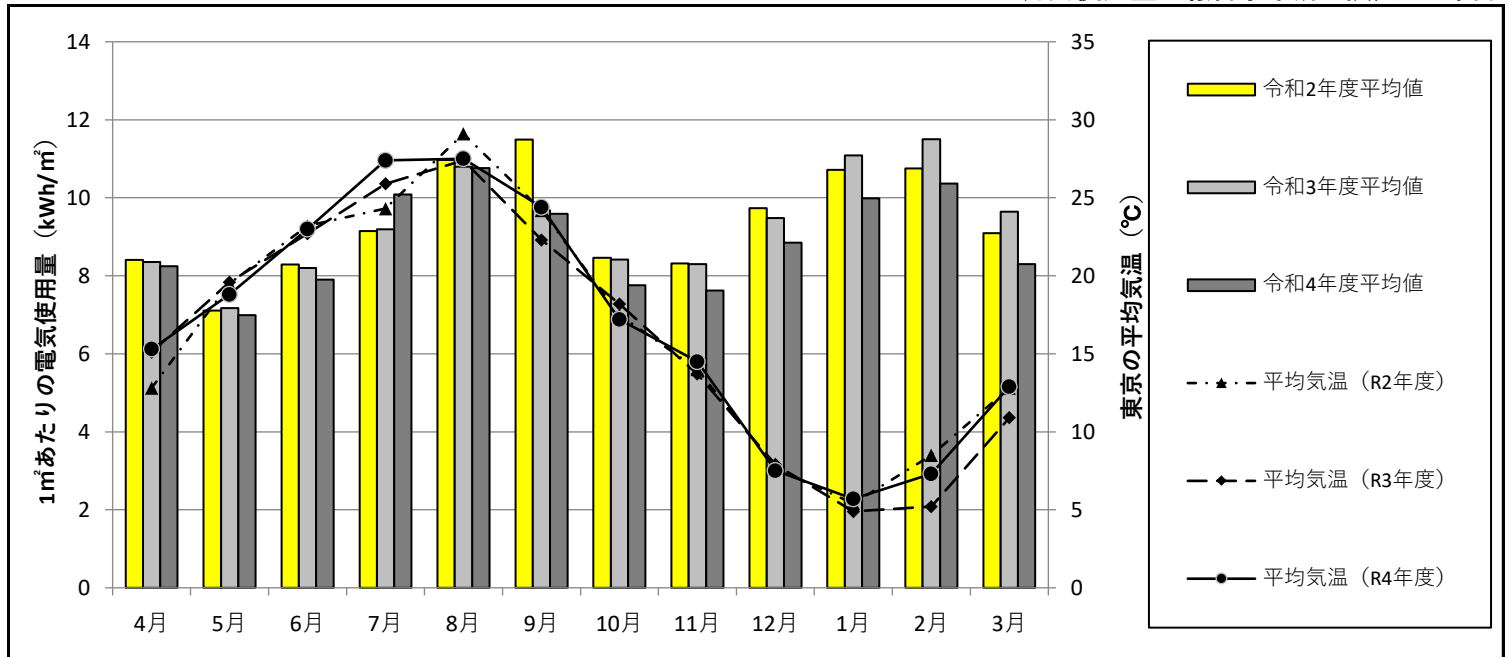


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

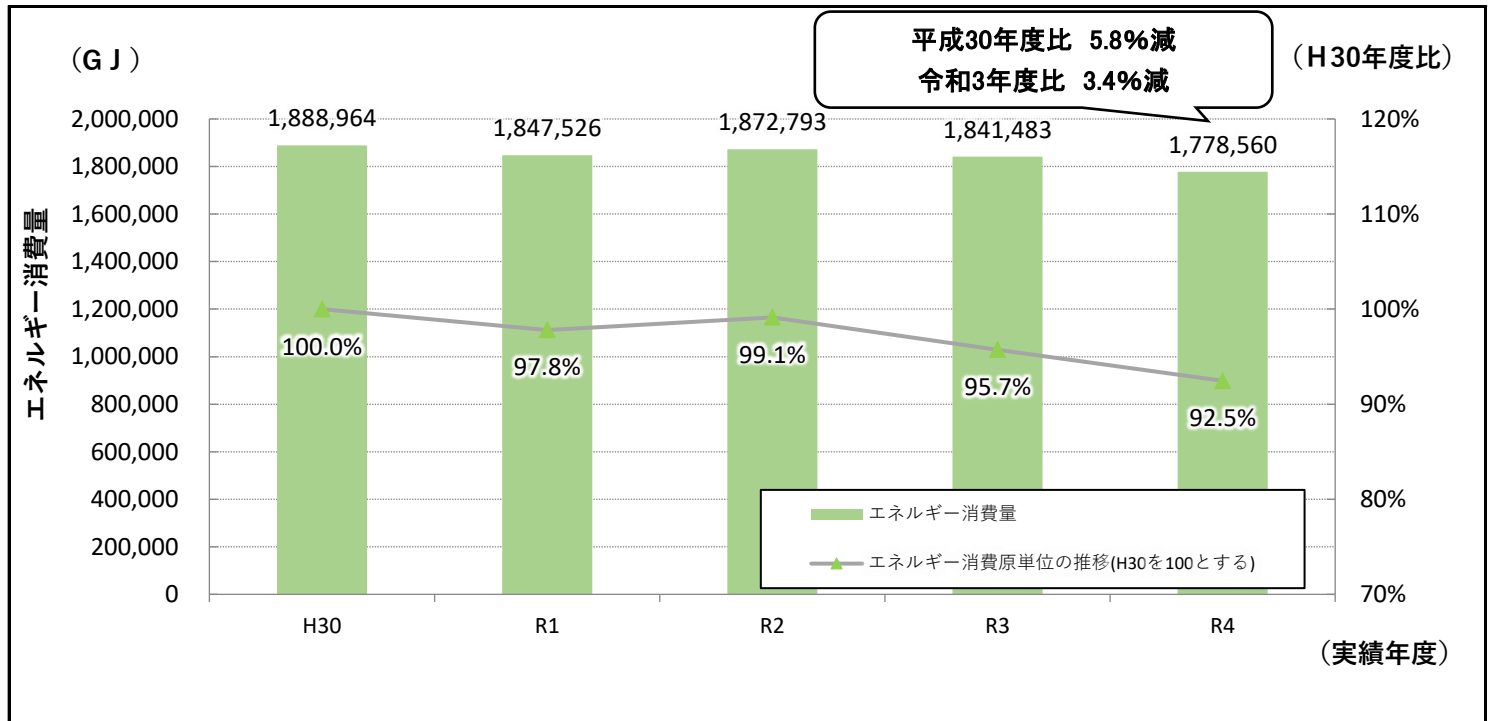
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



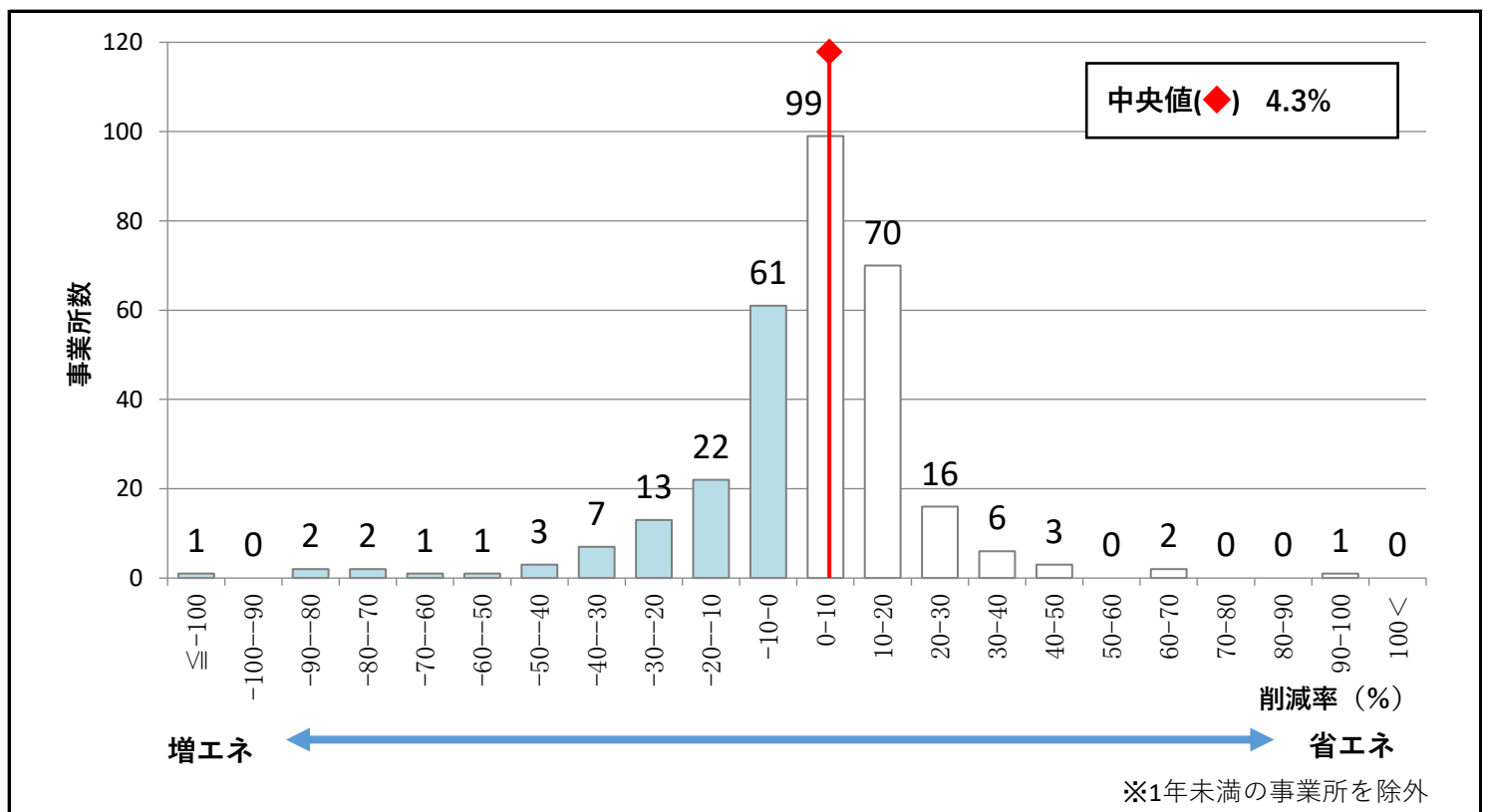
設備改善の権限は自社にあるため、高効率設備の導入は実施しやすい環境にあります。照明のLED化やエアコンの更新など、効果の大きい対策を優先して積極的に設備改善を進めましょう。リーダーシップと全員参加の風土作りに努め、省エネ推進の組織作りを行い、空調設定温度の緩和や不要箇所の消灯など、こまめに運用改善の実施を進めることで継続的な省エネが図れます。
【効果の試算】蛍光灯8台セットのスイッチで1日30分の消し忘れを防止すると年間1,290円、26.3kg-CO₂の削減になります。(報告書作成ハンドブック(メニュー編)の個表番号50参照)

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「96** 外国公務」「97** 国家公務」「981* 都道府県機関」 ・「6911 貸事務所業」を除く ・報告範囲の主たる用途「事務所」、「その他」 ・所有形態「自己所有」 ・報告範囲「建物の全部」
オフィス(自社ビル_国都道府県)	342	339	

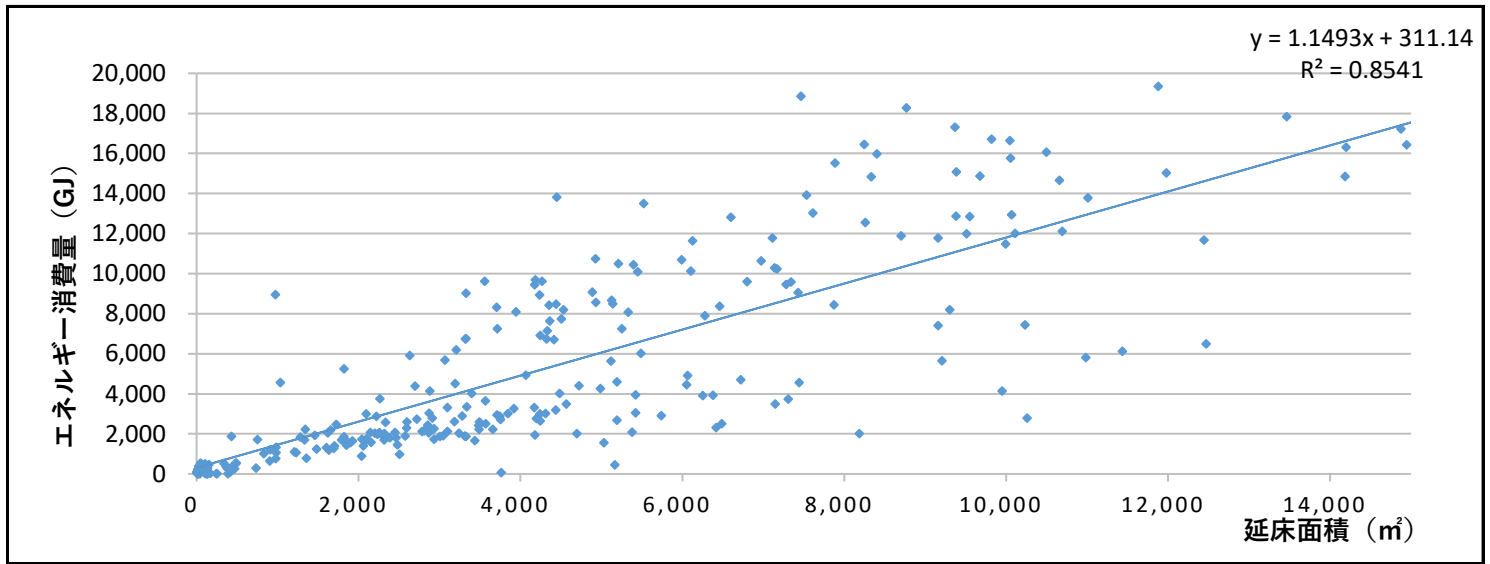
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:316)



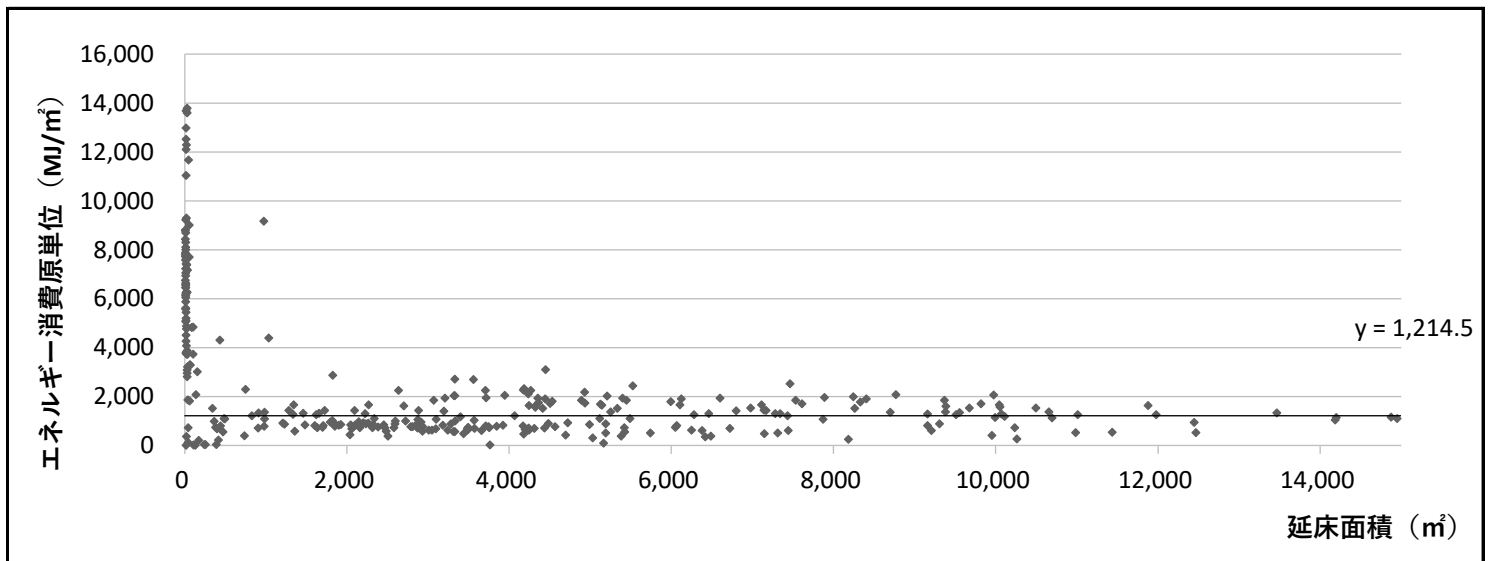
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:310)



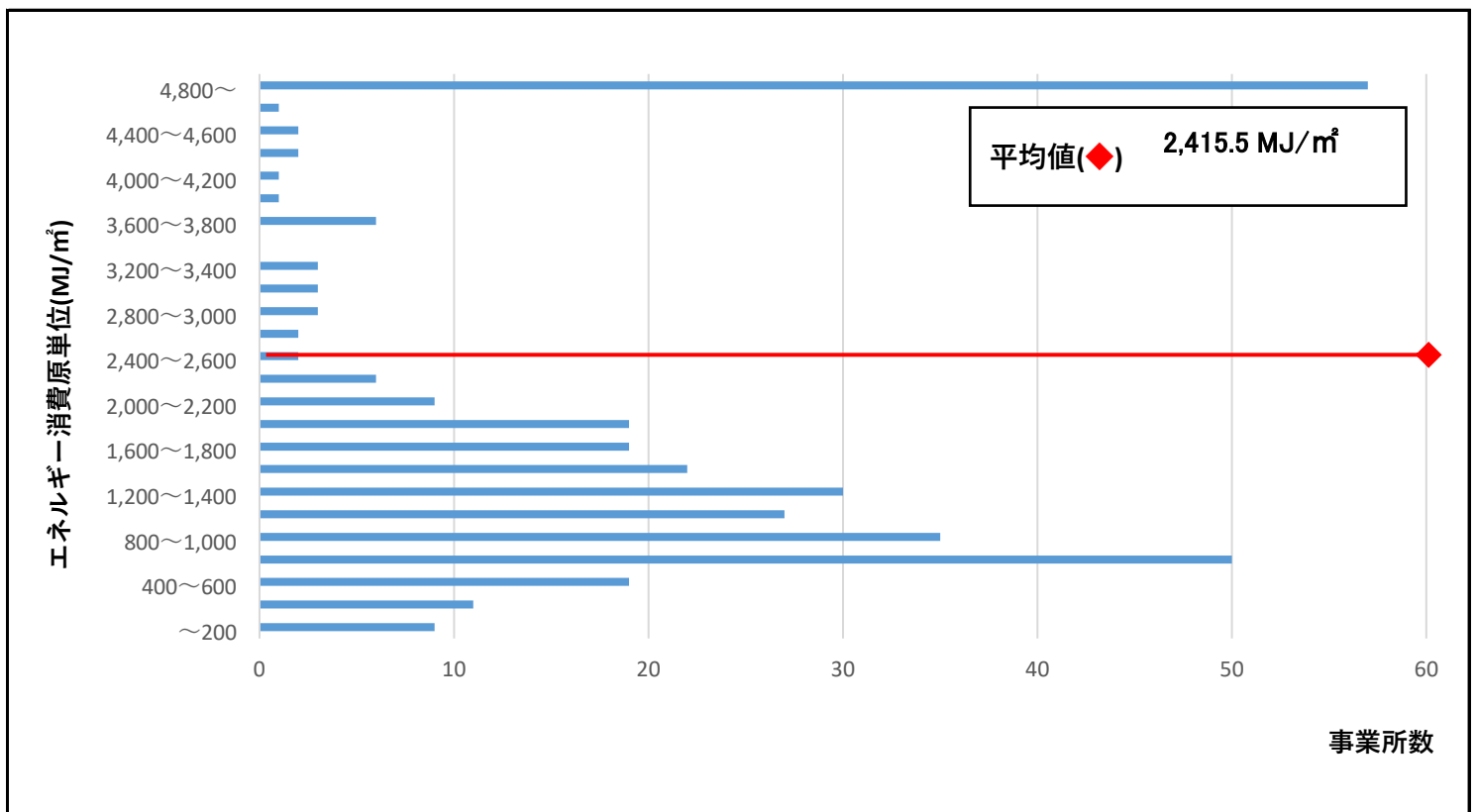
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



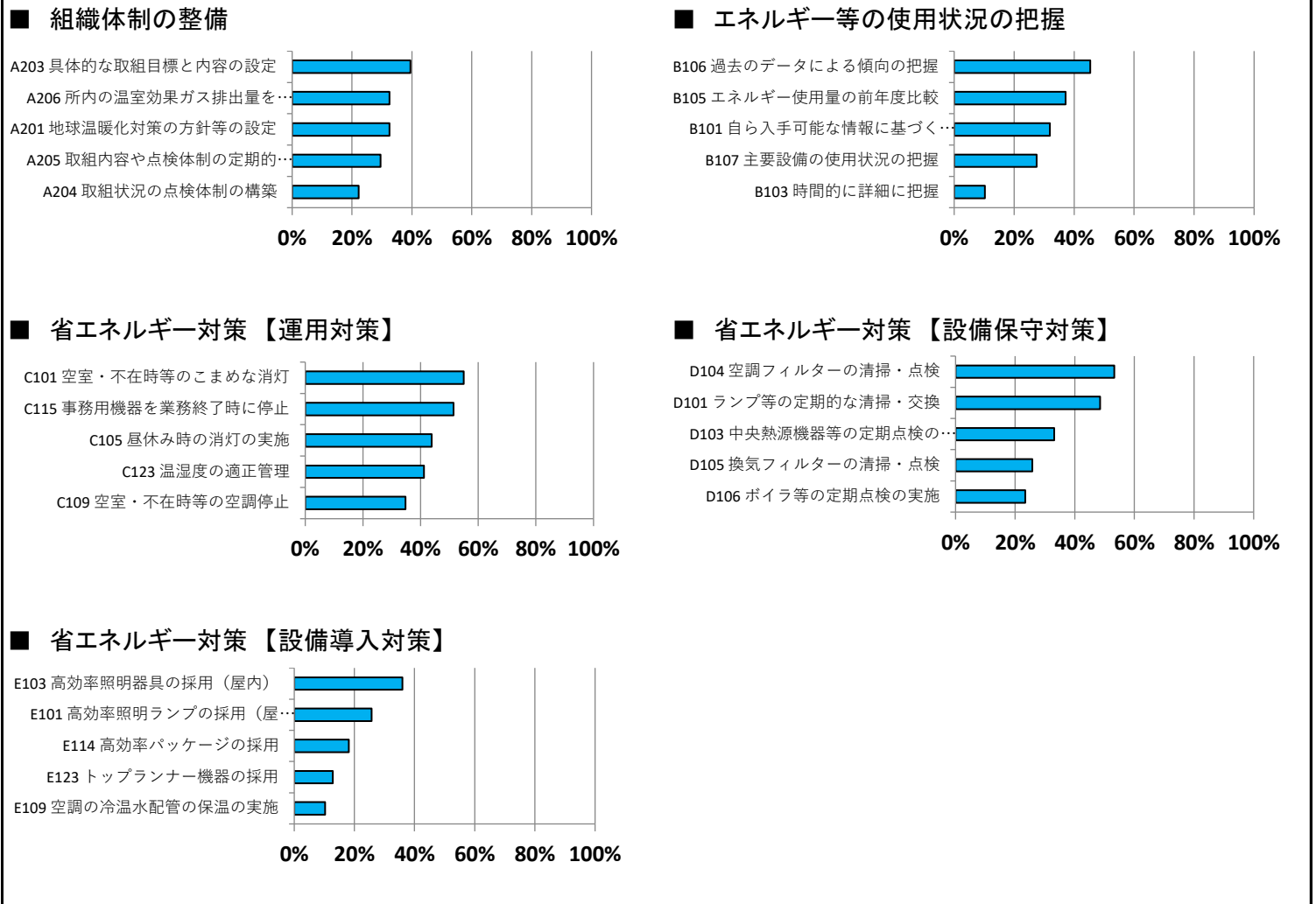
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

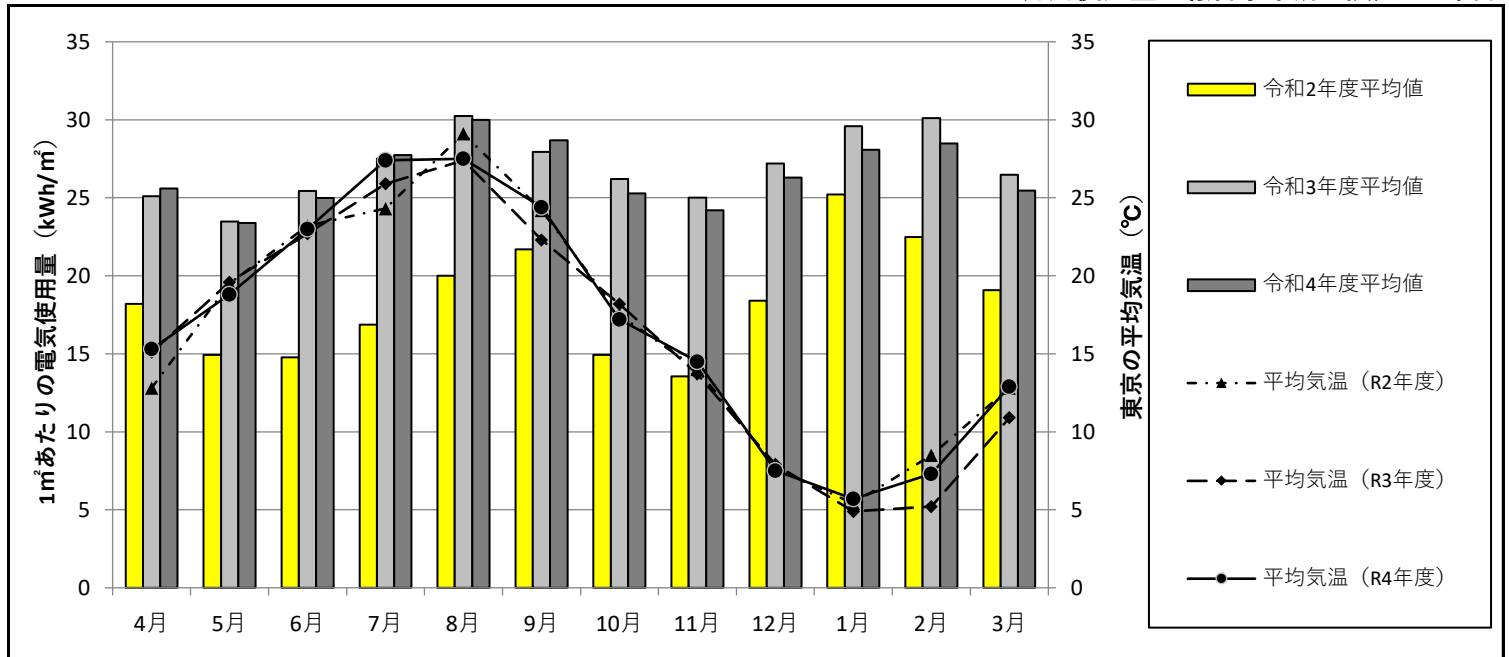


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

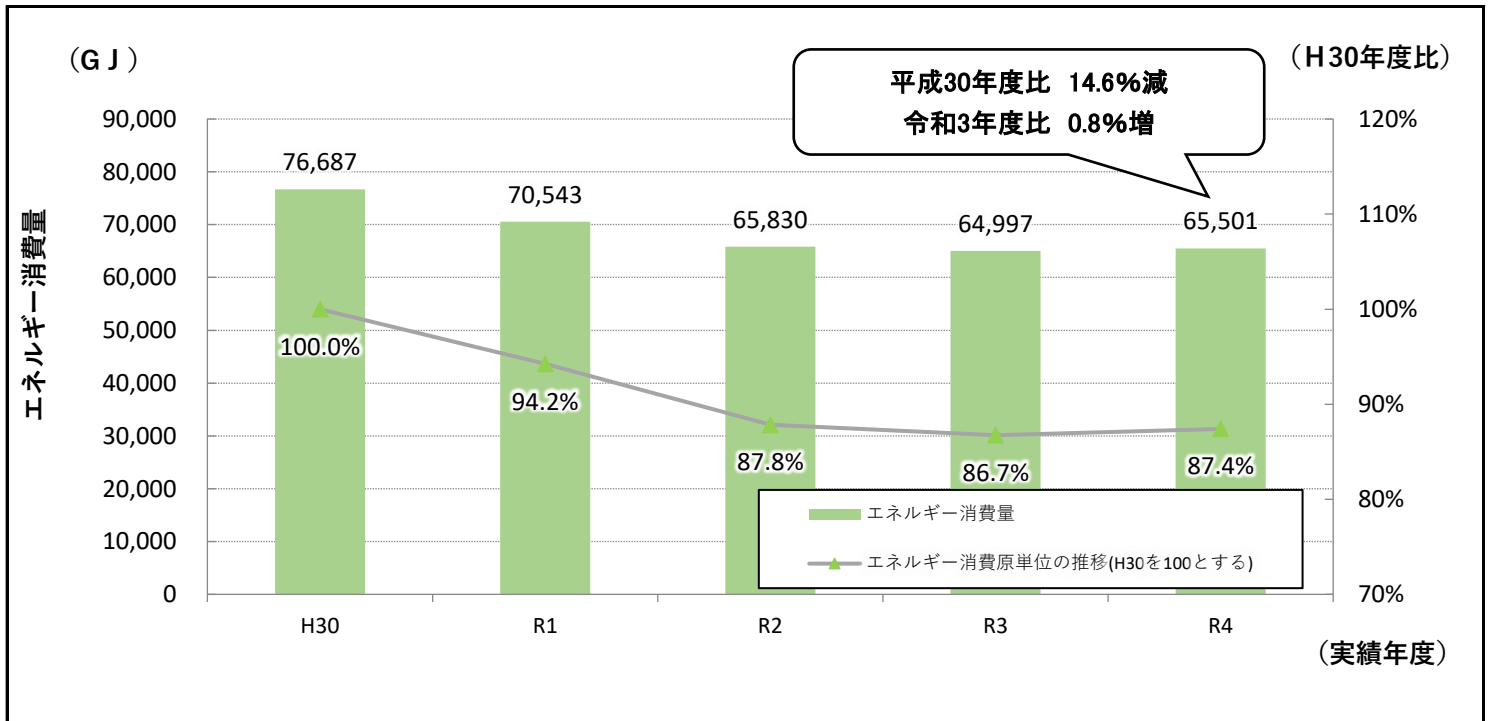
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



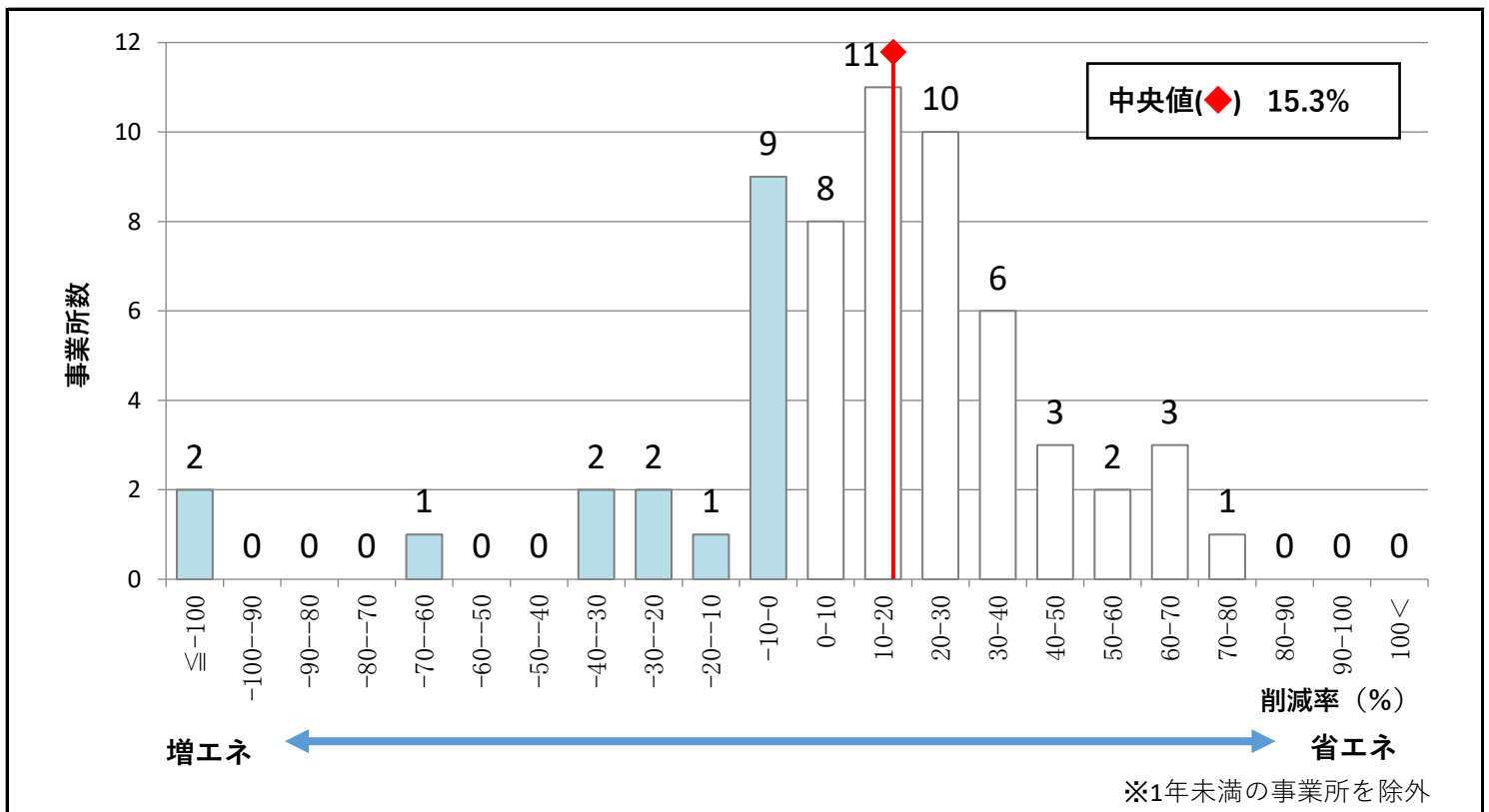
民間のオフィスビルと比較すると設備更新に必要な予算取りが難しいケースもあるようです。老朽化した設備などは予算主管部門への早めの報告が必要で、エネルギーを多く使う設備を優先した効率的な設備改善計画が望まれます。エネルギー消費原単位などを他の庁舎と比較することも行ってください。省エネが進んでいる場合は庁舎のエントランスなどにエネルギー消費量の推移をグラフ化すると市民へのアピールになります。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「6911 貸事務所業」 ・報告範囲の主たる用途「事務所」 ・所有形態「自己所有」 ・報告範囲「建物の全部」 ・延床面積 1,000㎡未満
テナントビル(オフィス系・1000㎡未満)	153	149	

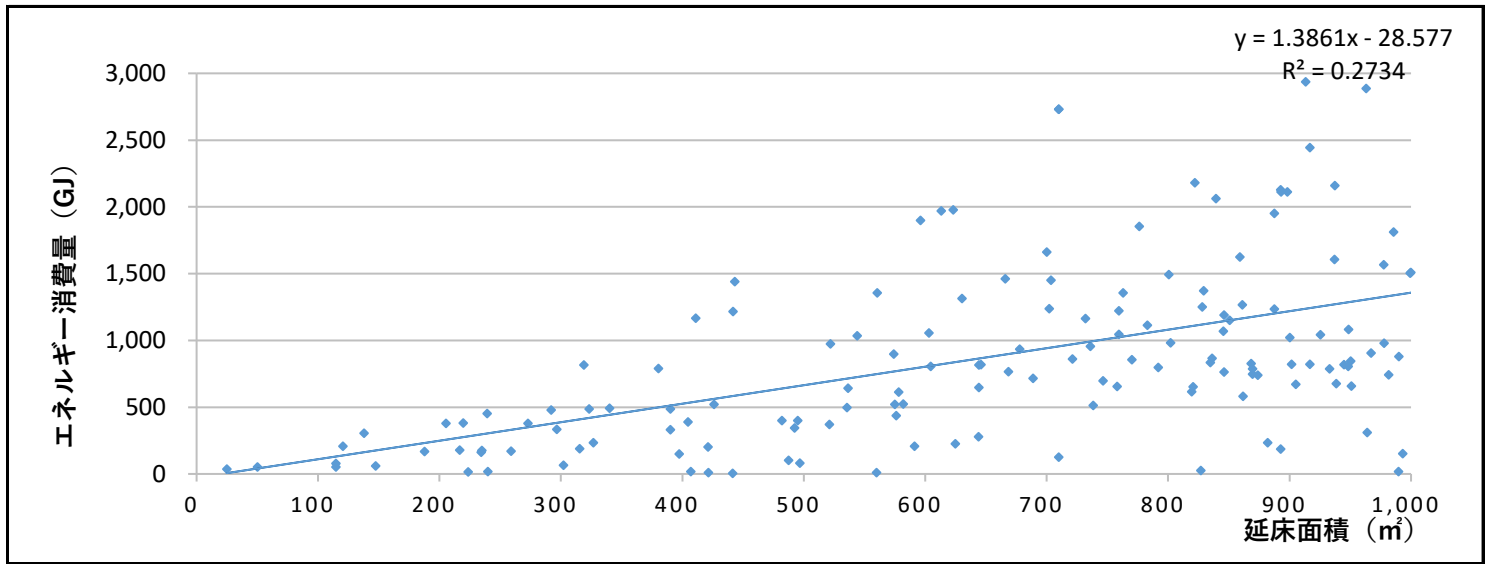
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:64)



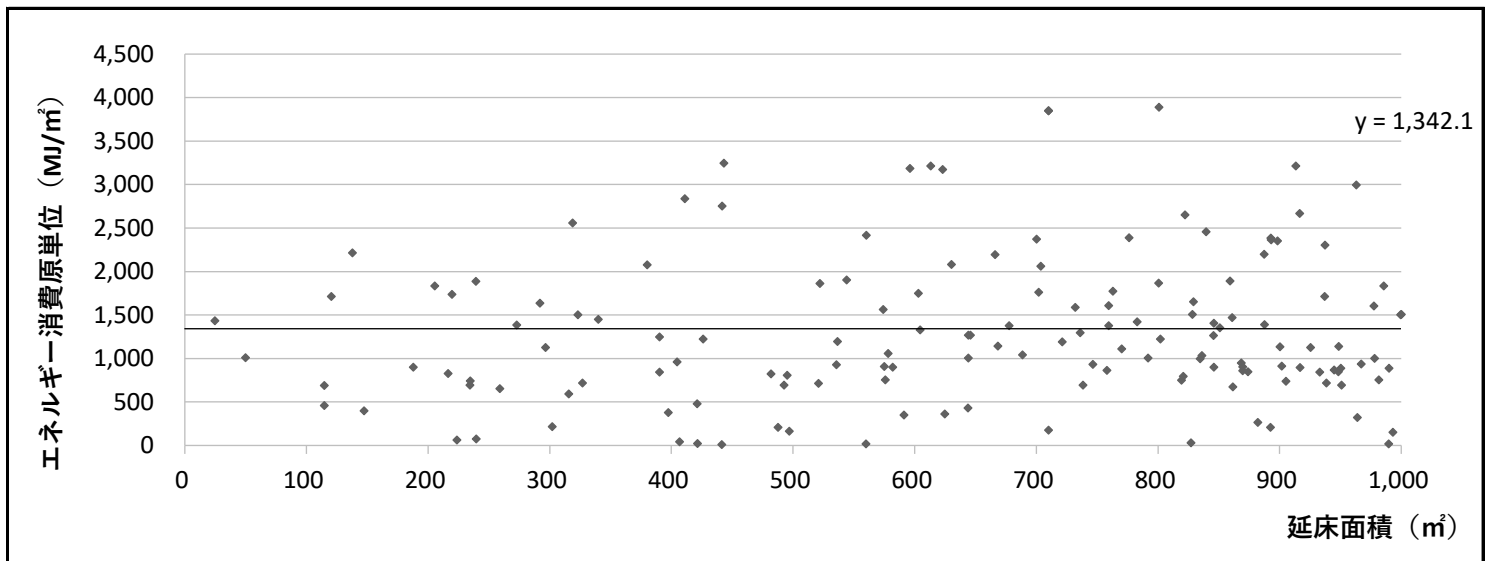
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:61)



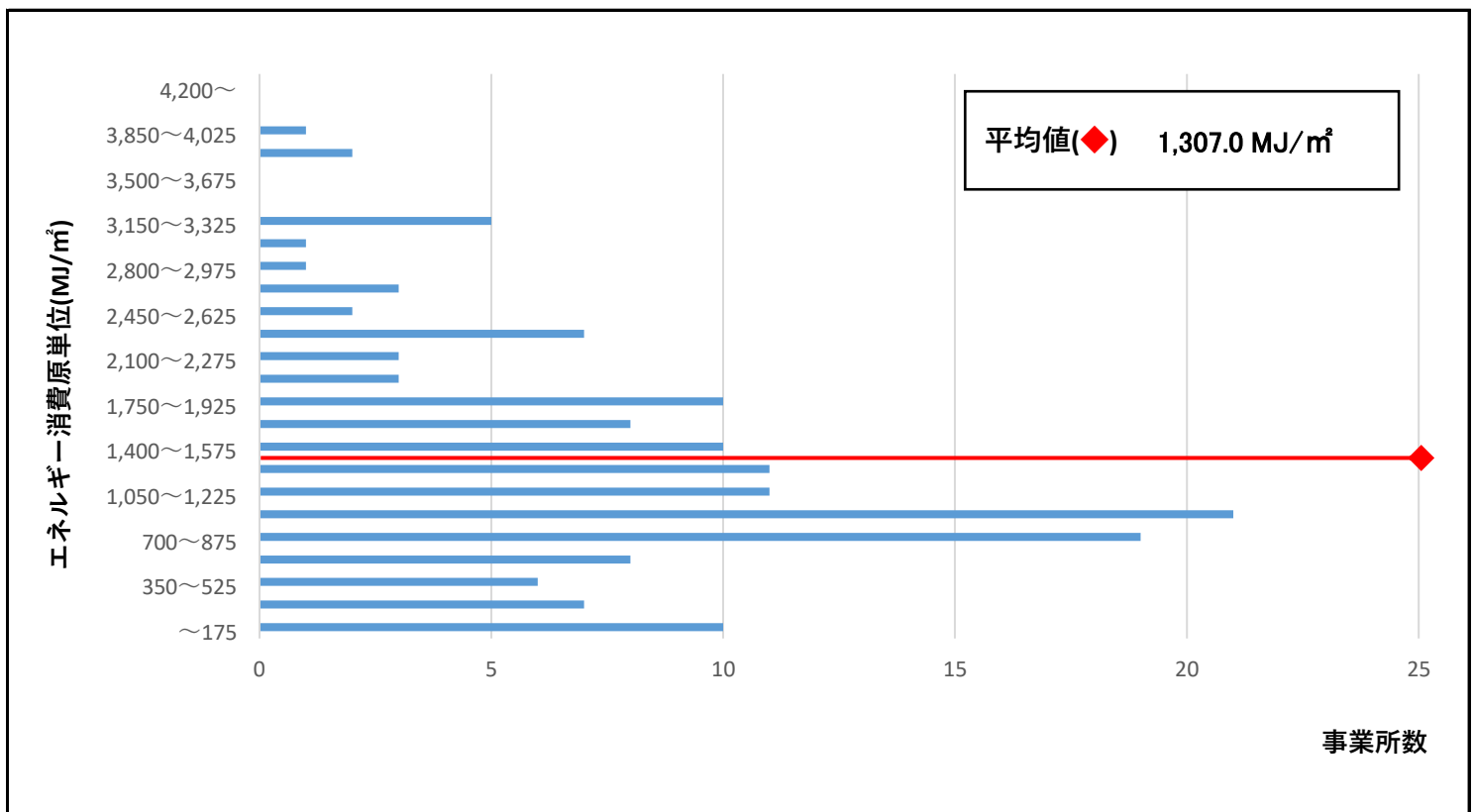
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



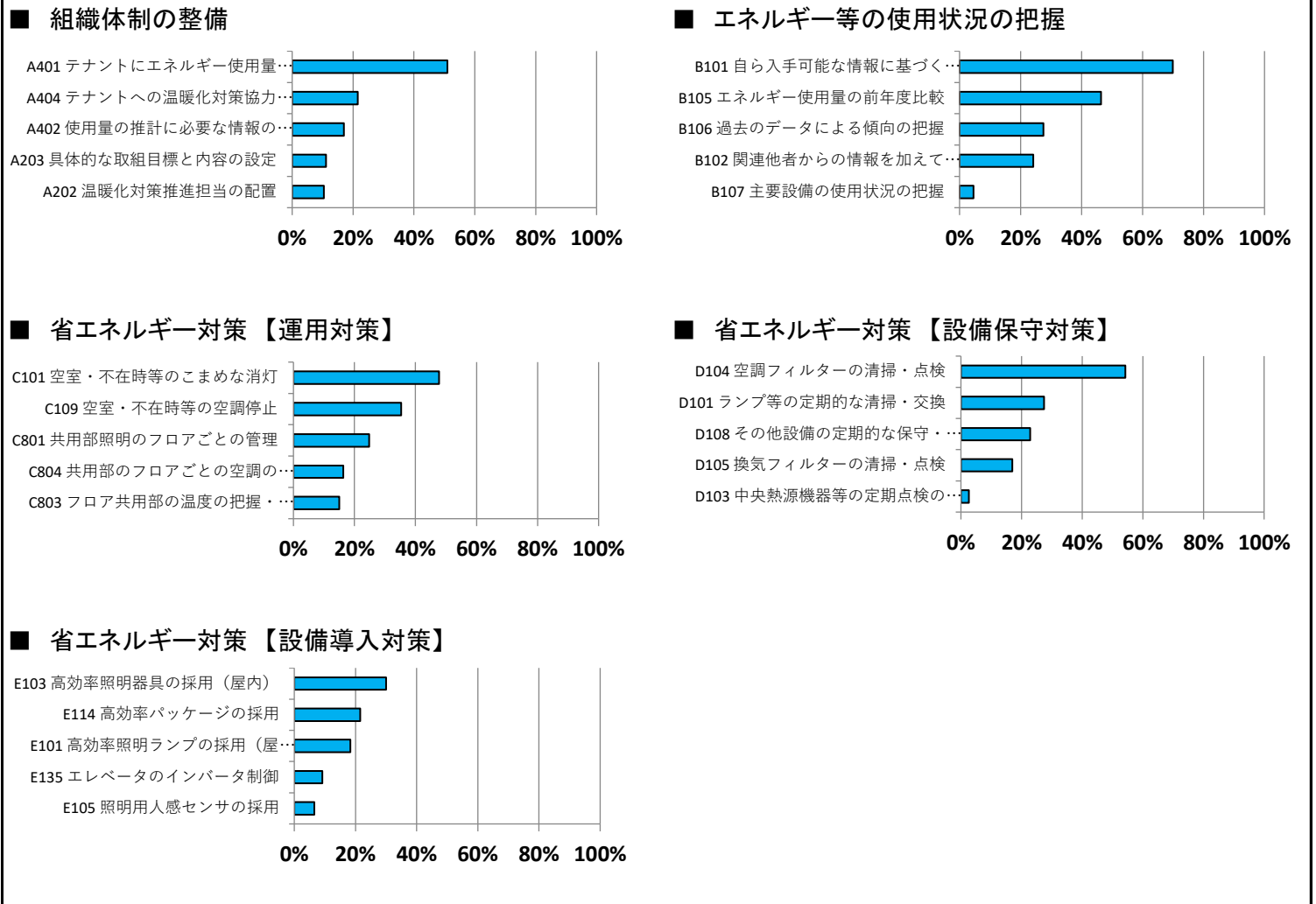
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

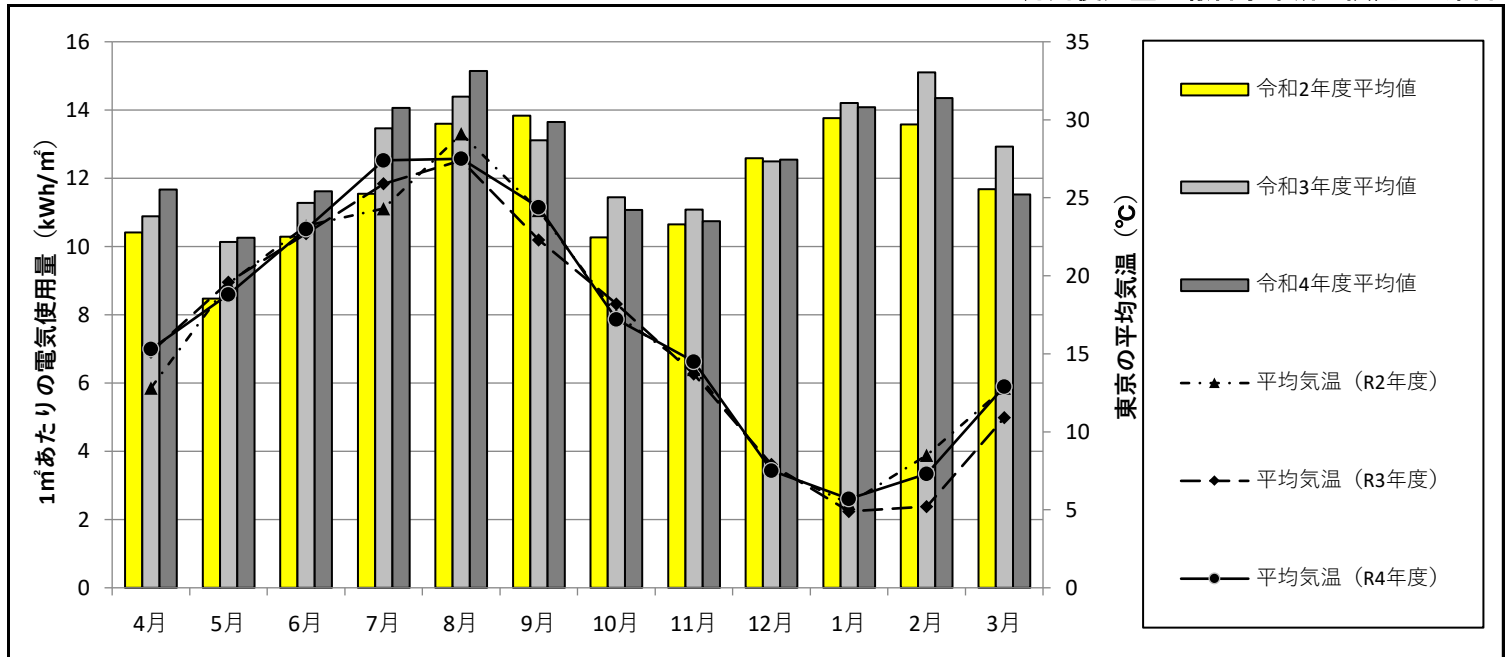


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

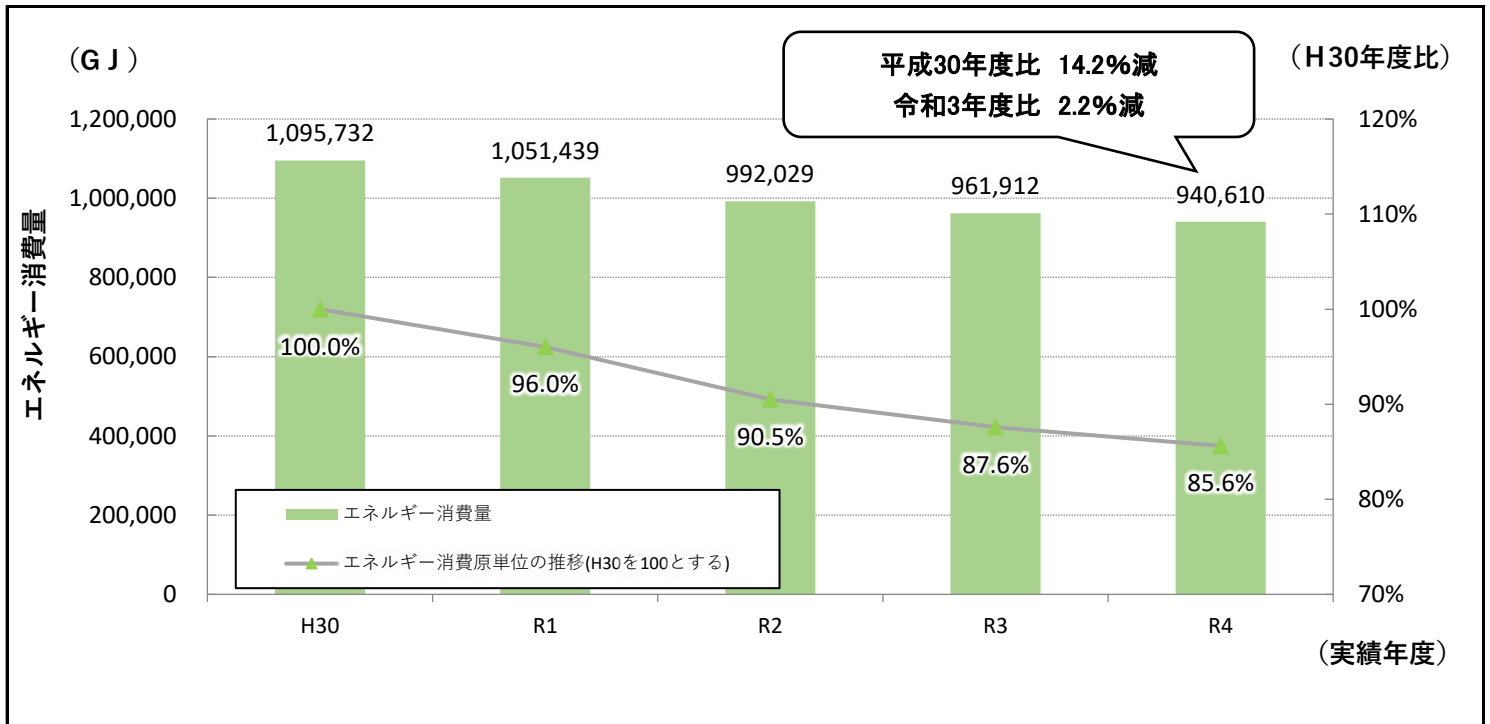
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



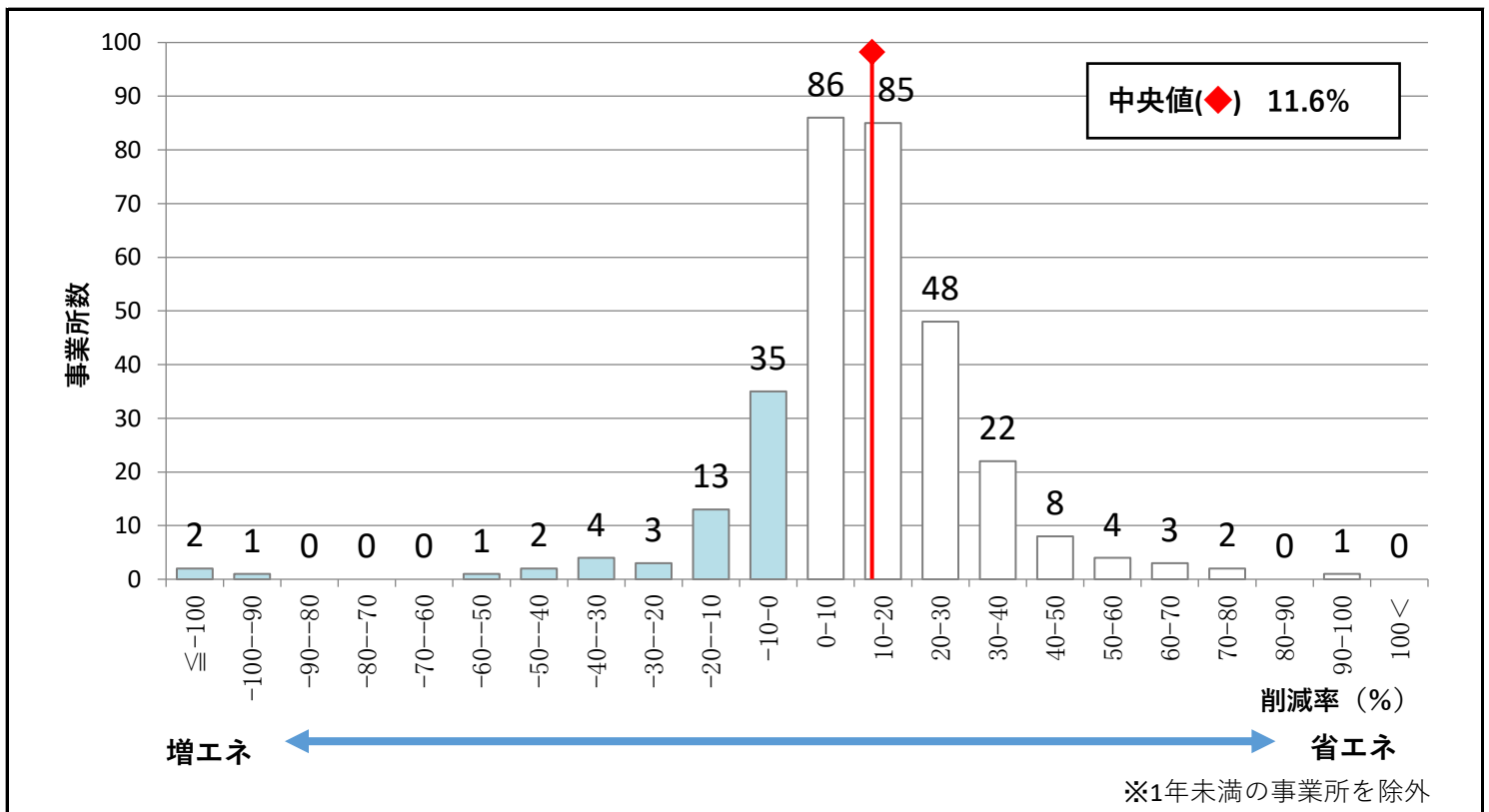
小規模オフィスビルでは床面積あたりの空調負荷が増加するため空調の省エネが重要です。サーキュレータ等を利用して空調設定温度の緩和を図ることで手軽に省エネが図れます。また晴天時の昼光利用として、専用スイッチで窓際照明をこまめに消灯することで大きな省エネが期待できます。非常階段が連続点灯している場合は、消灯時でも1/3程度の照度を維持できる調光式人感センサーの導入を推奨します。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「6911 貸事務所業」 ・報告範囲の主たる用途「事務所」 ・所有形態「自己所有」 ・報告範囲「建物の全部」 ・延床面積 1,000㎡以上3,000㎡未満
テナントビル(オフィス系・小規模)	560	547	

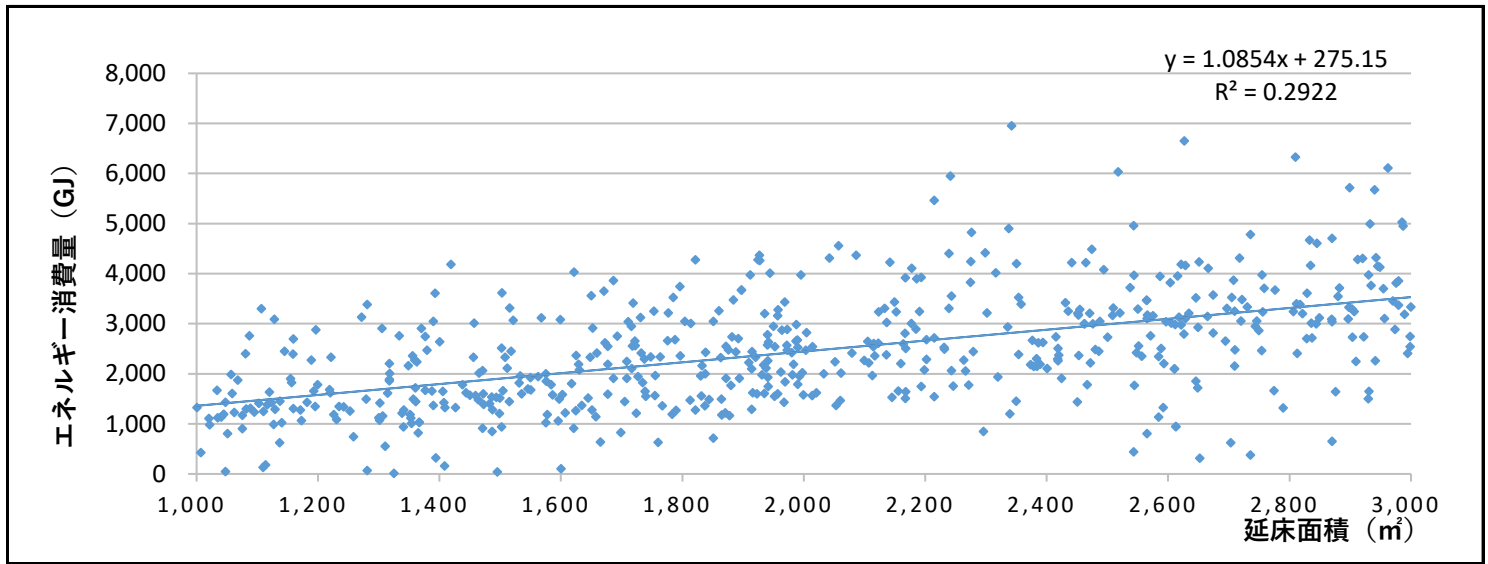
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:339)



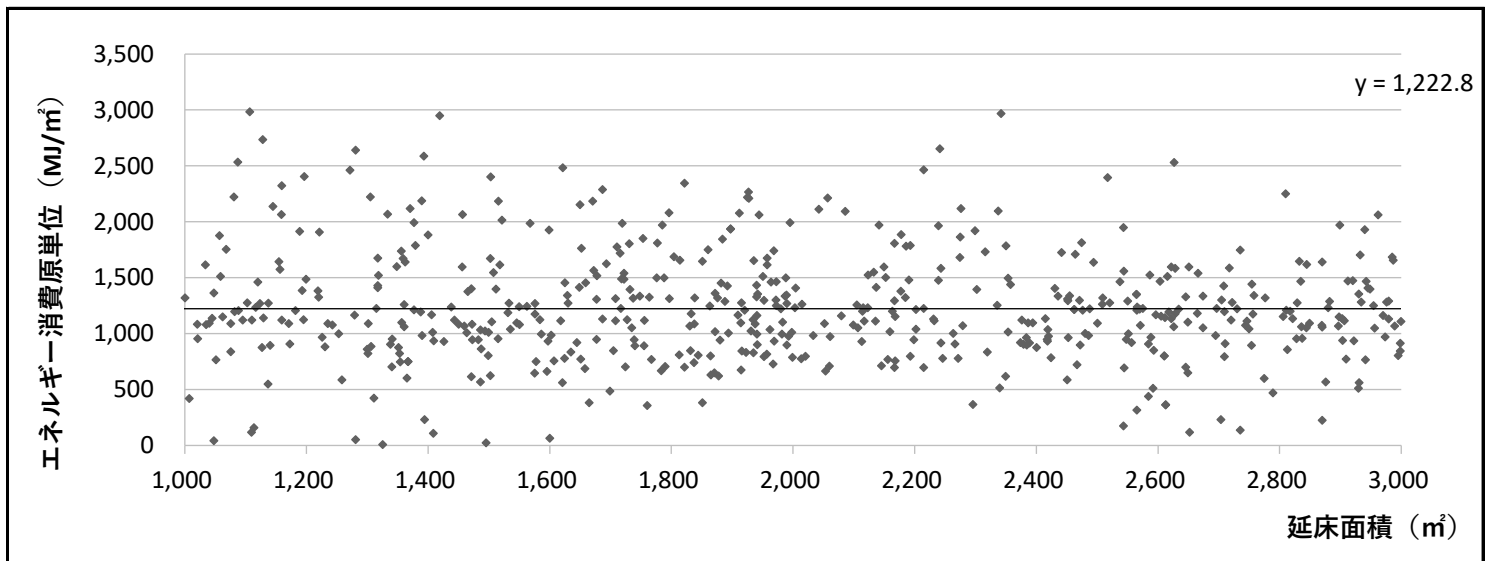
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:320)



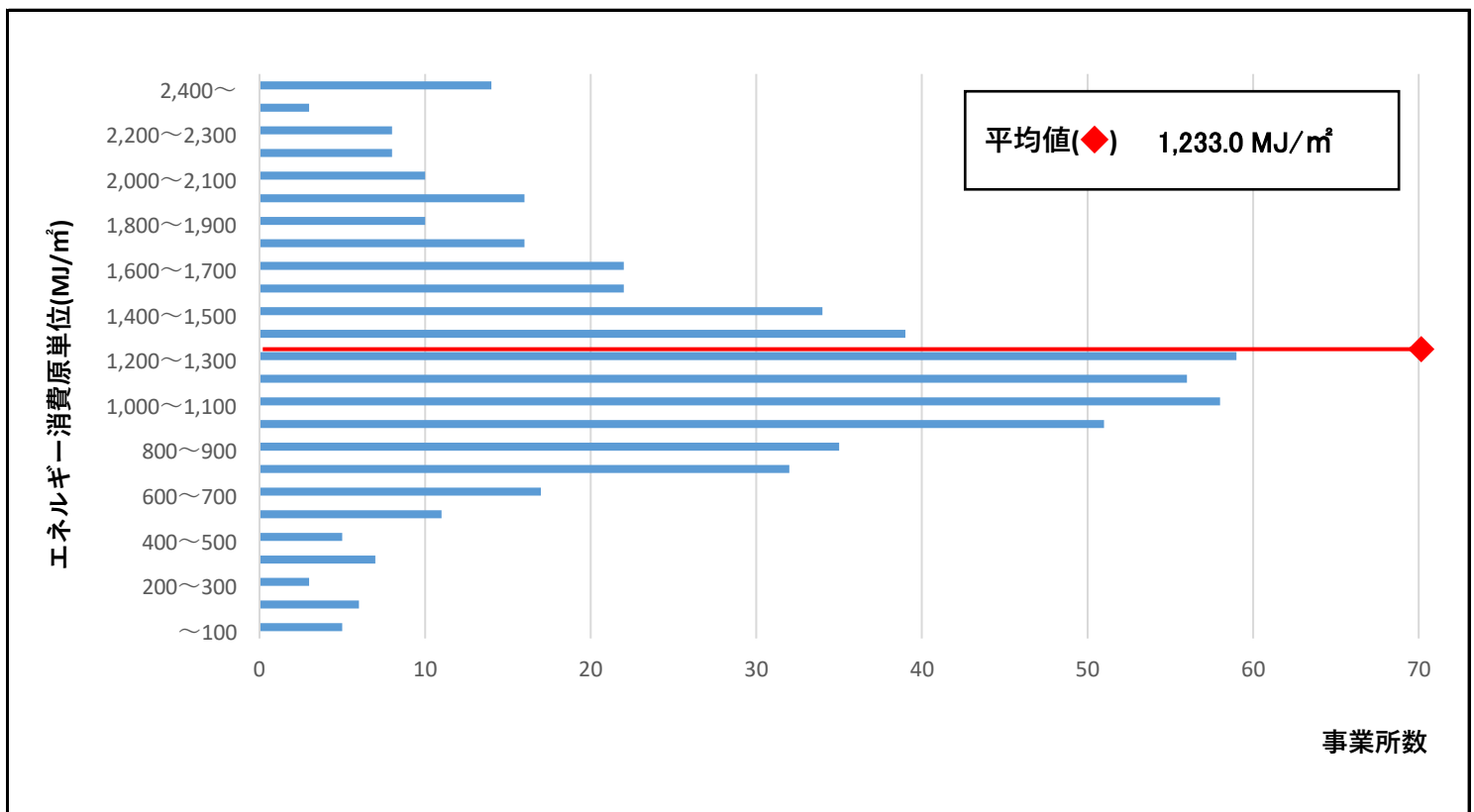
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



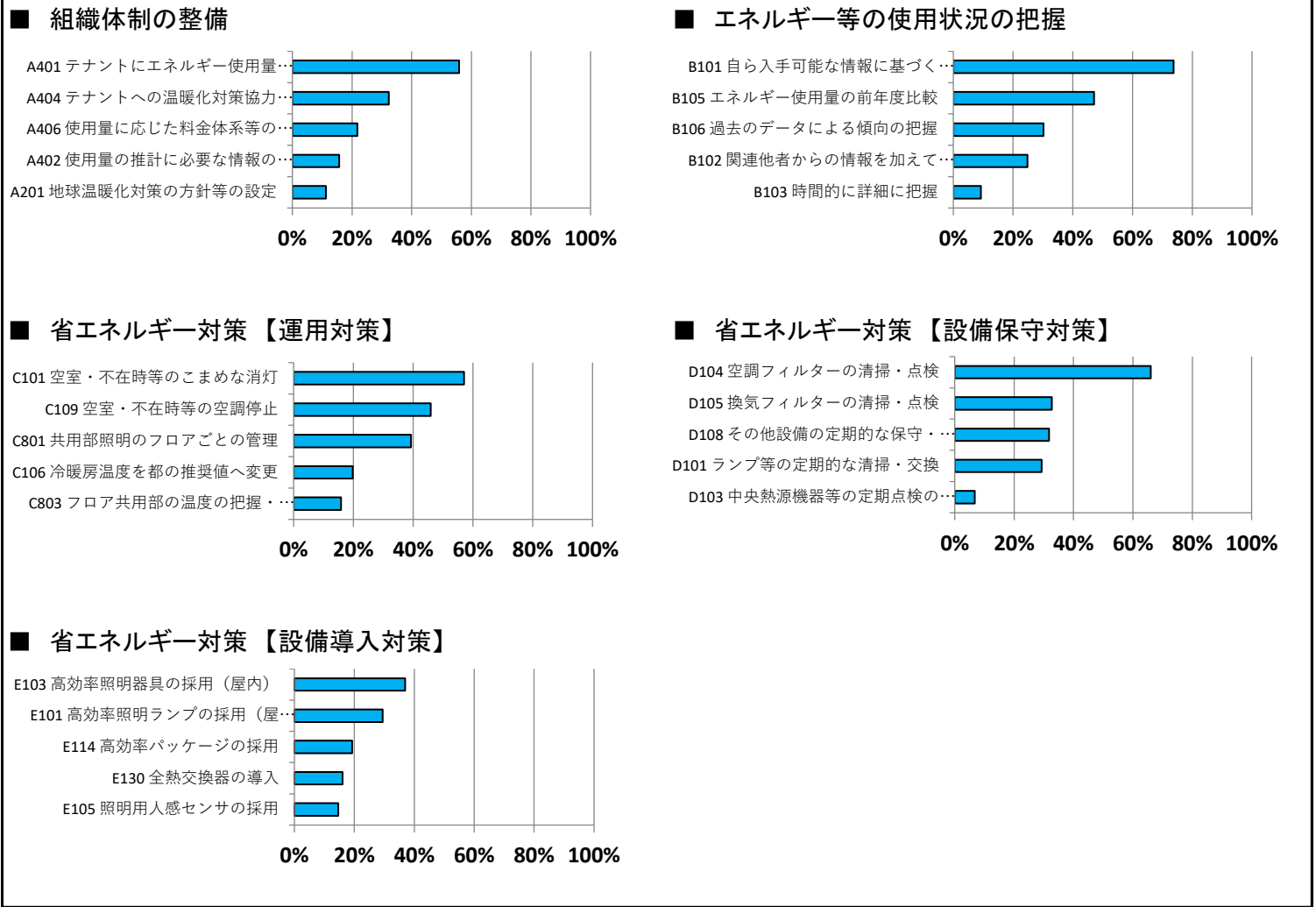
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

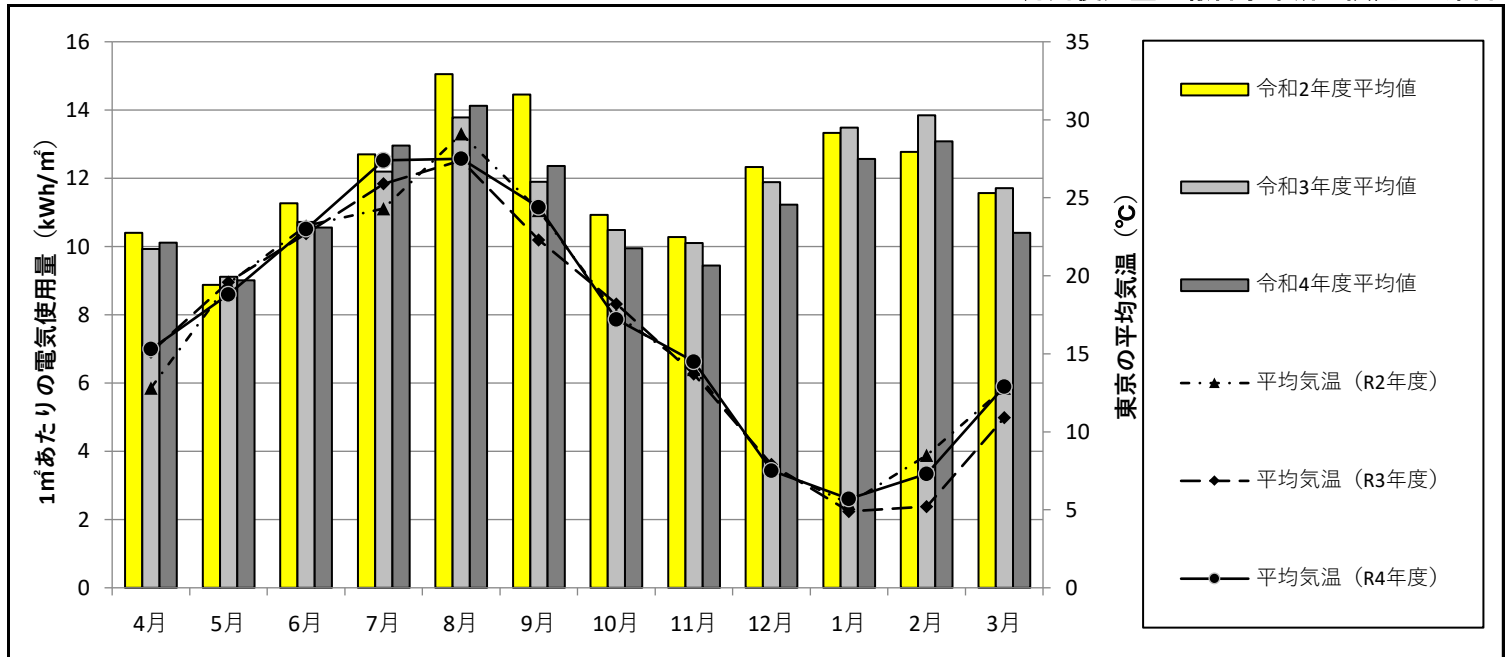


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

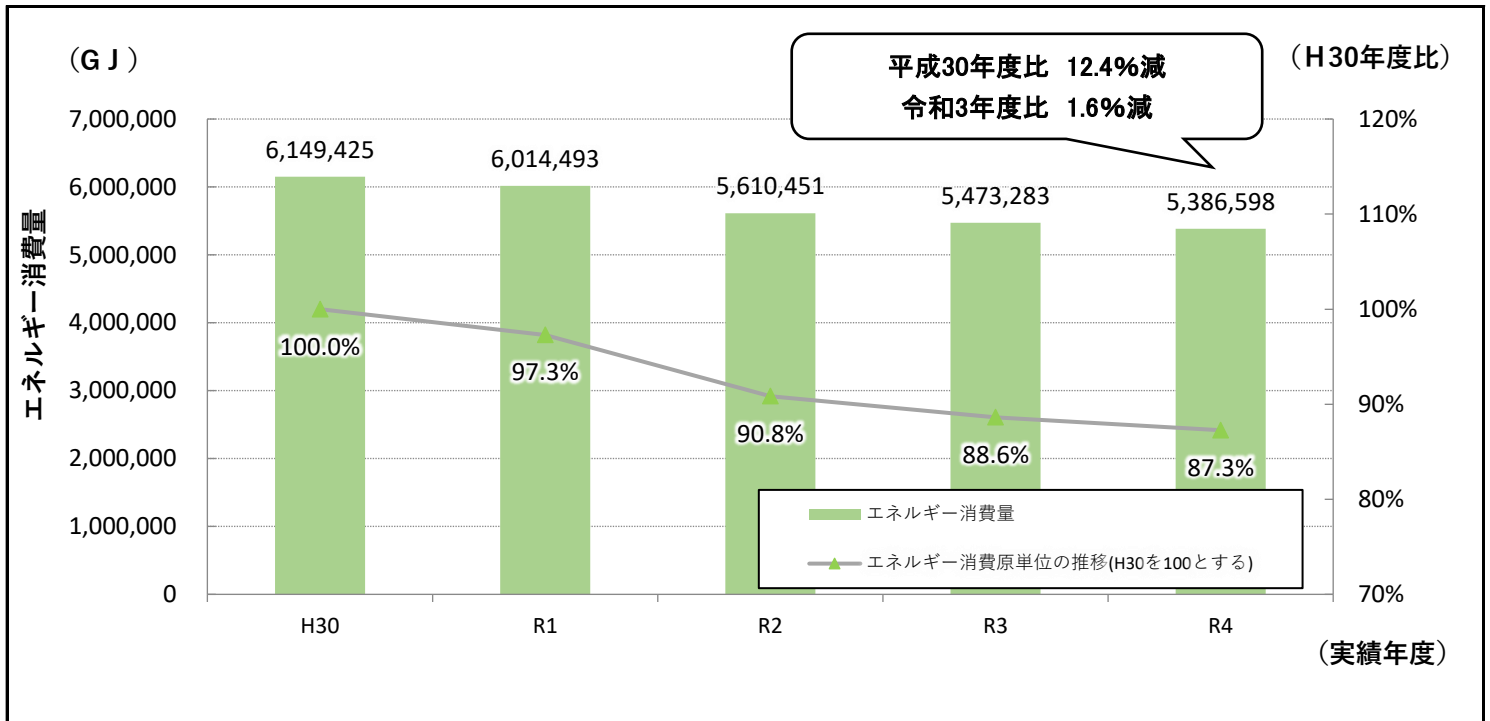
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



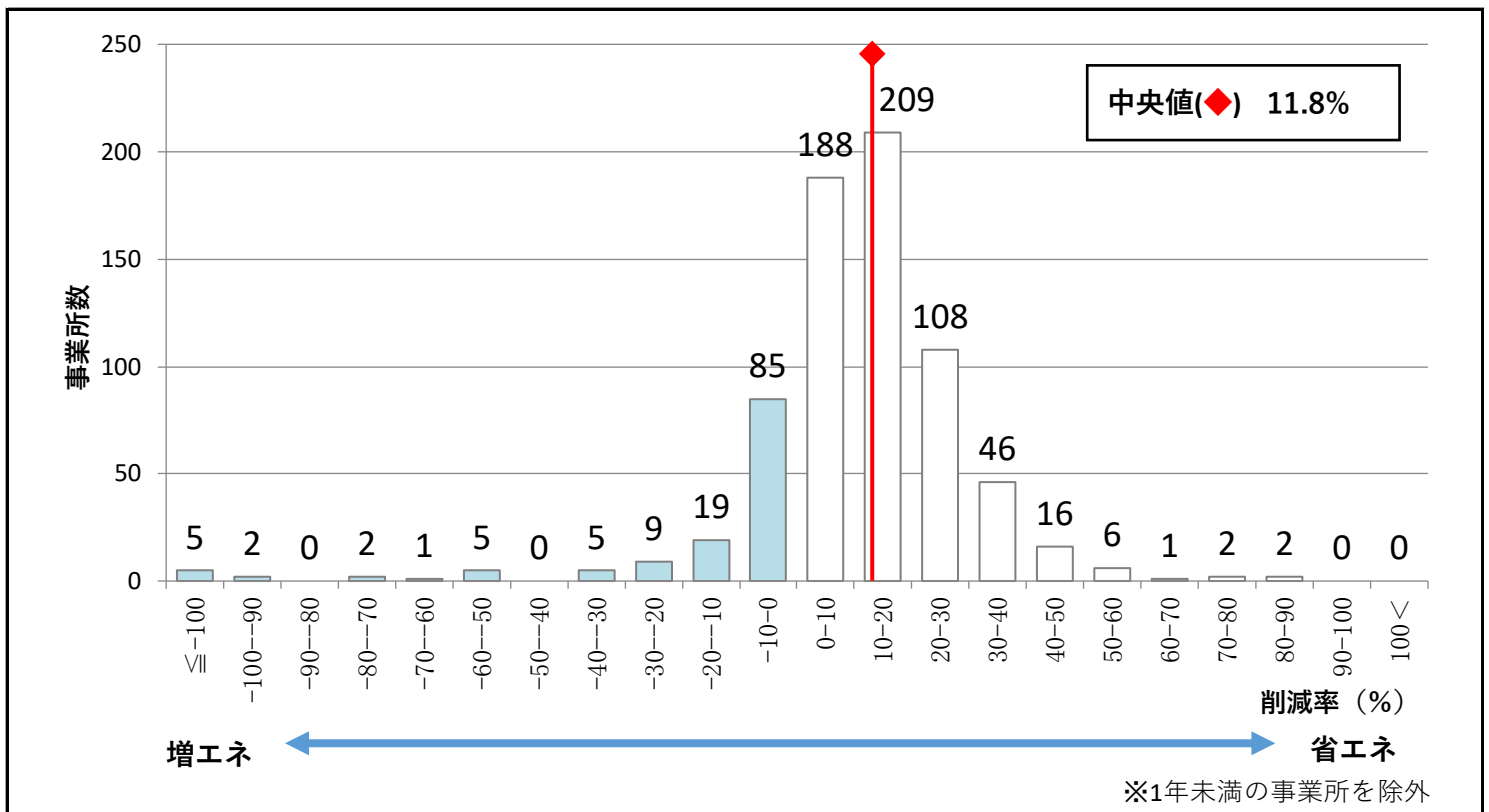
運用改善が主体になりますが、ビル全体の省エネ対策としてはグリーンリース契約を活用した設備改善も検討しましょう。湯沸しやトイレなど、共用部の照明は消し忘れが多いため人感センサーの導入が効果的です。また階段の非常照明は連続点灯となっている事が多いので、オフのときは照度が1/3程度に減光する調光式の人感センサー導入を推奨します。空調の外気負荷削減には全熱交換器(空調換気扇)の導入もご検討ください。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「6911 貸事務所業」 ・報告範囲の主たる用途「事務所」 ・所有形態「自己所有」 ・報告範囲「建物の全部」 ・延床面積 3,000㎡以上10,000㎡未満
テナントビル（オフィス系・中規模）	985	940	

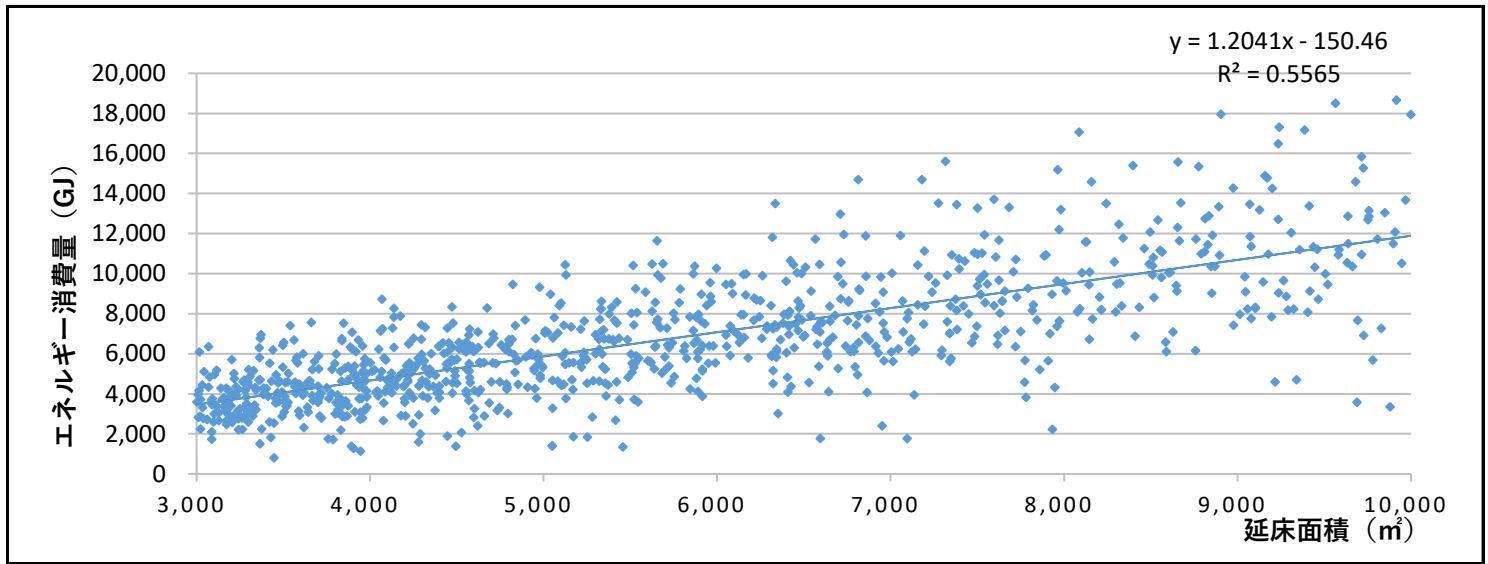
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:747)



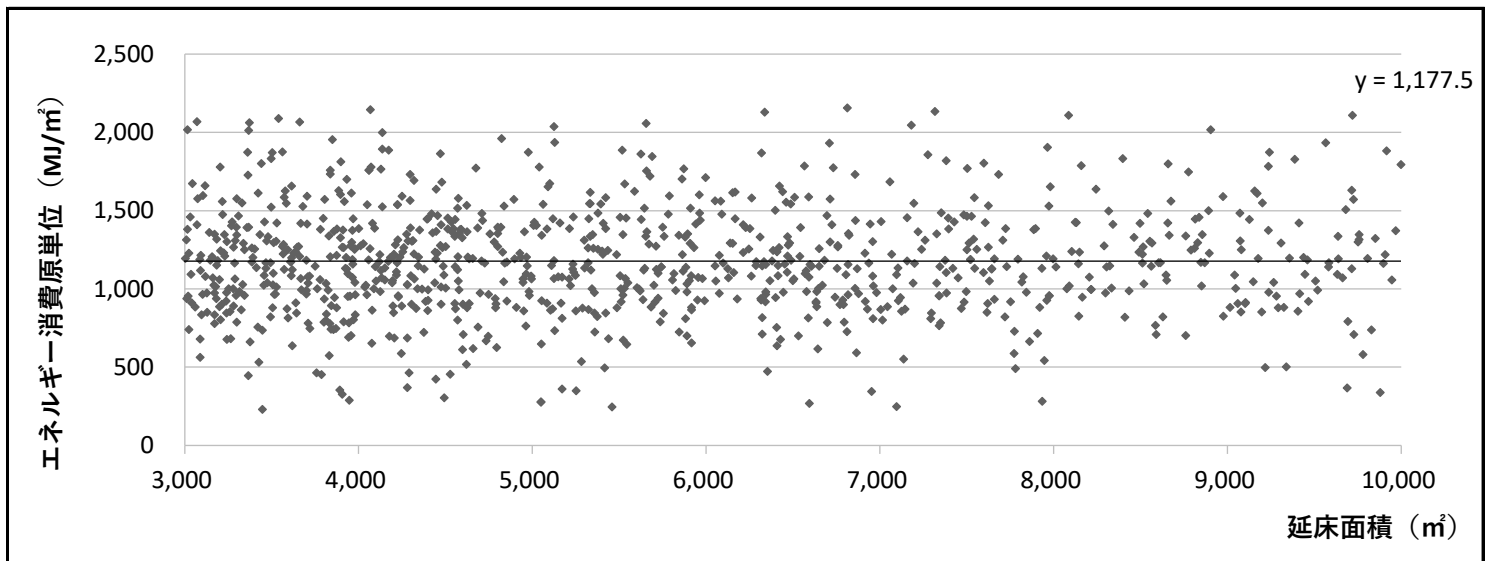
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:711)



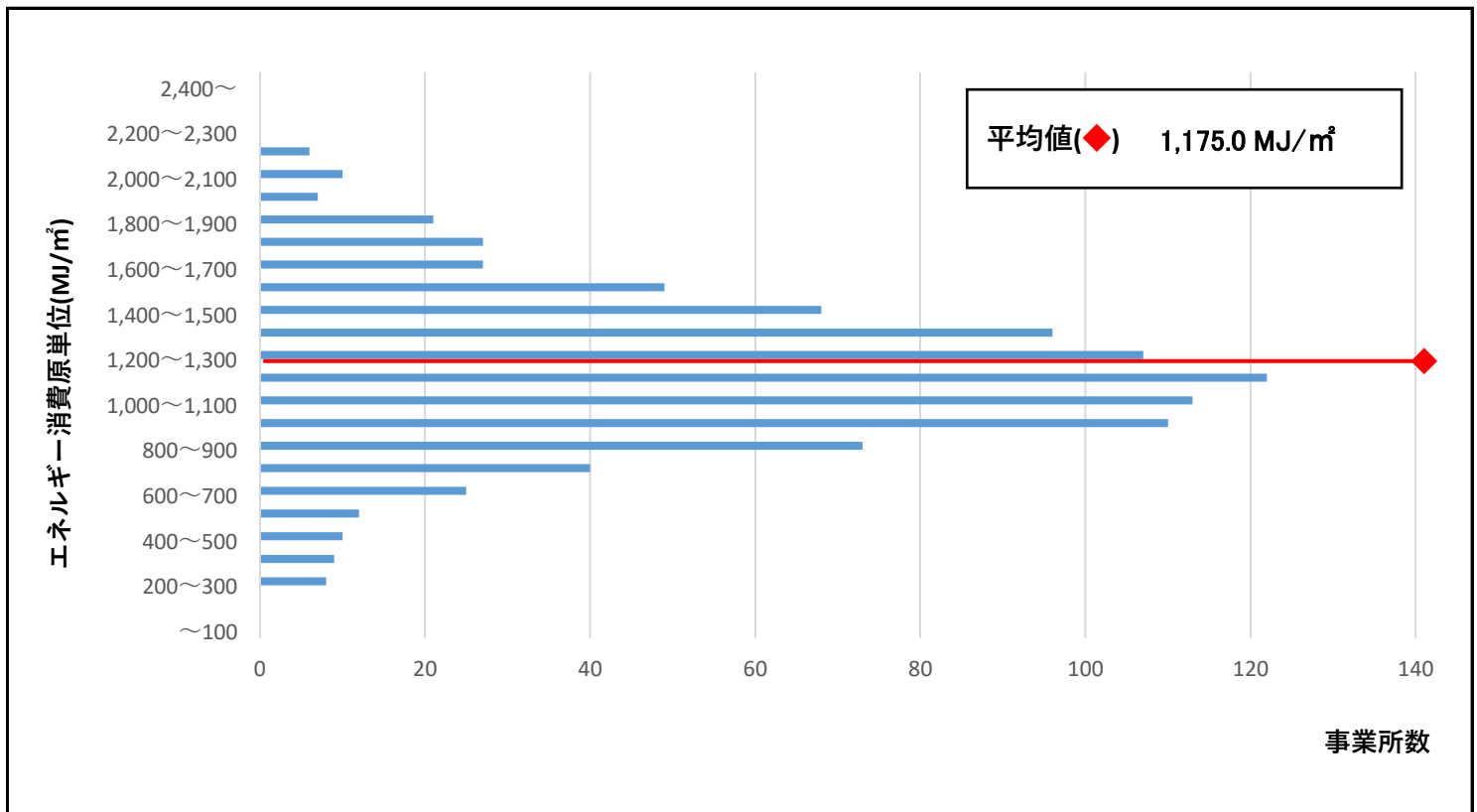
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



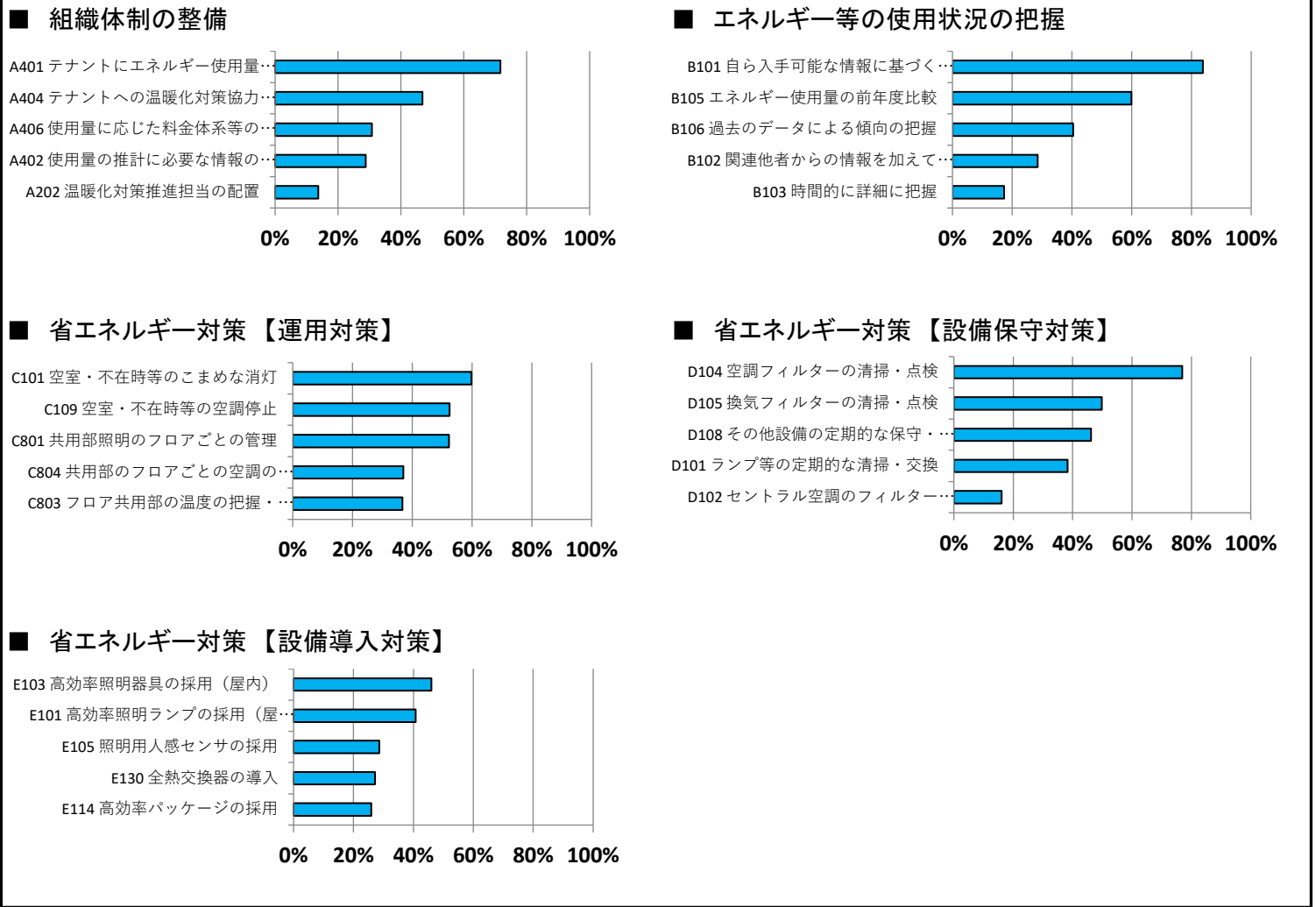
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

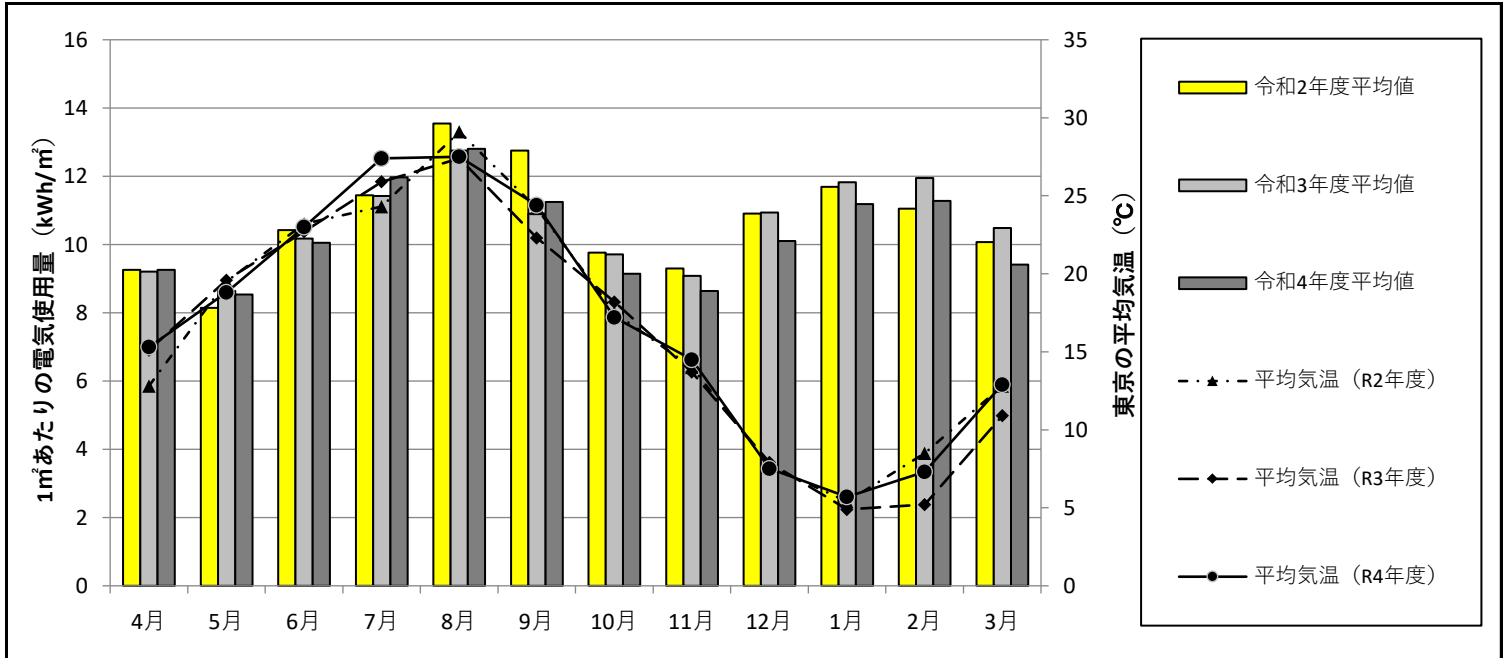


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

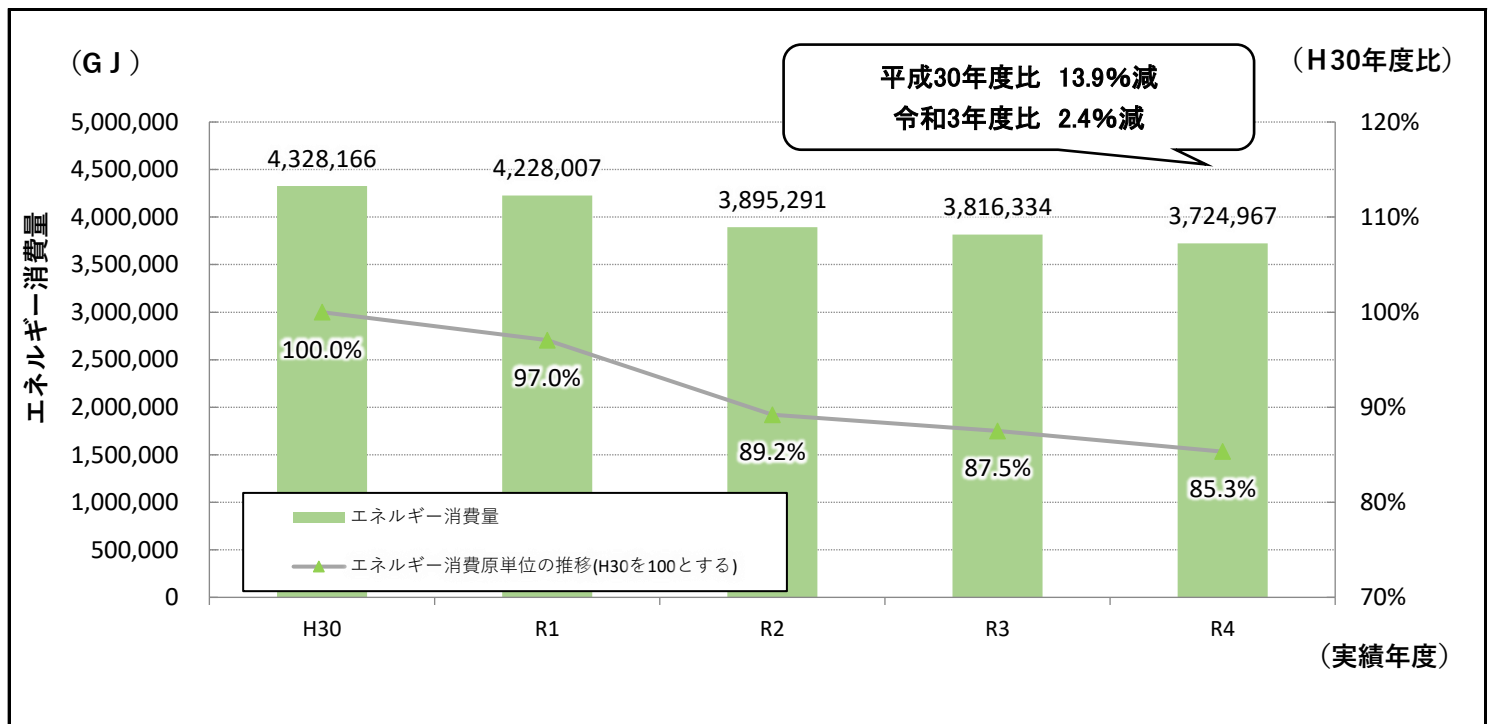
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



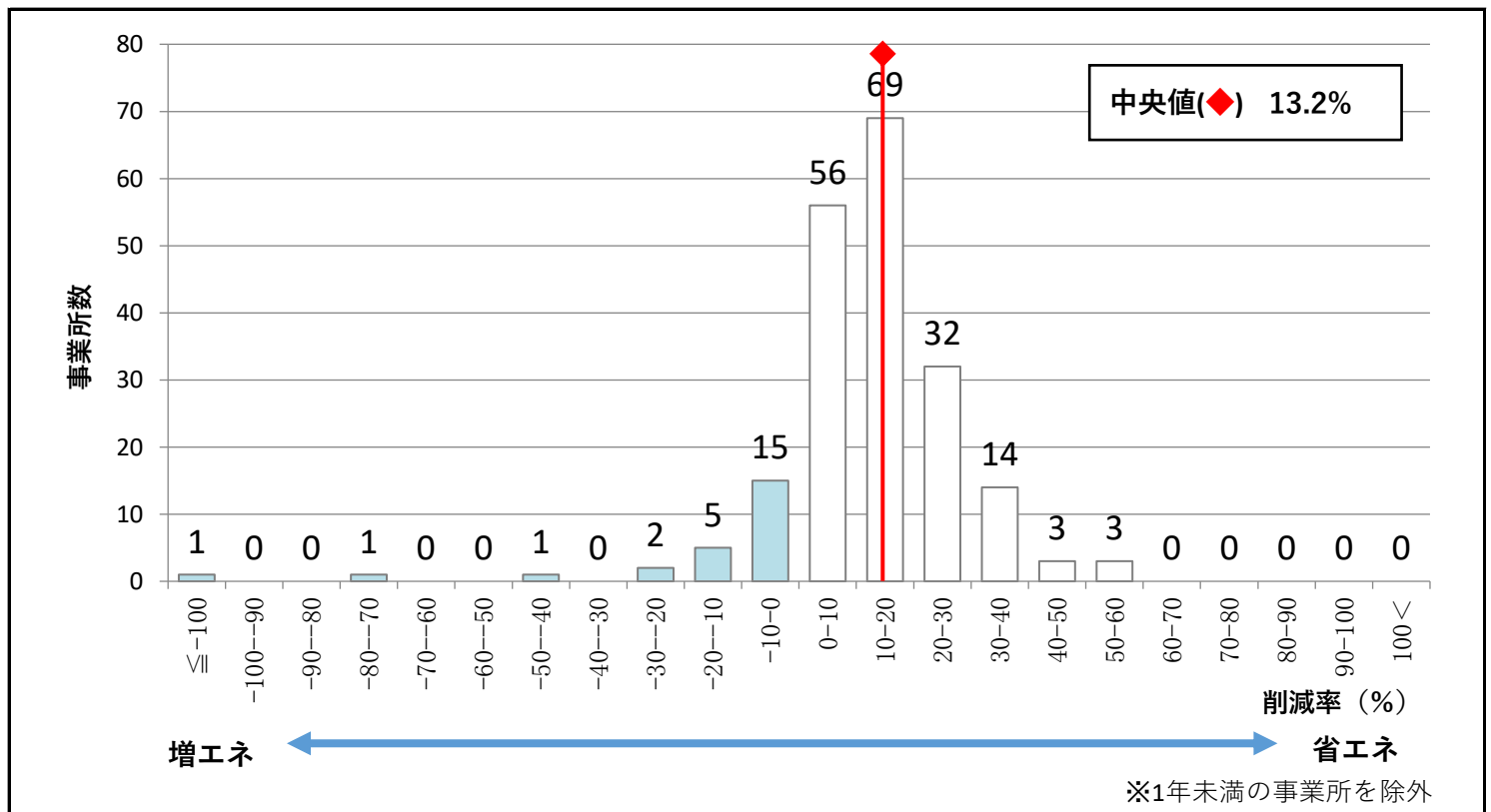
運用改善が主体になりますが、ビル全体の省エネ対策としてはグリーンリース契約を活用した設備改善も検討しましょう。湯沸しやトイレなど、共用部の照明は消し忘れが多いため人感センサーの導入が効果的です。また階段の非常照明は連続点灯となっている事が多いので、オフのときは照度が1/3程度に減光する調光式の人感センサー導入を推奨します。空調の外気負荷削減には全熱交換器(空調換気扇)の導入もご検討ください。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「6911 貸事務所業」 ・報告範囲の主たる用途「事務所」 ・所有形態「自己所有」 ・報告範囲「建物の全部」 ・延床面積 10,000㎡以上20,000㎡未満
テナントビル(オフィス系・準大規模)	249	232	

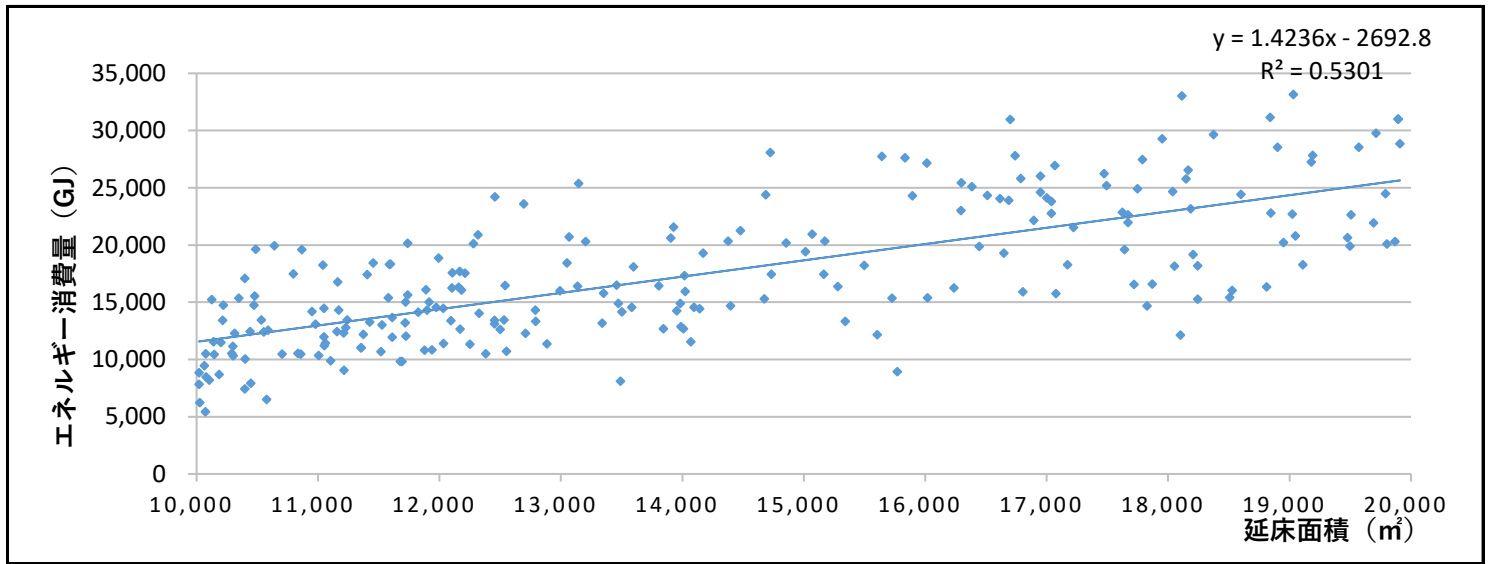
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:210)



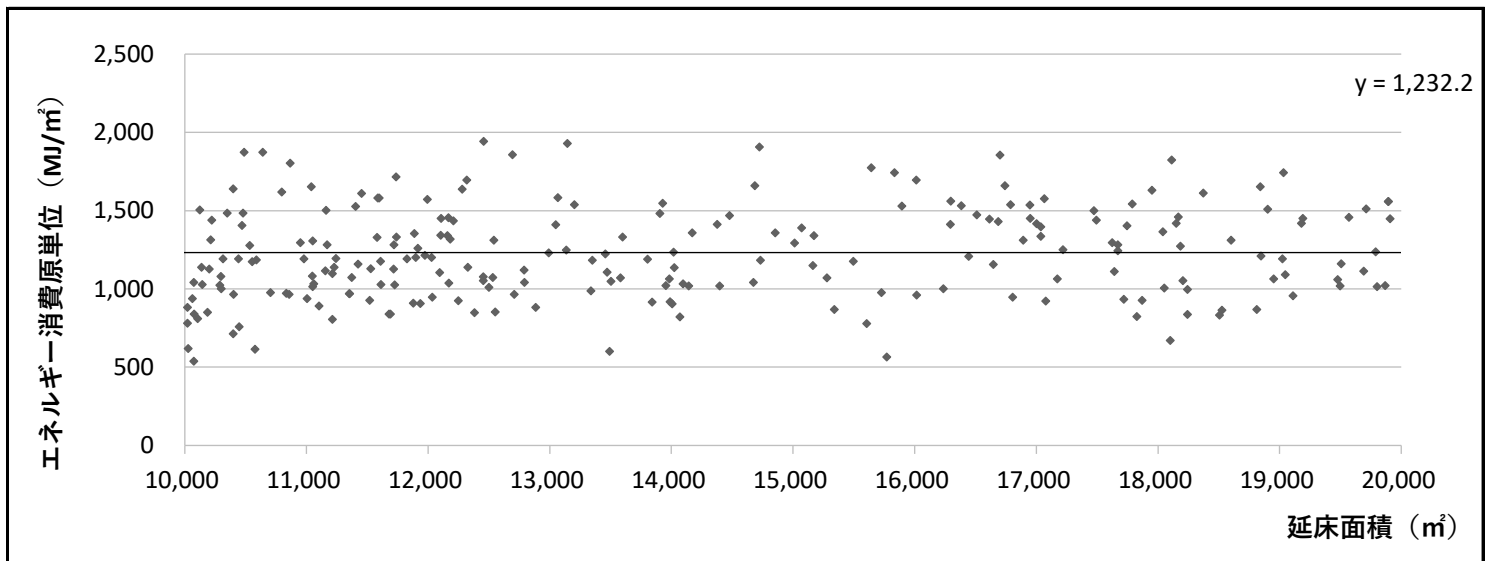
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:202)



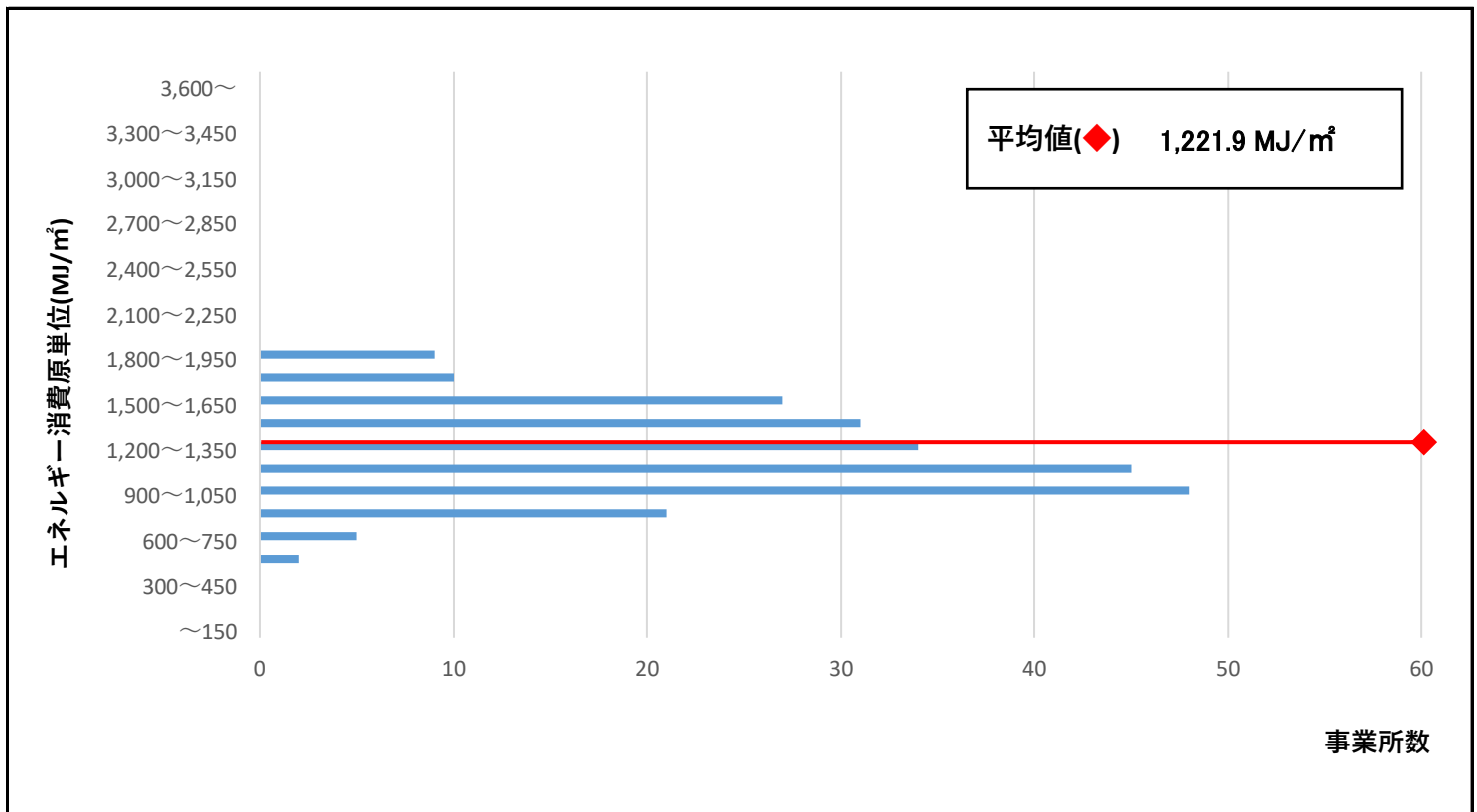
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



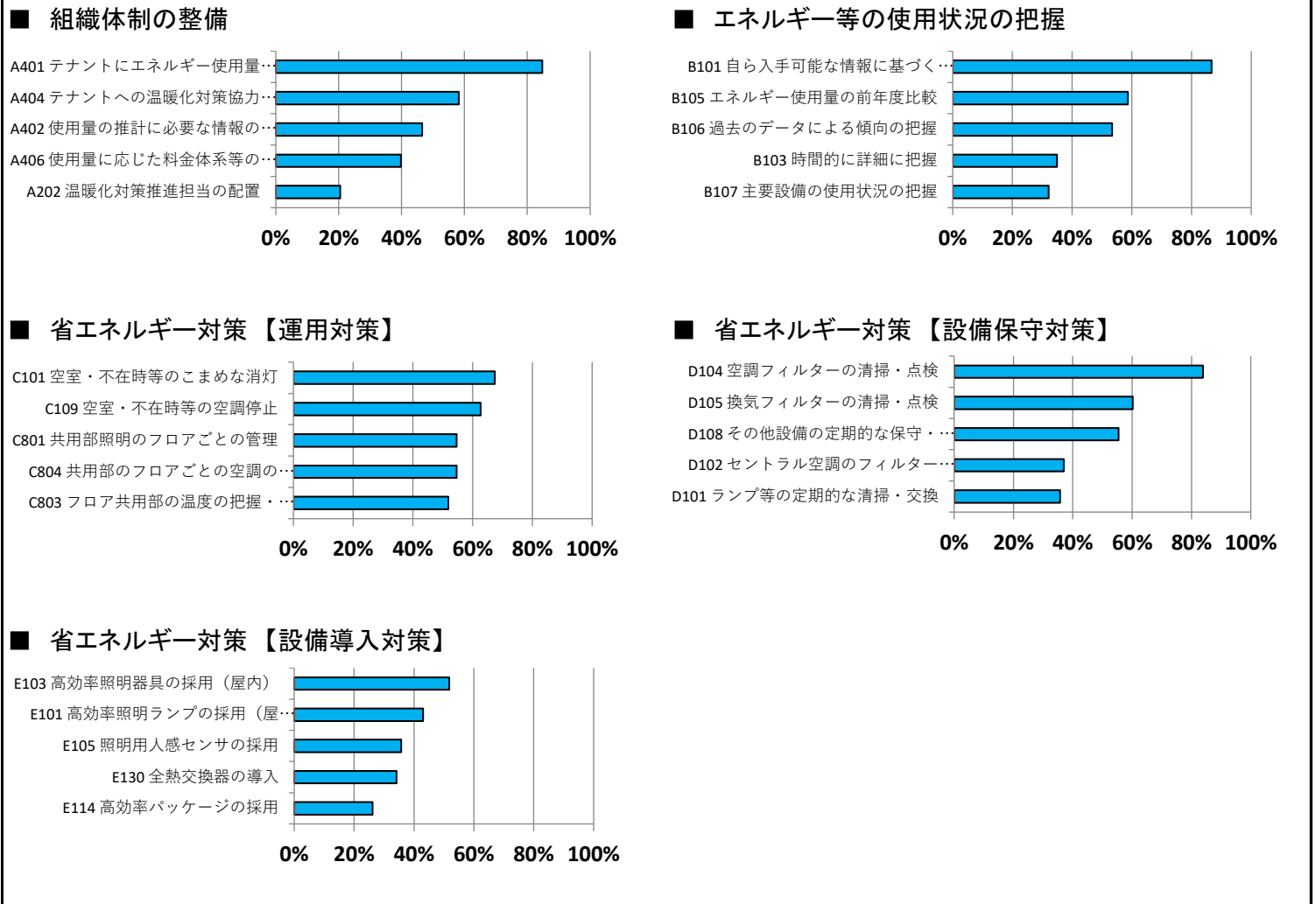
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

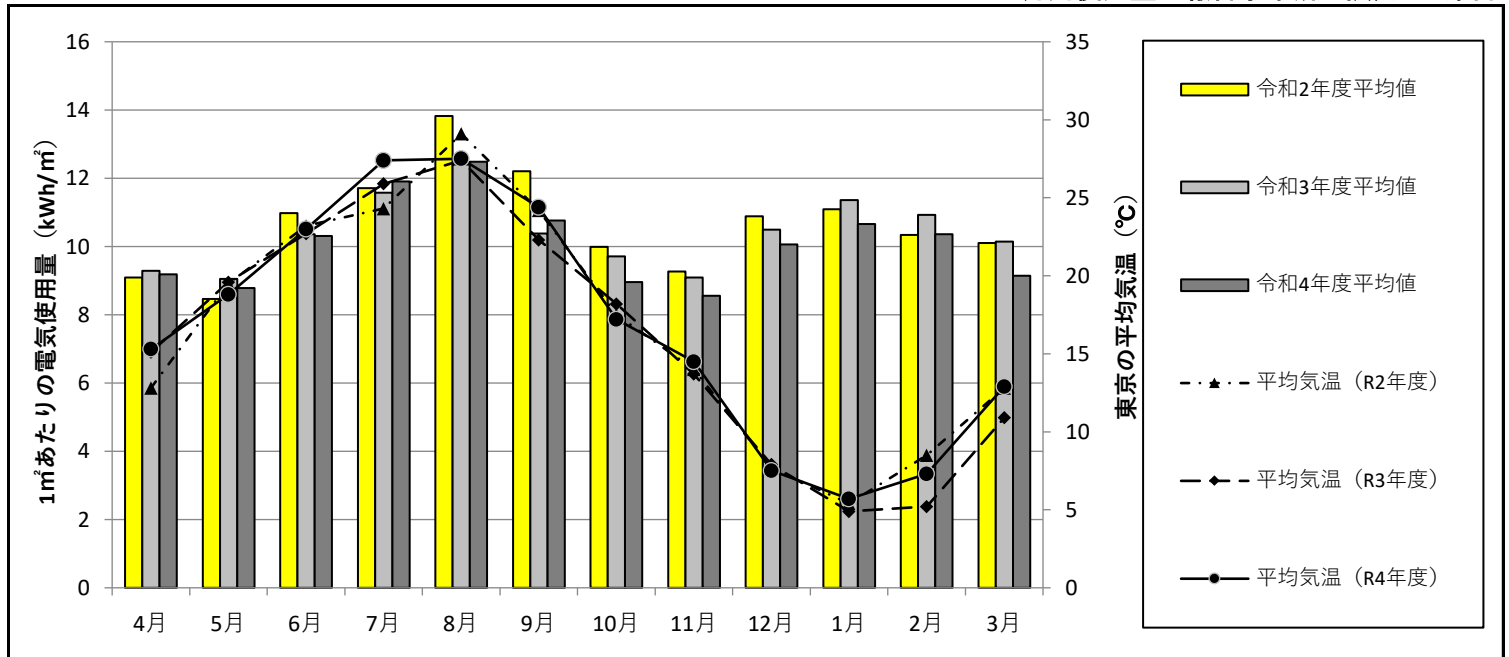


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

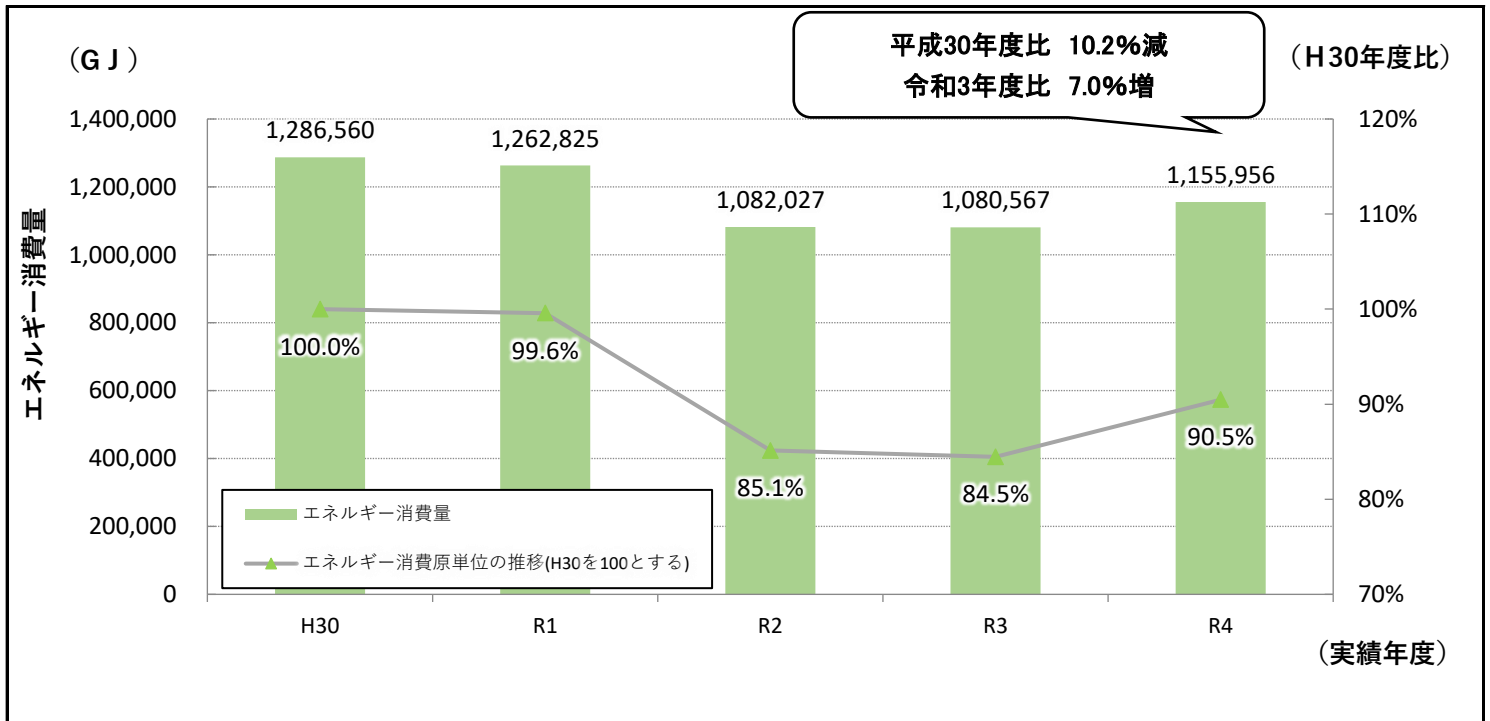
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



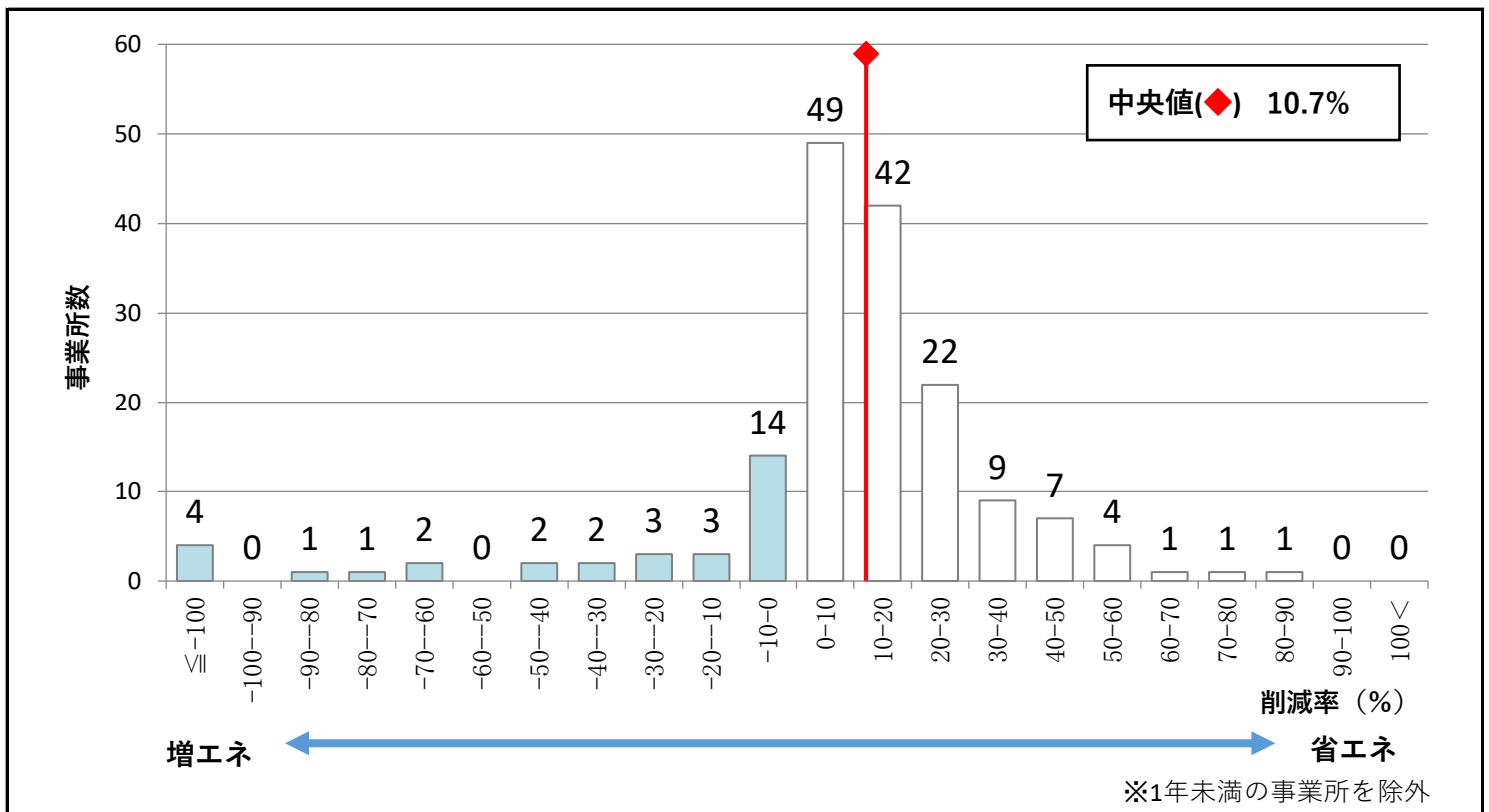
各テナントに対して室温設定の緩和を啓蒙して空調負荷の削減を図りましょう。また外気導入がセントラル方式の場合は、ビル内のCO2濃度をセンサーで検知し、濃度の低い場合は外気導入量をファンのインバータ制御で削減する対策を検討しましょう。テレワークの普及で在室人員が減少している場合は、執務フロアを集約して無駄なエアコンや照明の稼働を減らしましょう。ビル全体の省エネはテナントの協力が不可欠となります。テナント会議等を通して省エネ活動の啓蒙を図ることがポイントになります。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「6911 貸事務所業」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設(物販)」 「商業施設(飲食)」 「複合施設」 ・所有形態「自己所有」 ・報告範囲「建物の全部」 ・延床面積 1,000㎡以上3,000㎡未満
テナントビル(商業複合系・小規模)	237	227	

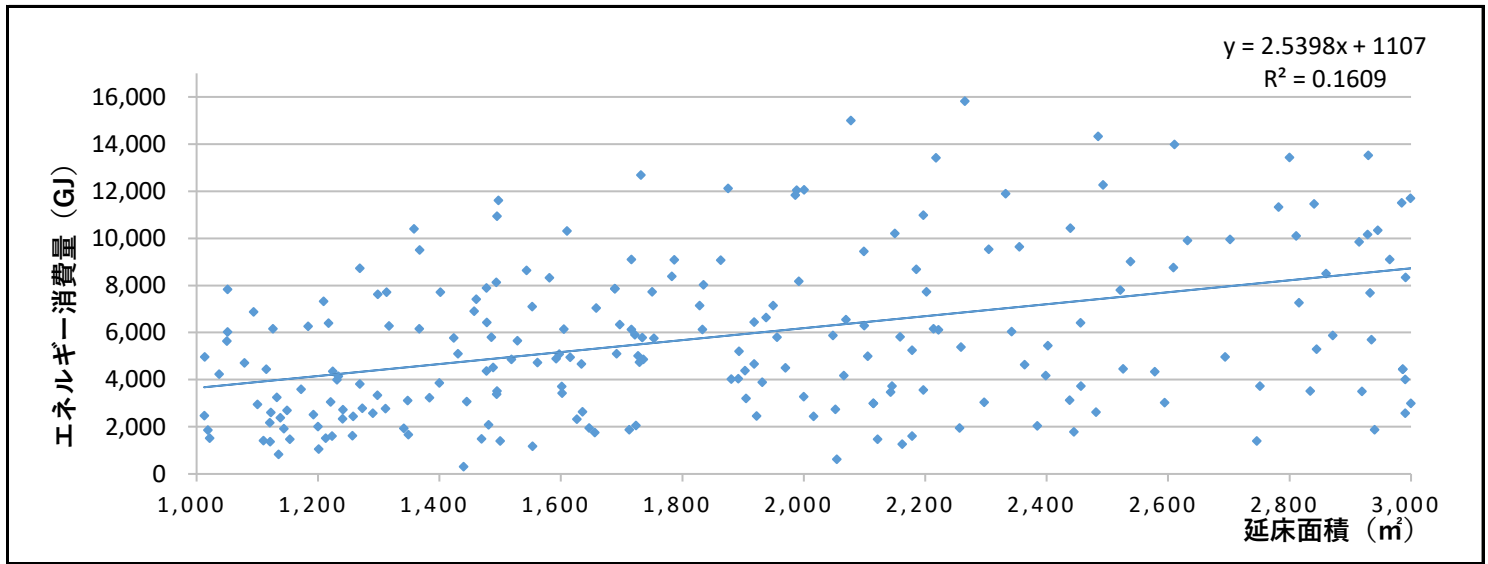
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:174)



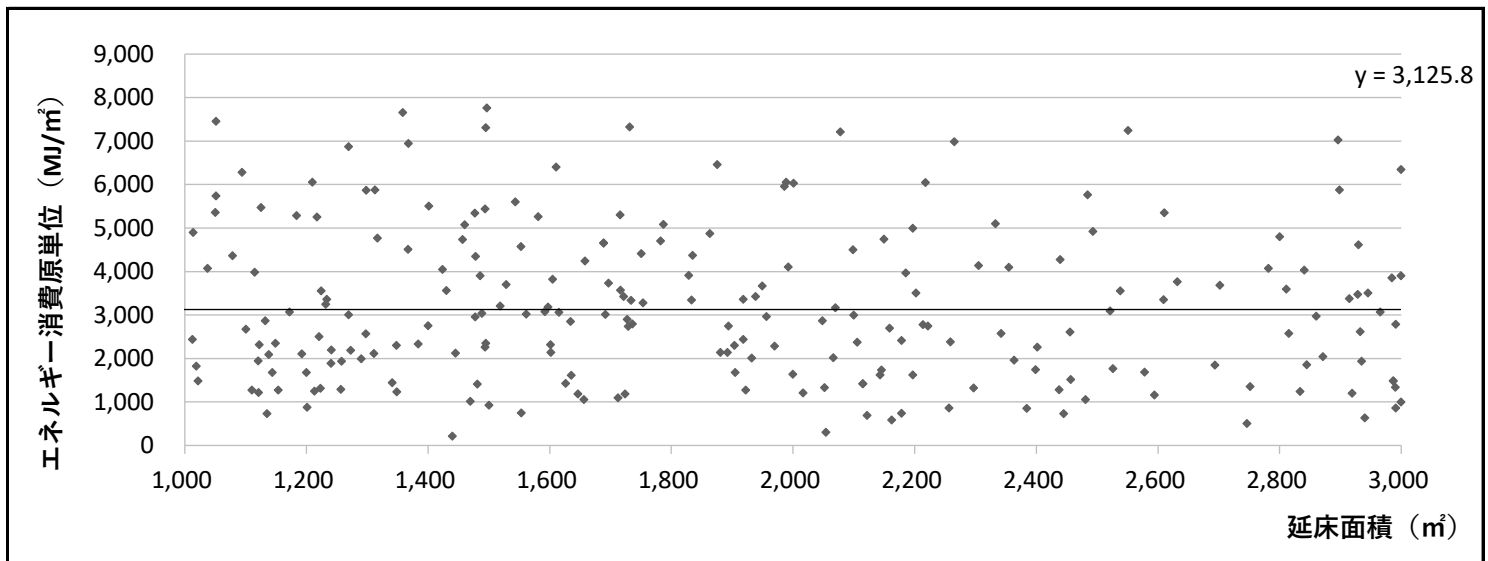
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:168)



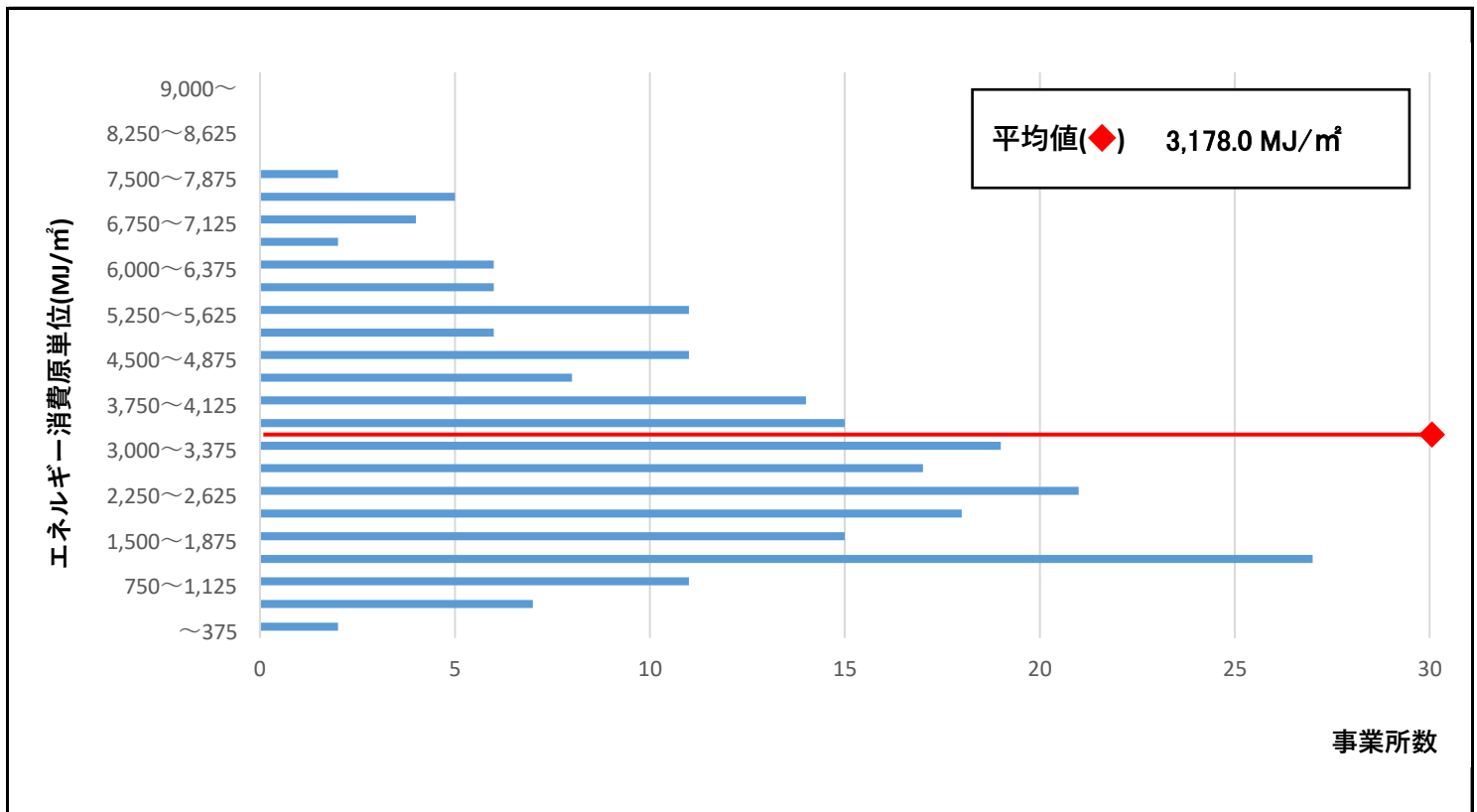
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



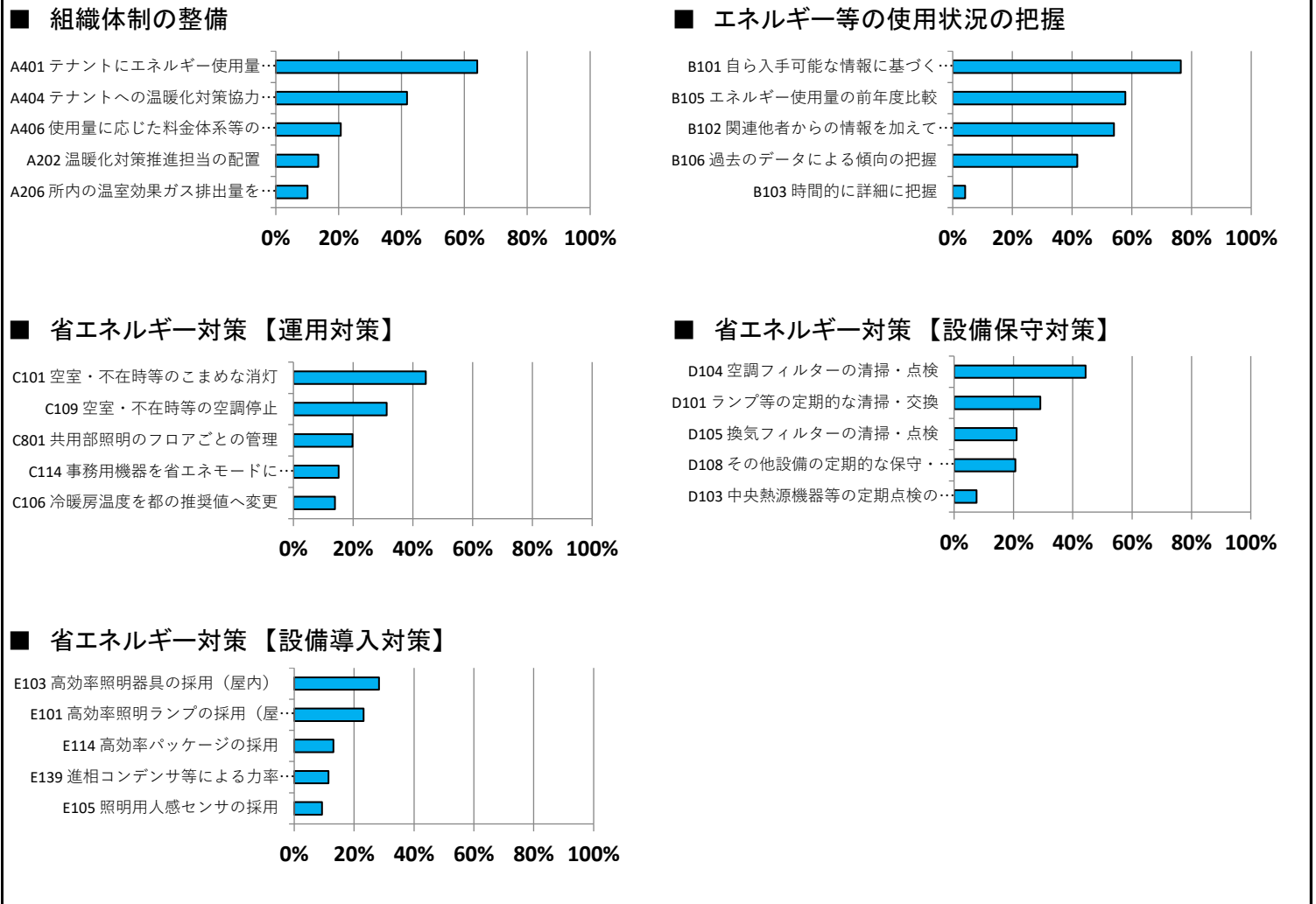
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

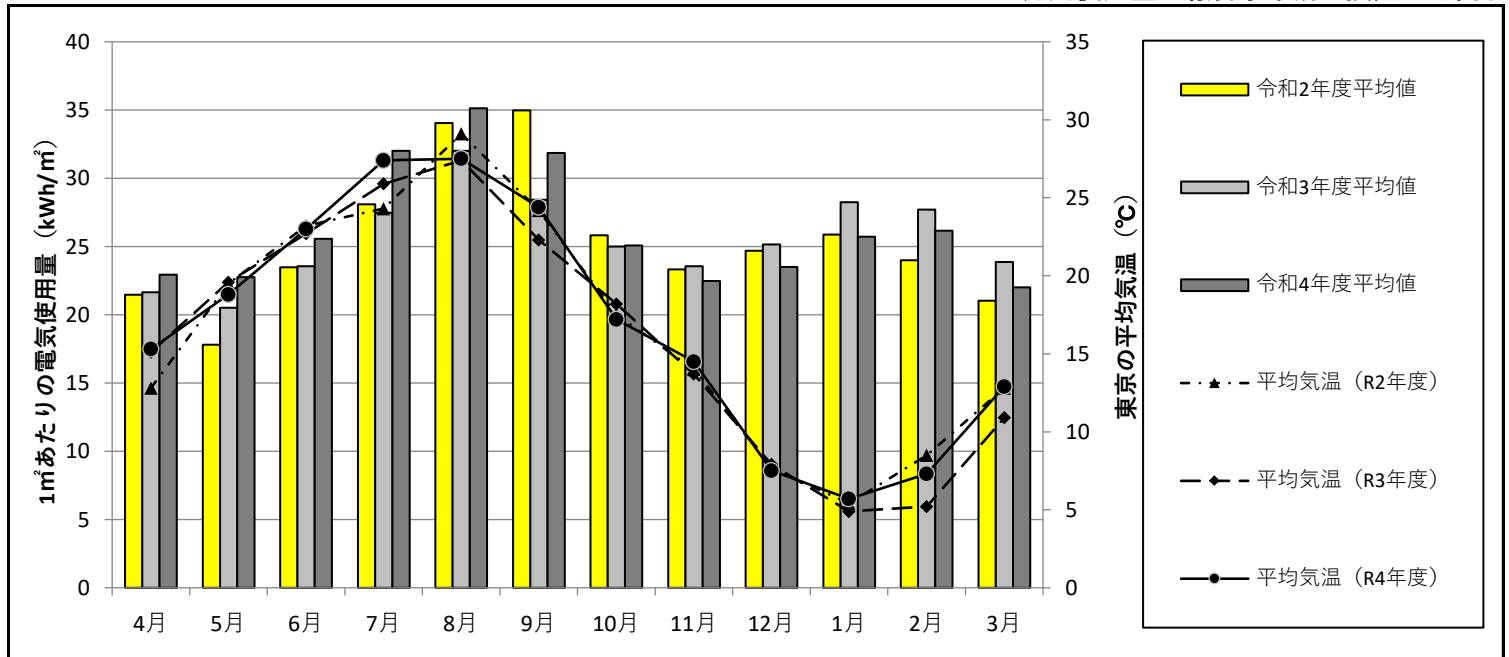


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

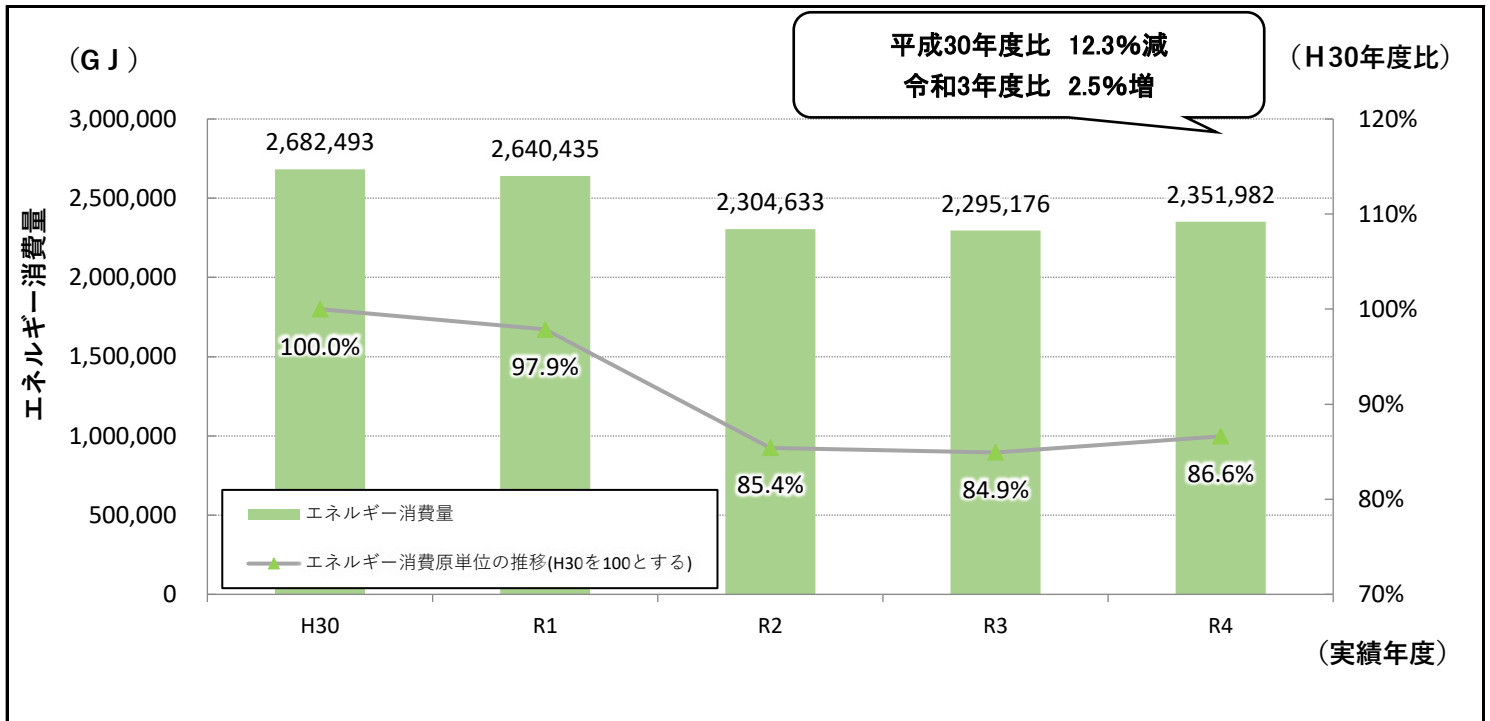
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



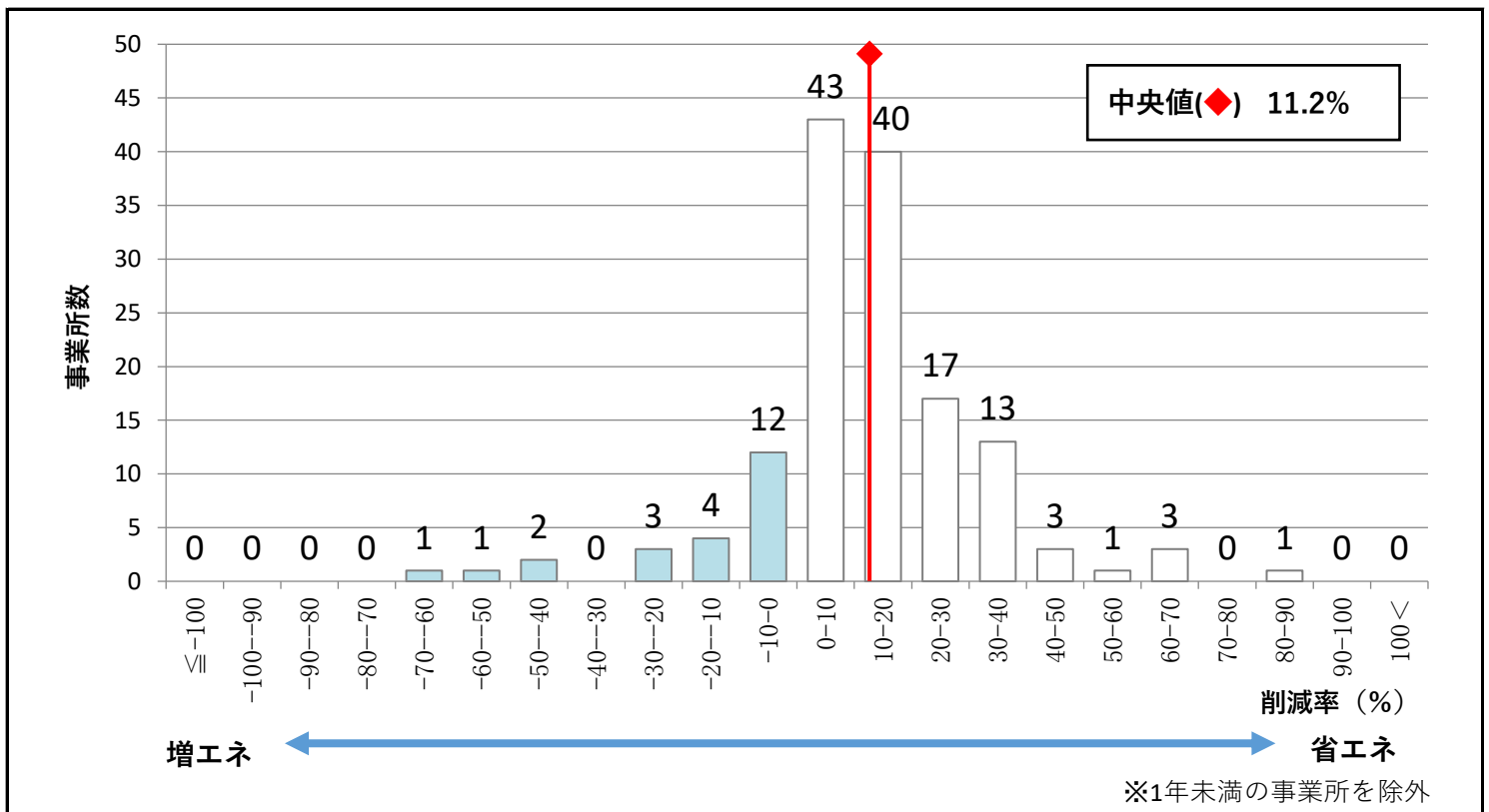
一般に共用部は狭く、使用エネルギーの8~9割がテナントで消費されているケースが多くなります。診療所や店舗など色々な業態のテナントが入居していますのでビル全体の省エネを図るためにはテナントの協力が欠かせません。各テナントのエネルギー費用の徴収は面積割などの共益費扱いではなく、子メーターで計測し、テナントの省エネ対策の効果が光熱水費に反映するようにすることが重要です。テナント会議(防災会議の中で少しの時間を割いて行っても可)を開催し、経営に与える省エネ活動のメリットや具体的な省エネ策の紹介等を行うことで、テナントの独自活動の後押しとなり、ビル全体の省エネが進みます。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「6911 貸事務所業」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設(物販)」 「商業施設(飲食)」 「複合施設」 ・所有形態「自己所有」 ・報告範囲「建物の全部」 ・延床面積 3,000㎡以上10,000㎡未満
テナントビル(商業複合系・中規模)	185	179	

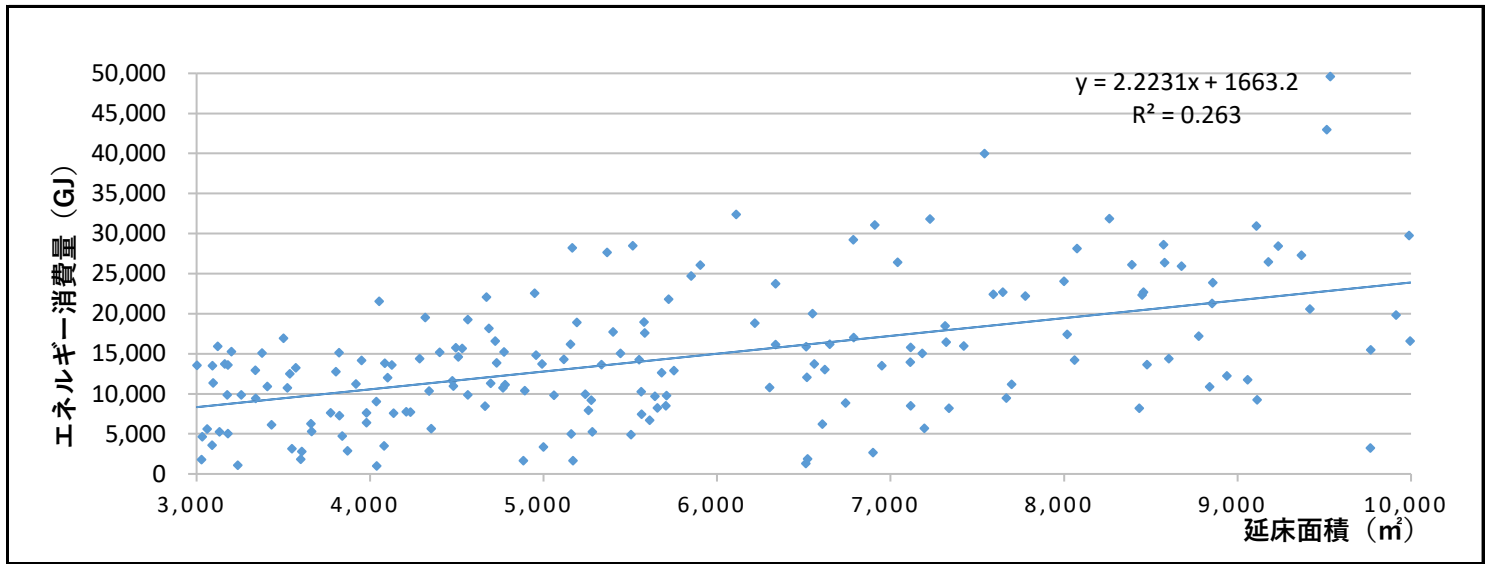
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:150)



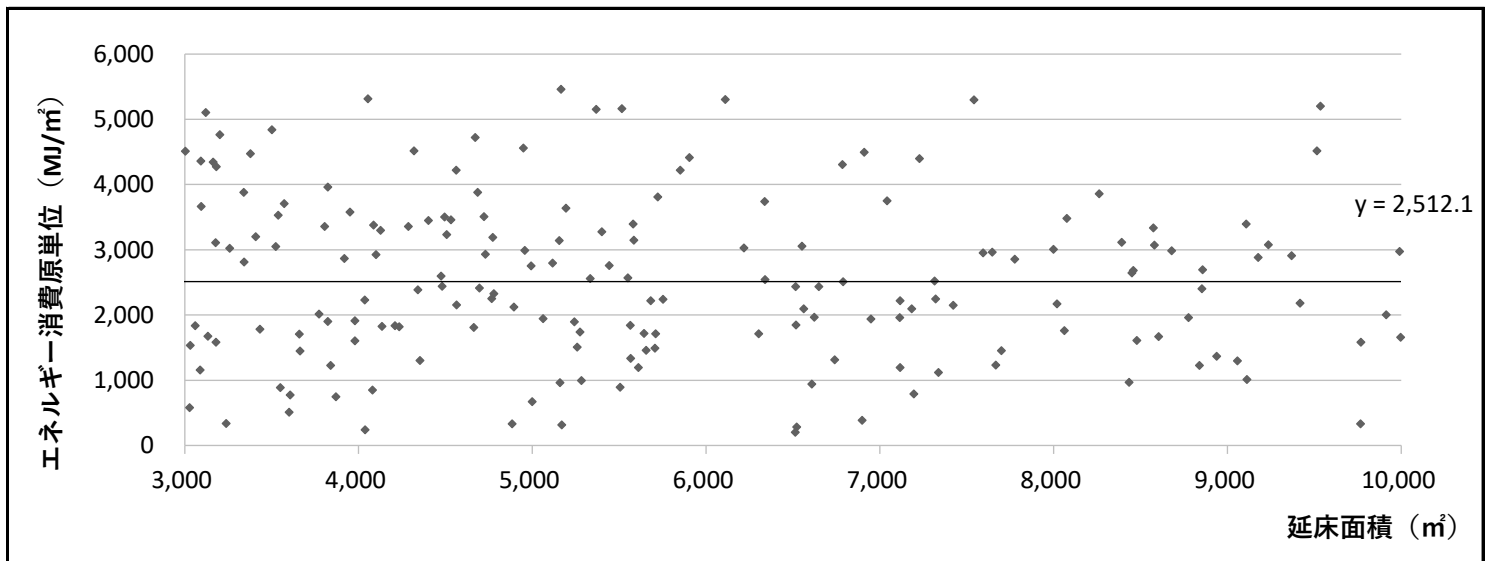
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:144)



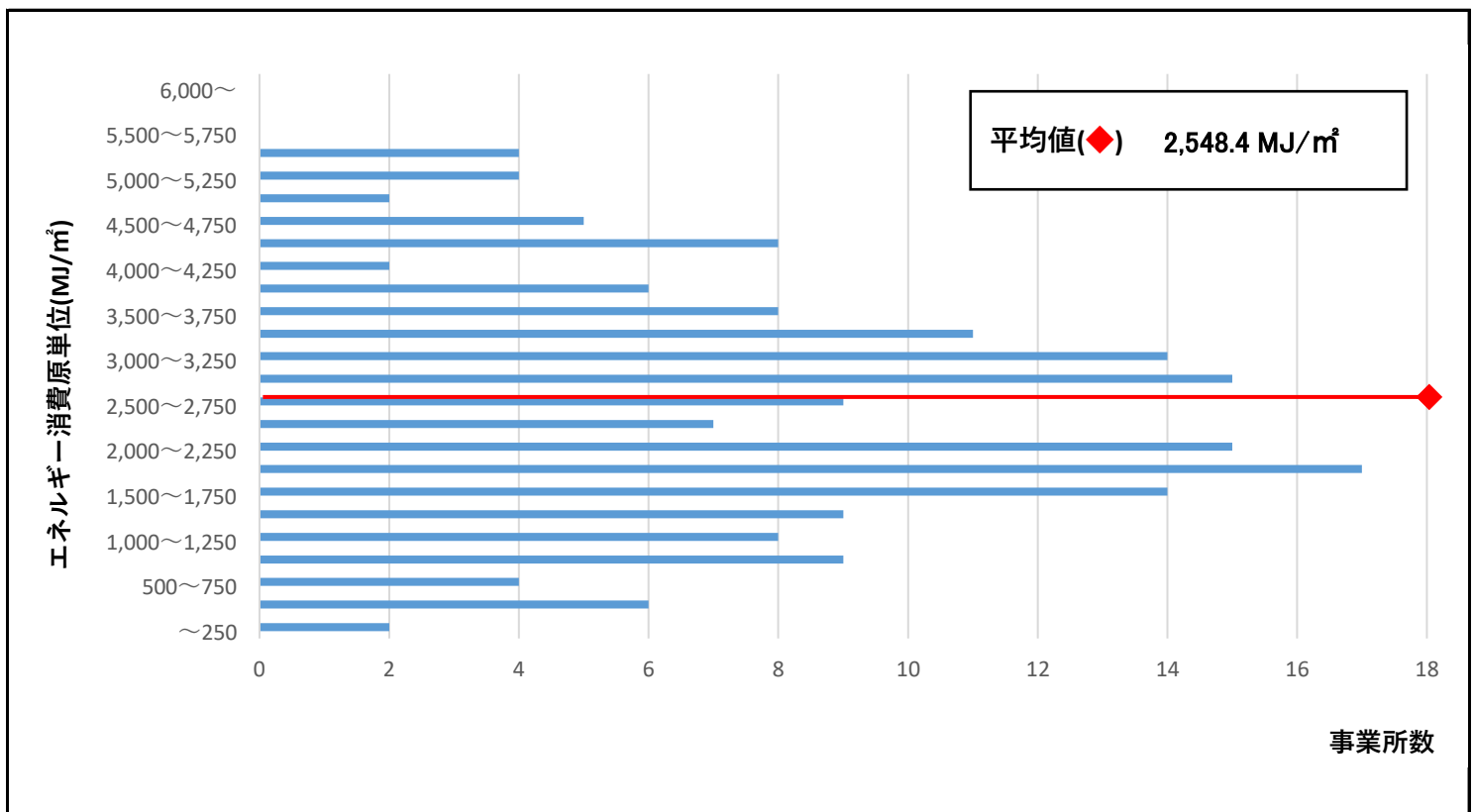
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



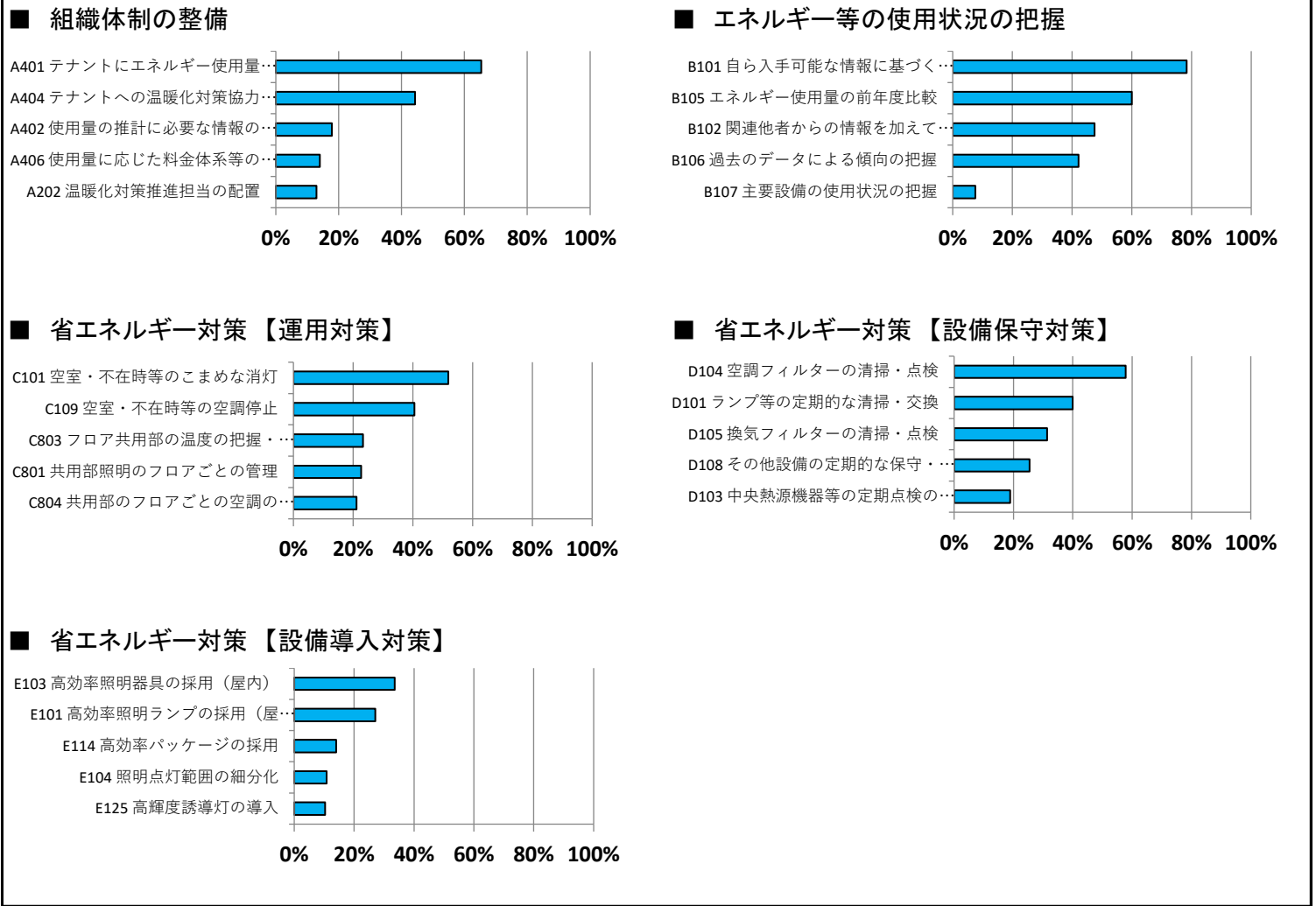
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

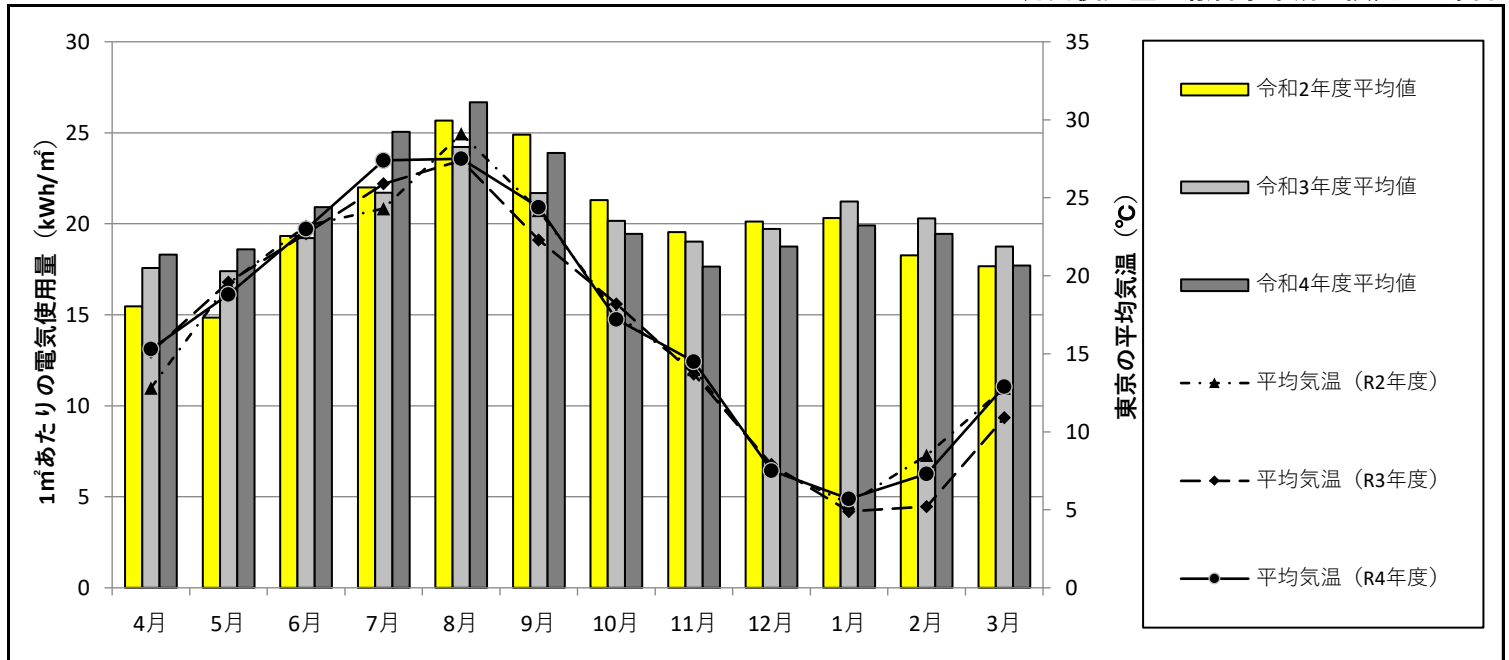


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

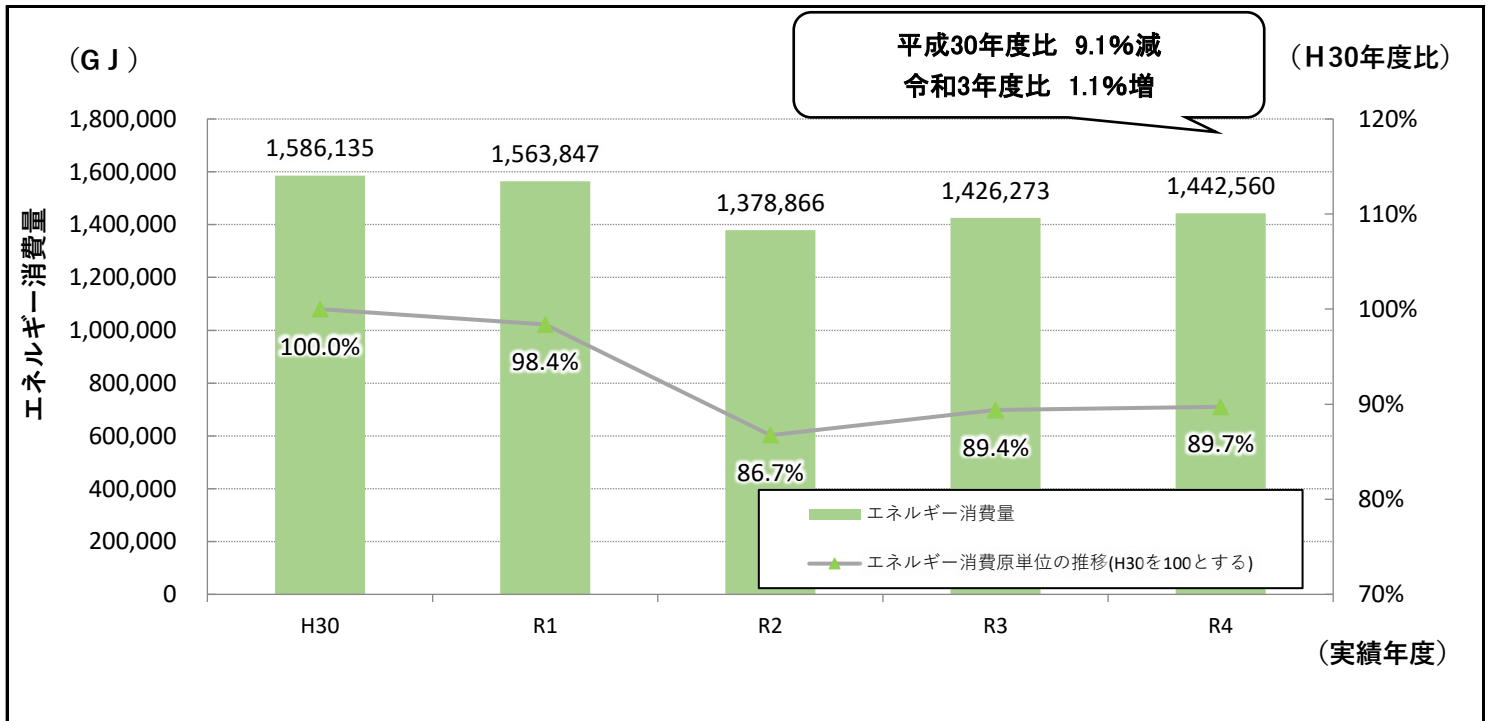
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



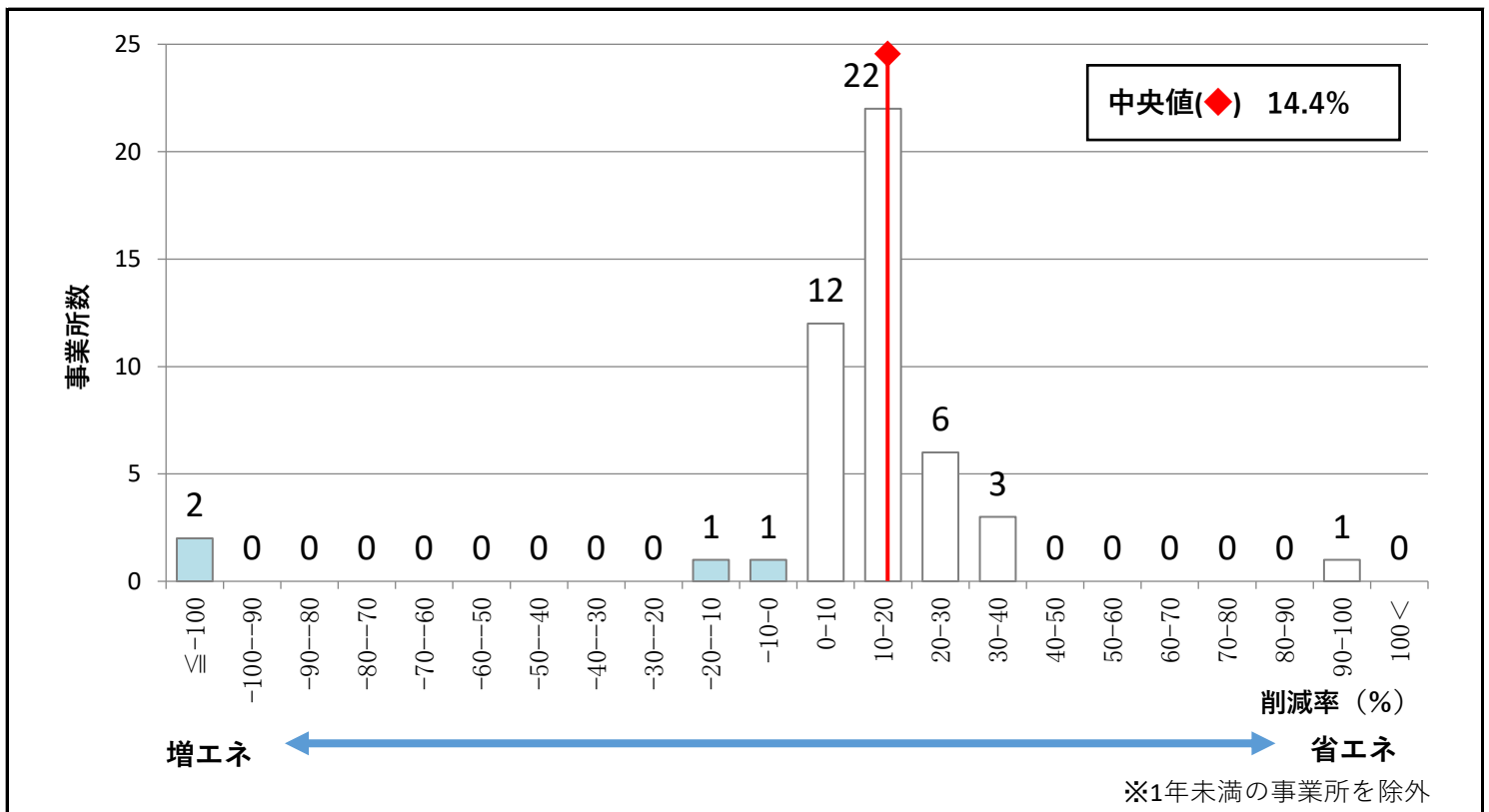
複合商業ビルでは使用エネルギーの7~8割がテナント由来となっています。共用部については、オーナーサイドで省エネが進められますが、業態が多様になるためテナント部分の省エネ対策は一律になりません。各テナントが工夫をして省エネを進めていく必要があるため、テナント会議(防災会議の中で少しの時間を割いて行っても可)を開催し、経営に与える省エネ活動のメリットや具体的な省エネ策の紹介等を行うことで、ビル全体の省エネが進みます。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「6911 貸事務所業」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設(物販)」 「商業施設(飲食)」 「複合施設」 ・所有形態「自己所有」 ・報告範囲「建物の全部」 ・延床面積 10,000㎡以上20,000㎡未満
テナントビル(商業複合系・準大規模)	61	56	

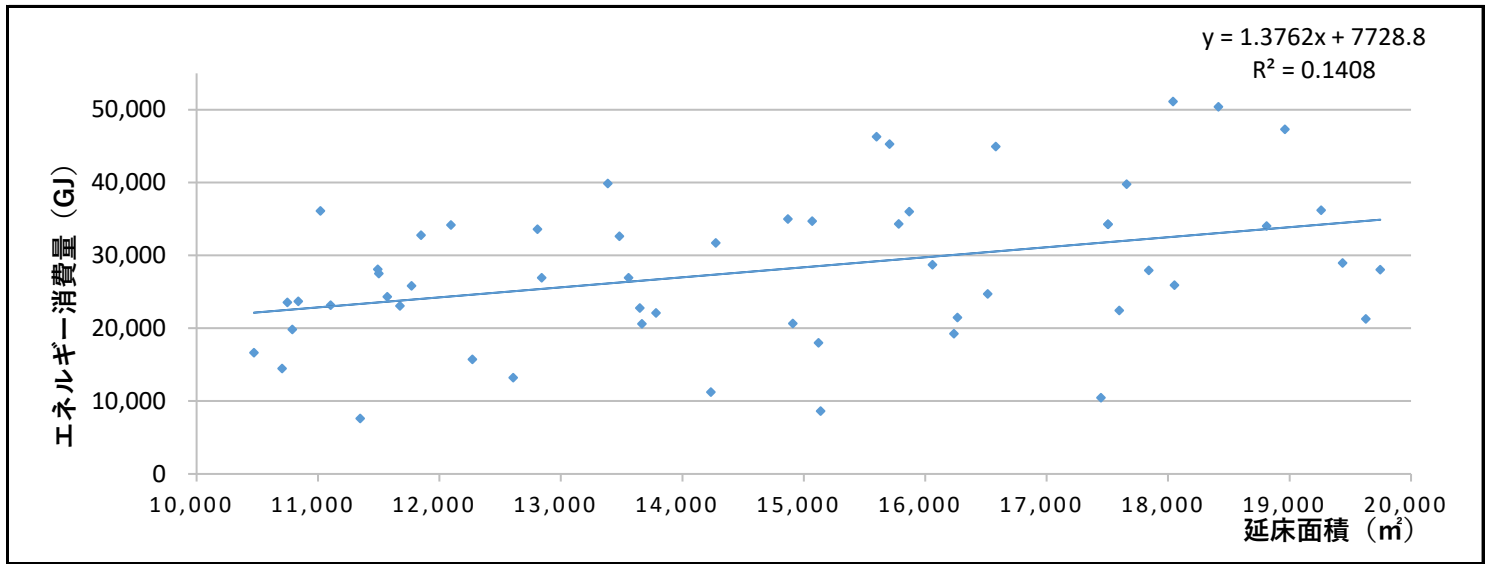
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:51)



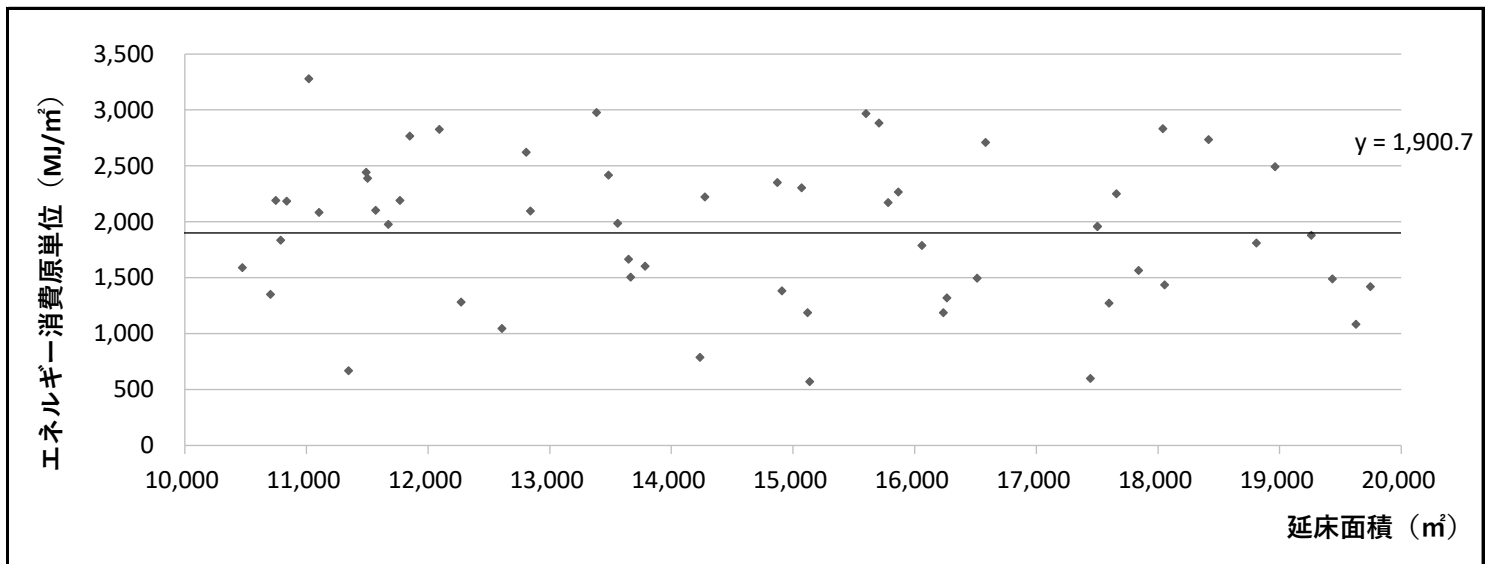
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:48)



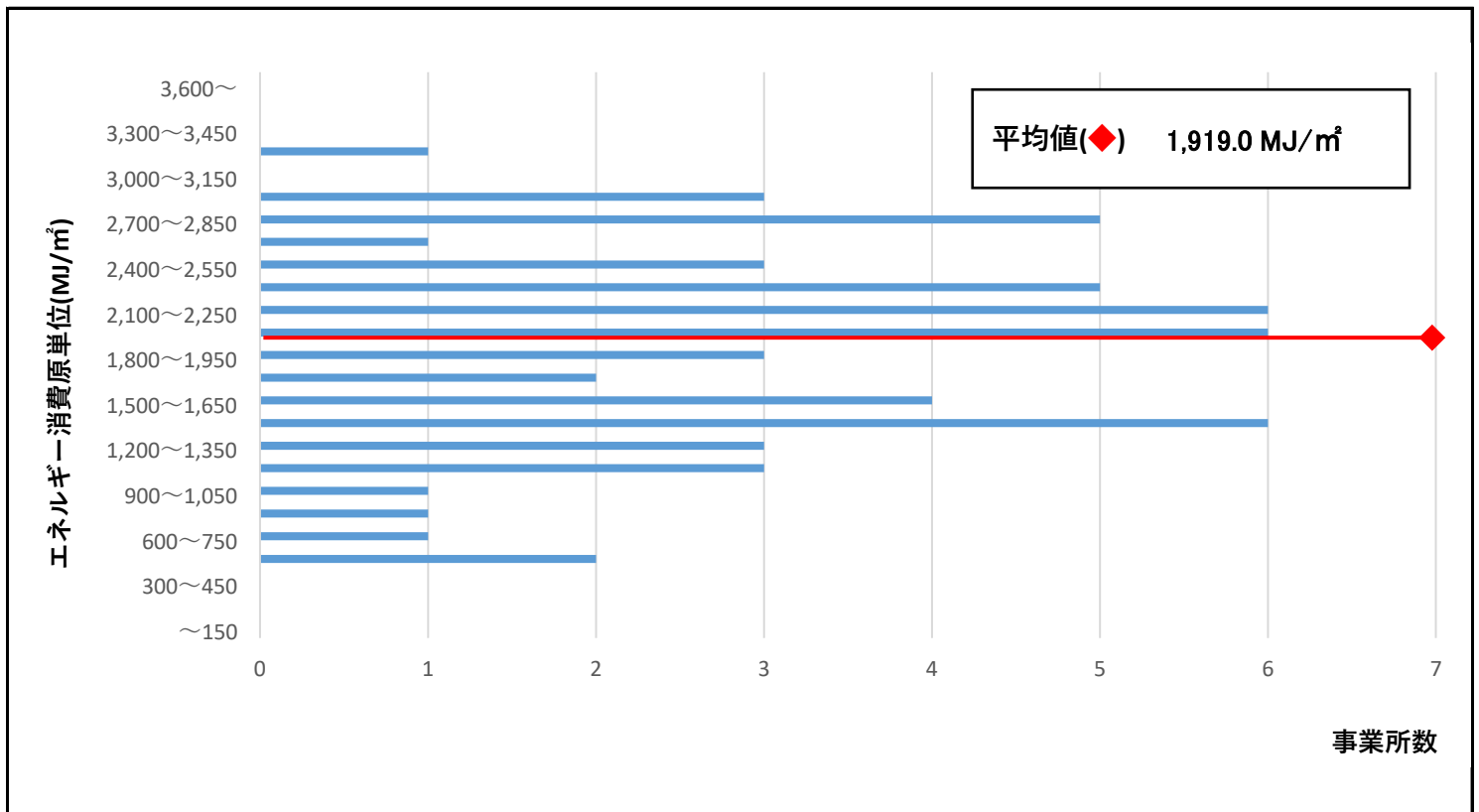
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



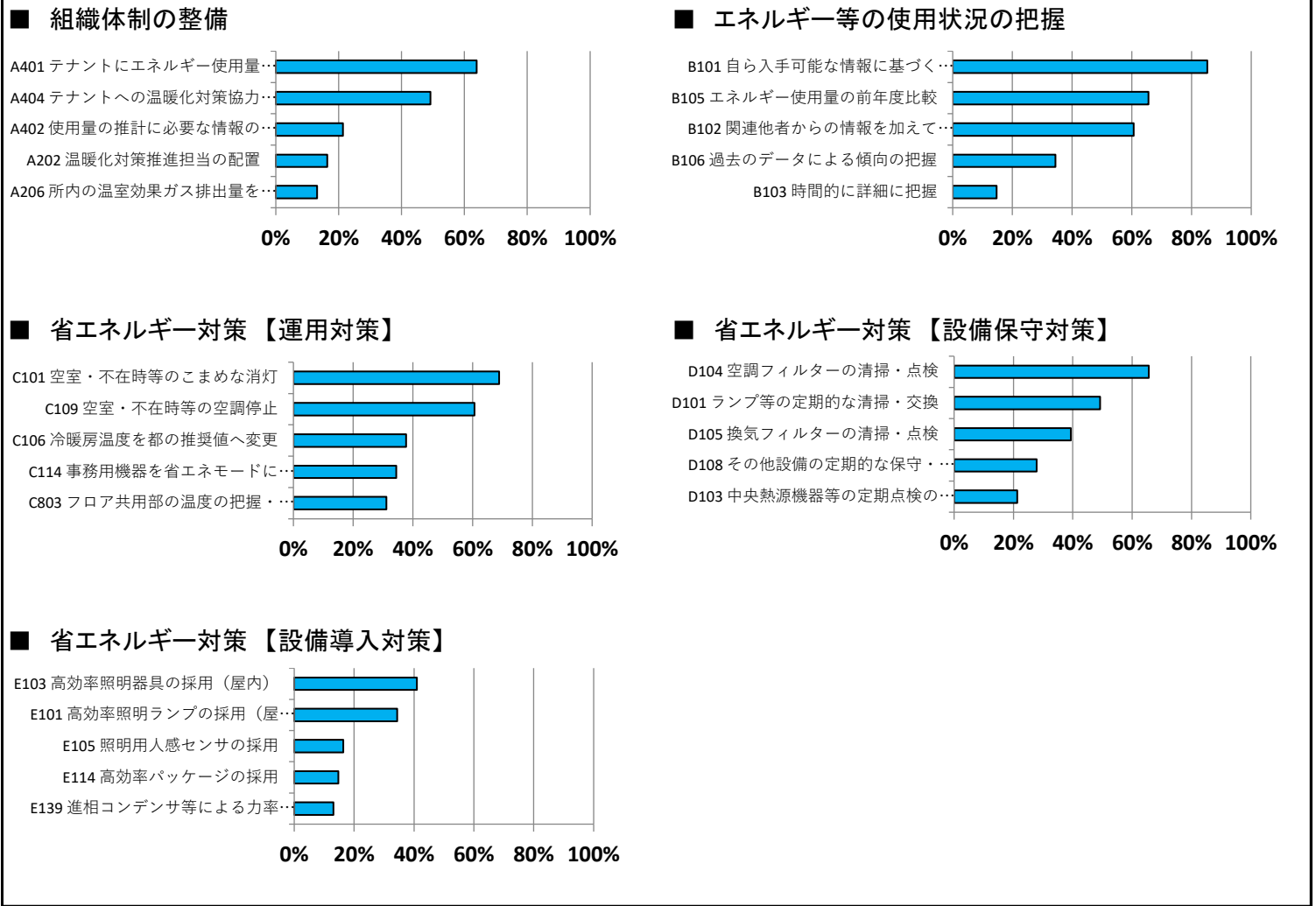
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

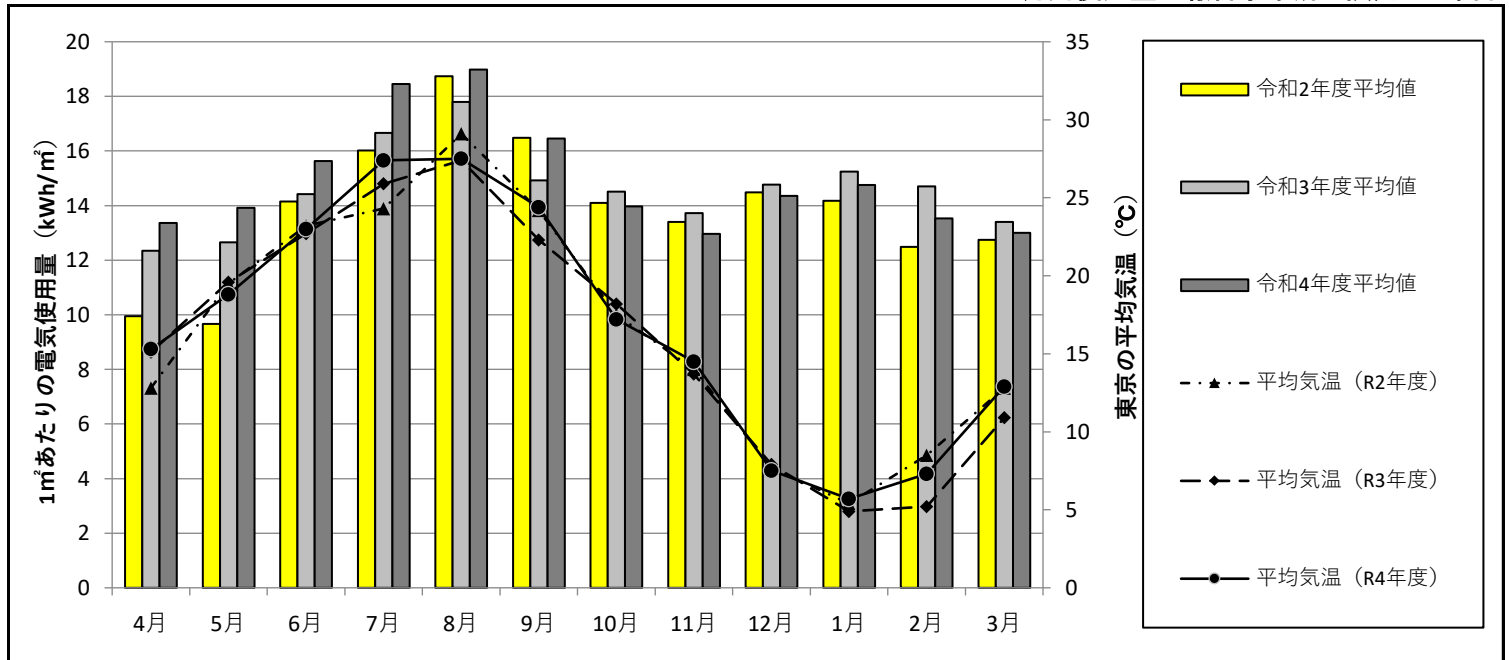


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

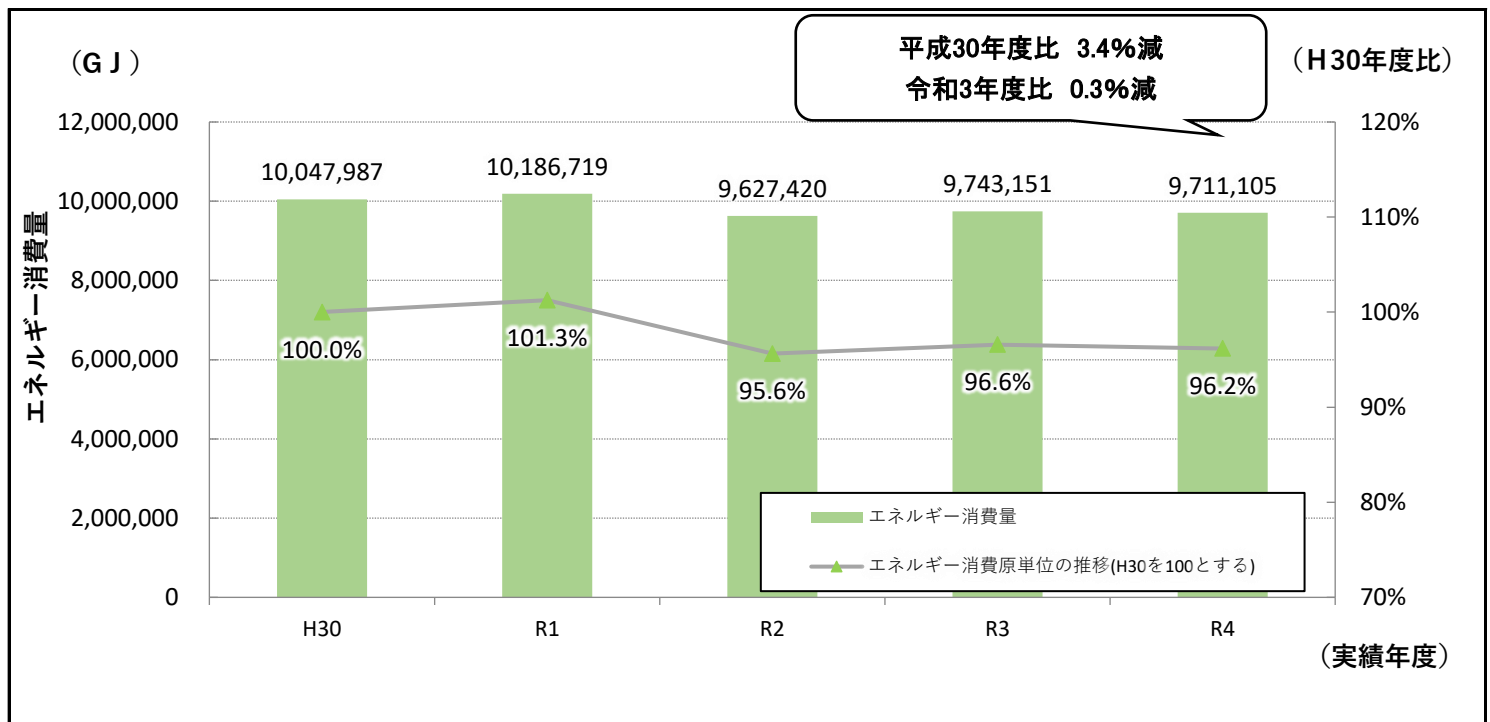
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



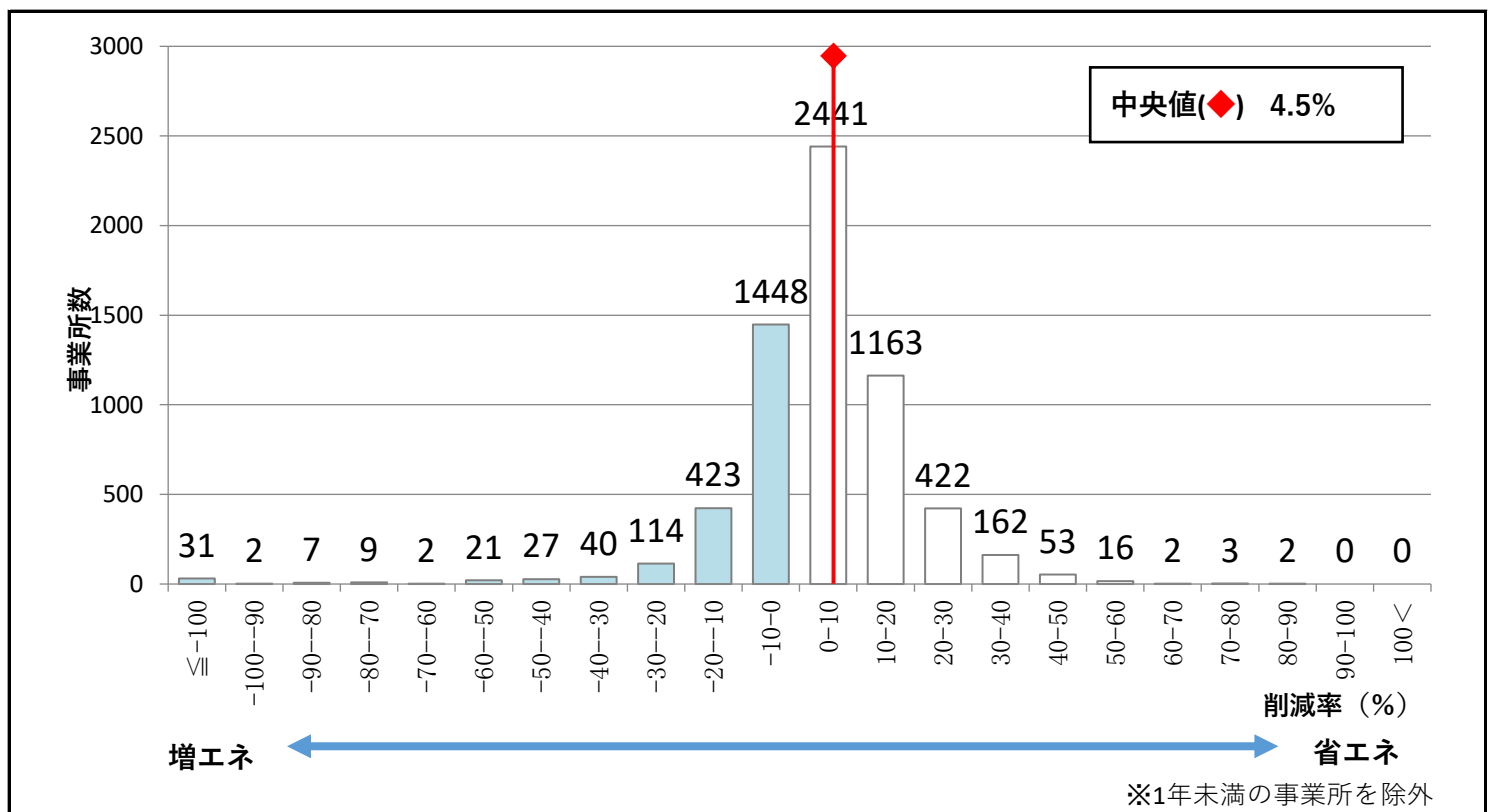
複合商業ビルでは、ピーク時の客数を想定して外気導入量を決めています。客数の少ない午前中などの時間帯では外気導入量の削減が可能です。店内のCO2濃度を検知して導入外気量をファンのインバータ制御などで適宜削減するCO2制御が効果的です。給排気ファンの動力だけでなく、空調の外気負荷も削減されるので、有効な省エネ策となります。またテナント会議(防災会議の中で少しの時間を割いて行っても可)を開催し、経営に与える省エネ活動のメリットや具体的な省エネ策の紹介等を行うことで、テナントの独自活動の後押しとなり、ビル全体の省エネが進みます。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「5891 コンビニエンスストア」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設（物販）」
物販店(コンビニ)	7,556	7,408	

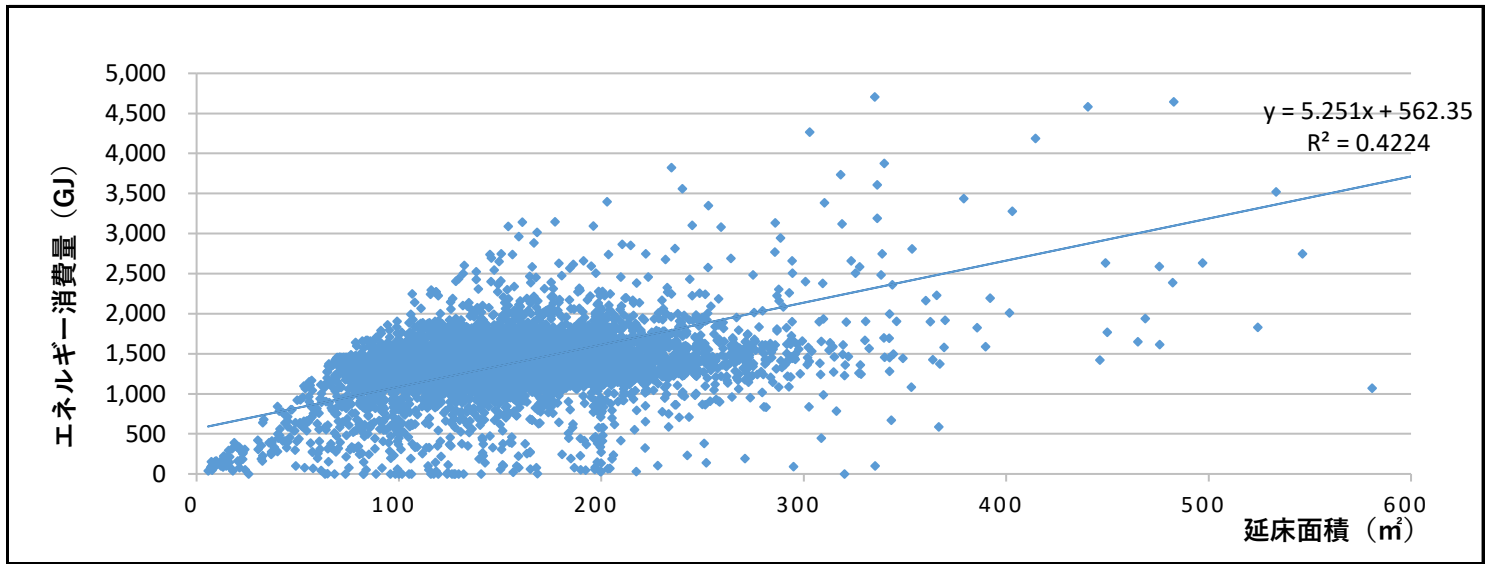
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:6813)



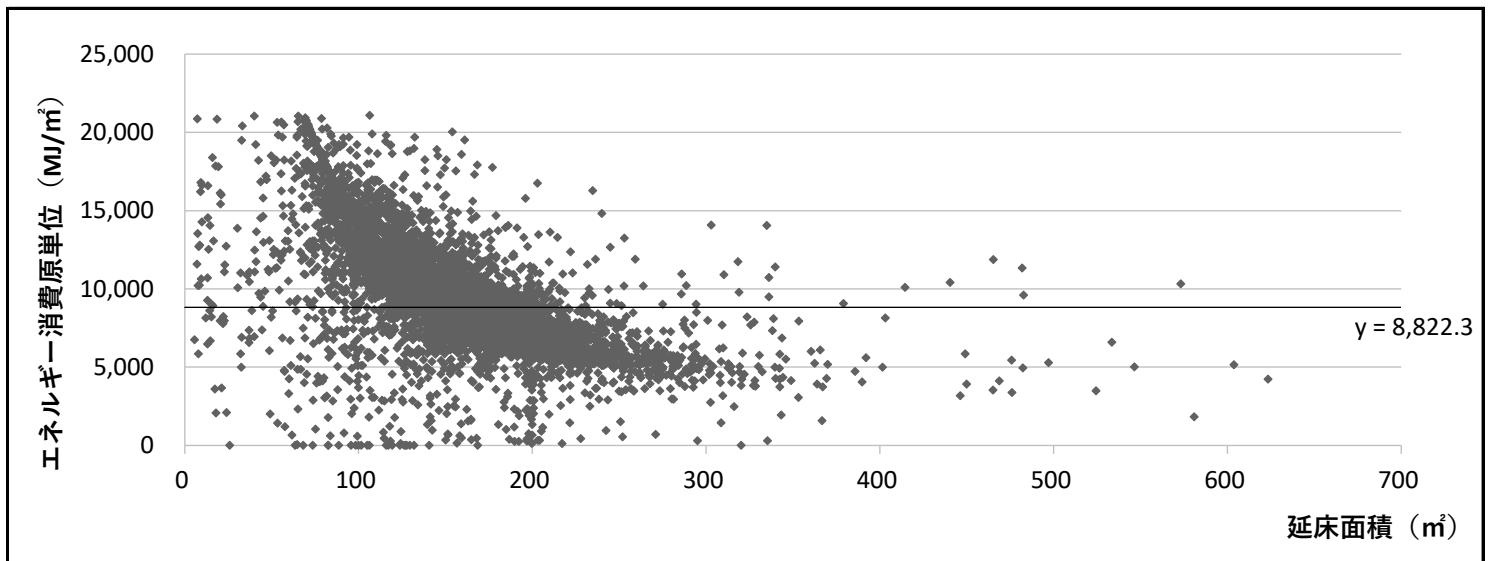
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:6388)



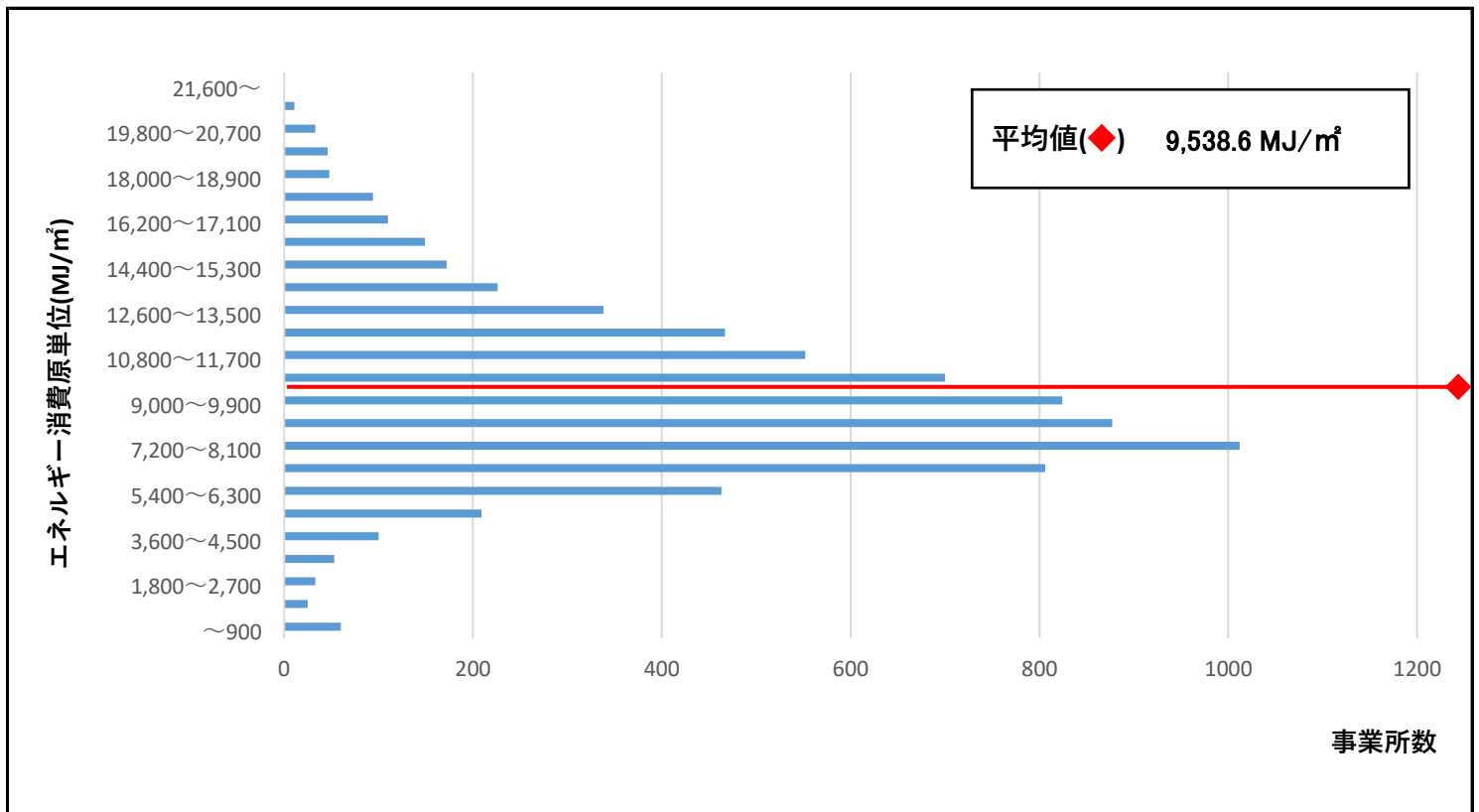
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



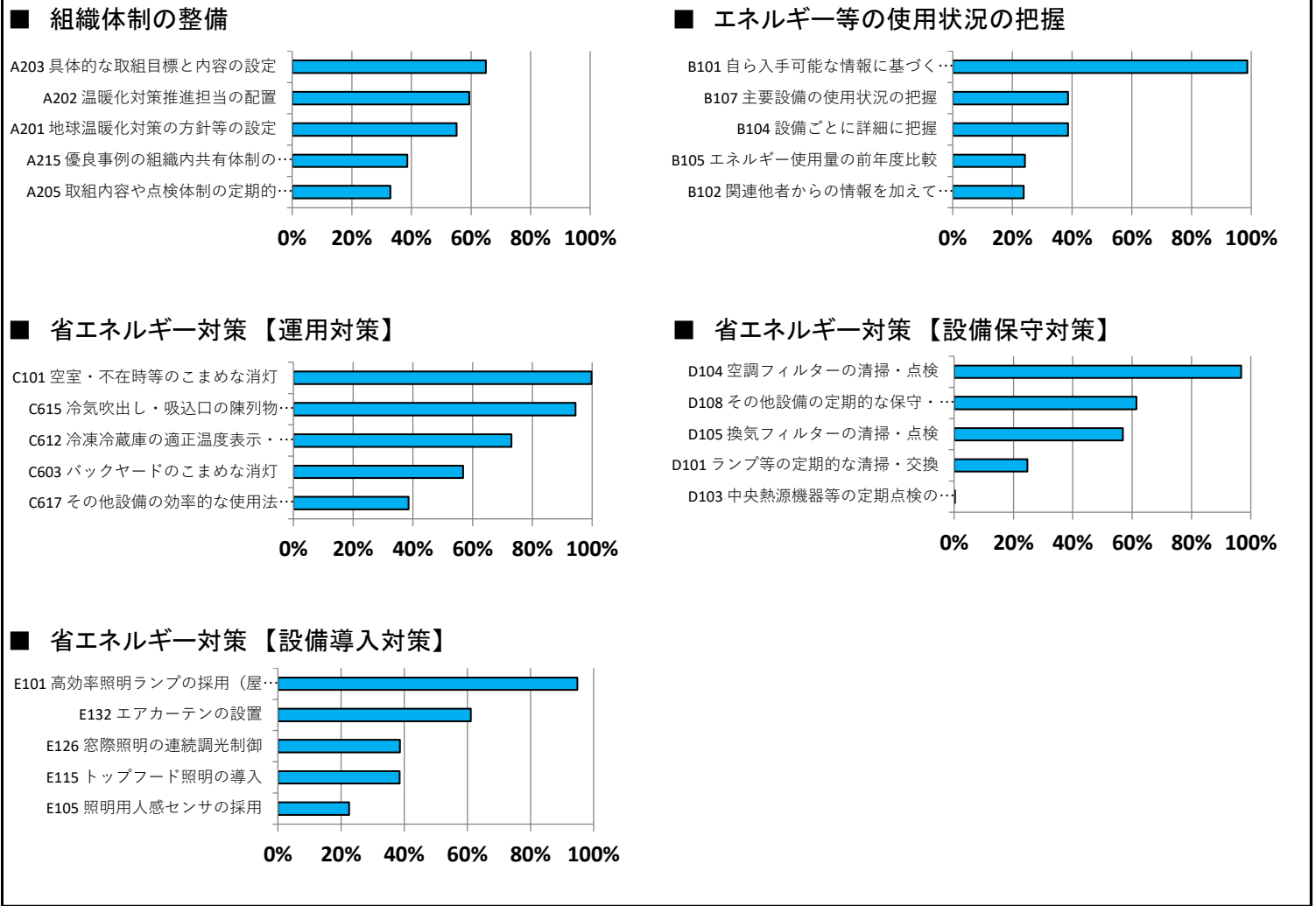
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

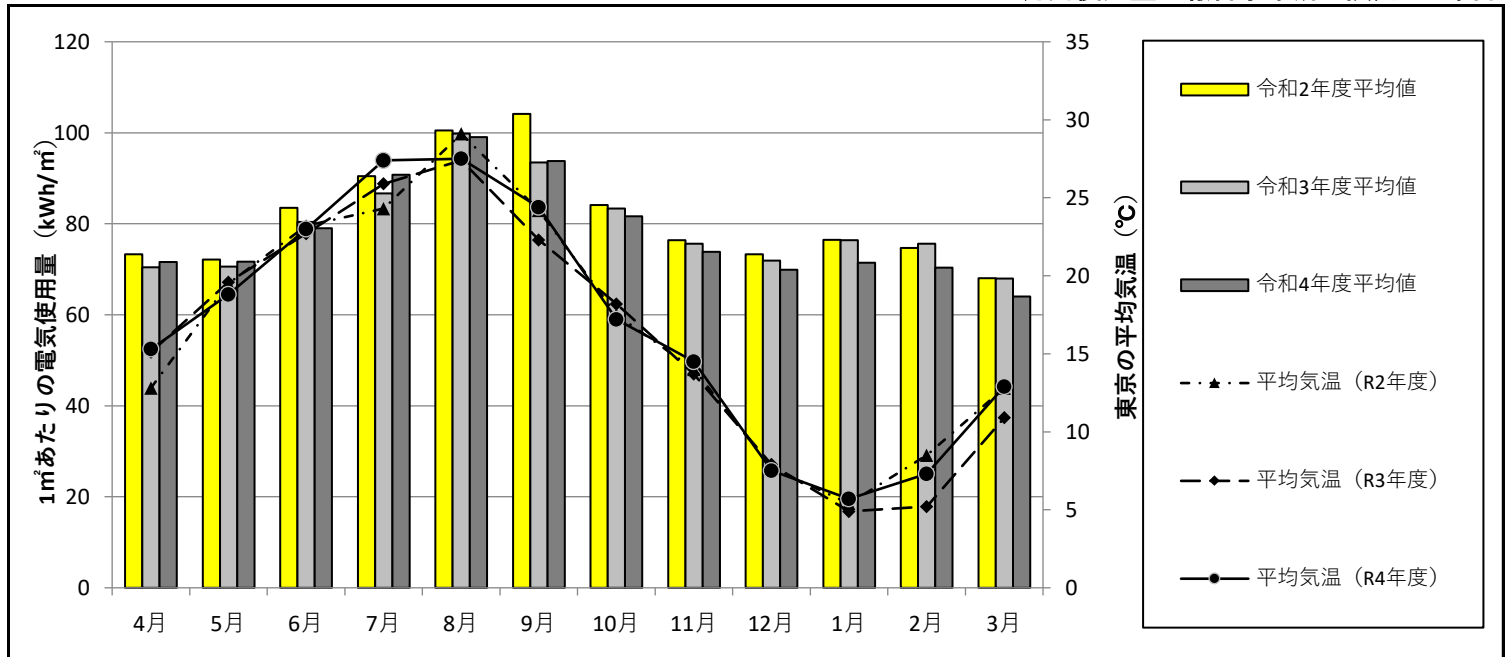


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

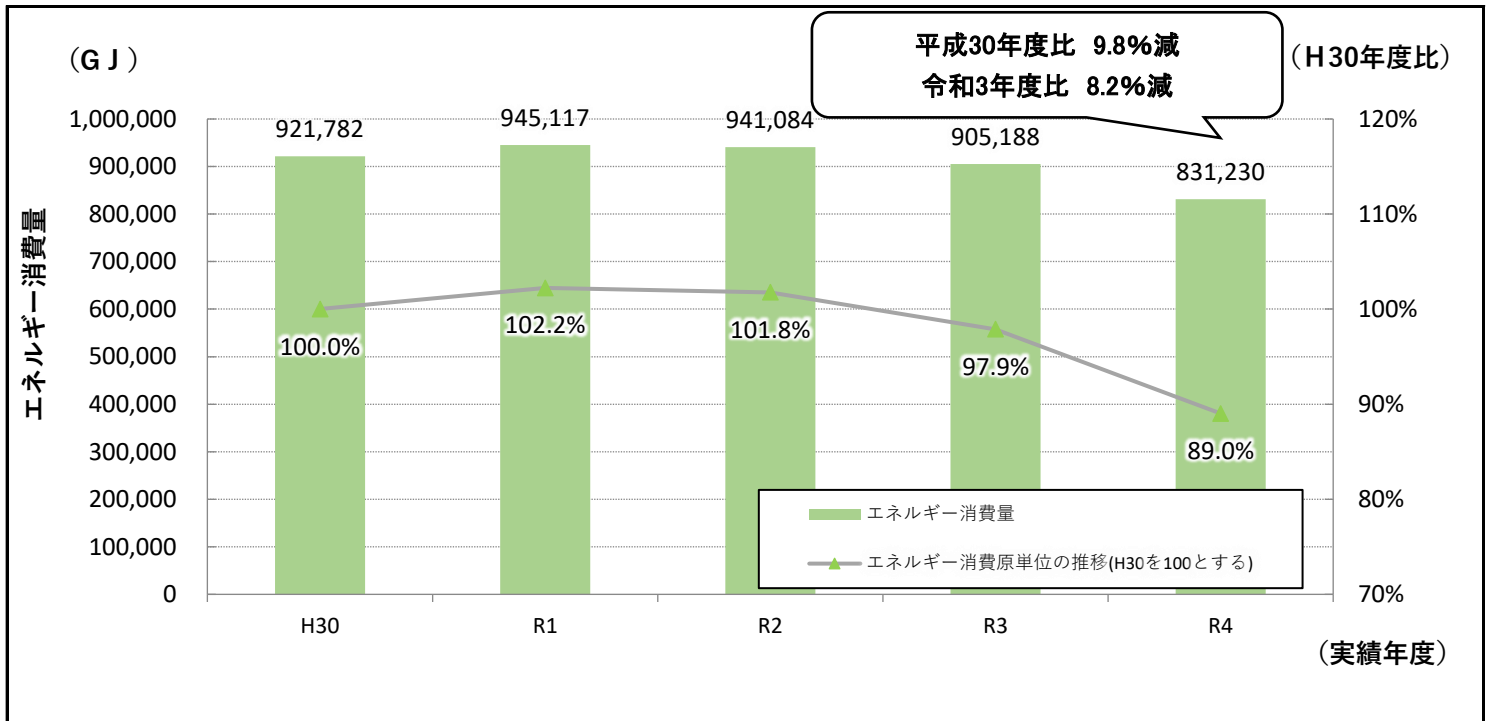
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



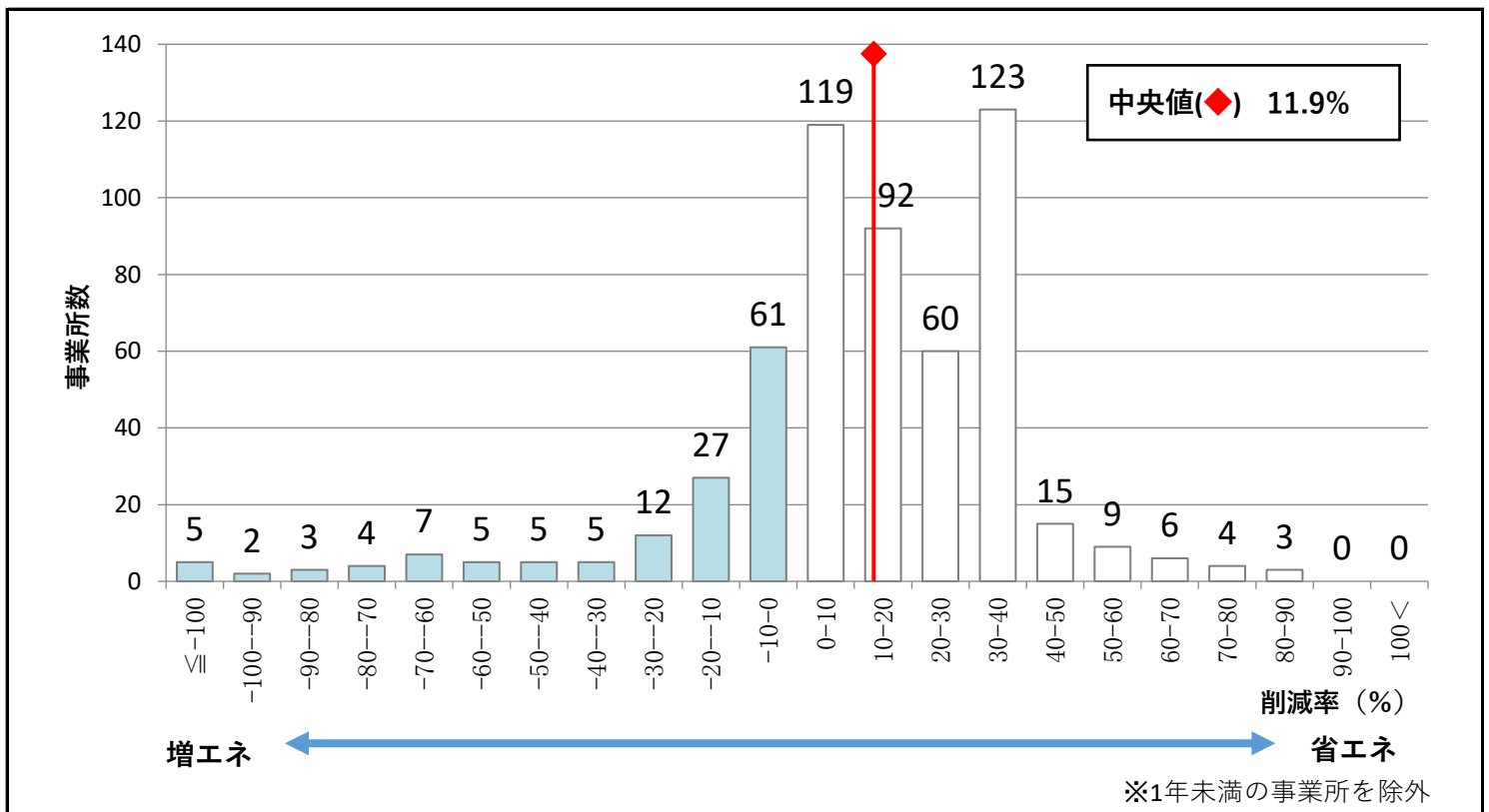
コンビニでは、空調・照明のほかに、冷蔵庫や冷凍ショーケース等の冷凍冷蔵機器が大きなエネルギーを消費しています。照明のLED化やリーチインショーケースの導入などの省エネ対策は進んでいます。冷凍冷蔵機器は庫内温度が下がるほど消費電力が増えるので、必要な設定温度を明確にして冷やし過ぎの防止に努めましょう。またスタンドアロンの店舗では屋根に太陽光パネルを導入し創エネを図りましょう。ノンフロン形冷凍ショーケースの導入も検討してください。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「6031 ドラッグストア」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設(物販)」
物販店 (ドラッグストア)	1,080	1,045	

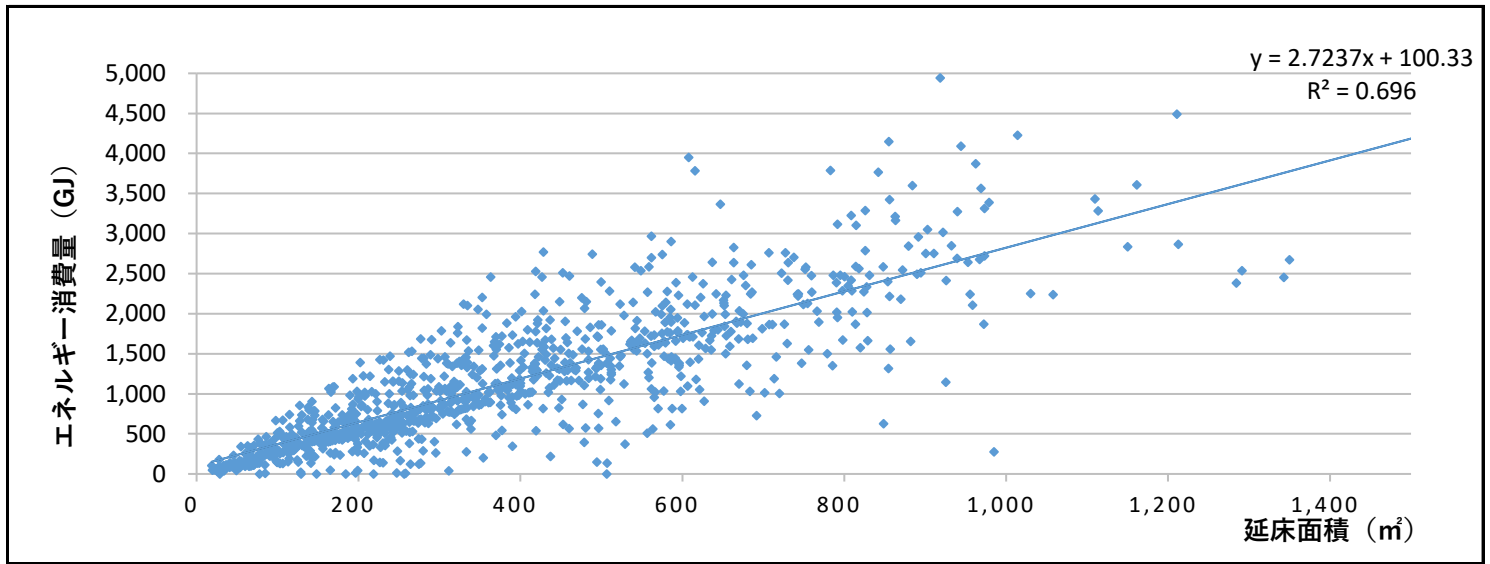
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:598)



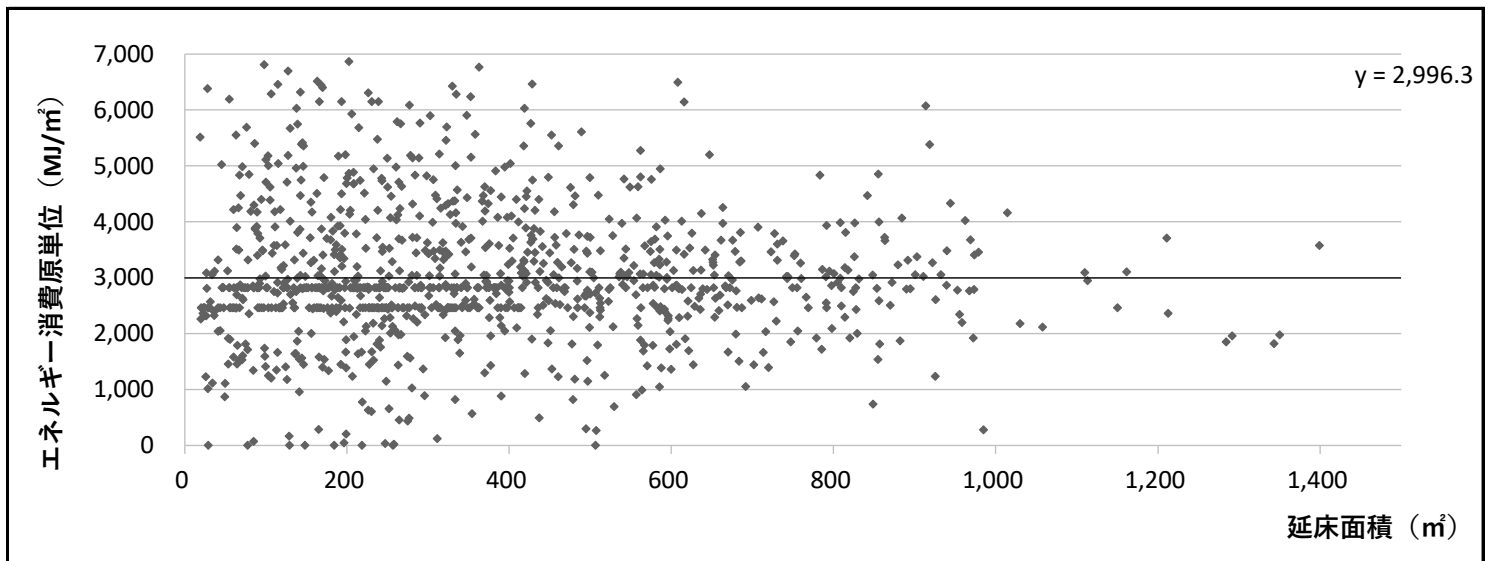
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:567)



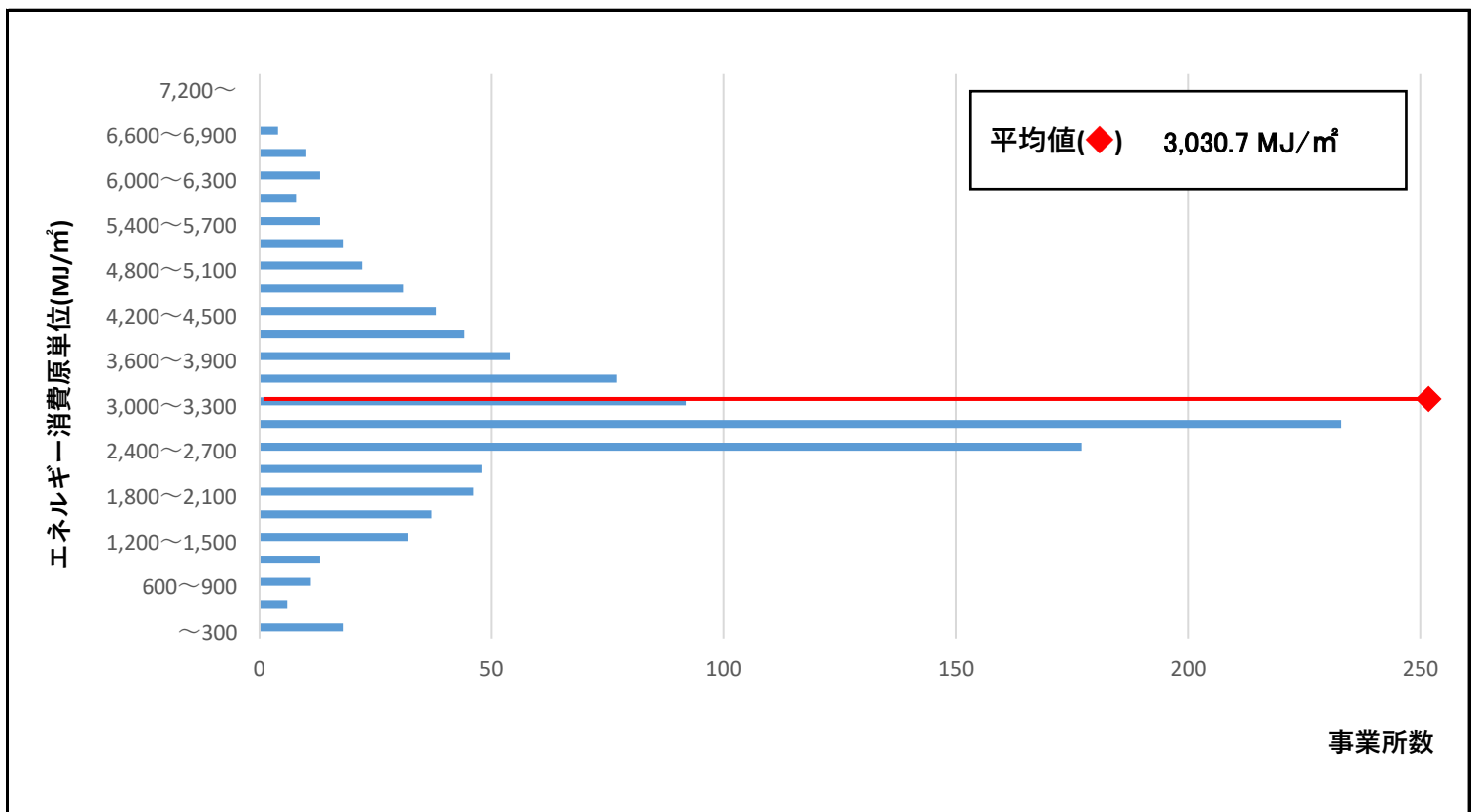
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



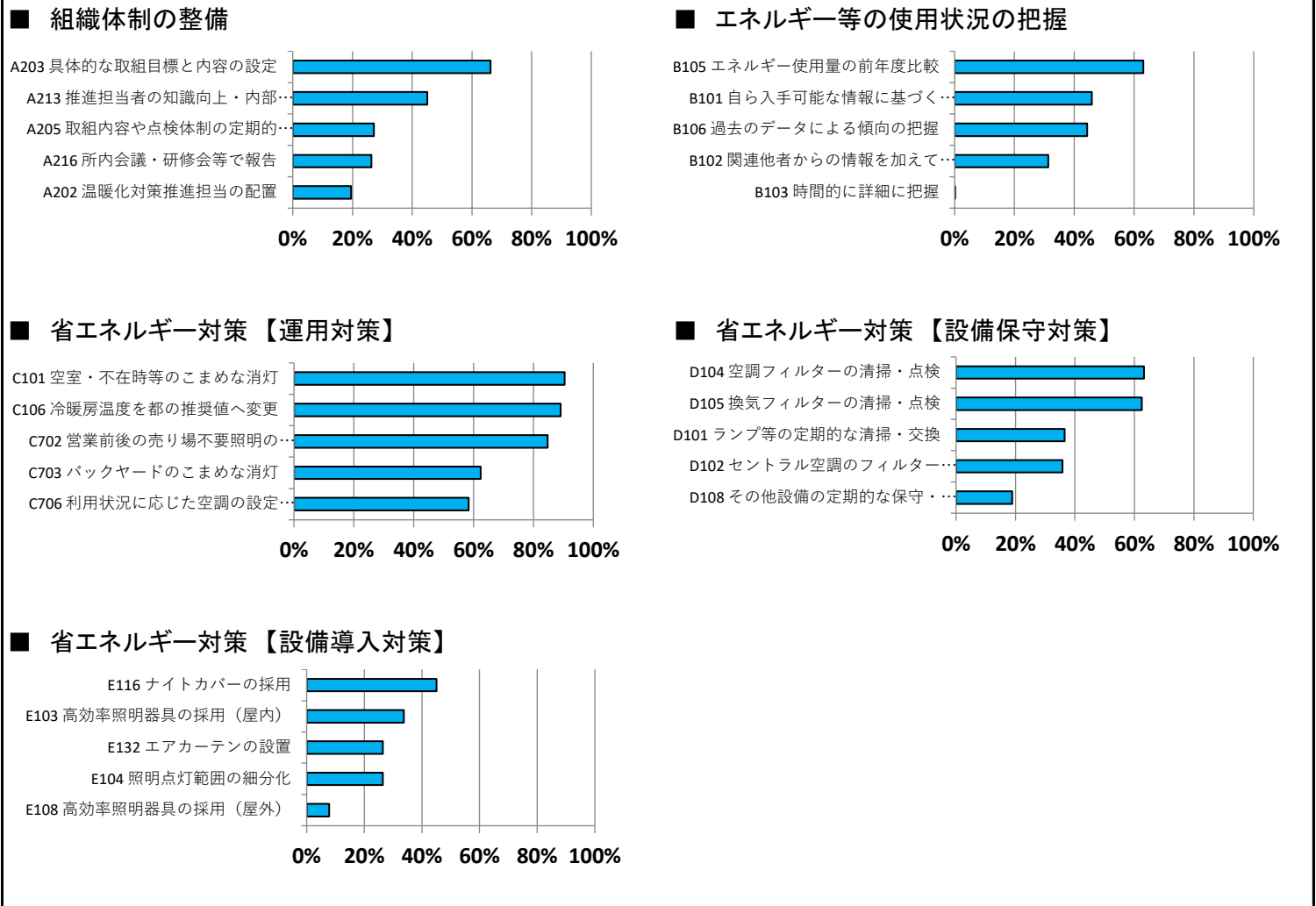
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

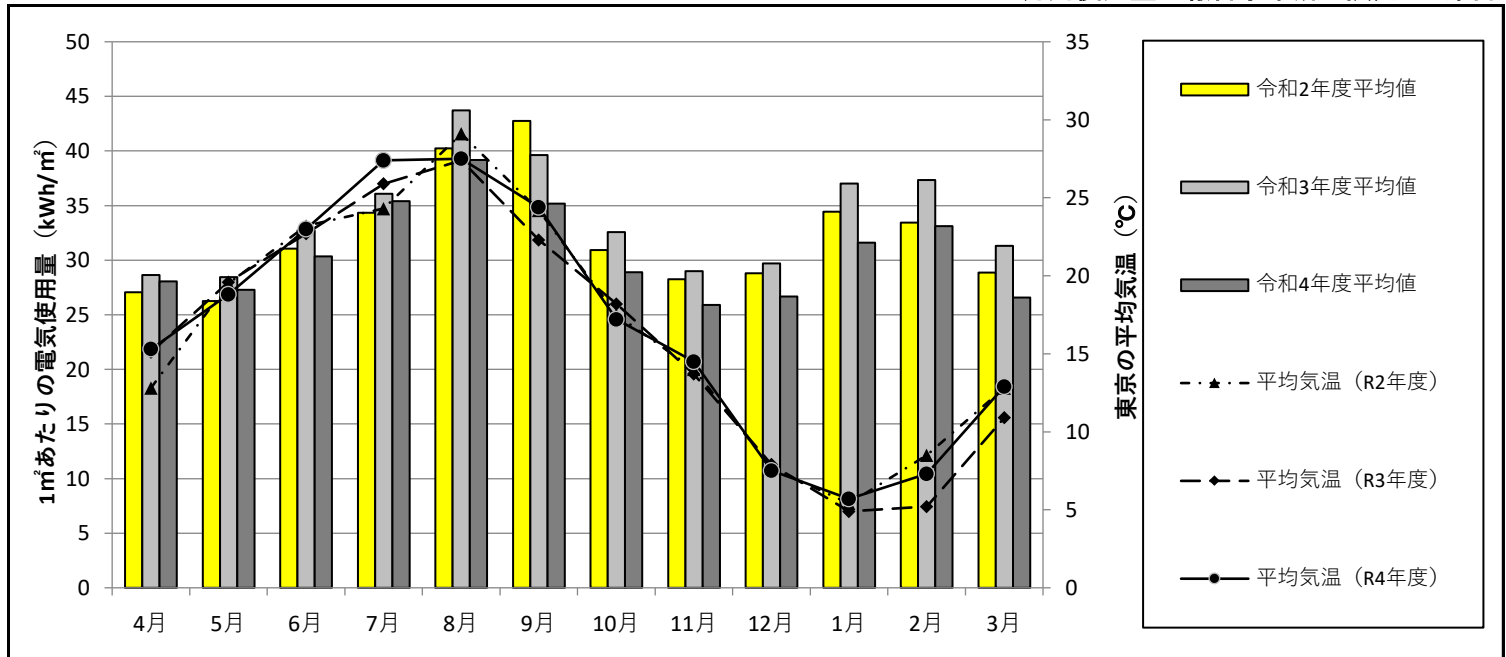


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

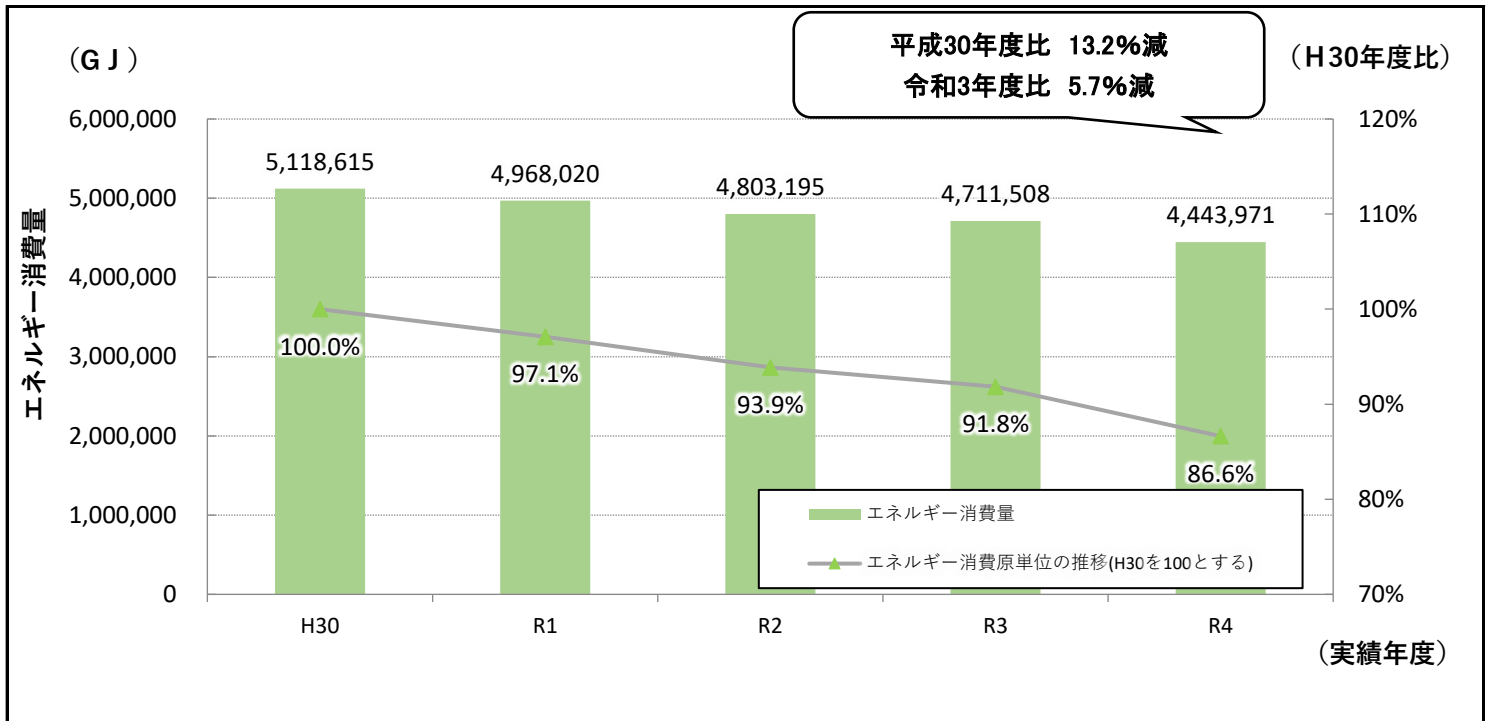
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



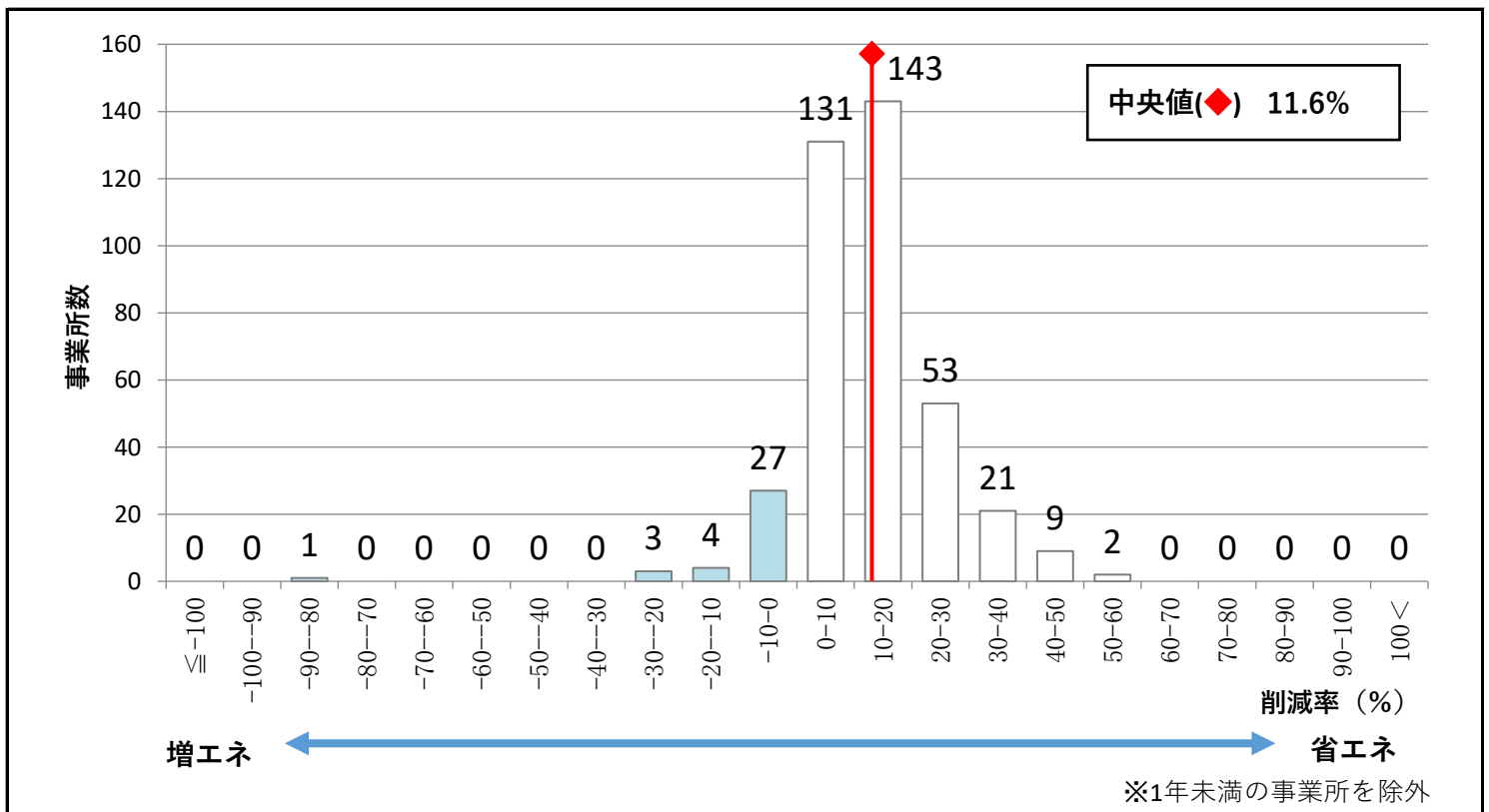
繁華街のドラッグストアには、まだ商品が店外にも積まれて店の入り口が開放されているケースがよく見られます。これではいくら空調しても次々に外気が侵入してくるため、空調の効率が損なわれ無駄なエネルギー消費が生じます。扉を閉めるか、自動ドアを導入するなど外気侵入防止の対策が求められます。また開店準備などの営業時間外での店舗照明は必要ゾーンだけとして、全点灯しないように注意しましょう。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「5611 百貨店・総合スーパー」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設(物販)」
物販店 (総合スーパー・百貨店)	491	486	

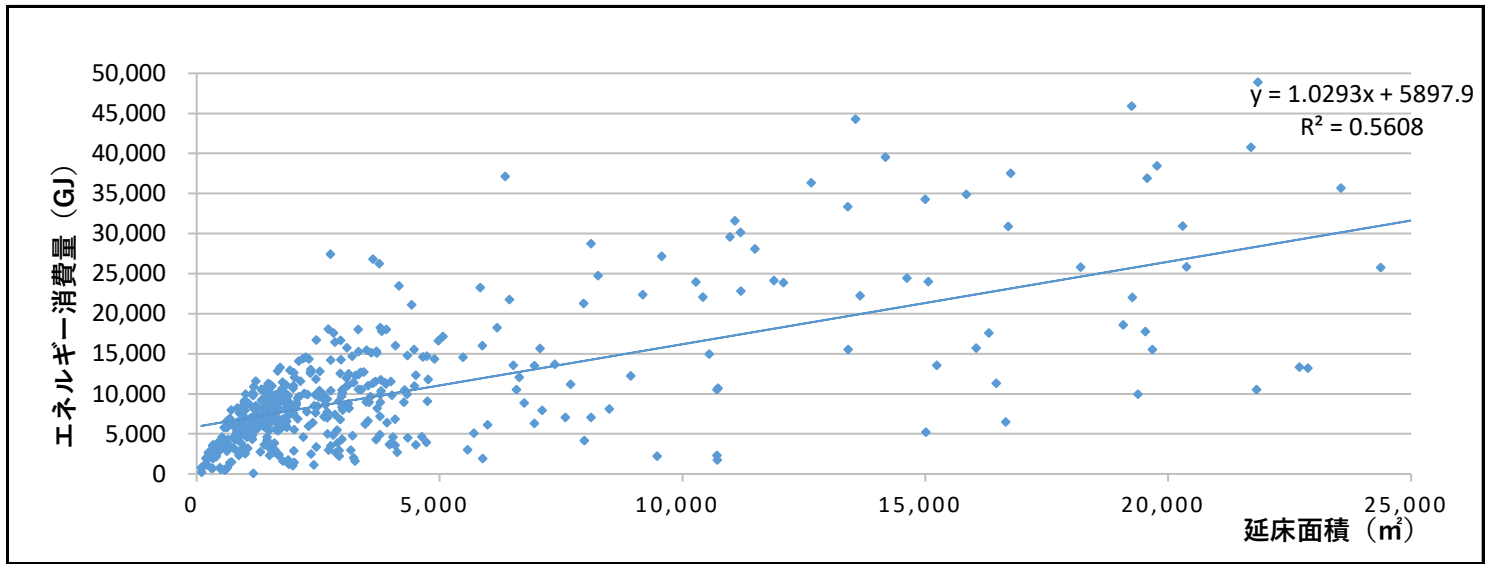
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:412)



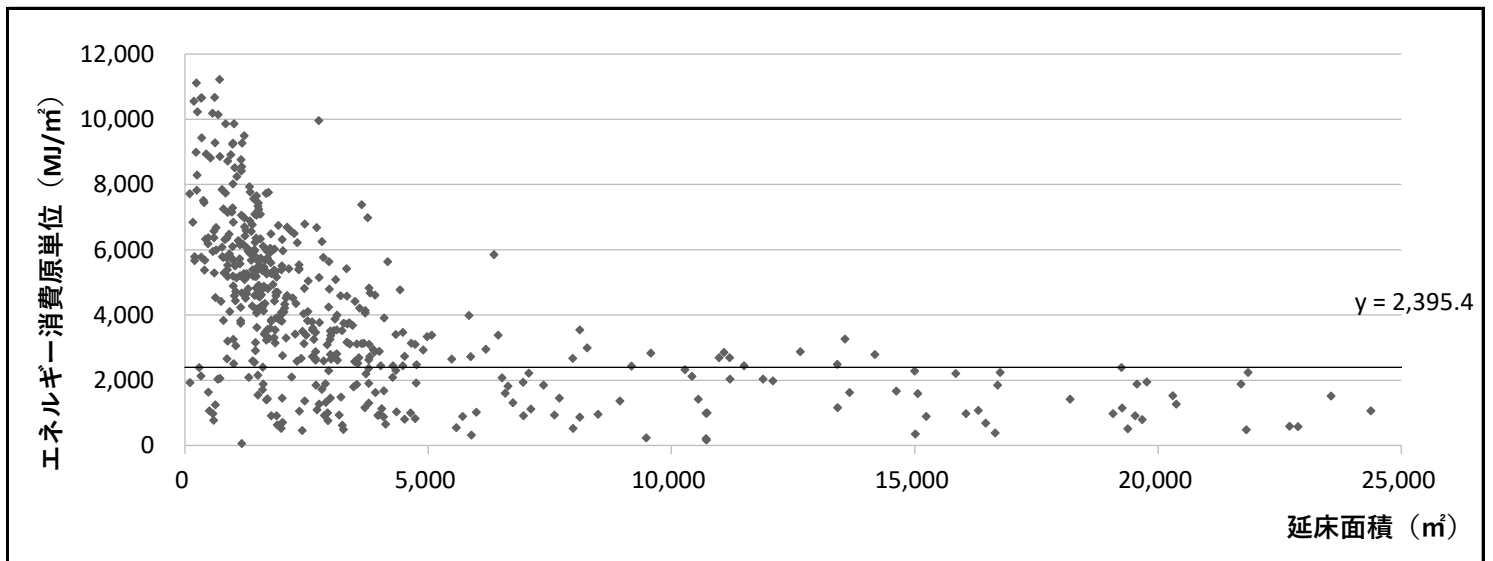
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:394)



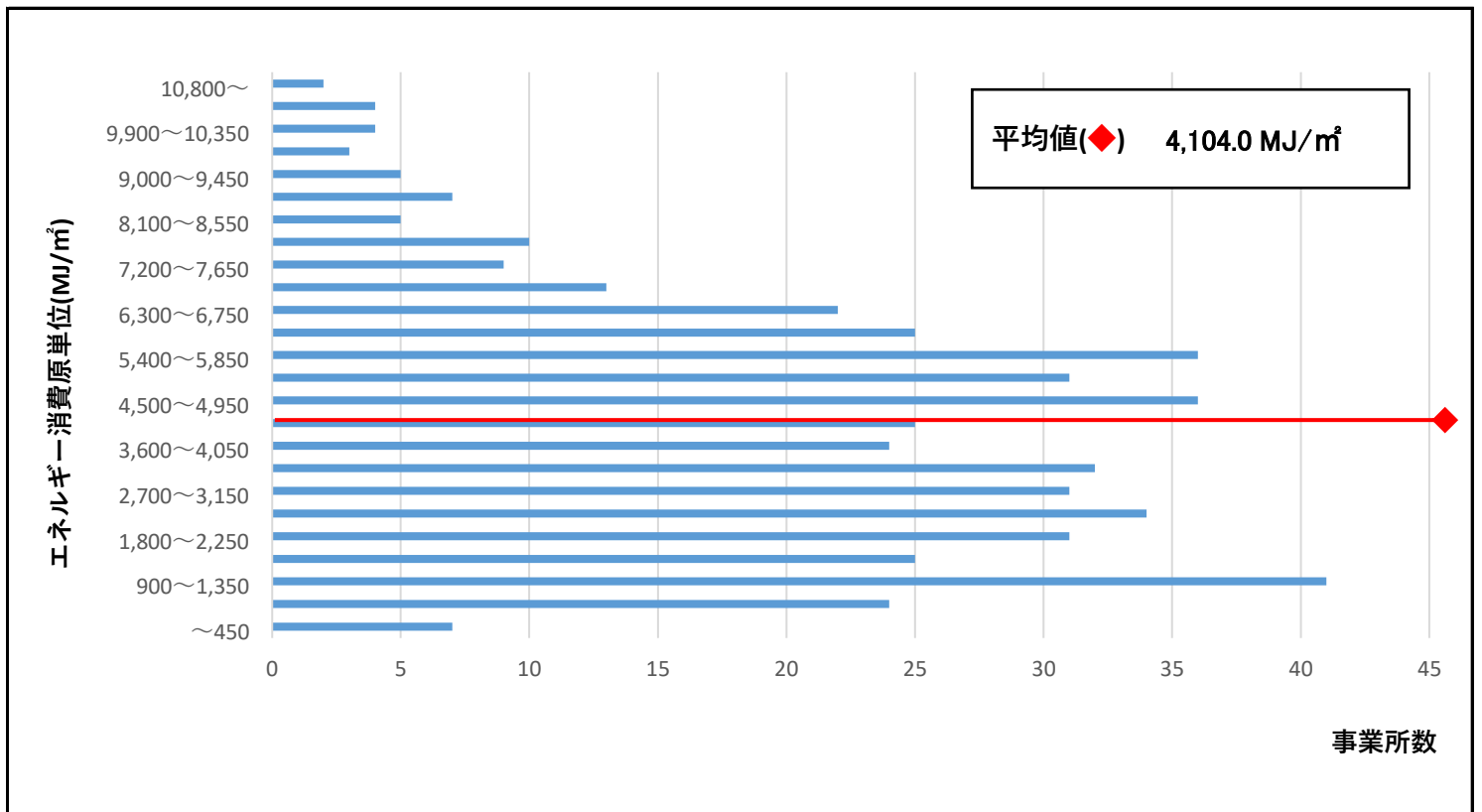
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



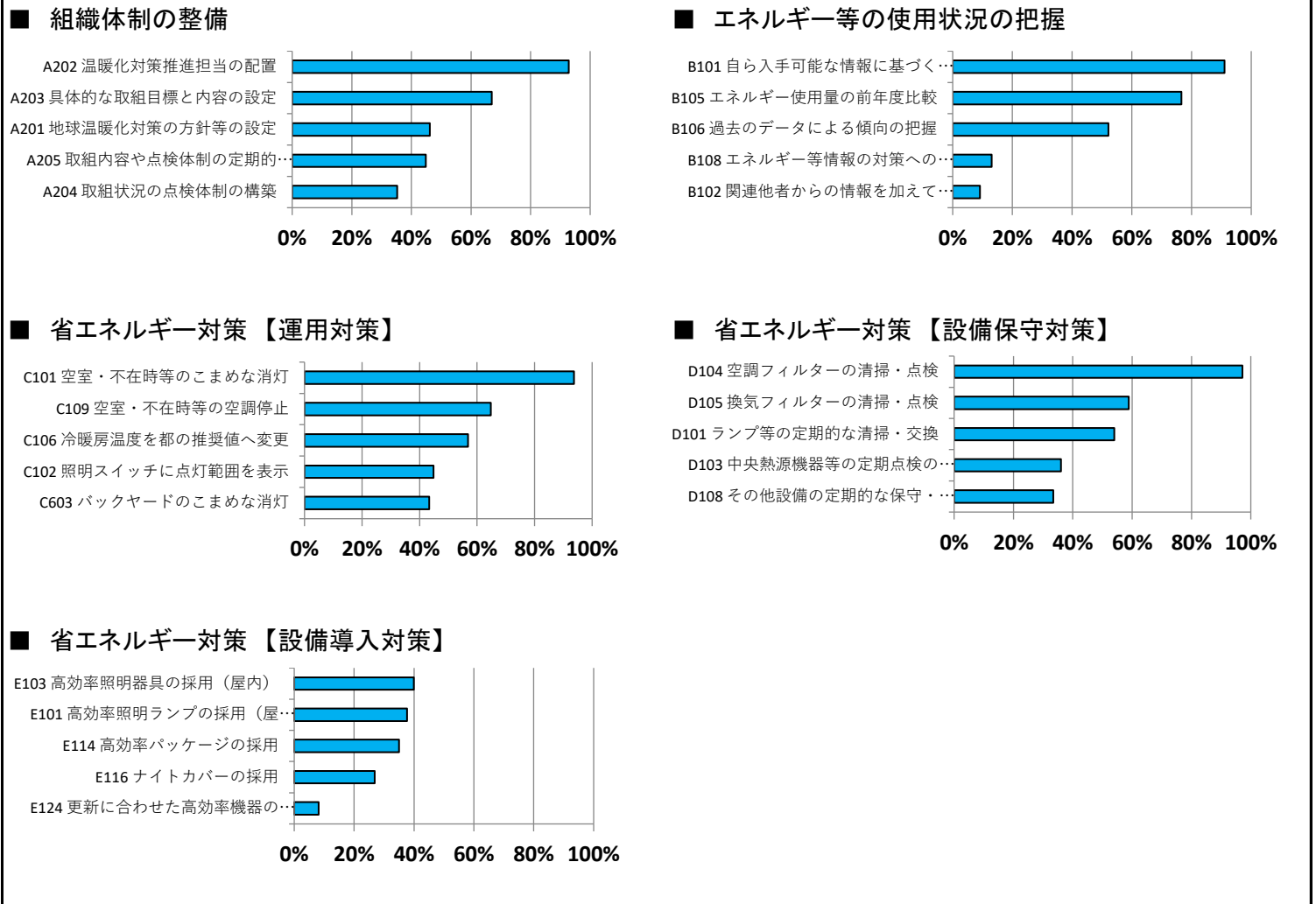
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

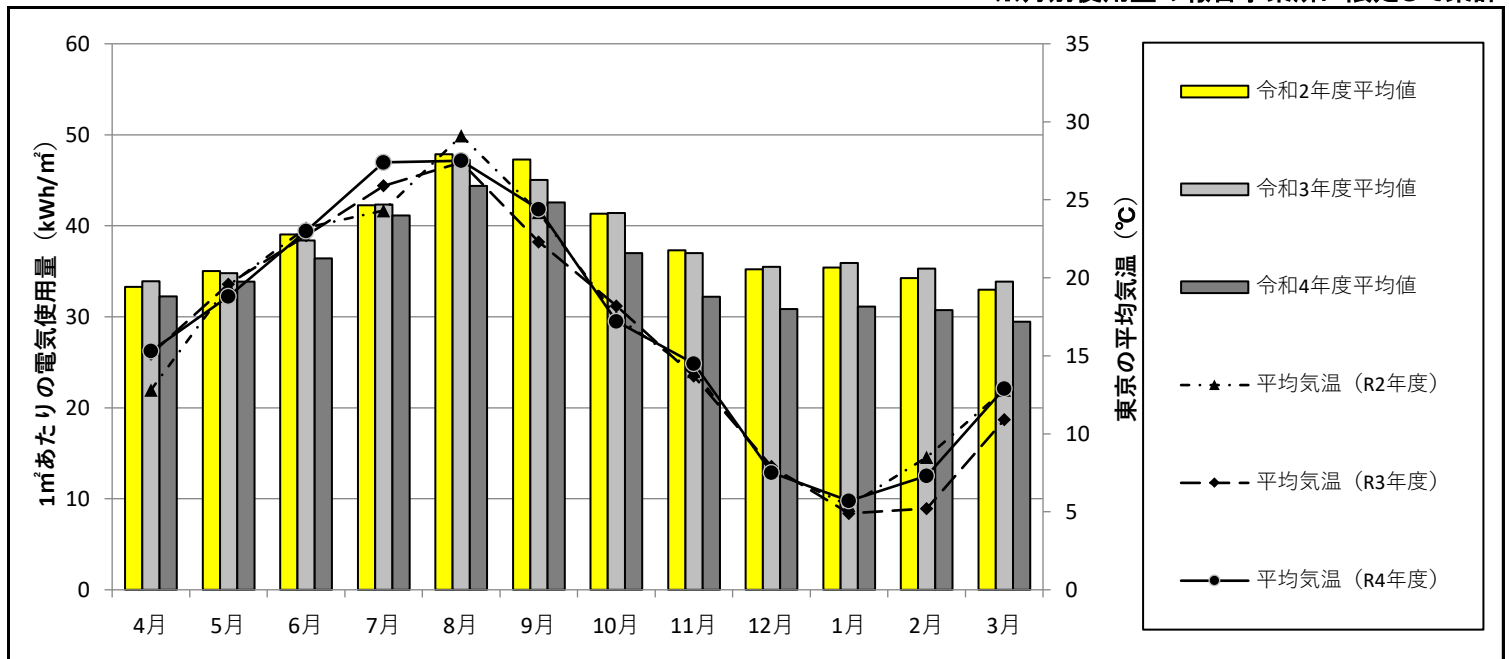


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

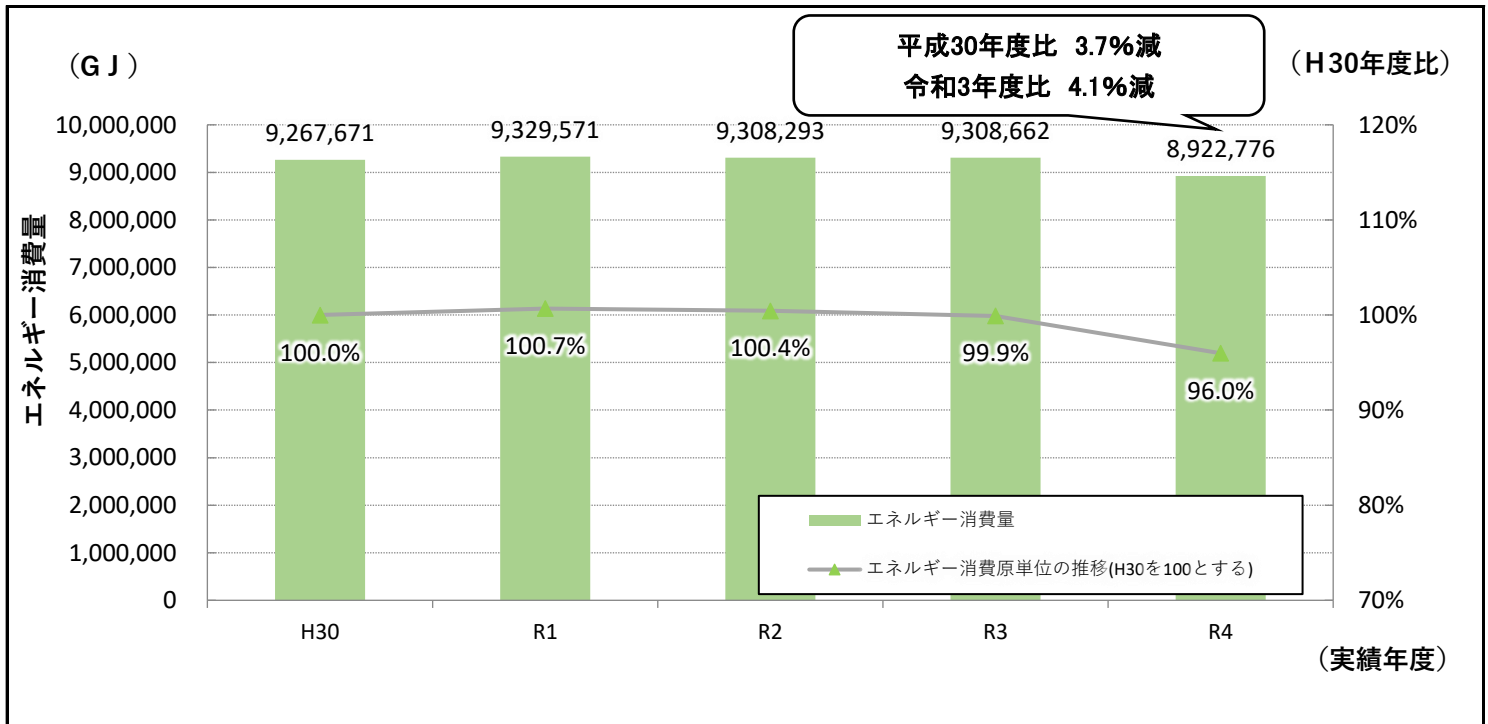
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



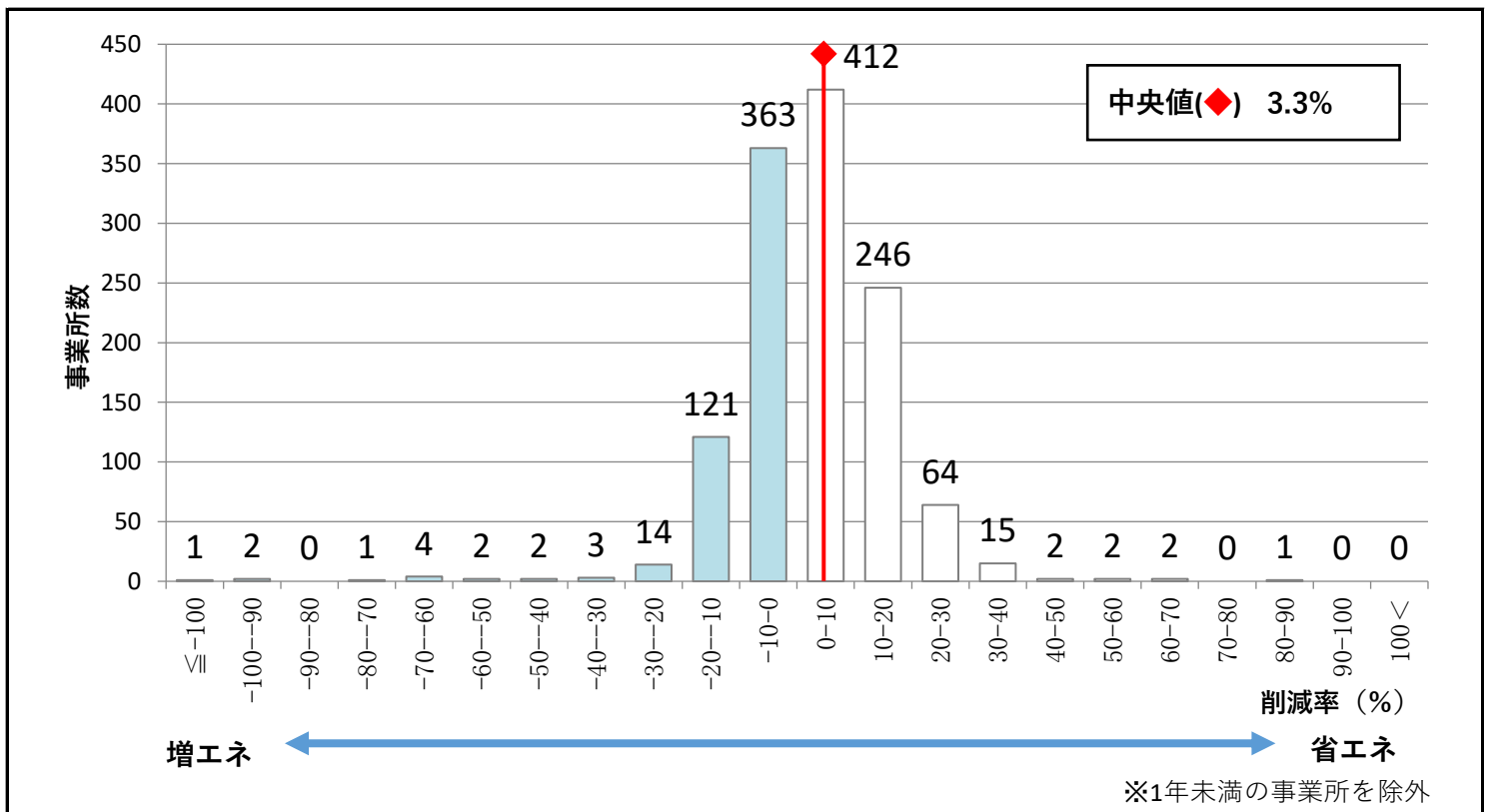
店内の照度は、商品を際立たせるスポット照明と天井のベース照明が重なり、照度過多となっているゾーンがよく見られます。店内各部の照度を確認して間引きを検討しましょう。また通路や雑貨陳列棚周りは500Lx程度に抑えるよう照度計画を立て、メリハリのある店内照明の配置を計画しましょう。バックヤードのこまめな消灯も重要です。
【効果の試算】蛍光灯8台セットのスイッチで1日30分の消し忘れを防止すると年間1,290円、26.3kg-CO₂の削減になります。(報告書作成ハンドブック(メニュー編)の個表番号50参照)

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「5811 各種食料品小売業」「5821 野菜小売業」「5822 果物小売業」「5831 食肉小売業」「5832 卵・鶏肉小売業」「5841 鮮魚小売業」「5851 酒小売業」「5862 菓子小売業」「5892 牛乳小売業」等 ・報告範囲の主たる用途「商業施設(物販)」
物販店 (生鮮食品等)	1,764	1,718	

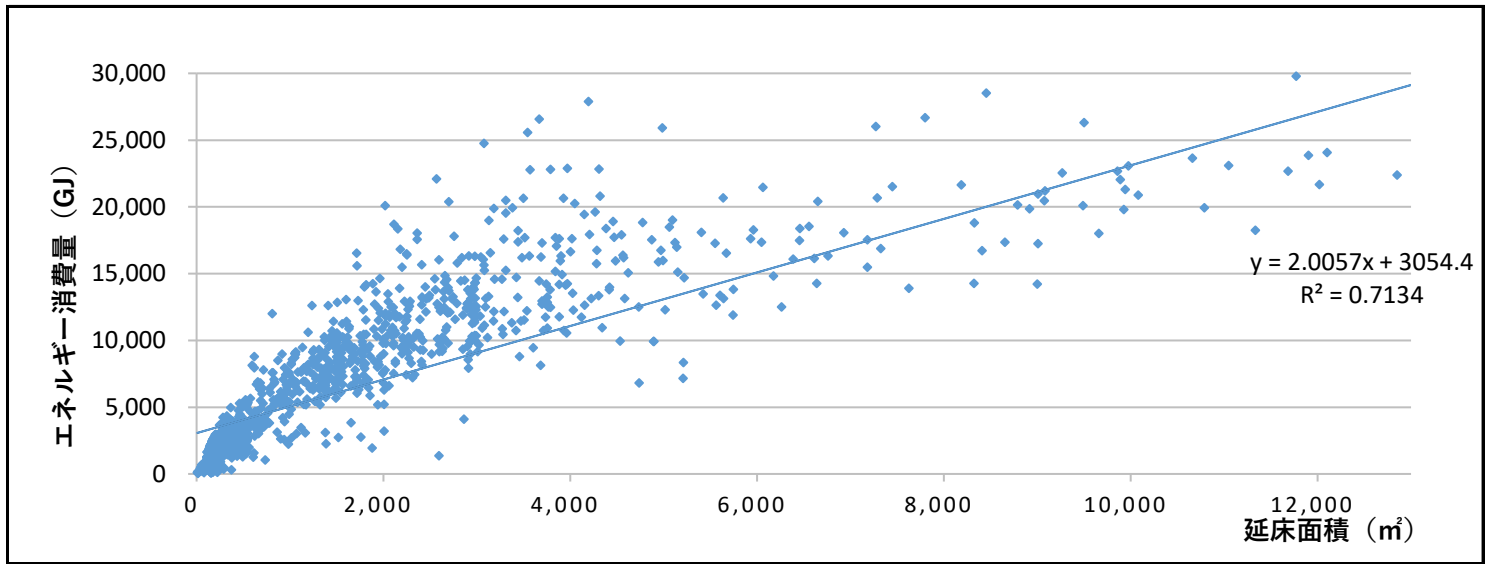
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:1356)



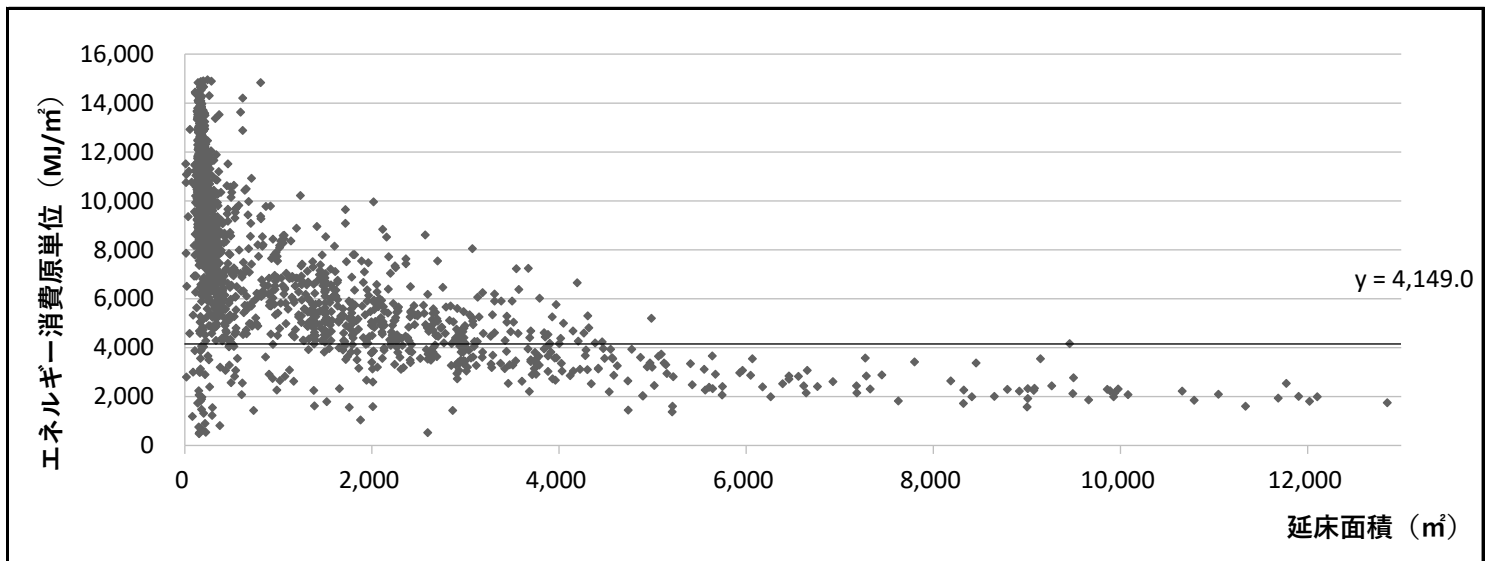
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:1257)



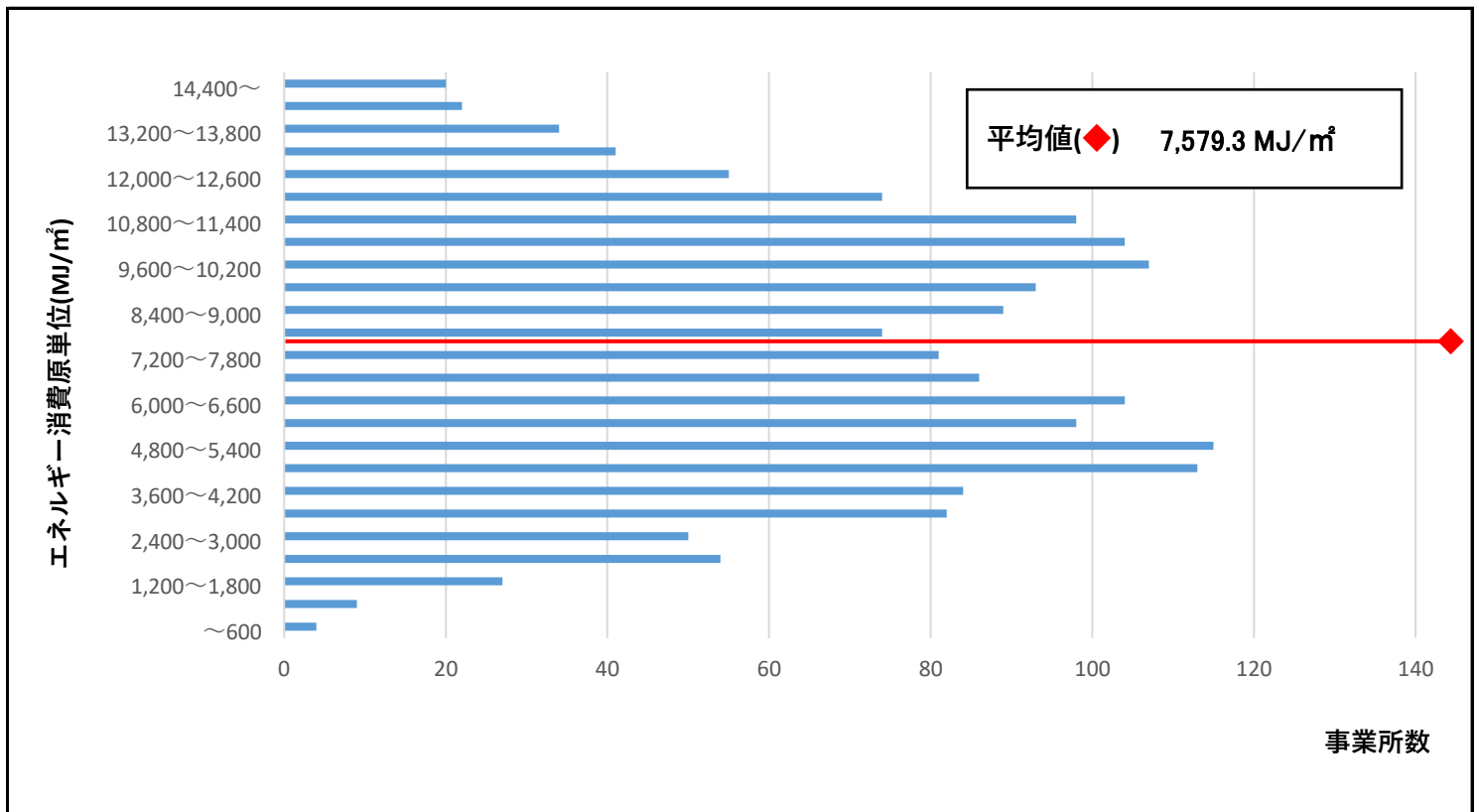
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



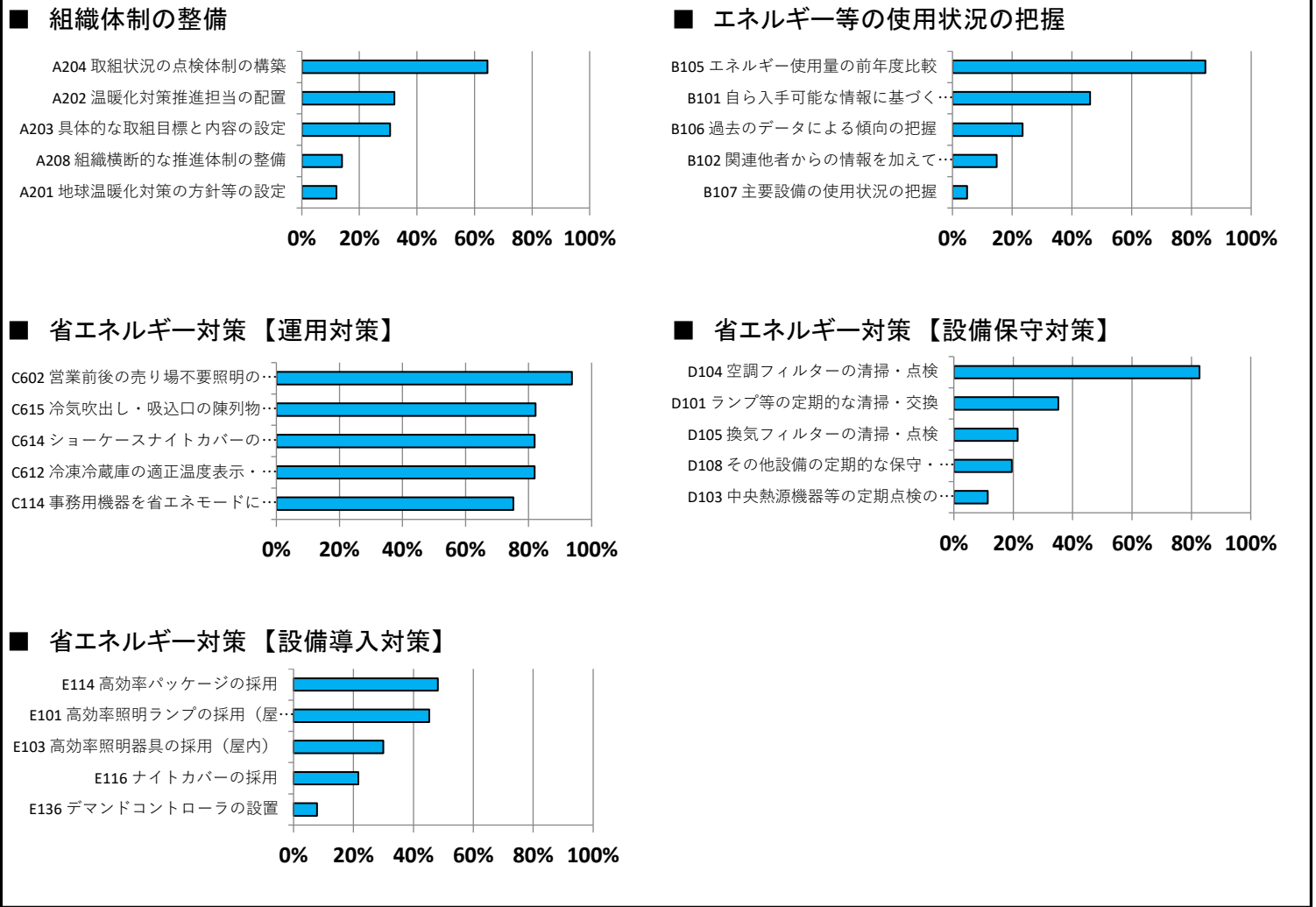
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

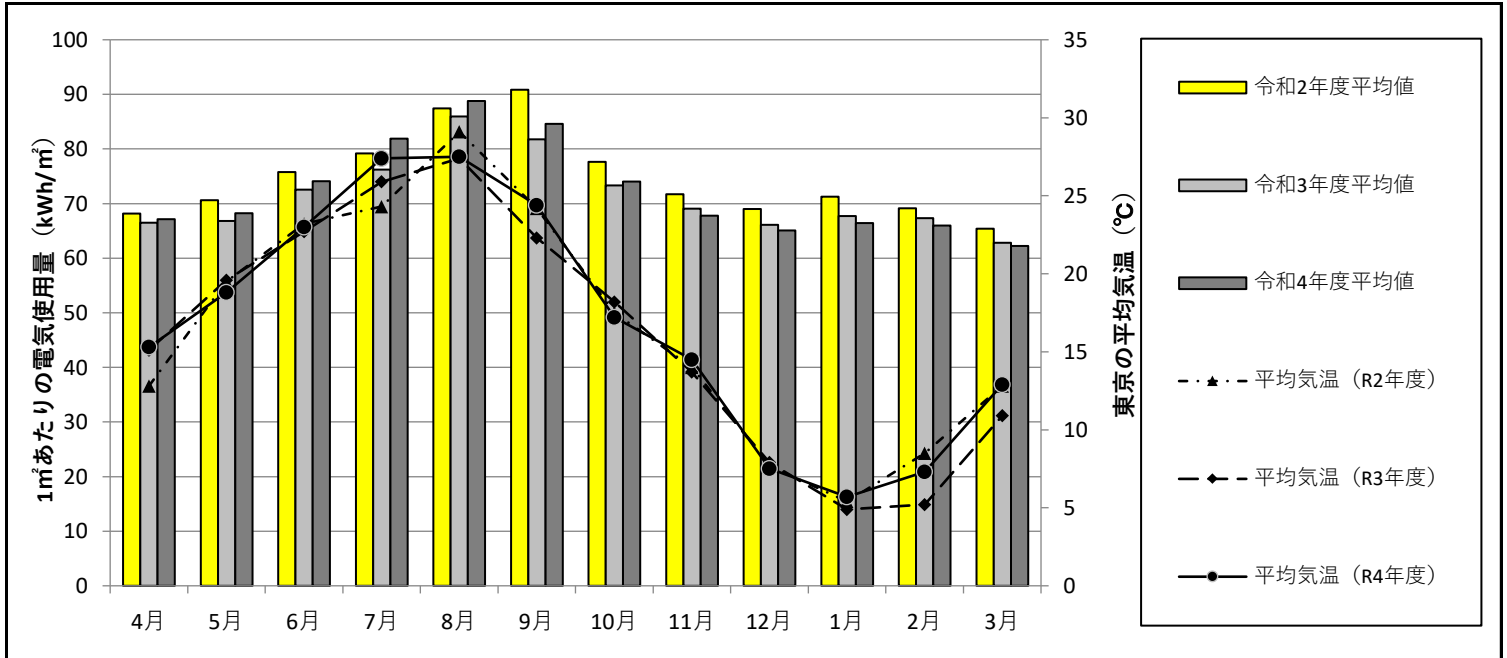


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

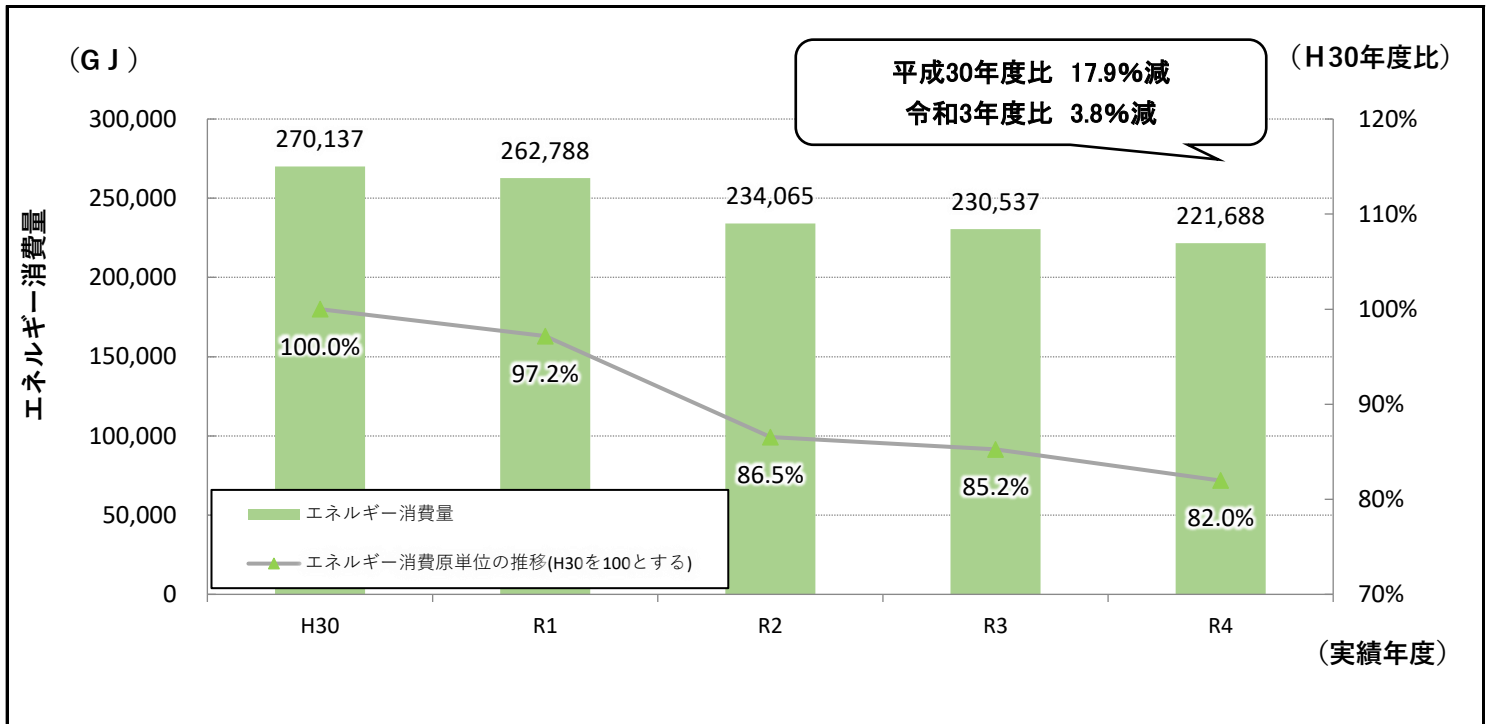
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



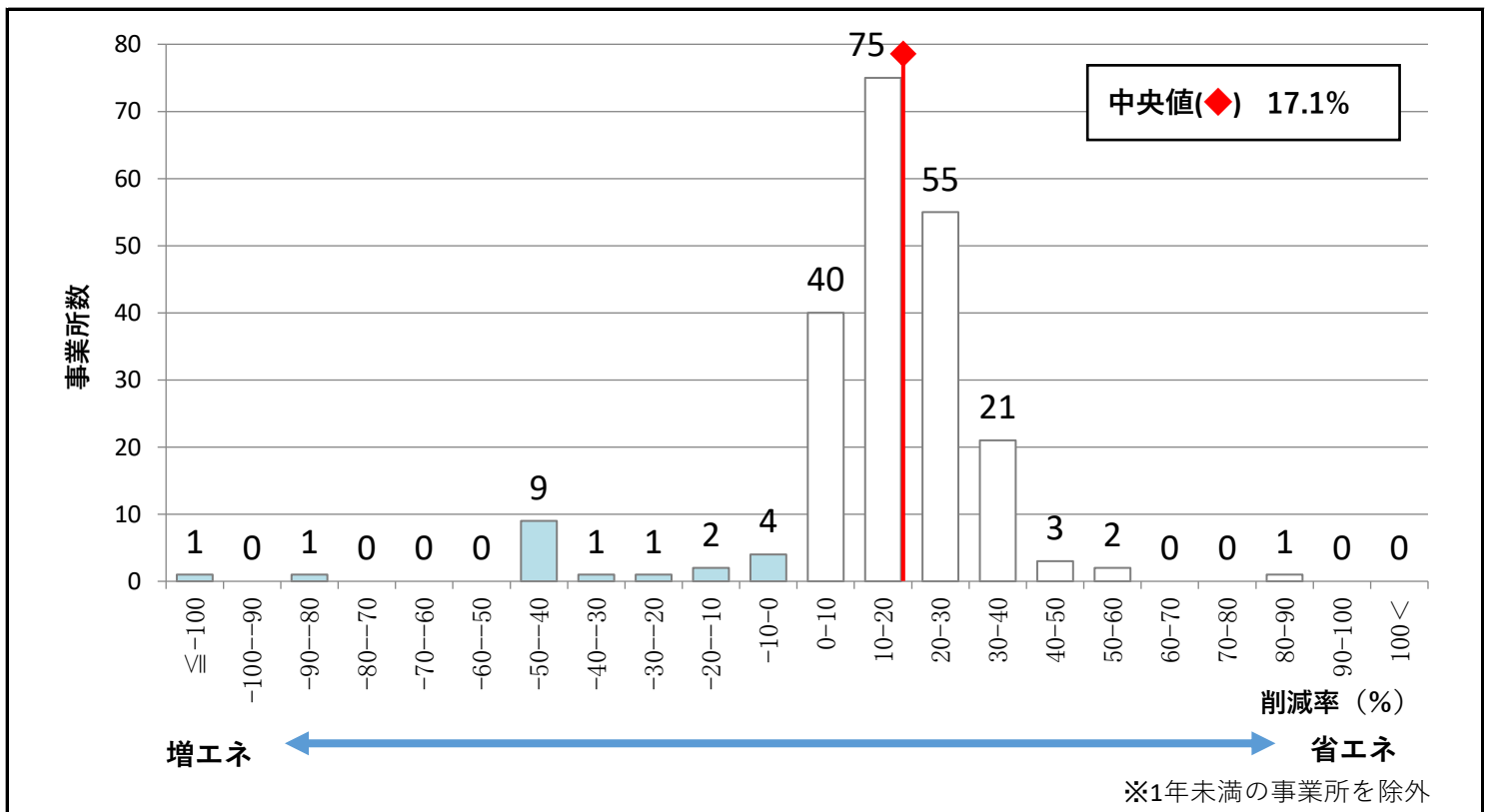
生鮮食品店のエネルギー消費は50～60%が冷蔵庫や冷凍ショーケースといわれています。冷凍冷蔵機器は庫内温度が下がるほど消費電力が増えるので、冷やし過ぎの防止がポイントになります。定期的に冷蔵庫内やショーケースの温度を記録するなどして、適正温度の保持に努めることが重要です。またショーケース付近は冷気が売場通路に流れ出て寒い空間が生じるため、冷房は効かせすぎないように、また暖房は天井に溜まってしまいう暖かい空気を、サーキュレータなどで床面に循環させることで暖房負荷の軽減を図りましょう。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「5861 菓子小売(製造小売)」 「5863 パン小売(製造小売)」 「5895 料理品小売業」 「77** 持ち帰り・配達飲食サービス」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設(物販)」
物販店 (食料品の製造小売)	242	230	

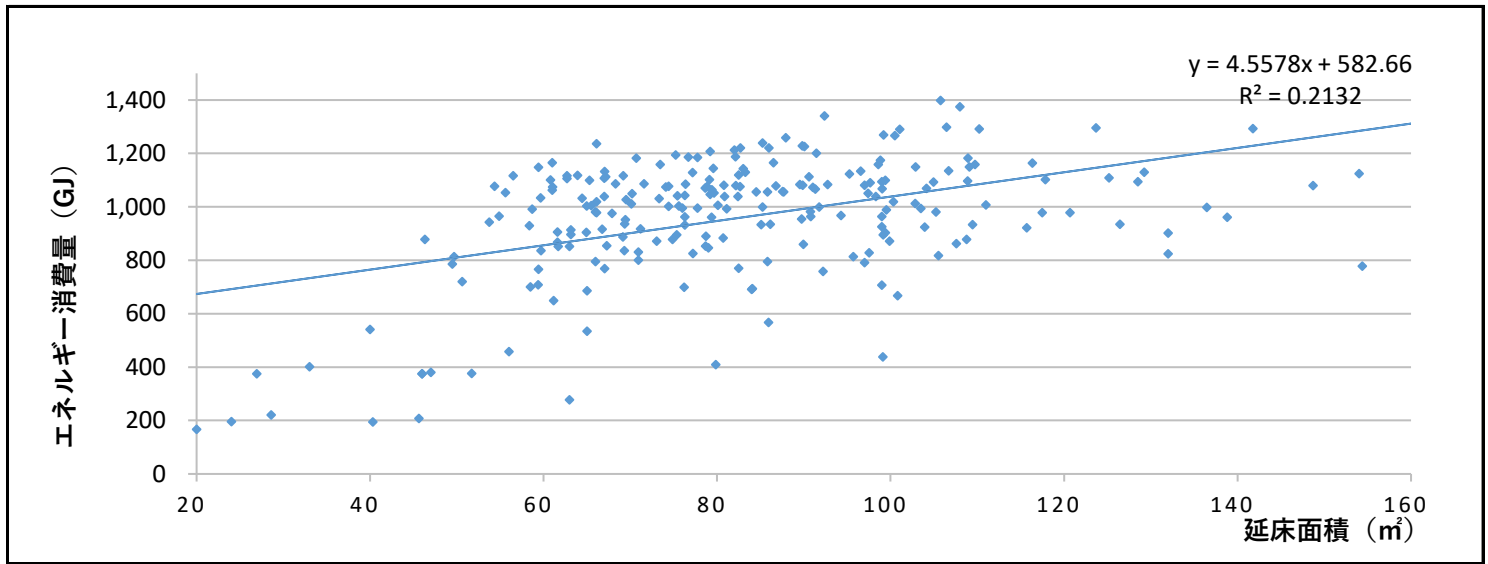
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:226)



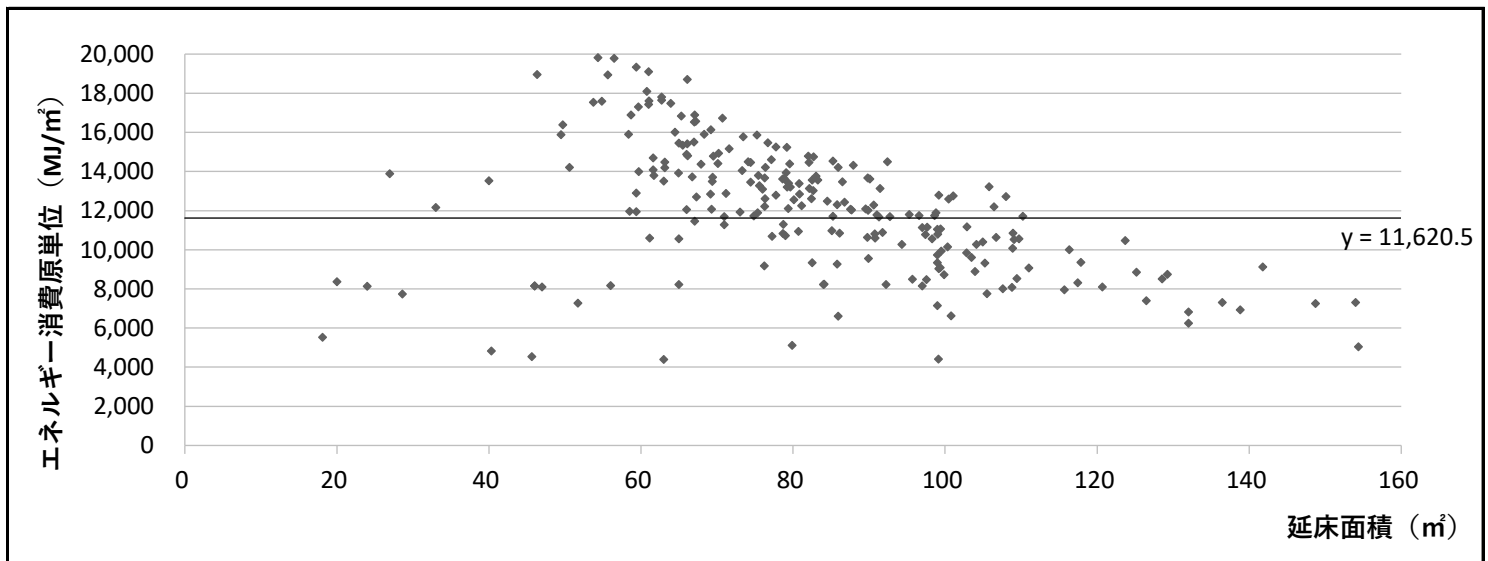
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:216)



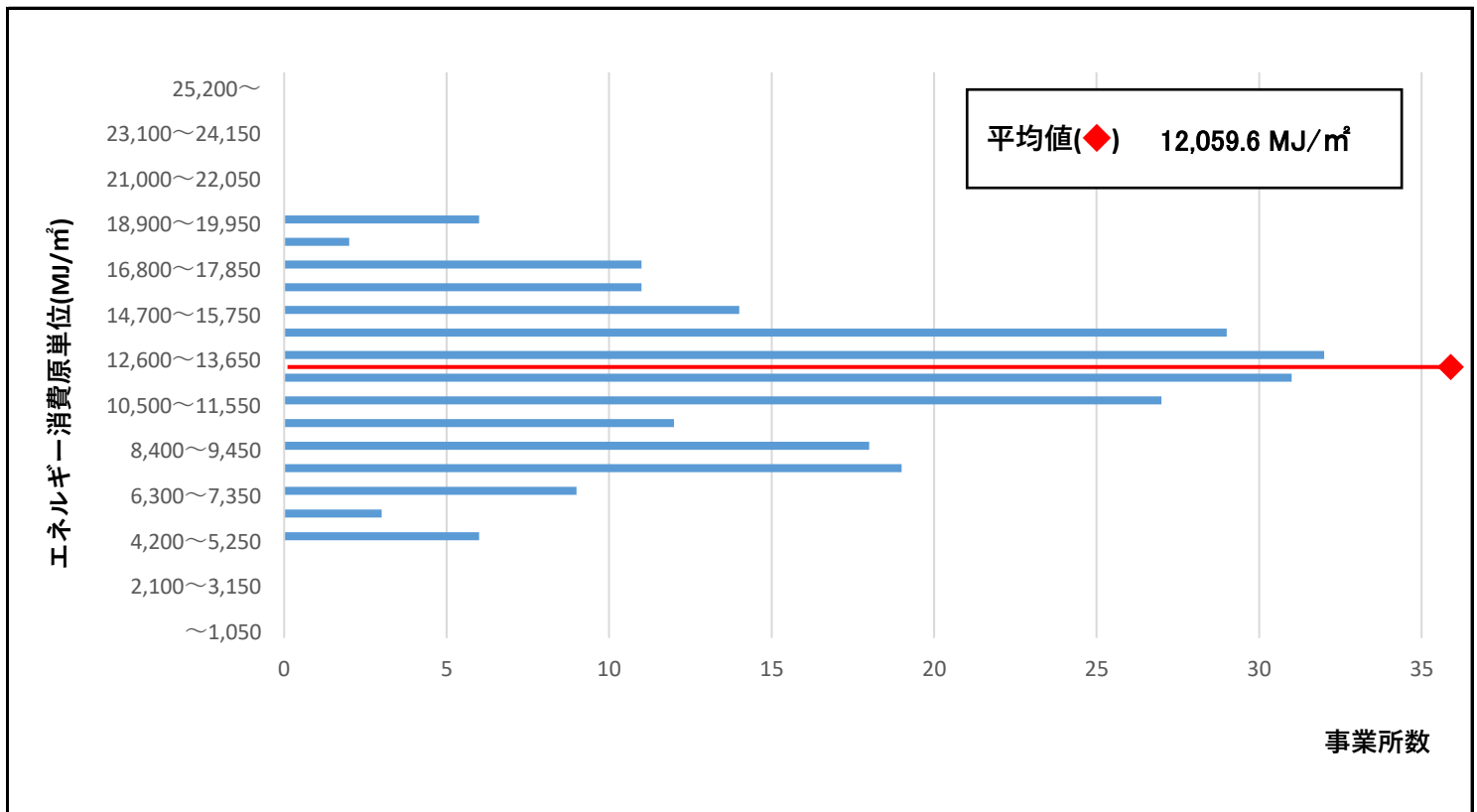
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



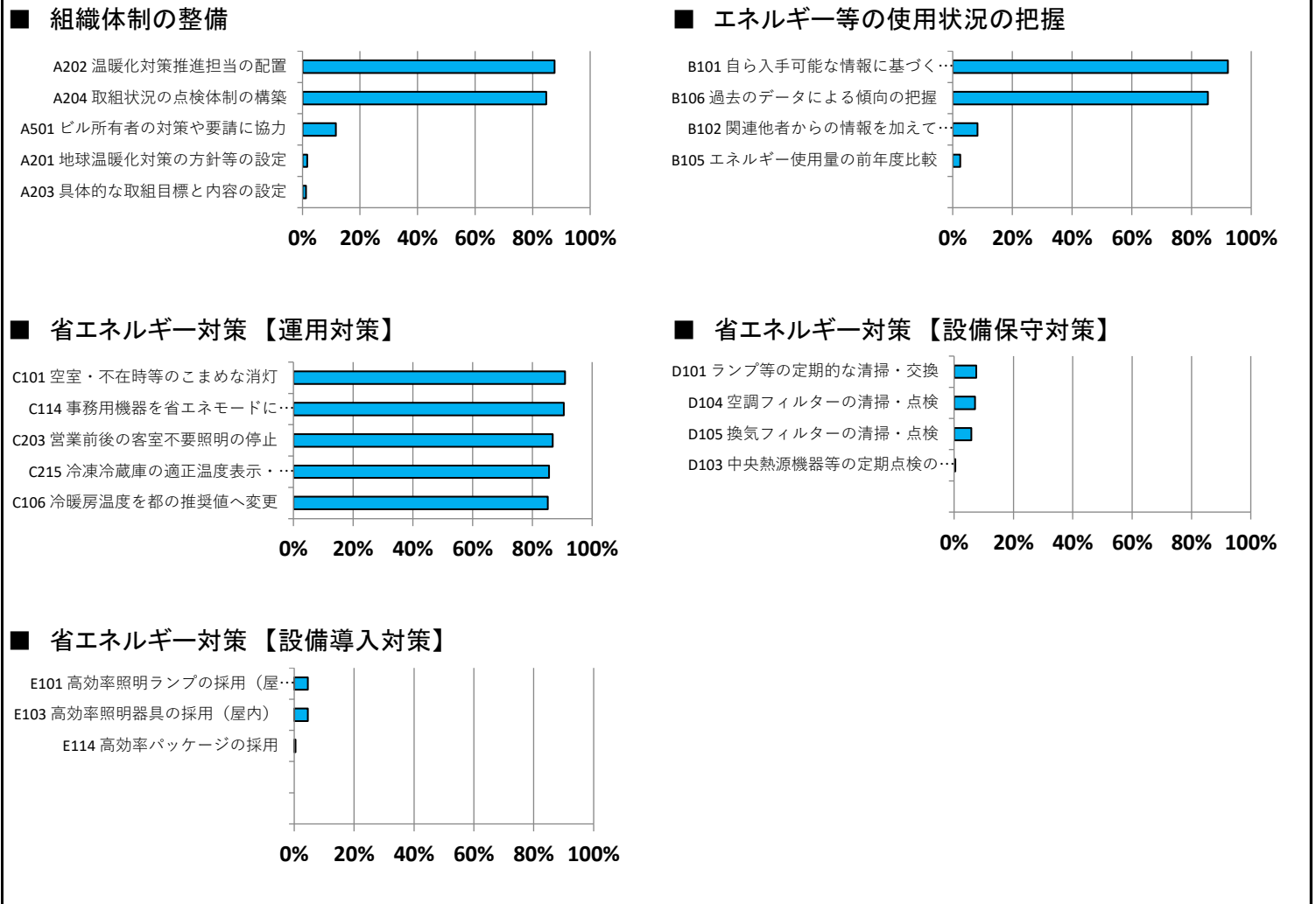
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

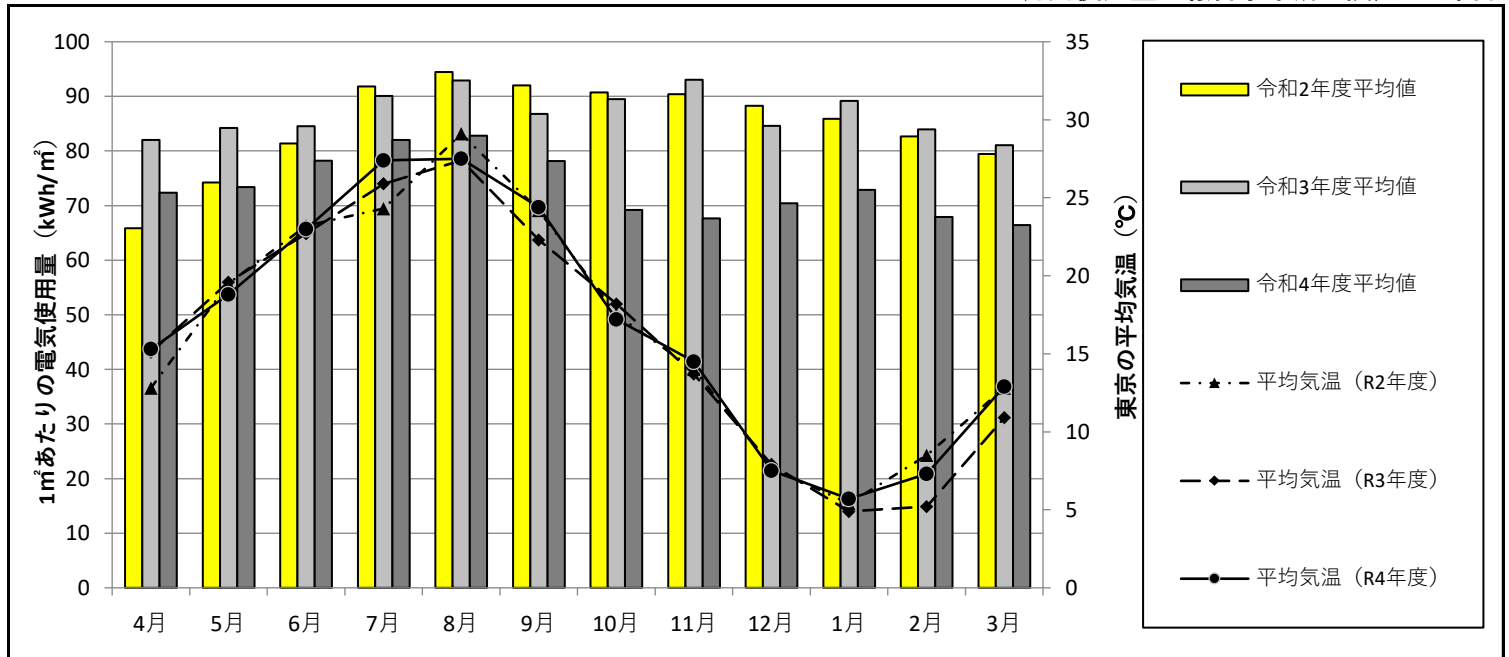


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

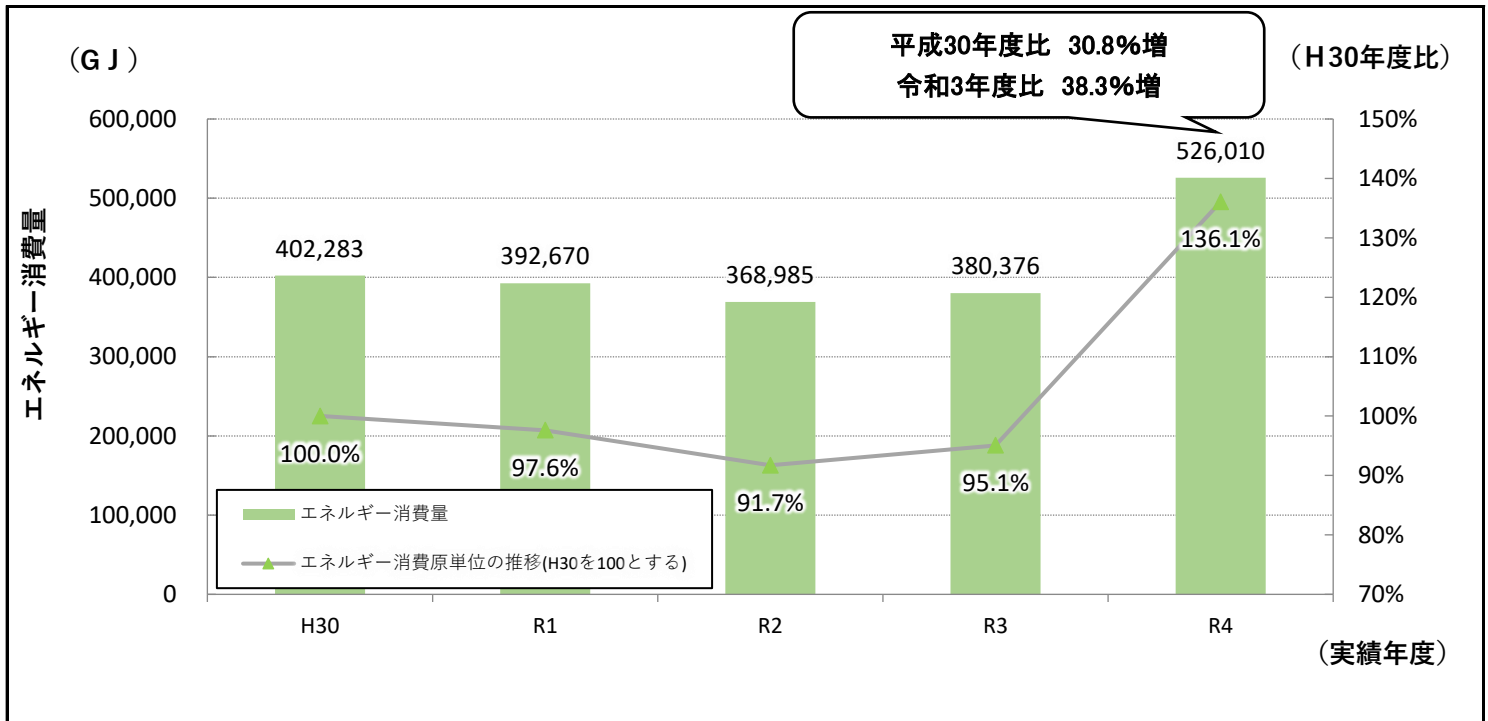
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



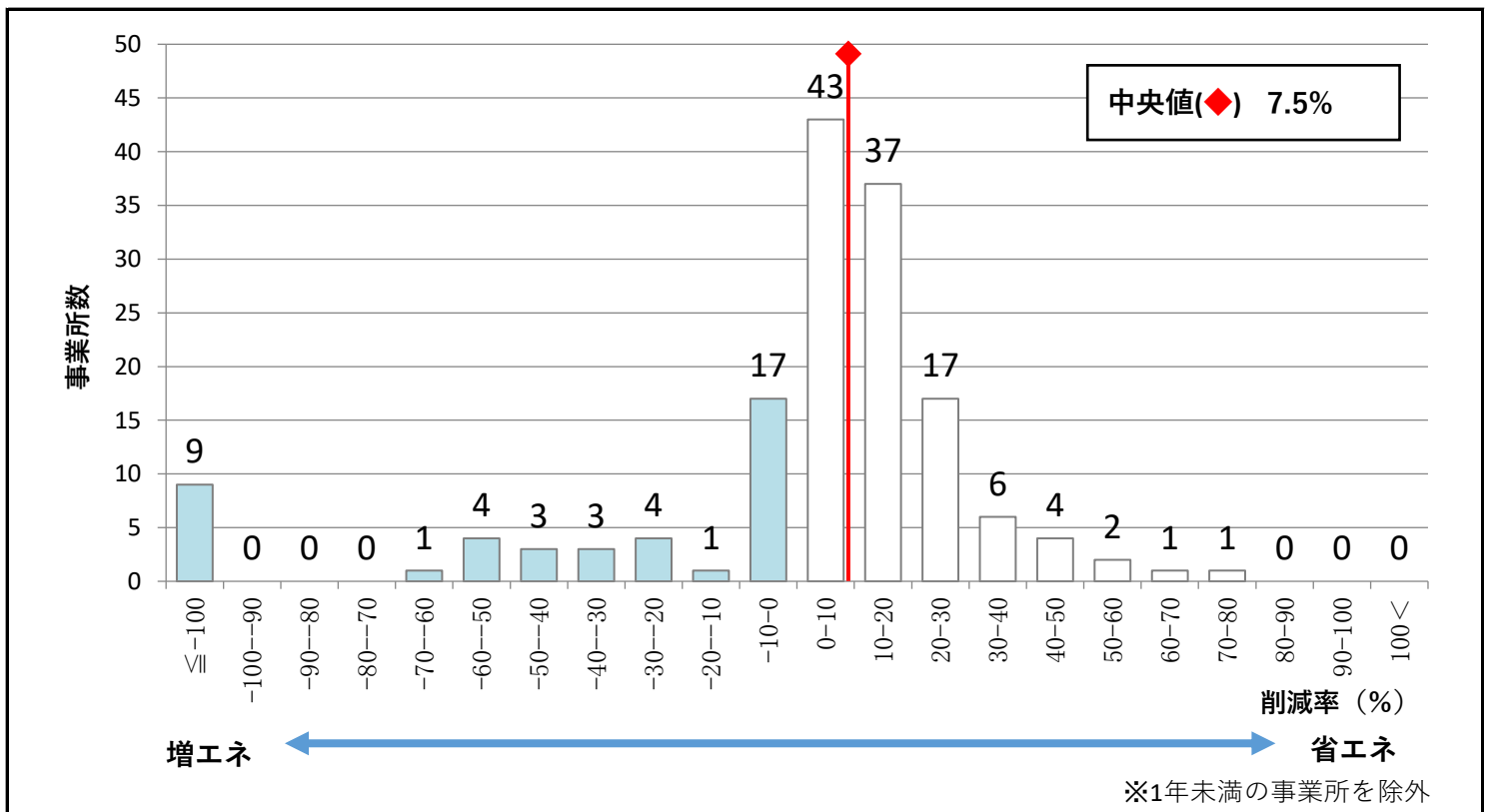
冷凍冷蔵庫の冷やし過ぎが解消できれば省エネにつながります。季節毎または昼夜毎にこまめに温度設定を調整することが有効です。またオープンやフライヤーなどでの無駄な余熱や加熱時間を削減することで、加熱に要するエネルギーだけでなく、フード換気量や空調エネルギーの削減が可能です。
【効果の試算】延床面積375㎡の飲食店で加熱機器の暖機を30分遅くすることで、換気（給・排気）の運転時間を削減し、それに伴う空調負荷を1%削減すると・・・年間13,769円280.6kg-CO2の削減になります。（報告書作成ハンドブック(メニュー編)の個表番号184参照）

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類 「57** 織物・衣服・身の回り品小売業」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設（物販）」
物販店（服飾店）	184	174	

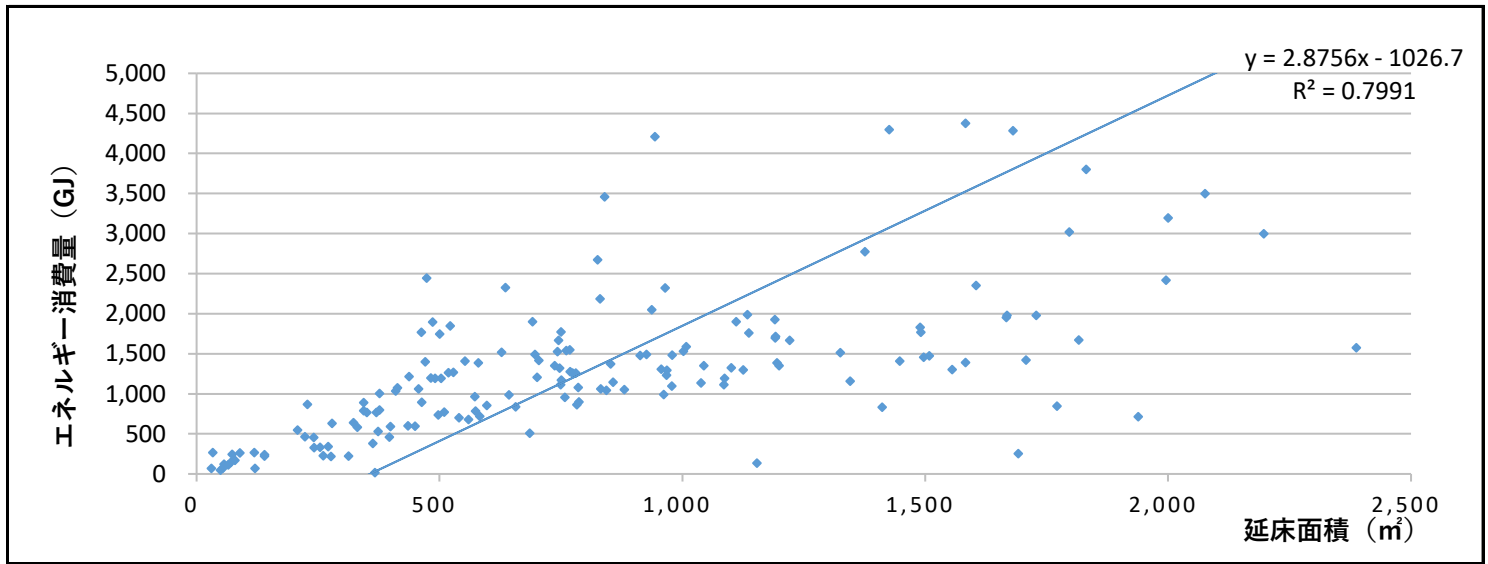
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:163)



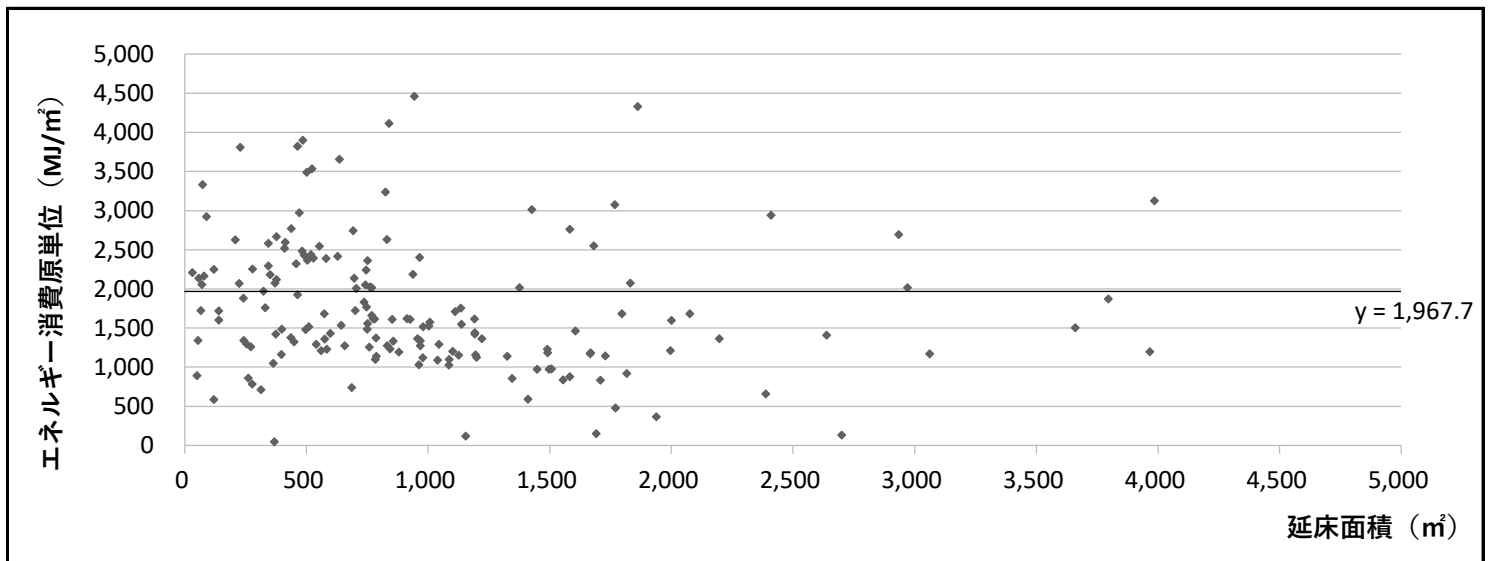
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:153)



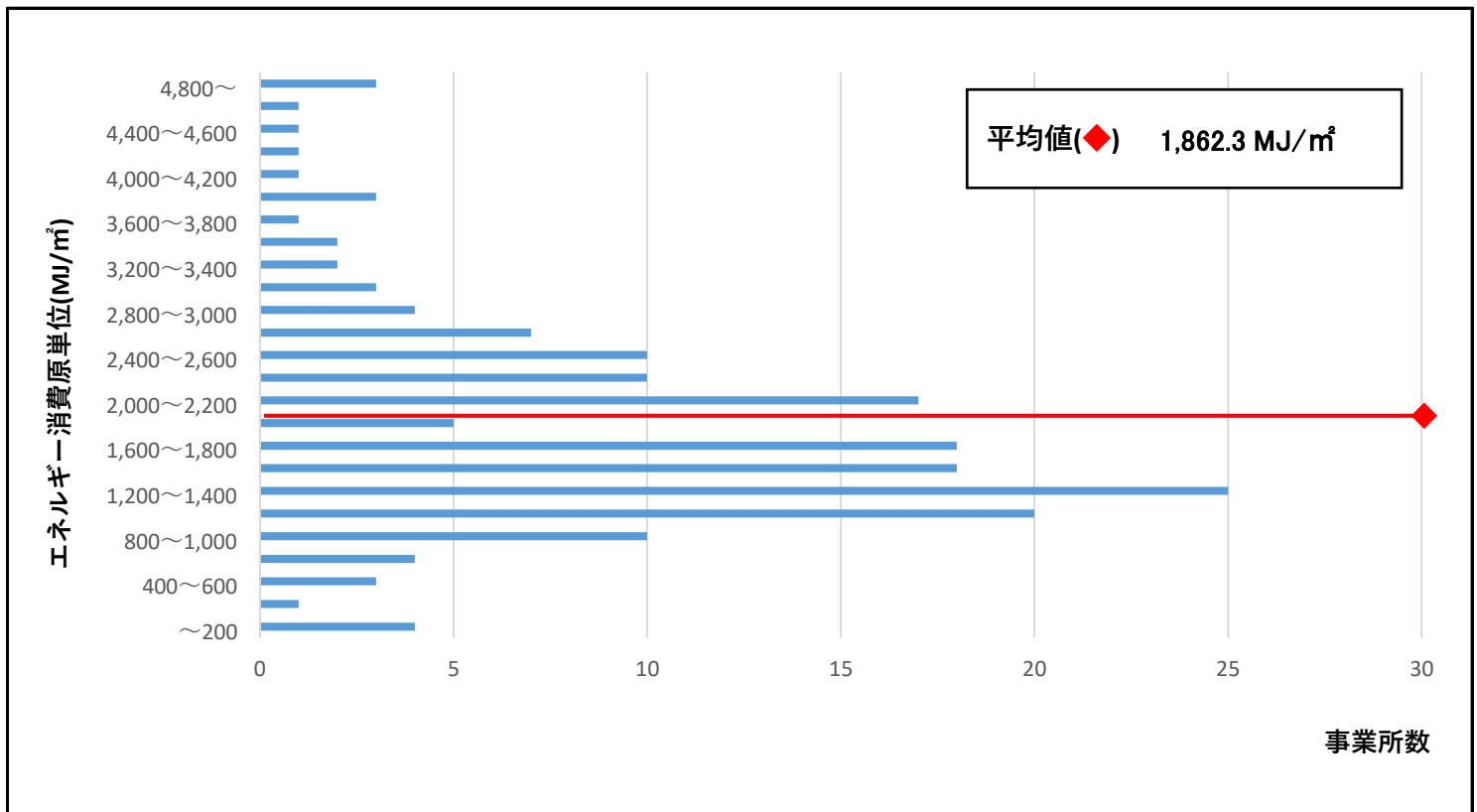
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



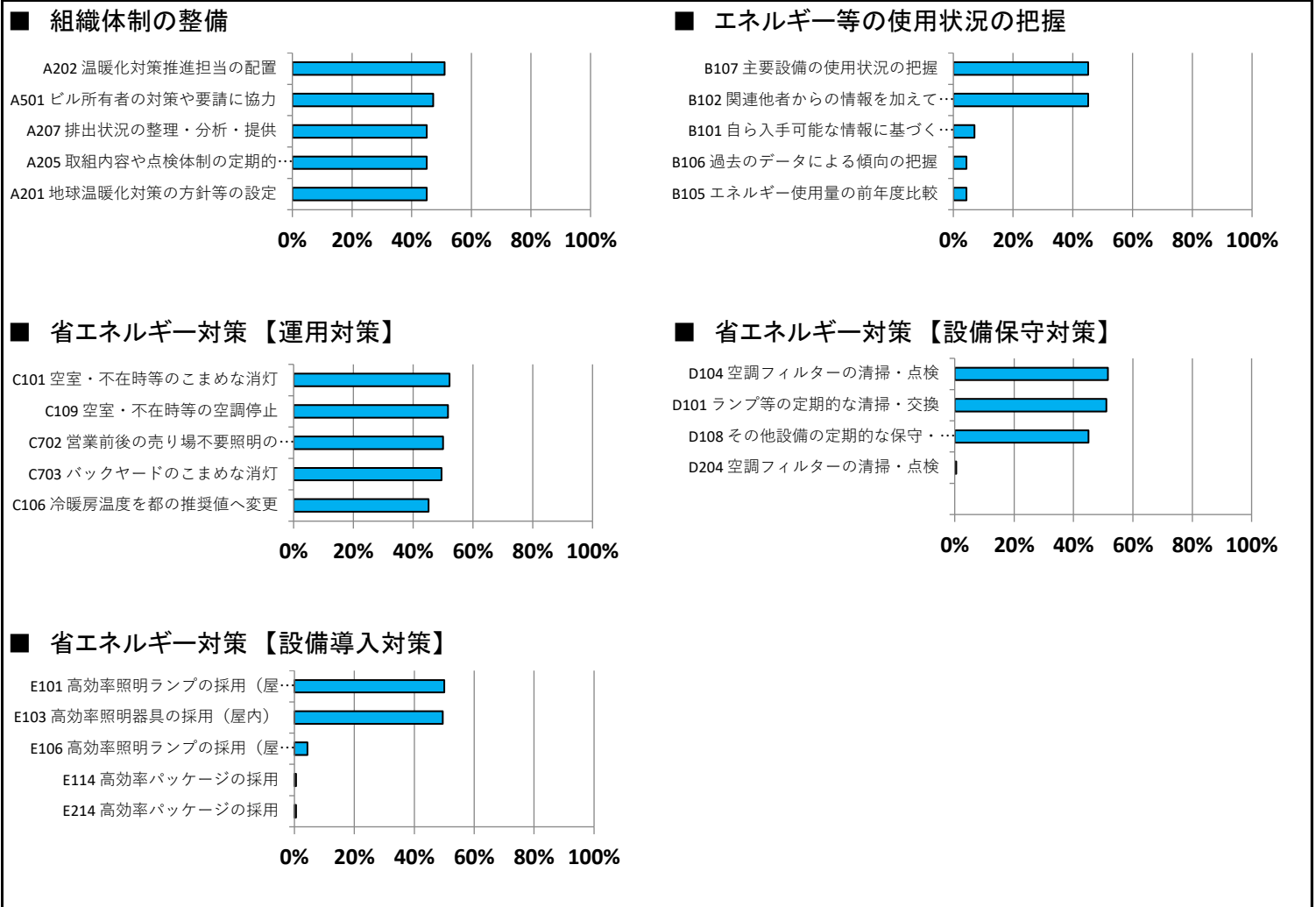
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

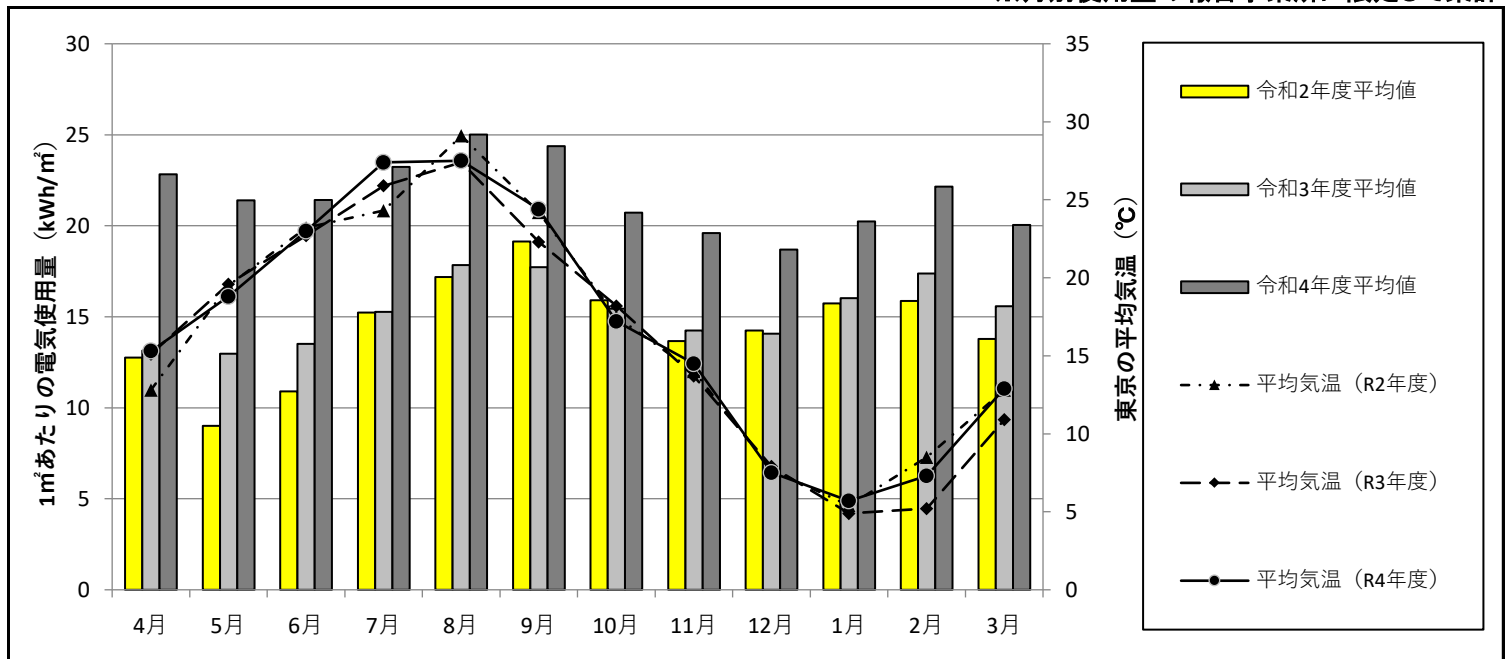


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

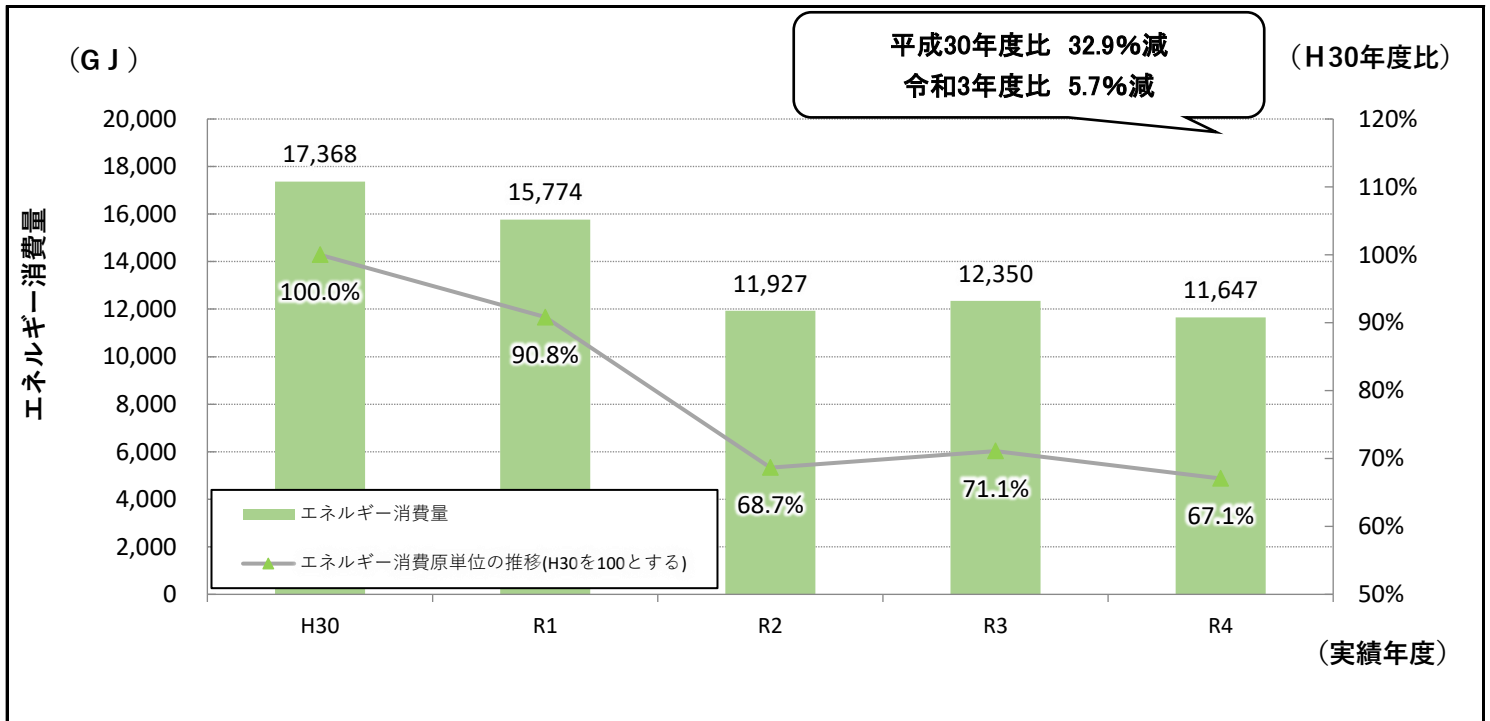
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



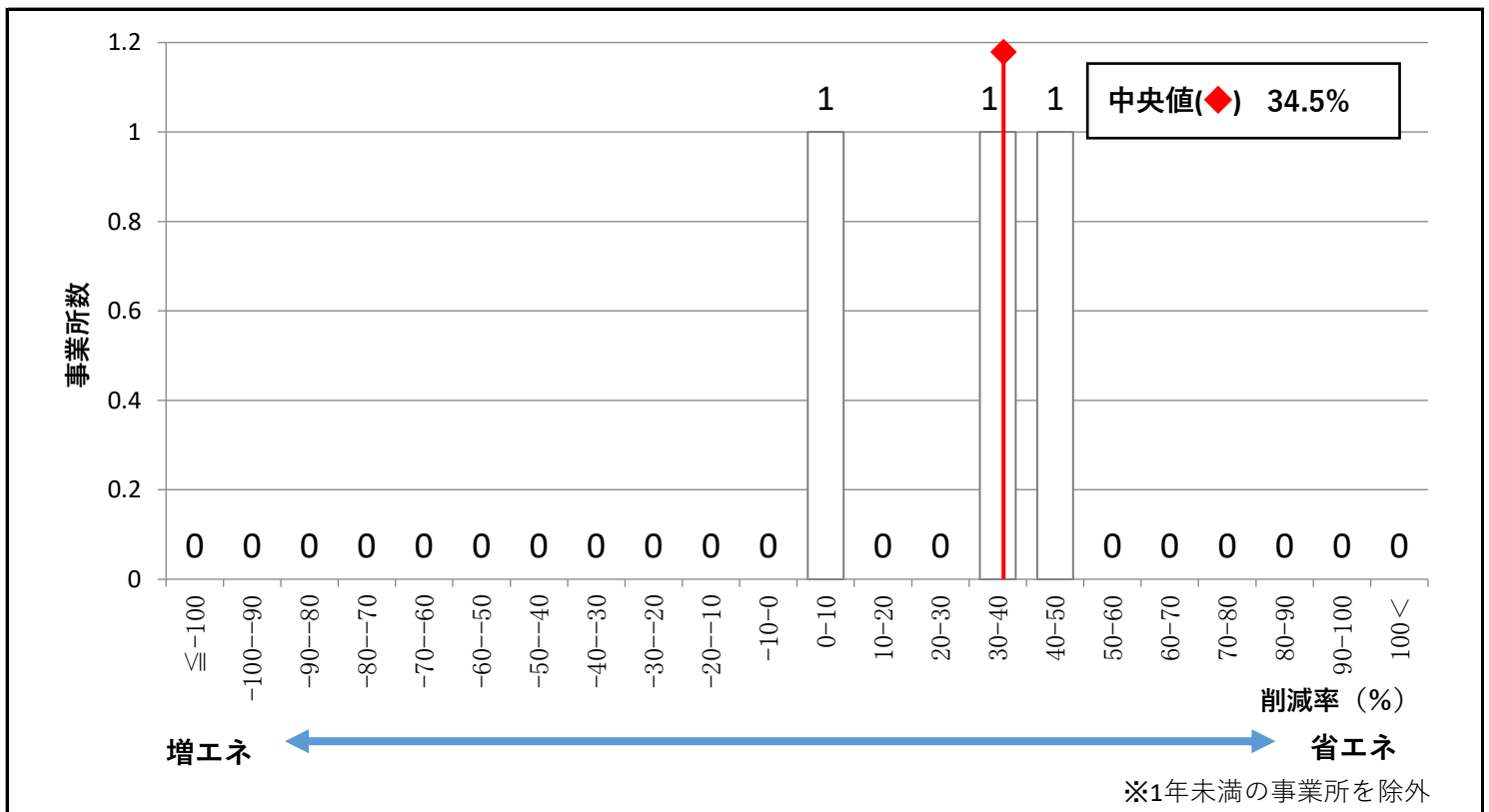
衣類の販売においては、商品の材質感や高級感を際立たせるため、演色性に優れたLED照明器具を活用したスポット照明の採用がお勧めです。天井照明の照度を適正に調整して販売フロアの照度が過剰にならないように調整しましょう。店内の在店客数は曜日や時間帯でばらつきがあります。空調については客数の少ない時間帯では外気導入を停止あるいは削減することで大幅な省エネが図れます。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「5911 自動車（新車）小売業」 ・報告範囲の主たる用途 「商業施設（物販）」「複合施設」
物販店（自動車小売）	193	189	

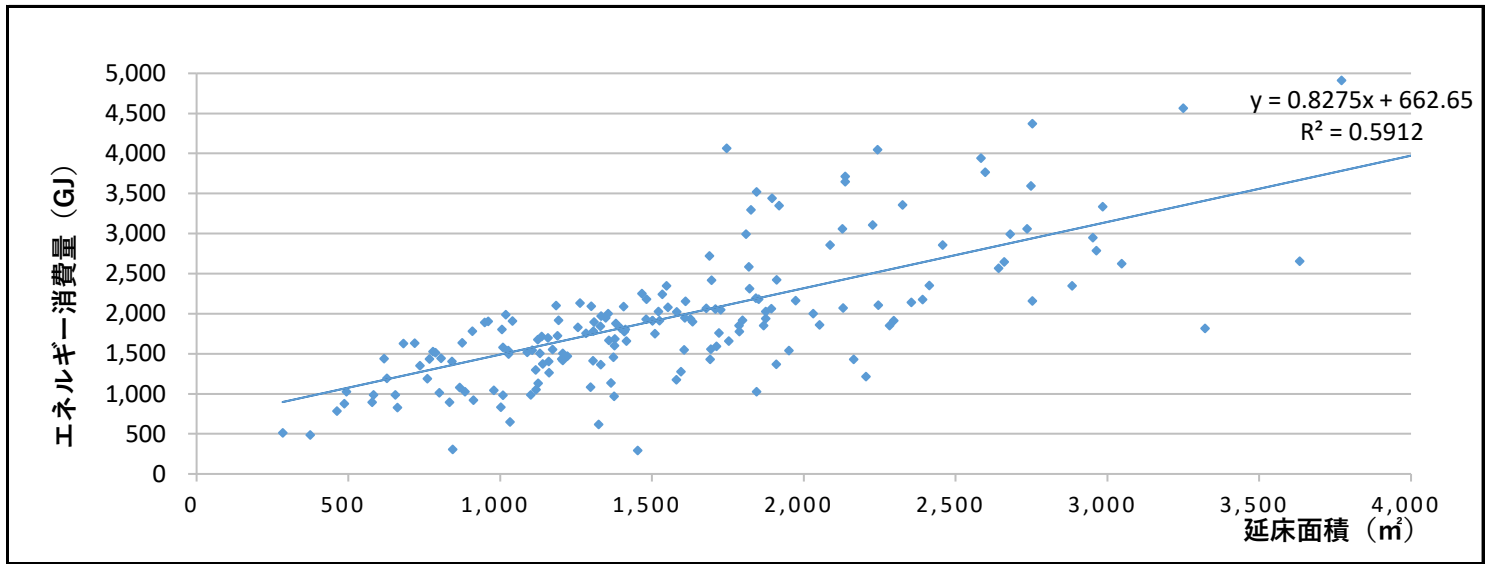
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:3)



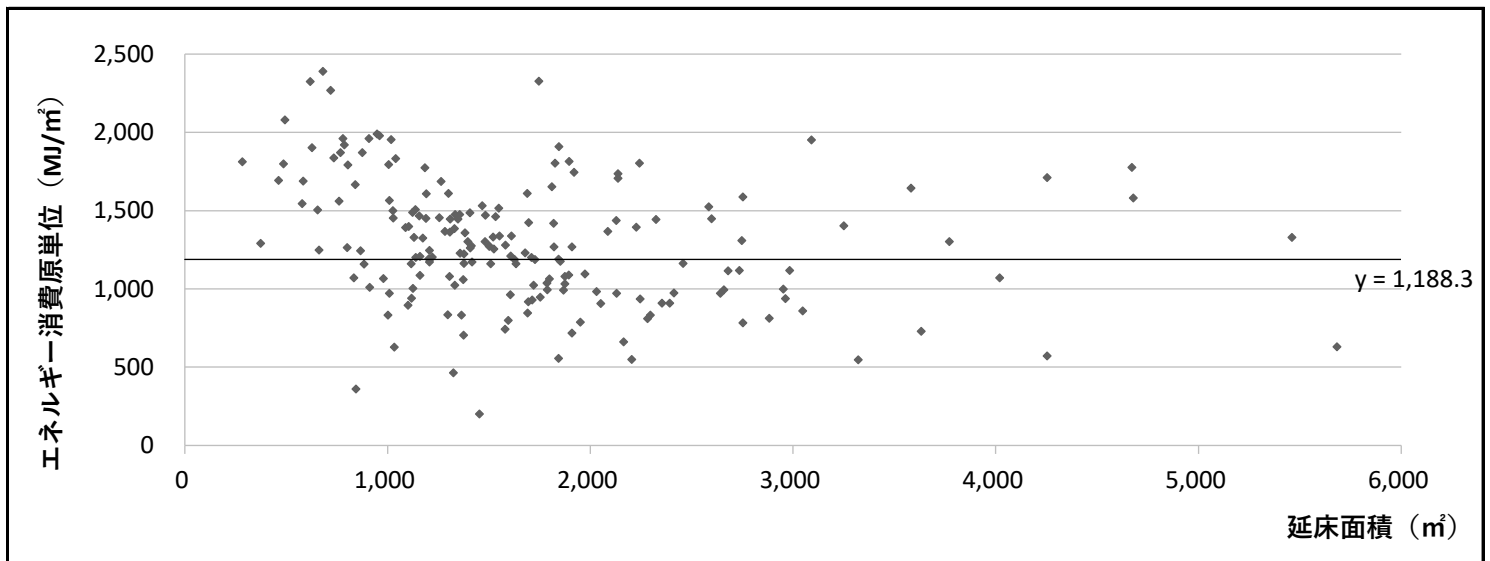
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:3)



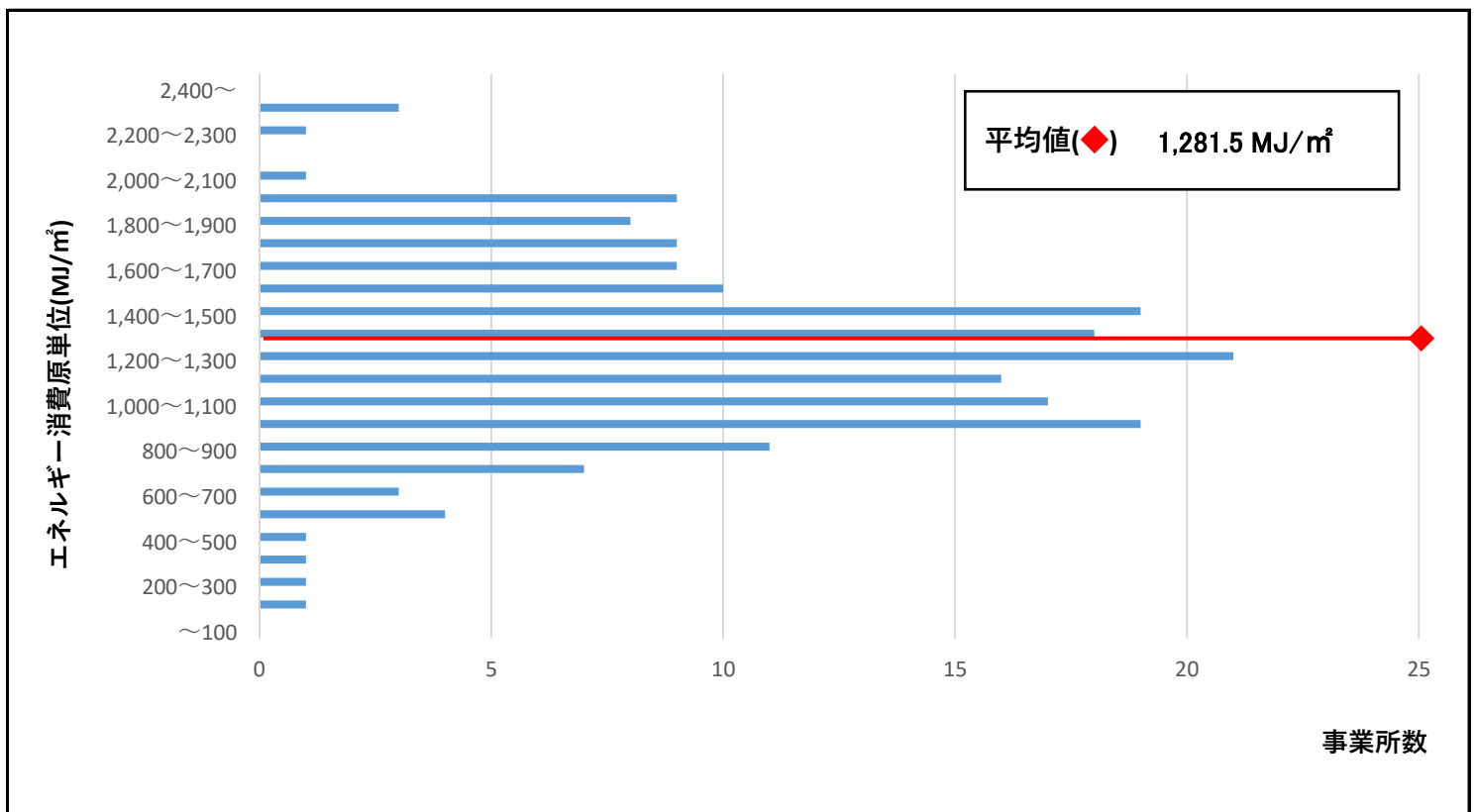
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



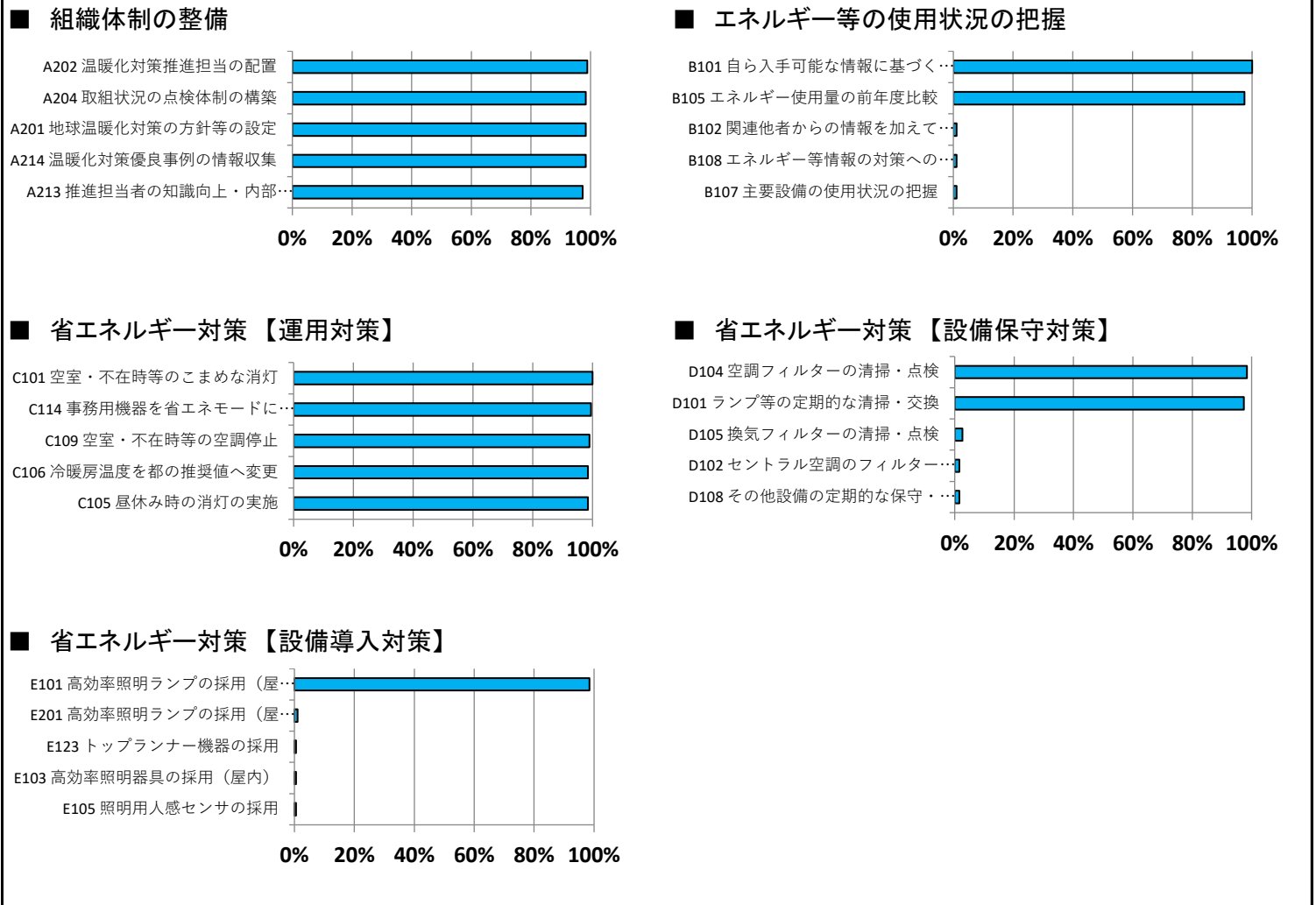
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

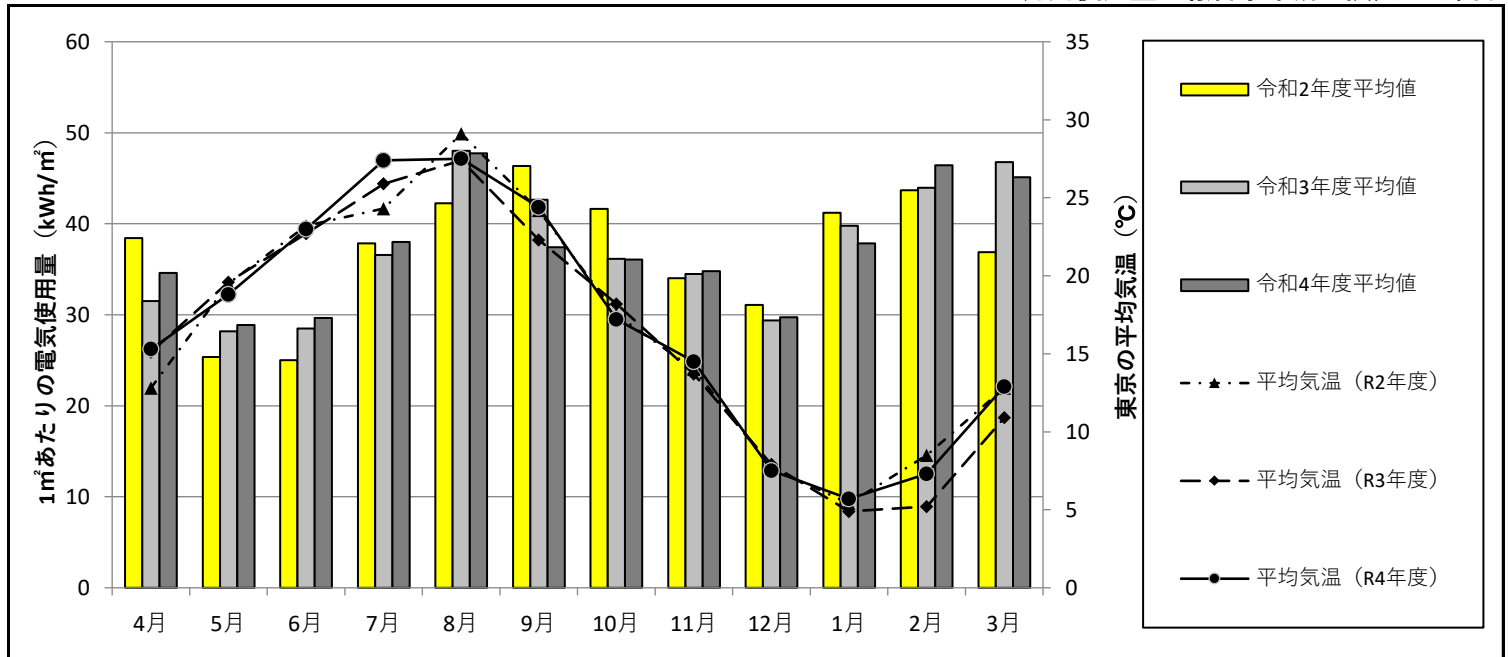


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

※月別使用量の報告事業所に限定して集計

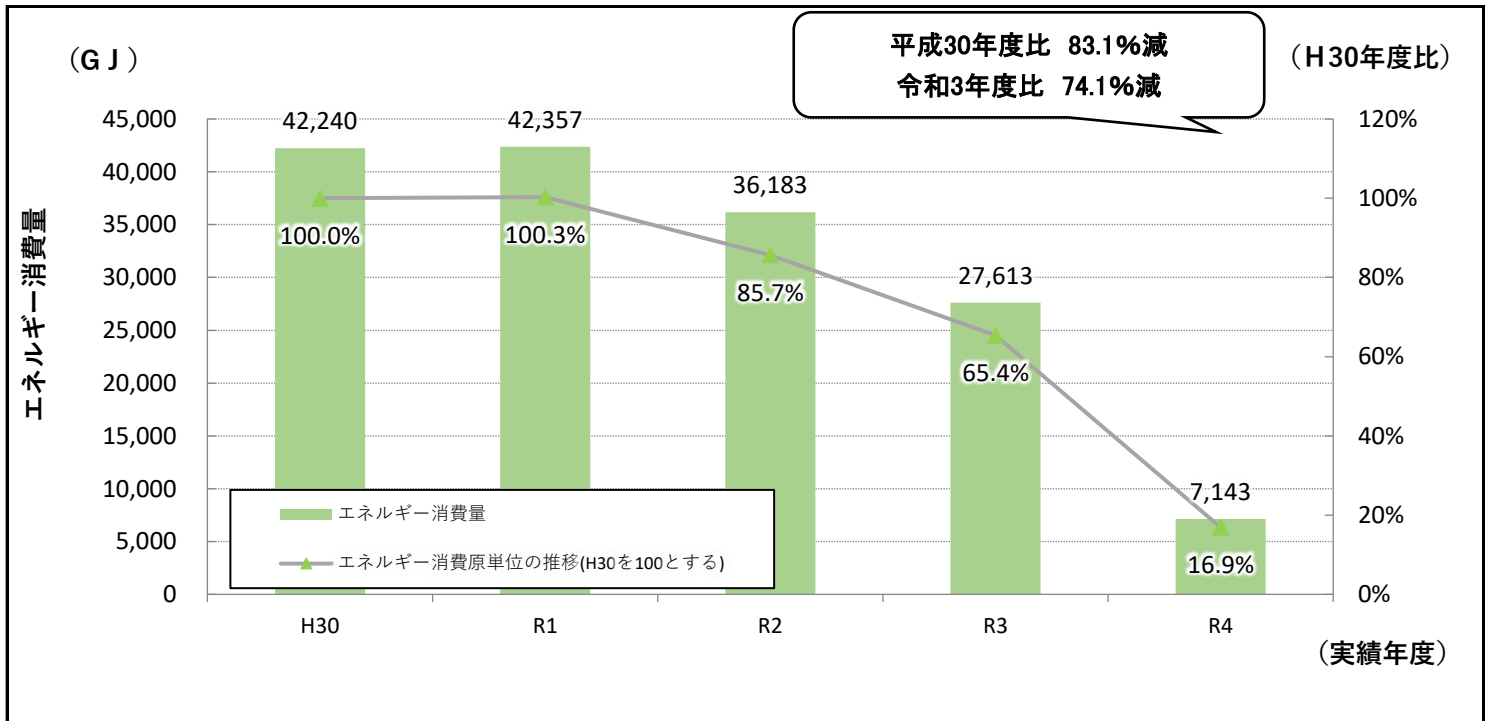


広い道路に面した全面ガラス張りの店舗が多くみられますが、南や西向きの場合、夏期は日射が強く、冷房していても輻射熱で不快になります。また、冬期はガラス面からの冷輻射や、ガラス面にそって冷やされた空気が下に降りてくるコールドドラフトと呼ばれる現象で、強い寒さを感じます。いずれも二重ガラス等に替えてガラス窓の断熱性を向上させることが解決策となりますが、遮熱フィルムを貼ったり、冬期は窓を厚手のカーテンで下まで囲う等の対策も効果的です。快適性と省エネの兼ね合いが重要になります。

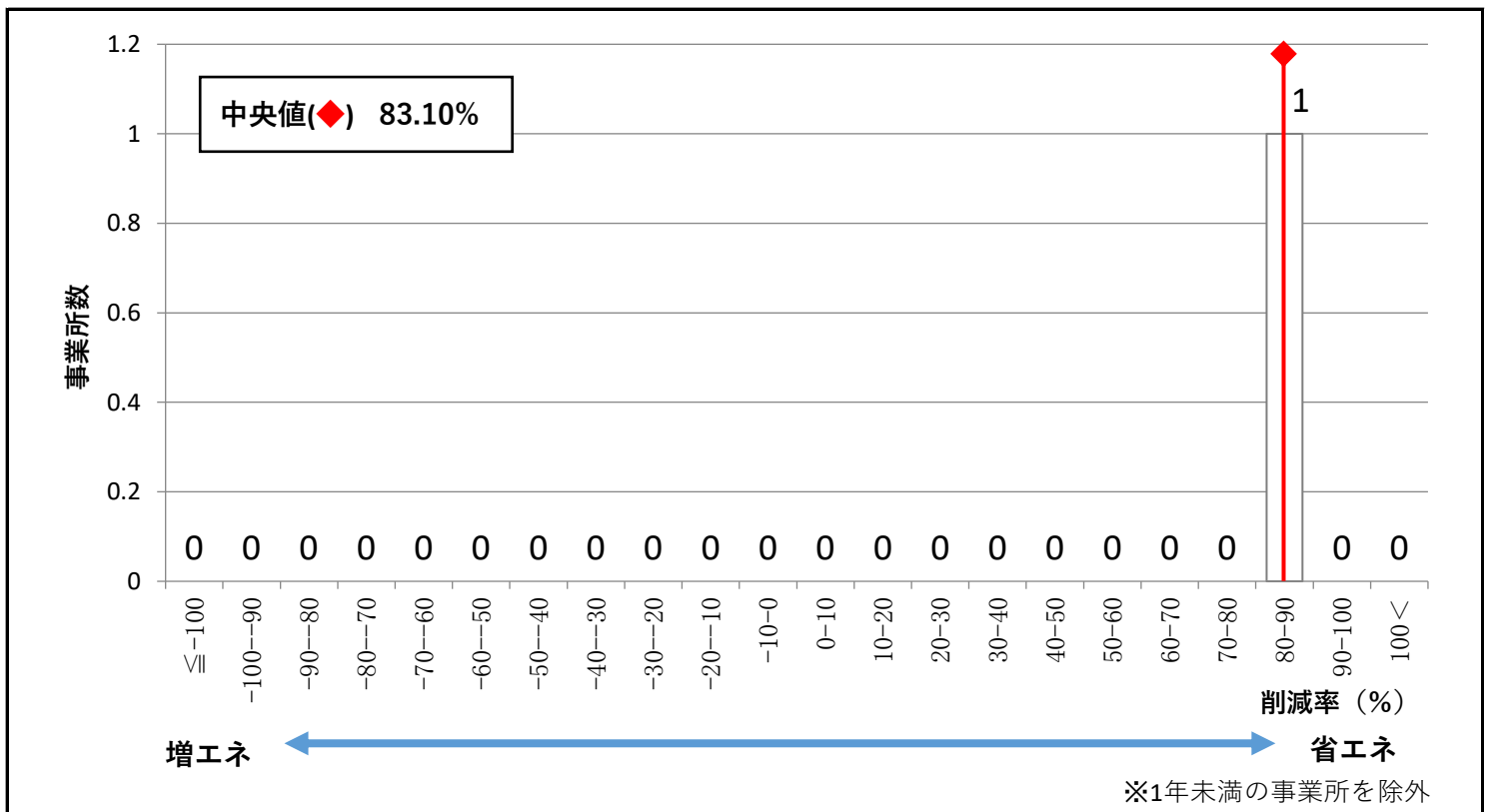
事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数
物販店 (その他小売)	3	3

<集計対象の説明>
 ・R4年度実績分を提出した事業所
 ・日本標準産業分類「6099 他に分類されないその他の小売業」
 ・報告範囲の主たる用途「商業施設(物販)」

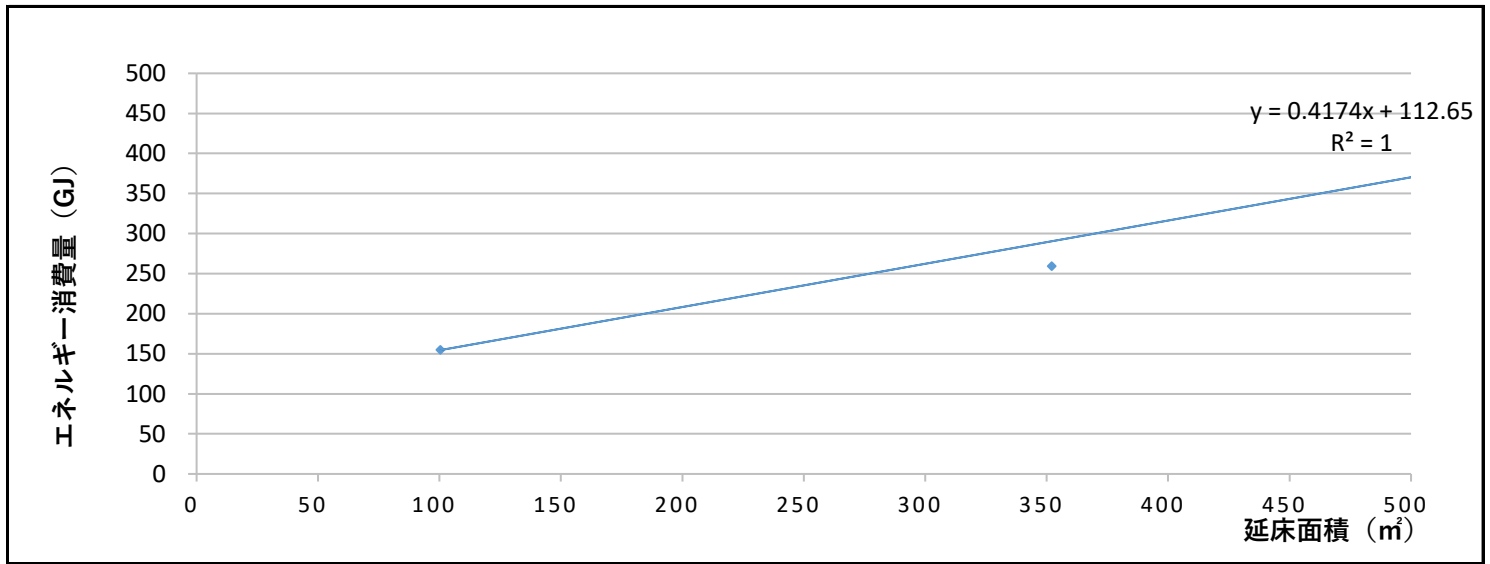
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:1)



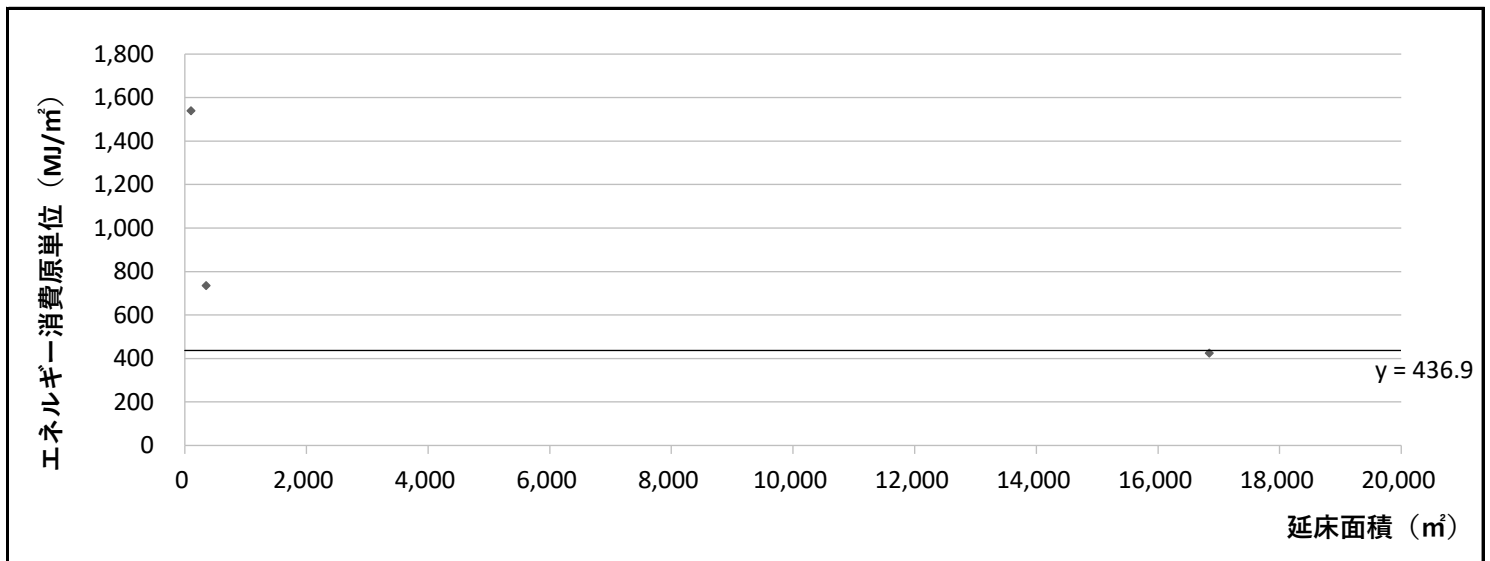
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:1)



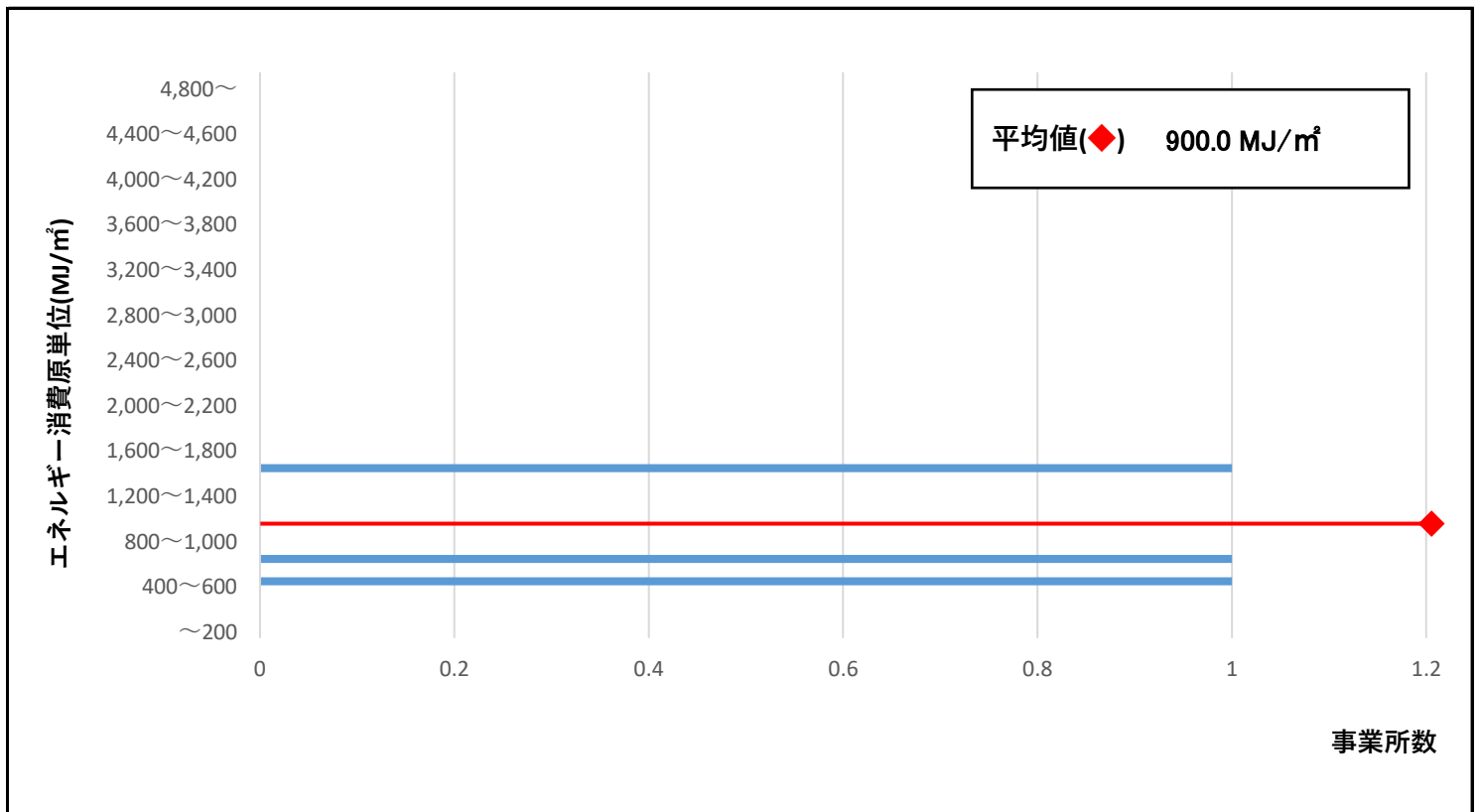
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



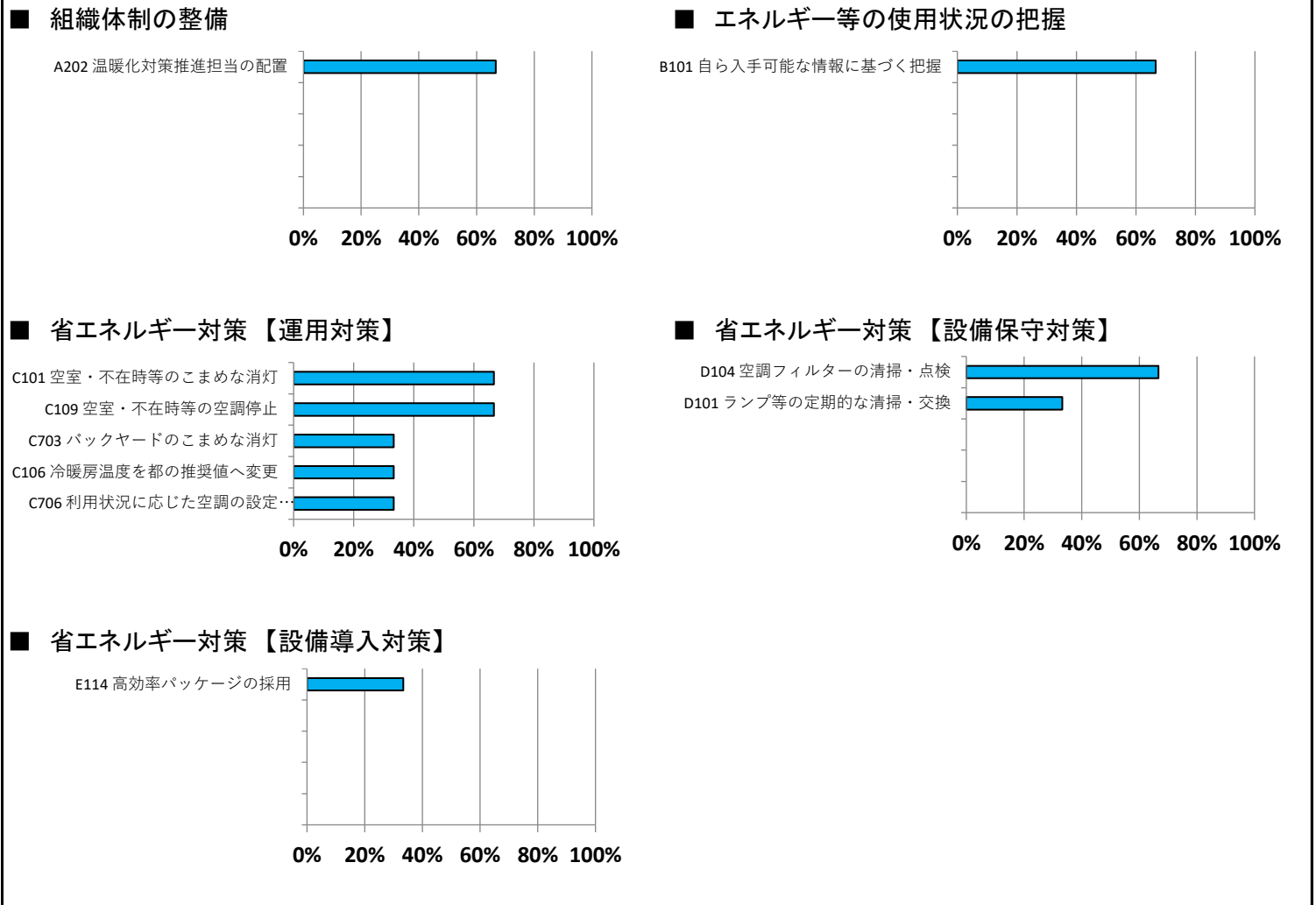
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

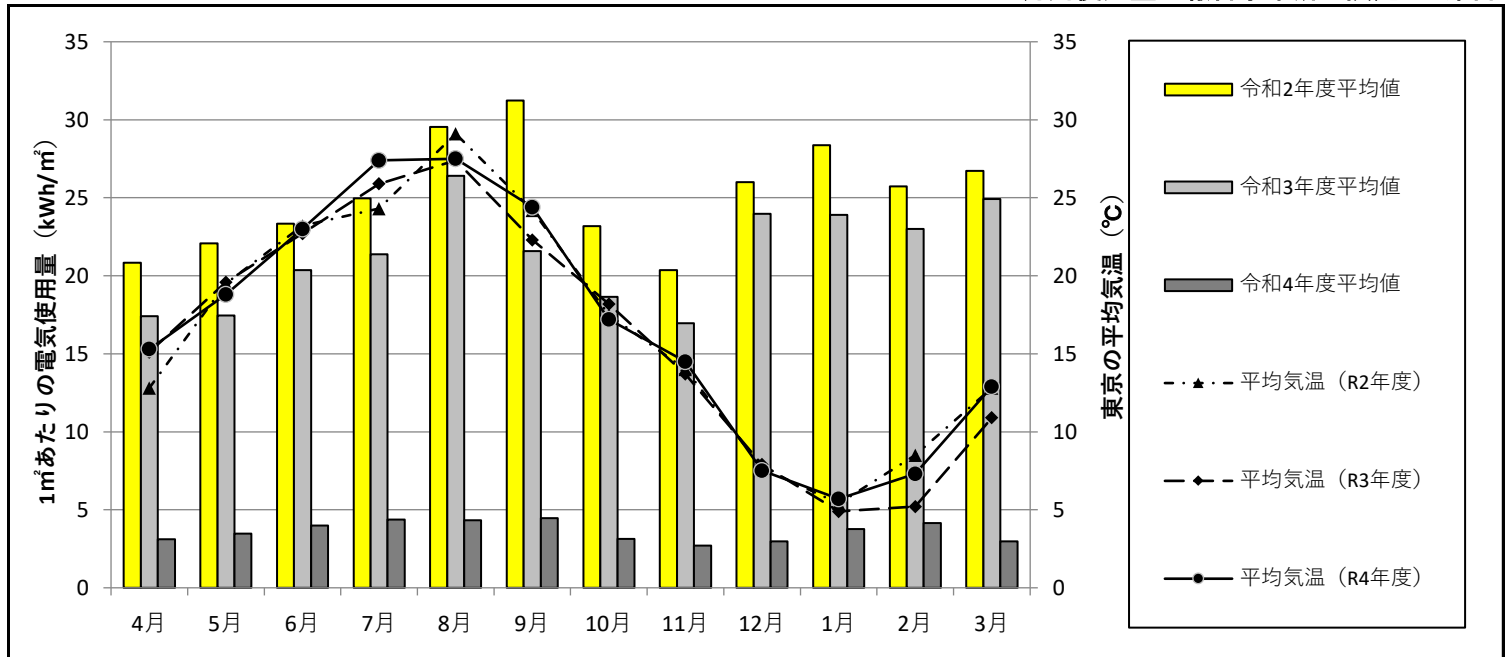


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

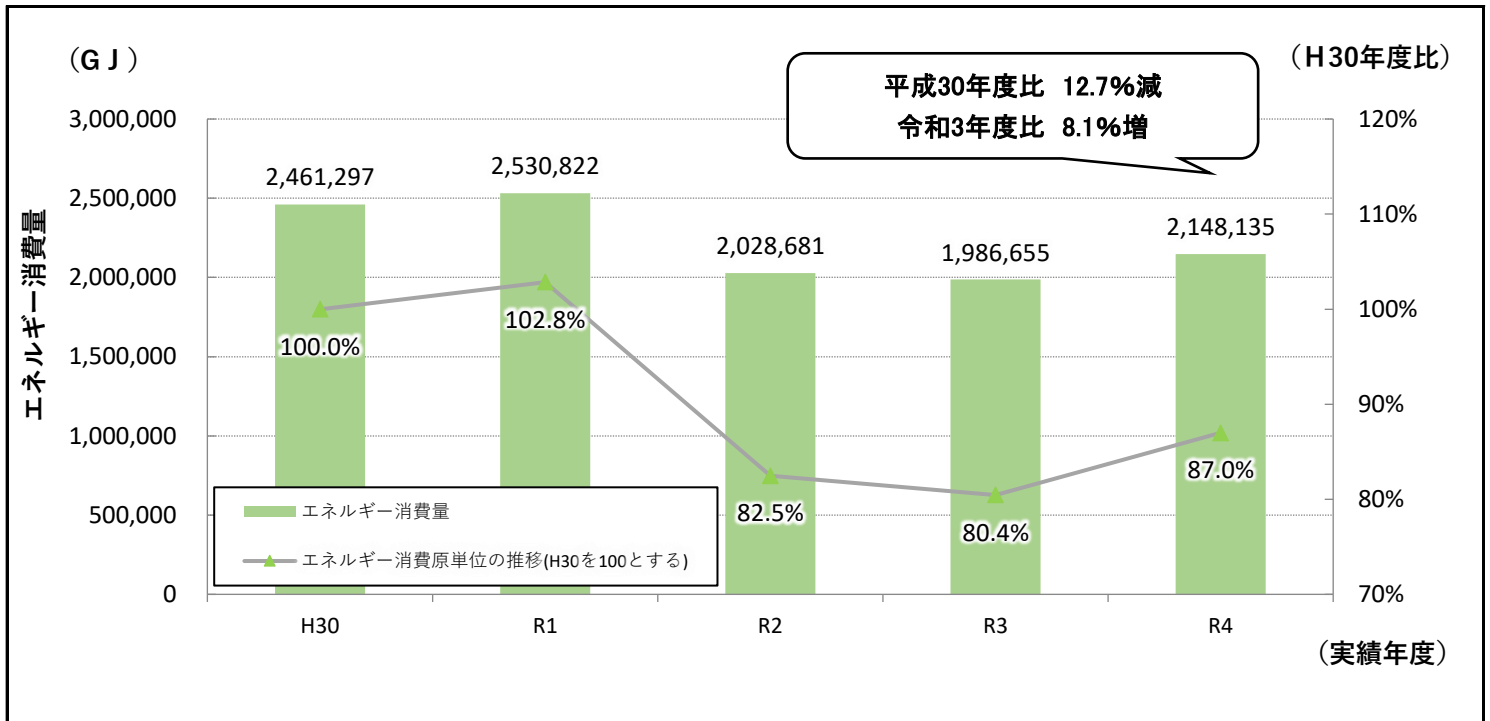
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



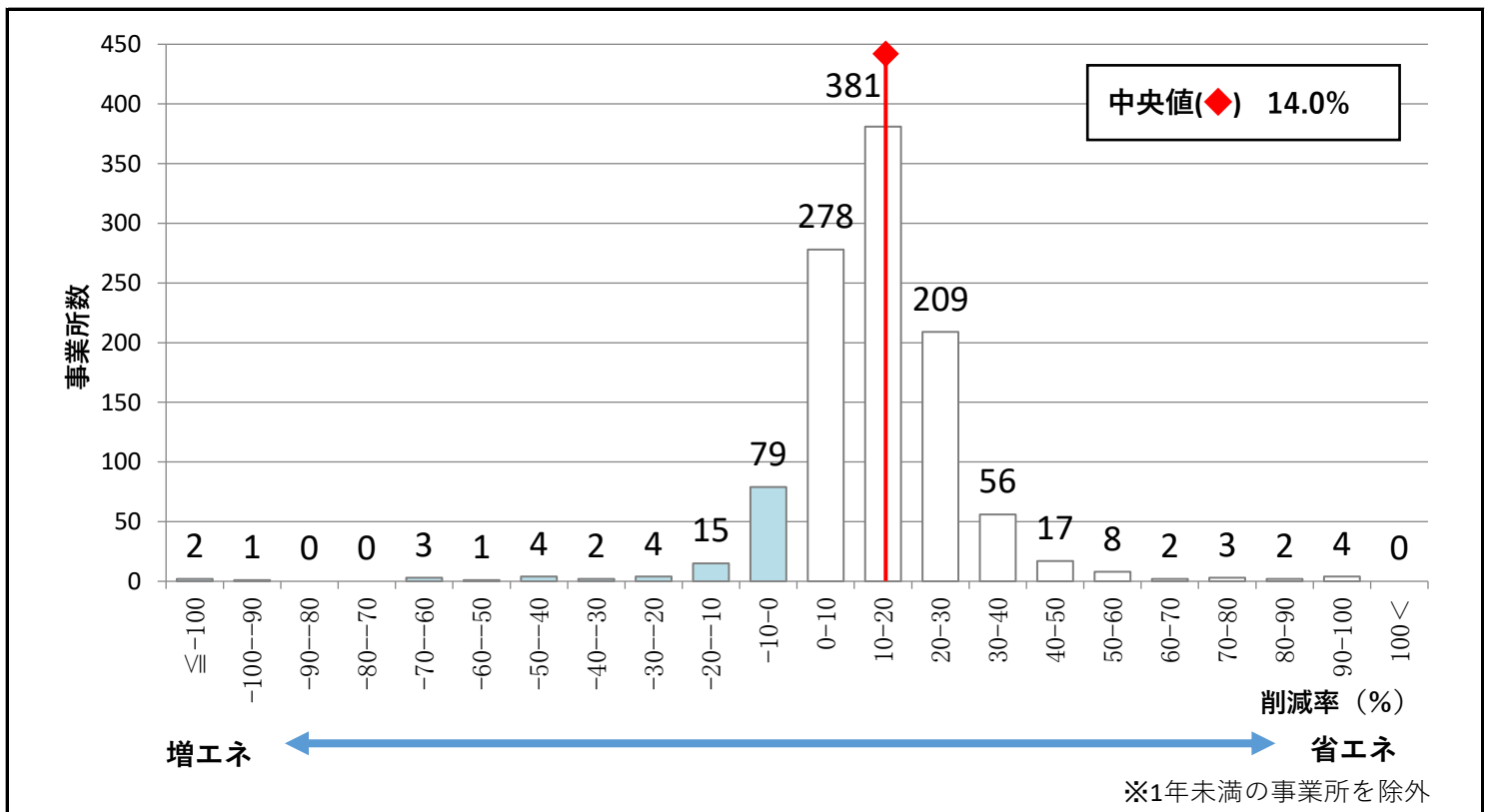
店舗の形態によって異なりますが、省エネの基本は空調と照明の高効率化です。メリハリのある照度計画や室温の緩和を心掛けて、過度な照度や室温設定を防止することが大切です。またLED照明や高効率エアコンの導入が効果的なので早めの更新計画をお勧めします。
【効果の試算】40Wの白熱灯8台を電球型蛍光灯に交換すると、年間約17,418円、354.9kg-CO2の削減になり、イニシャルコストは5,440円になります。(報告書作成ハンドブック(メニュー編)の個表番号144参照)

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「7611 食堂・レストラン」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設（飲食）」
飲食店（食堂・レストラン）	1,421	1,384	

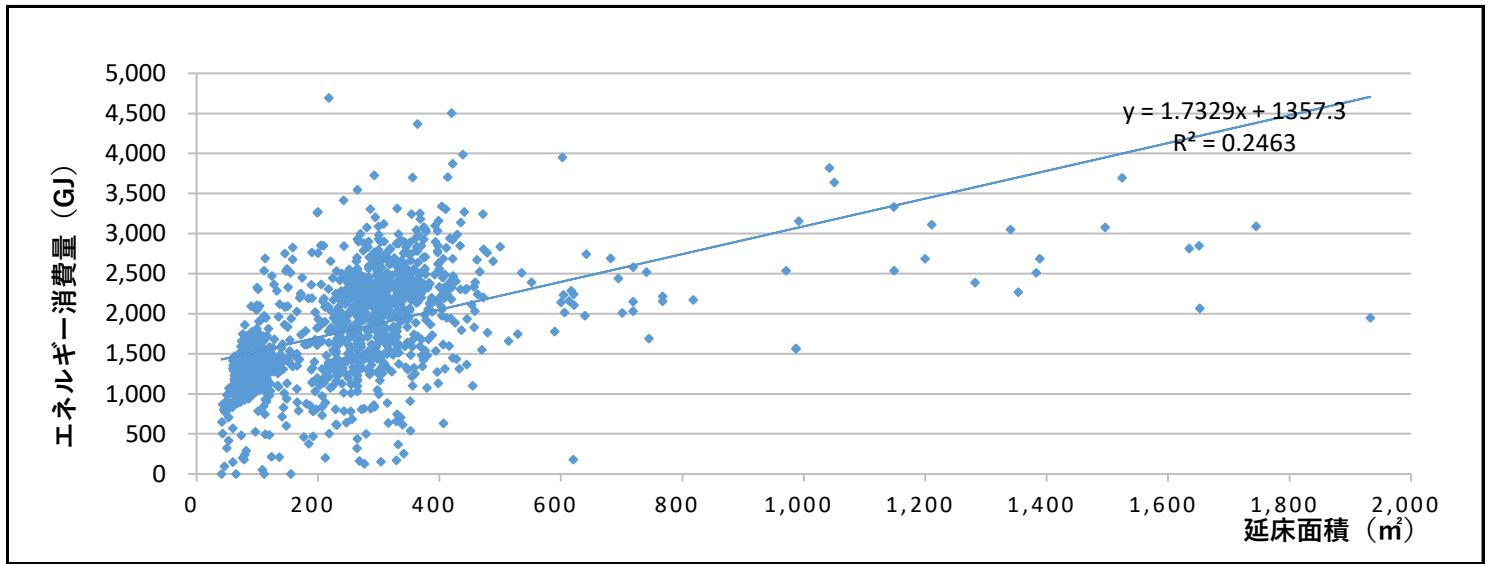
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:1159)



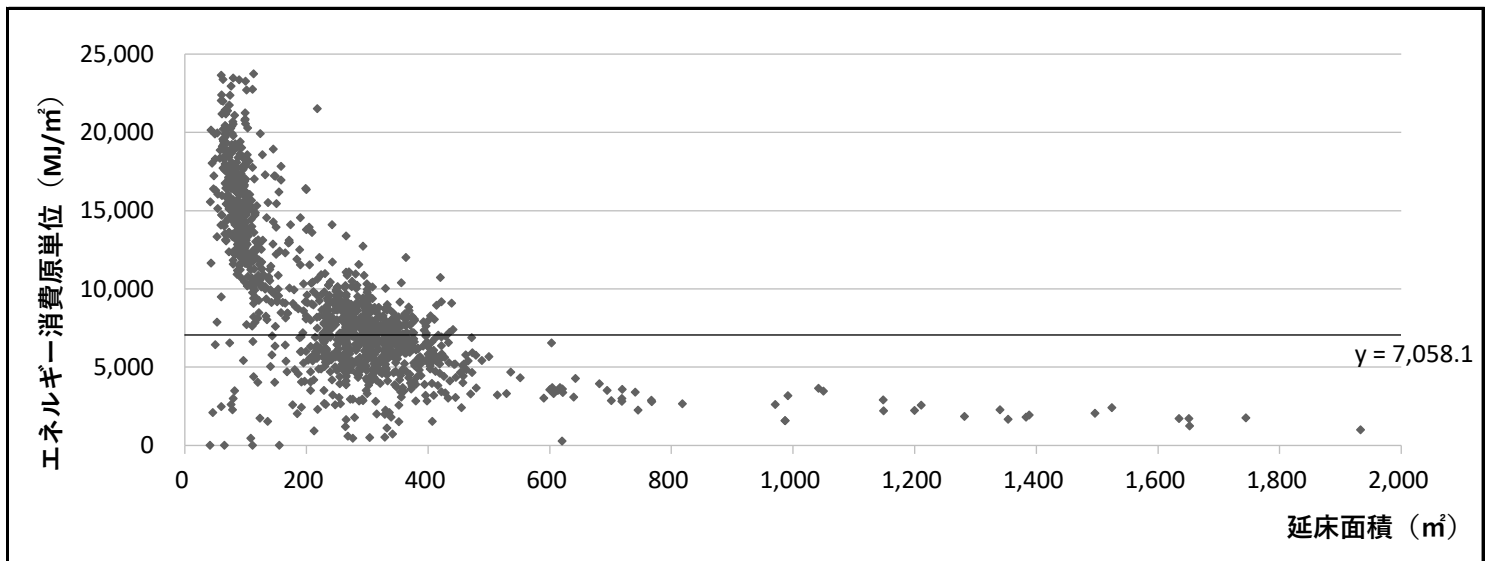
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:1071)



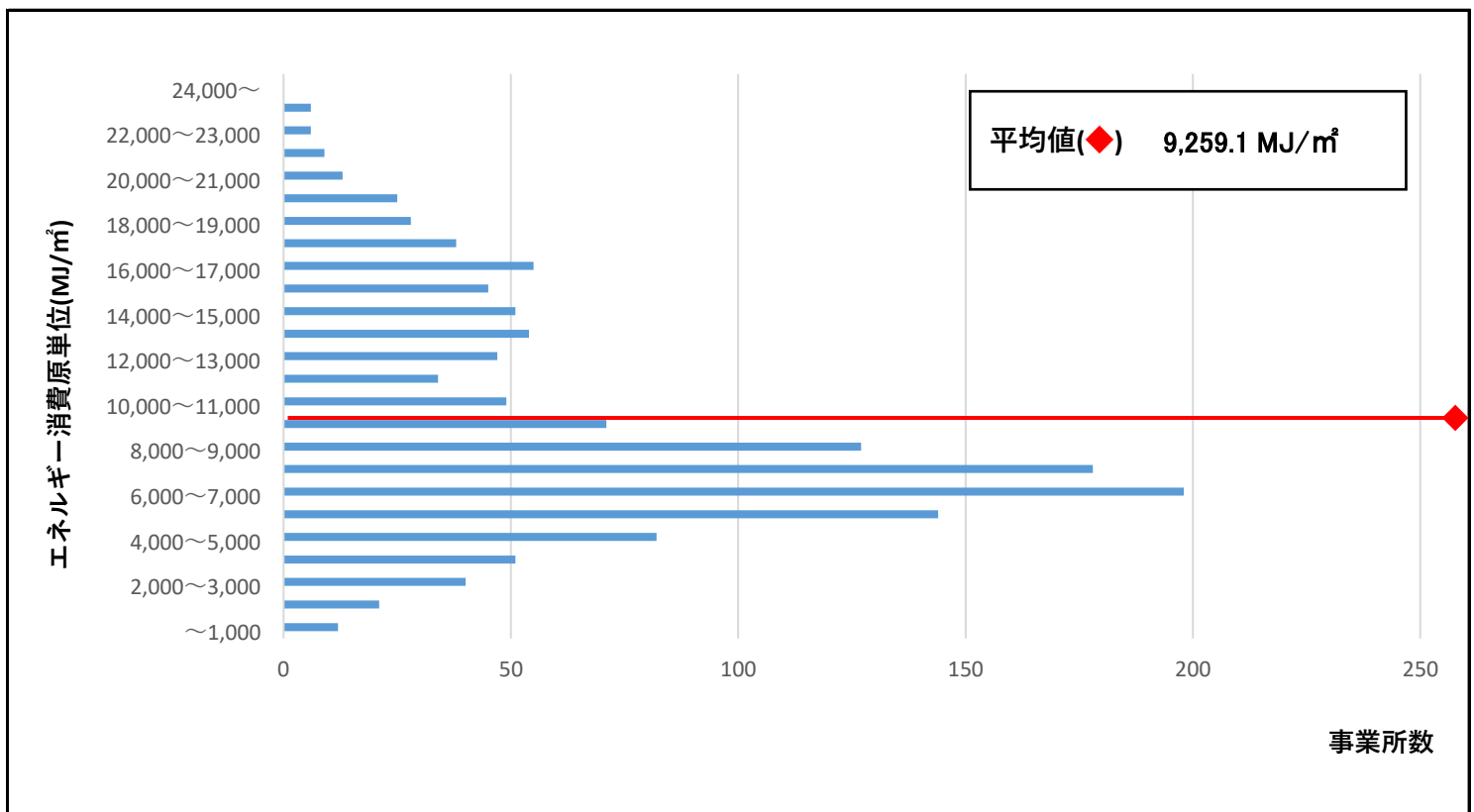
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



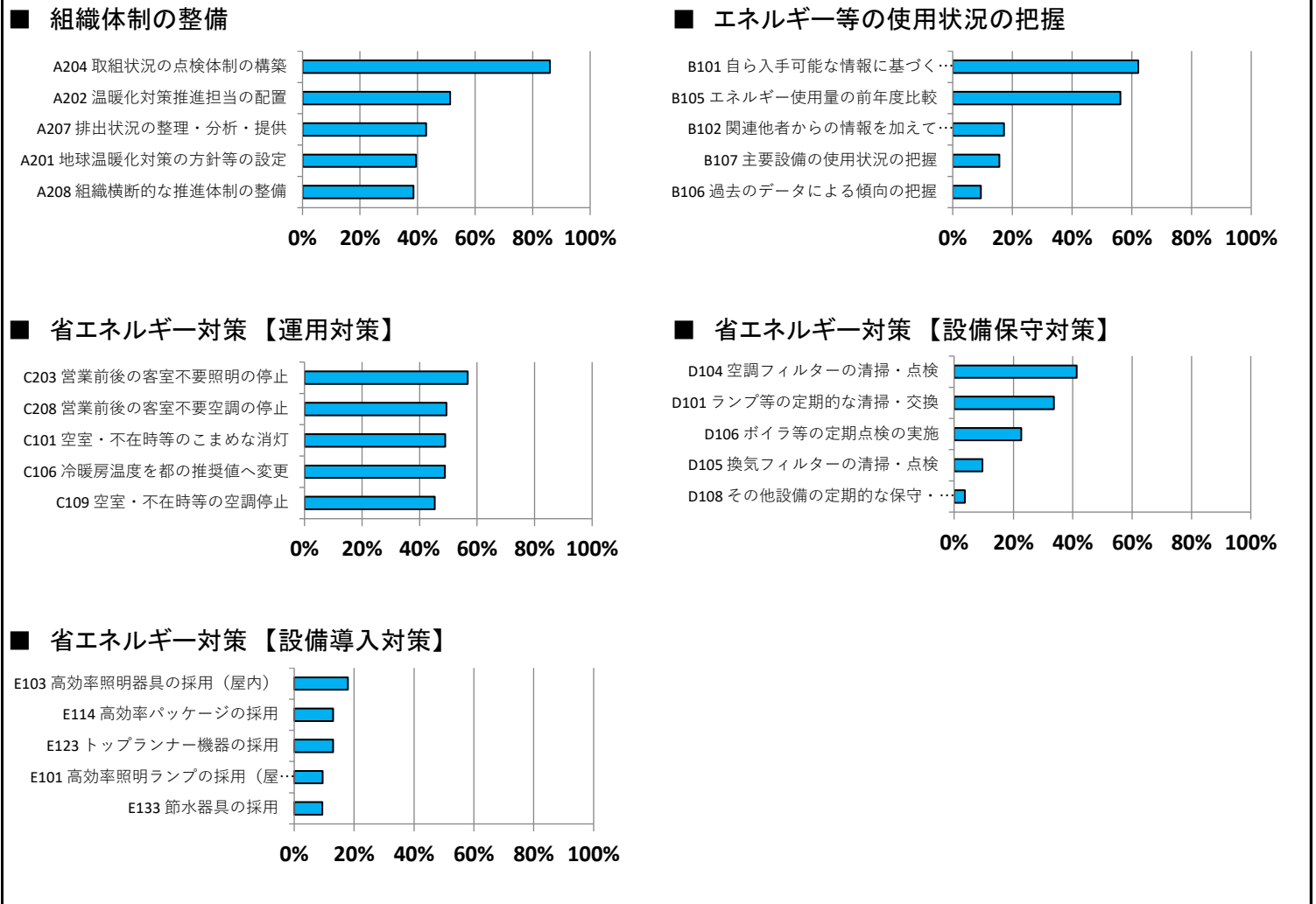
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

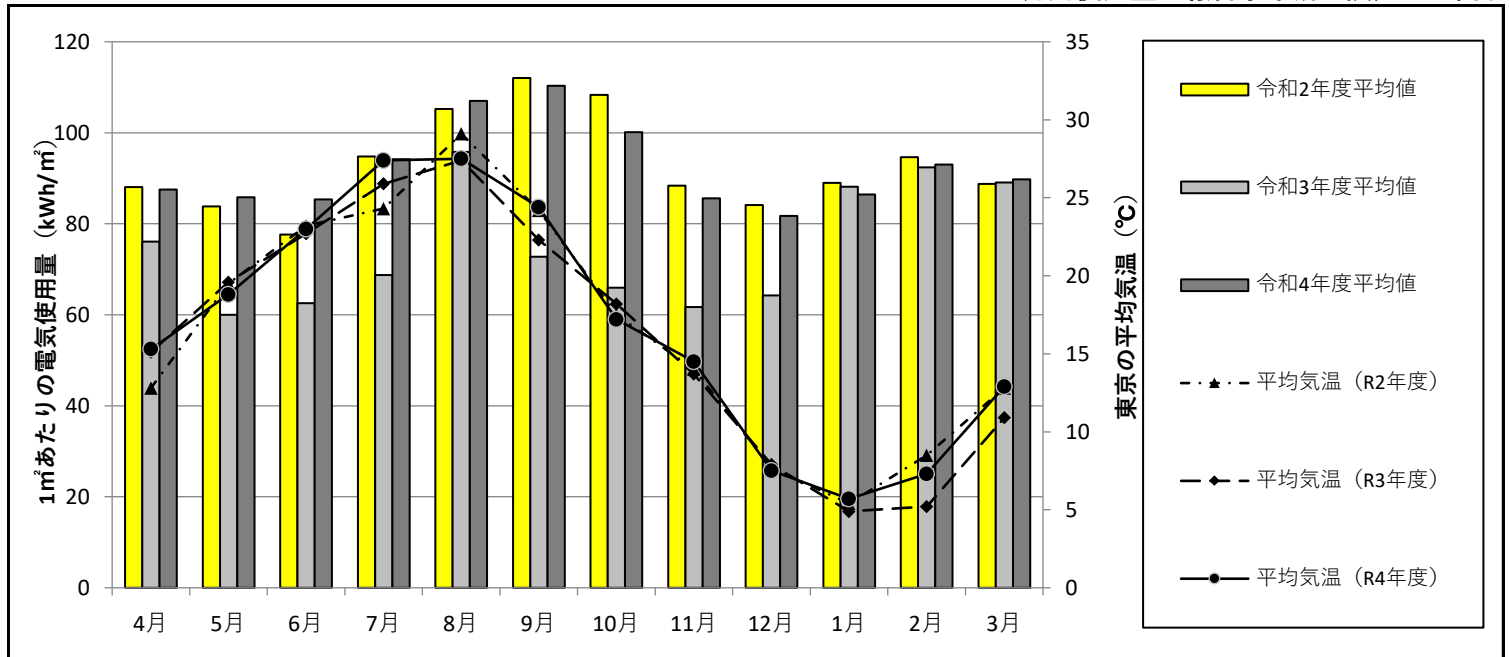


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

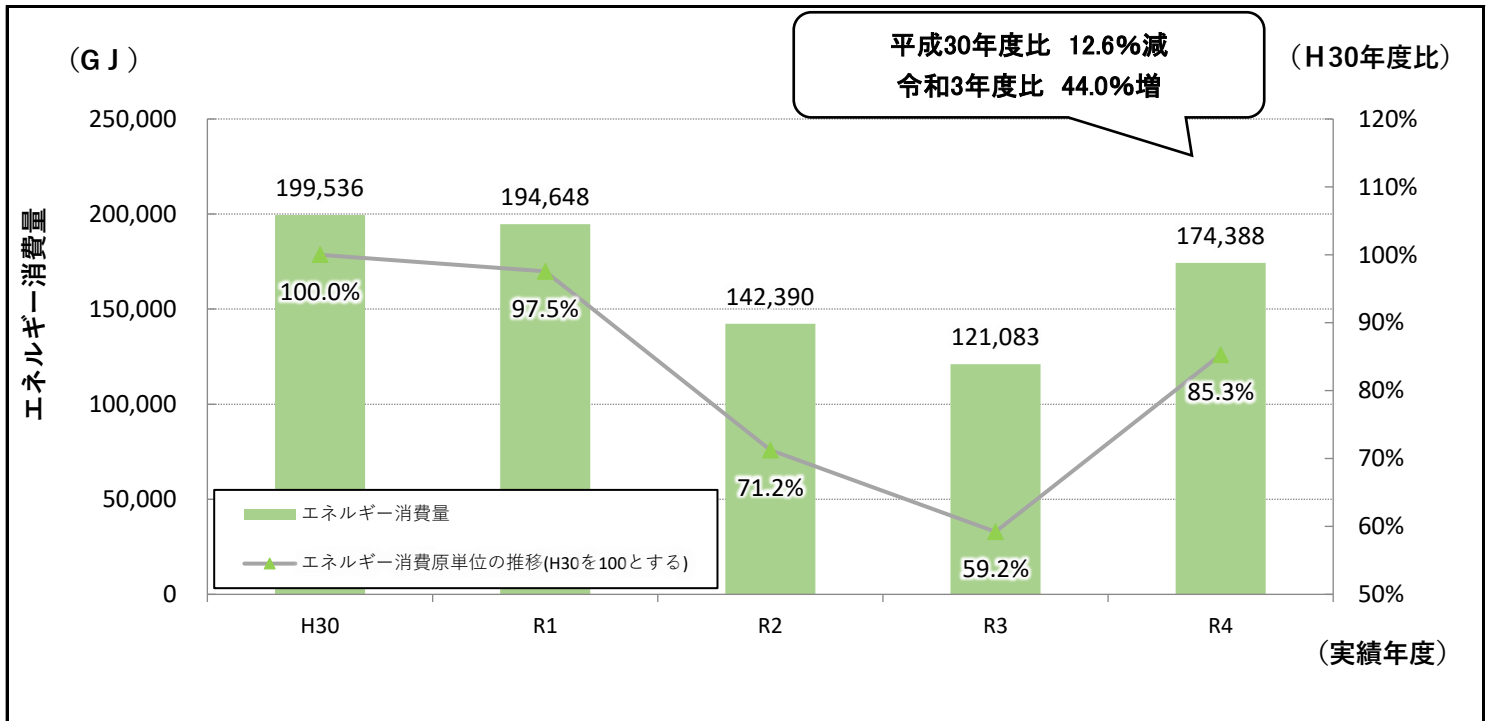
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



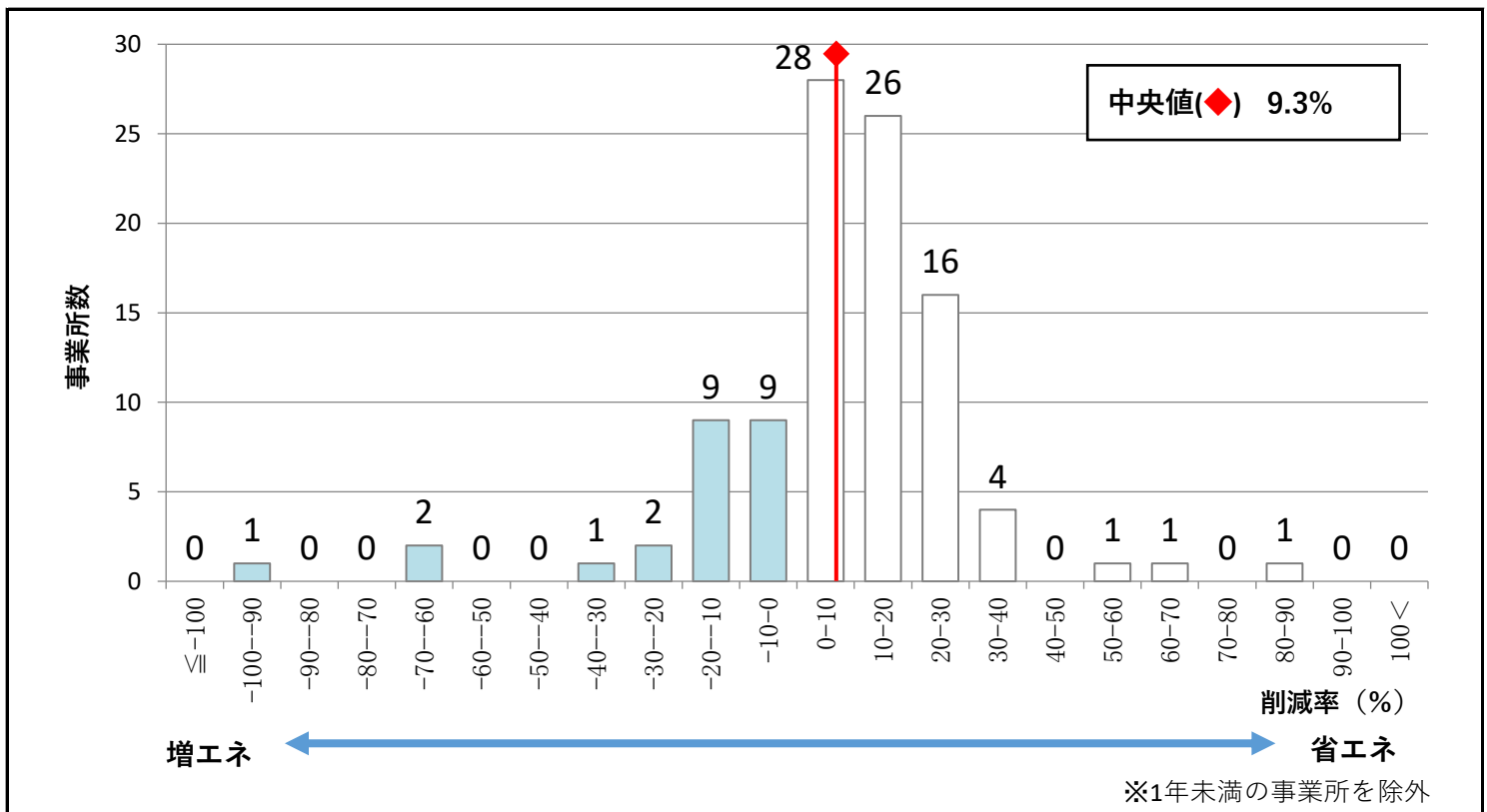
飲食店は感染症対策が必要なため有効な換気対策が必要です。一般に厨房は店舗の奥にあり、レンジフードから大量の排気が常時行われています。空気の流れをつくるため、レンジフードと反対側の入り口を開口しておくことで、効率の高い換気の実現ができます。レンジフードと外気導入口が距離的に近い場合は、ショートサーキットとなり換気効果が薄れますので、できるだけ厨房から対角線上に離れた箇所から空気を導入できるよう計画しましょう。レンジの排気風量が大きいいため空調の外気負荷が増大しますが、二重フードなど同時給排型のフードシステムを導入することで空調負荷の軽減が図れます。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「7651 酒場・ビヤホール」 「7661 バー、キャバレー、ナイトクラブ」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設（飲食）」
飲食店（居酒屋・バー）	189	180	

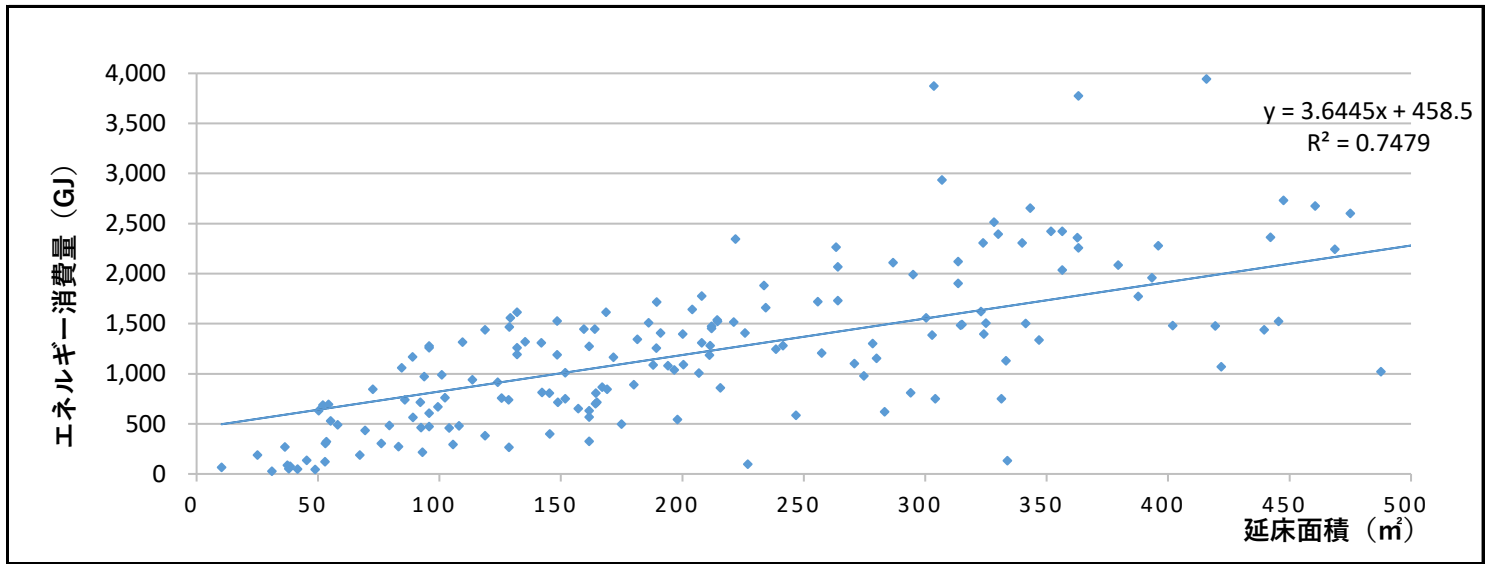
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:105)



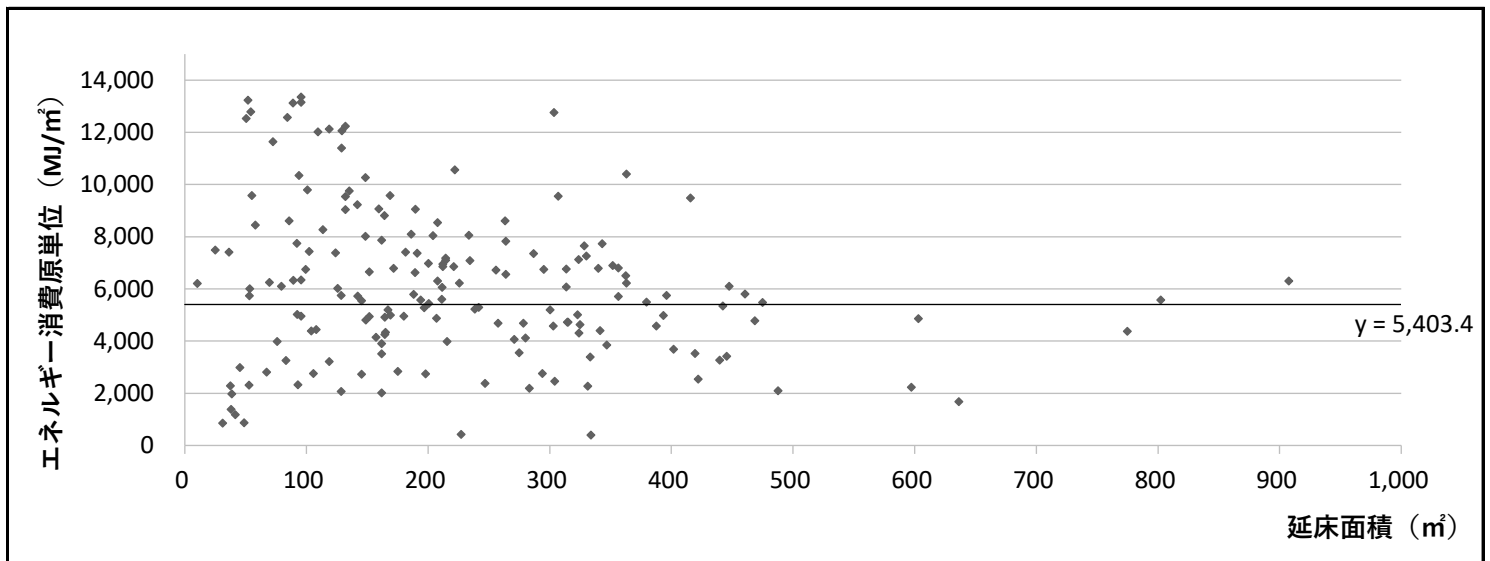
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:101)



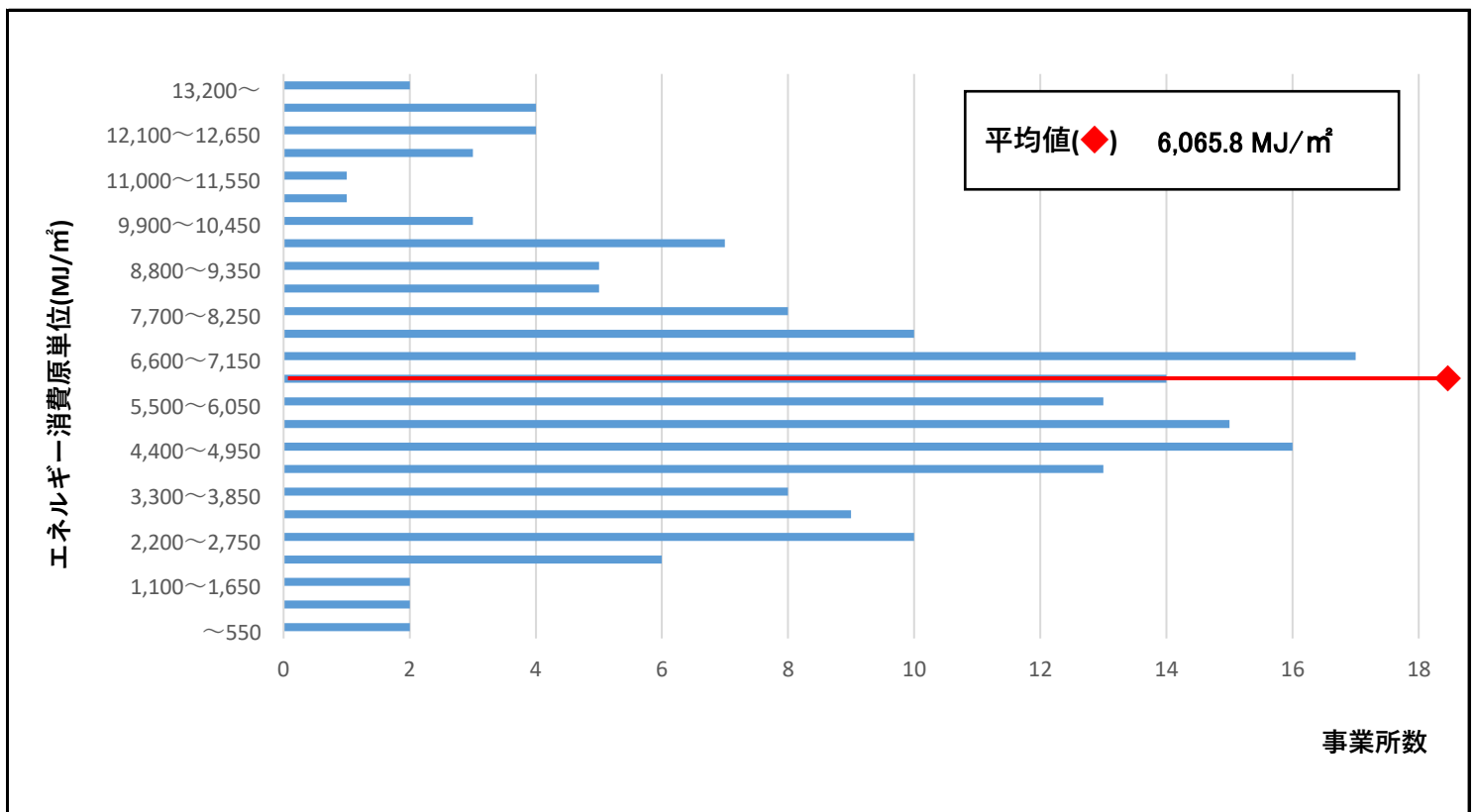
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



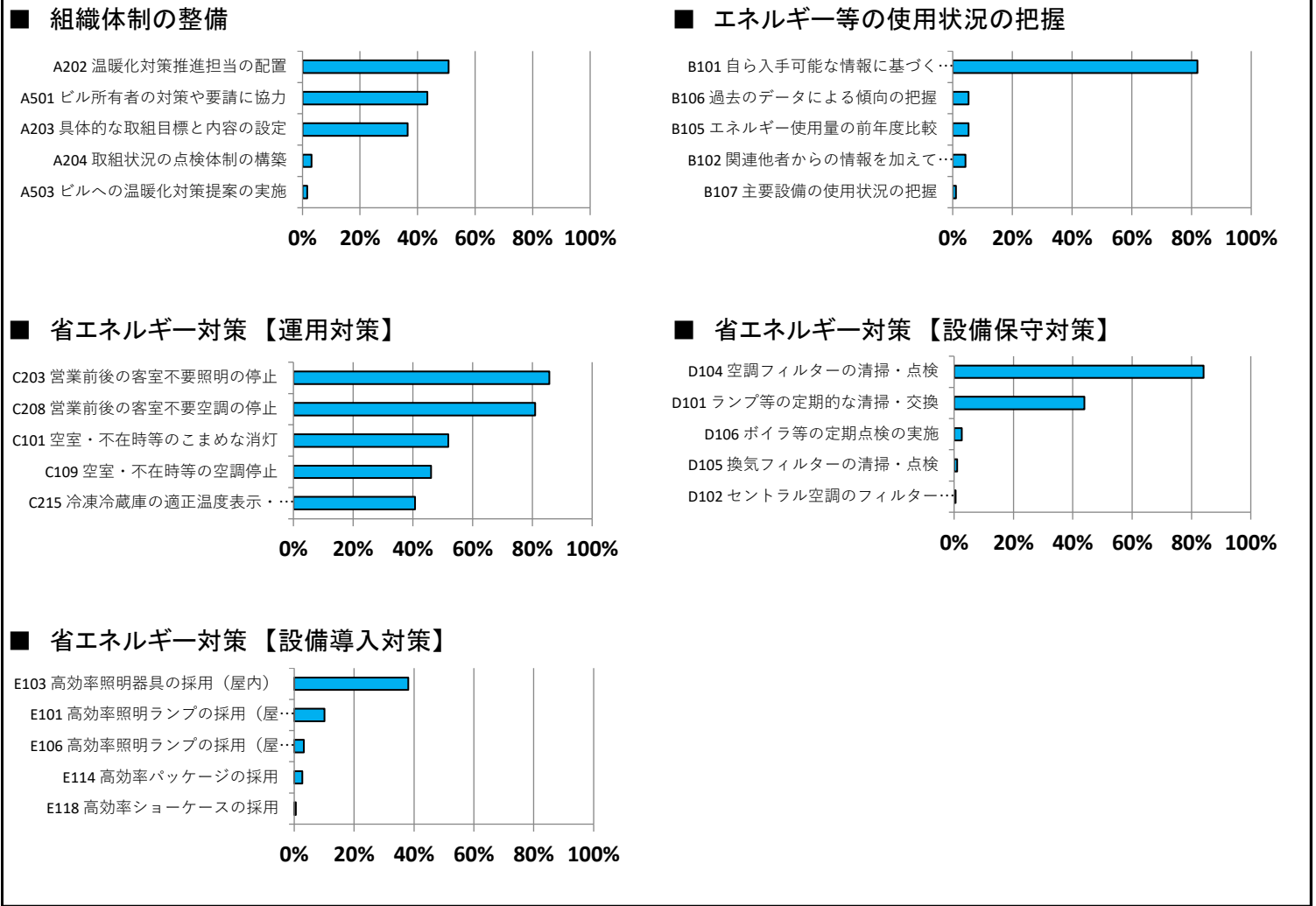
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

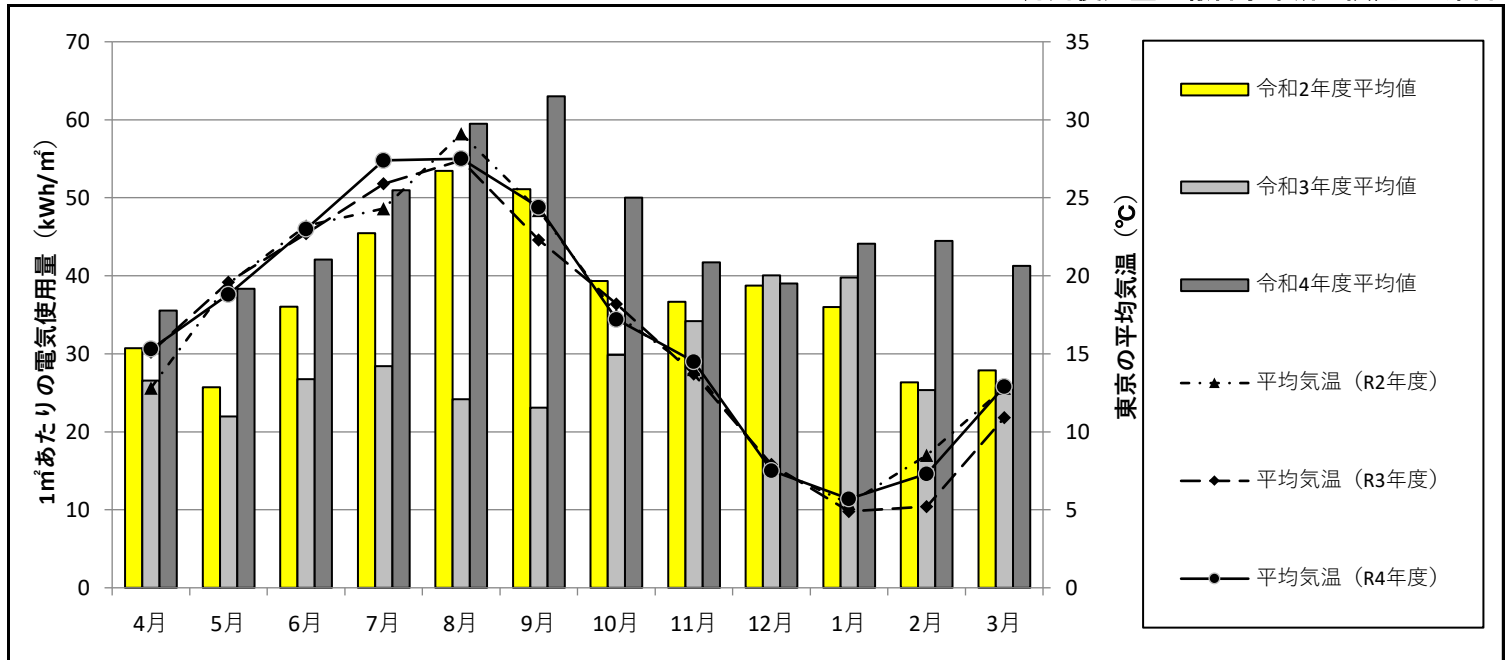


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

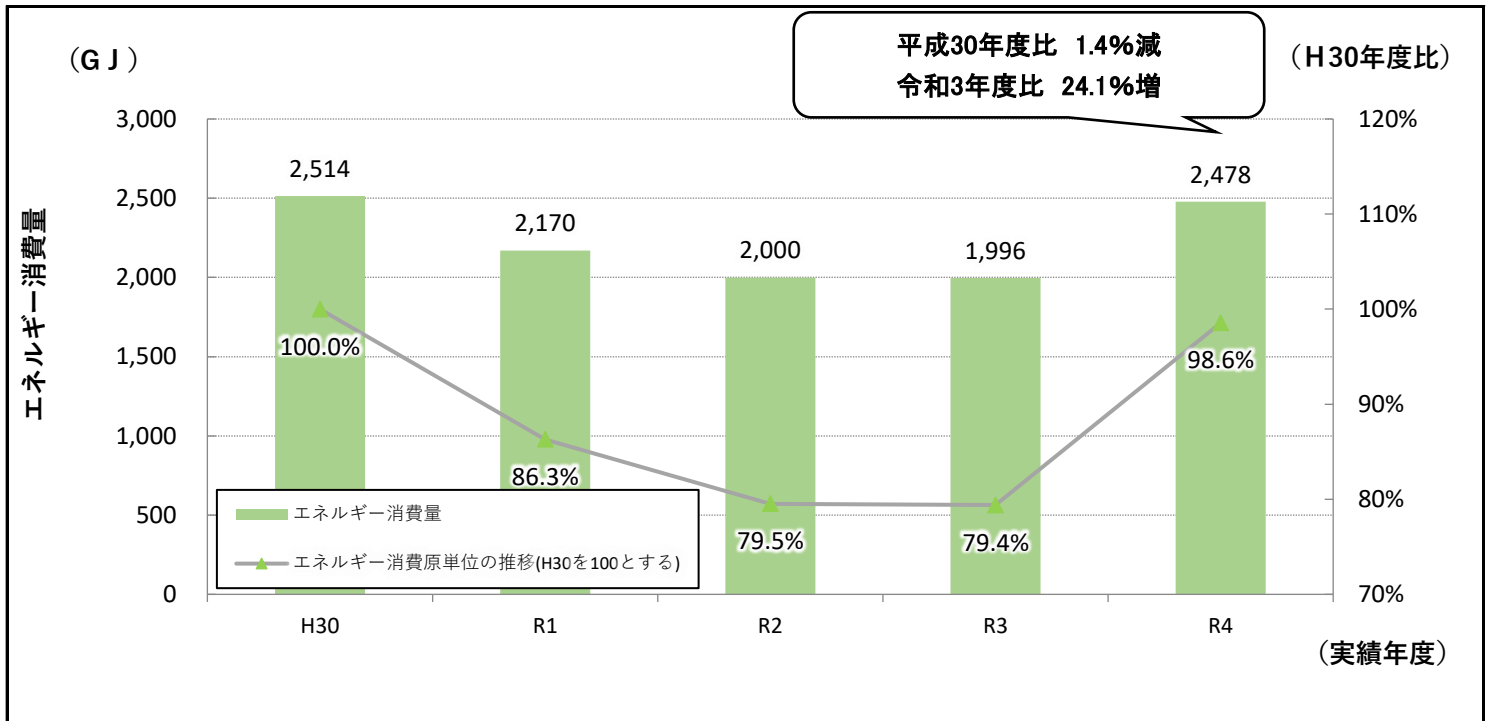
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



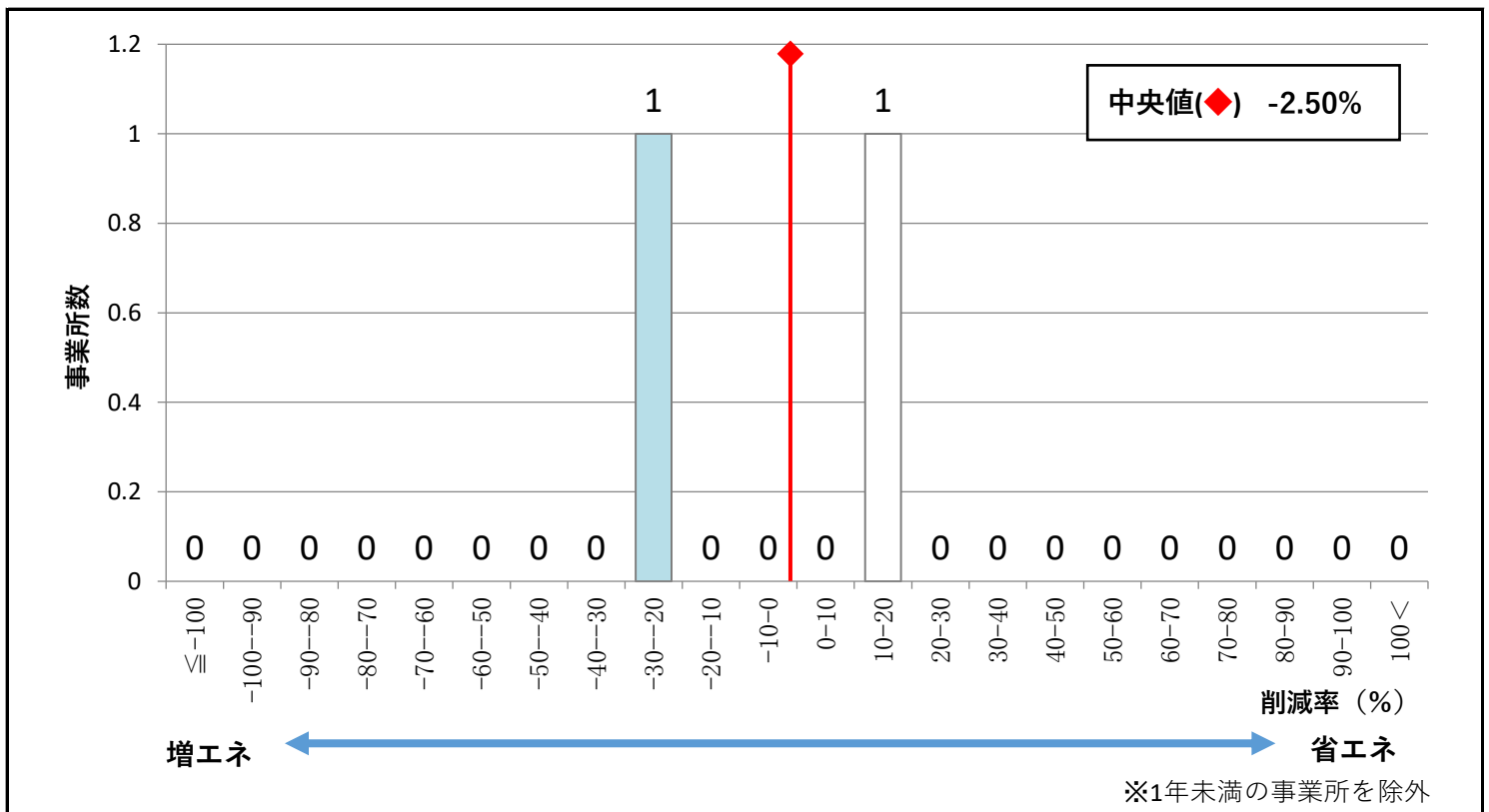
居酒屋・バーはくつろげる空間が求められるため、照明はLEDを用い照度・色温度とも低めにしましょう。客席毎にペンダントタイプの照明を多用することで雰囲気と省エネの両立が可能です。地下など換気がとり難い場合が多いため感染症対策が重要です。客席毎に天井から排気筒を下すなどの局所排気システムの導入が効果的です。また厨房のレンジフードからの排気は調理をしていない時間帯は風量をインバータ制御で削減することで省エネが図れます。排気ファンの電力だけでなく、空調のエネルギーも削減できるので効果的です。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「7691 ハンバーガー店」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設（飲食）」
飲食店（ハンバーガー）	2	2	

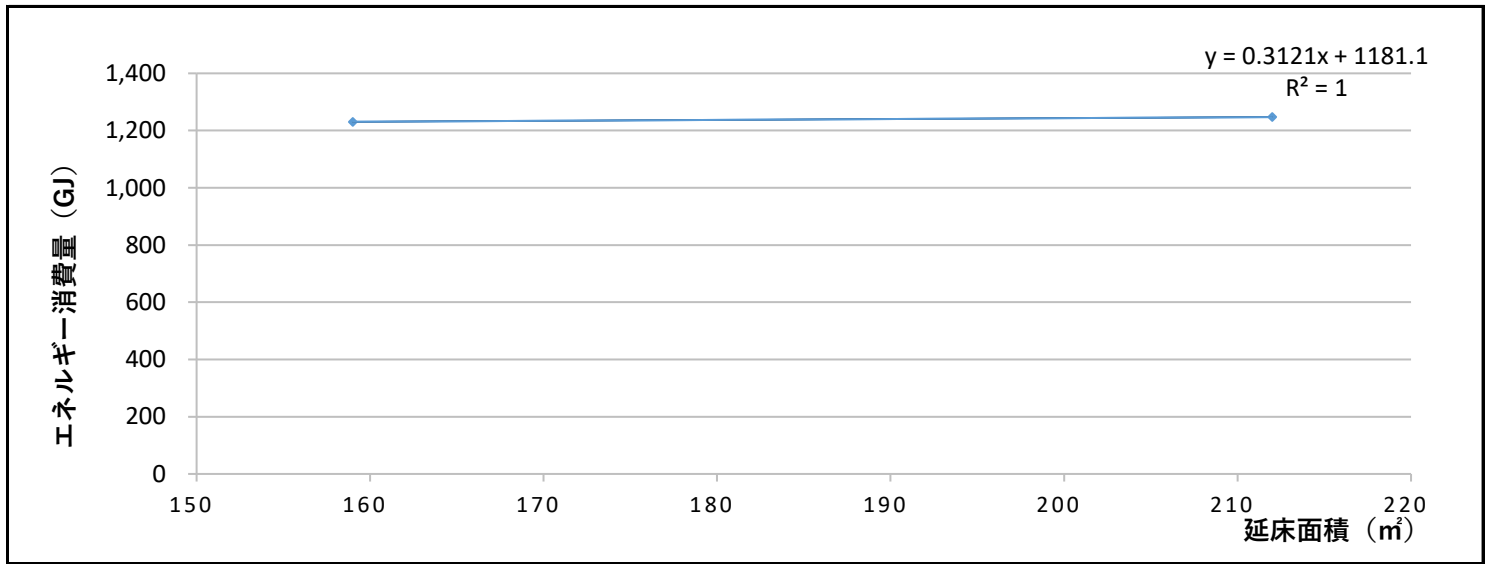
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:2)



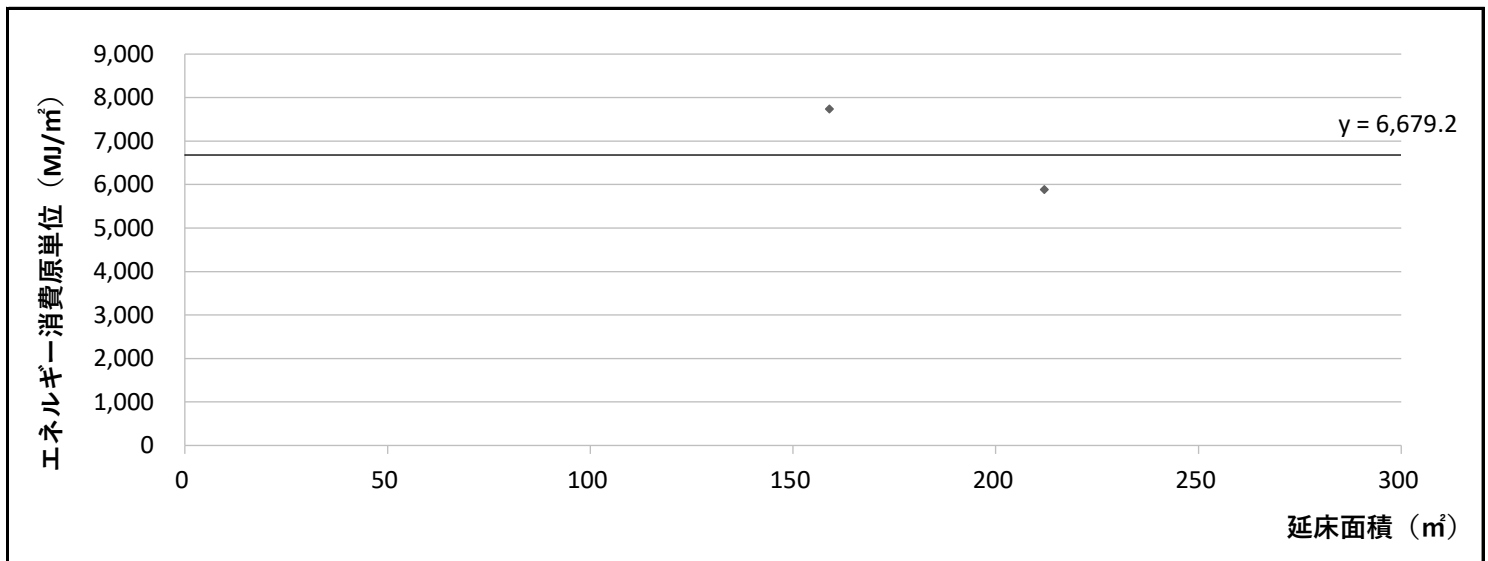
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:2)



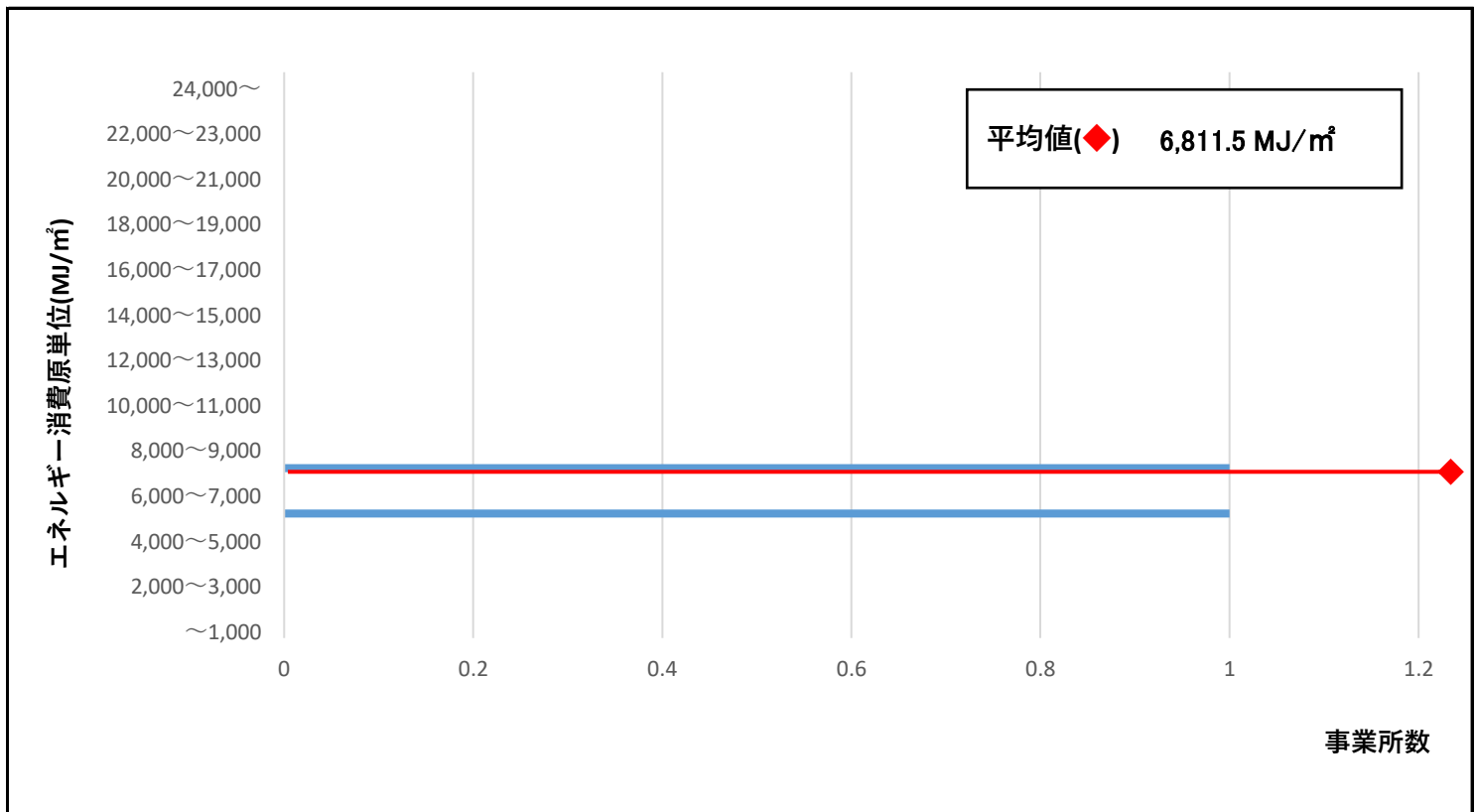
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



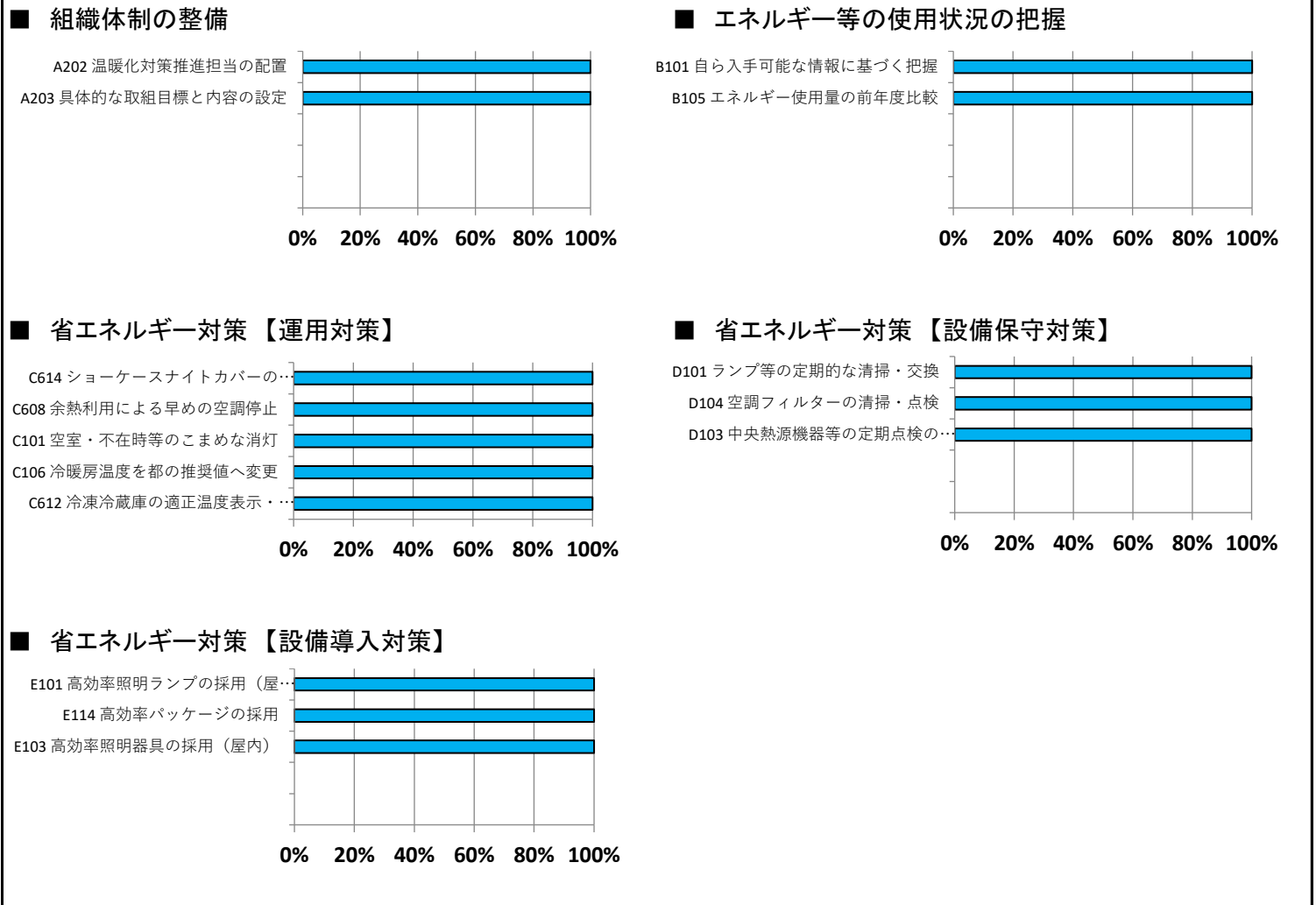
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

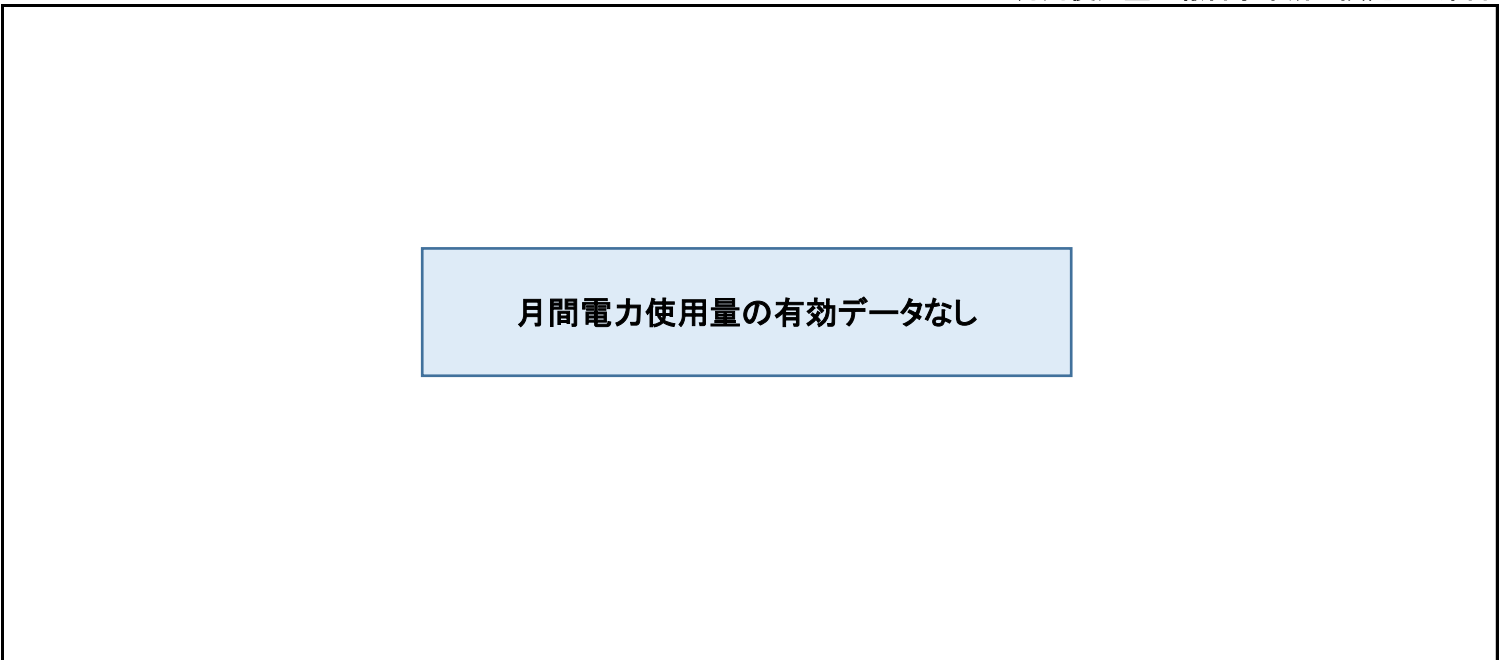


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

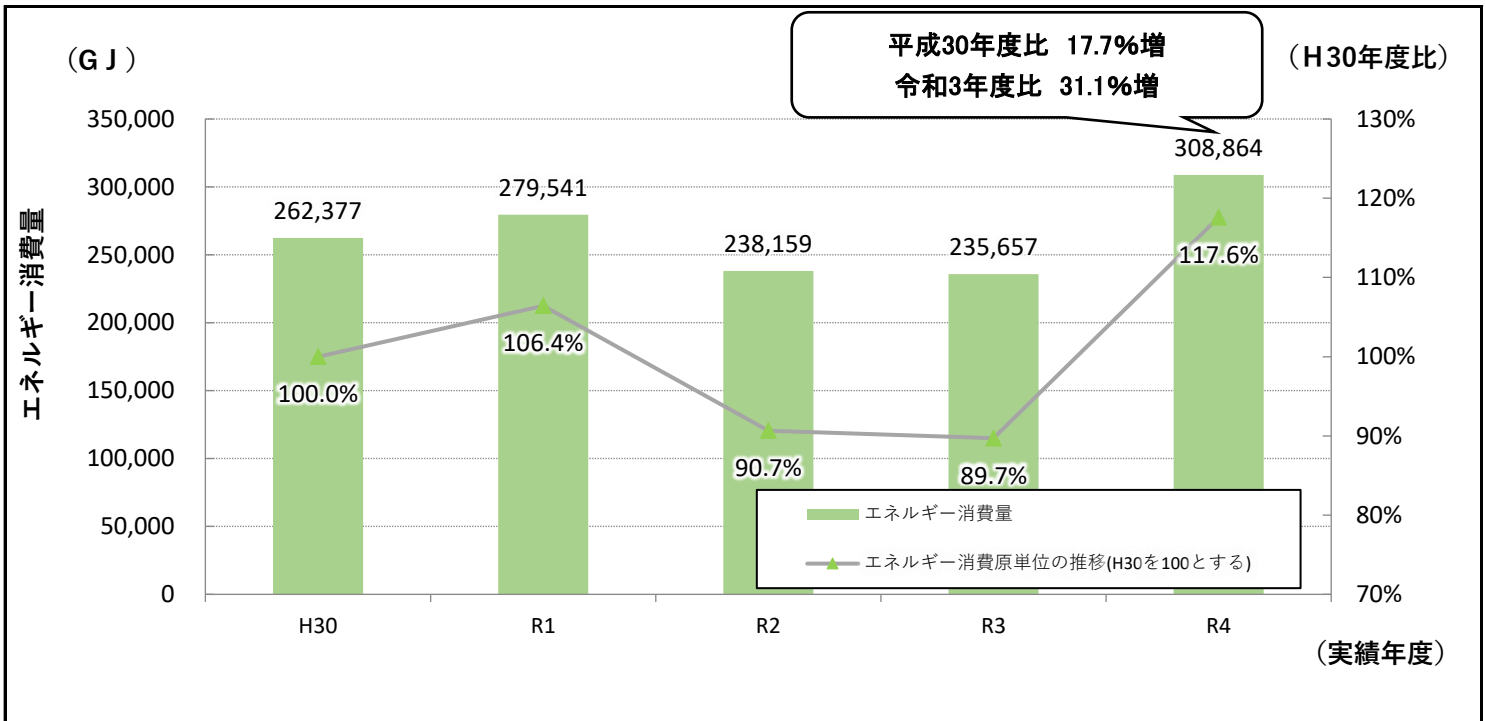
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



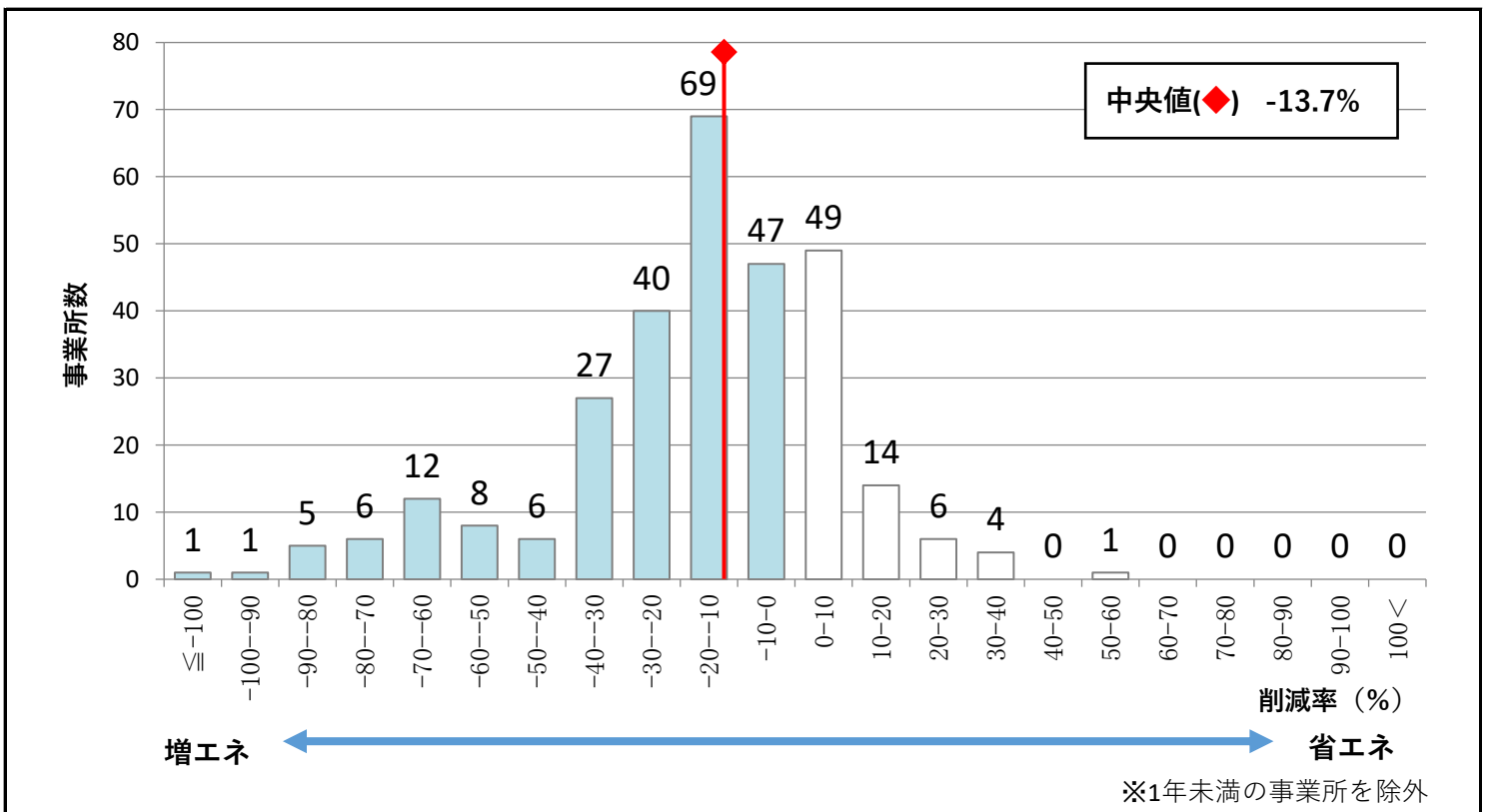
店舗の出入り口が開放になっているケースが多く、外気の侵入による空調負荷の増大が課題です。自動ドアやエアカーテンの設置が効果的です。また厨房の換気が排気だけだと常時入り口から大量の外気が侵入するので、レンジフードの近くに外気導入の給気ファンを設置し、給気と排気のバランスを局所で取ることで省エネになります。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「7671 喫茶店」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設（飲食）」
飲食店（喫茶）	578	561	

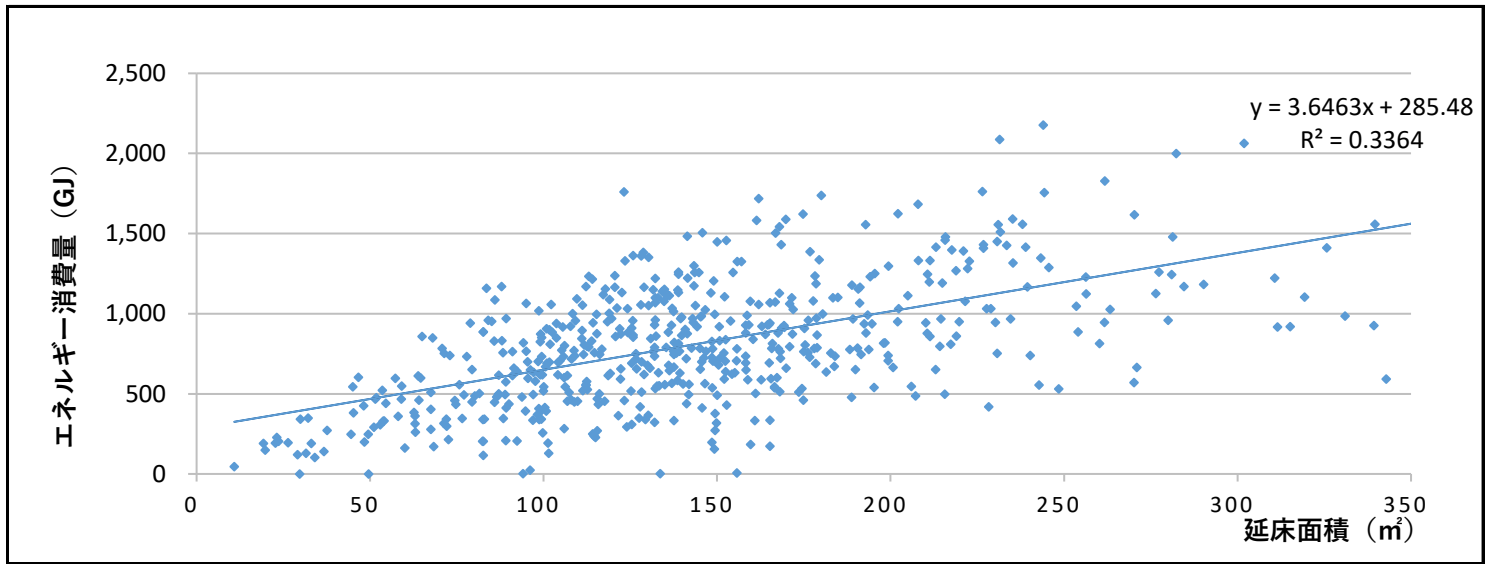
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量（実績年度）の合計の推移（事業所数：323）



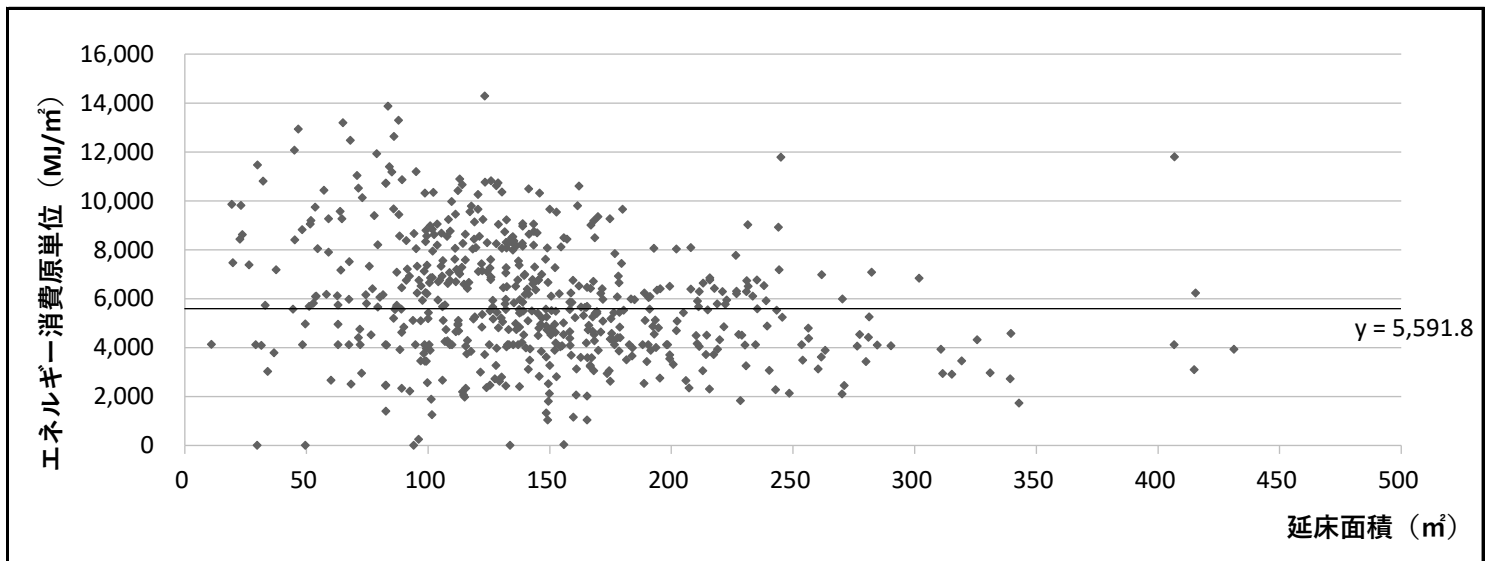
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率（H30とR4比較）の分布（事業所数：296）



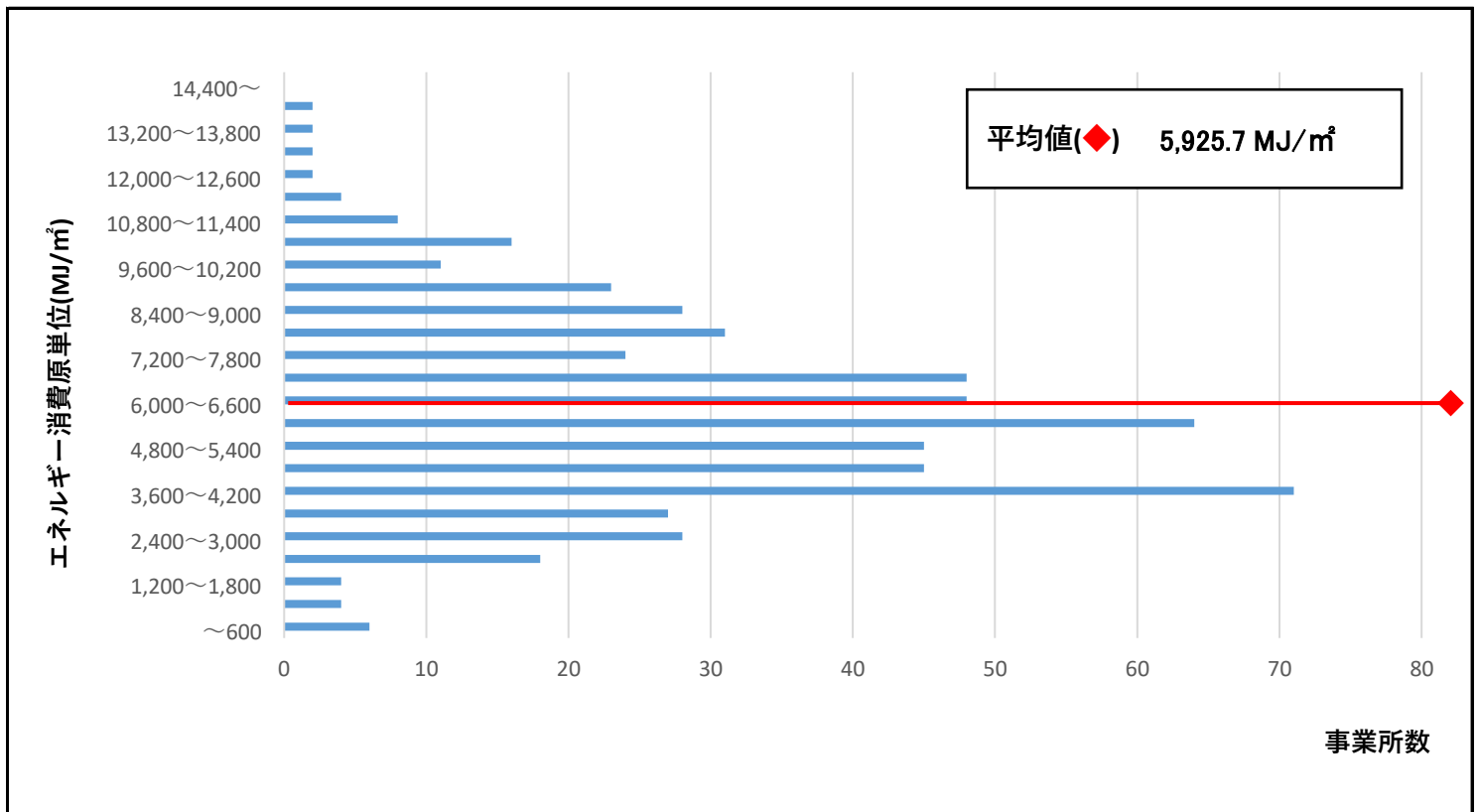
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



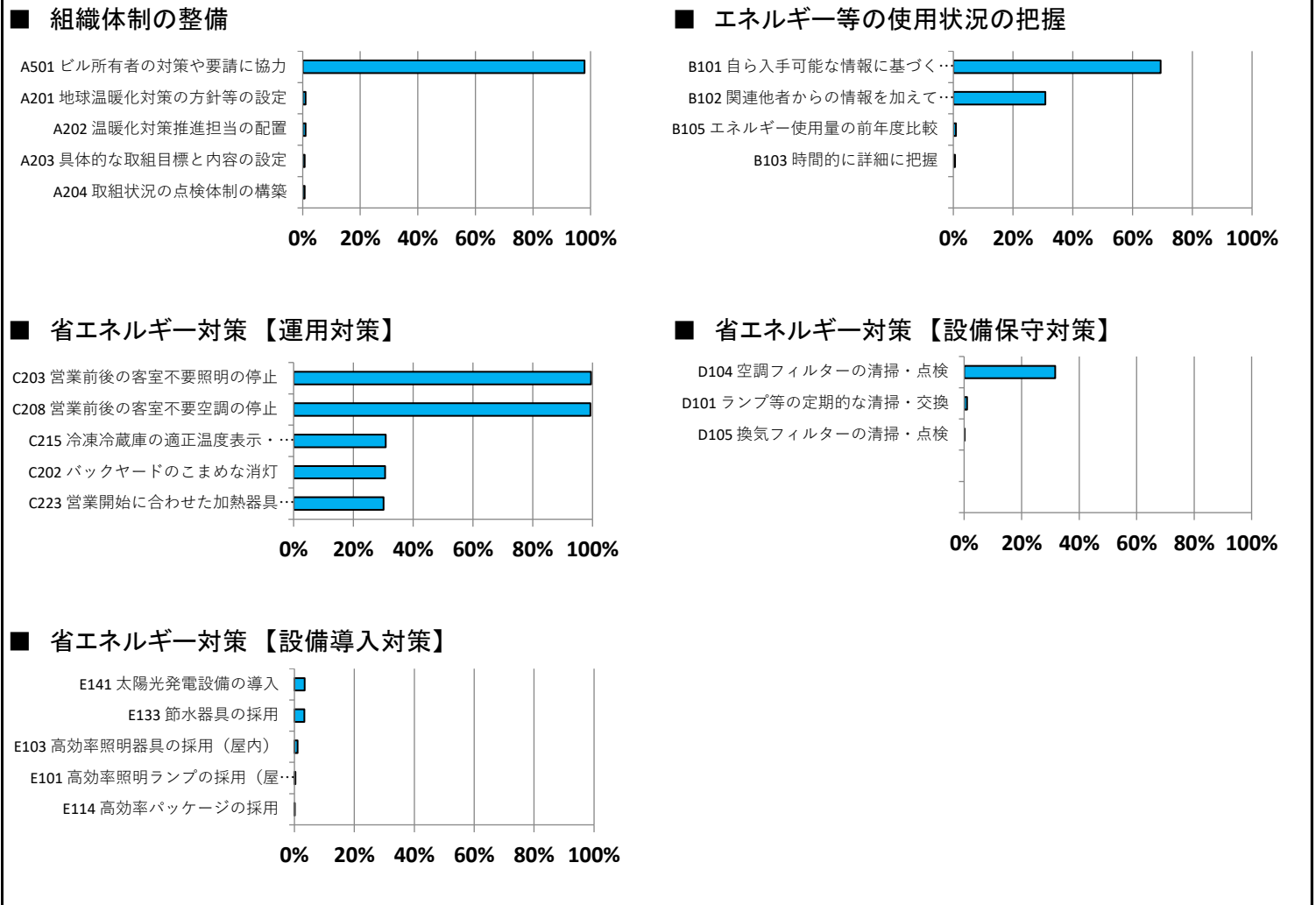
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

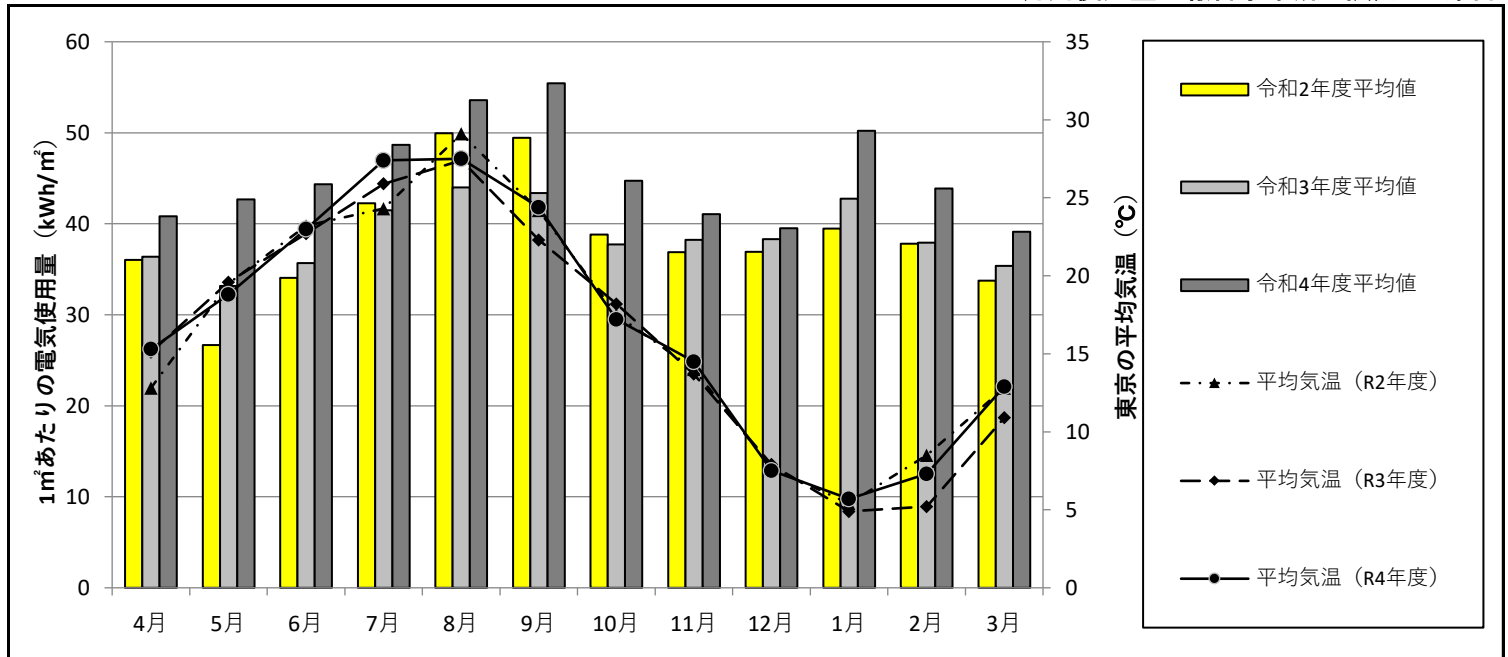


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

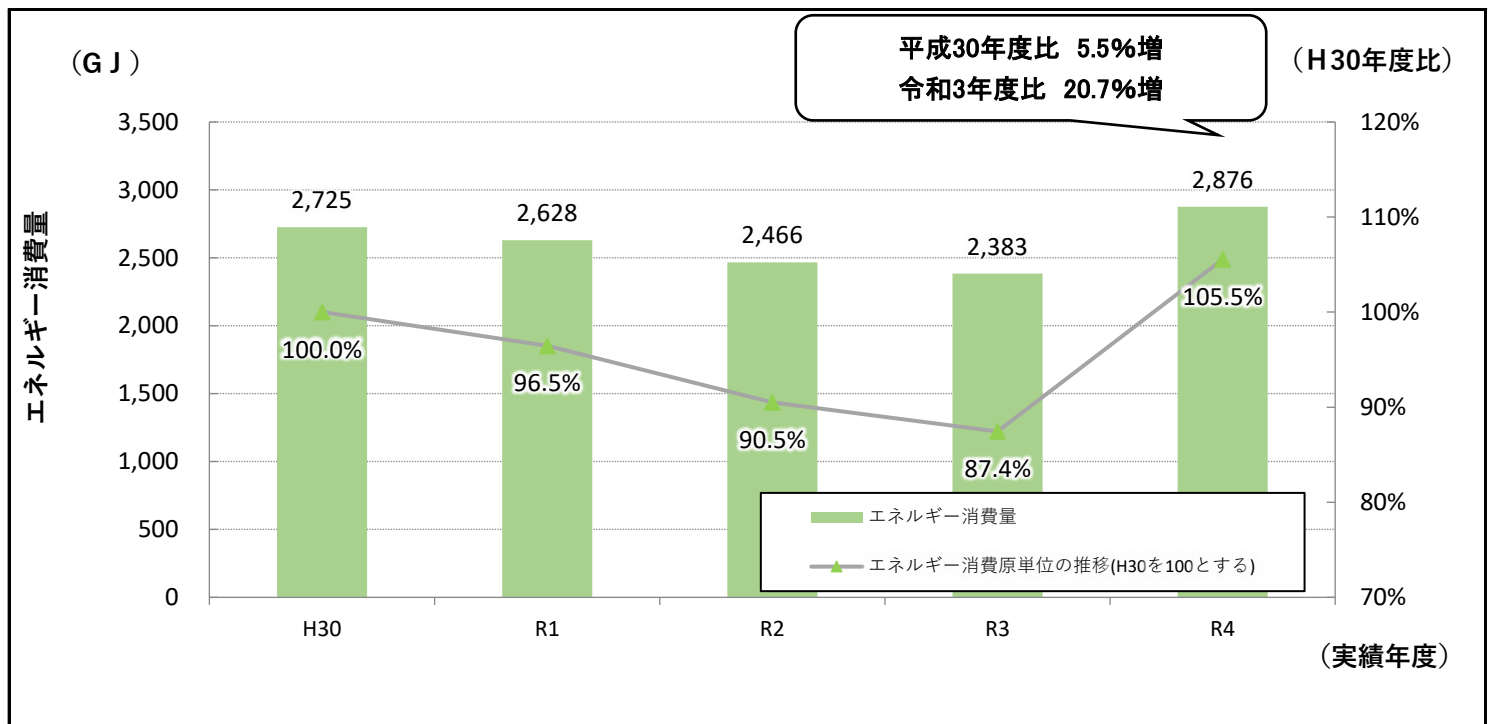
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



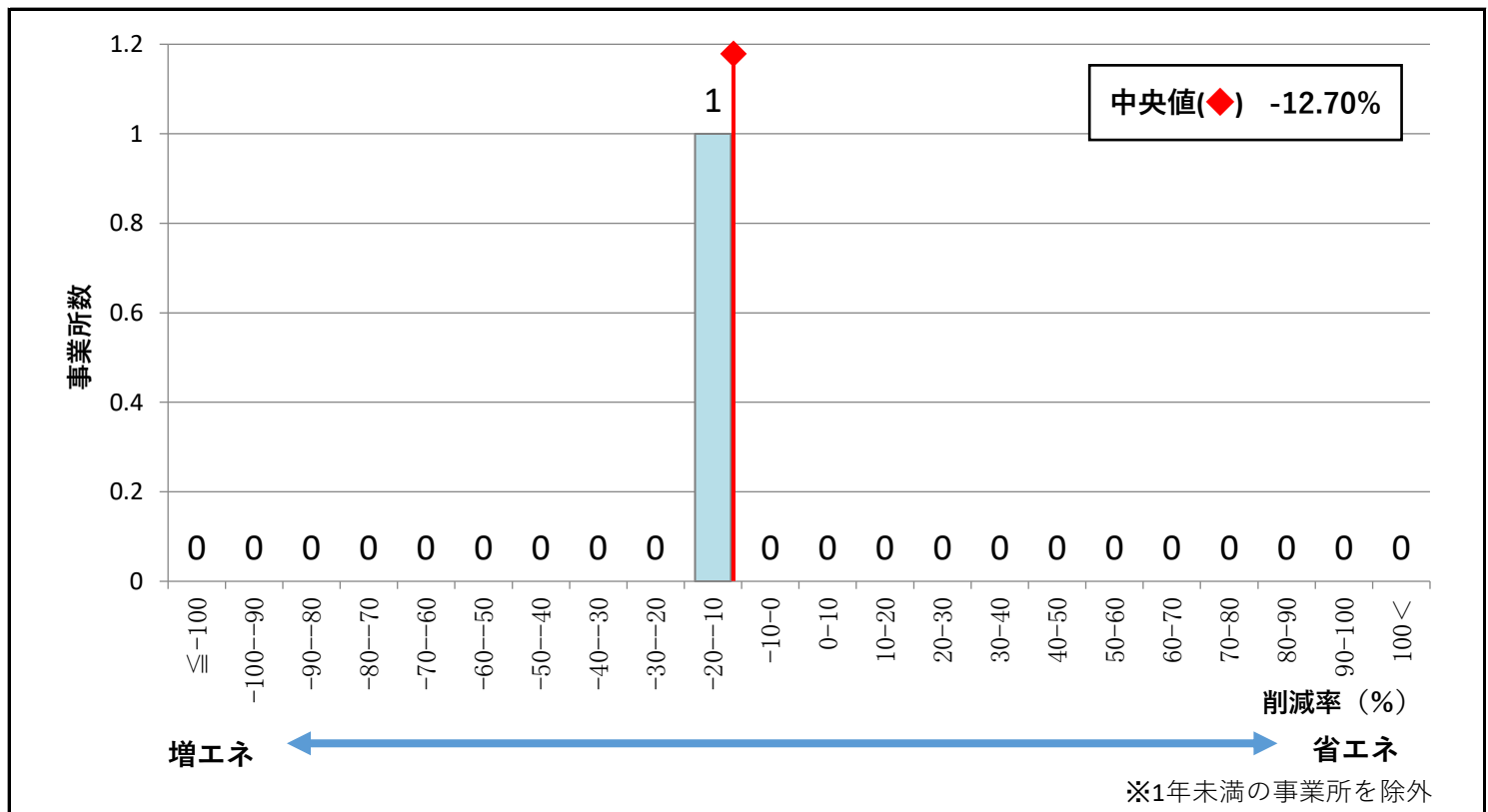
照明のLED化と看板照明の点灯時間管理が大切です。季節によって暗くなる時間が異なるので、明るい時間帯から点灯していることが無いようにタイマー等で調整しておきましょう。また窓際照明は専用スイッチを設け、晴天時など自然光で照度が確保できる時間帯は消灯しましょう。感染症対策としての有効な換気が求められますが客数の少ない時間帯では換気量を抑制するなどの対策も必要です。
【効果の試算】150Wの看板照明4台の点灯時間を平均2時間短縮すると、年間214.2kg-CO2の削減(光熱費:10,512円の削減)につながります。(報告書ハンドブック(メニュー編)の個表番号179参照)

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「7625 焼肉店」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設（飲食）」
飲食店（焼肉）	10	10	

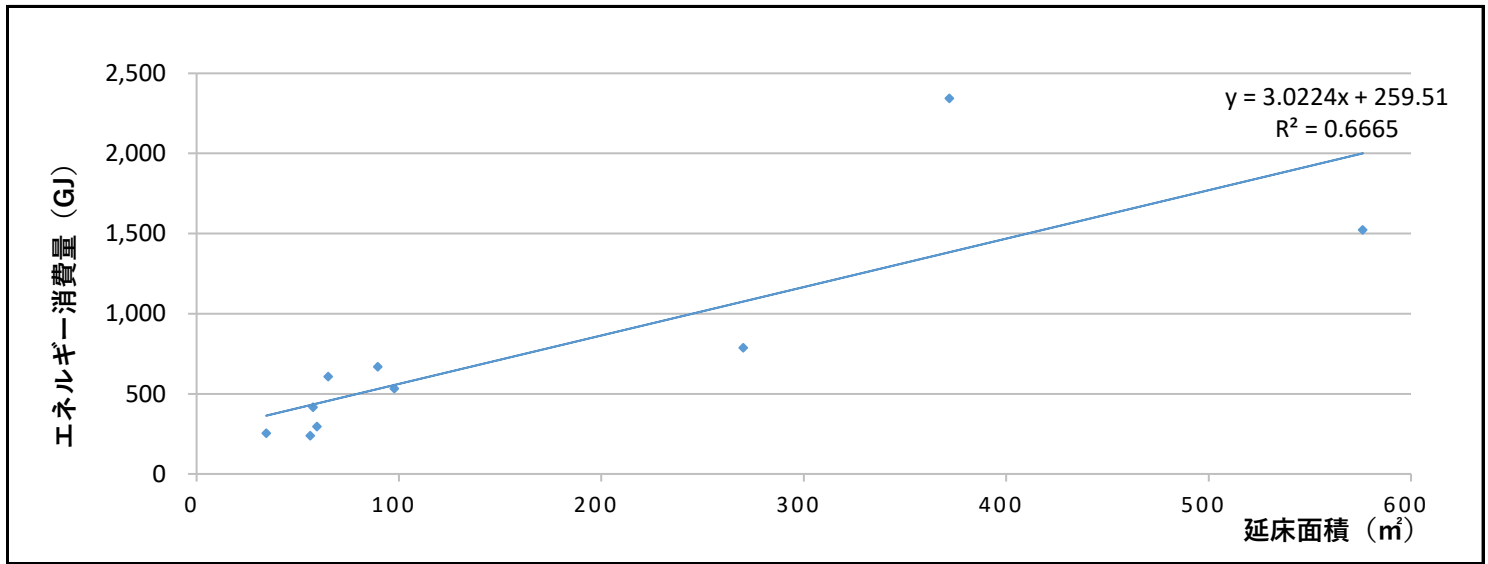
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量（実績年度）の合計の推移（事業所数：2）



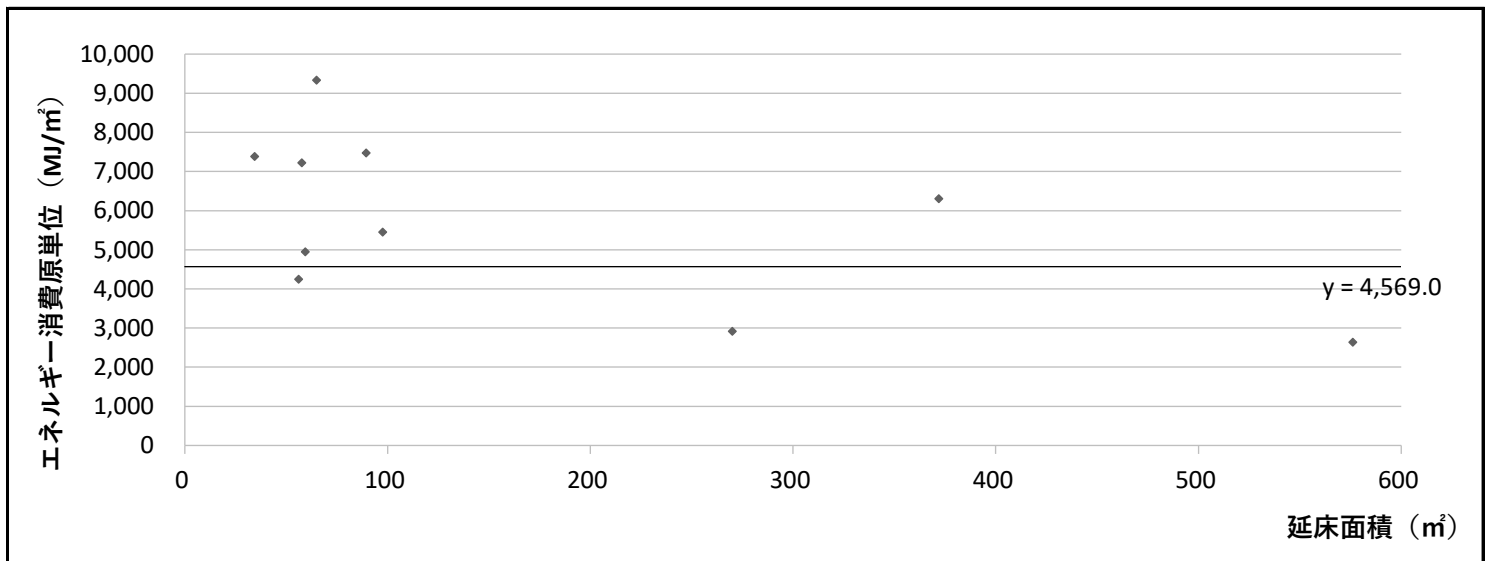
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率（H30とR4比較）の分布（事業所数：1）



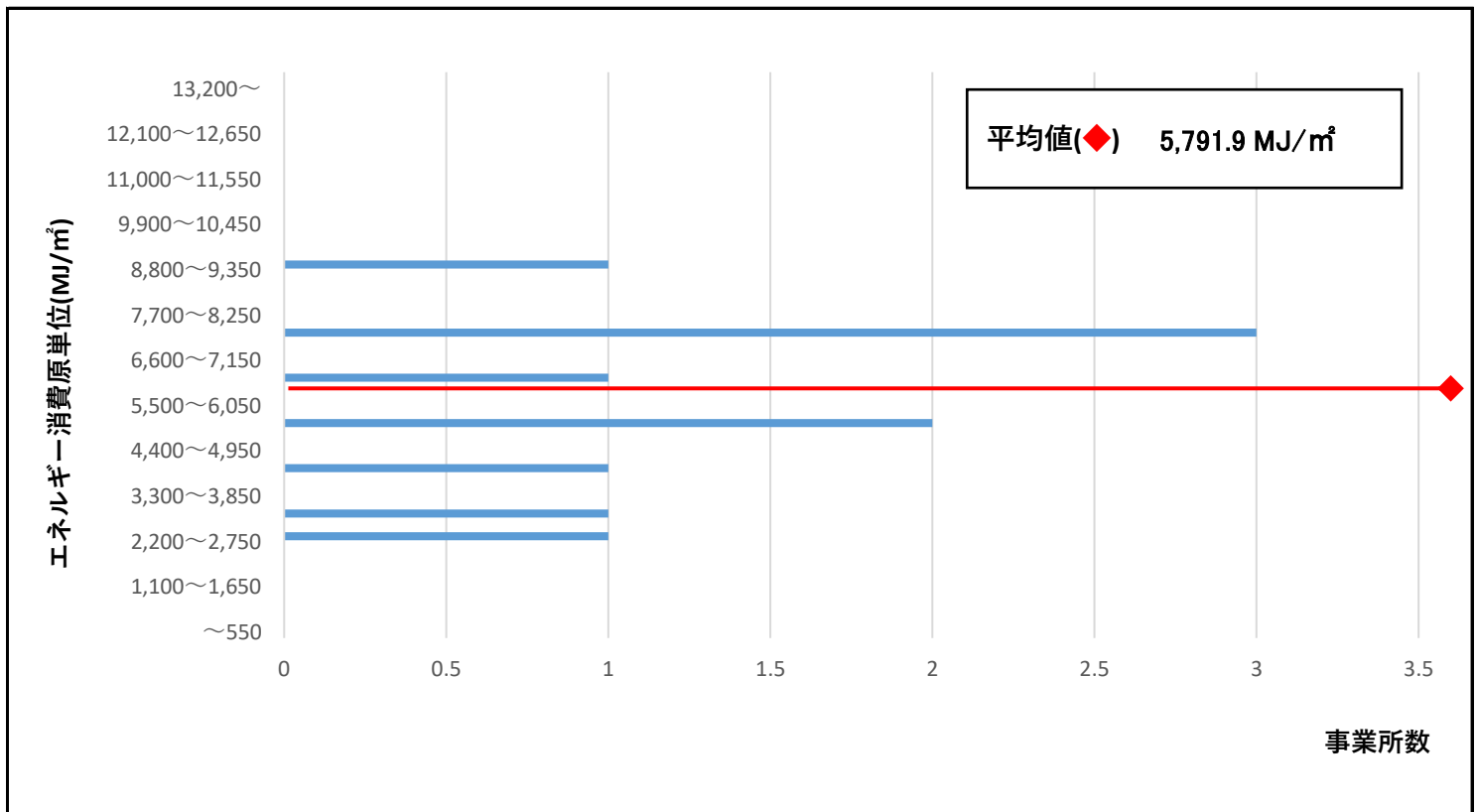
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



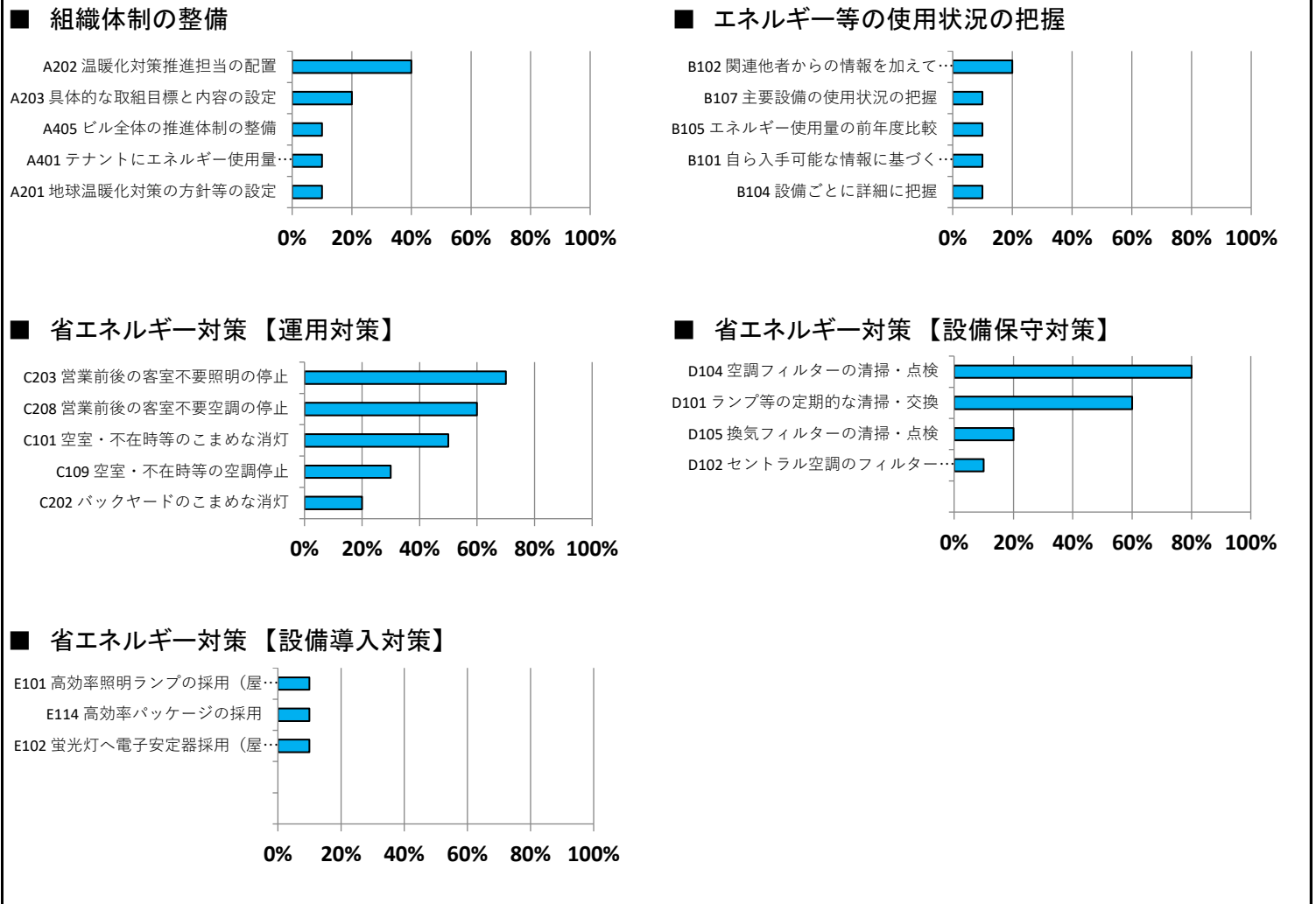
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

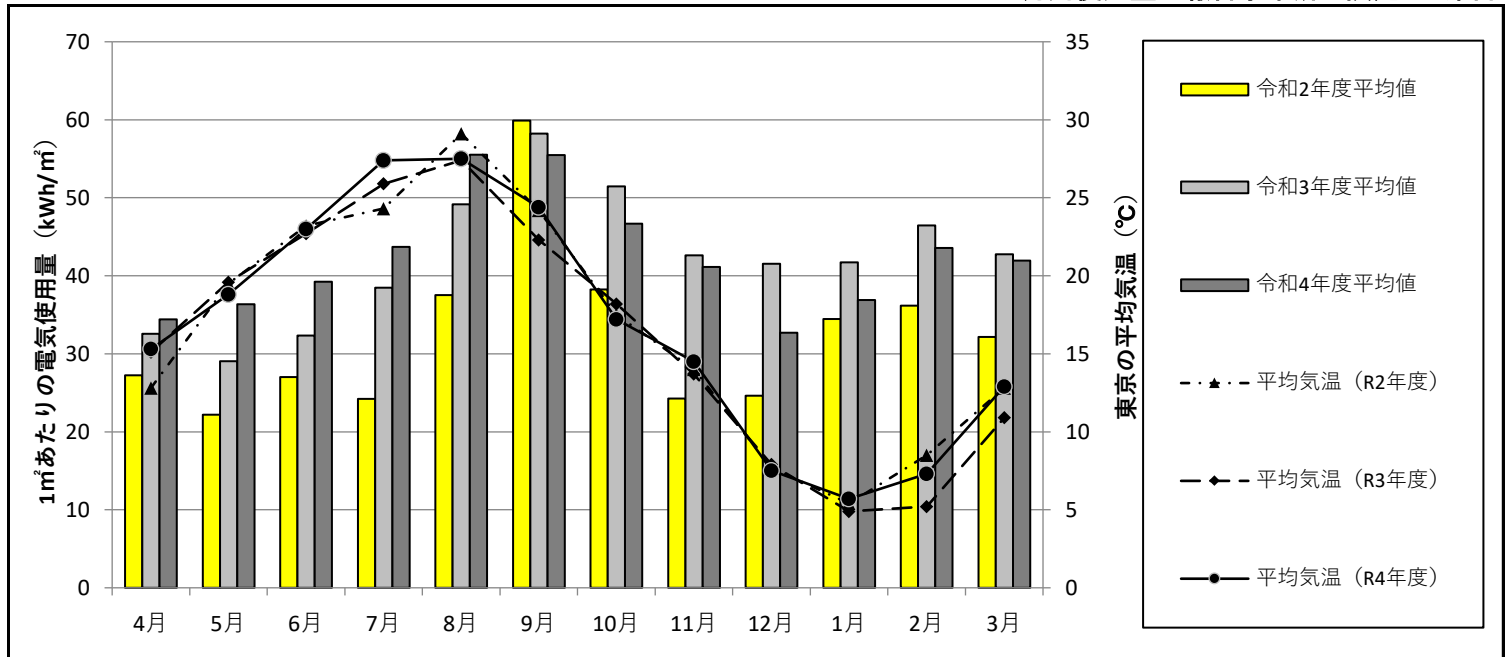


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

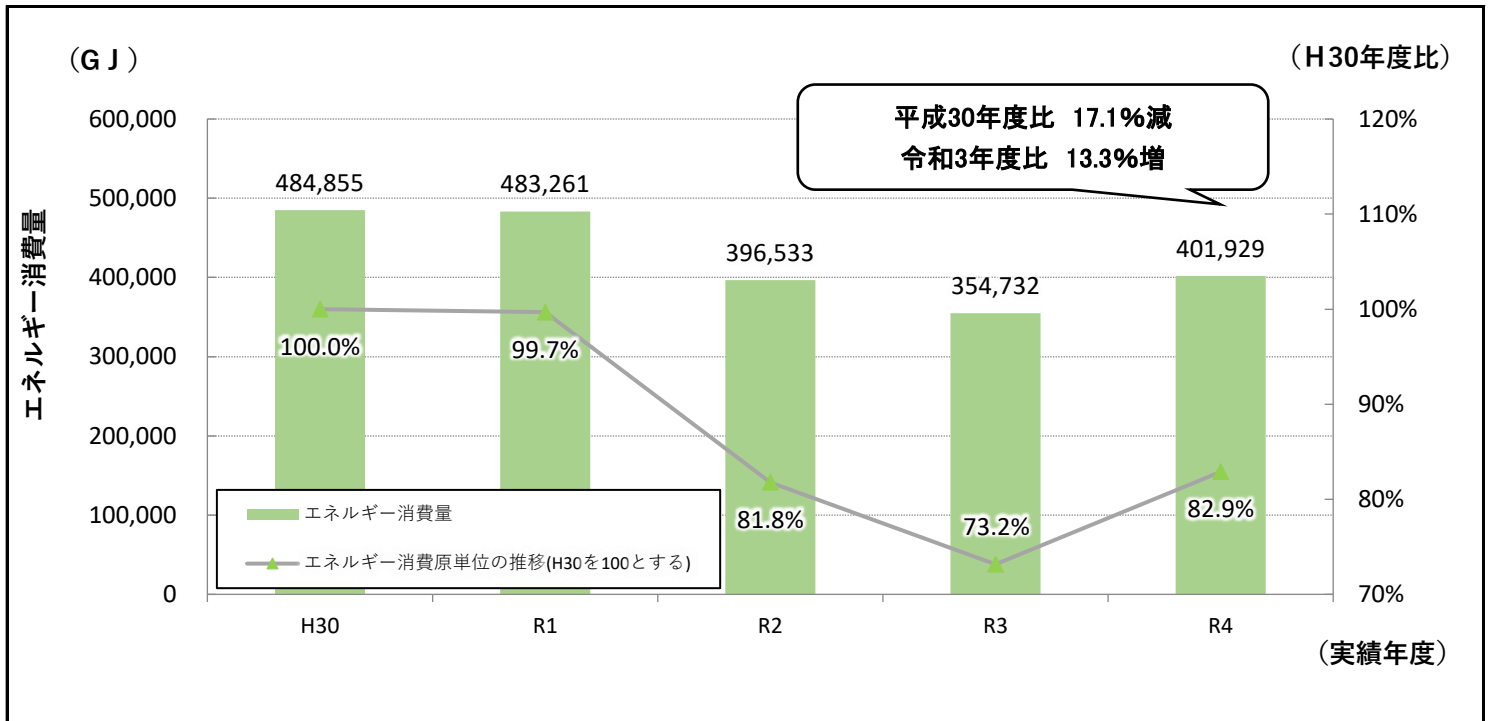
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



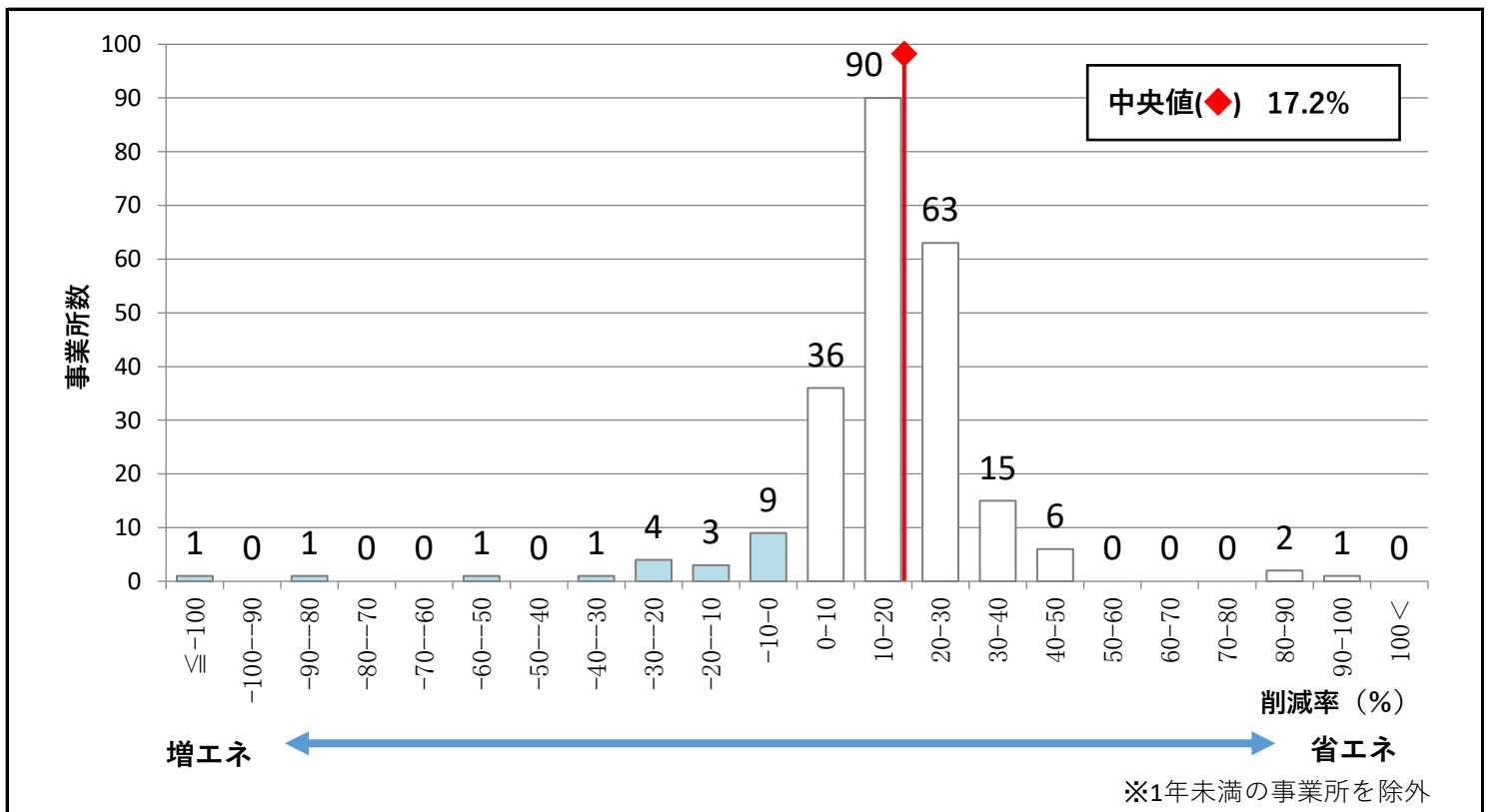
無煙ロースターからの排気量が多いため、屋外から室内へ大量の外気が侵入するのが特徴です。すべてのロースターから常時排気されていると、その分侵入外気が増加し、空調負荷が無駄に増大します。客席をゾーン分けして、ゾーン毎に排気ダクトに閉止ダンパーを設置し、不要時に閉止することで排気風量の削減が図れます。排気ファン風量の削減をインバータ制御で行うことでファン電力、空調負荷ともに大幅な省エネが期待できます。またテーブル毎に天井から排気筒を下すなどの局所排気システムの導入により、排気風量の削減が図れ感染症対策としても有効です。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類 「7623 中華料理店」「7624 ラーメン店」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設（飲食）」
飲食店 （中華料理・ラーメン）	296	284	

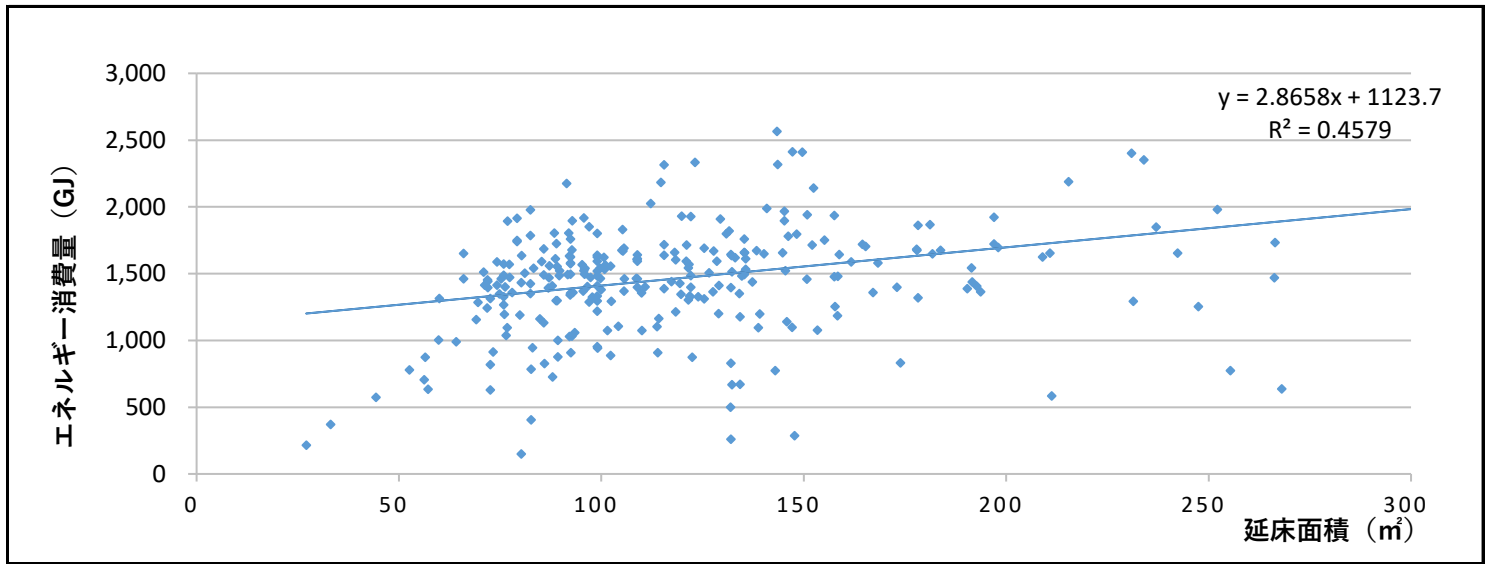
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:261)



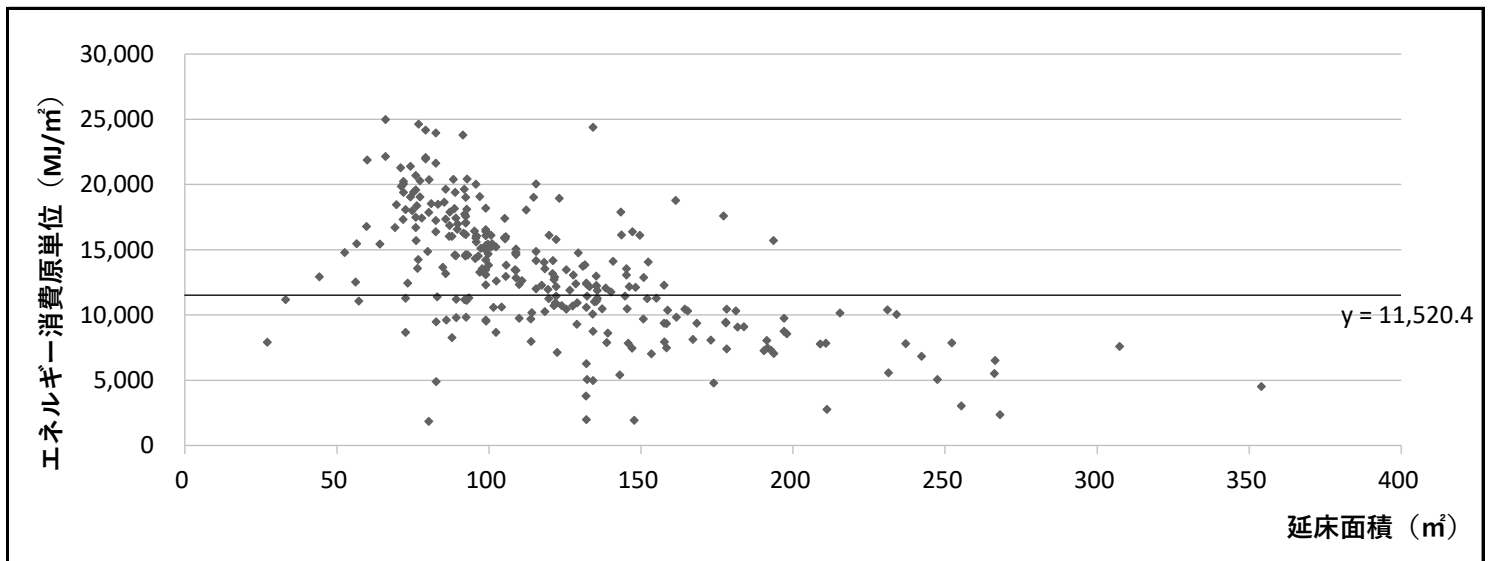
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:233)



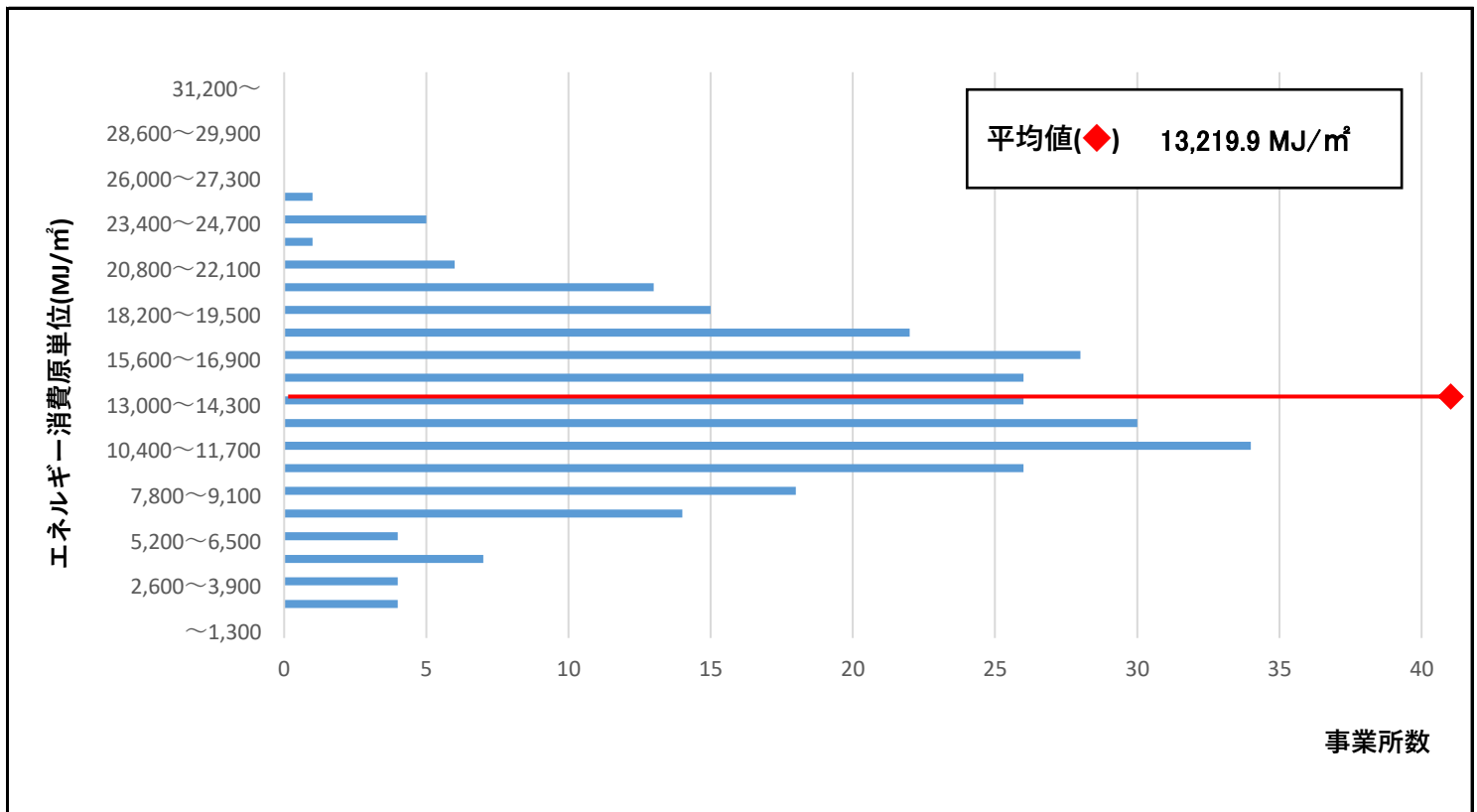
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



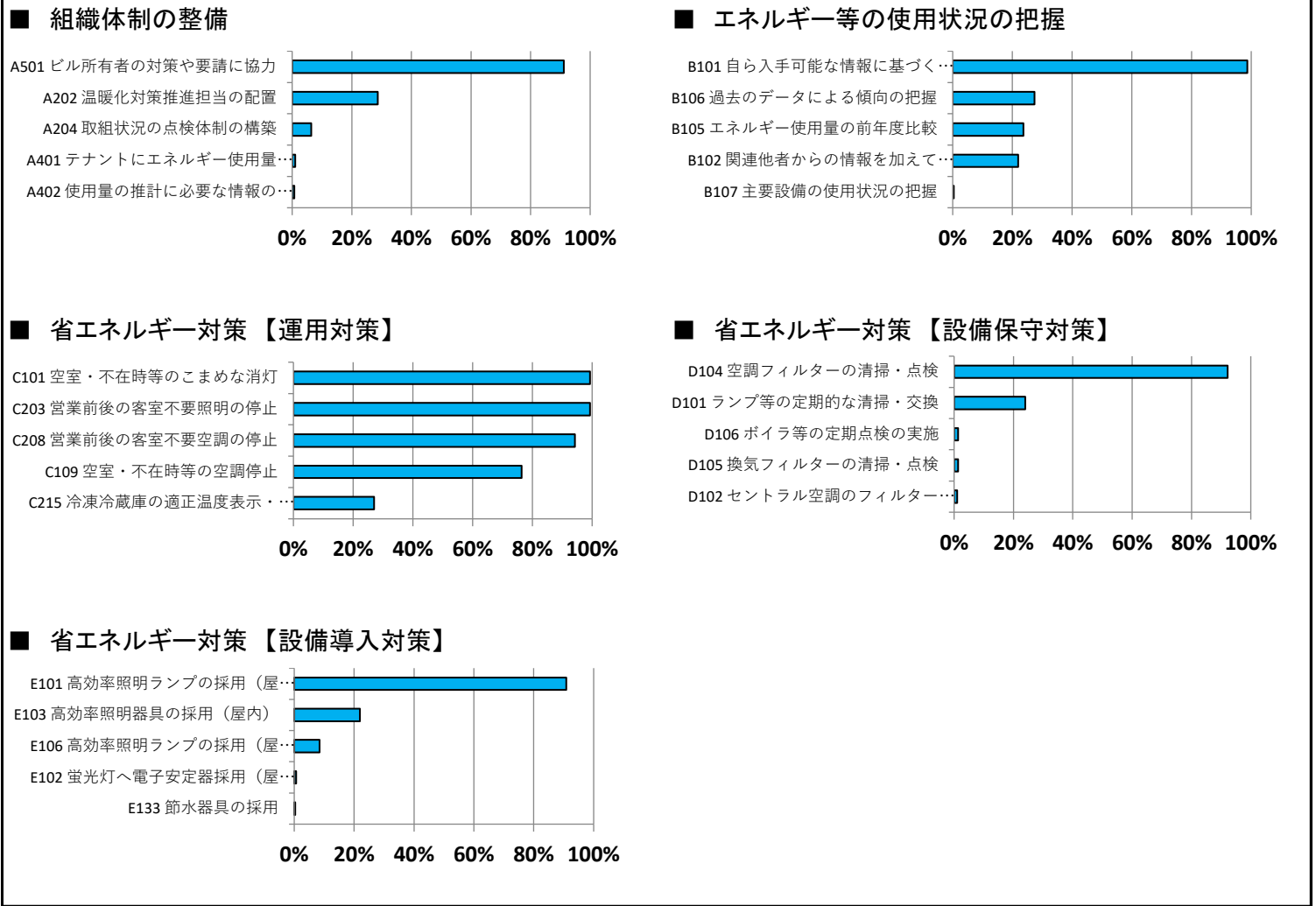
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

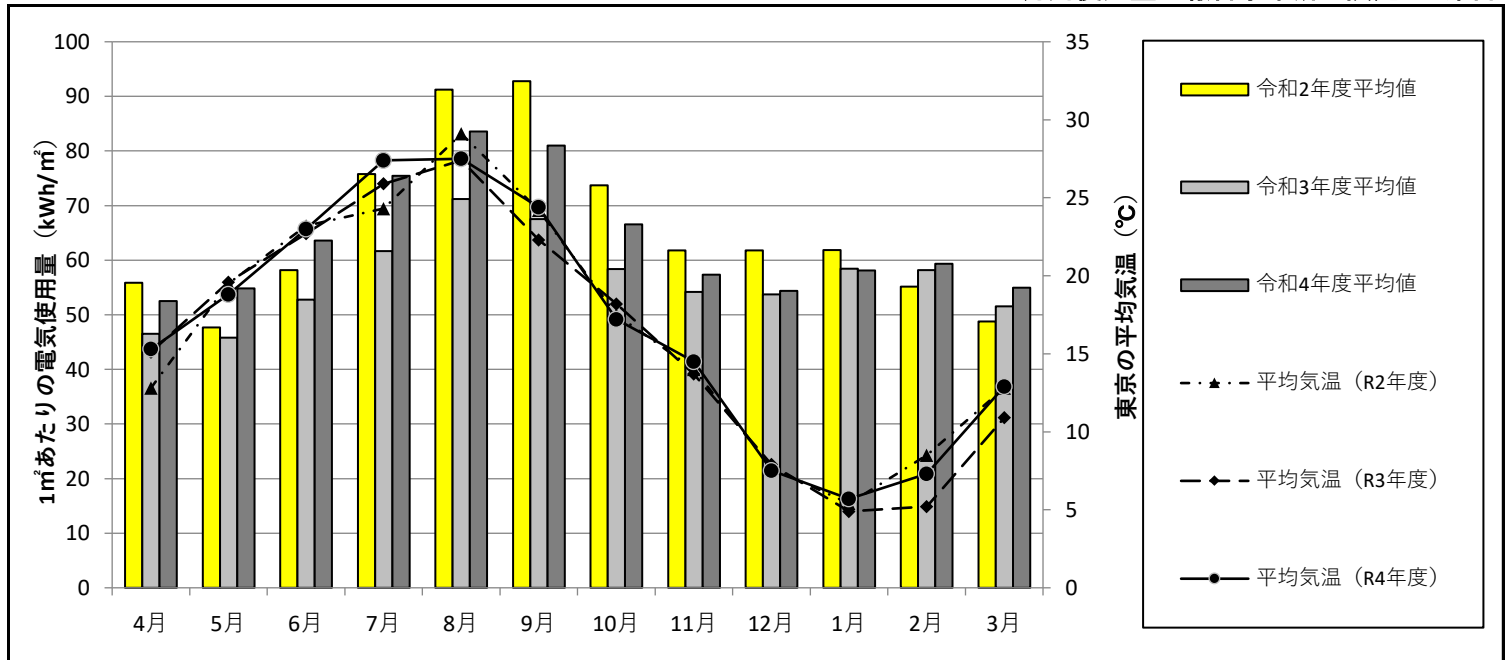


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

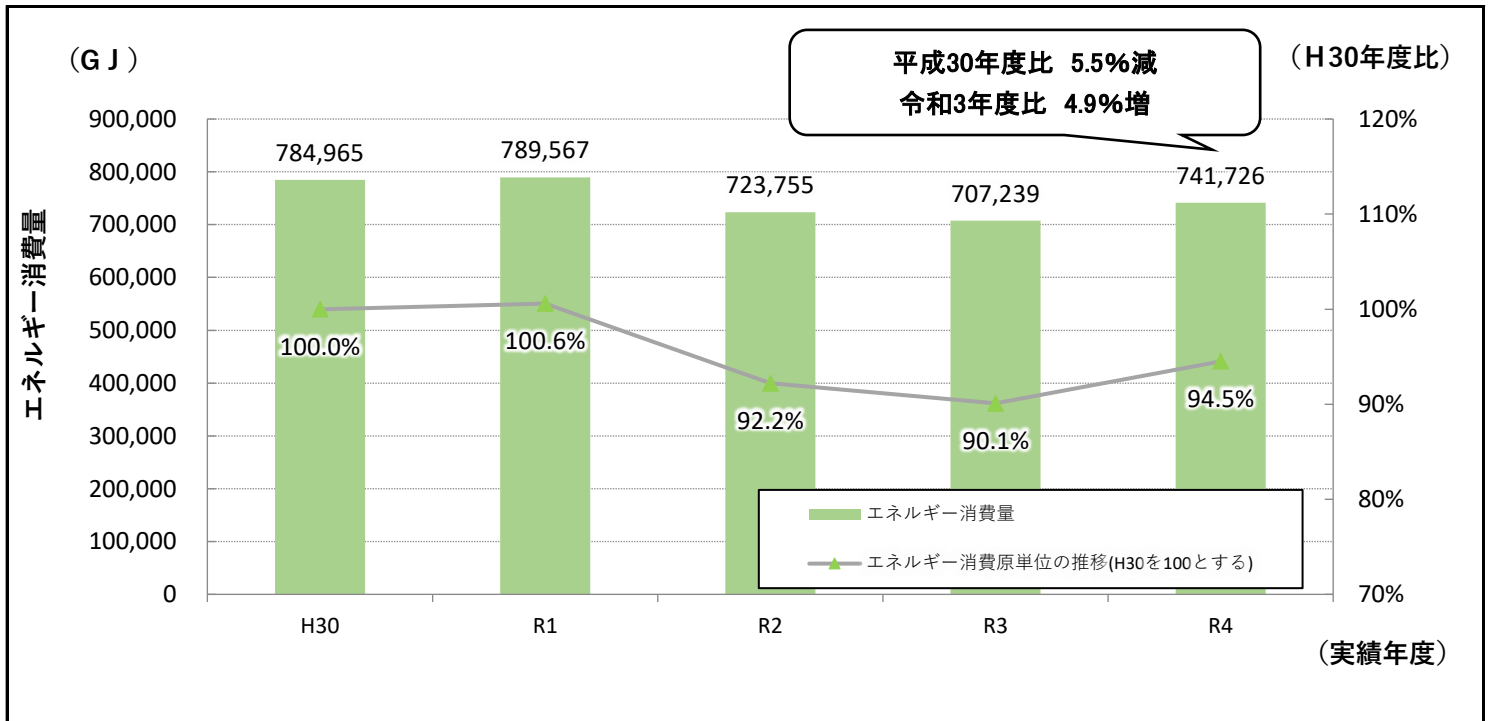
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



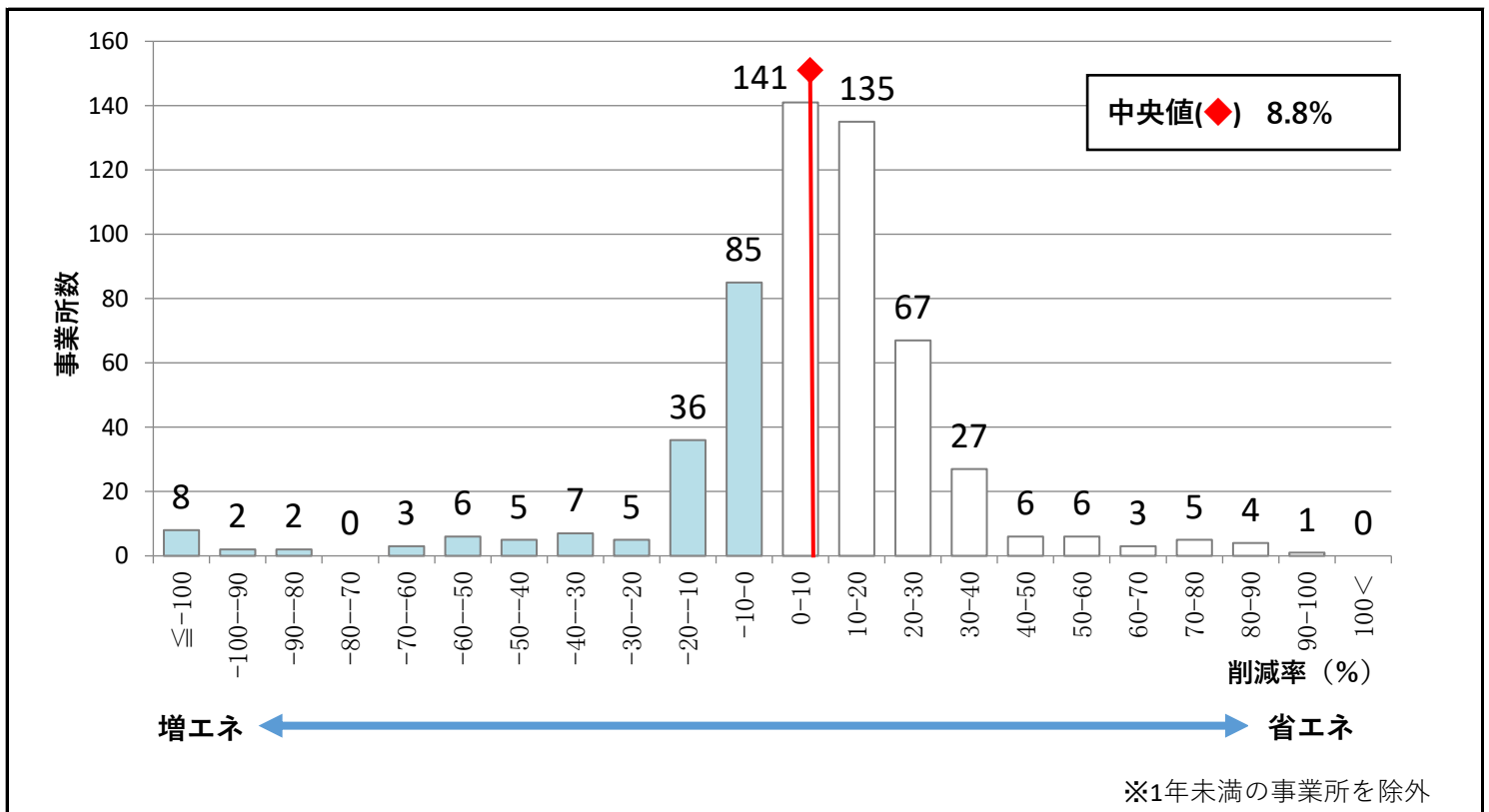
中華やラーメン類の調理には多くの湯煙や臭気が発生するので、一般の食堂と比べレンジフードの排気量が多くなっています。その分大量の外気が侵入し、空調機の外気処理のための消費エネルギーが増大しています。給気と排気のバランスをレンジ周りで行い、なるべく空調負荷とならないよう配慮することで省エネが実現できます。また厨房内の空調フィルターは油などで詰まりやすいため、定期的な清掃が特に必要となります。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「7621 日本料理店」「7622 料亭」「7629 その他の専門料理店」「7631 そば・うどん店」「7641 すし店」「7692 お好み焼き・焼きそば・たこ焼店」「7699 他に分類されないその他の飲食店」 ・報告範囲の主たる用途「商業施設(飲食)」
飲食店(その他)	676	657	

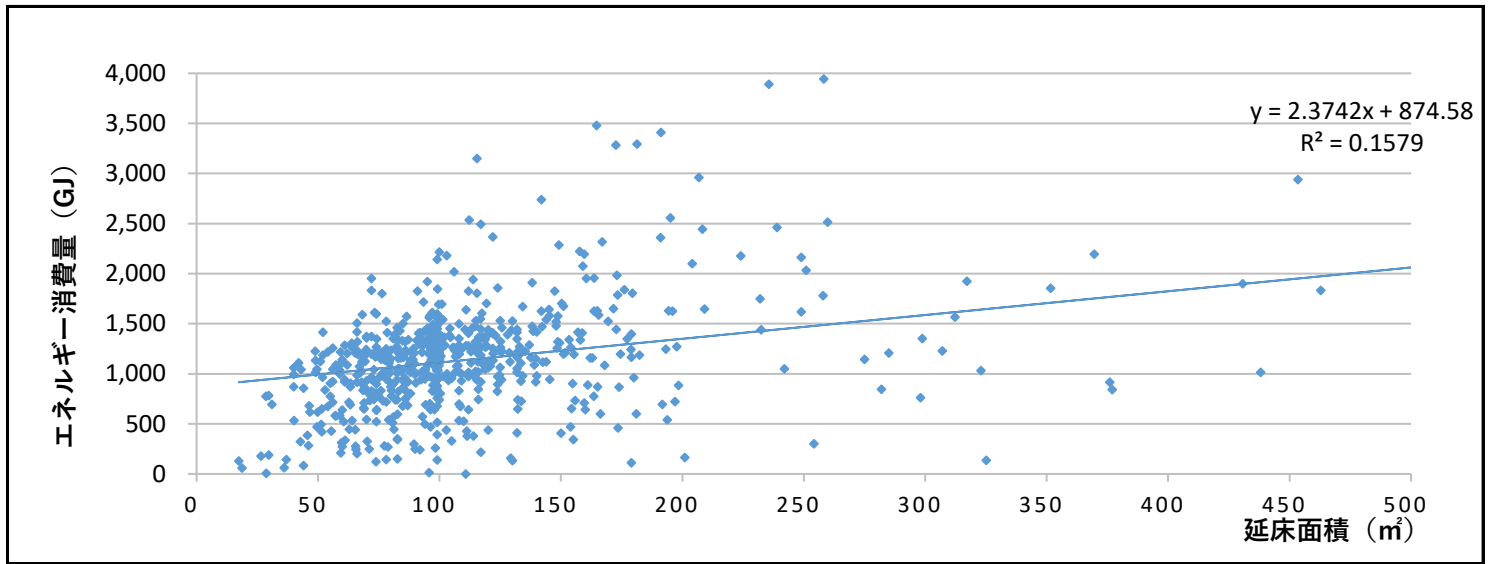
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:601)



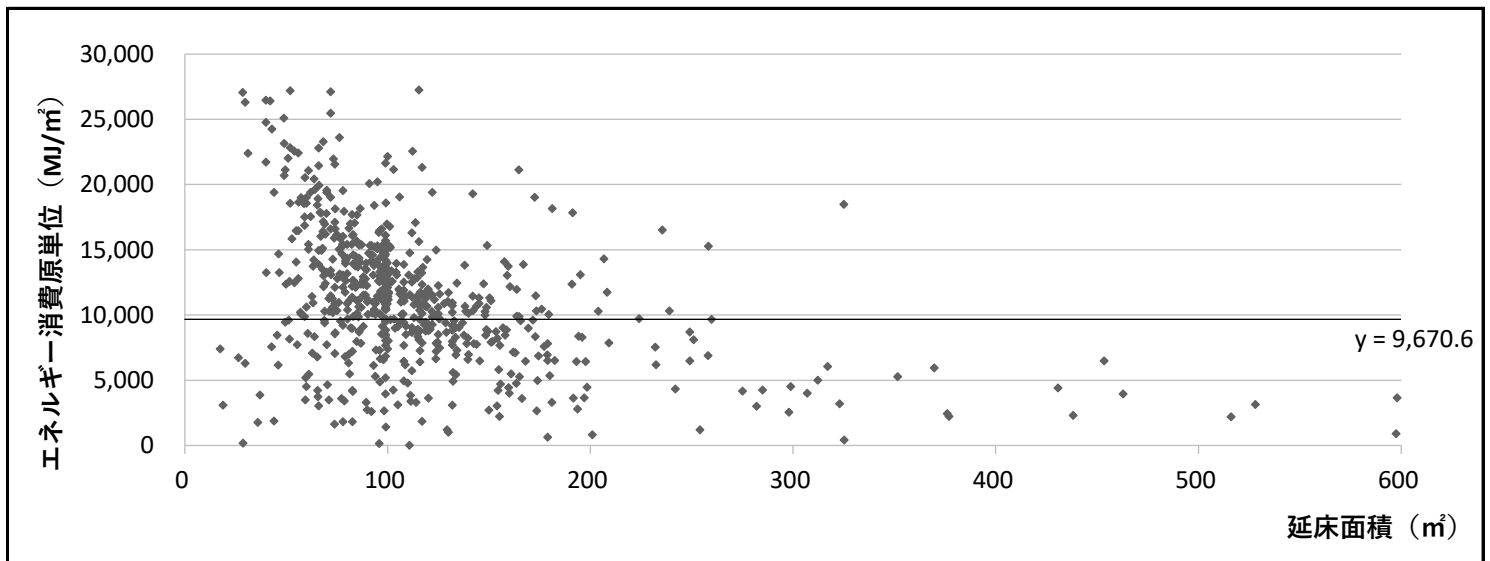
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:554)



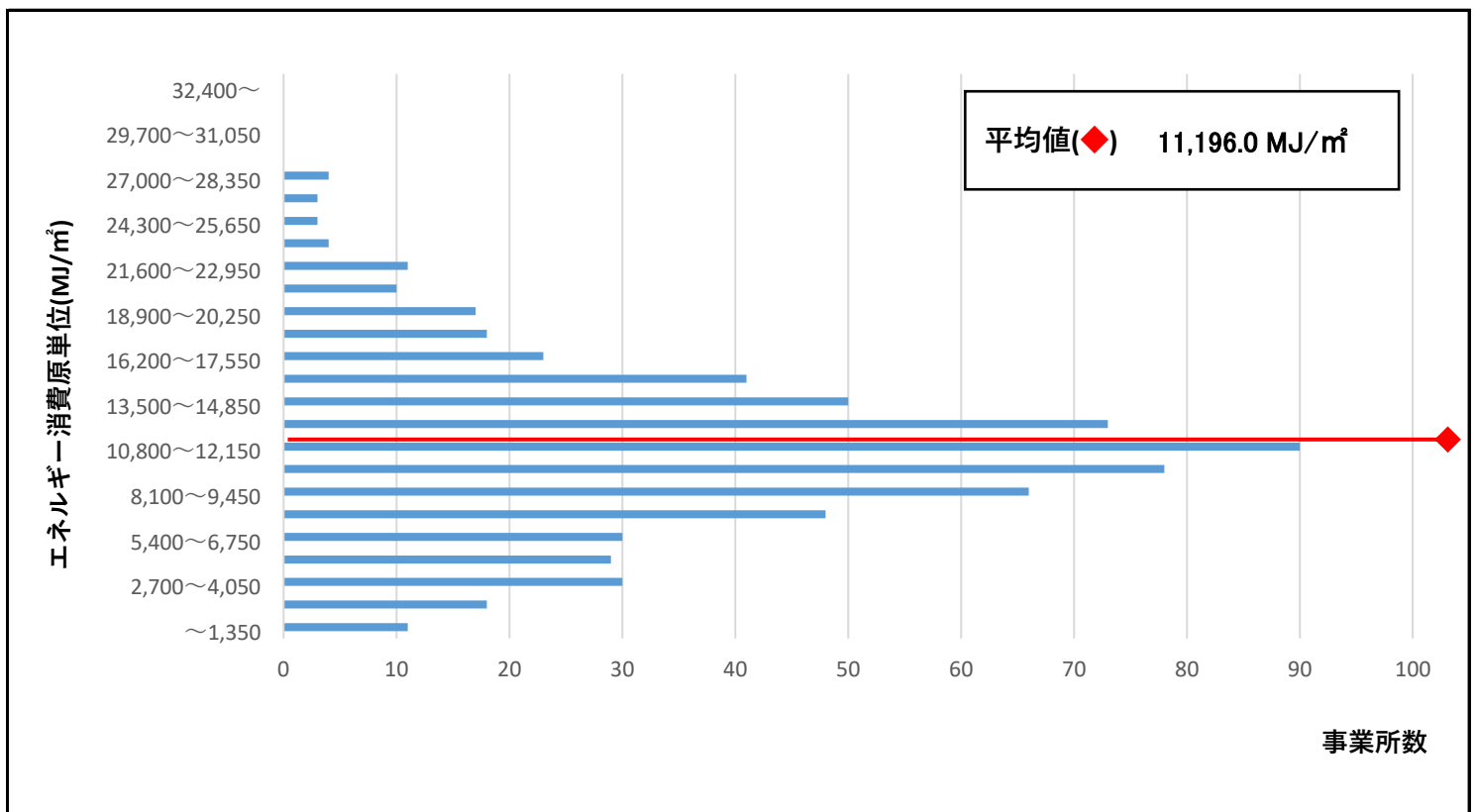
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



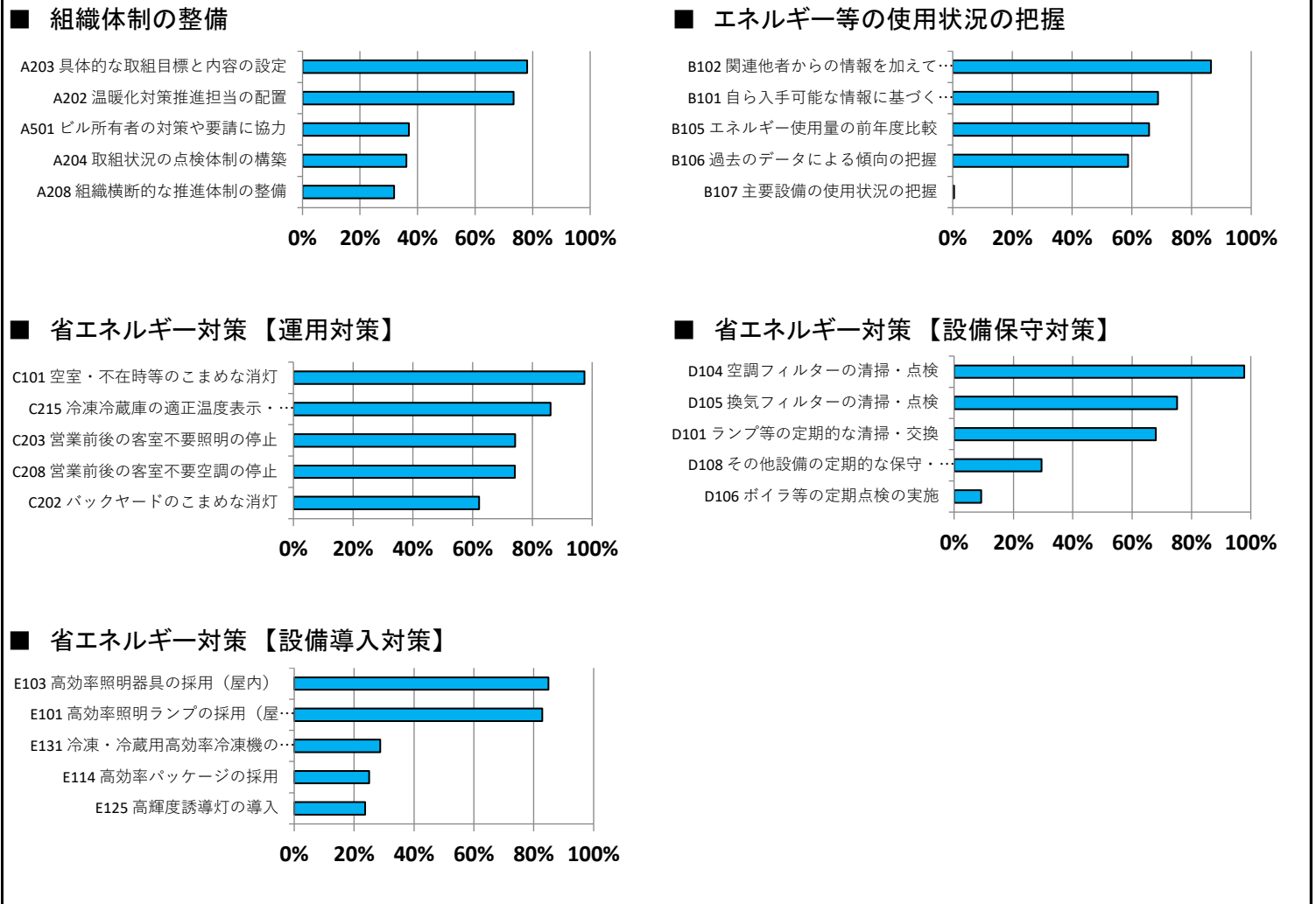
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

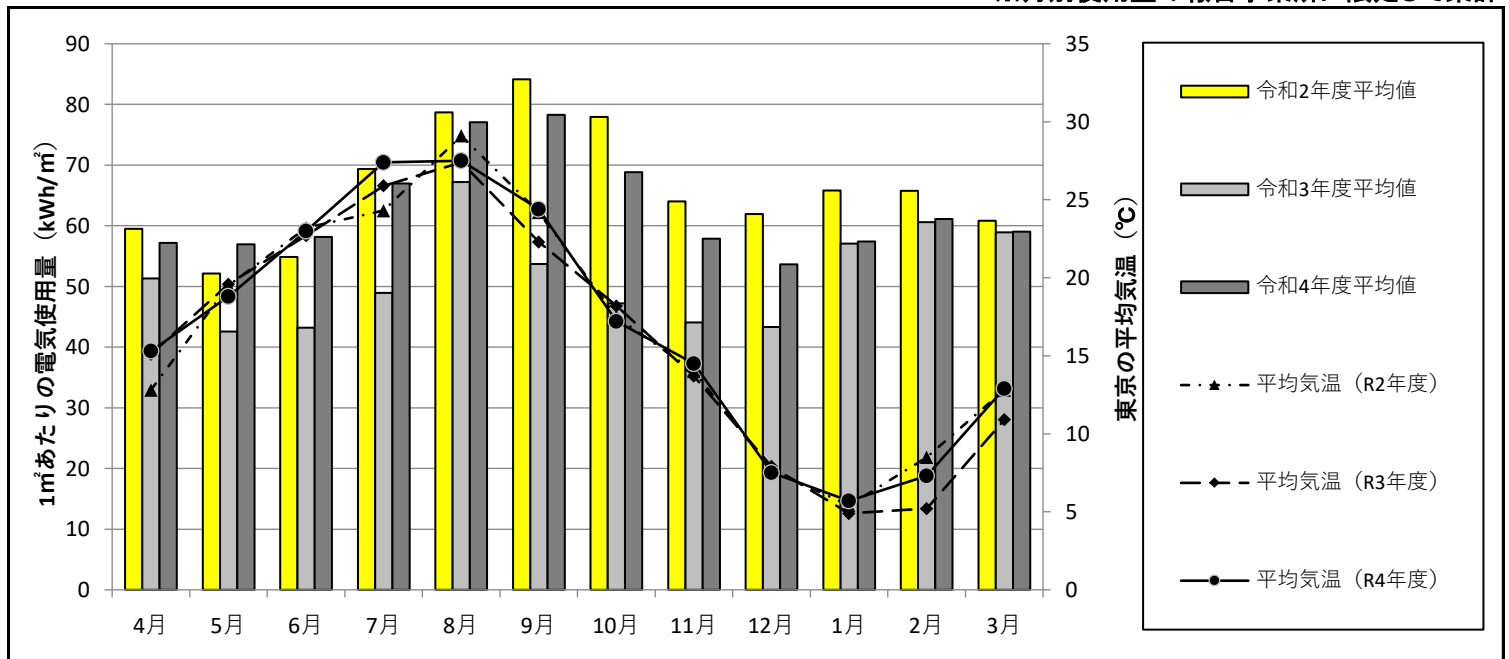


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

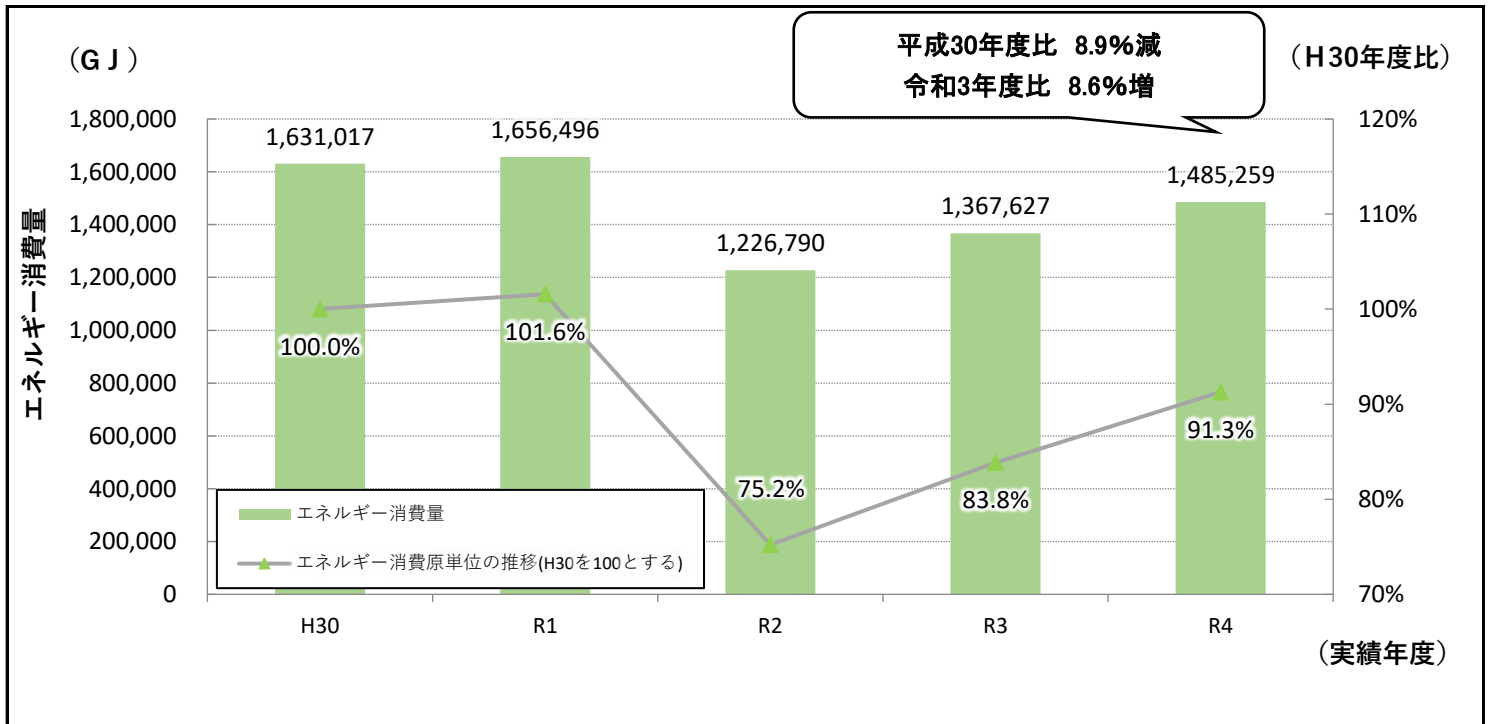
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



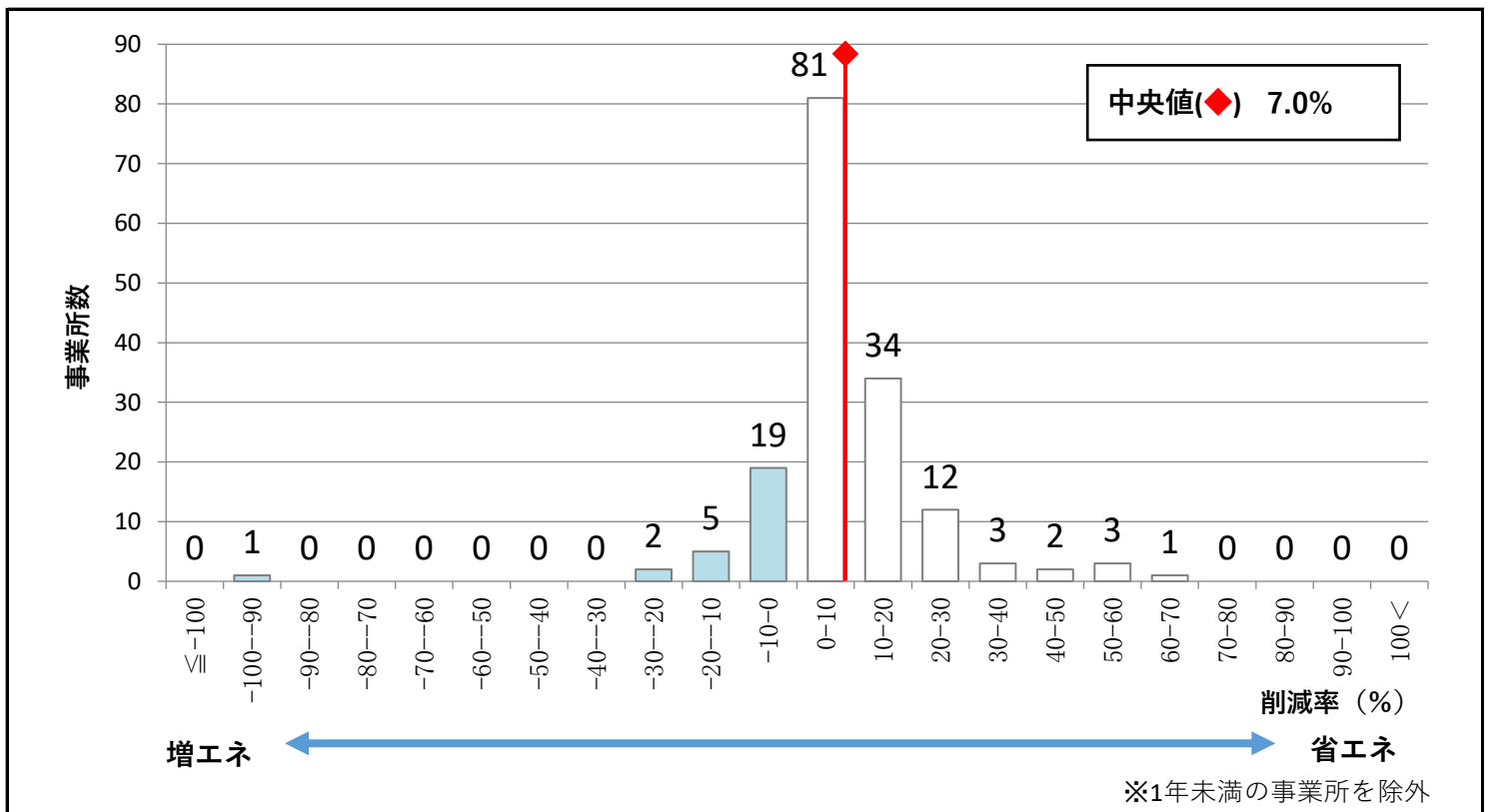
店舗内の照度と空調設定温度の適正化が基本です。またレストランと同様に有効な空気の流れが作れるように、厨房フードと反対側から外気が導入するような開口部の配置計画が重要です。排気だけでは有効な換気はできません。外気の導入経路の計画がなされていることが必須です。またCO2センサーを設置し、常に1000ppm未満のCO2濃度を維持できるよう、店内換気にはこまめな注意が望まれます。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「7511 旅館・ホテル」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
旅館・ホテル	240	230	

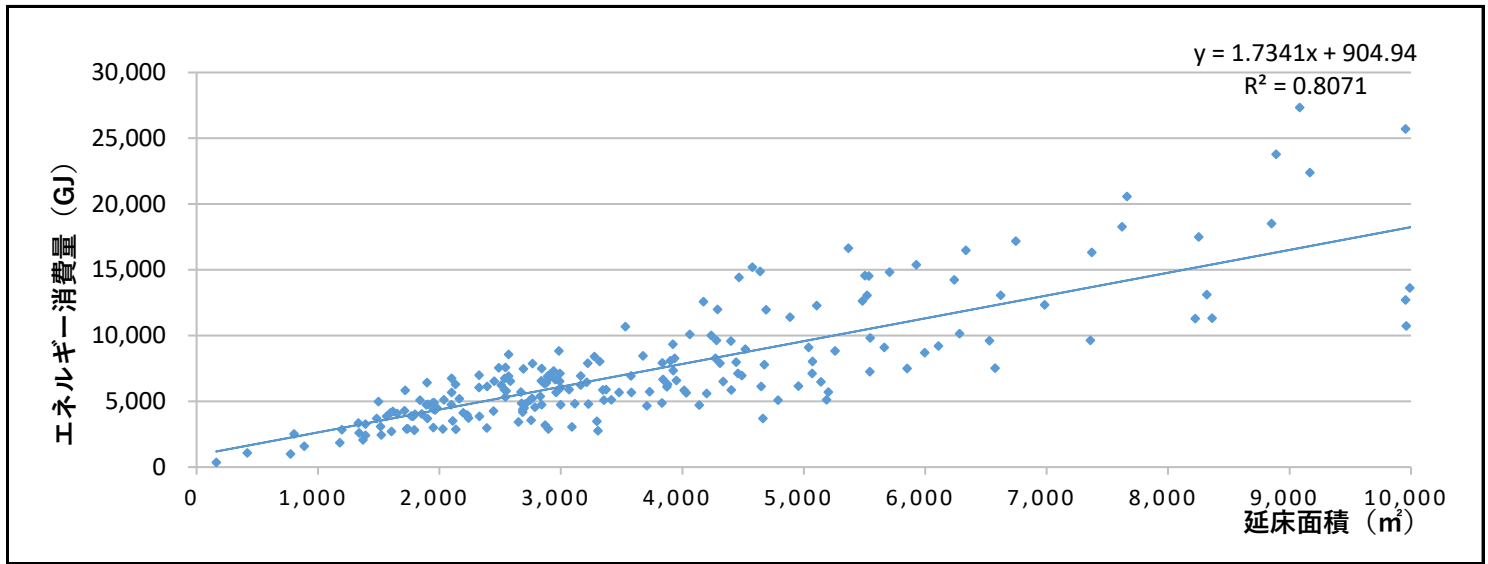
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:178)



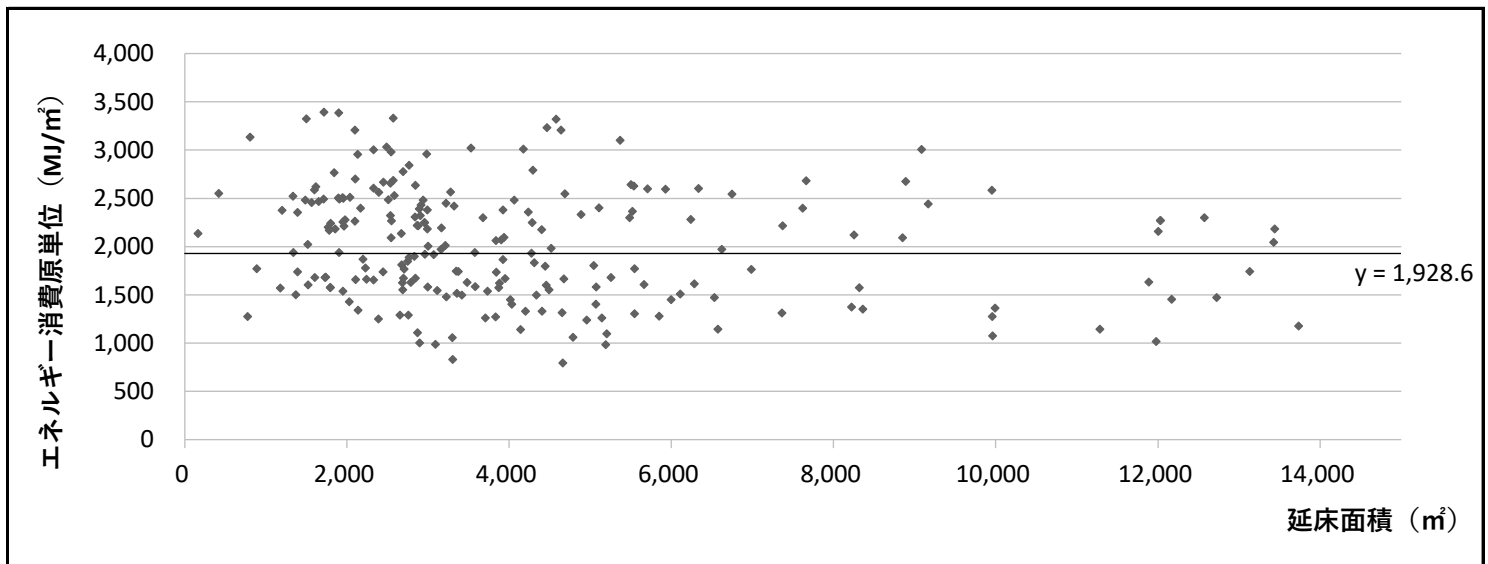
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:163)



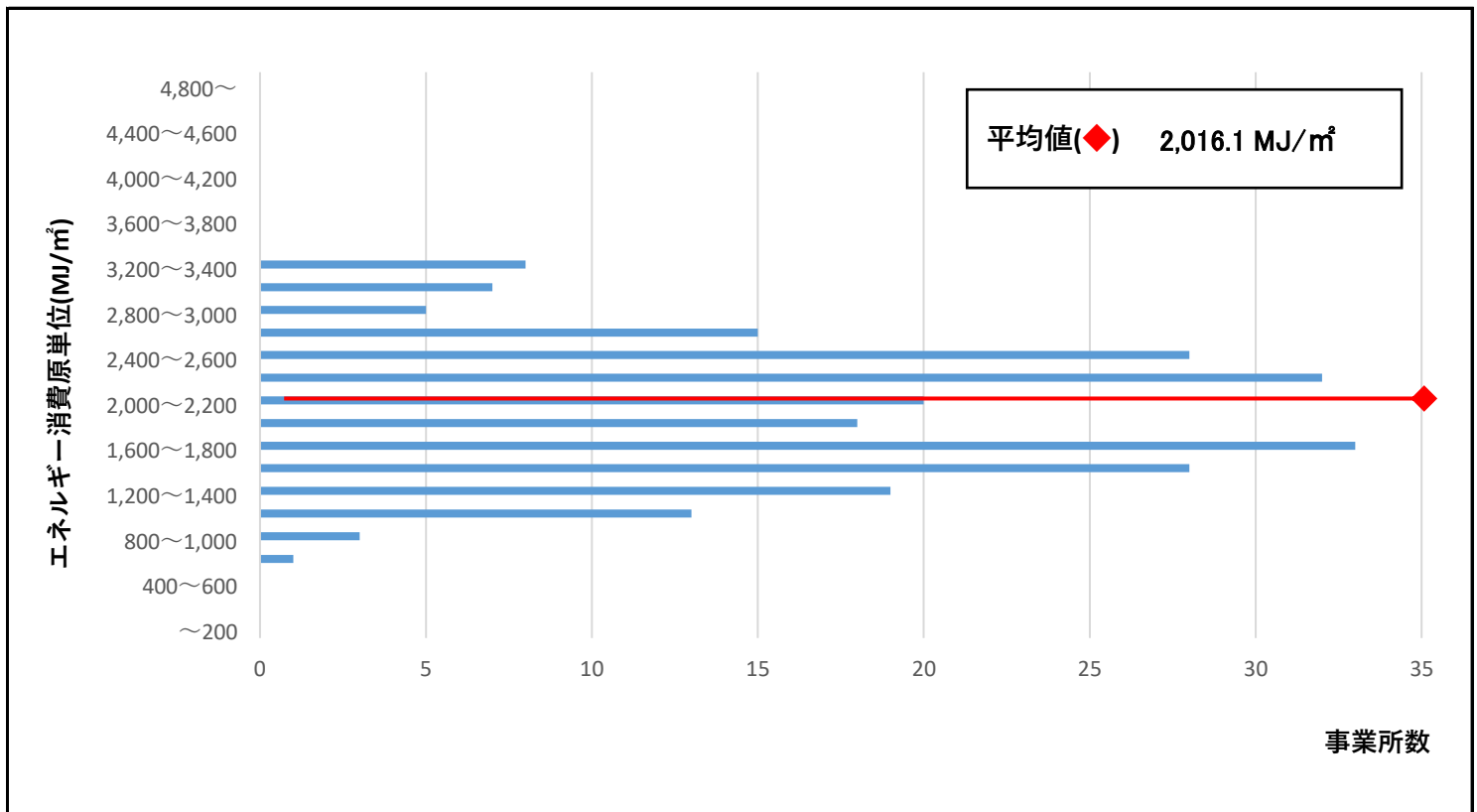
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



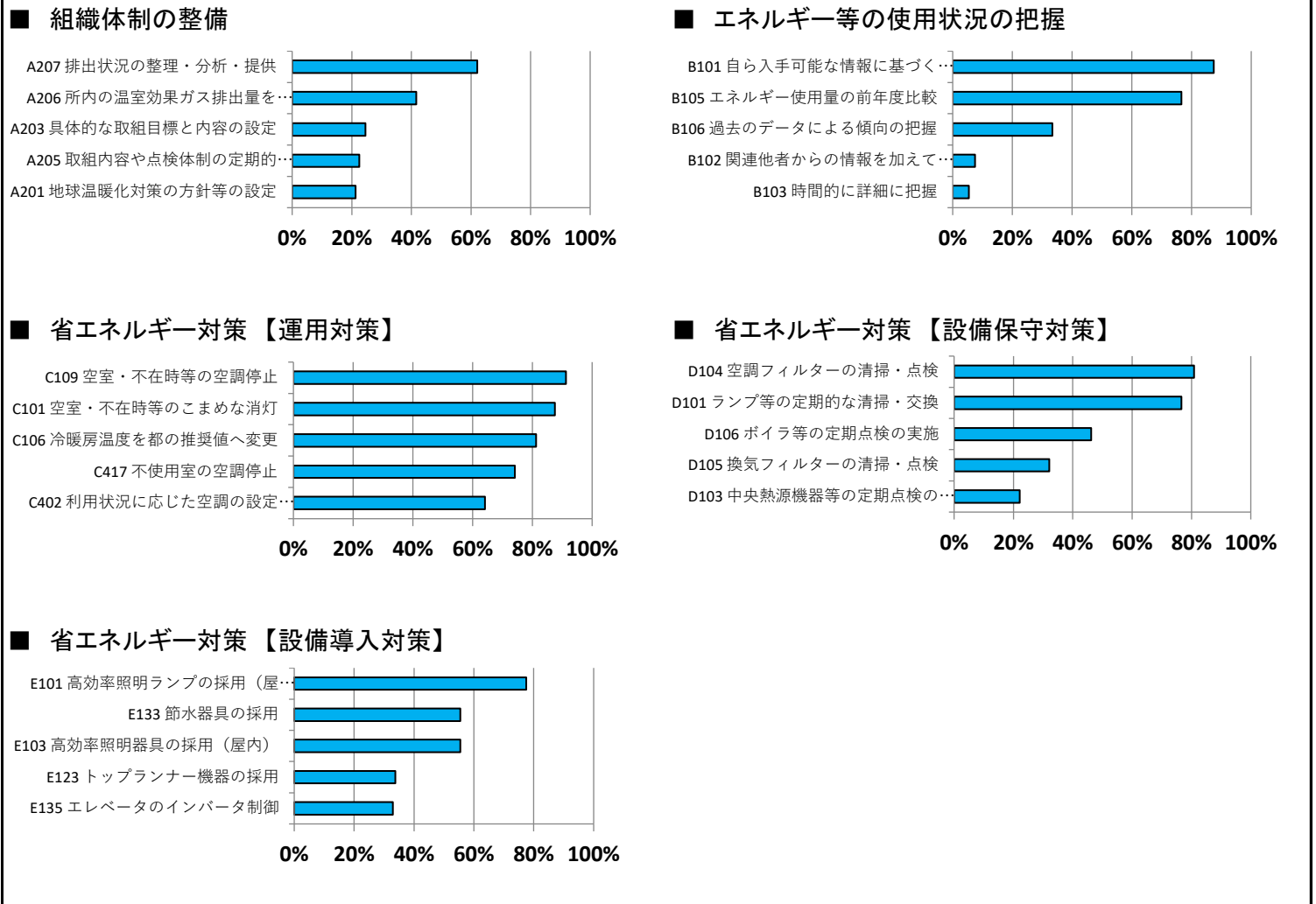
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

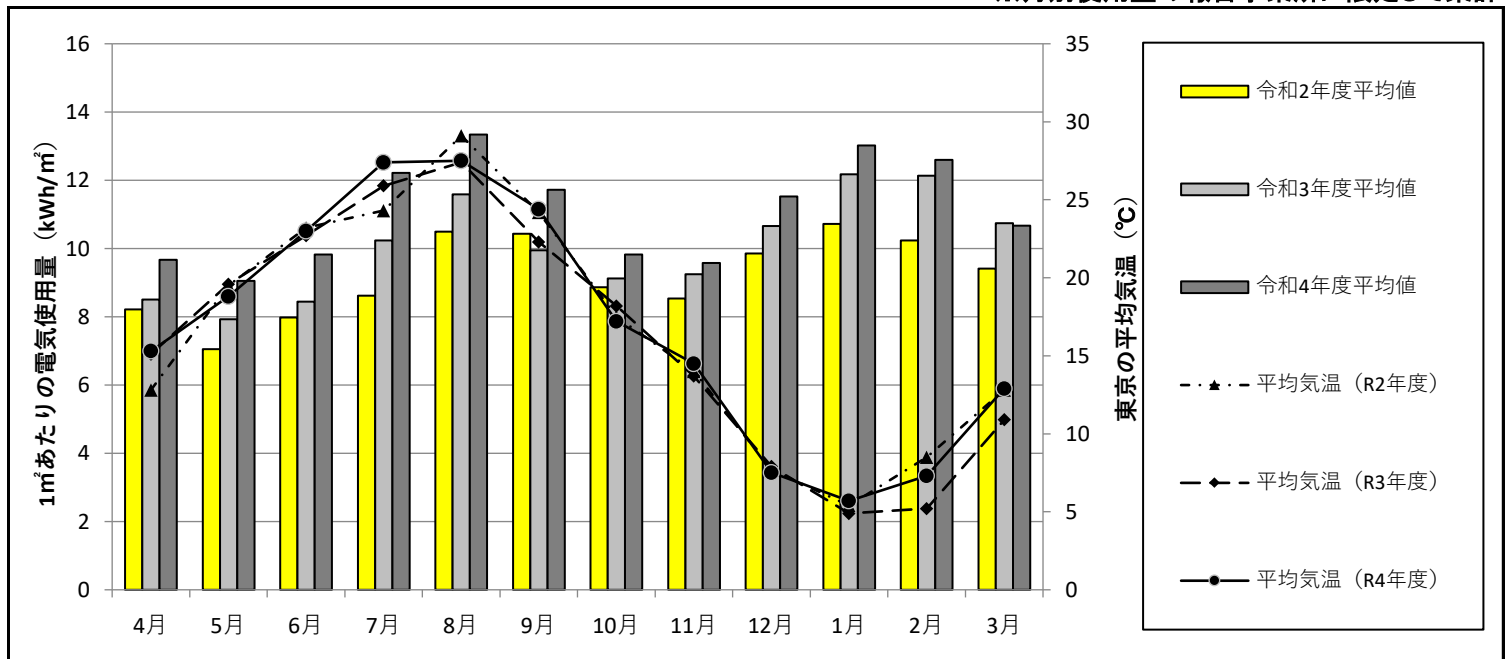


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

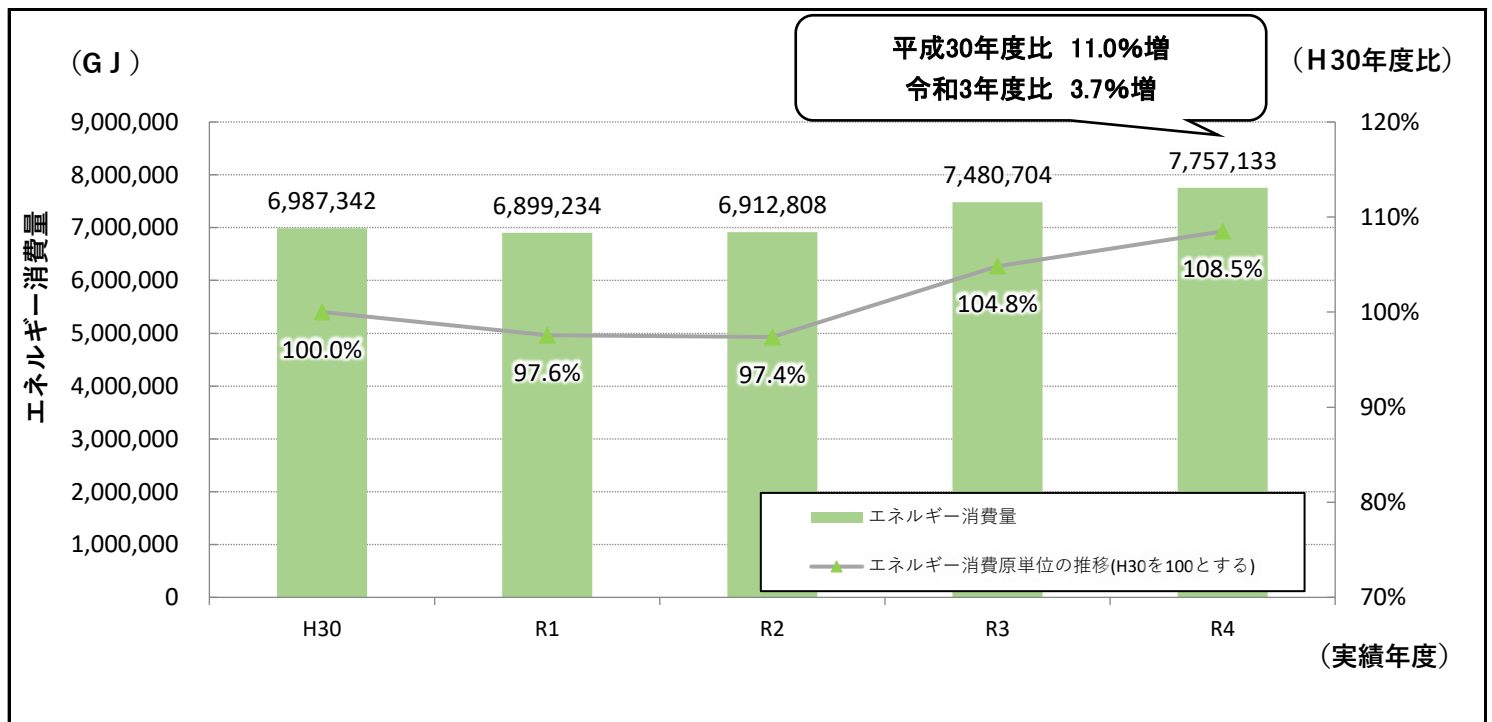
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



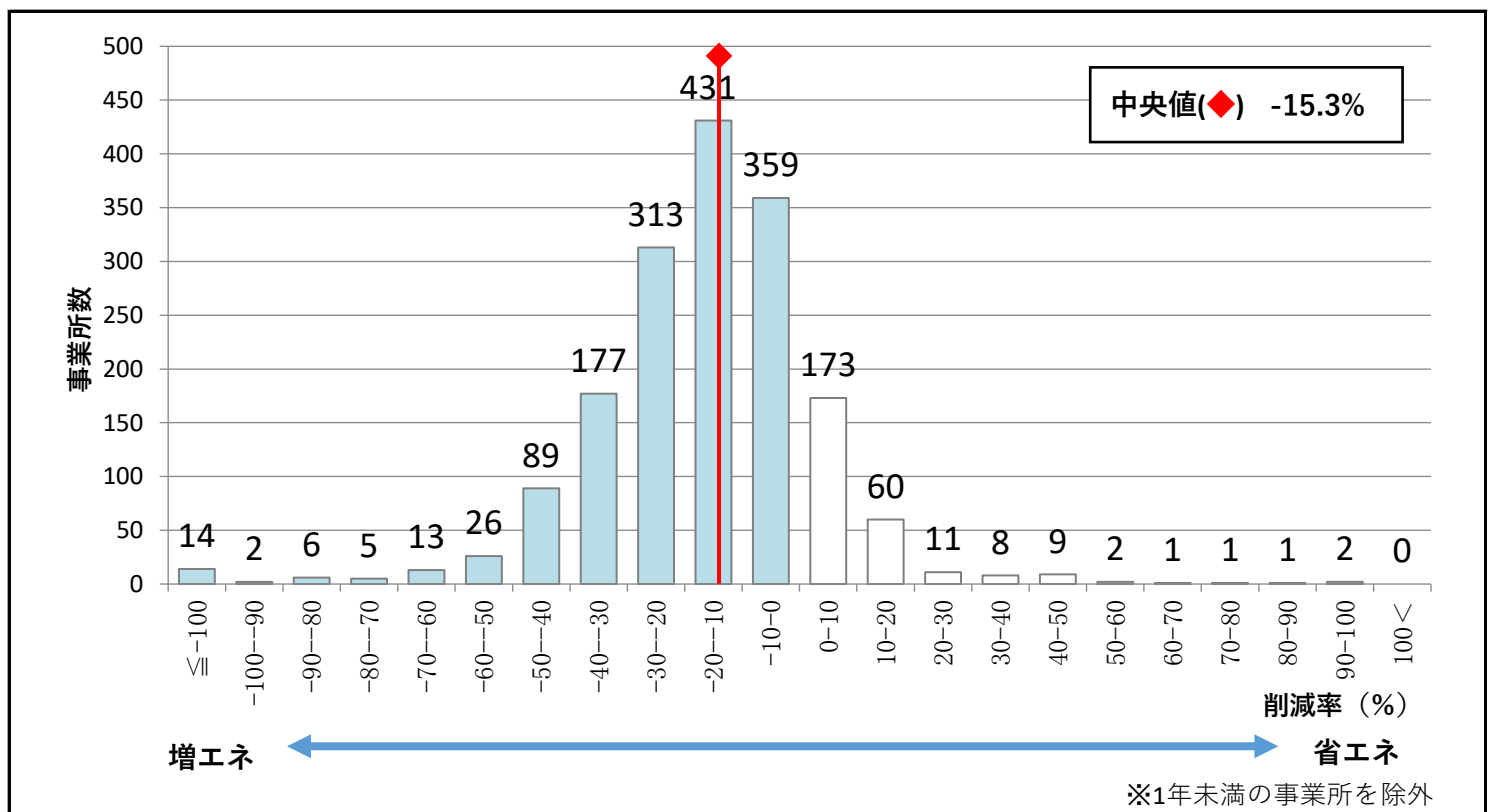
個室のエアコンやファンコイルは数が多いので、こまめにフィルターの清掃を実施してください。また客室清掃時は空調設定温度の緩和や停止等を検討するなど、清掃時の設備運用をルール化して省エネを図りましょう。浴槽ろ過ポンプにインバータを導入し、使用頻度の少ない時間帯は循環量を削減する事で省エネが図れます。共用部については、チェックアウトからチェックインの間の時間帯は閑散となるため外気導入量の削減による省エネを心掛けましょう。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「81** 学校教育」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
学校・教育施設	1,941	1,893	

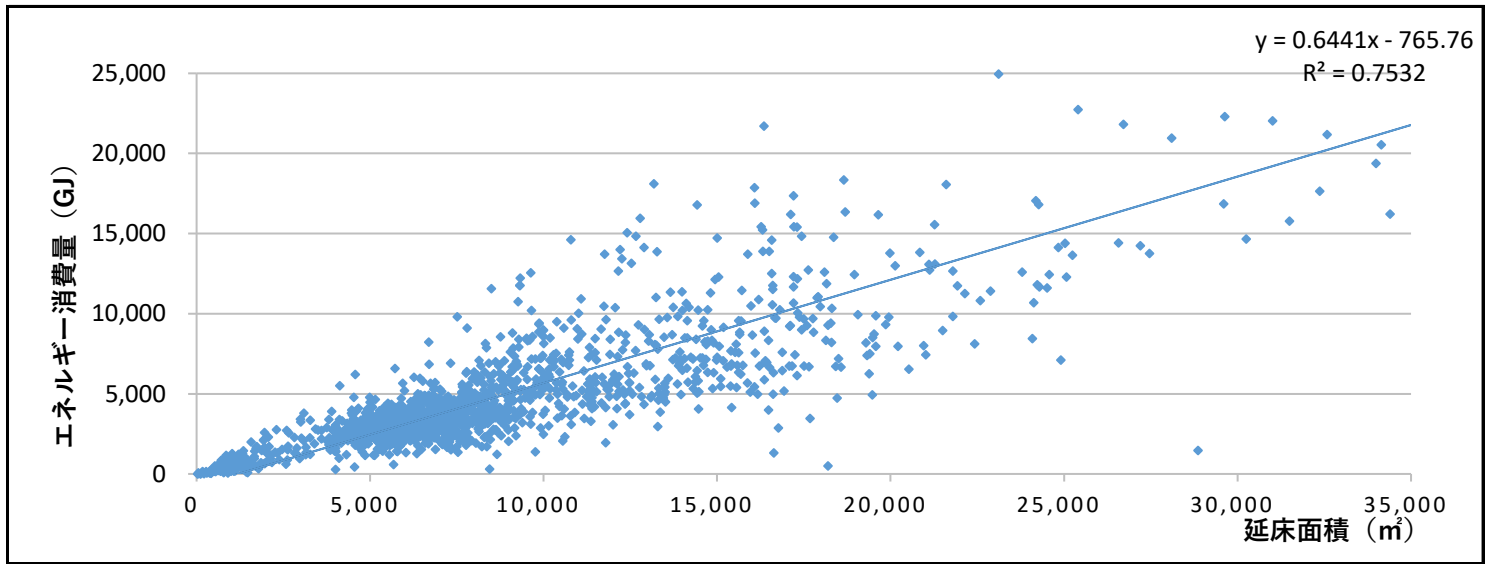
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:1713)



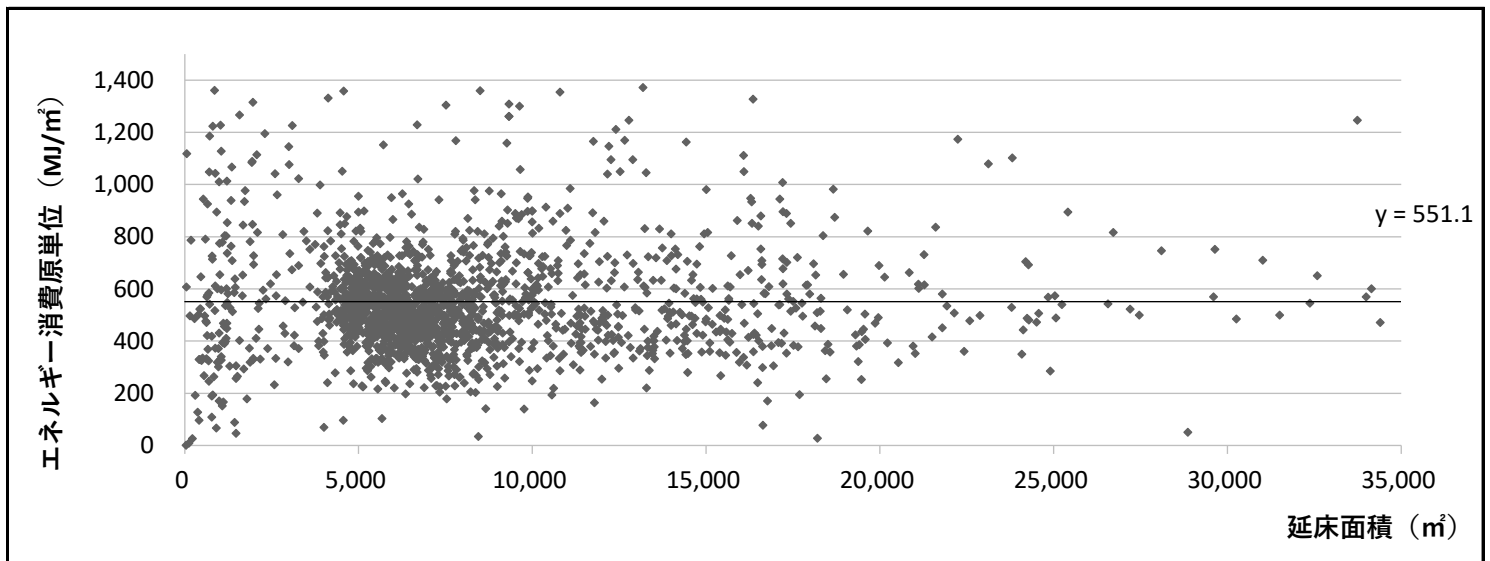
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:1703)



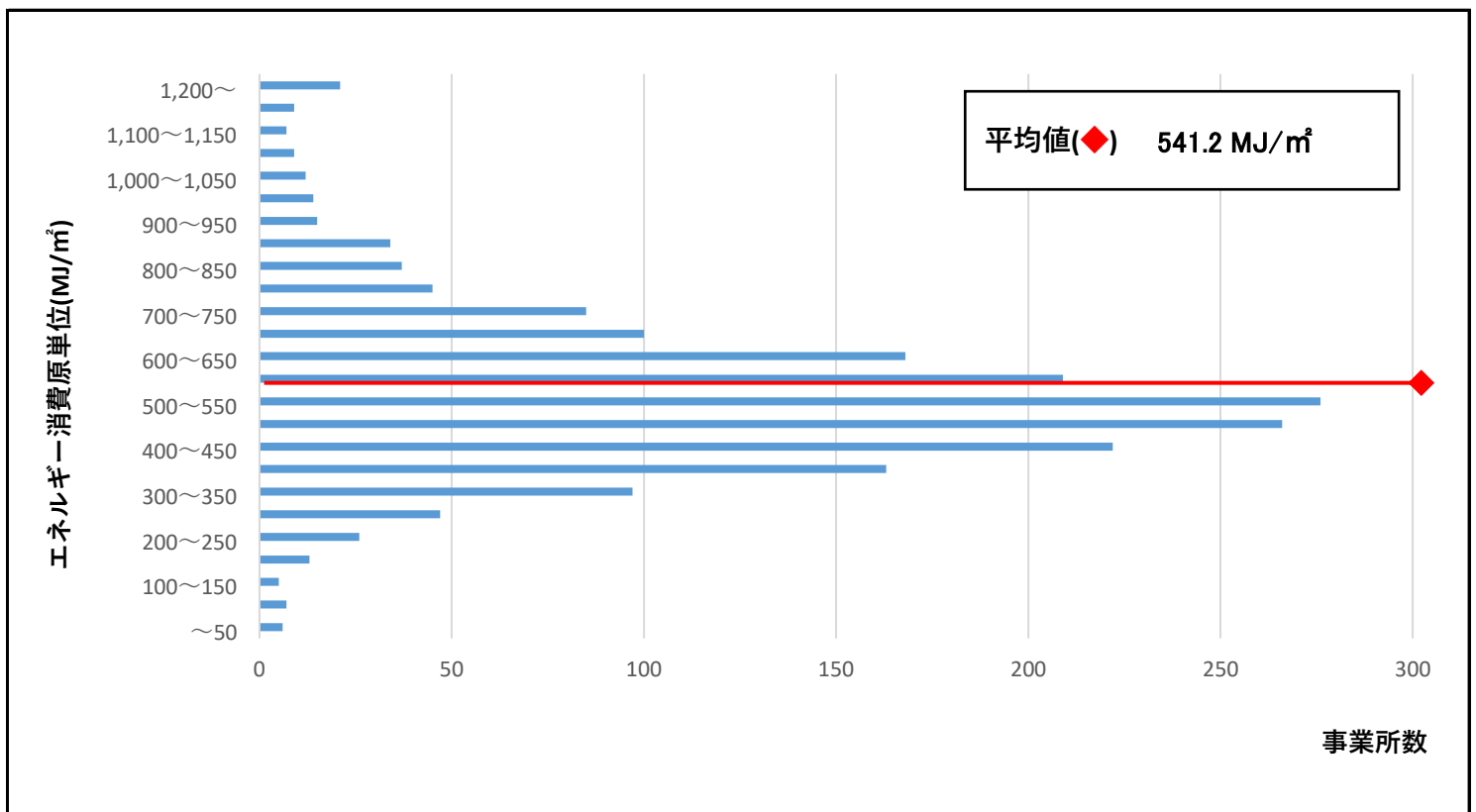
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



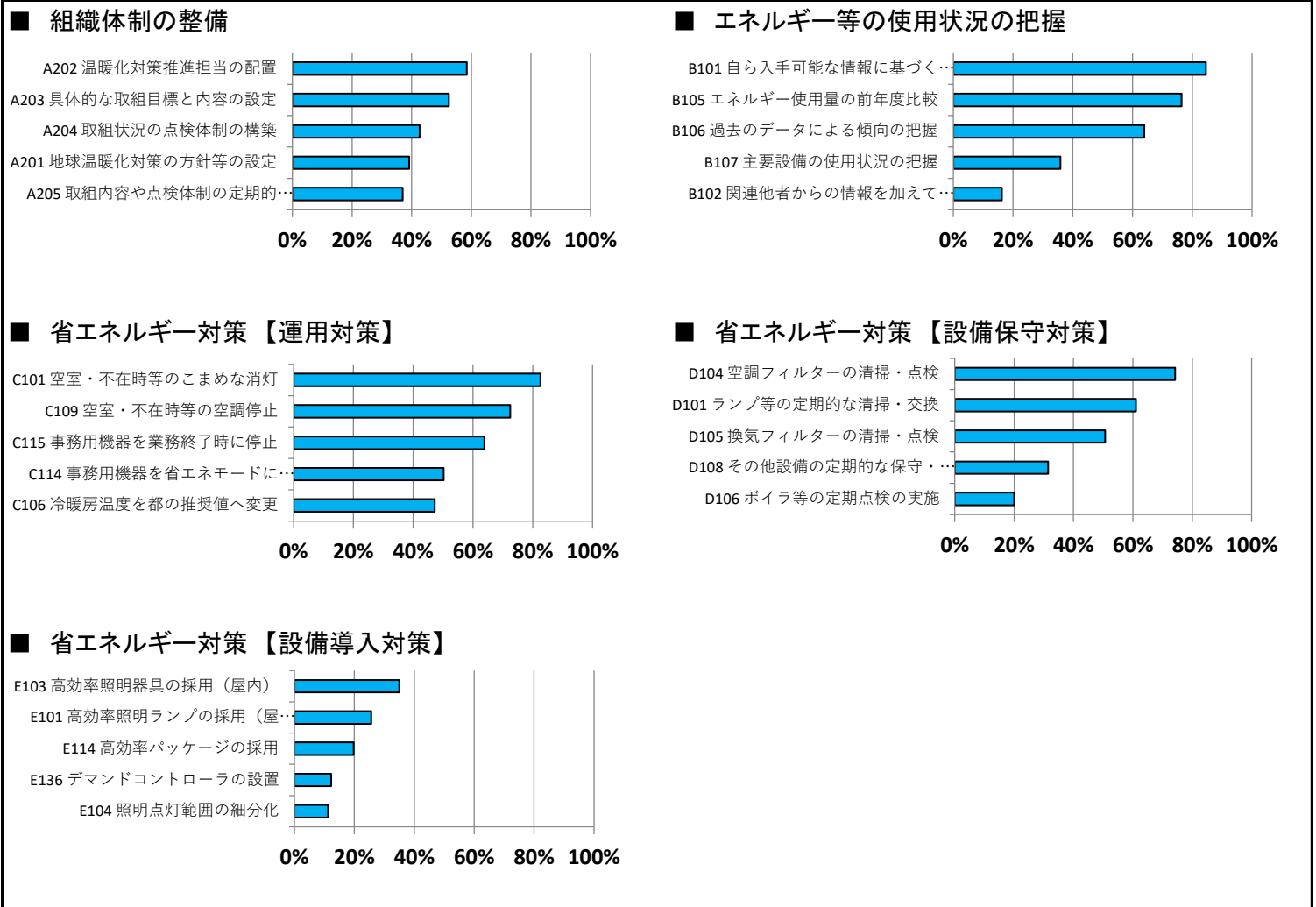
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

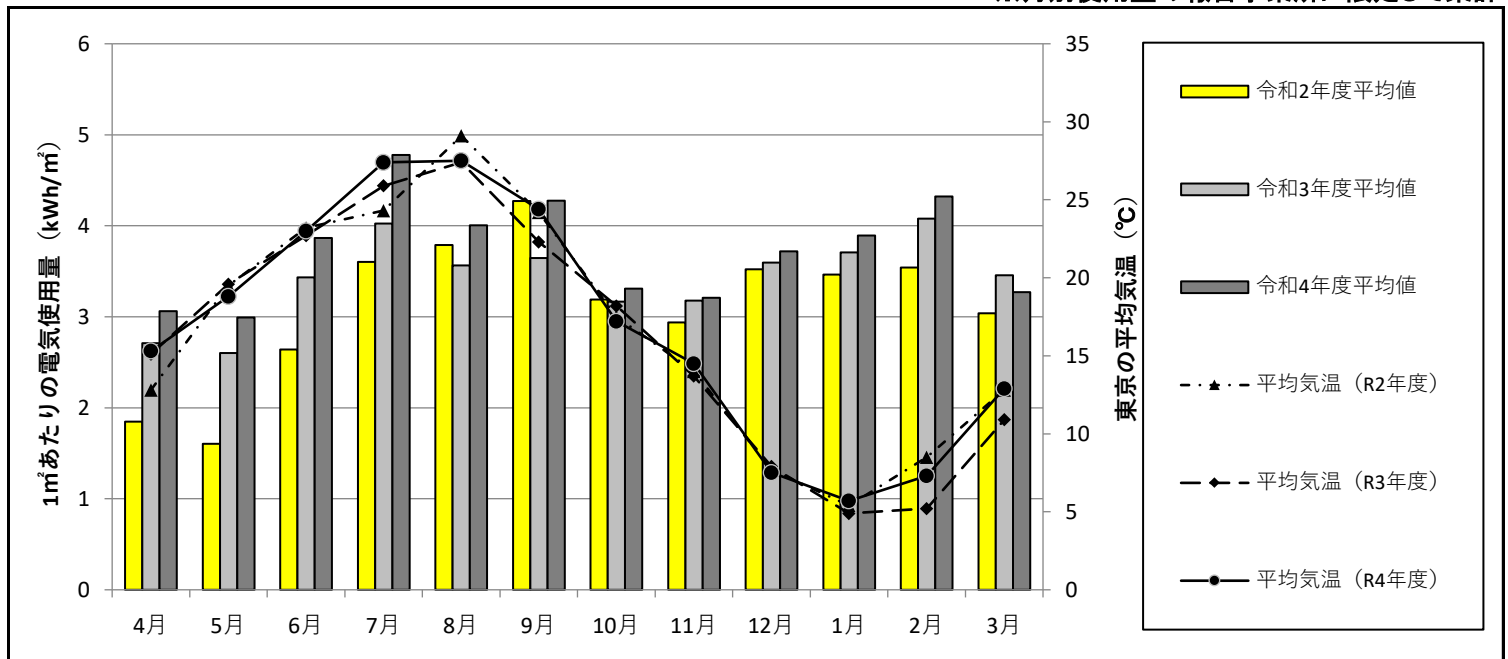


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

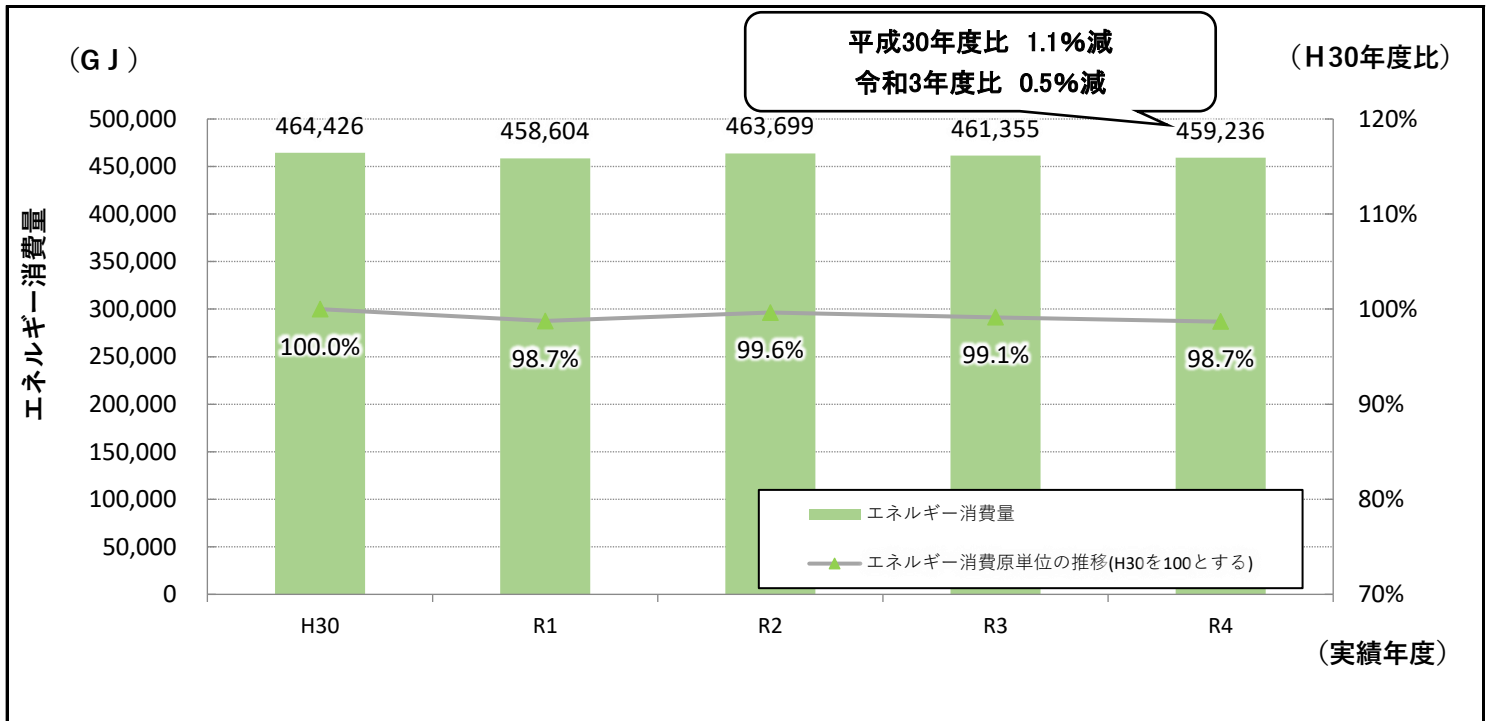
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



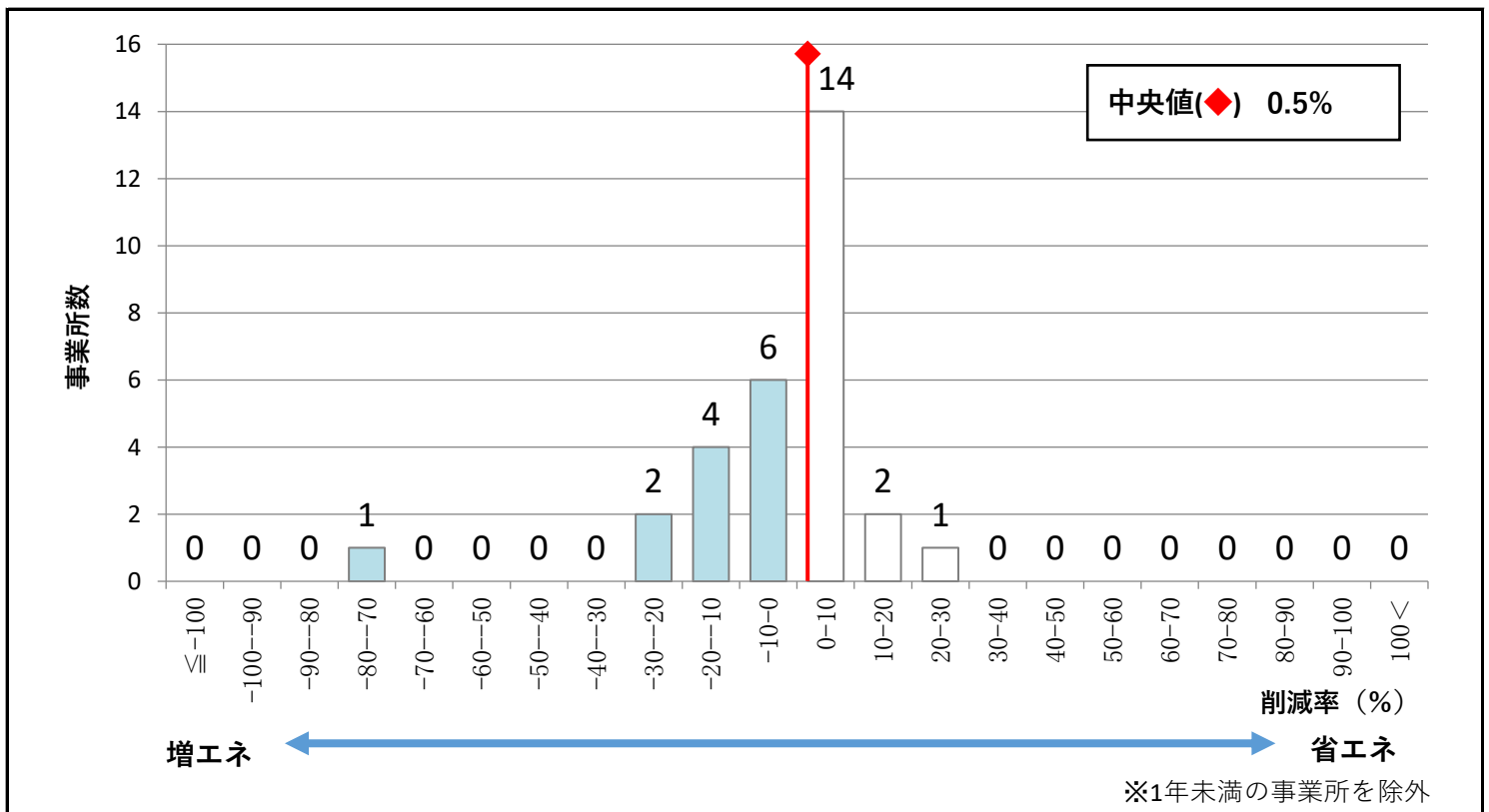
教室の窓際は晴天時1000Lx～2000Lxほどの照度となり、照明の必要がありません。窓際専用のスイッチを設け晴天時はこまめに消灯することで省エネが進みます。体育館など高天井の水銀灯は立ち上がりに時間がかかり、かつ効率が悪いので早めにLED化を計画してください。プールのある場合は、夜間の循環ろ過ポンプ停止やインバータ制御による循環水量の削減など、ポンプ動力の低減に努めましょう。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8311 一般病院」 「8312 精神科病院」「8321 有床診療所」 「8322 無床診療所」「8331 歯科診療所」 「8351 あん摩・はり師・きゆう師・柔道整復師」 「8359 その他の療術業」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
病院・診療所	102	98	

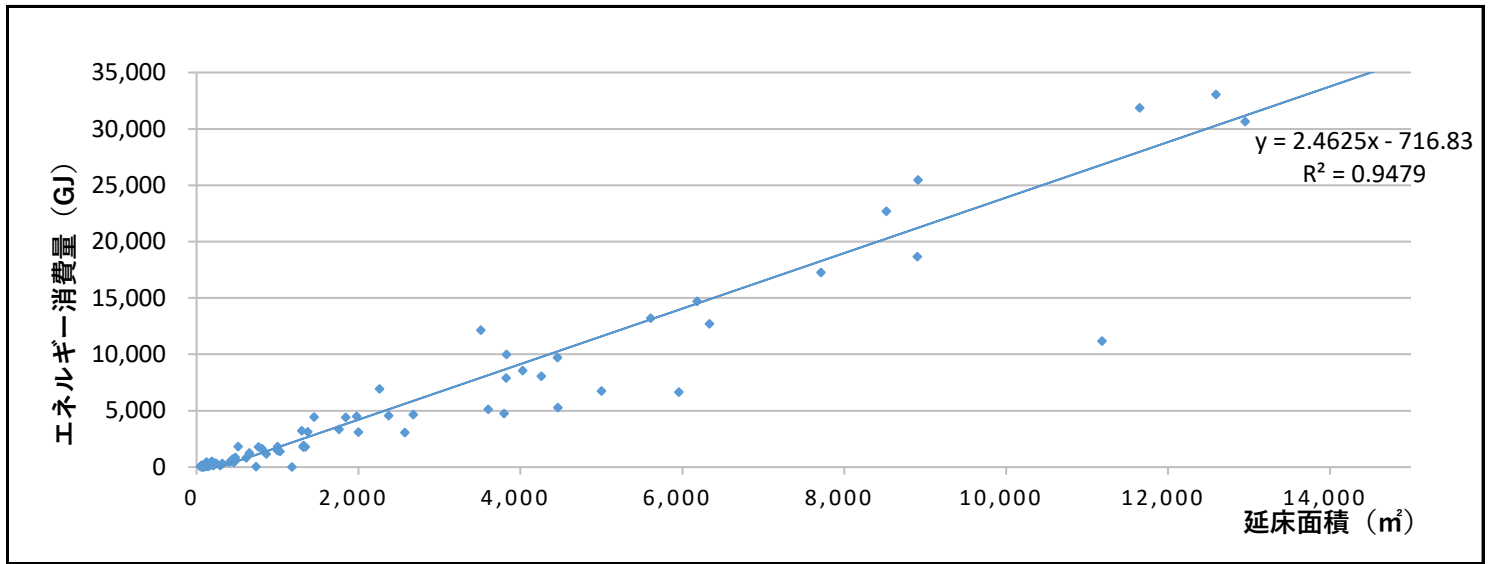
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:31)



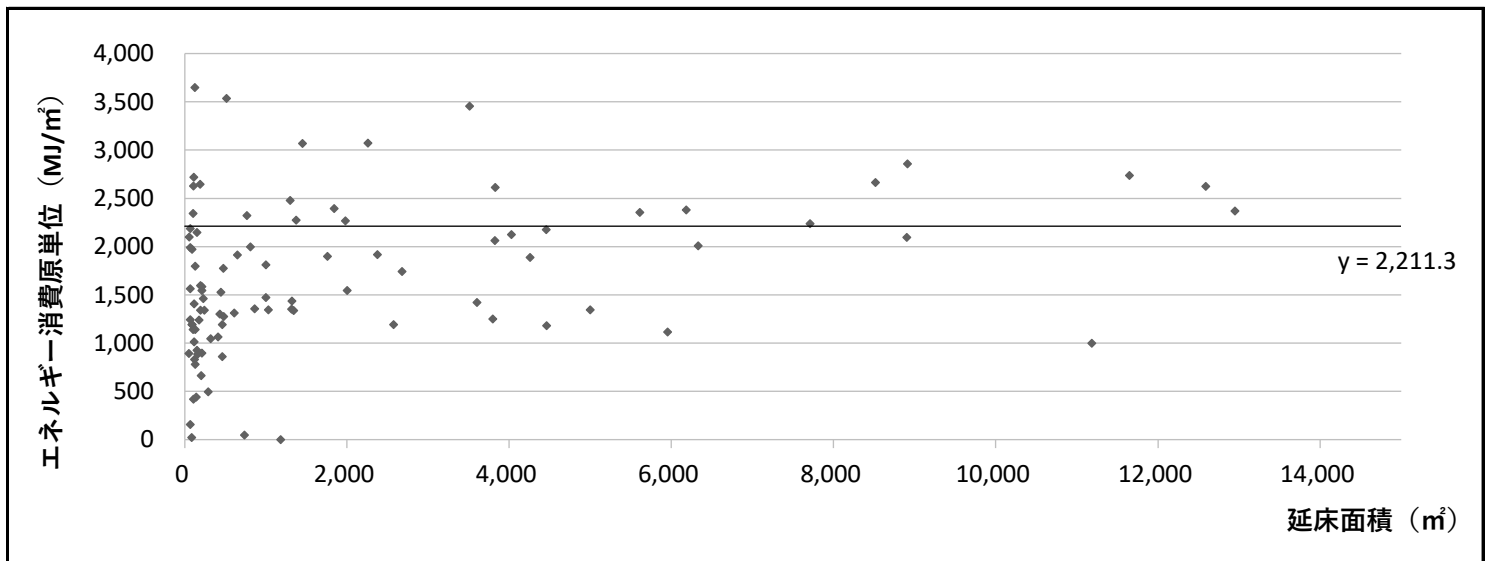
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:30)



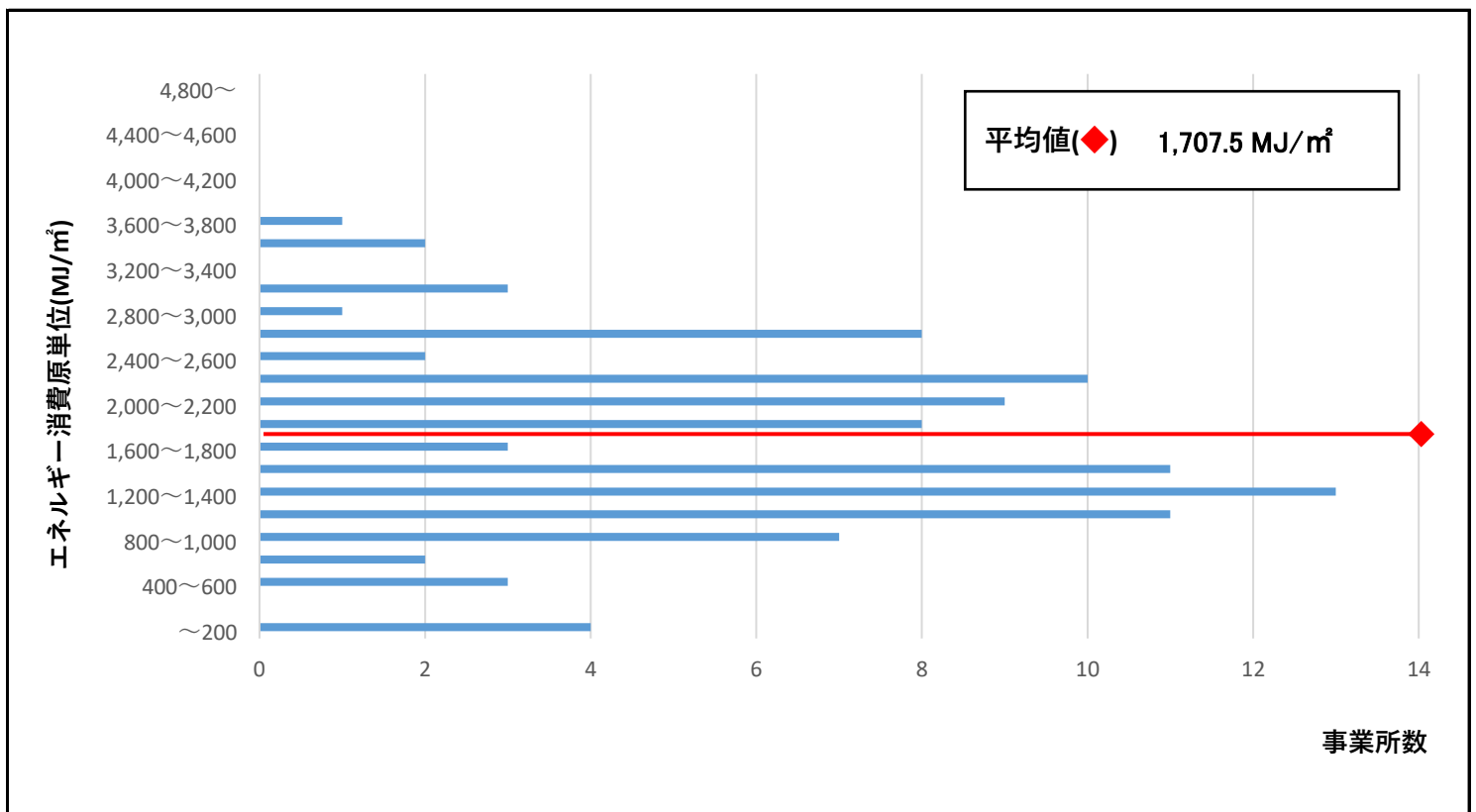
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



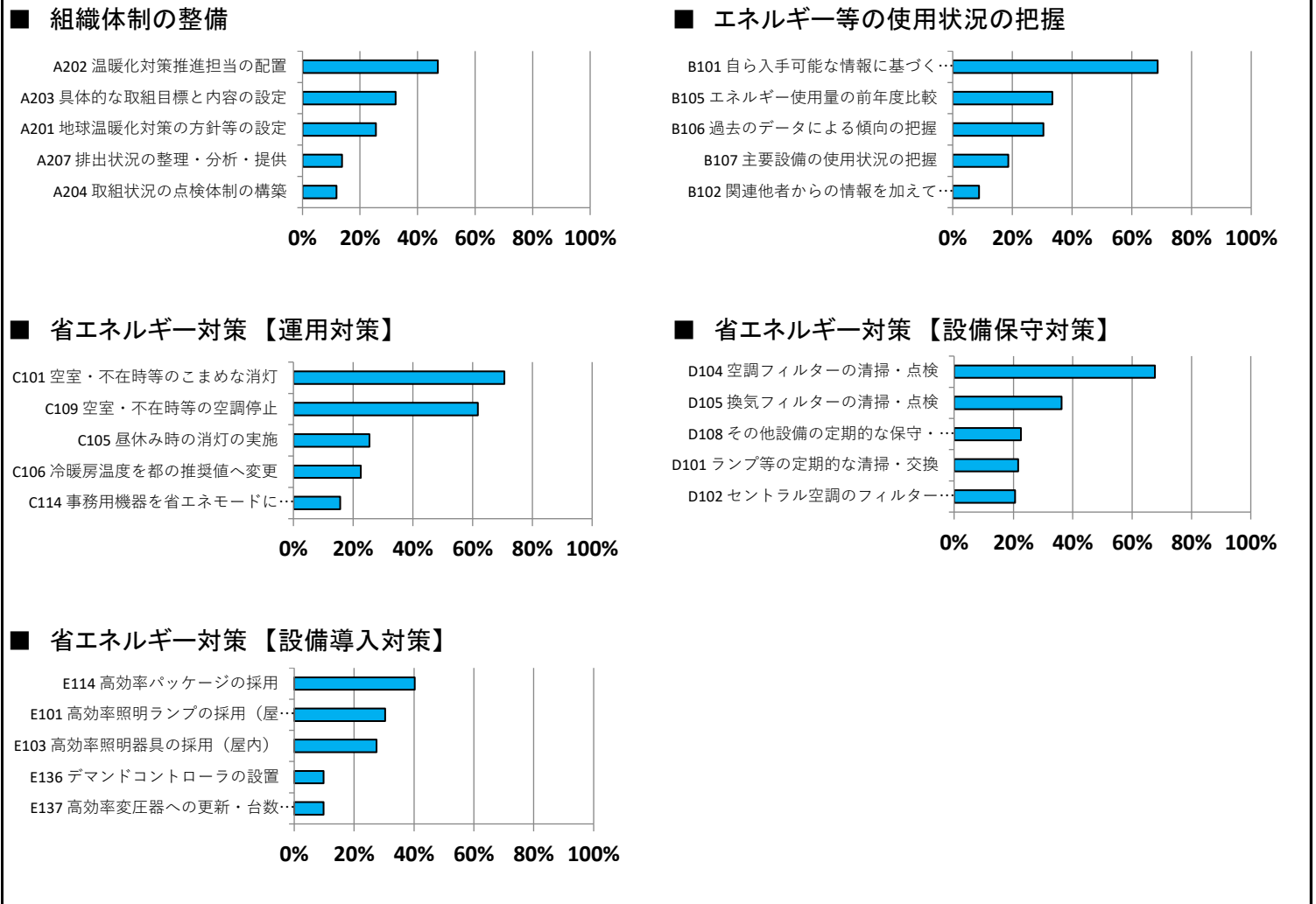
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

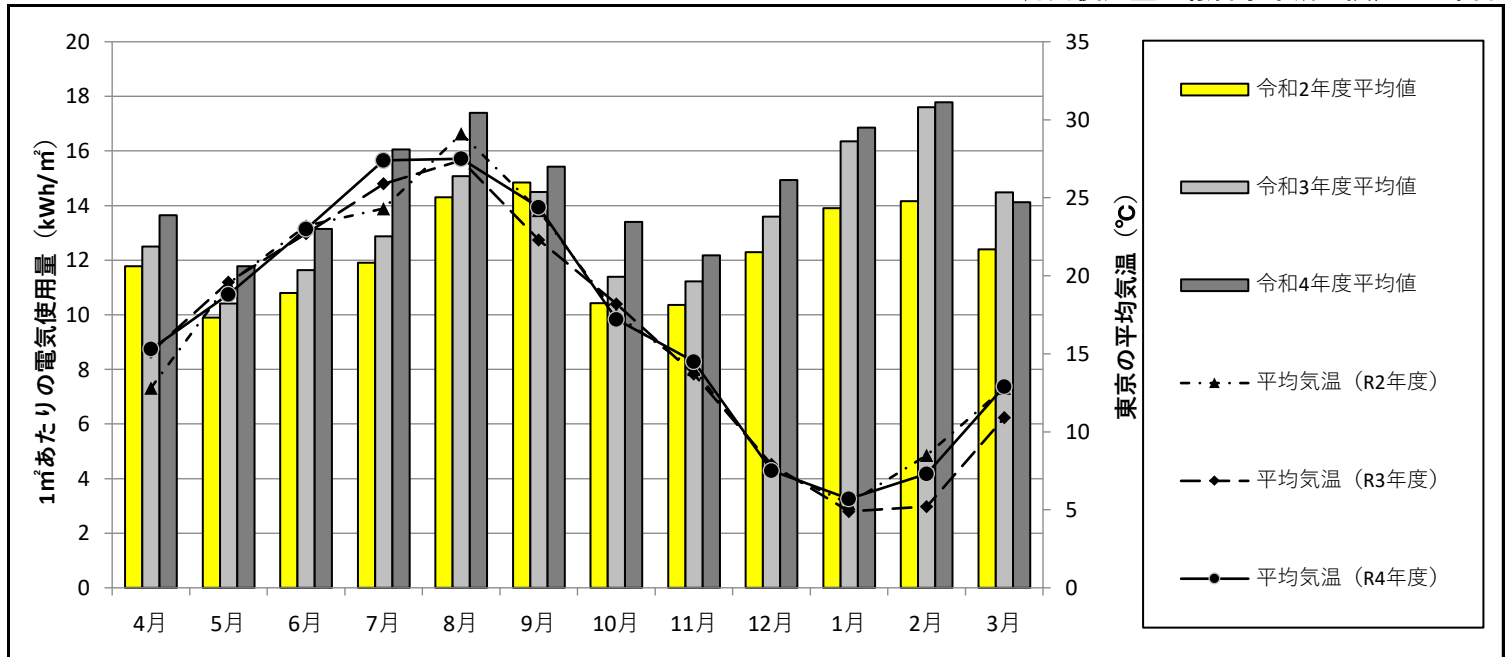


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

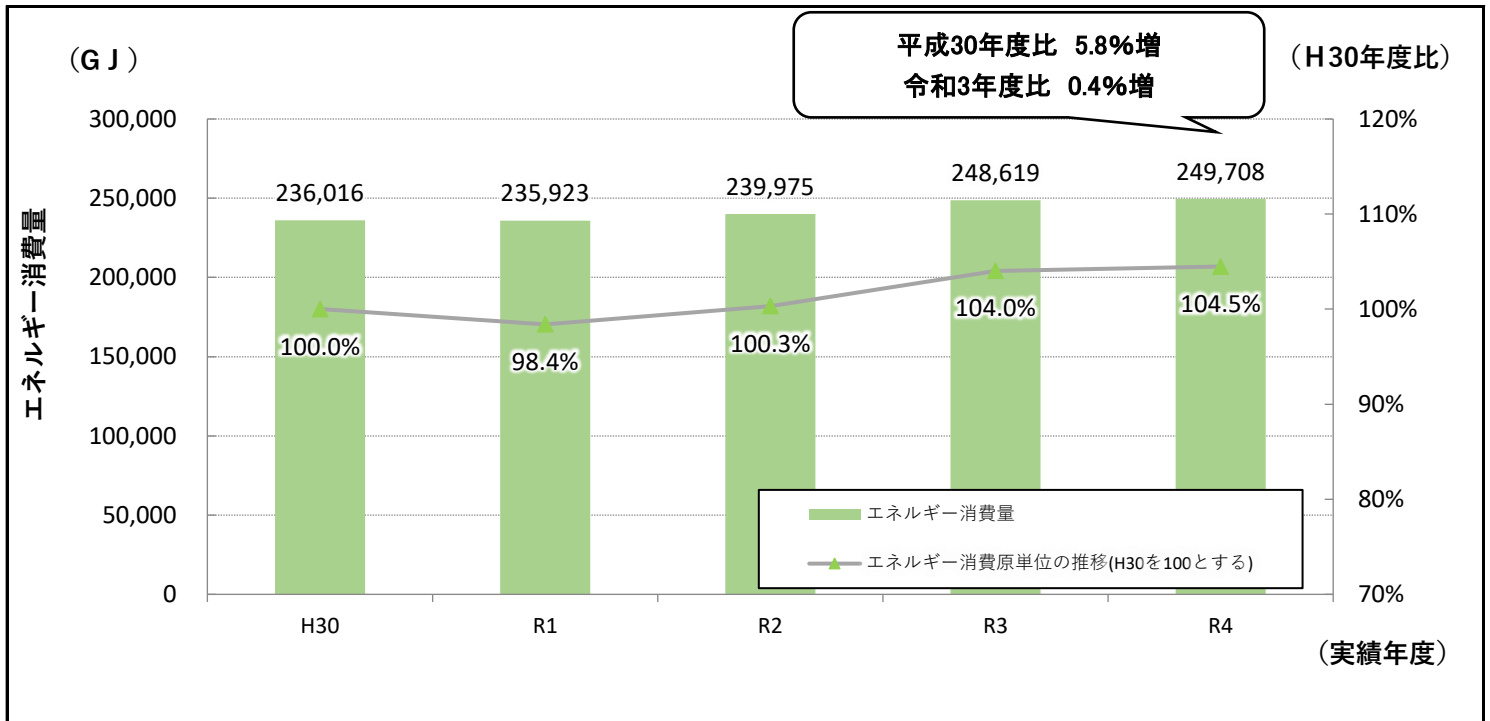
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



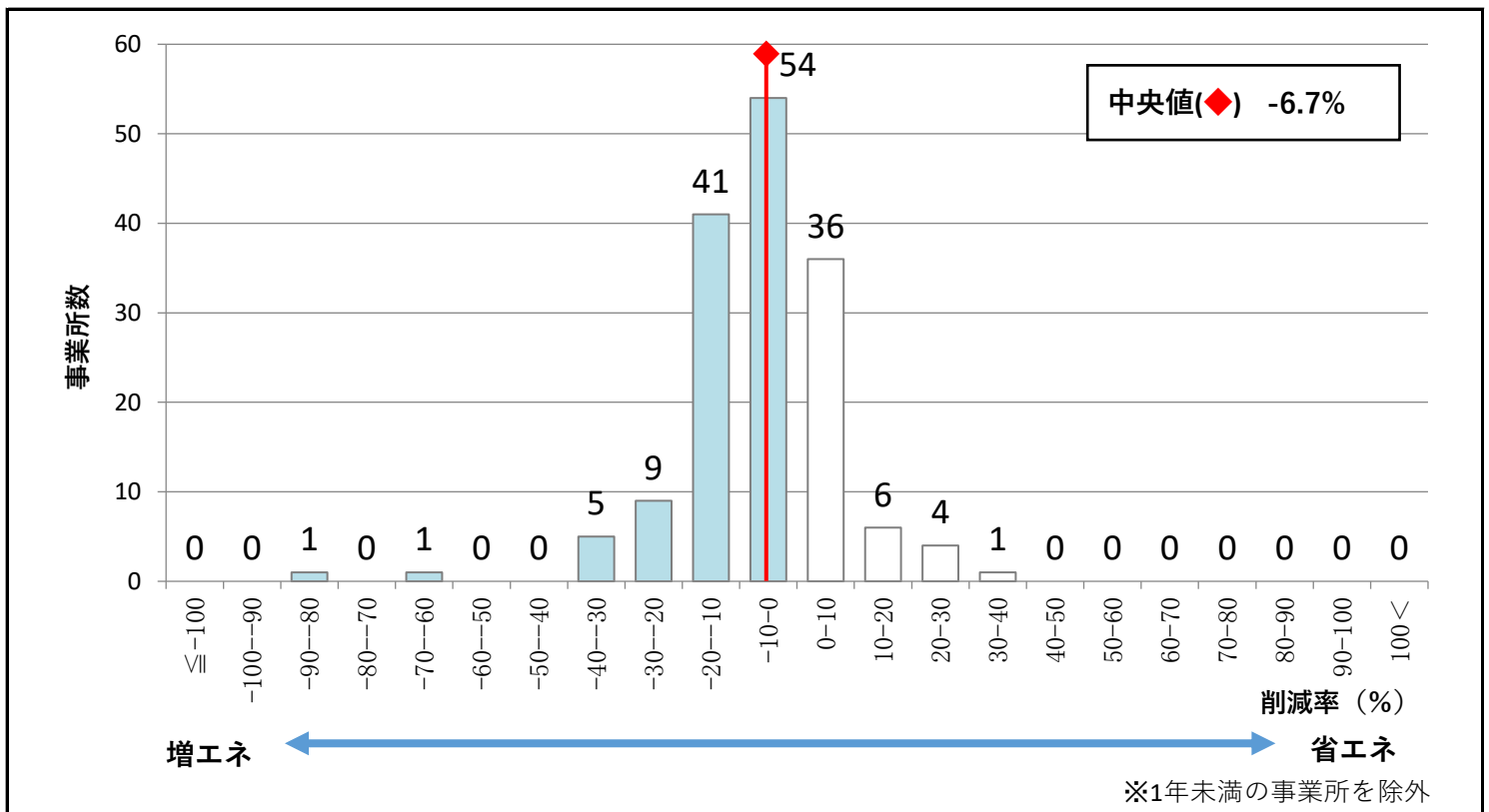
不特定多数の患者などが出入りするためトイレや湯沸室の照明は人感センサーを導入して連続点灯をなくしましょう。また感染症の院内感染を防止するため、換気の徹底と、清浄ゾーンと汚染ゾーンとの分けをすることが重要です。汚染が考えられる病室などの空気が待合ゾーンなどに流入しないよう、汚染ゾーンの排気量を増やし圧力差を設け、汚染空気の逆流を防止しましょう。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8531 保育所」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
保育所	220	213	

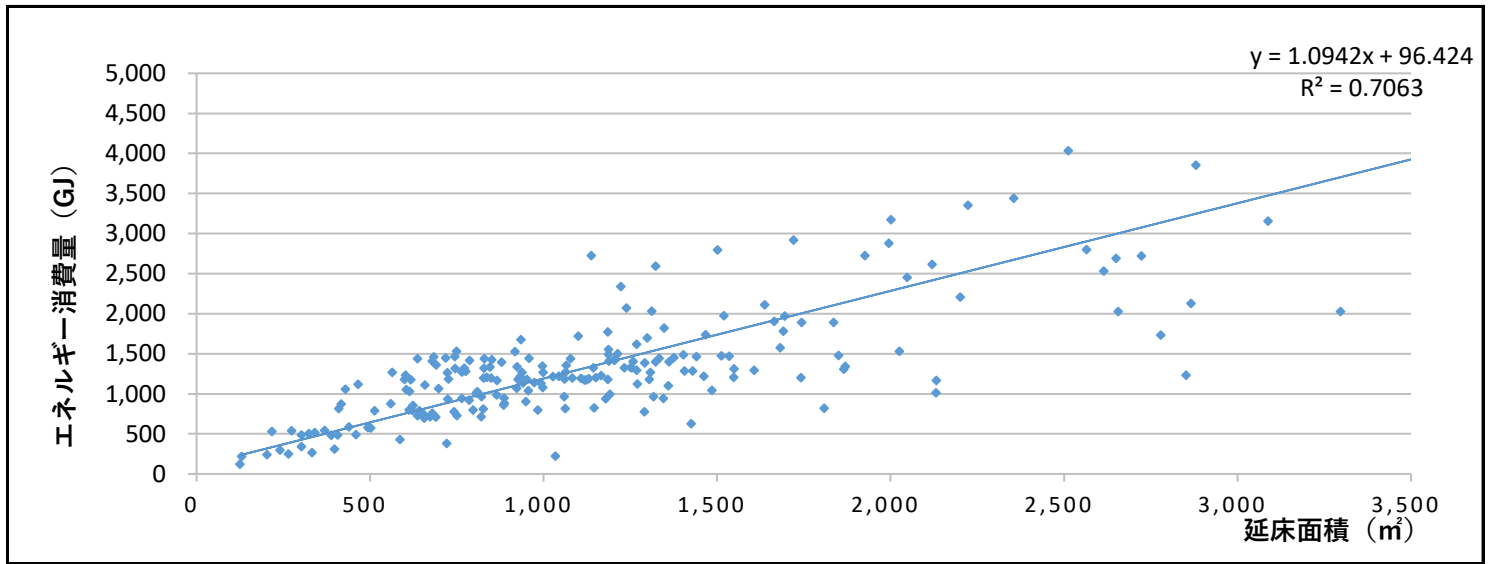
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:161)



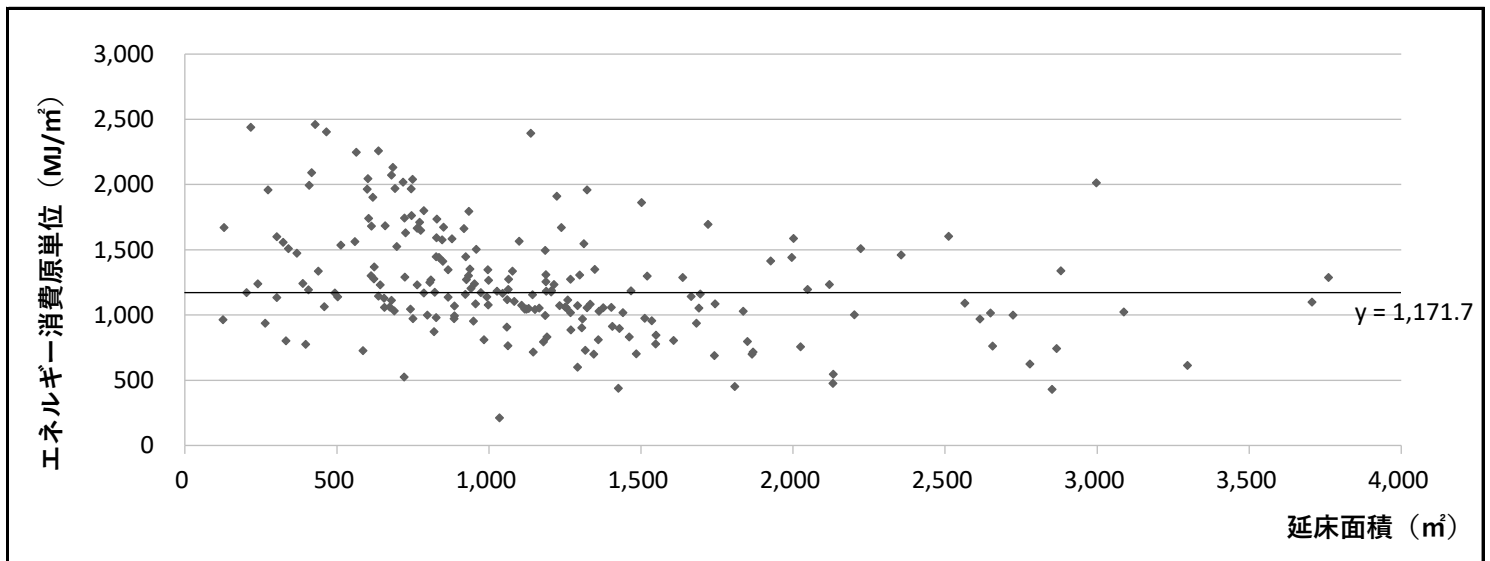
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:158)



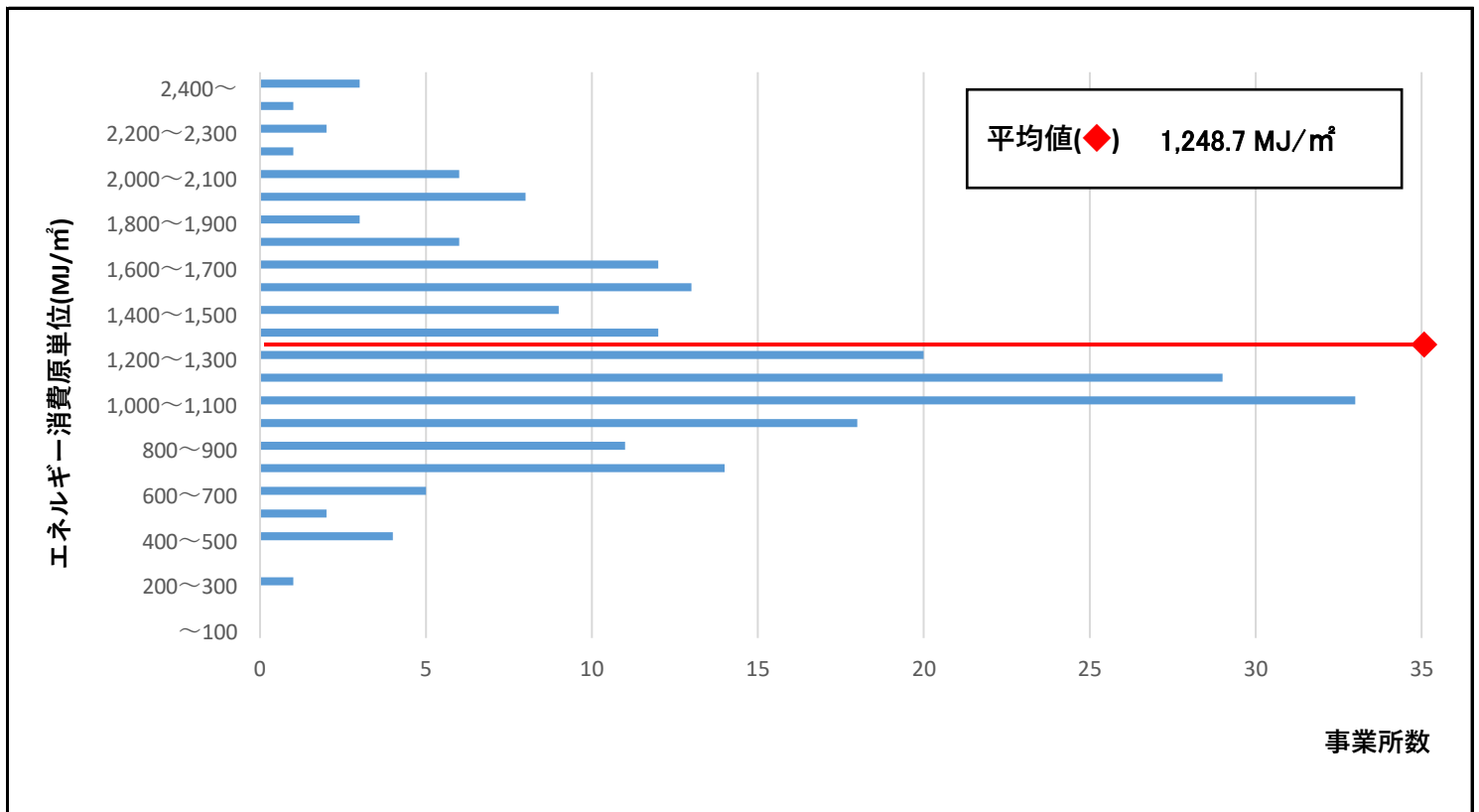
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



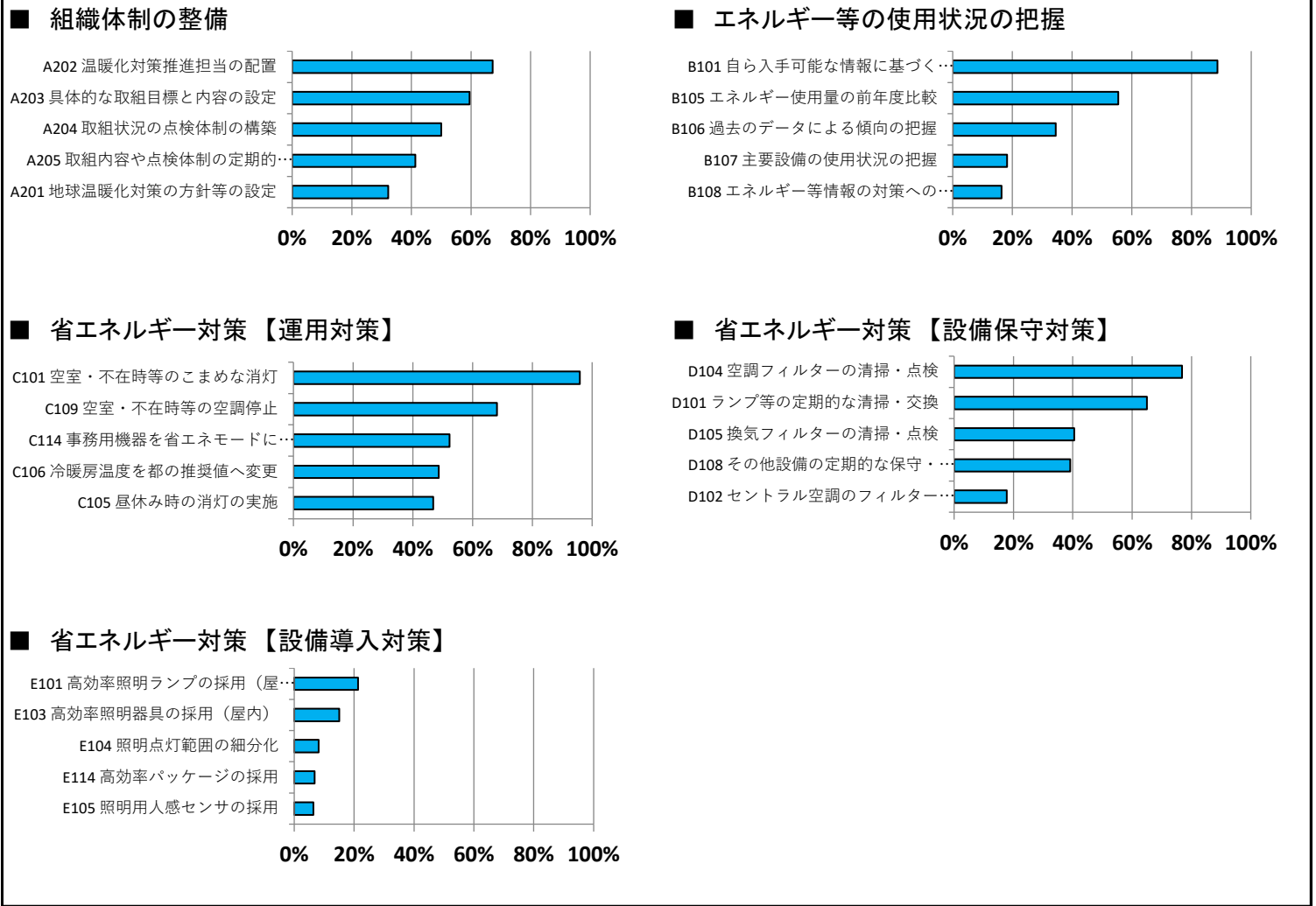
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

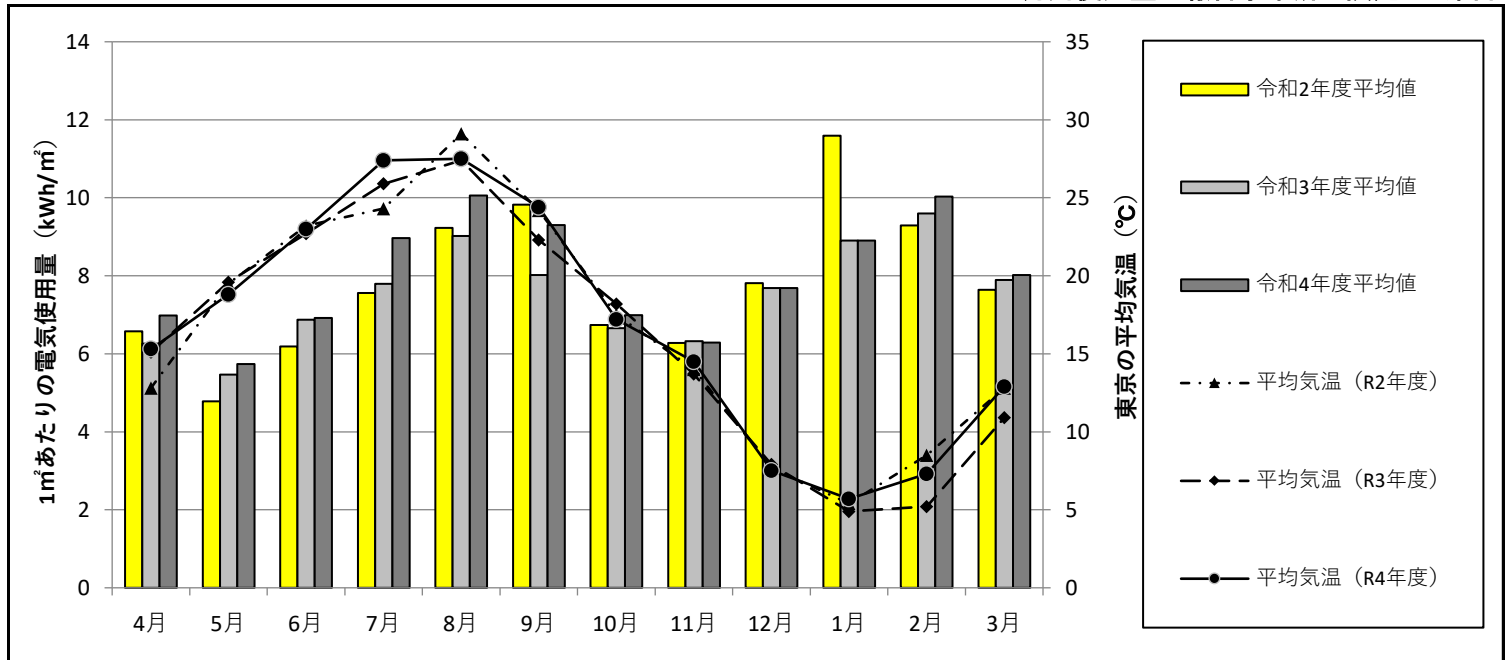


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

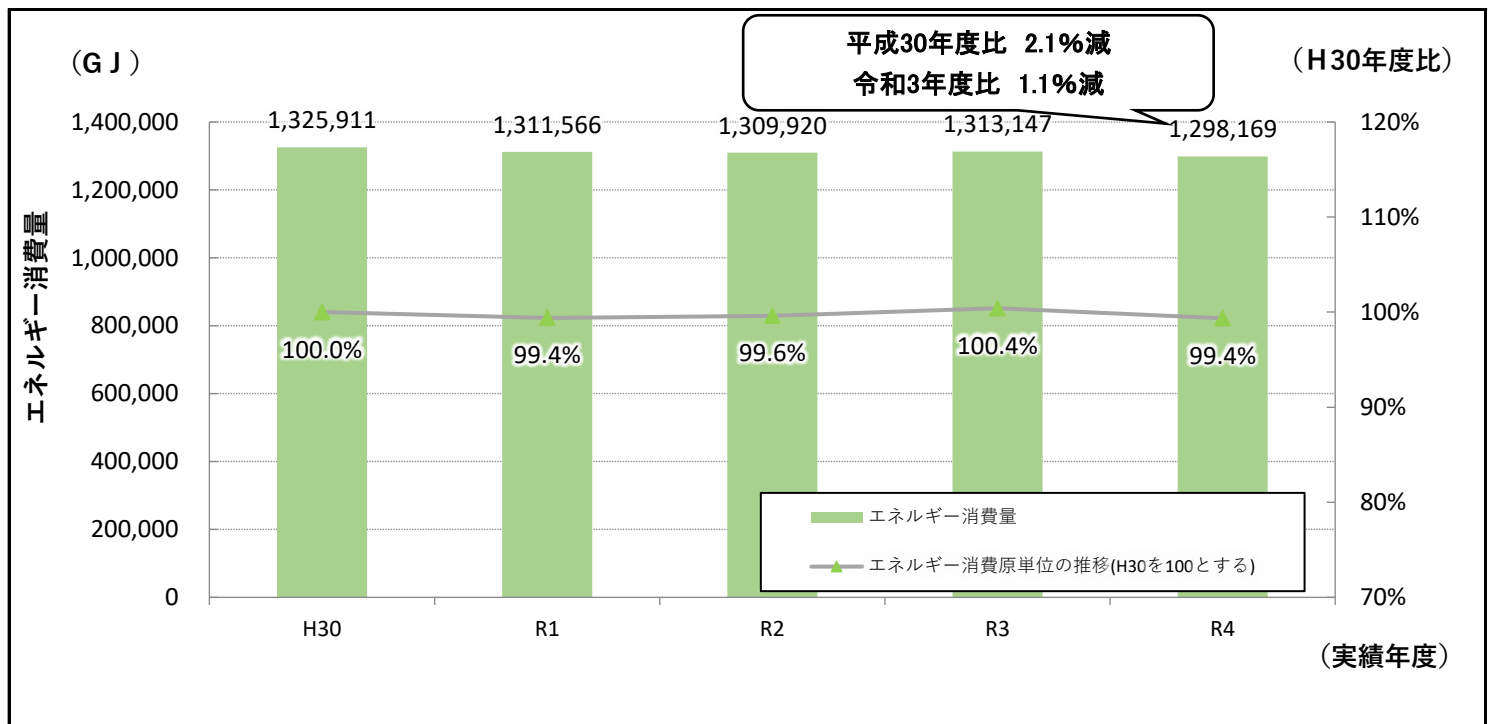
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



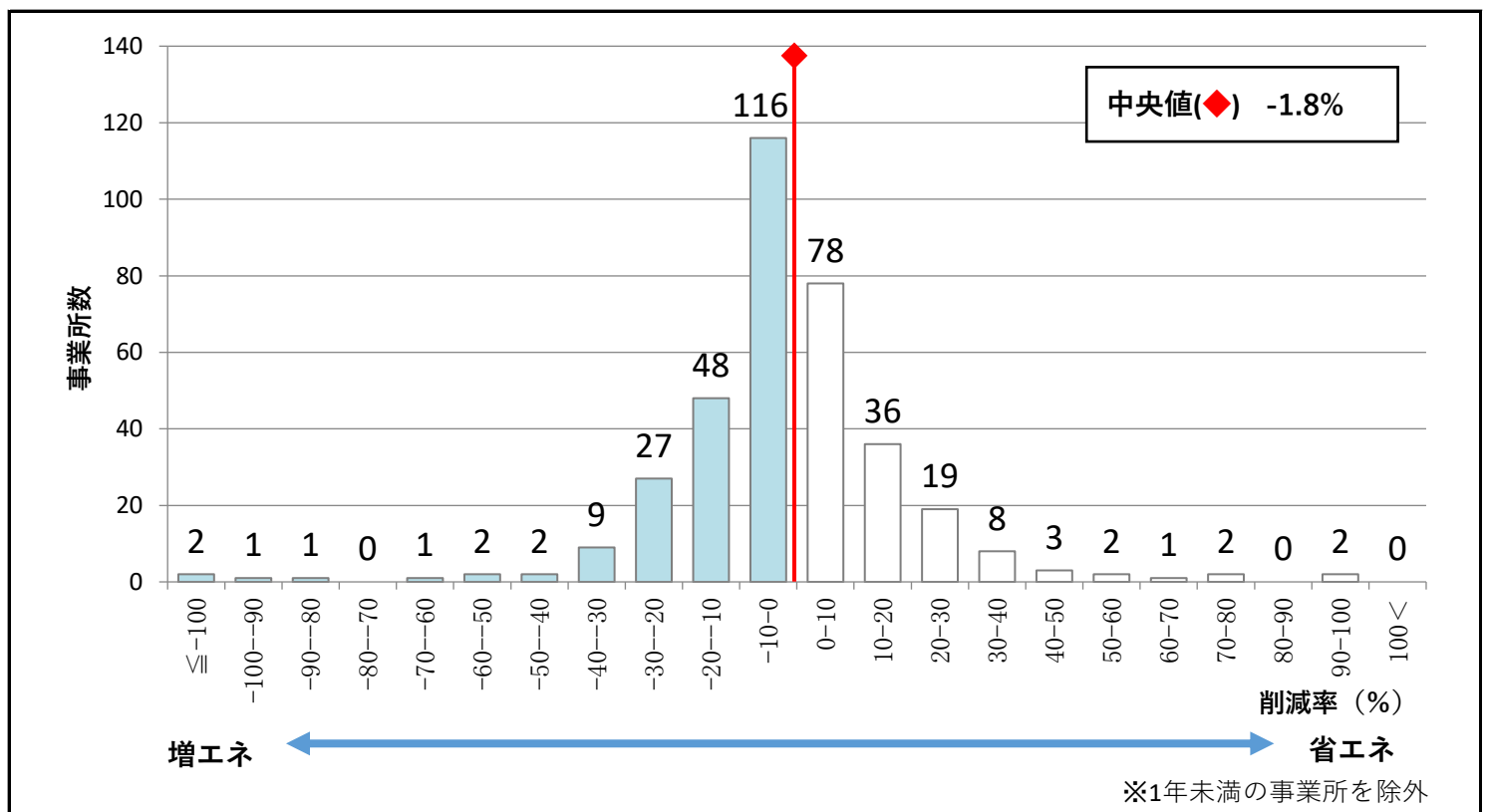
衛生的な環境が求められるため、空調室内機のフィルターはこまめな清掃が必要で、省エネ対策にもつながります。また感染防止対策として、CO2センサーなどを導入し常に良好な換気が得られるよう留意しましょう。1000ppm未満が目安です。日差しが強くエアコンの効きが悪い部屋には窓に遮熱フィルムを貼り、冷房負荷の軽減と快適性を両立させましょう。猛暑時にエアコンが故障すると、幼児の体調管理に支障が出ることもあるため、日ごろのメンテナンスと早めの更新を心掛けましょう。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8539 その他の児童福祉事業」 「8541 特別養護老人ホーム」 「8542 介護老人保健施設」 「8543 通所・短期入所介護事業」 「8545 認知症老人グループホーム」等 ・報告範囲の主たる用途「その他」
保健・介護施設	468	448	

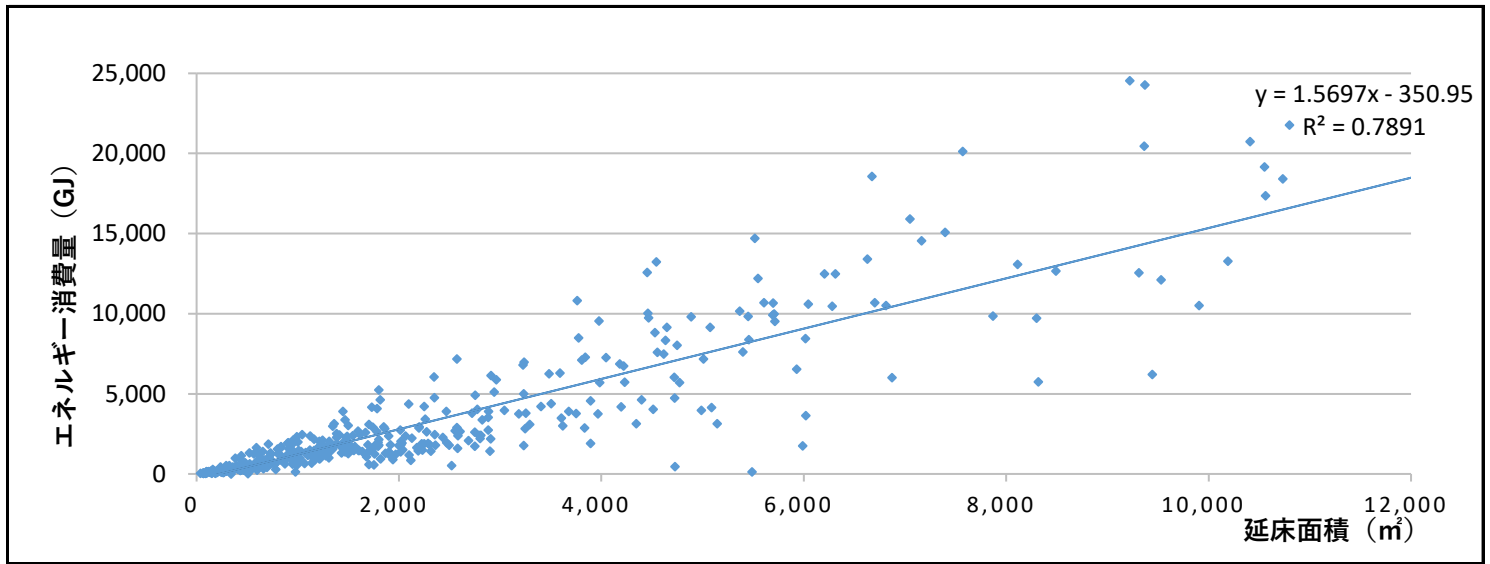
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:368)



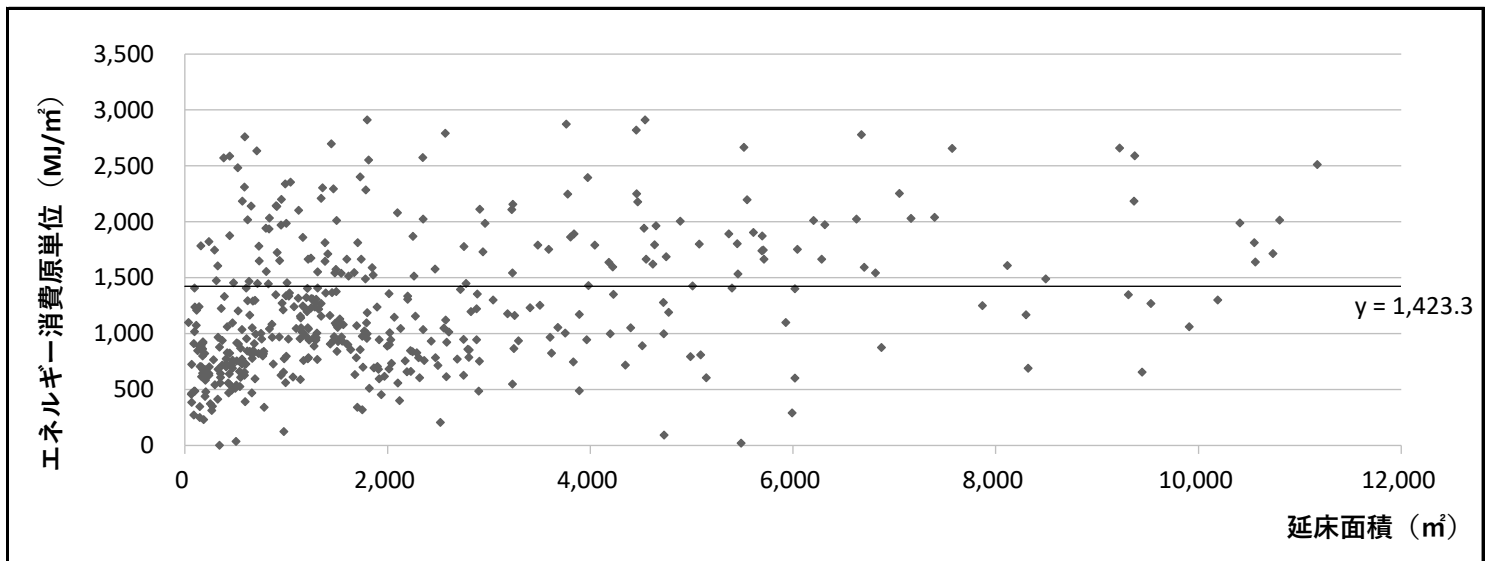
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:360)



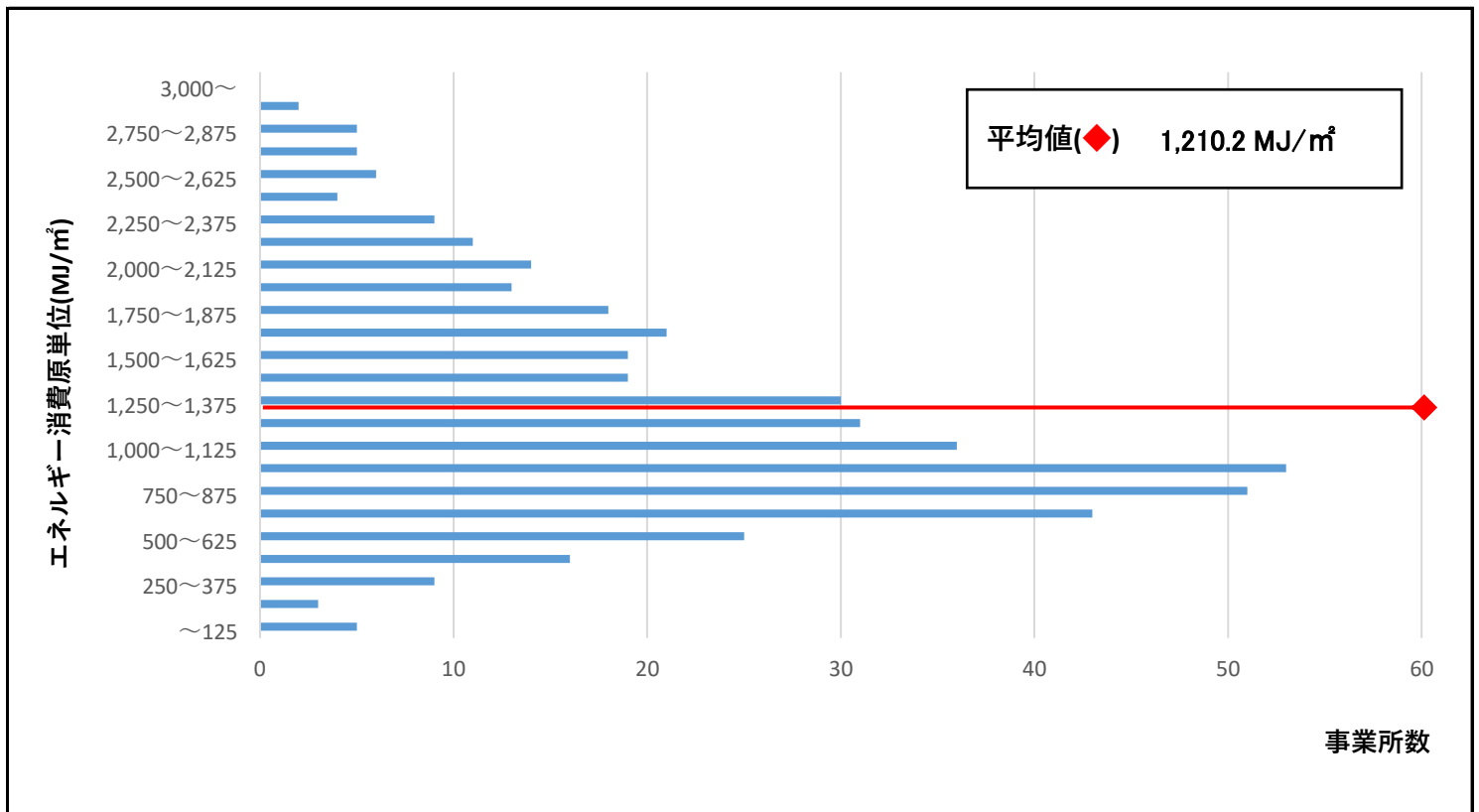
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



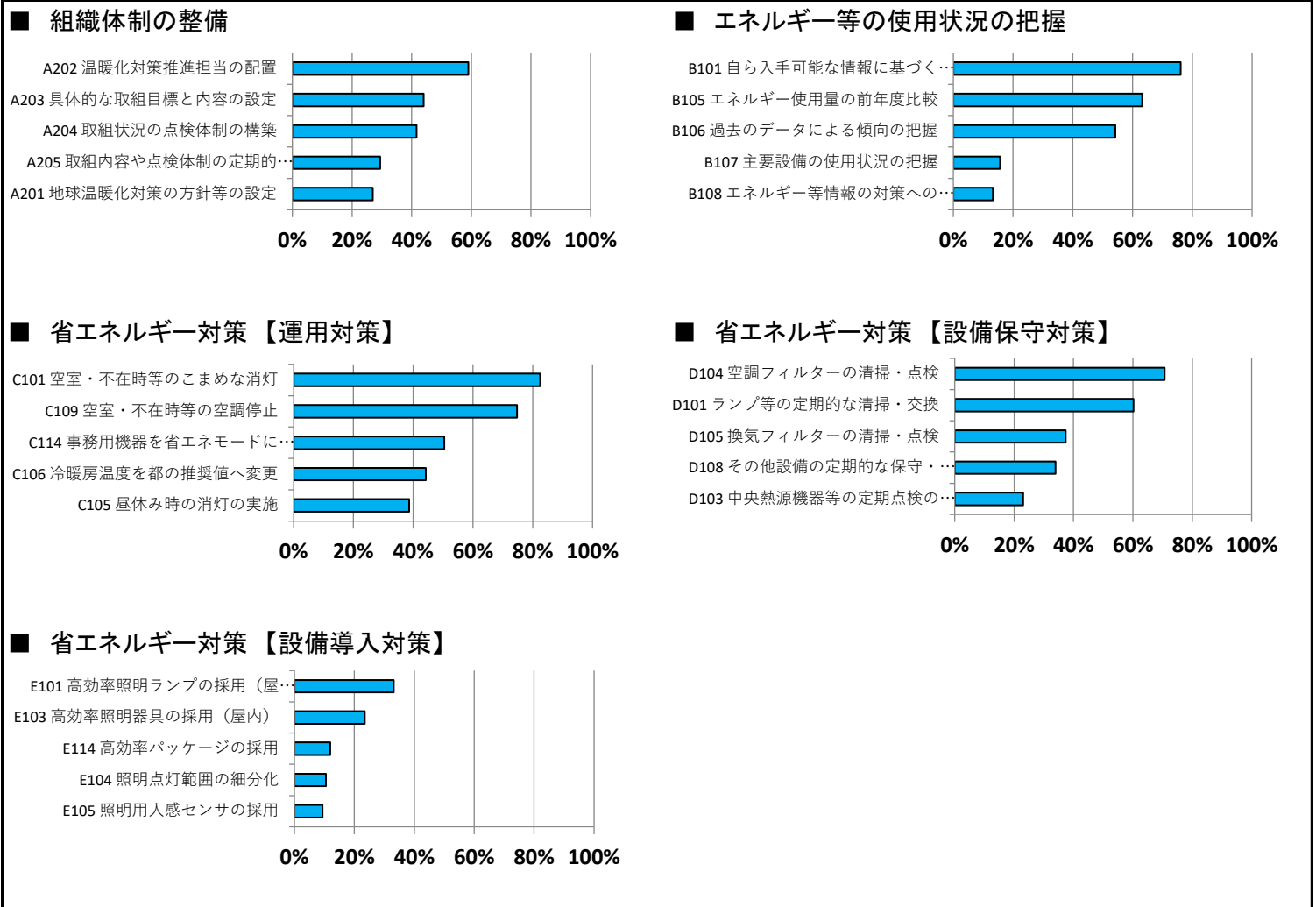
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

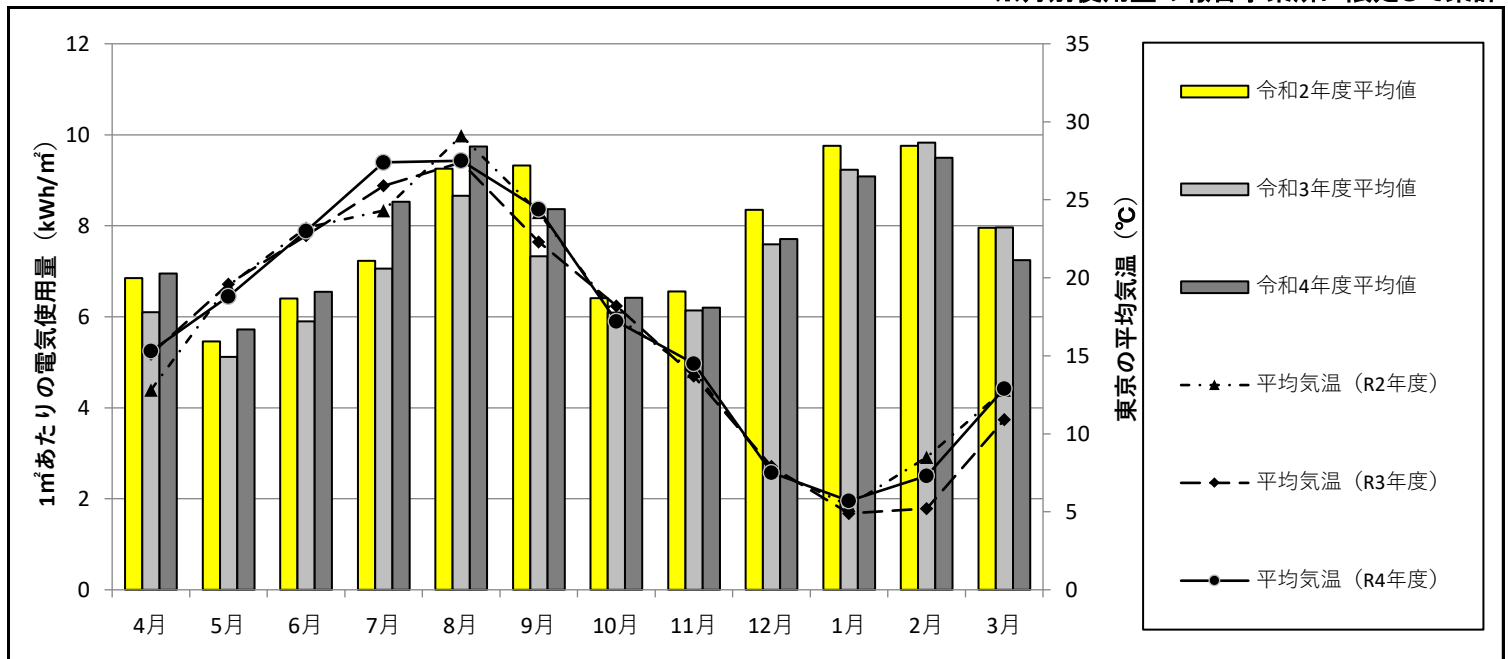


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

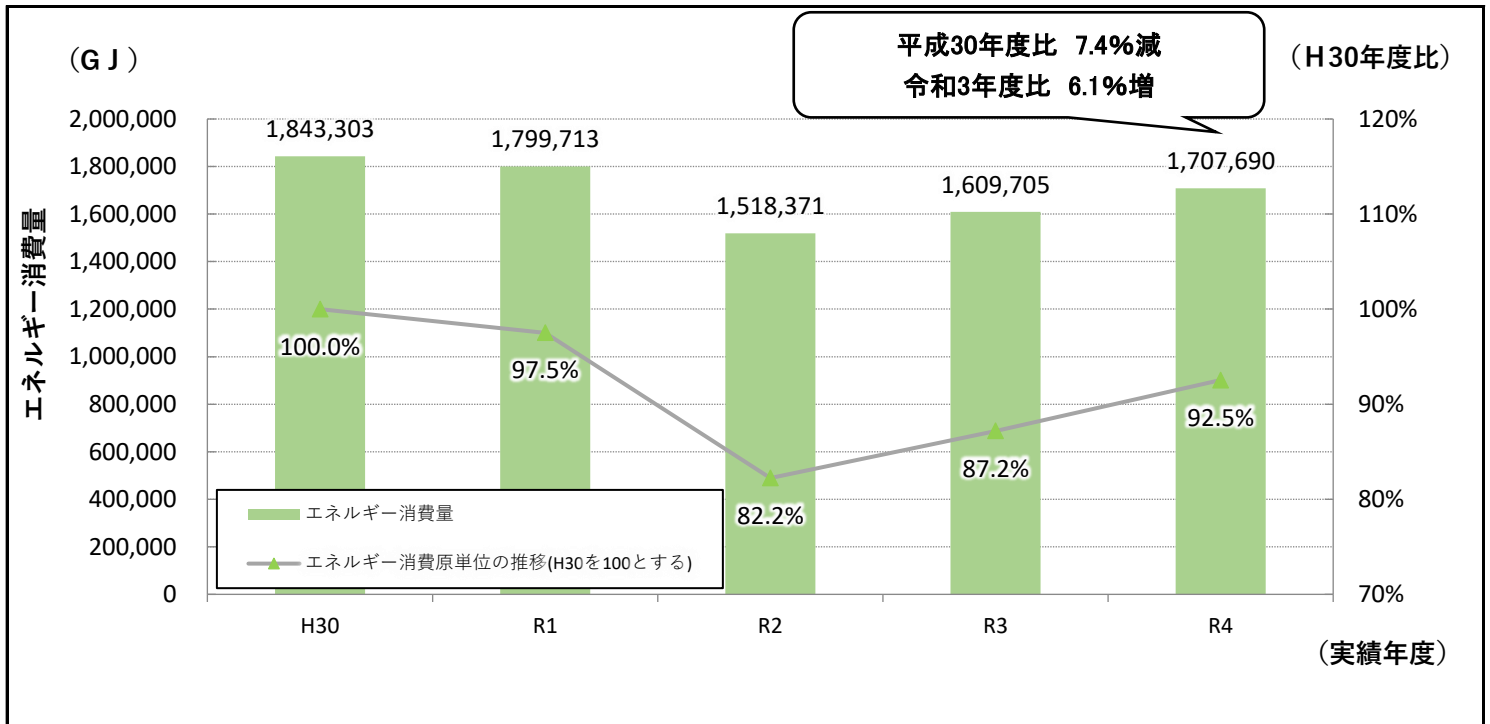
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



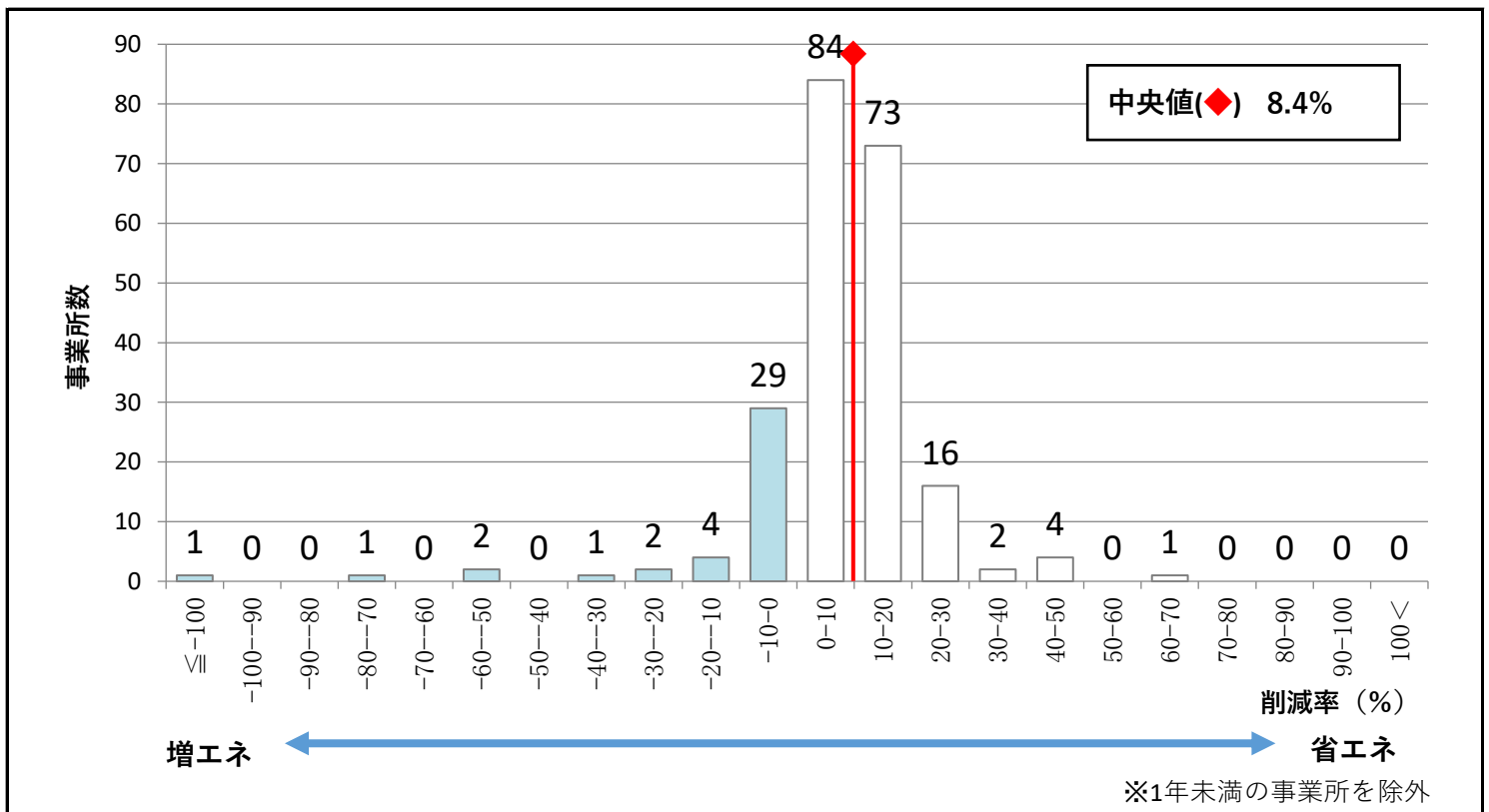
施設の稼働時間が長いので、エアコンや照明の使用時間のルールを決め、エネルギー消費の無駄を省きましょう。個室のエアコンはビル用マルチエアコンではなく、室毎にルームクーラーを使用したほうが省エネです。また、感染防止対策として、CO2センサーなどを導入し常に良好な換気が得られるよう留意しましょう。1000ppm未満が目安です。施設は365日稼働しているので、太陽光発電設備の設置をお勧めします。発電した電力はすべて自家消費できますので効果的です。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8048 フィットネスクラブ」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
フィットネス施設	251	242	

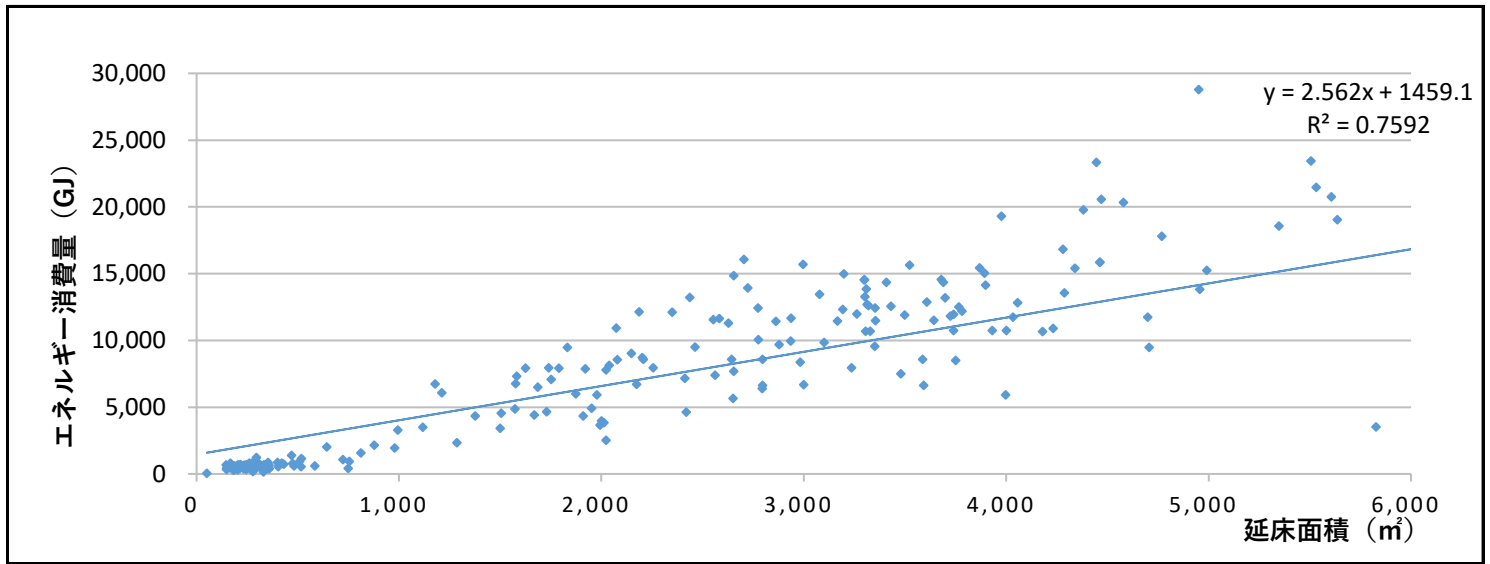
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:233)



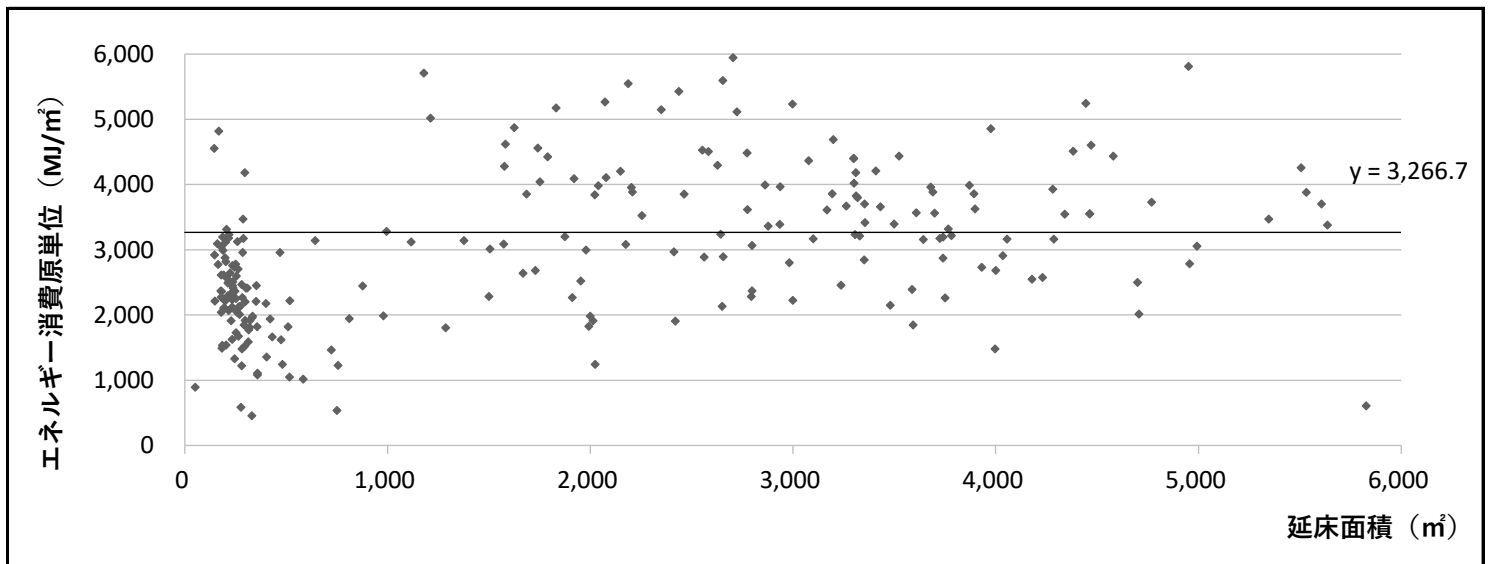
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:220)



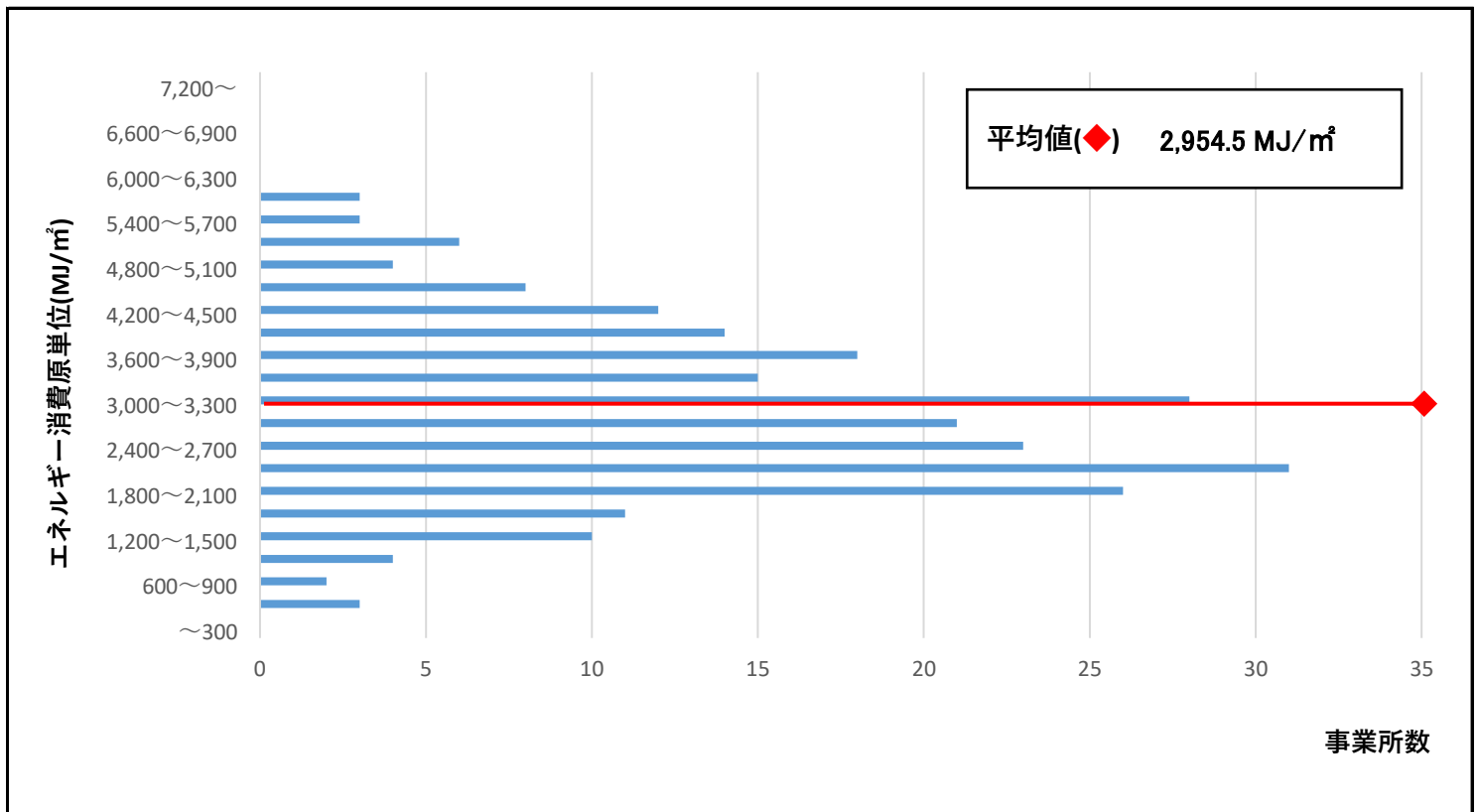
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



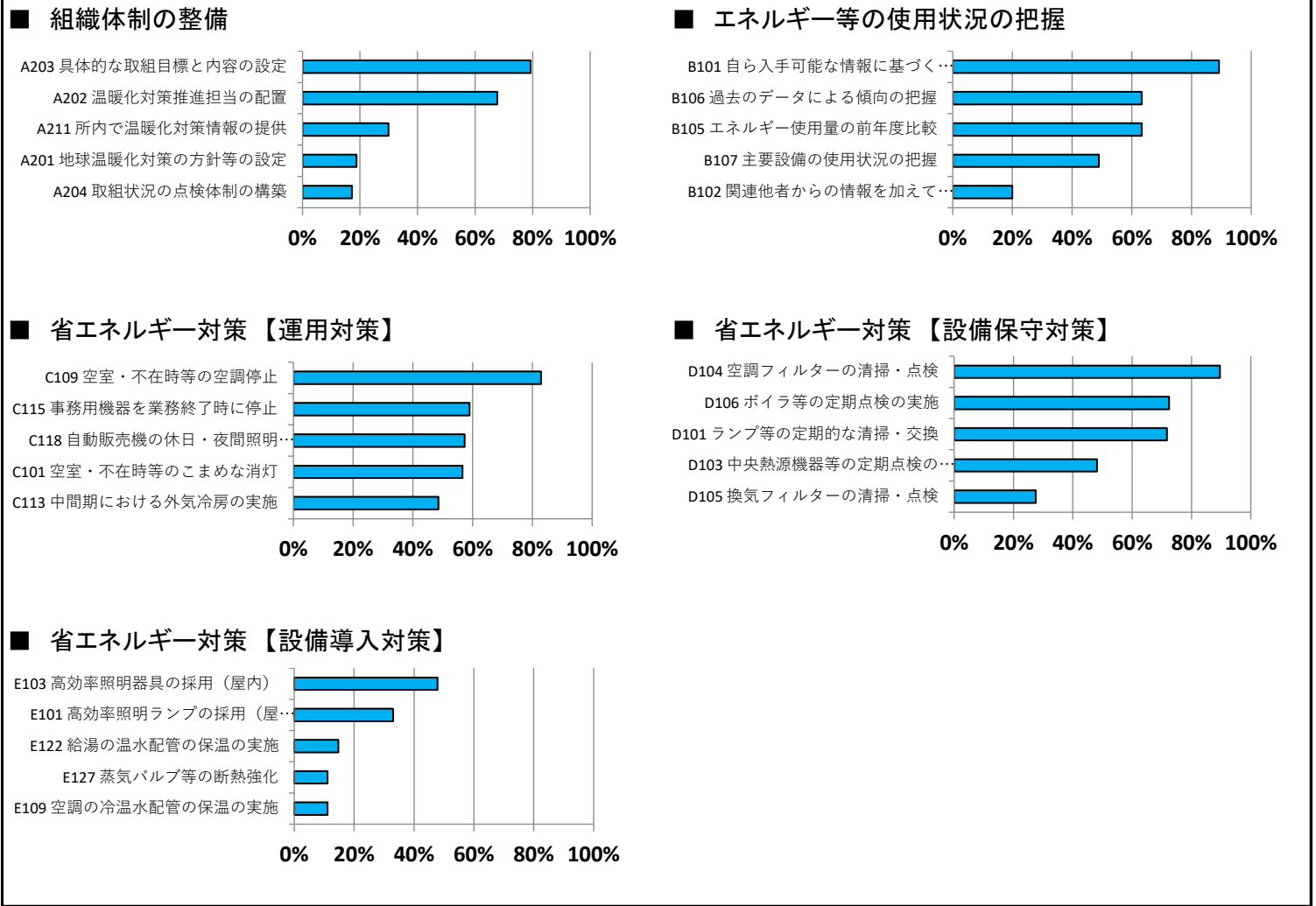
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

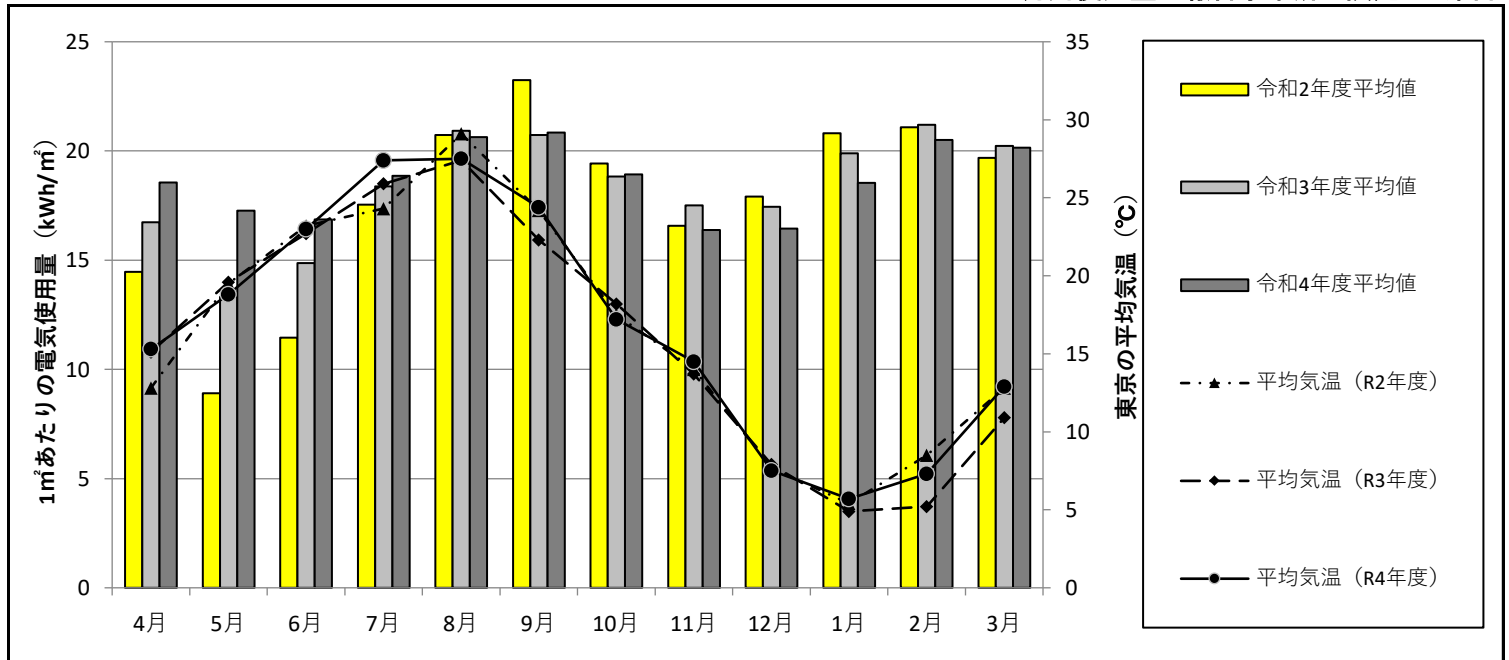


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

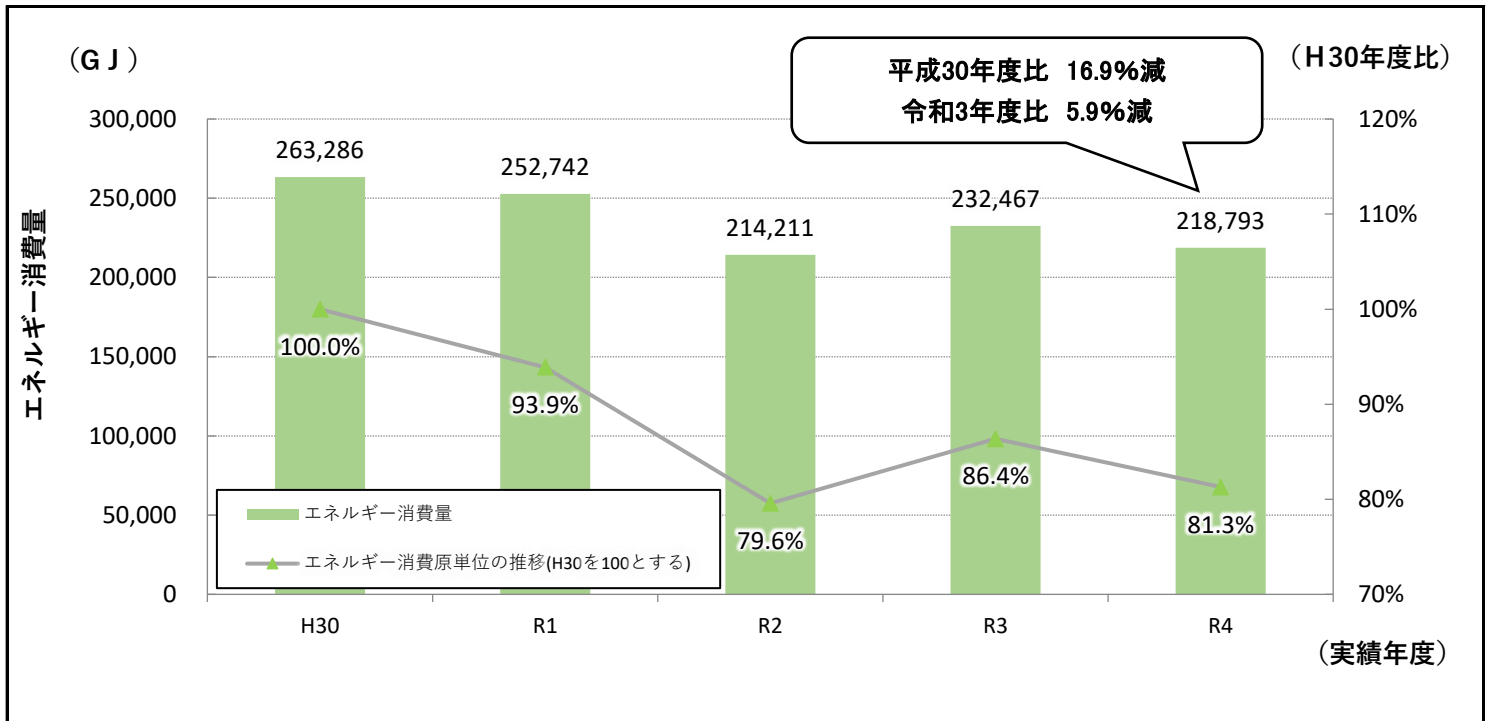
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



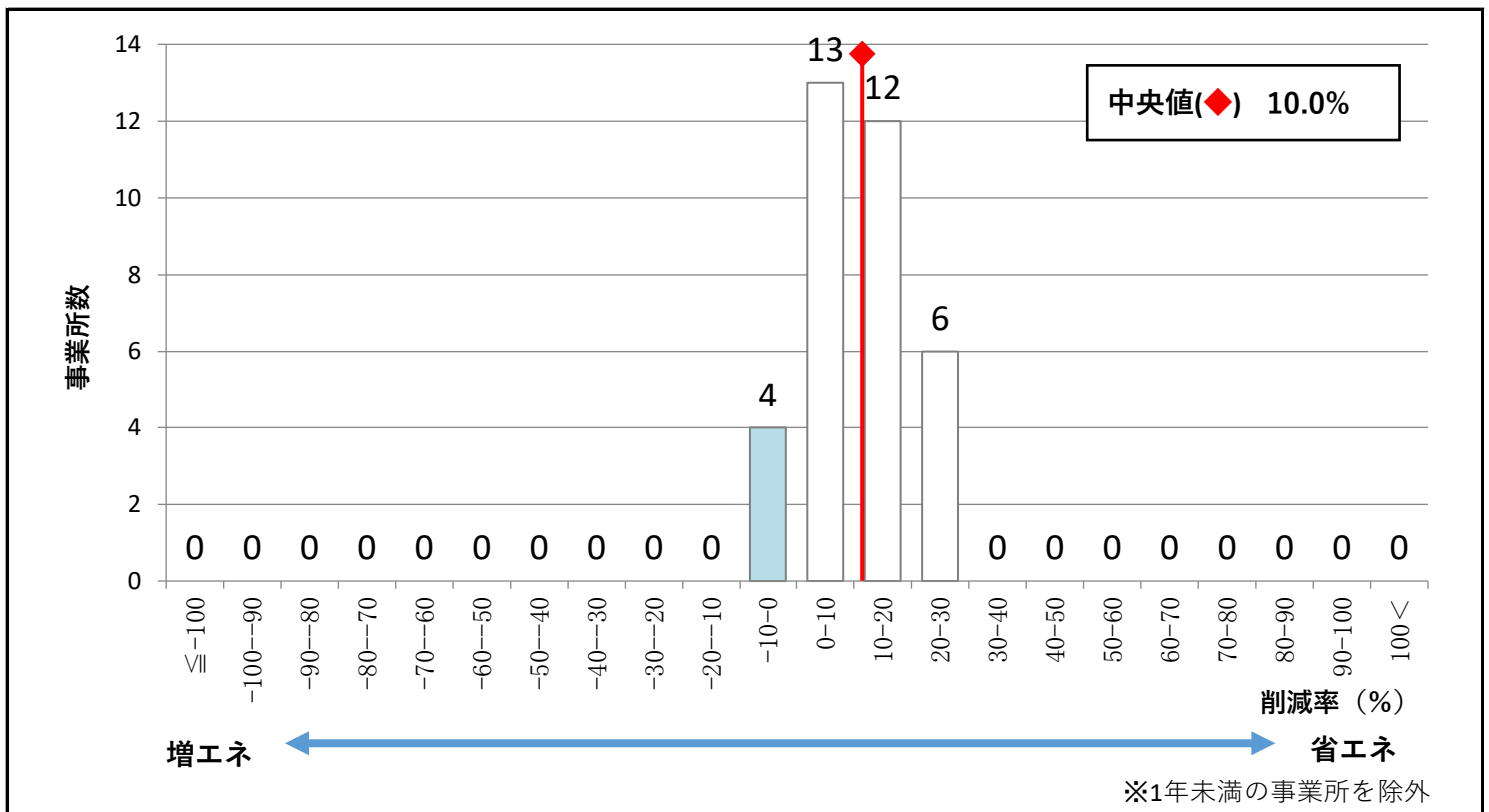
照明器具の数が多いためLED化を進めてください。ランニングマシンやエアロバイクなどは使用頻度が高いため常時電源がONになっていますが、営業時間外や休館日には主電源を切って待機電力の削減を目指しましょう。運動時の飛沫による感染防止のため十分な換気対策が必要です。プールがある場合は循環ろ過ポンプの運転を見直しましょう。夜間や休館日はプール内での垢やゴミの発生が無い場合、循環ろ過ポンプの水量削減が可能です。インバータ制御の導入で循環水量を削減することで搬送動力が減り省エネになります。水質検査は定期的に行ってください。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8064 パチンコホール」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
パチンコ店舗	48	47	

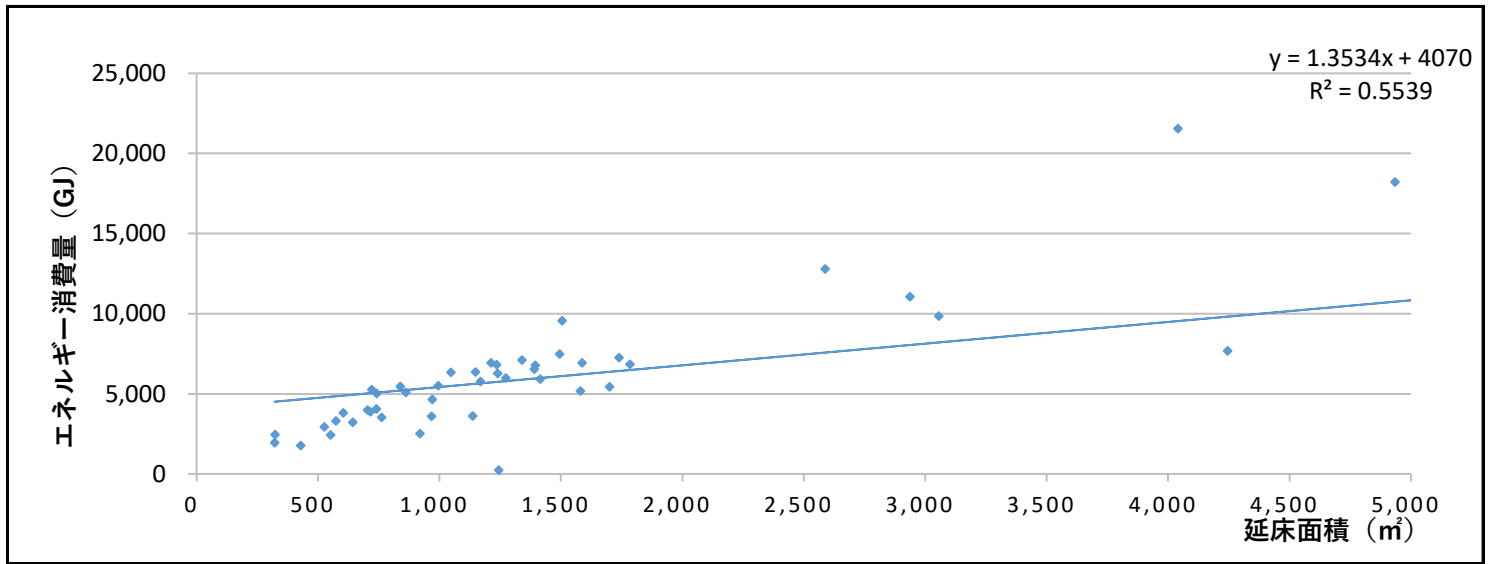
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:38)



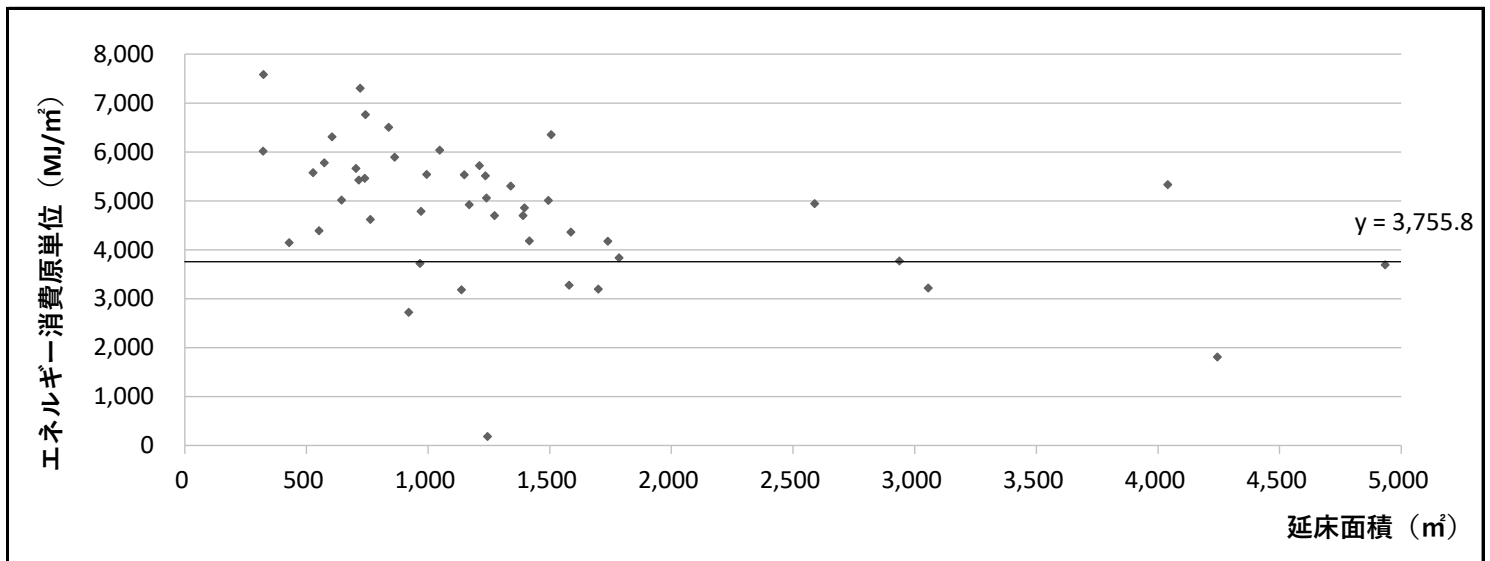
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:35)



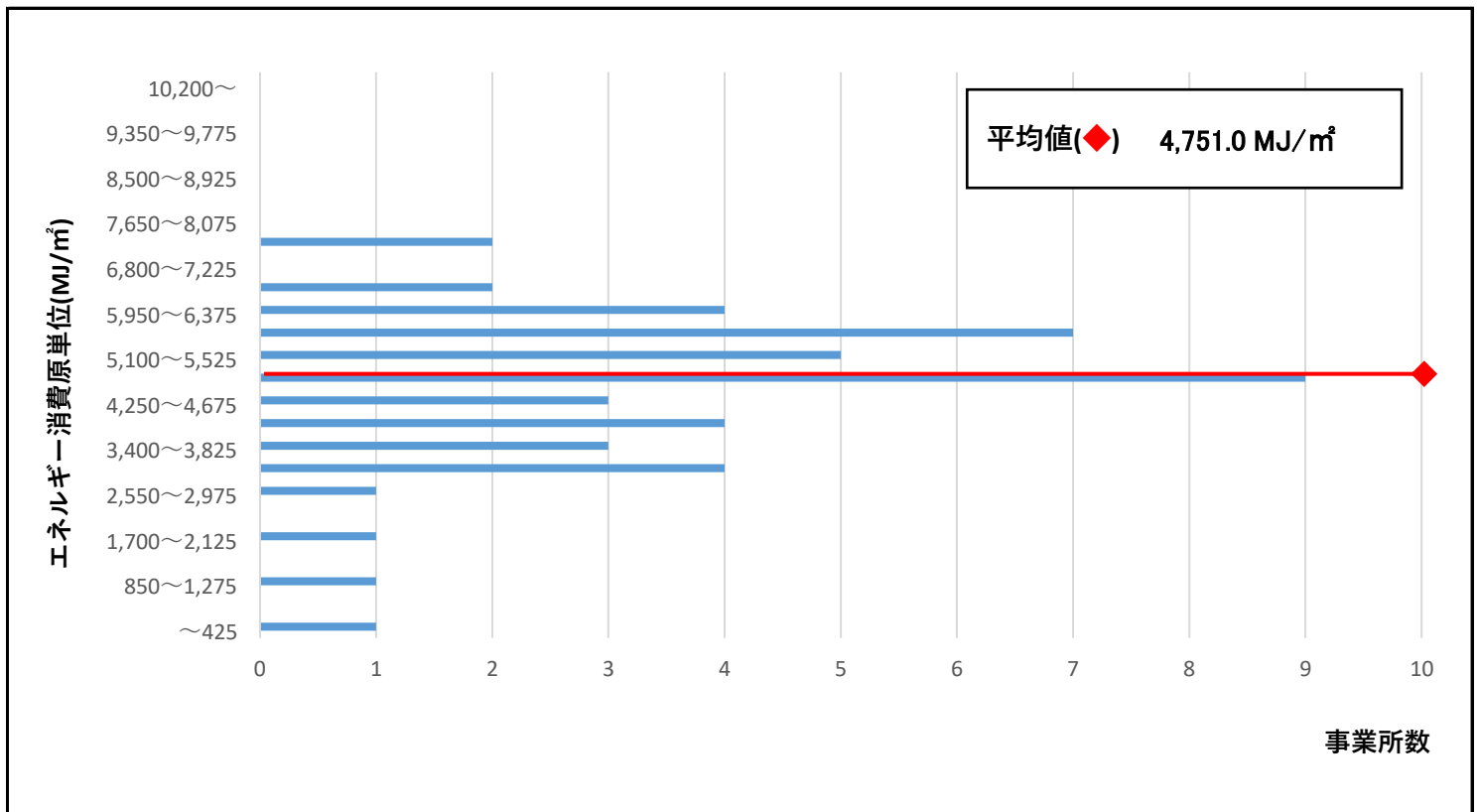
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



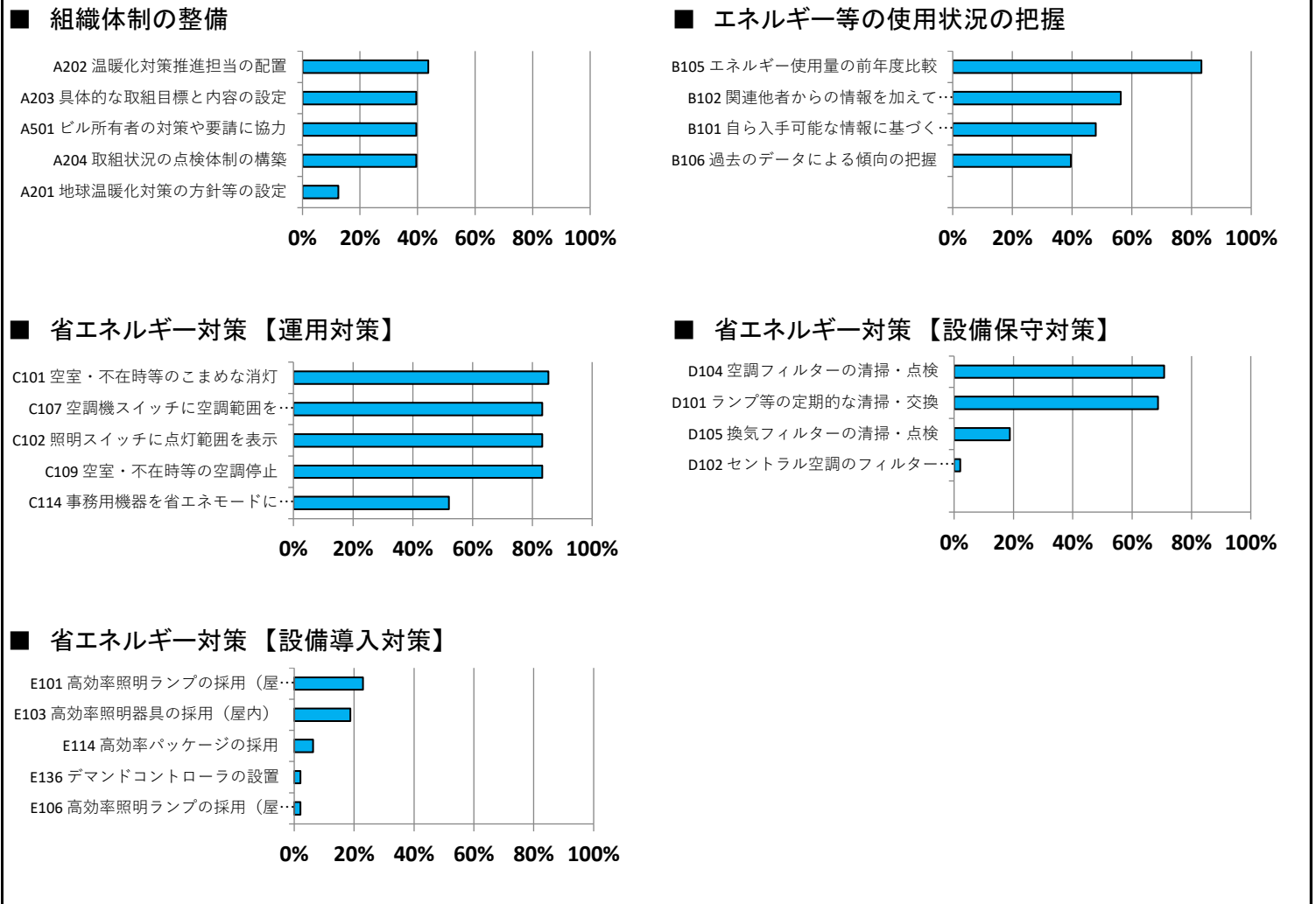
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

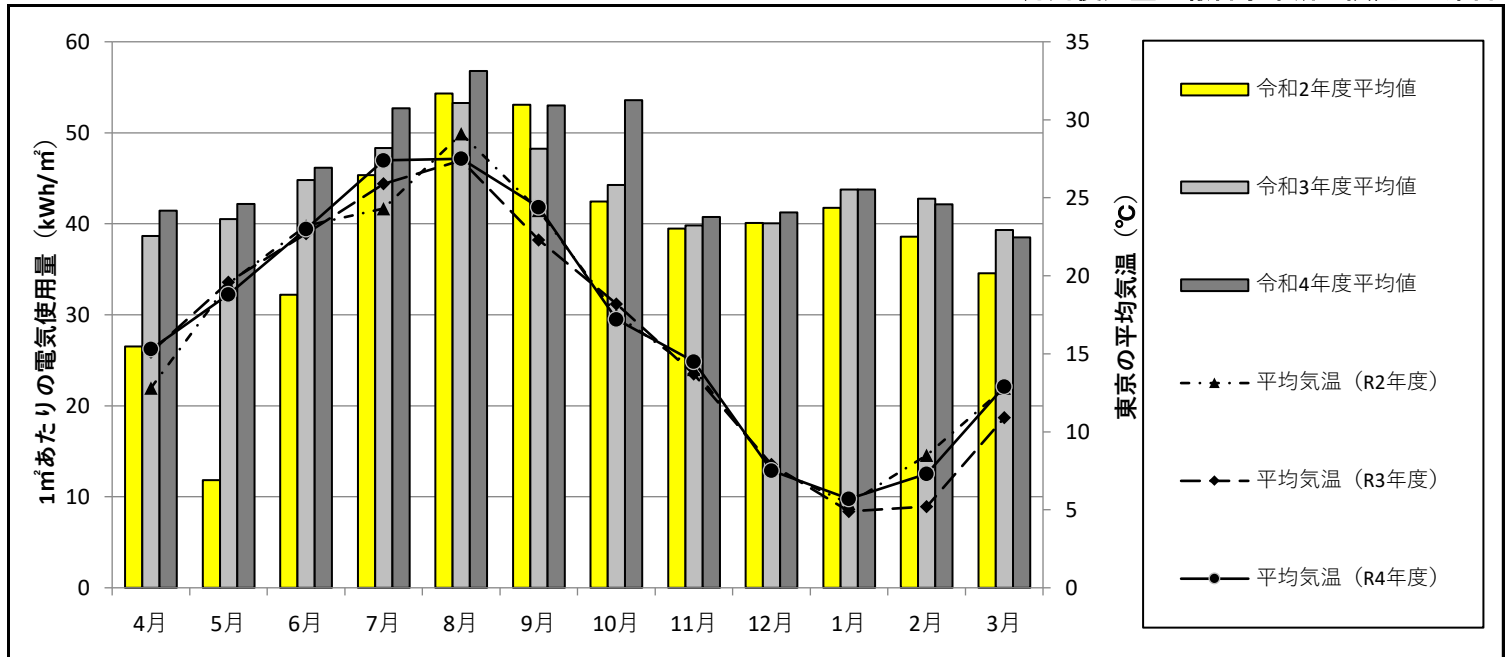


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

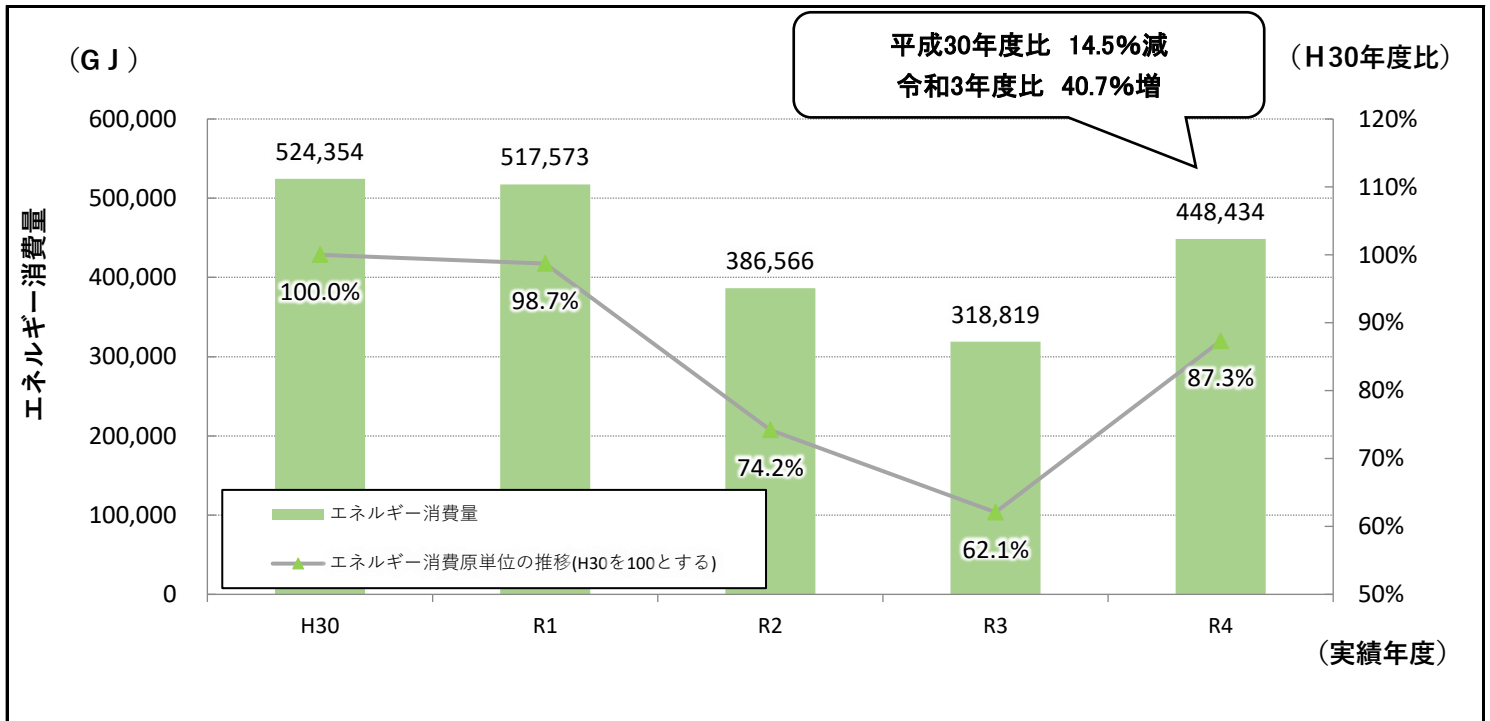
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



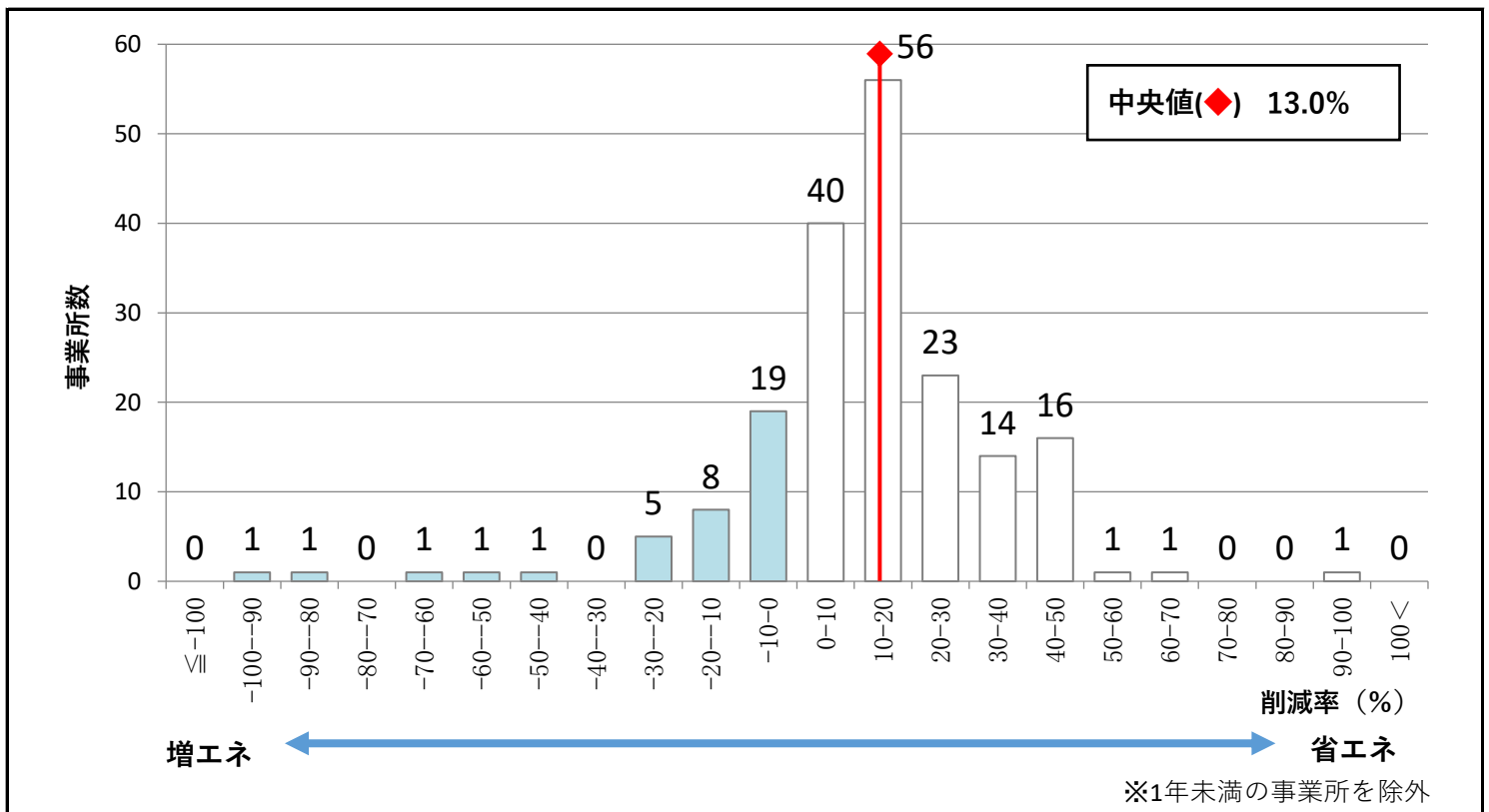
パチンコ店は人間や照明・遊具の発熱など、空調の内部負荷が大きいため暖房より冷房負荷が大きくなっています。また人員密度が高いので導入外気量が多くなっていますが、閑散時間帯にはファンのインバータ制御などで外気量を削減することが可能です。CO2濃度が高すぎない範囲で外気導入量を絞ることで空調負荷の大幅削減につながります。奥行きのあるパチンコ店では冬期でも奥の方は機器や人間の発熱で通年冷房になり、入り口付近は寒いので暖房が要求されるケースがありますが、この様な場合には空調の系統を分け、冷房と暖房を場所により別々に行える方式をお勧めします。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8095 カラオケボックス業」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
カラオケボックス店舗	276	266	

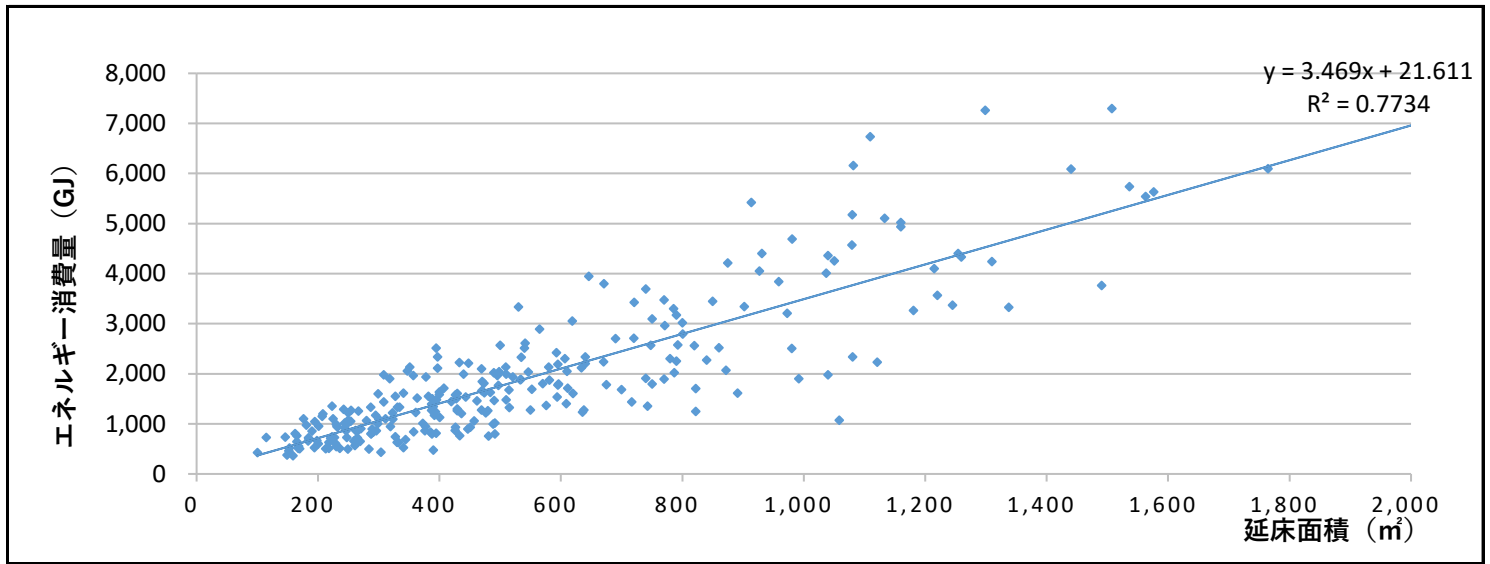
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:194)



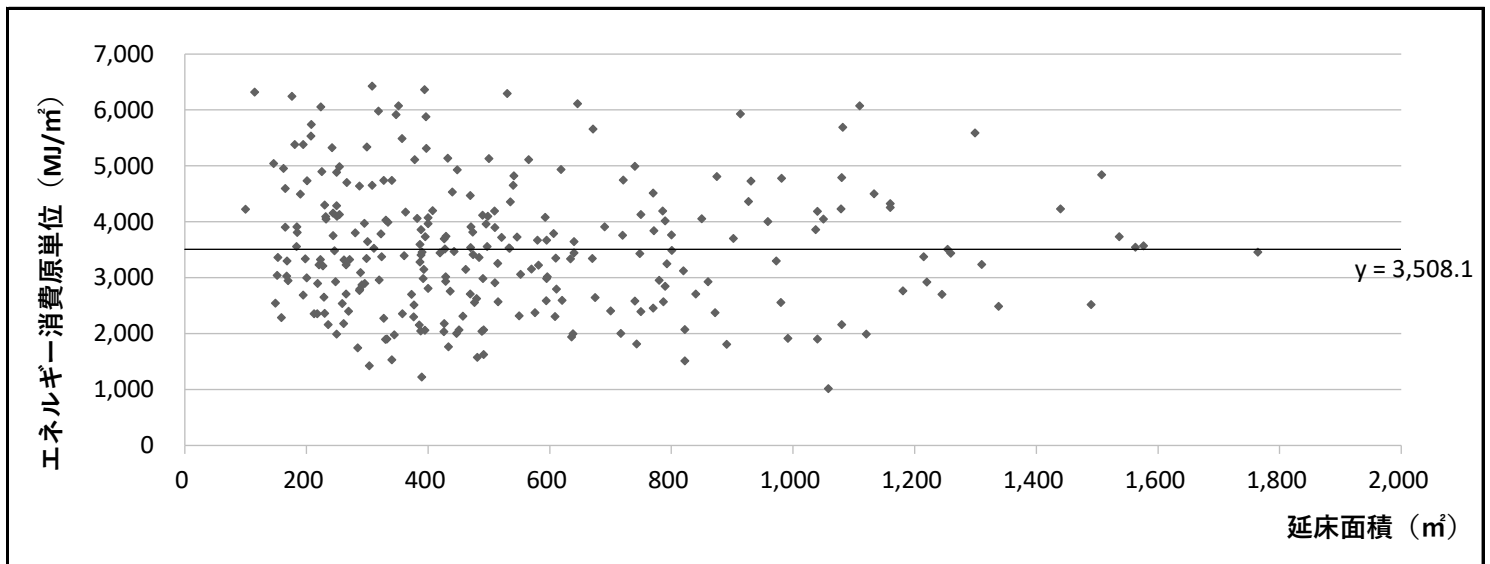
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:189)



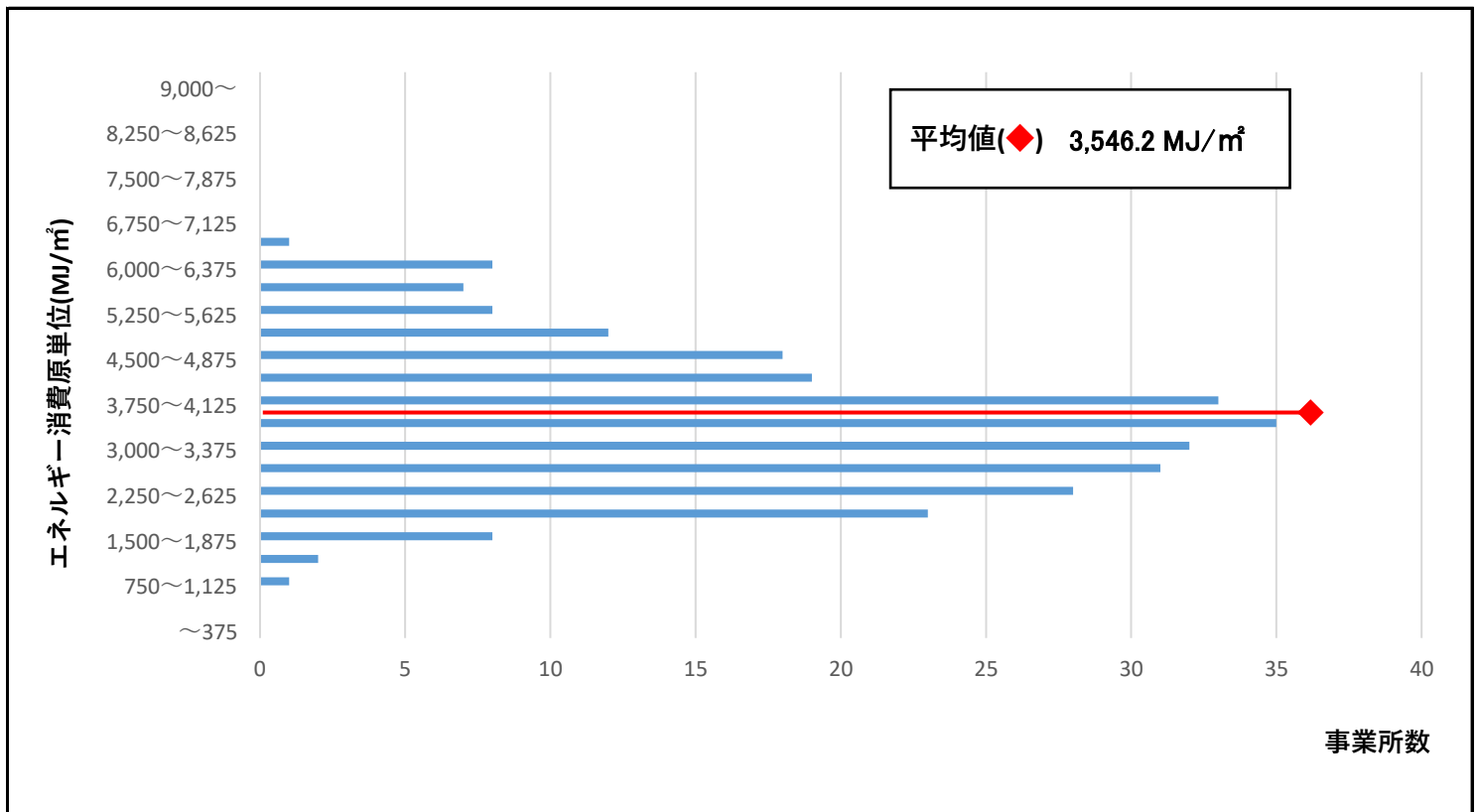
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



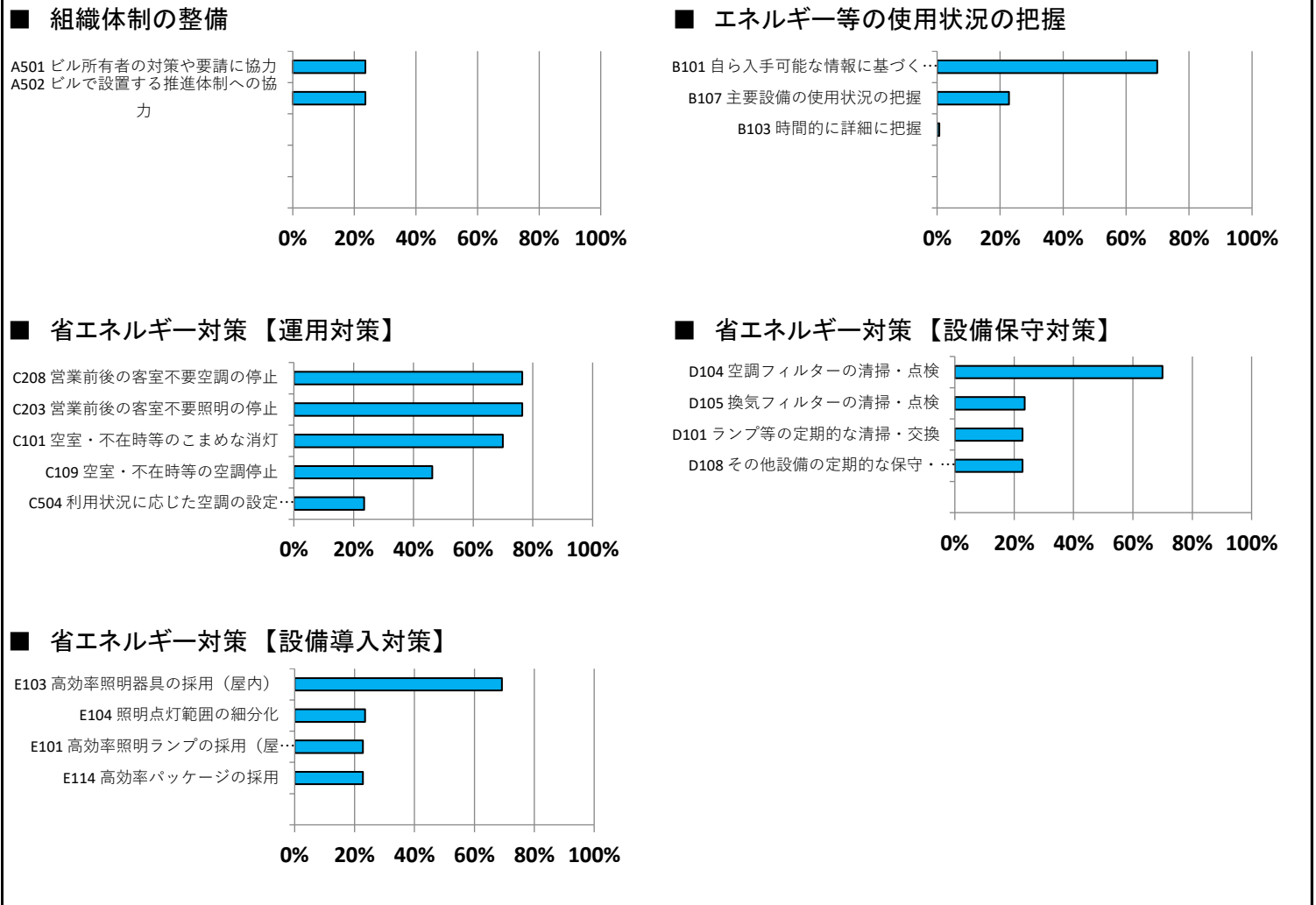
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

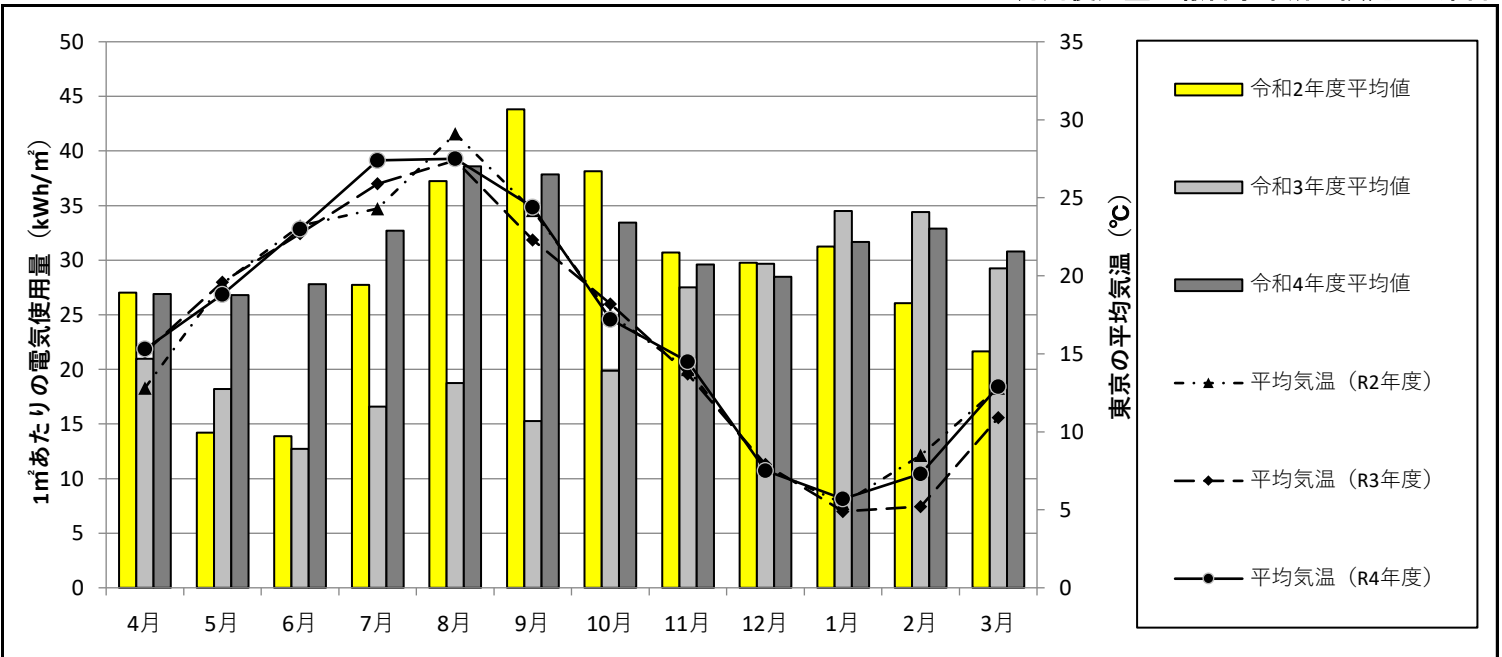


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

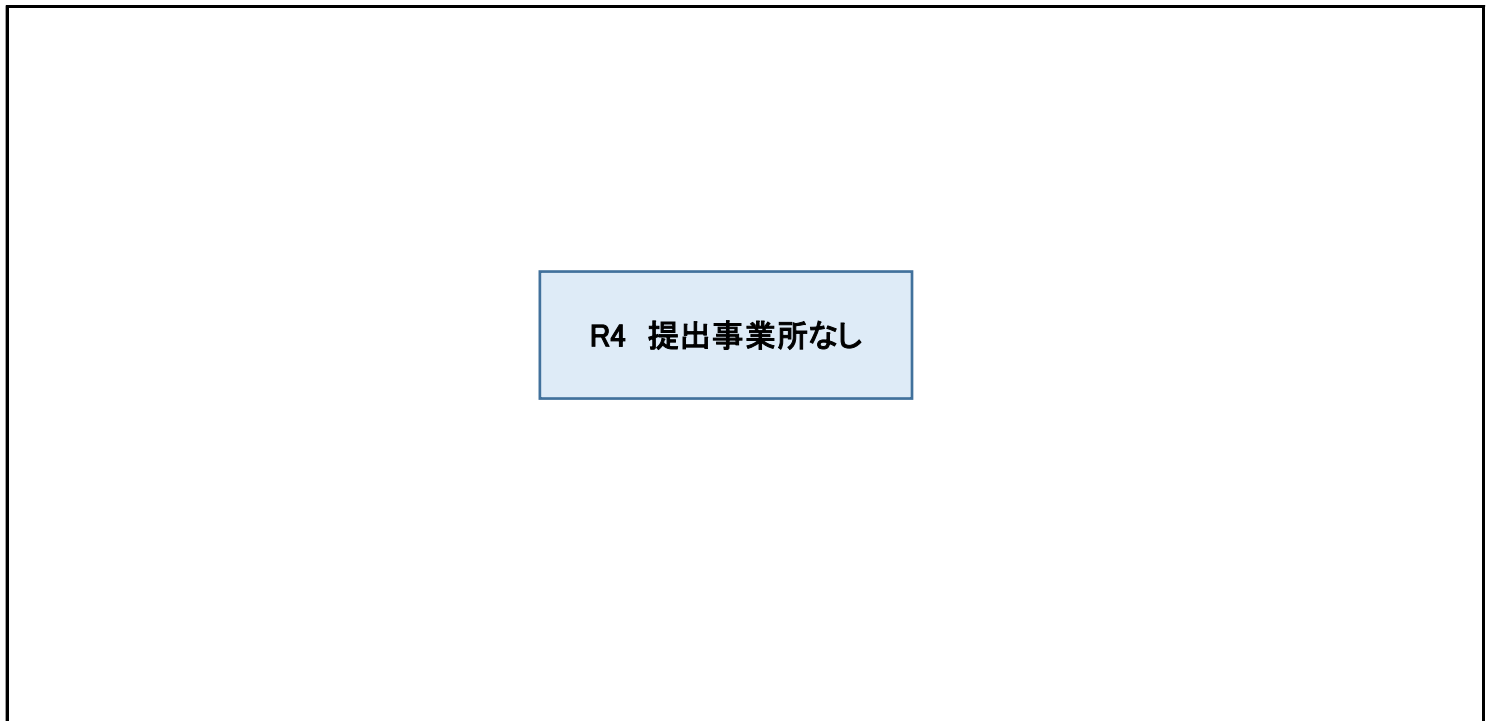
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



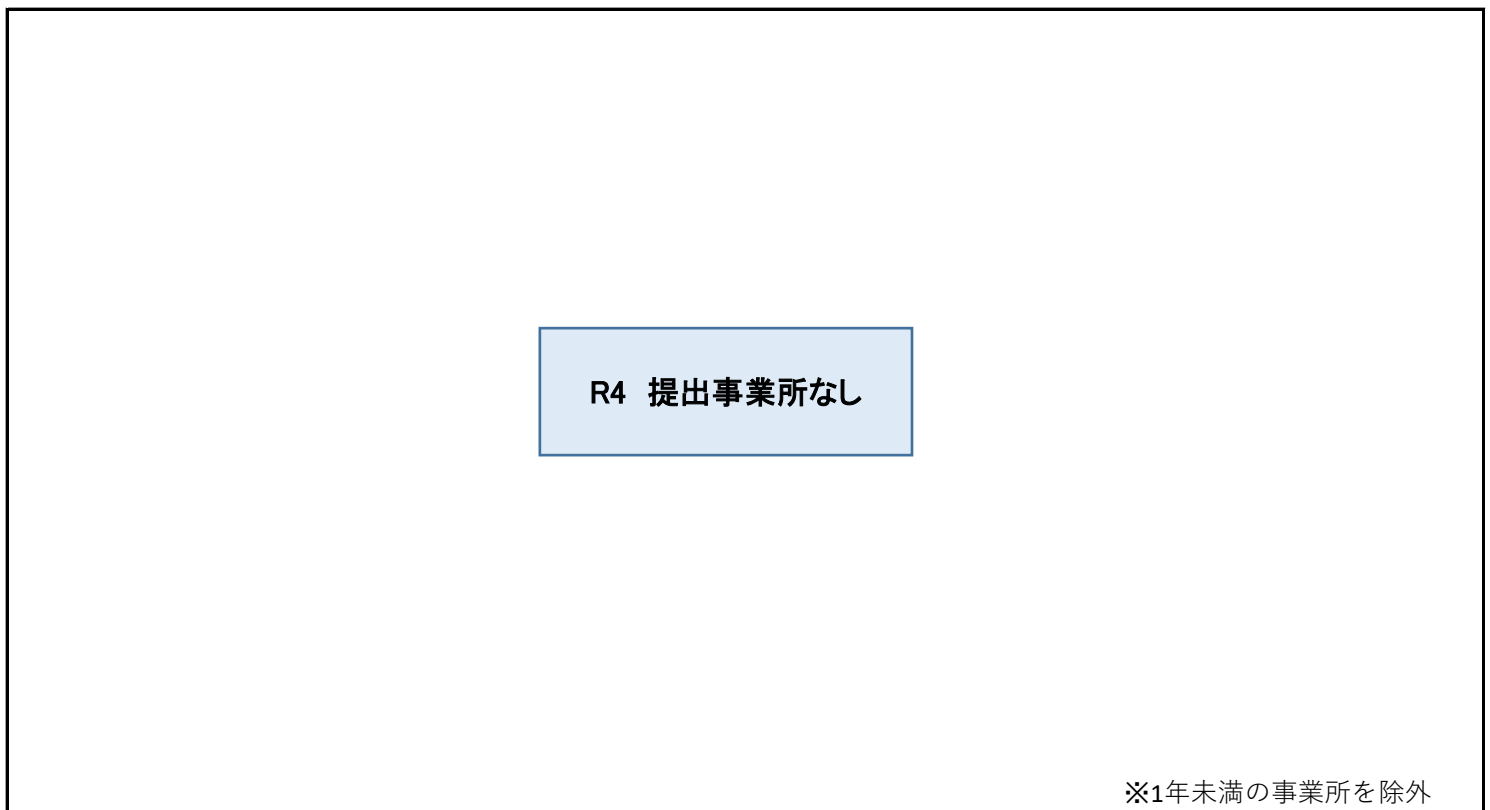
来店者数には波があるため、エアコンやモニターの使用は来店者数に合わせて調整しましょう。最近では受付のPOSシステムと連動して使用するブースの機器をコントロールする店舗も増加しています。またカラオケ店のトイレは頻繁には利用されないため、照明の人感センサー導入が効果的です。店舗には多数の個室があり、それぞれに照明・空調・カラオケ機器(アンプ、モニター)が設置されていますが、不使用時にいかに機器を停止するかが工夫のポイントです。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8065 ゲームセンター」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
ゲームセンター		R4 提出事業所なし	

1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:)



2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:)



※1年未満の事業所を除外

3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布

R4 提出事業所なし

4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布

R4 提出事業所なし

5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

R4 提出事業所なし

6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)

■ 組織体制の整備	■ エネルギー等の使用状況の把握
■ 省エネルギー対策【運用対策】	■ 省エネルギー対策【設備保守対策】
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">R4 提出事業所なし</div>	
■ 省エネルギー対策【設備導入対策】	

7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

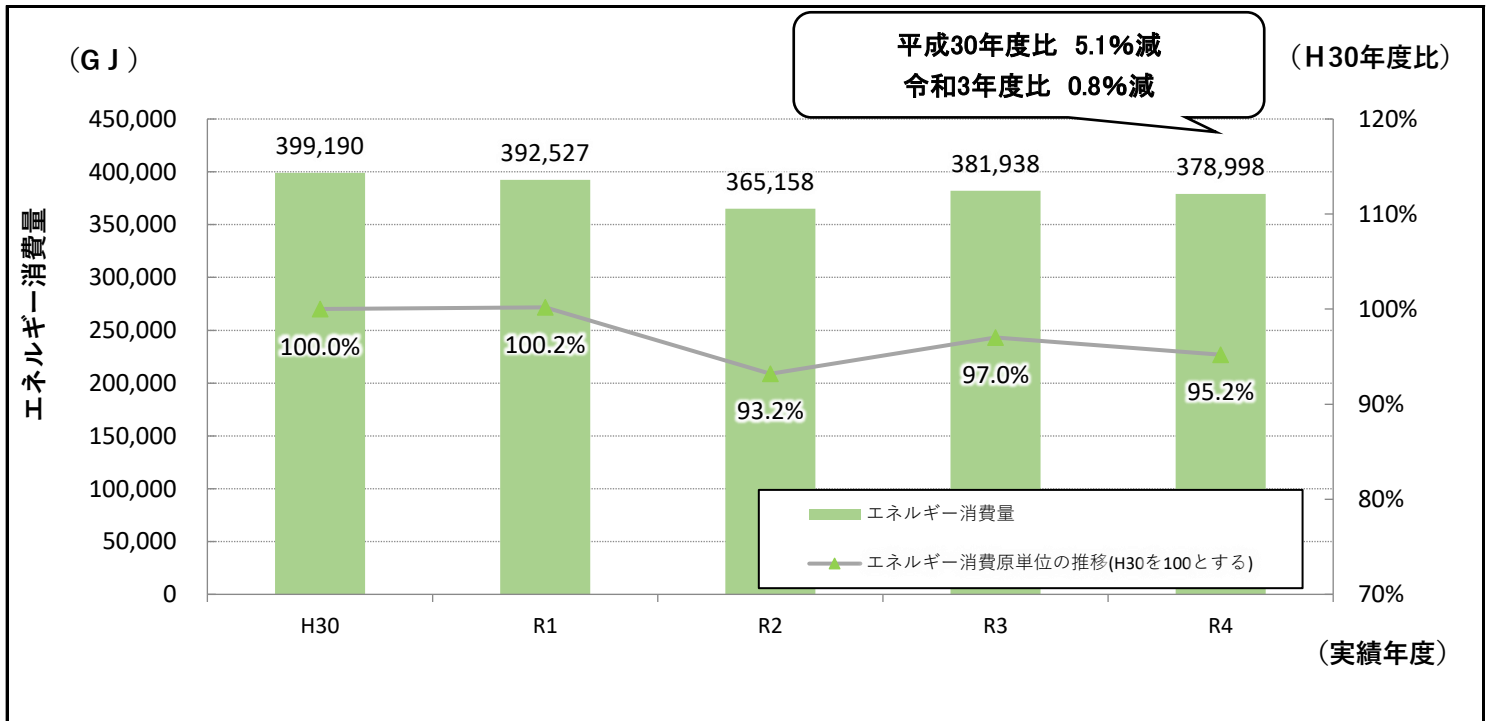
※月別使用量の報告事業所に限定して集計

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">R4 提出事業所なし</div>
--

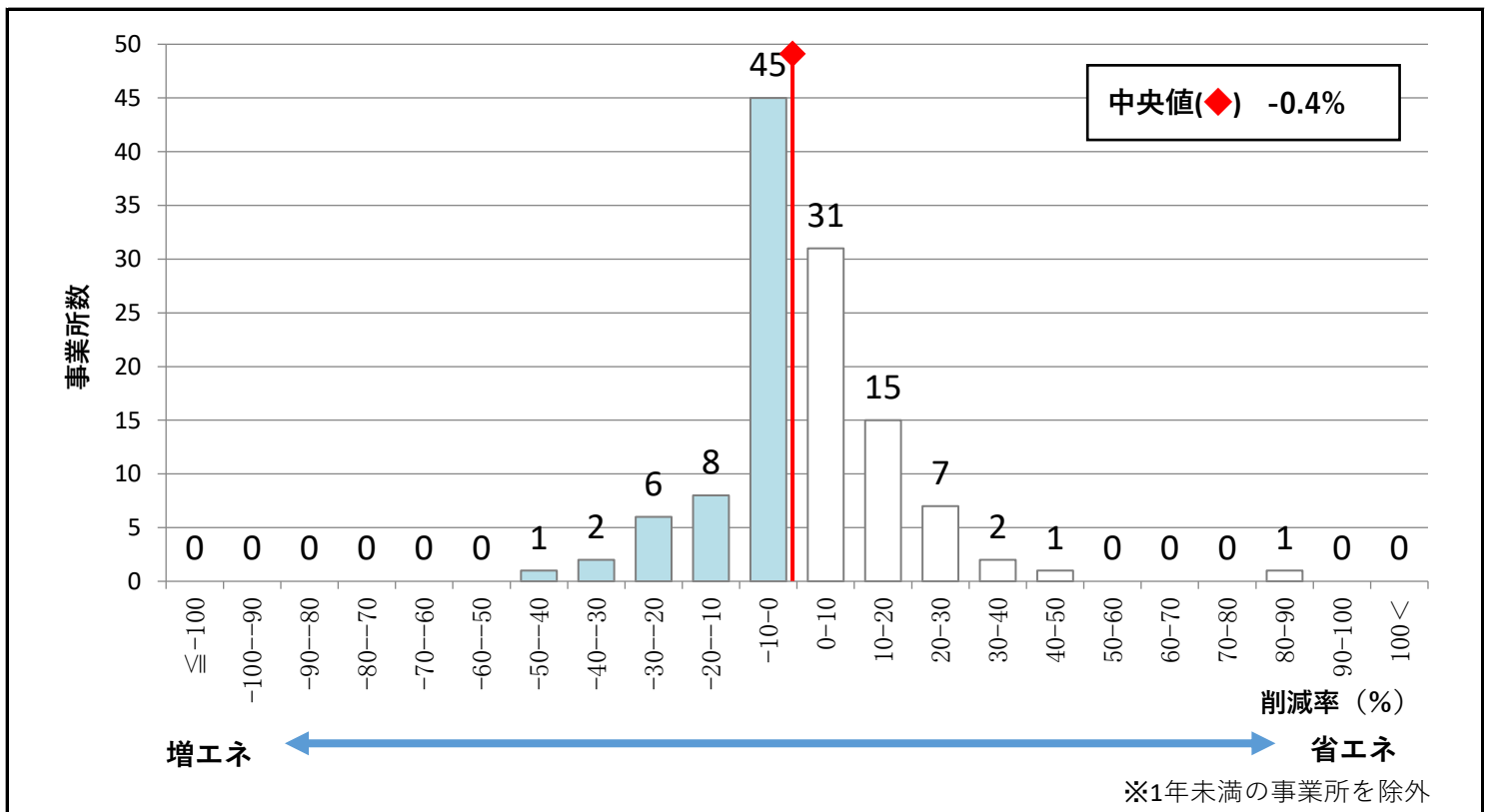
--

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8212 図書館」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
図書館	135	130	

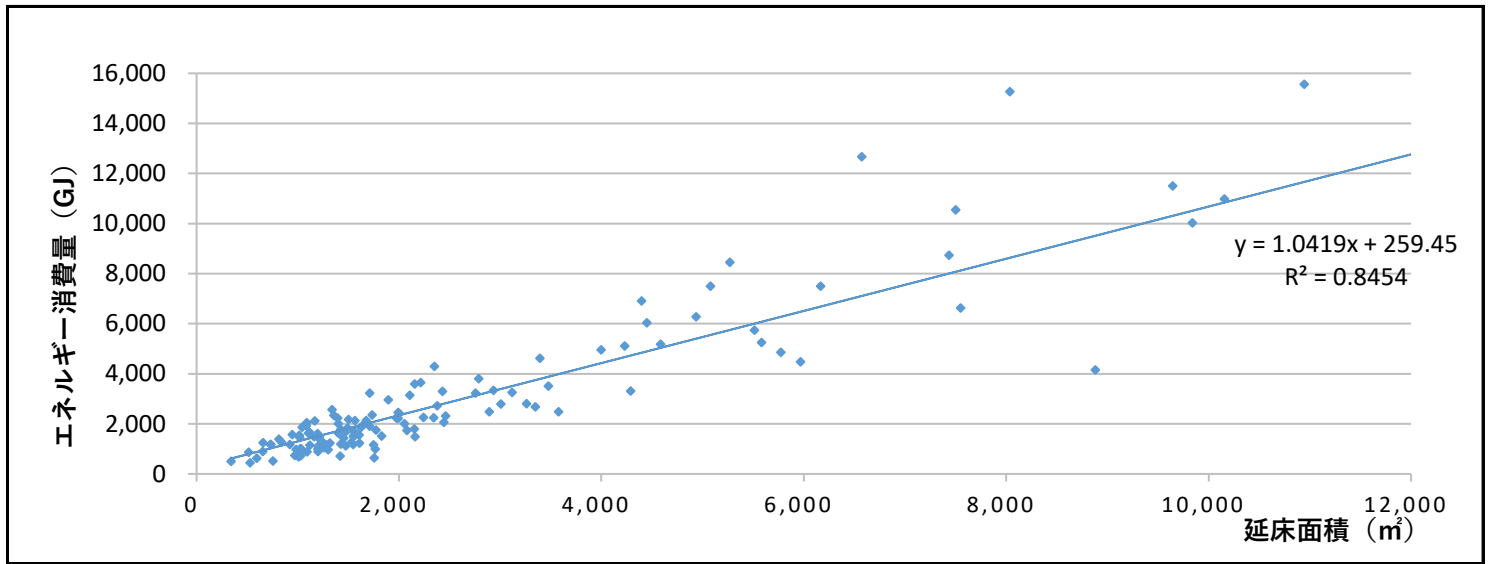
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:121)



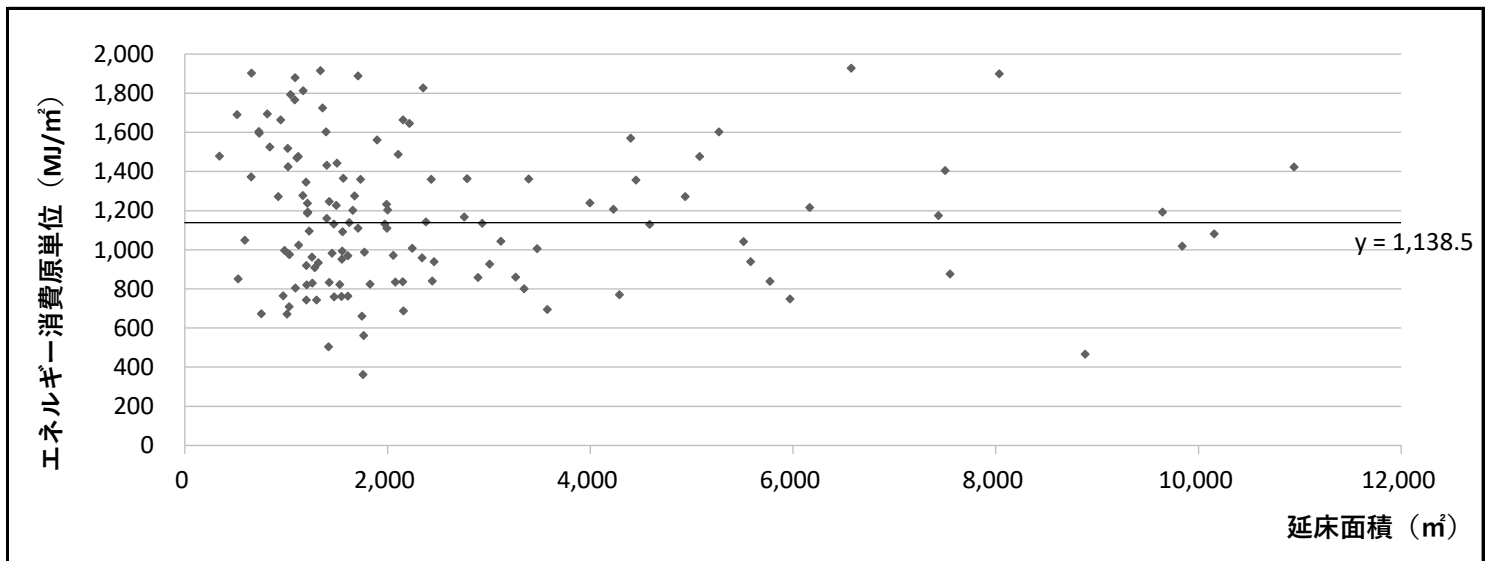
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:119)



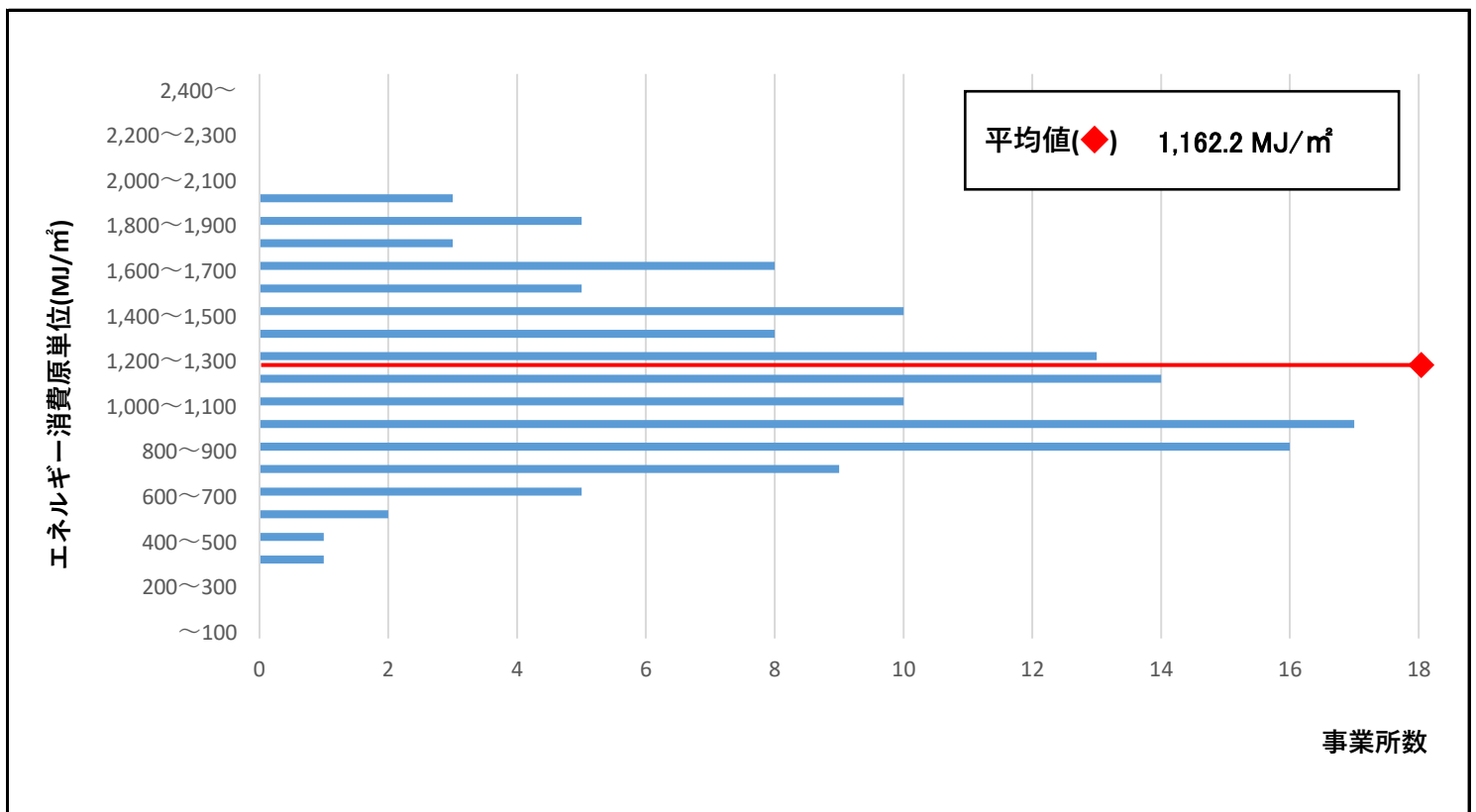
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



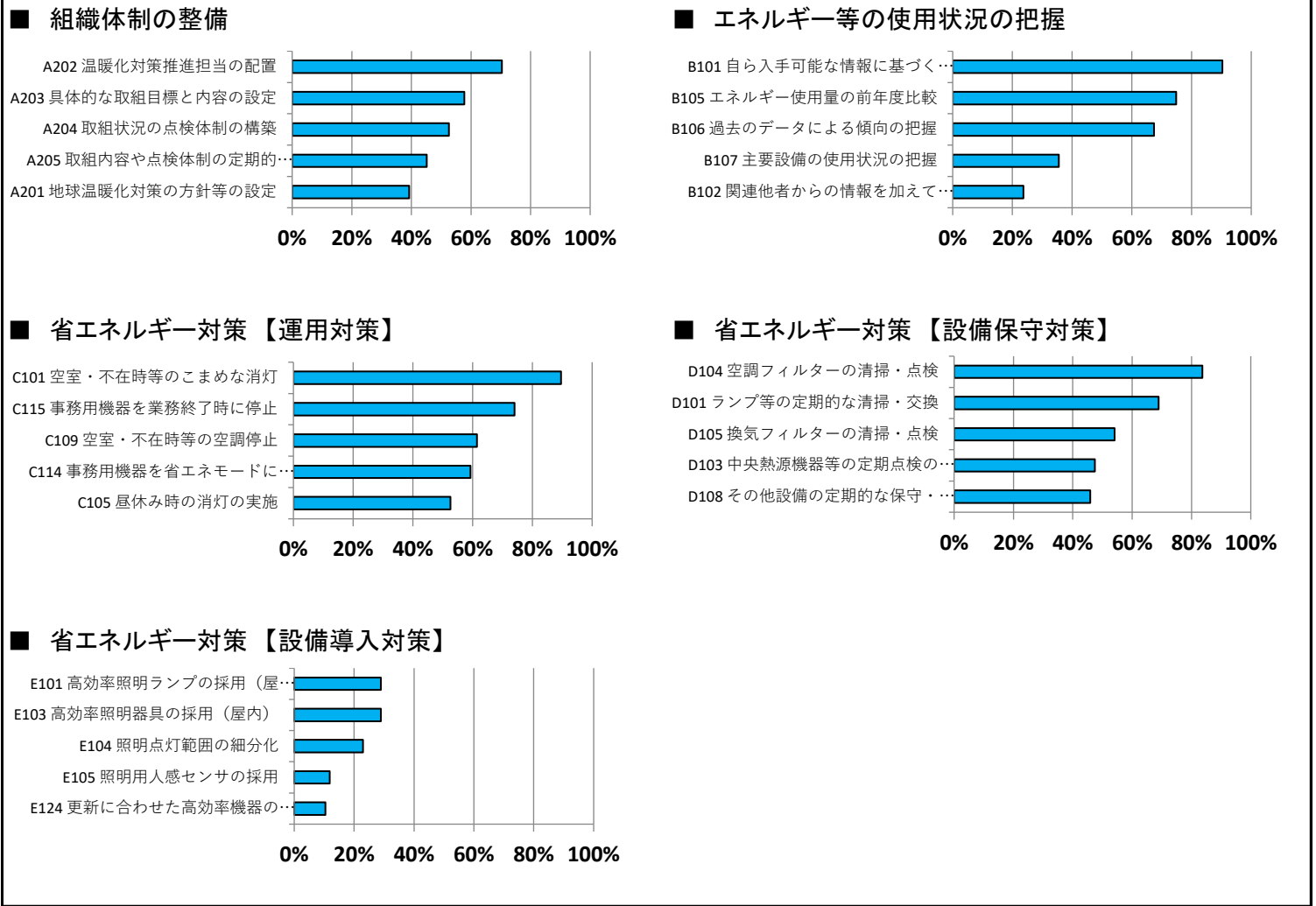
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

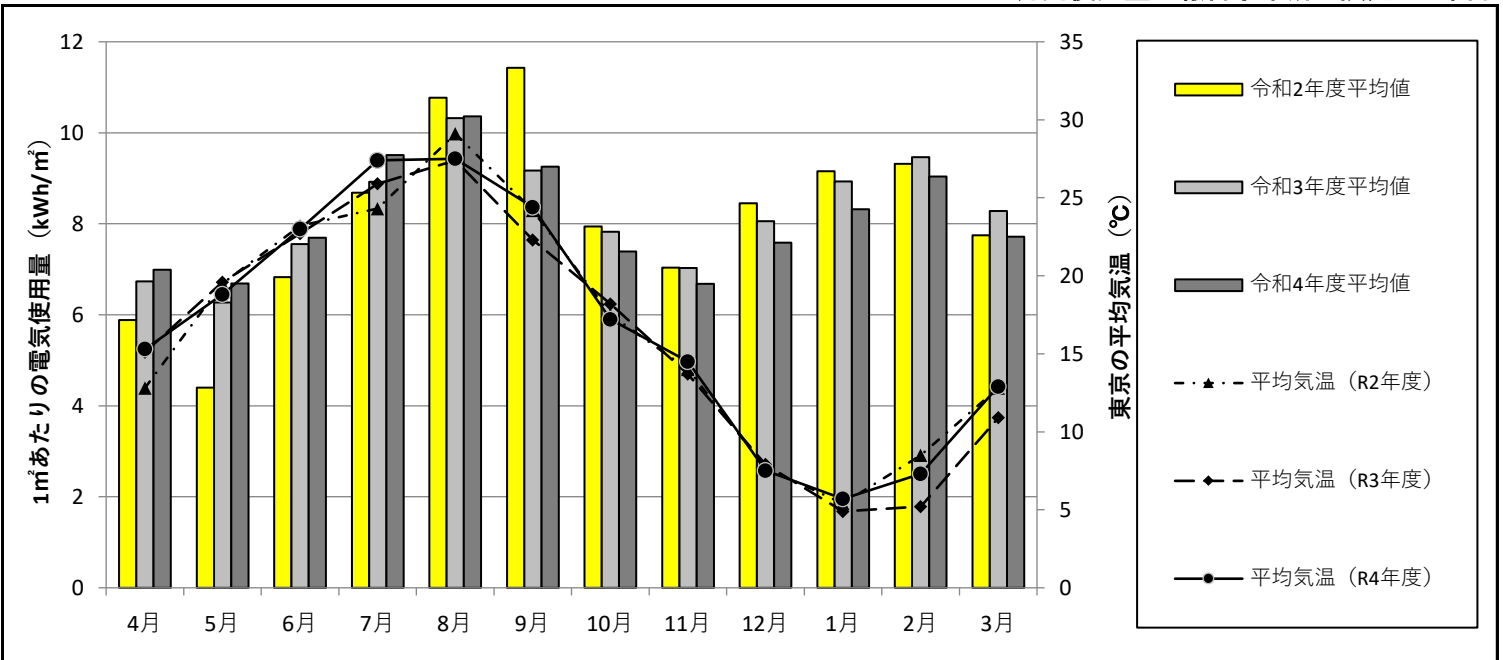


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

※月別使用量の報告事業所に限定して集計

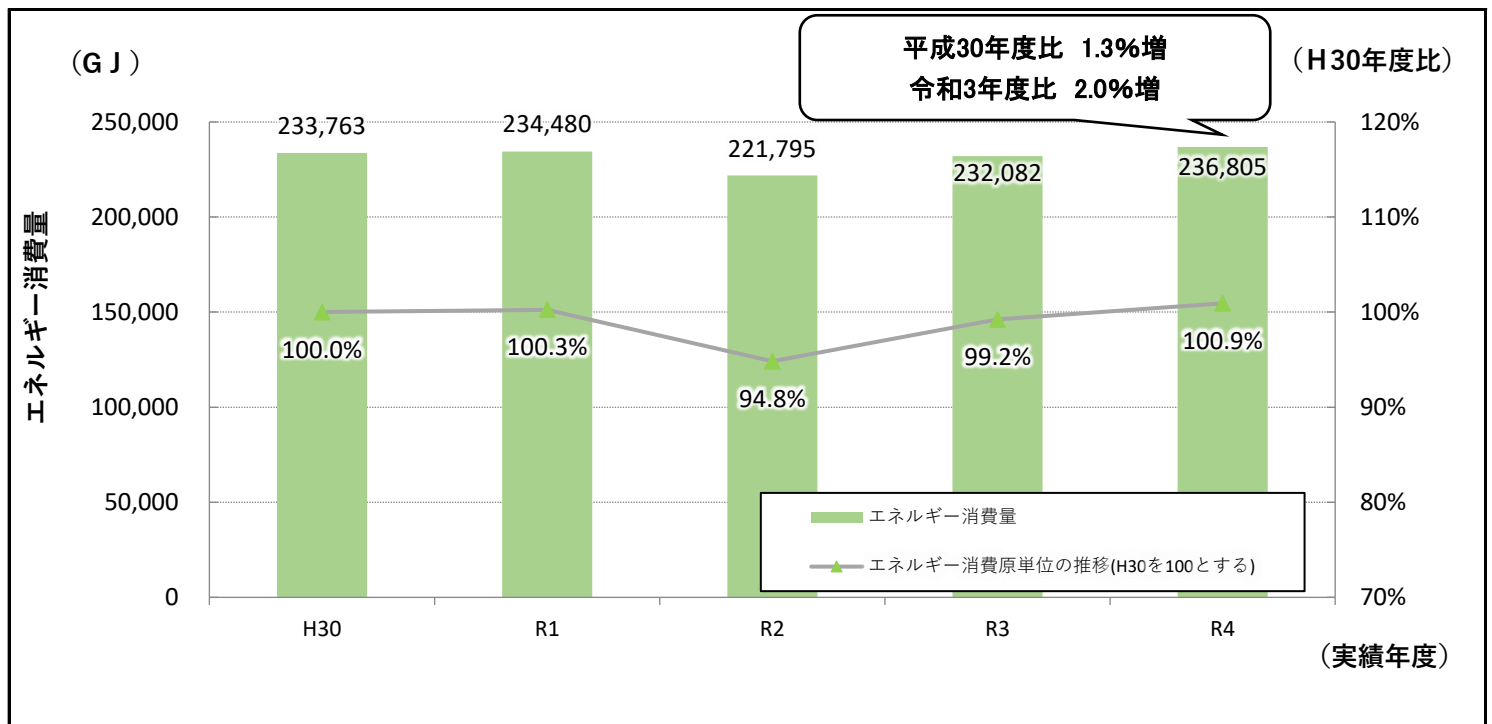


図書閲覧スペースは明るく、書架・通路は抑えて、室内の照度にメリハリをつけましょう。照明はLED化が望まれますが、特に高天井の水銀灯等は効率が悪いので早めのLED化をお勧めします。定期的なエアコン室外機の薬品洗浄も省エネとなります。

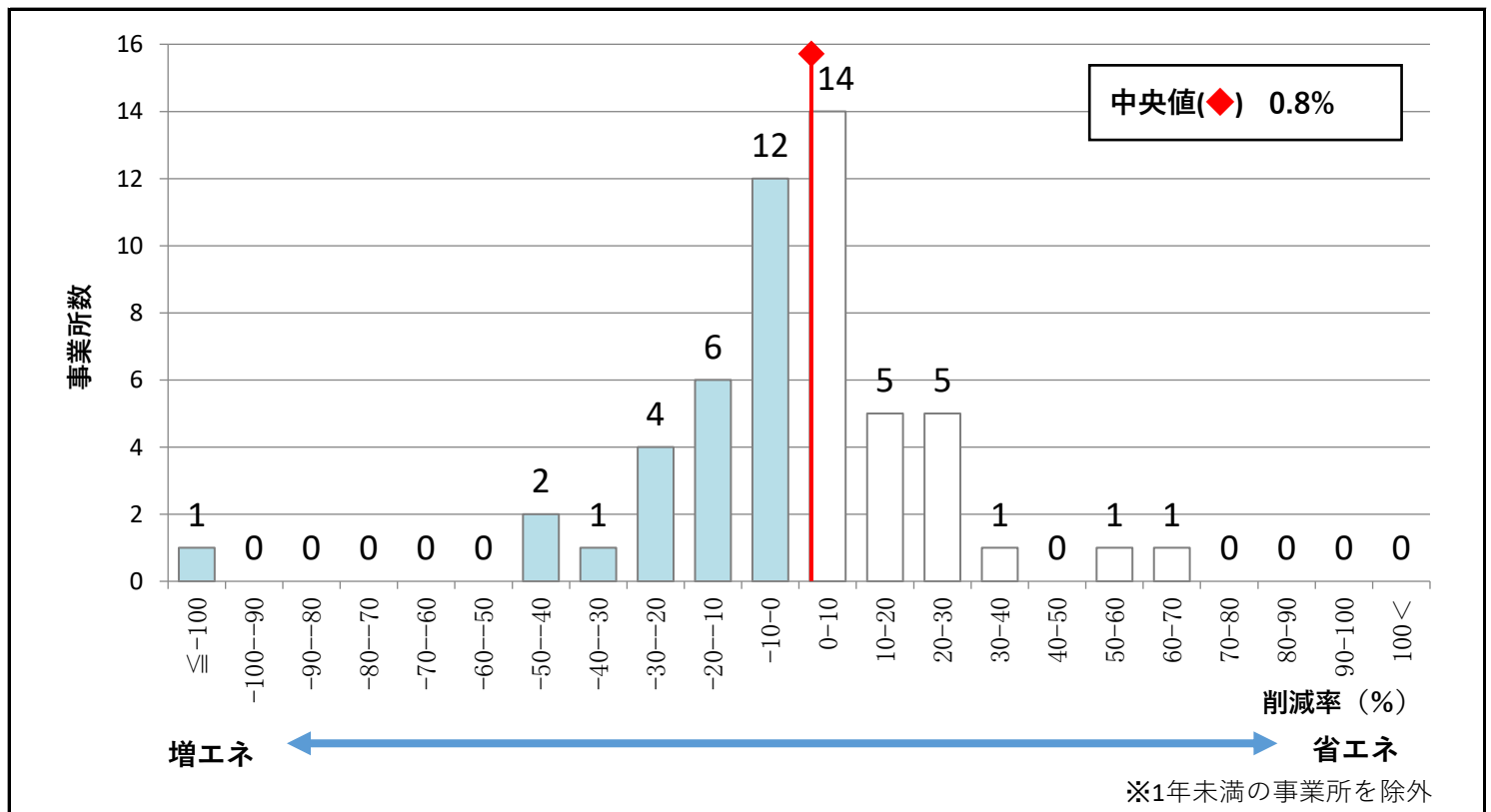
【効果の試算】400Wの水銀灯4台をLED高天井照明器具に交換すると、年間55,884円、1,139kg-CO₂の削減になります。(水銀灯の消費電力:415W、LED照明器具の消費電力:107W、1日の稼働時間:9時間、年間の稼働日数210日、電力単価:24円/kWh、CO₂換算係数:0.489kg-CO₂として試算した。)

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8213 博物館、美術館」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
博物館・美術館	61	57	

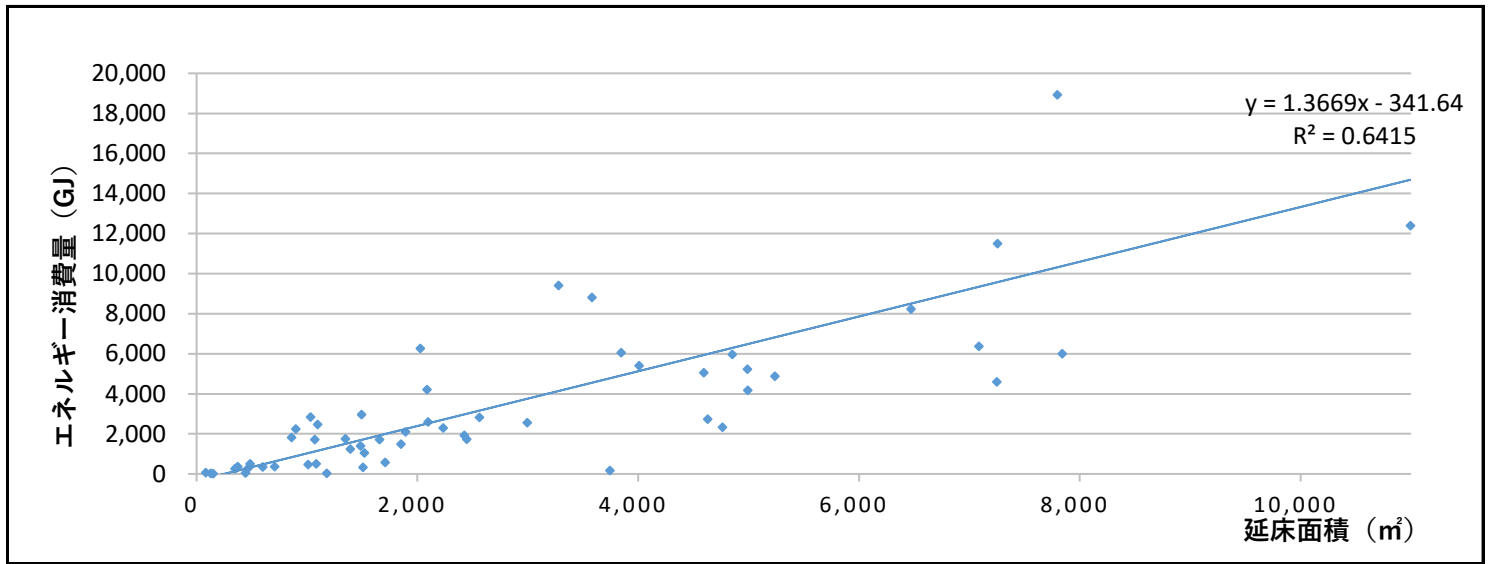
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:55)



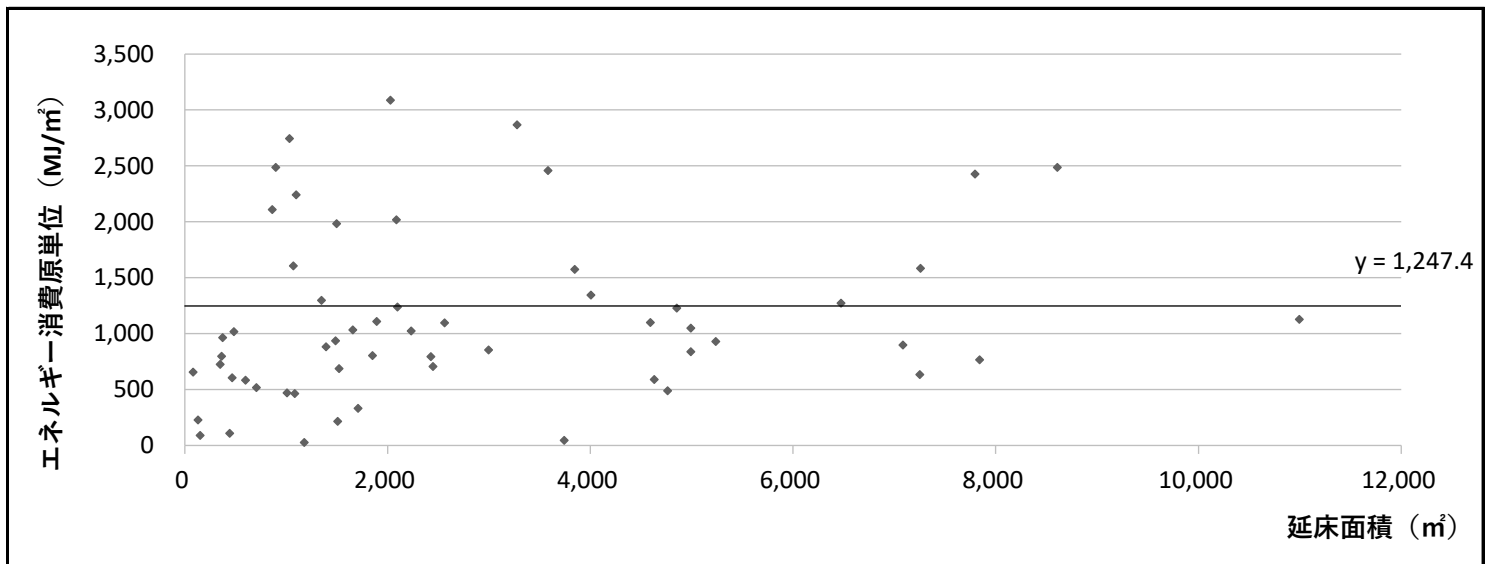
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:53)



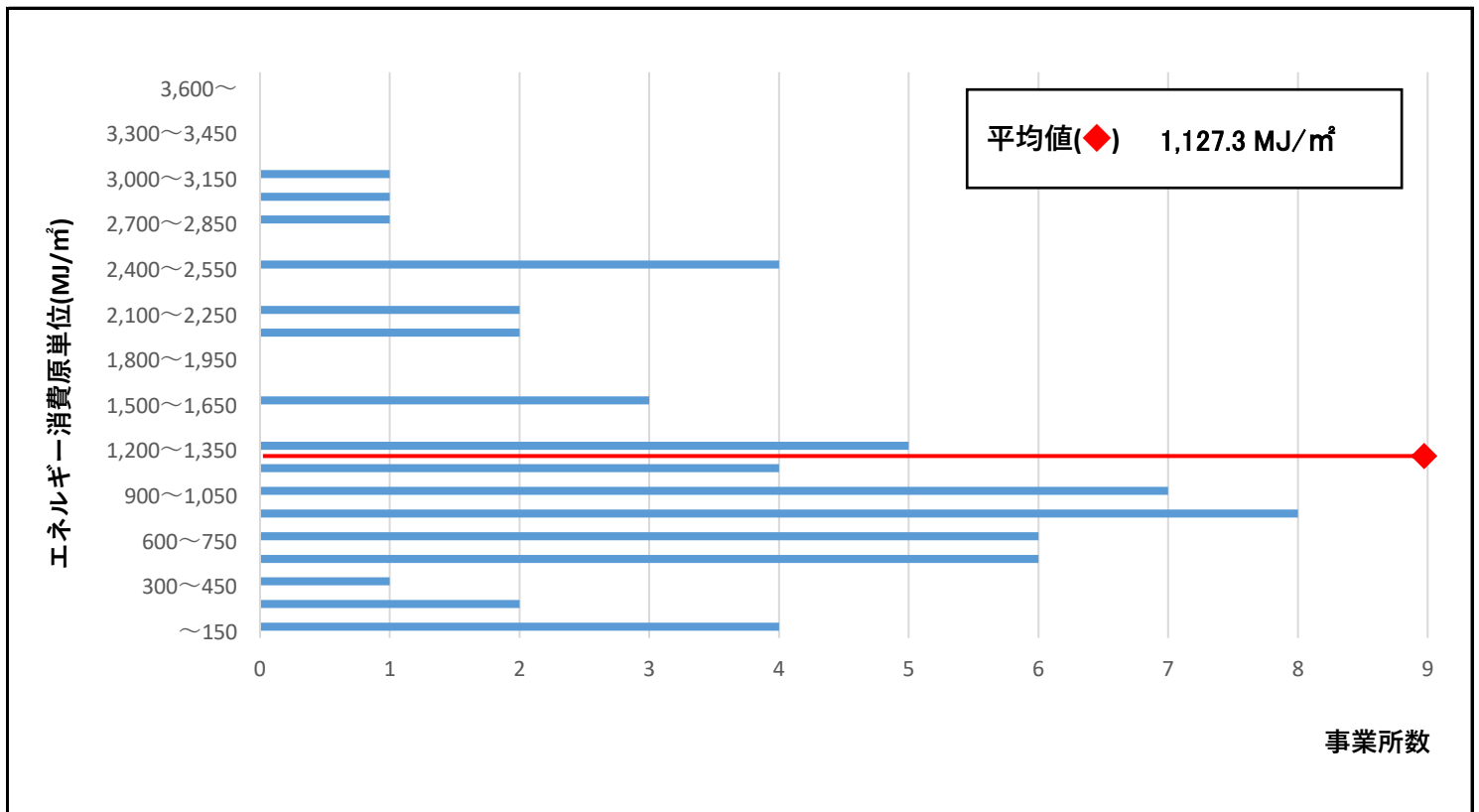
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



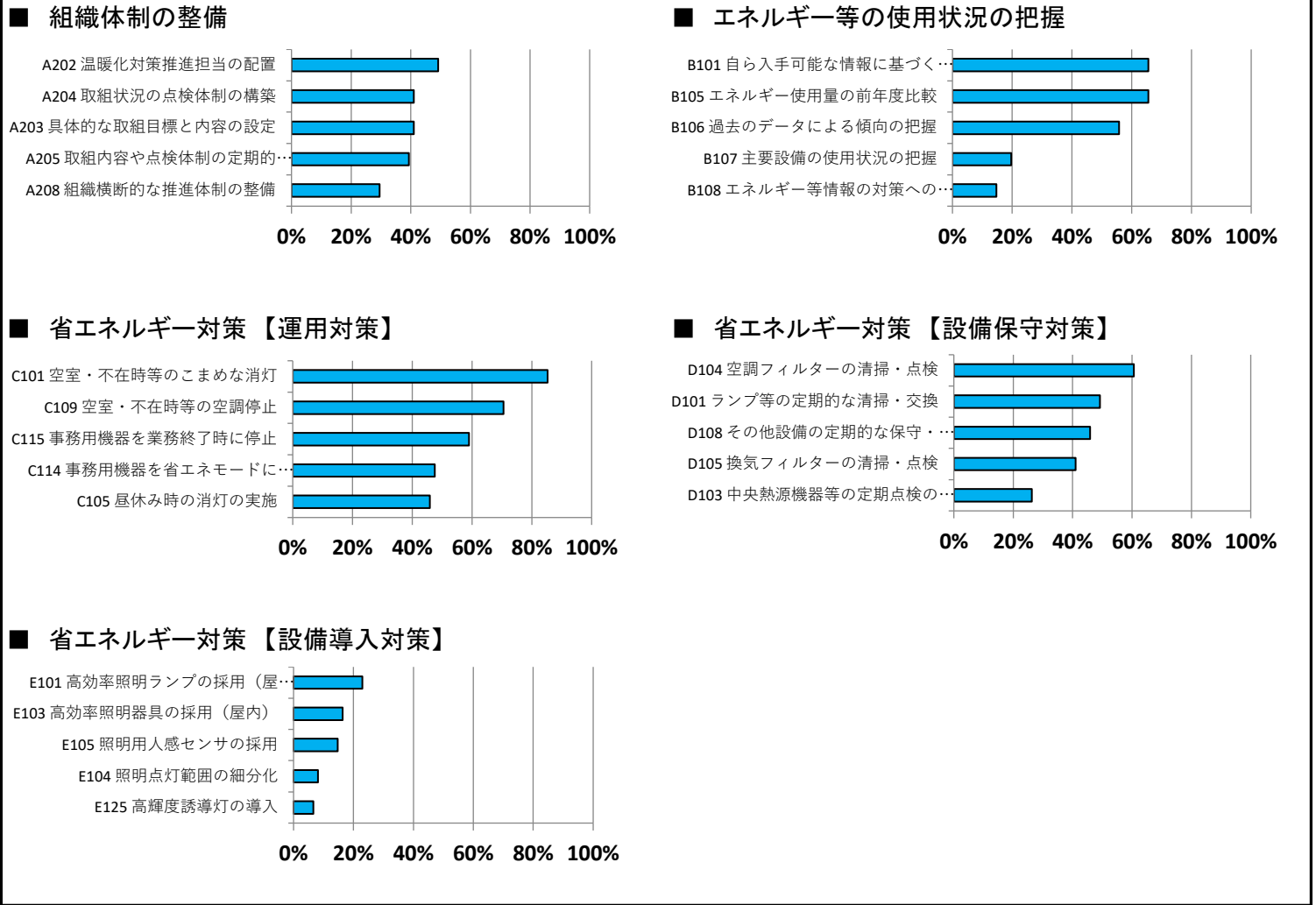
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

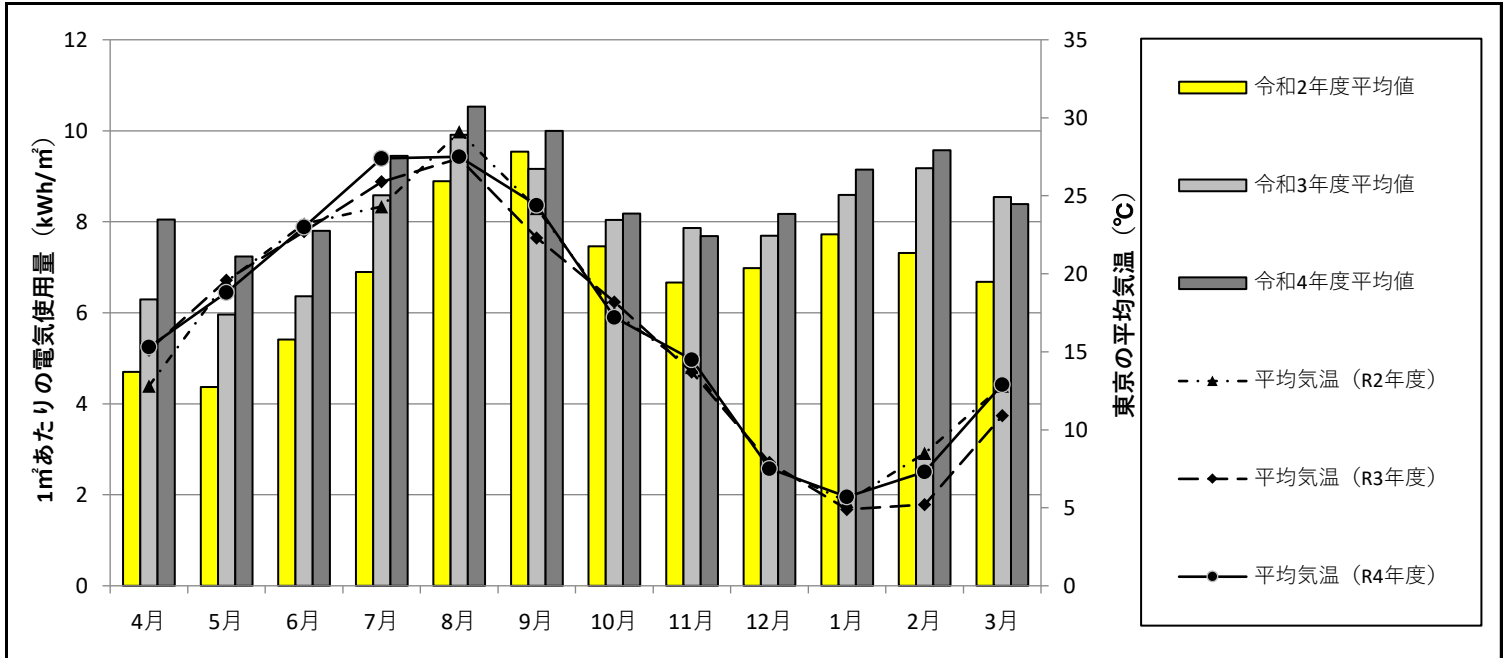


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

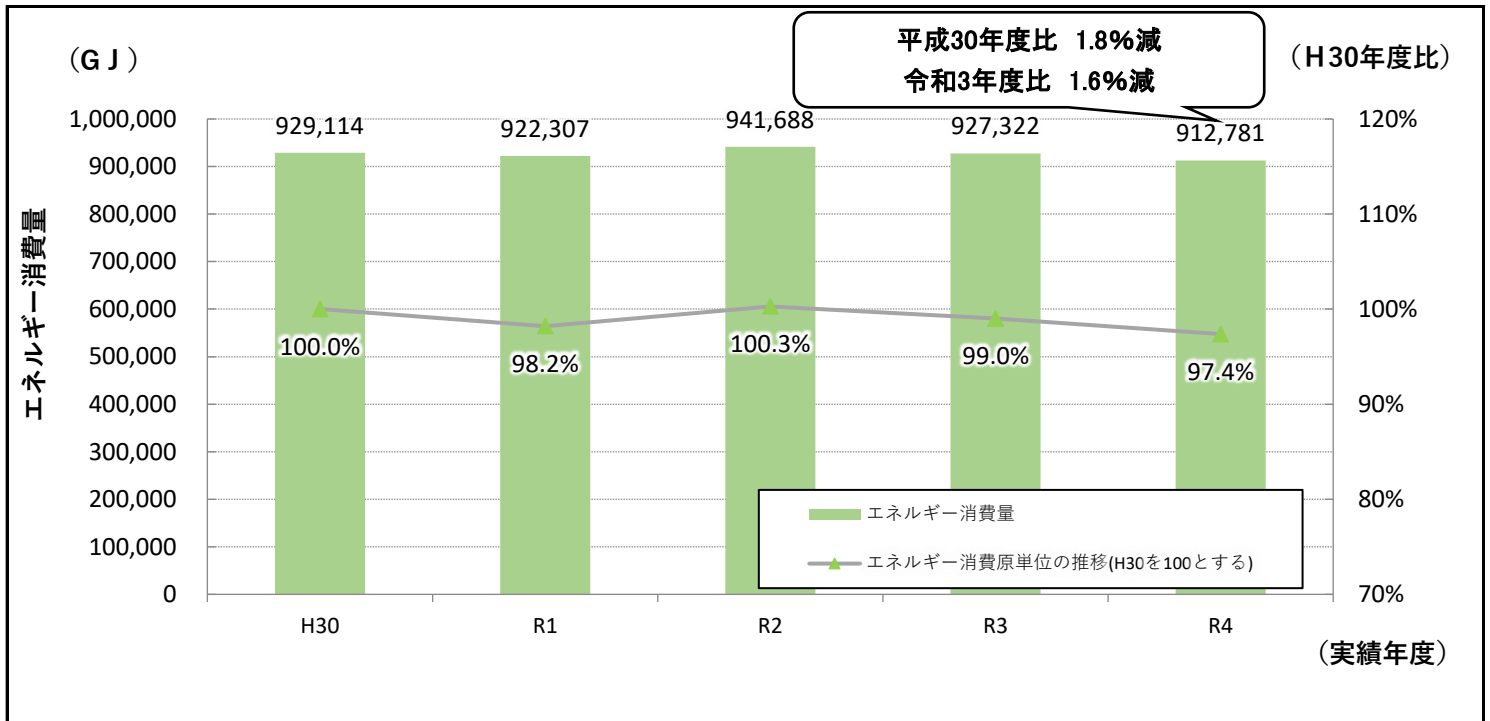
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



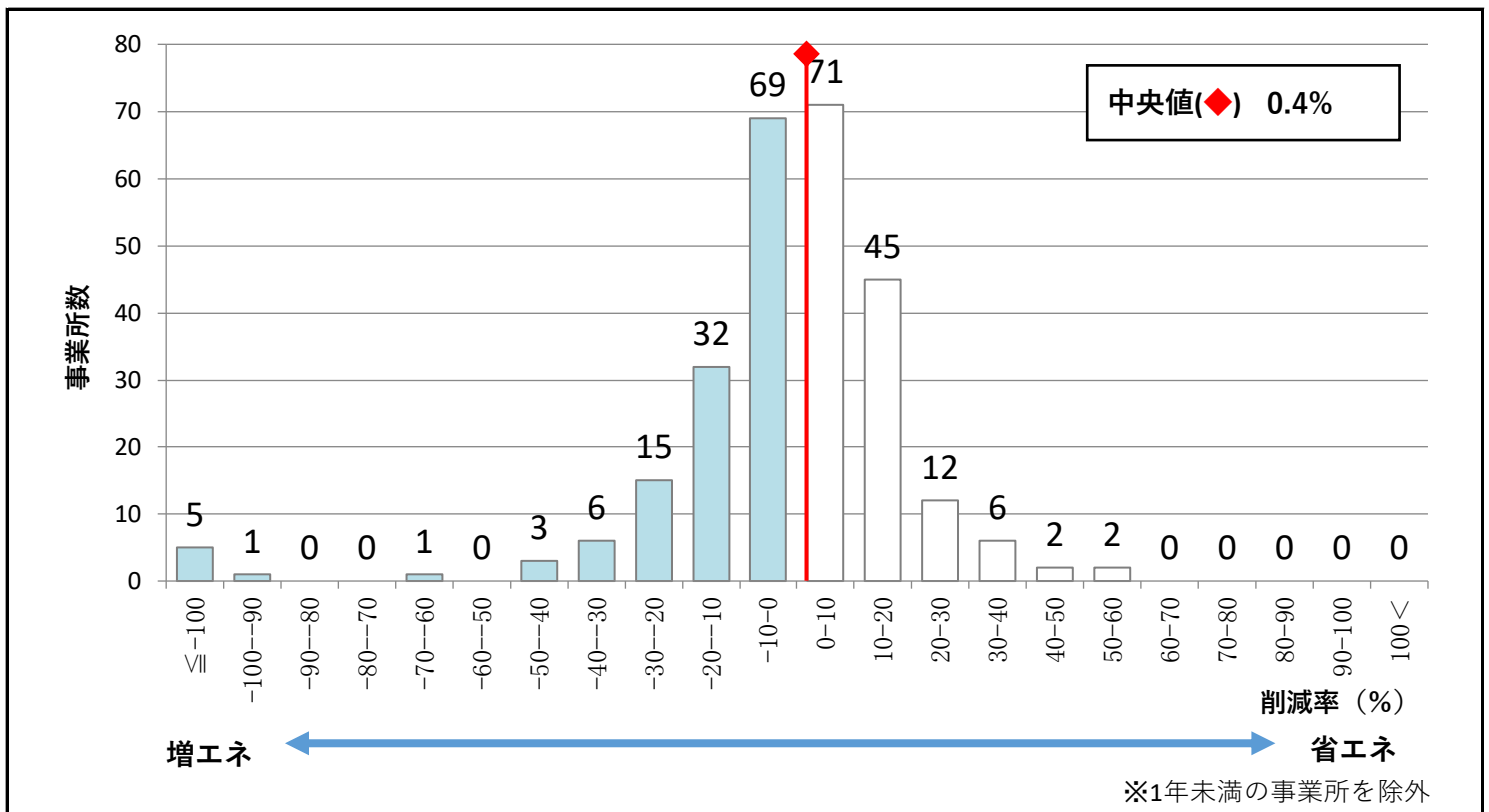
来館者の人員変動が大きいという特徴があります。階段・通路・トイレ等の照明に人感センサーをご検討ください。会議室や収蔵庫などは不使用時の消灯を徹底しましょう。またLED照明は紫外線の放出が極めて微量で調光も可能なので展示物への悪影響が少なく博物館・美術館には最適な照明といえます。早めの更新をお勧めします。現在は演色性(Ra値)の優れたLED照明が多く販売されていますので活用してください。館内の人員が少ない時間帯には外気導入量の削減による省エネを心掛けましょう。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「9821 市町村機関」 ・報告範囲の主たる用途「事務所」 ・所有形態「自己所有」 ・報告範囲「建物の全部」
区市町村庁舎等	294	292	

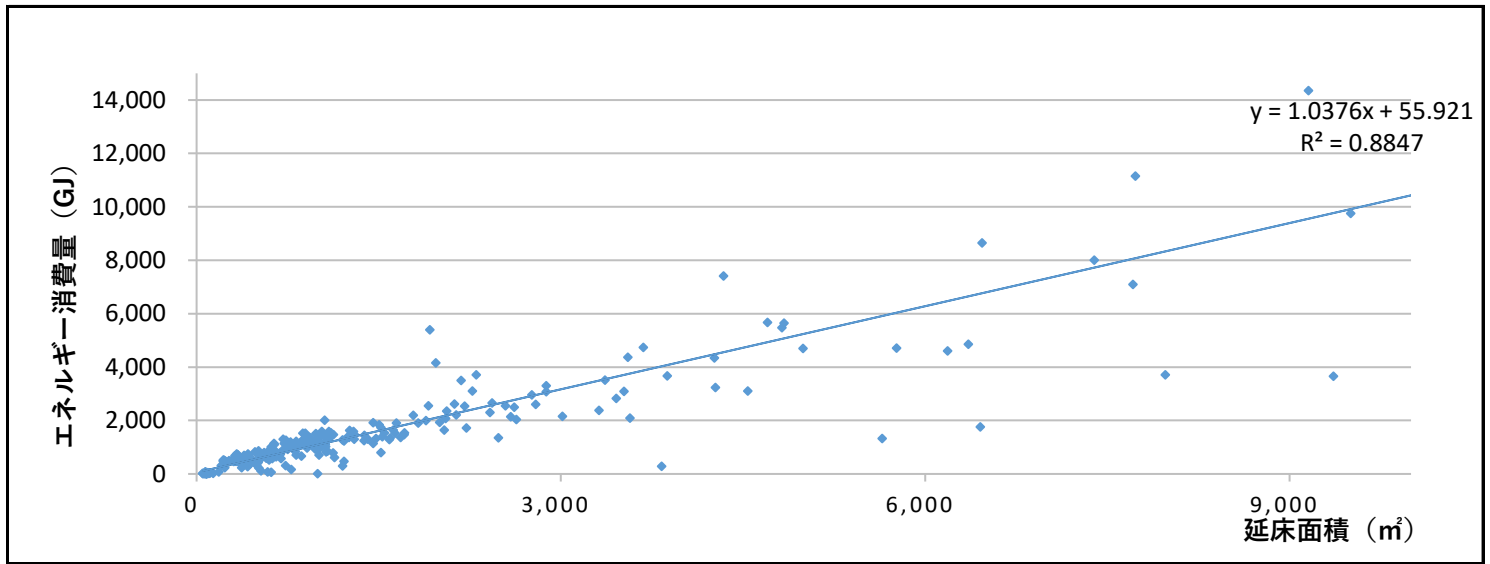
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:278)



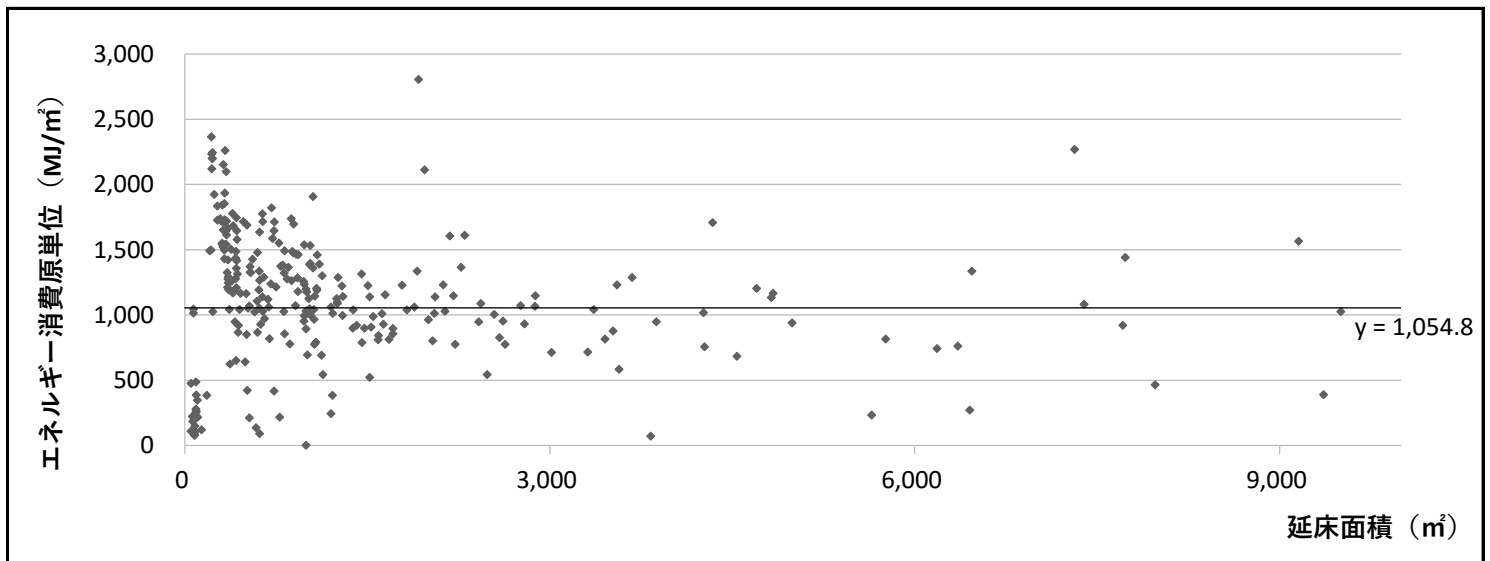
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:270)



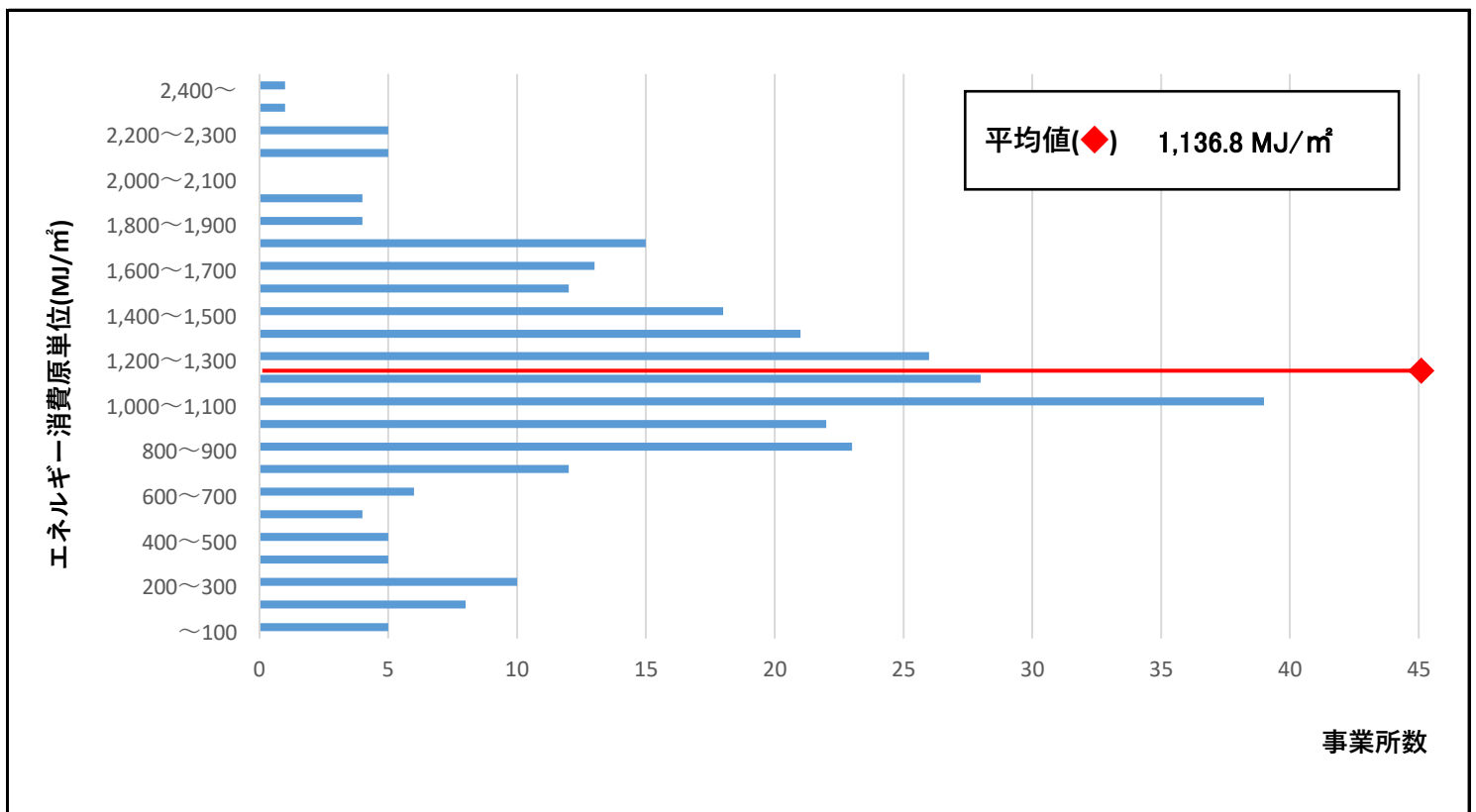
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



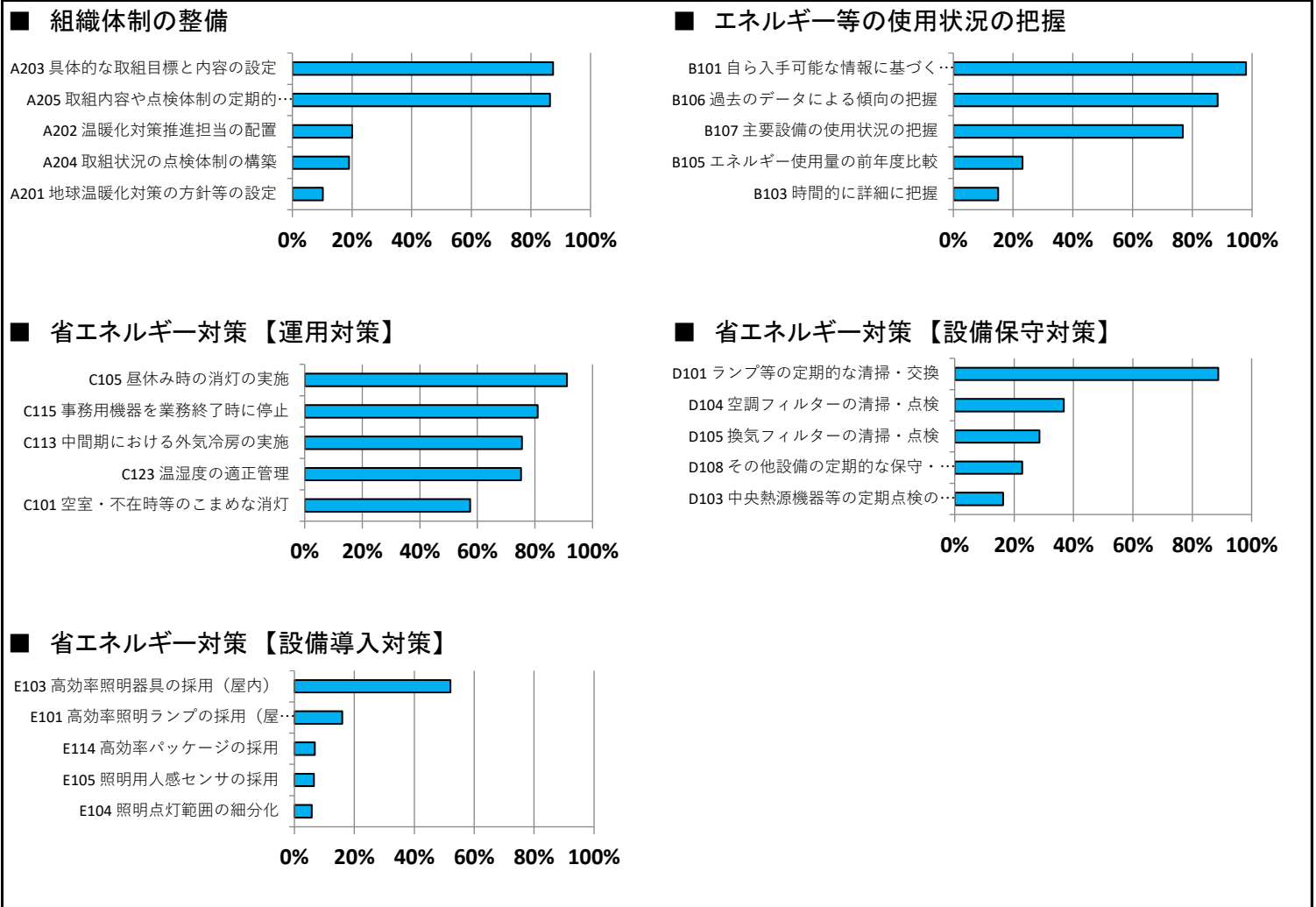
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

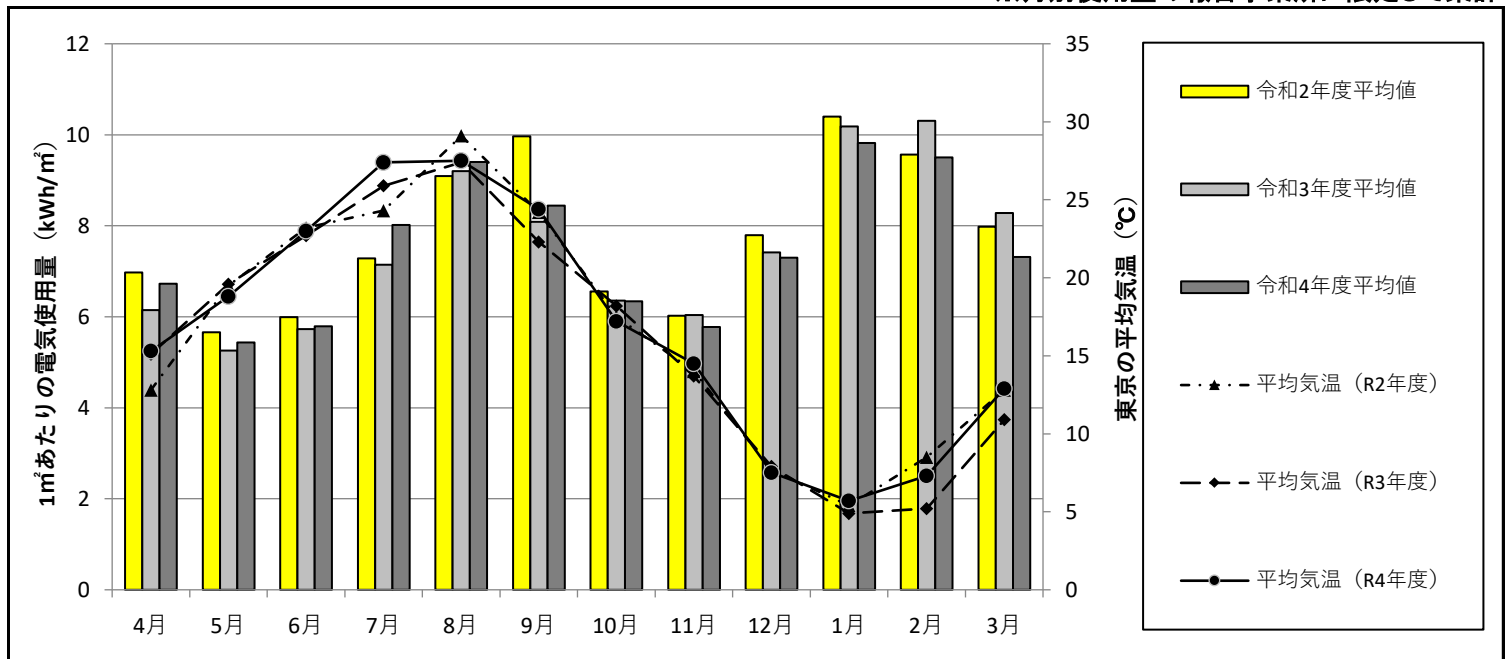


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

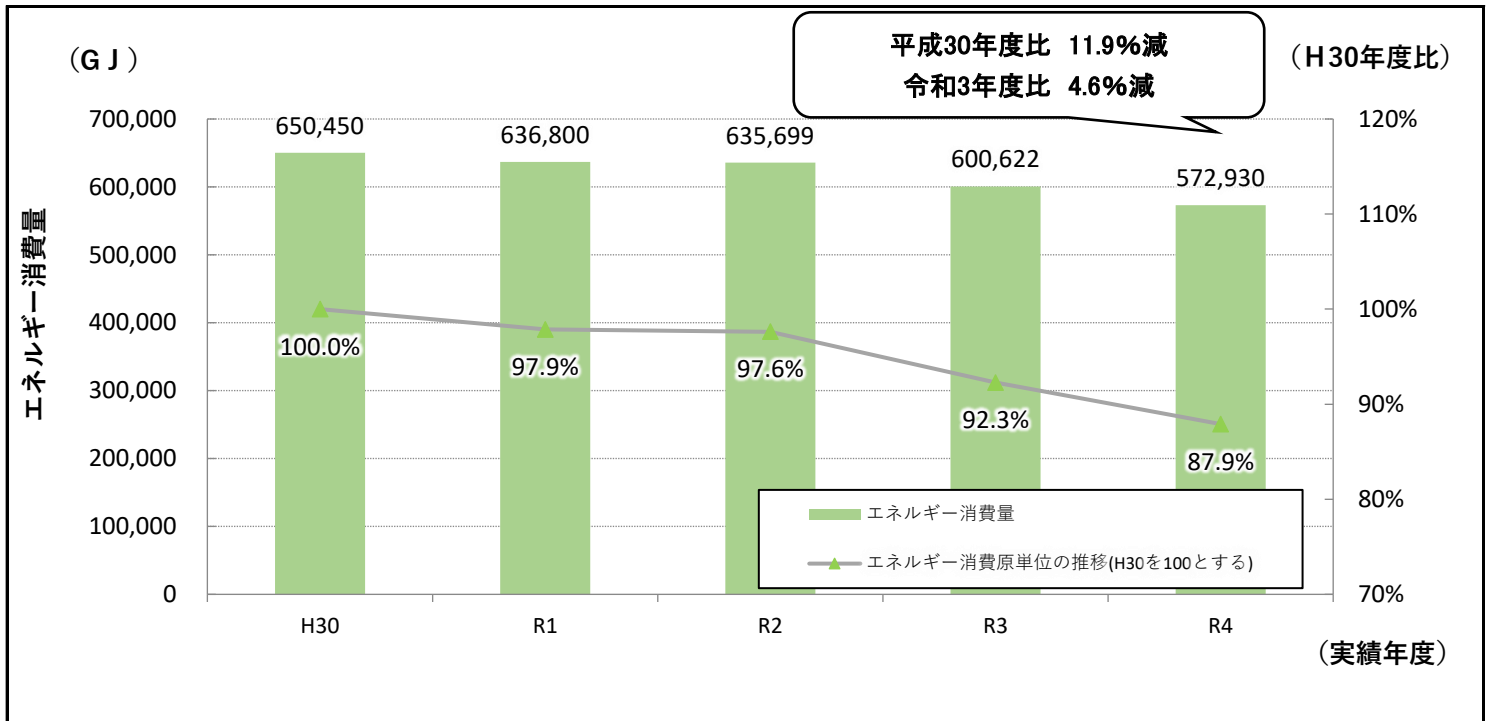
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



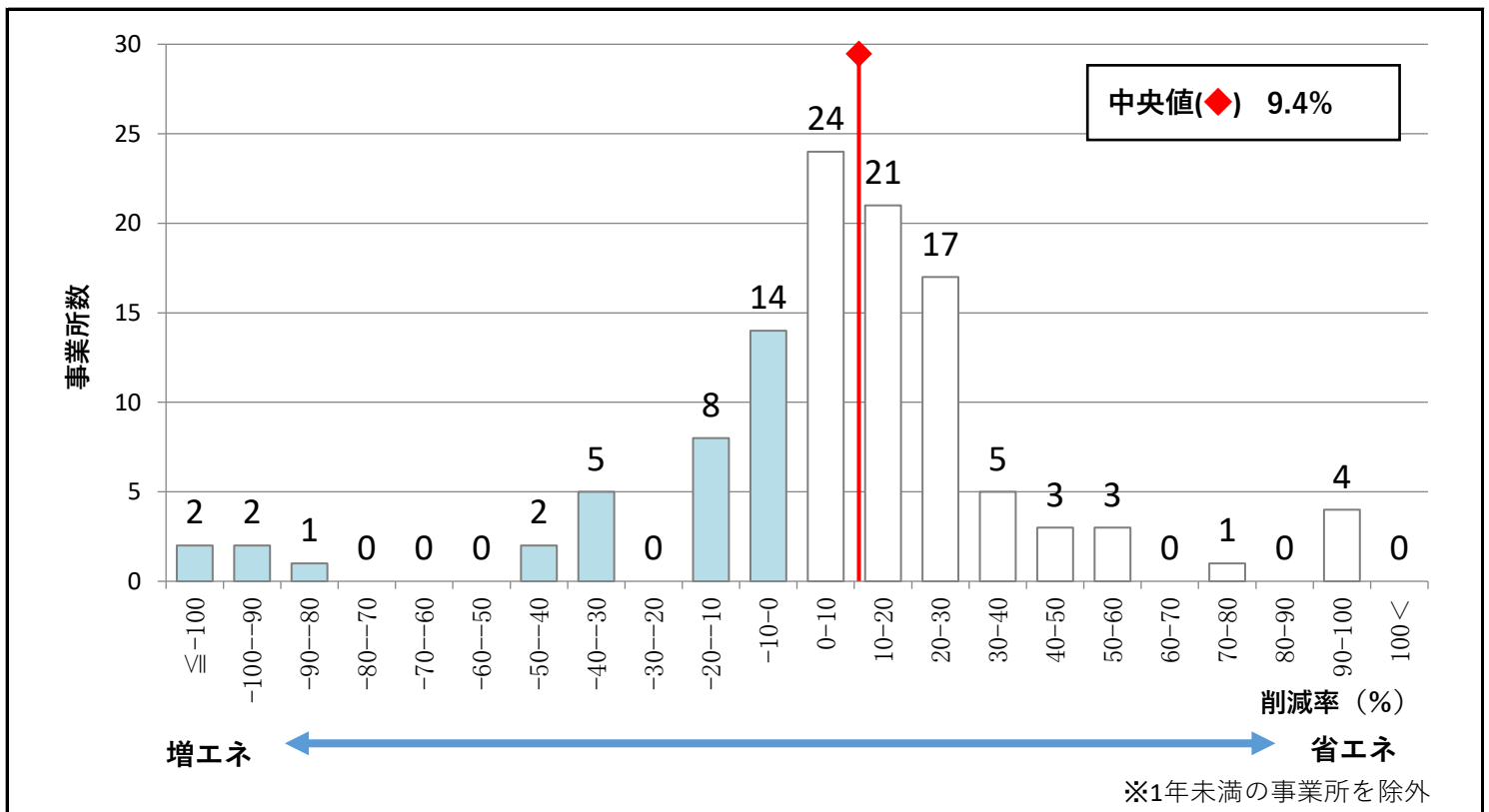
省エネの推進体制を構築しましょう。年間の省エネ目標を定め、PDCAを廻していく体制が望まれます。毎月の電気・ガス・水道の使用量はグラフ化することで過去年度とのトレンド比較が容易になります。エントランスなどに貼ることで職員への啓蒙になり、庁舎全体の省エネが進み、また来庁者にも省エネ活動実績のアピールになります。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類の大分類「E 製造業」 ・報告範囲の主たる用途「工場」
製造業(工場)	240	228	

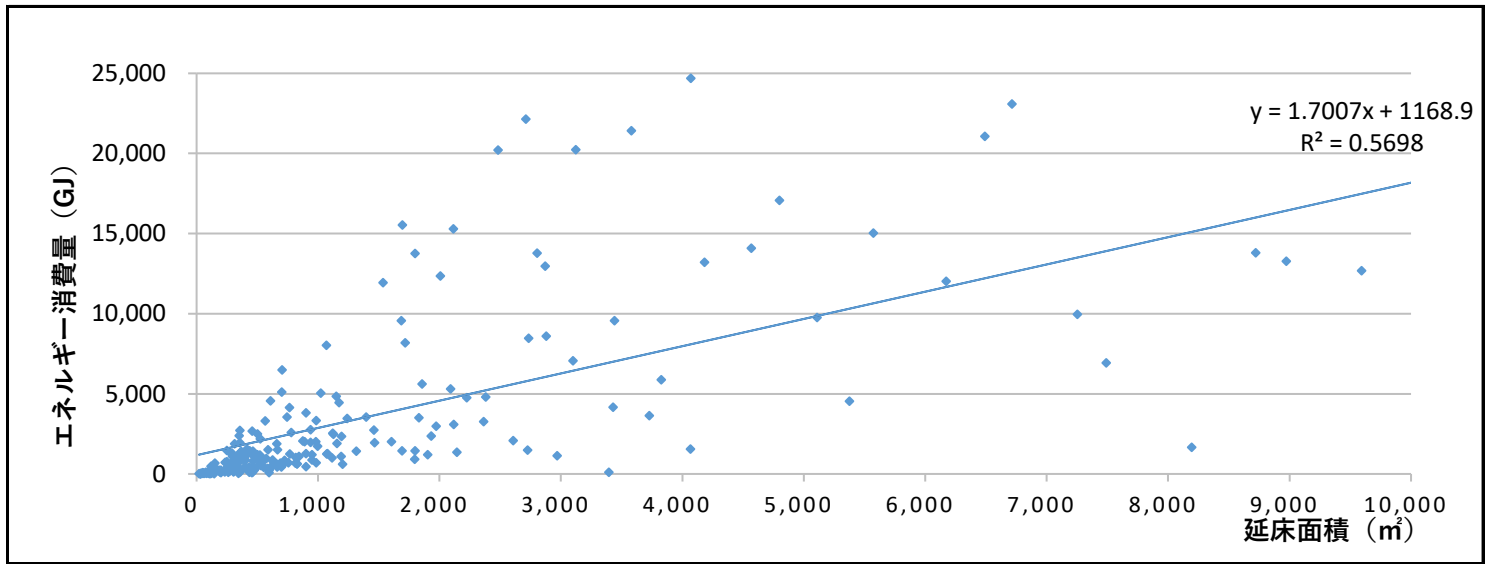
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:116)



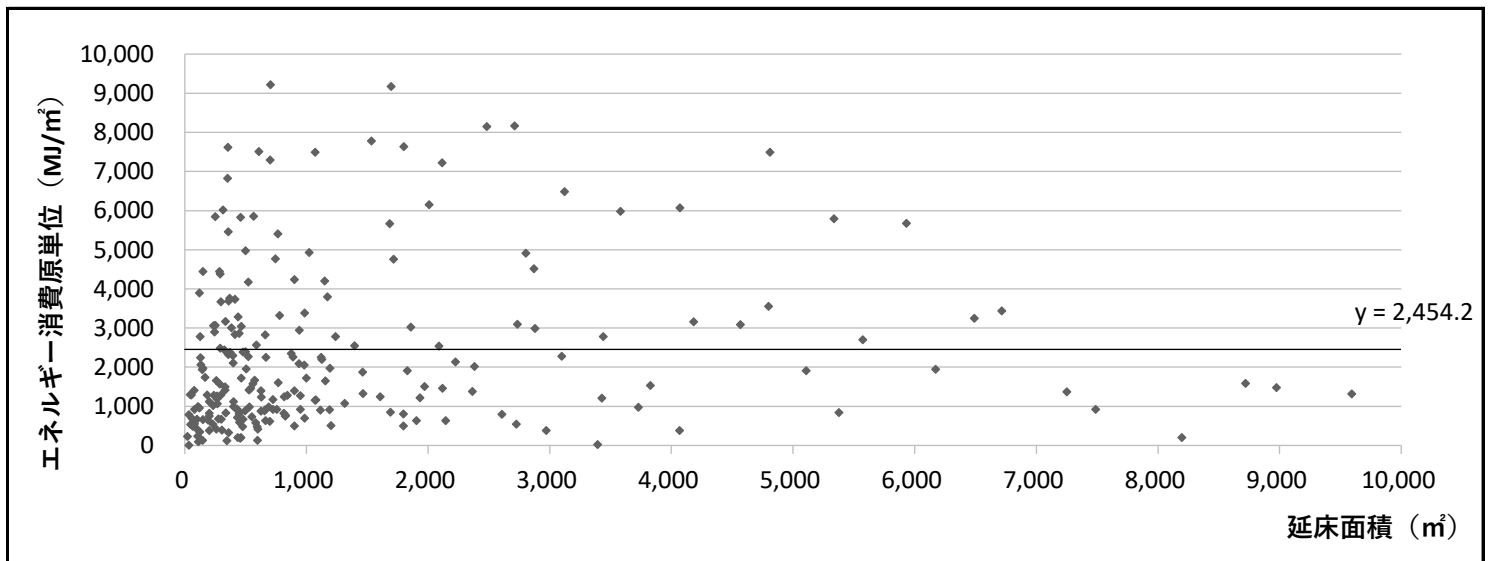
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:112)



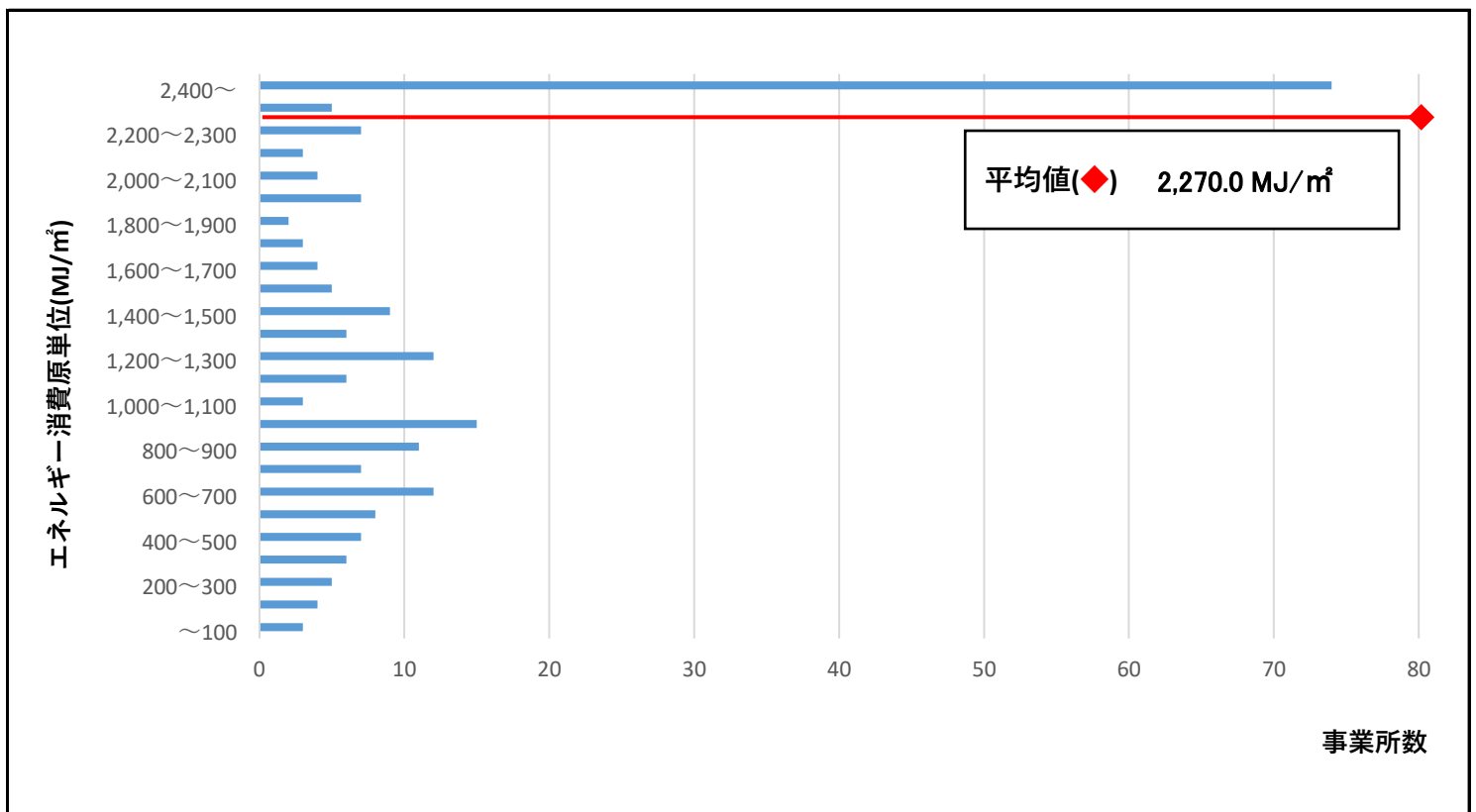
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



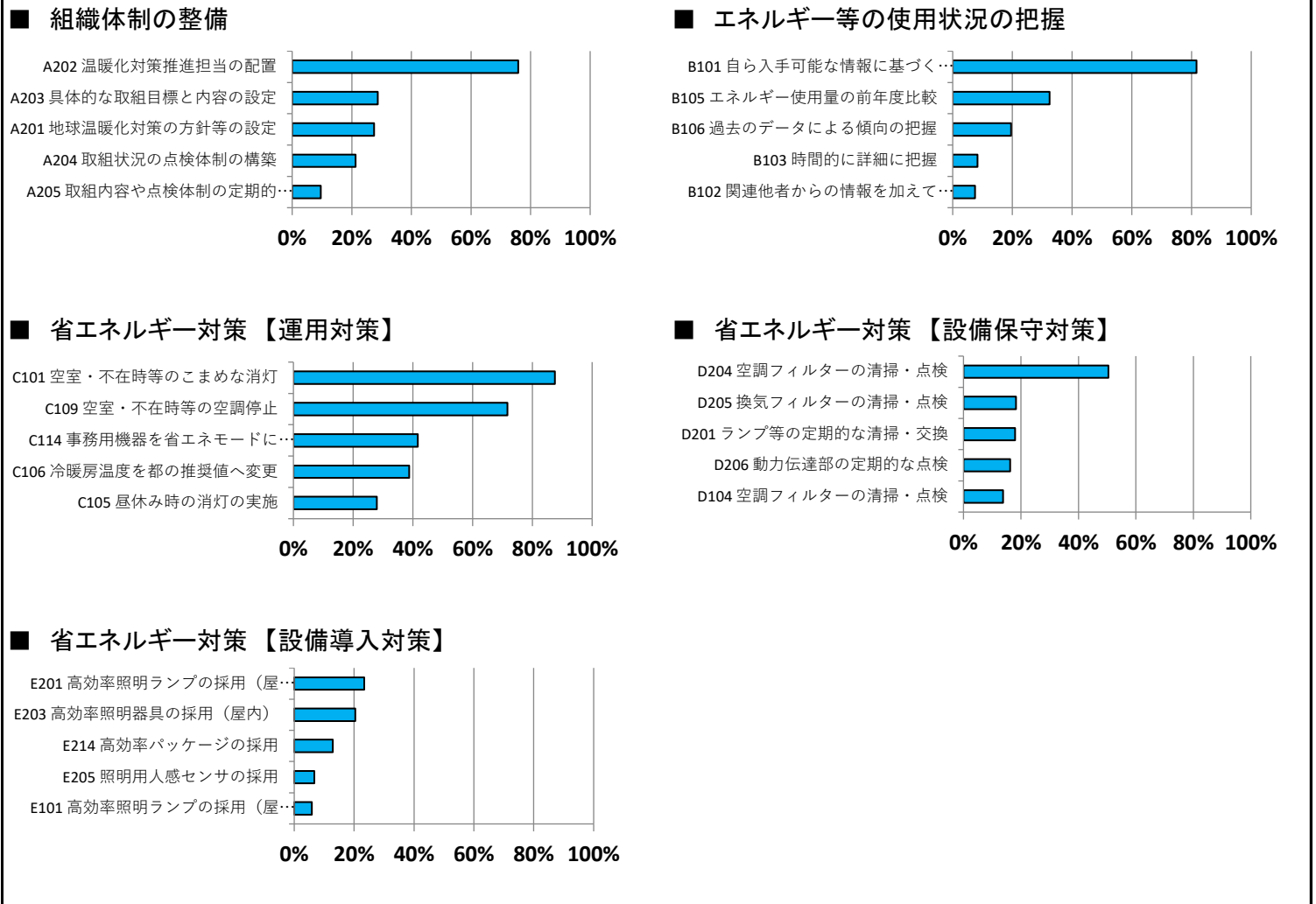
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

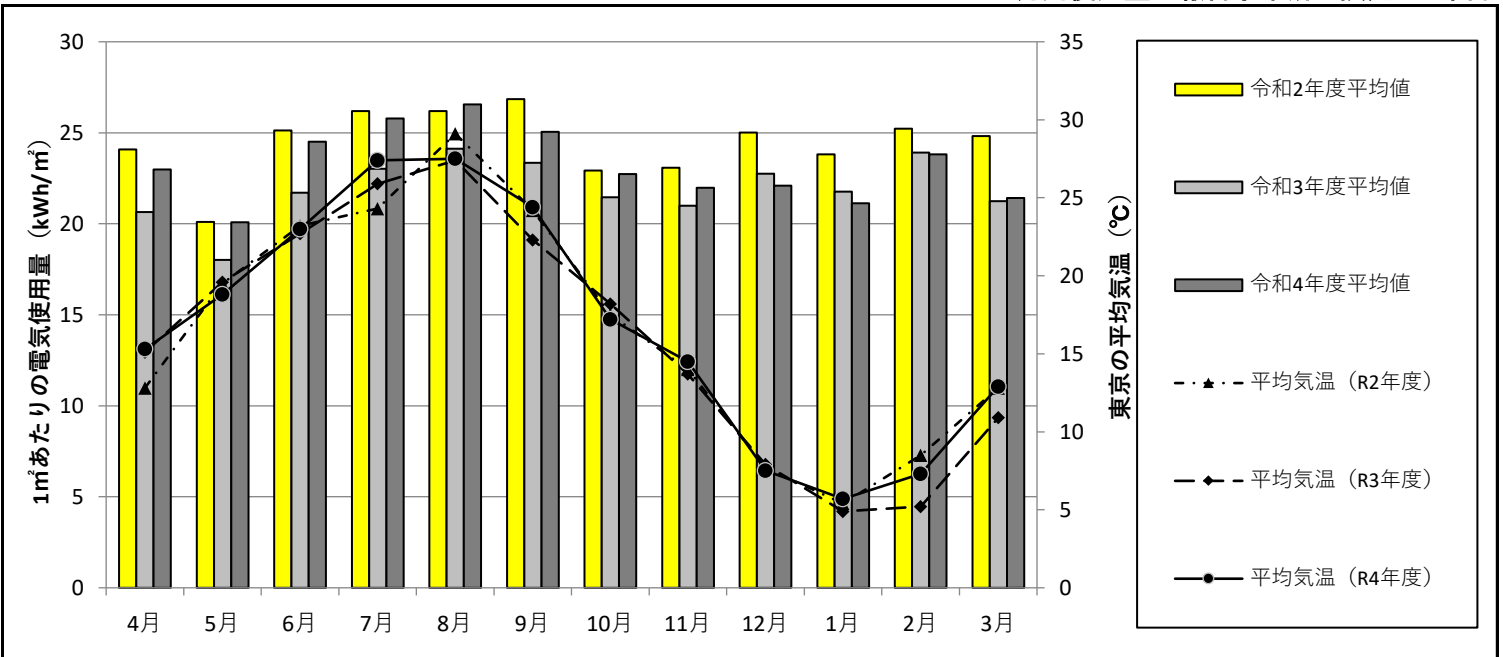


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

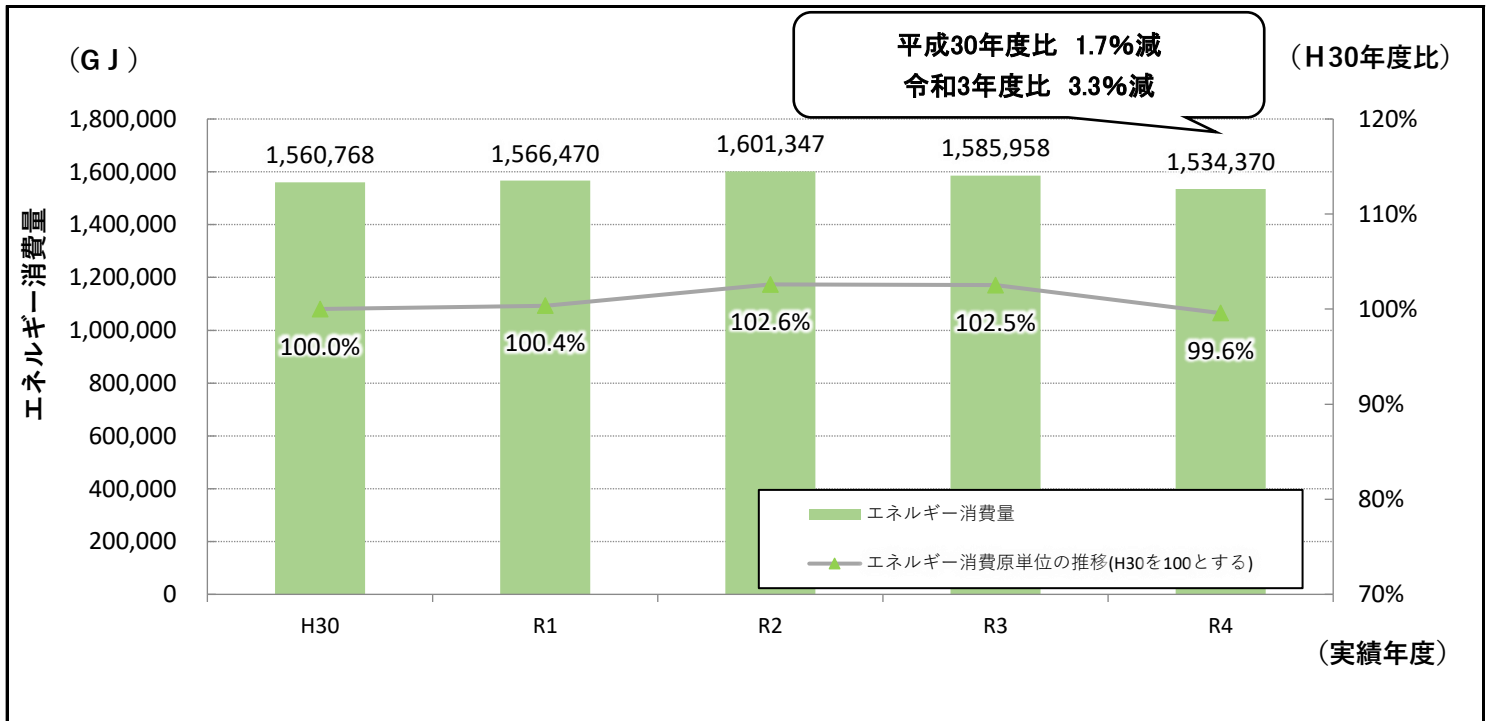
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



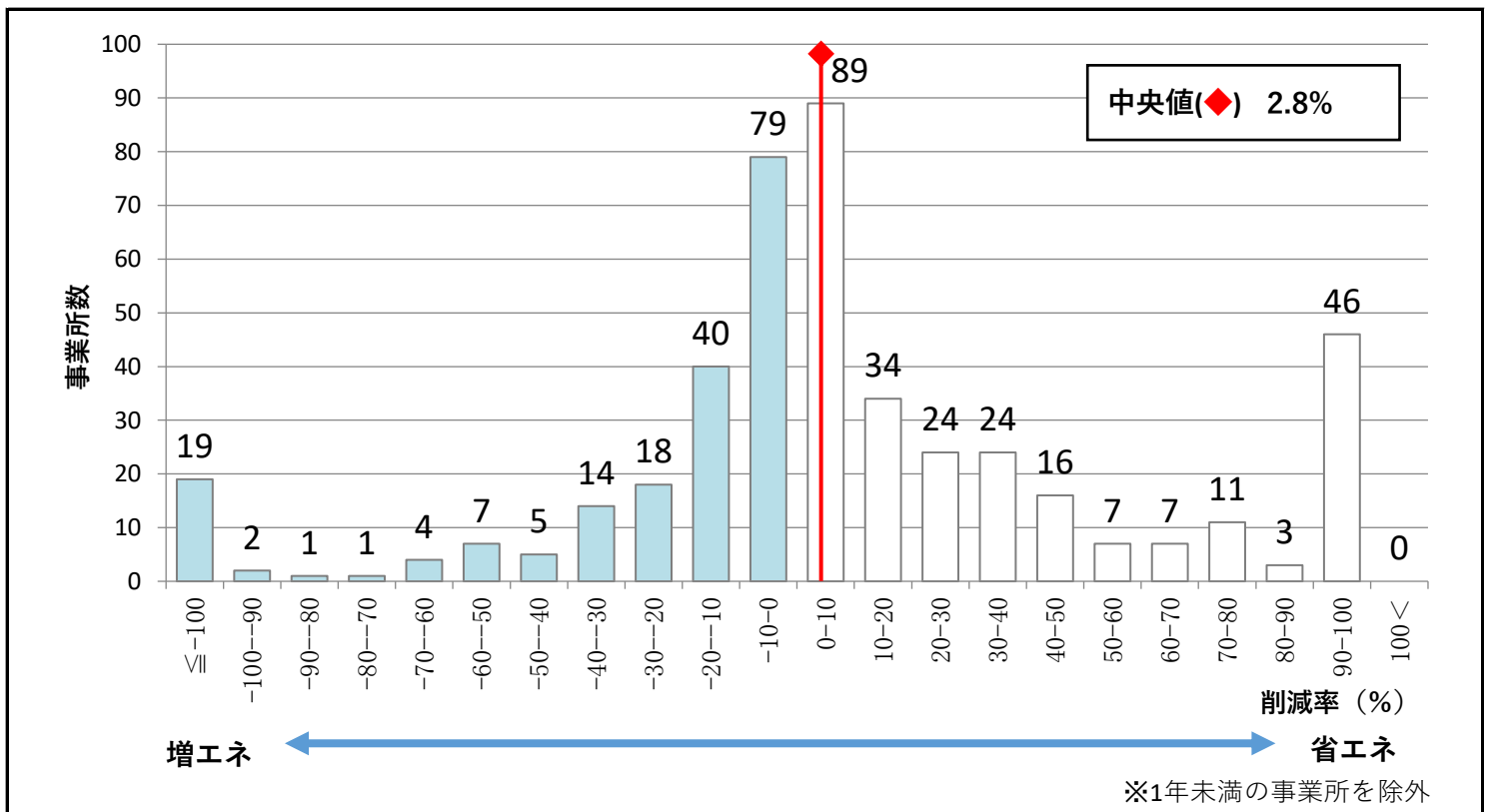
工場における省エネのポイントは、空調、照明以外に、エアコンプレッサーの省エネ、ファン・ポンプへのインバータ制御導入、ボイラの省エネ、炉・乾燥機の断熱強化、平屋屋根への遮熱塗装、太陽光発電の導入、生産のリードタイム短縮等、職種によって多岐にわたります。自社に適した対策を選定してください。高効率設備の導入についても積極的にご計画ください。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類（36水道業） 「360* 管理,補助的経済活動を行う事業所」 「3611 上水道業」「3621 工業用水道業」 ・報告範囲の主たる用途「工場」「その他」
上水道施設	499	486	

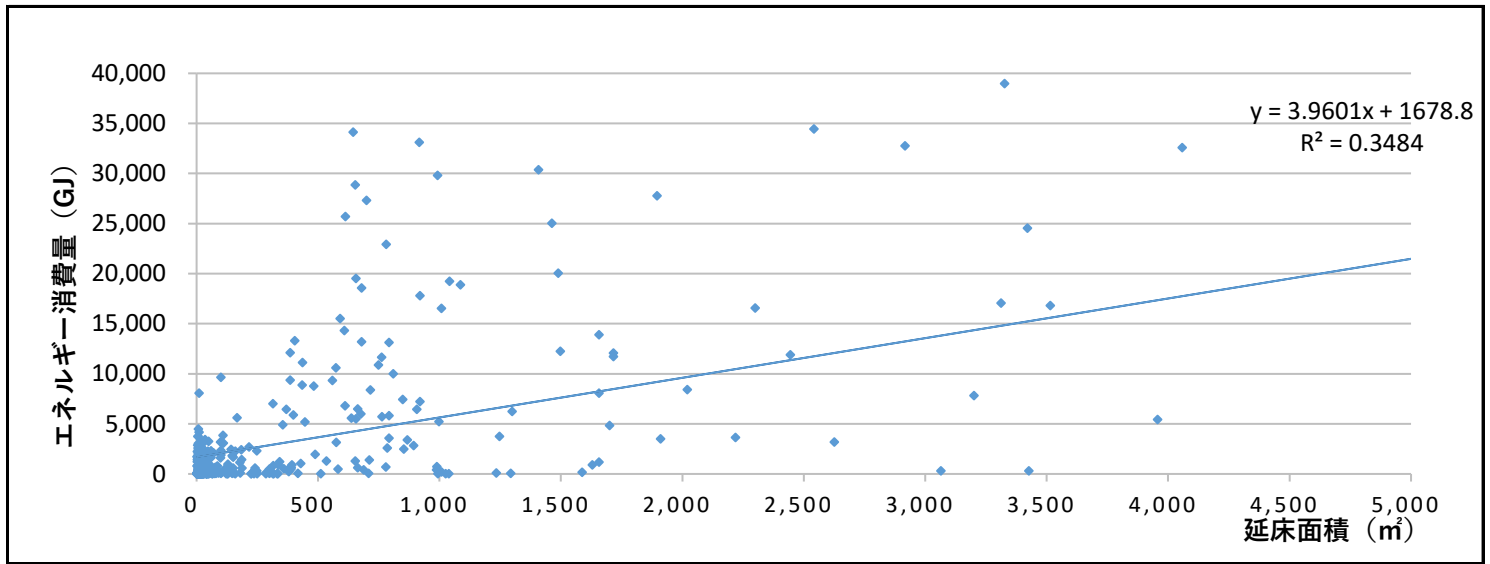
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:454)



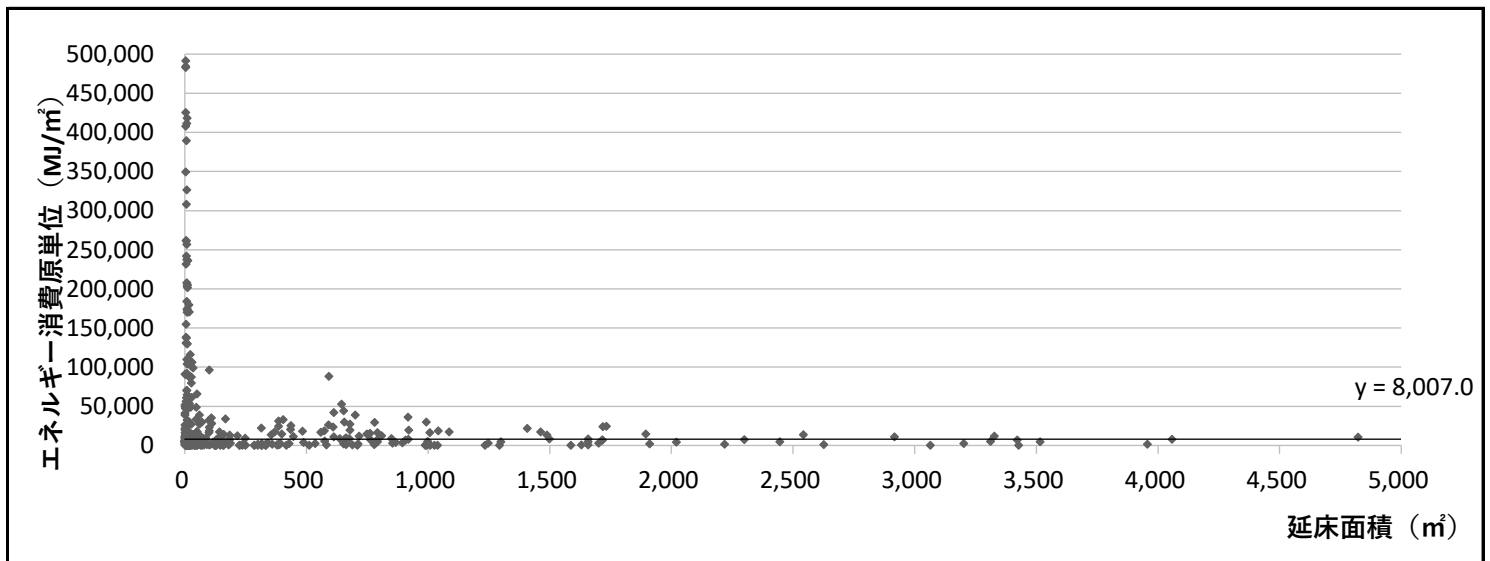
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:451)



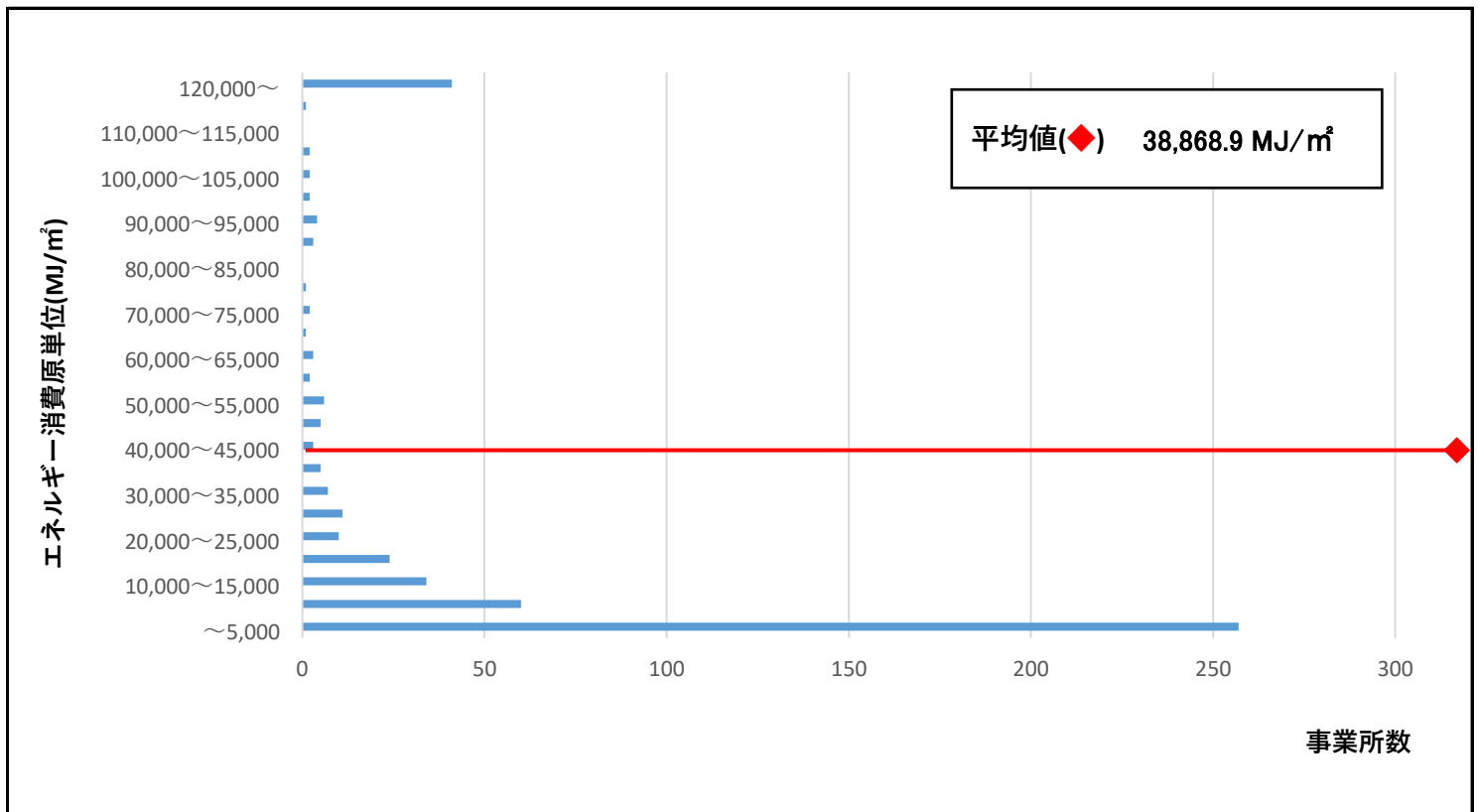
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



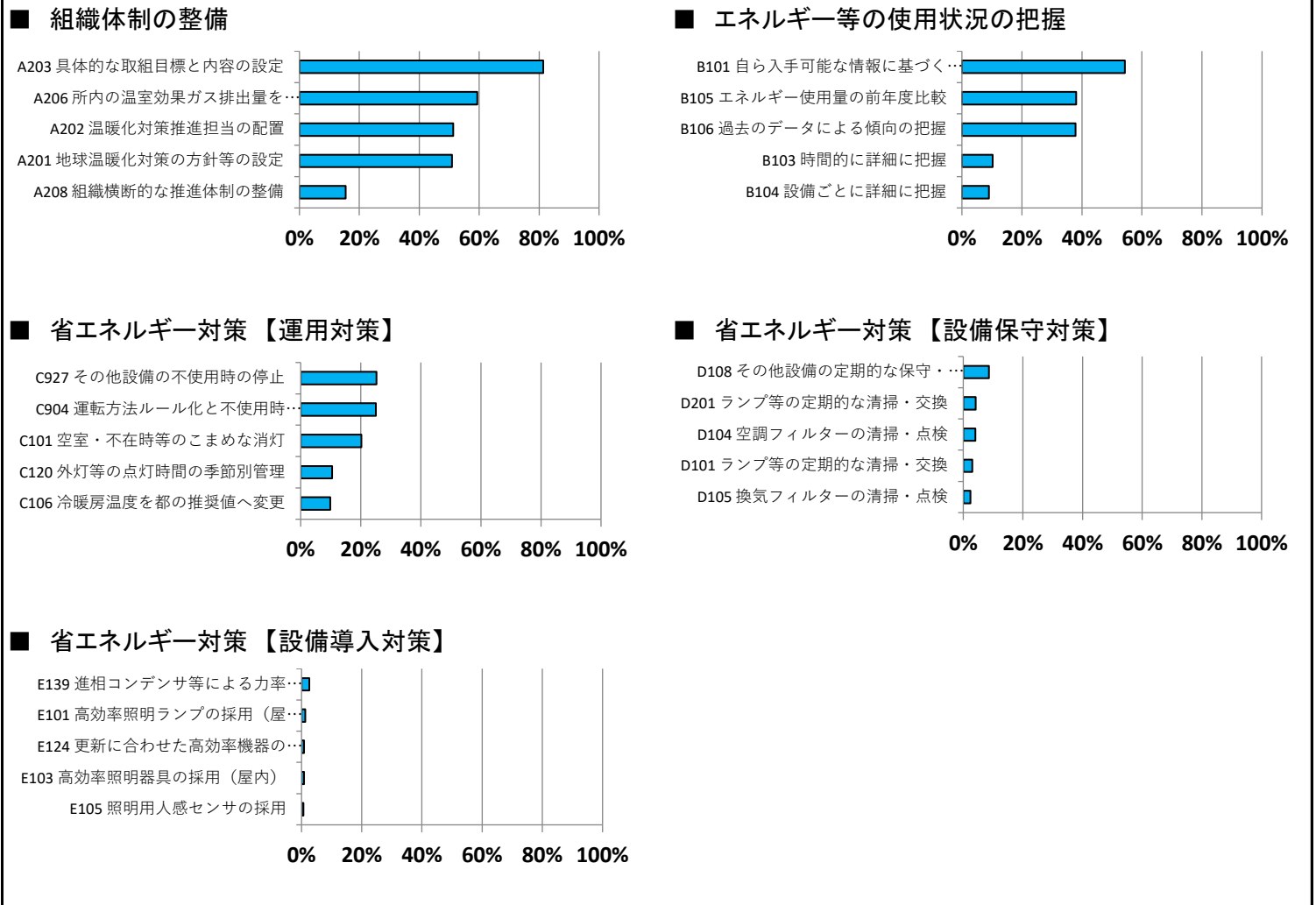
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

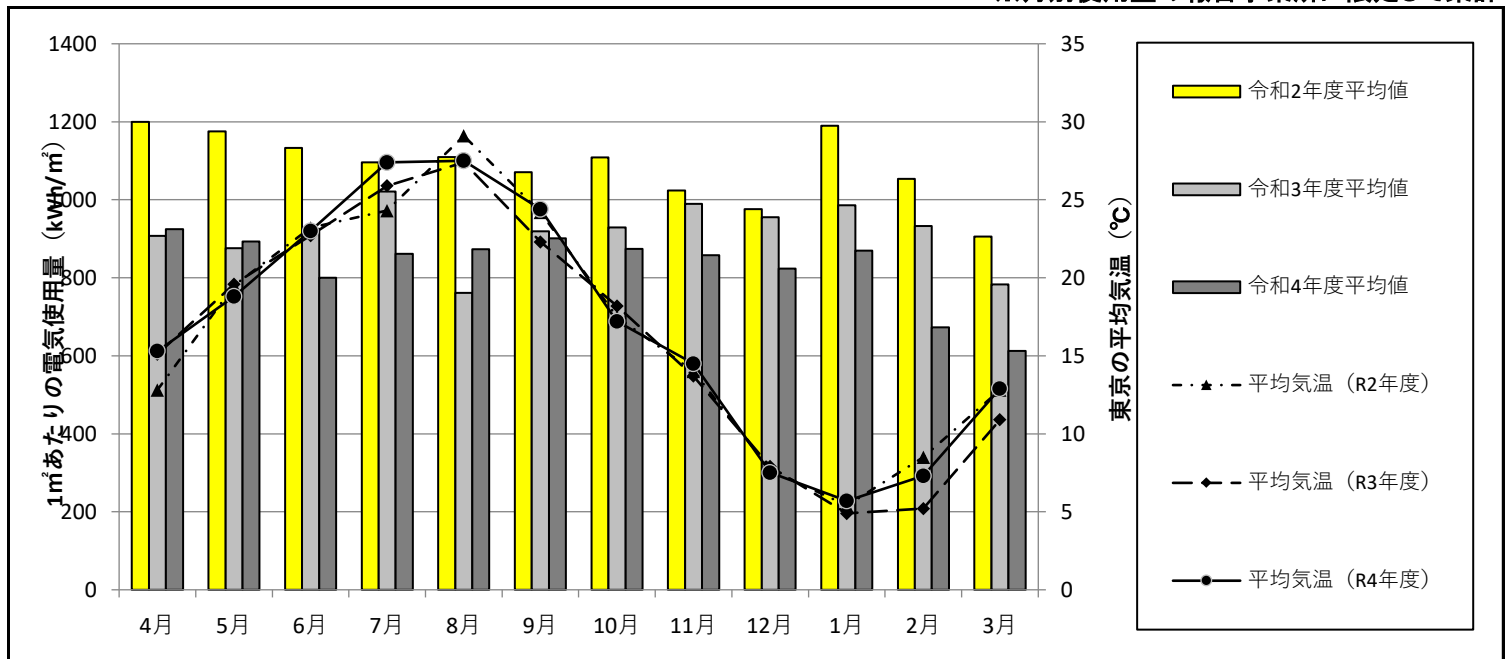


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

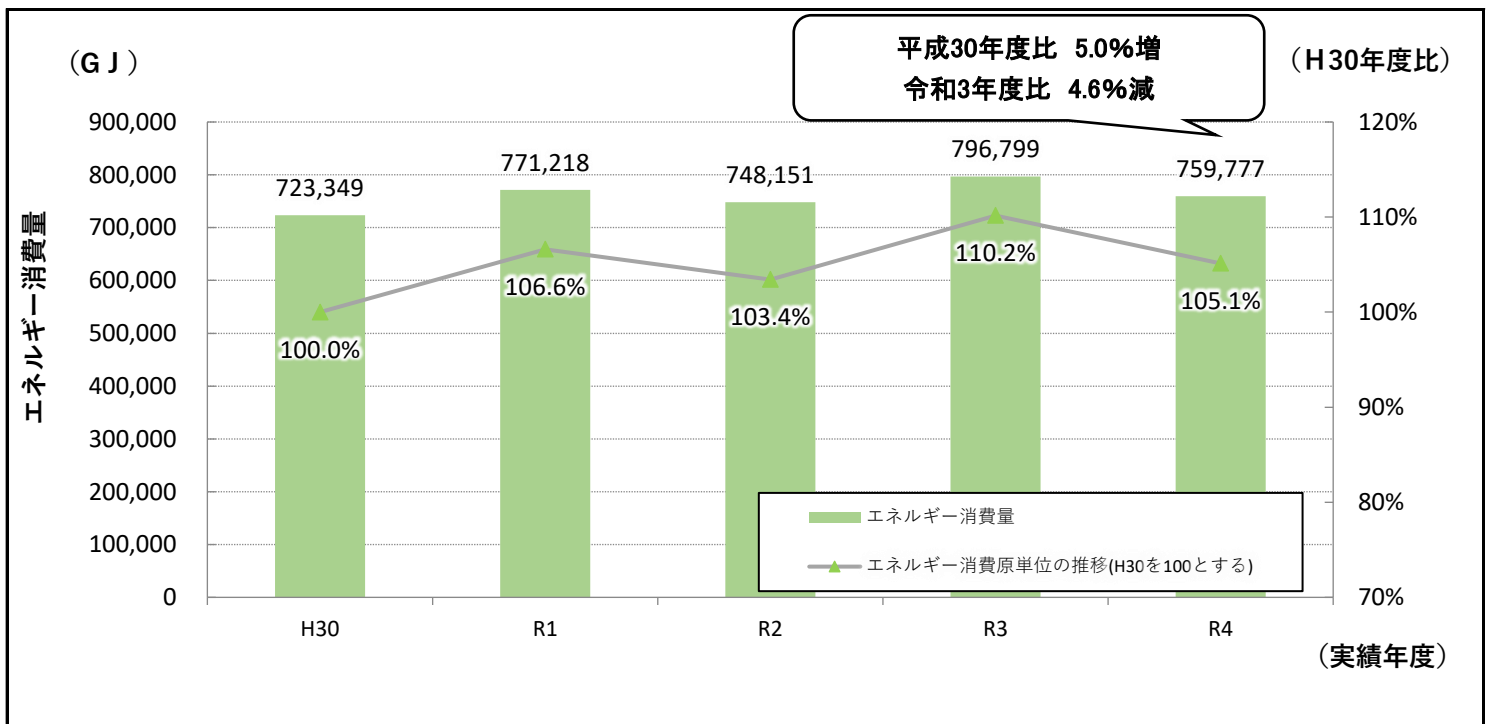
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



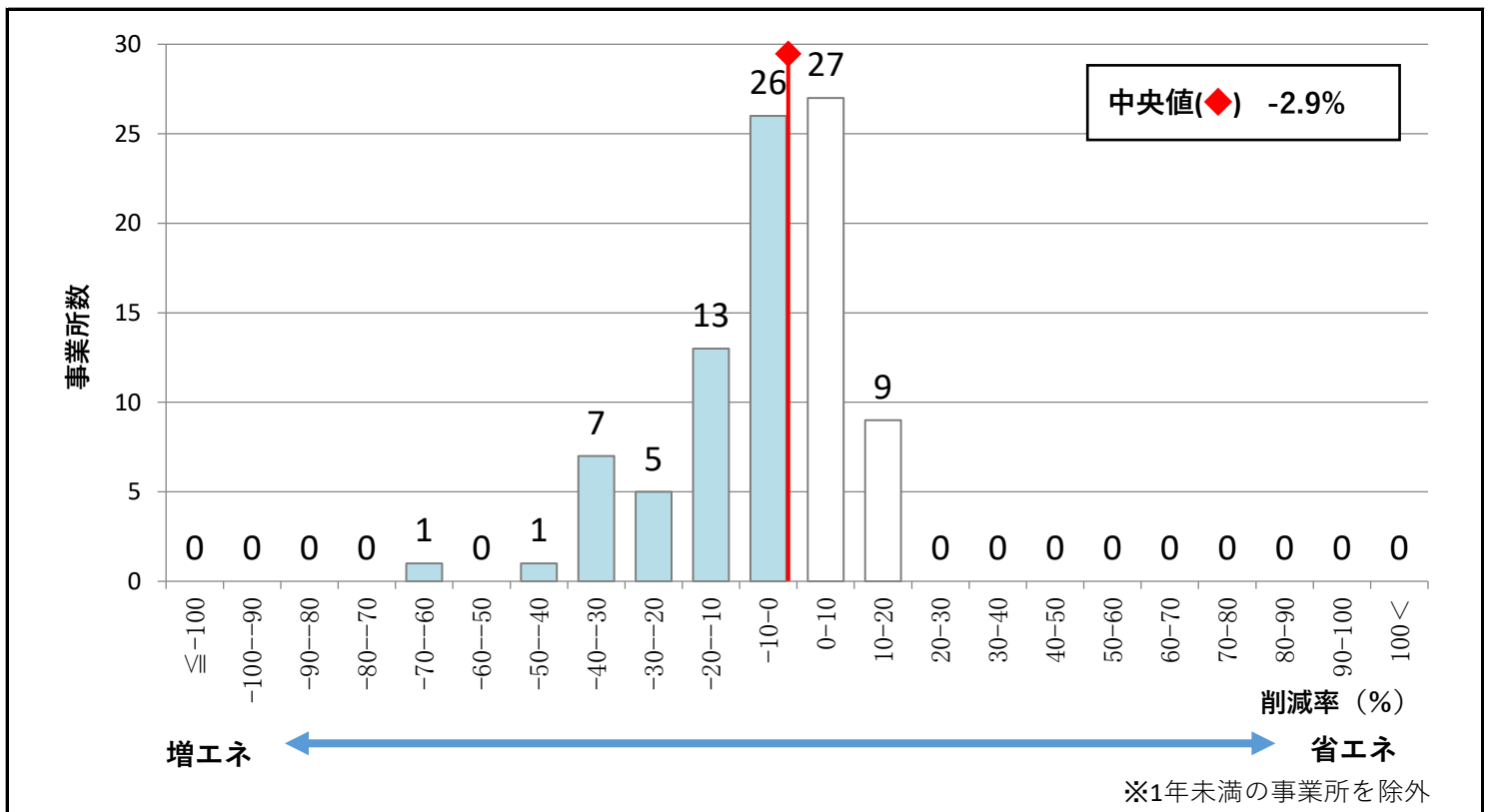
空調、照明の省エネがベースになりますが、ポンプが多いので、高効率モーターの導入や可能な箇所についてはインバータ制御の導入をご計画ください。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類 「3631 下水道処理施設維持管理業」 「3632 下水道管路施設維持管理業」 ・報告範囲の主たる用途「工場」「その他」
下水道施設	102	97	

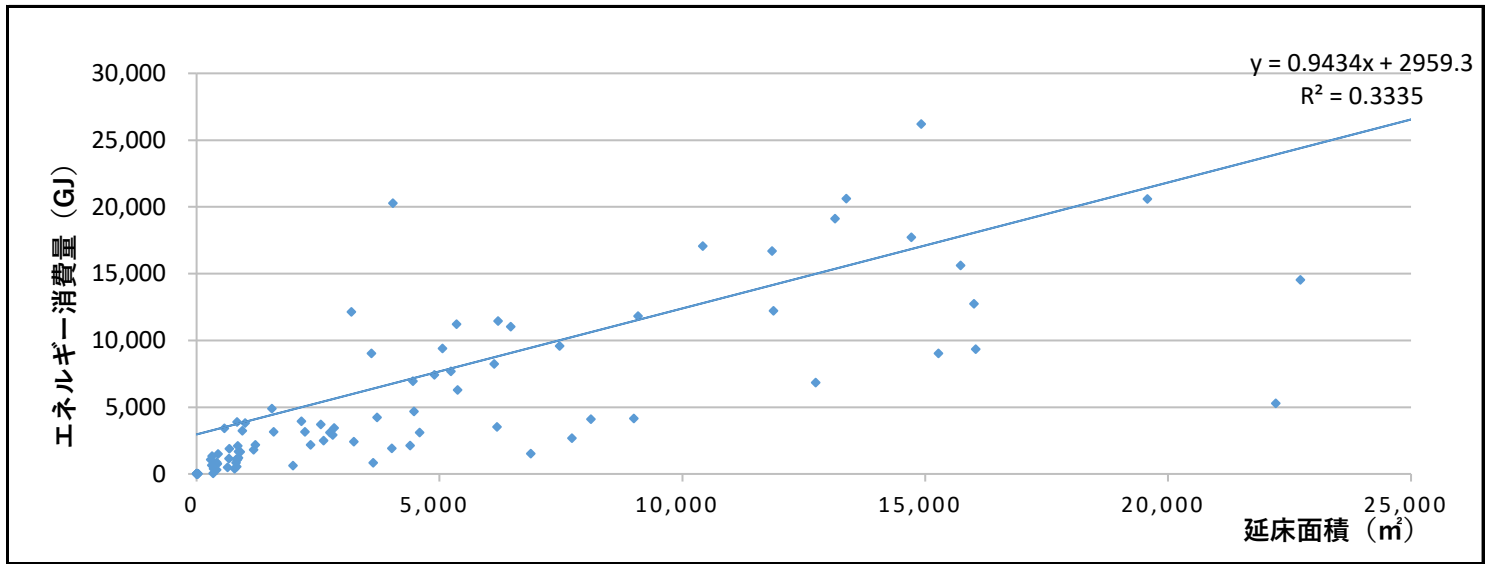
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:92)



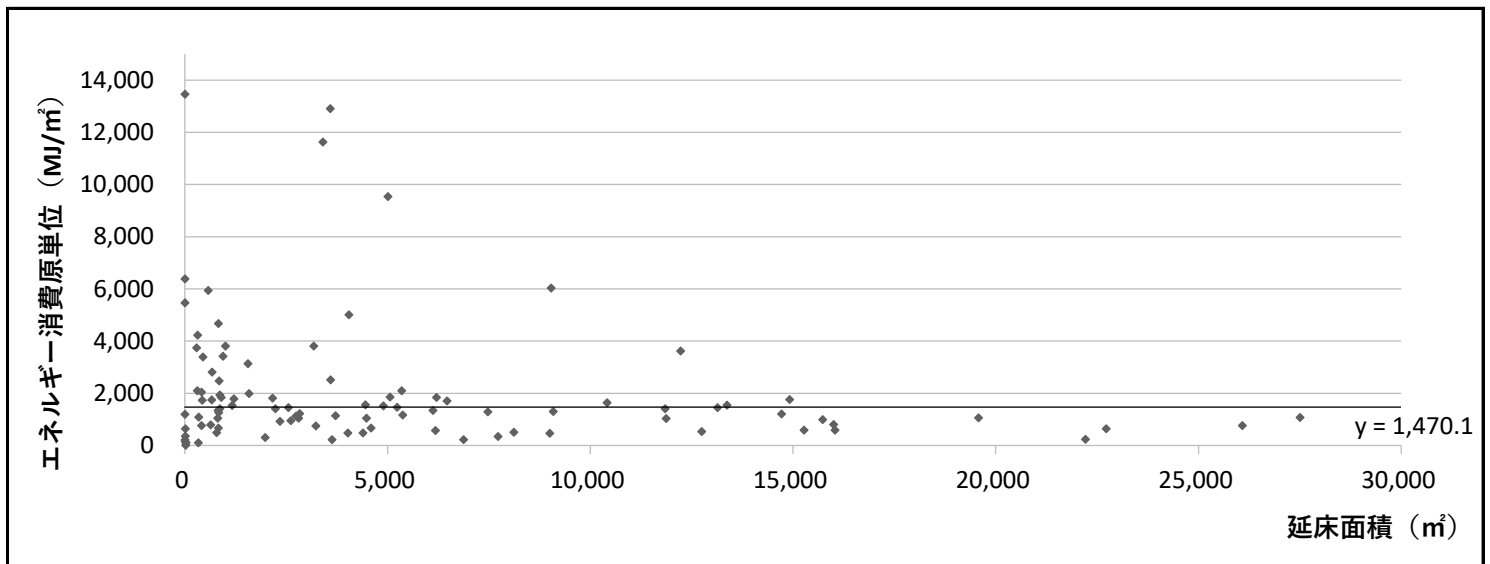
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:89)



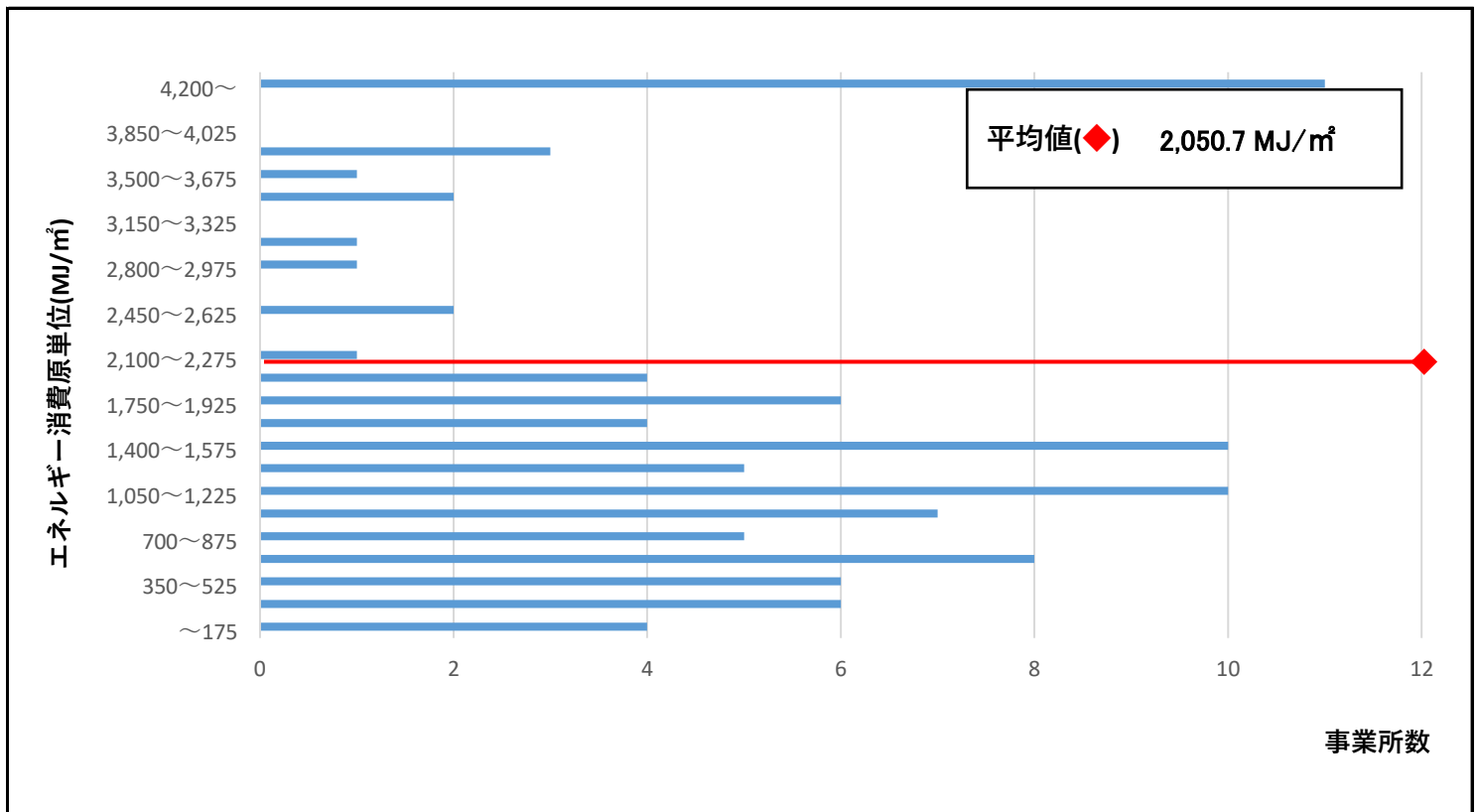
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



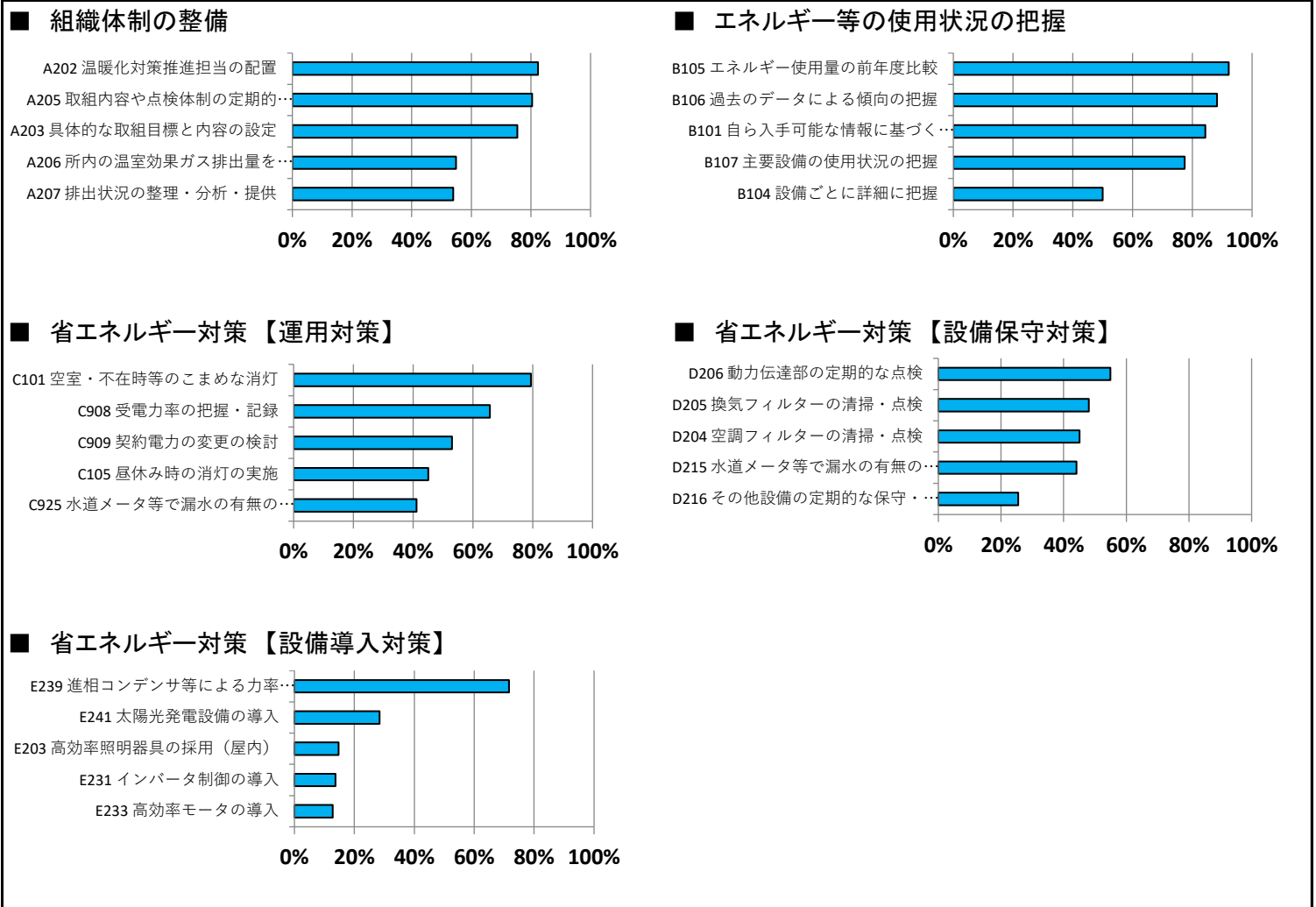
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

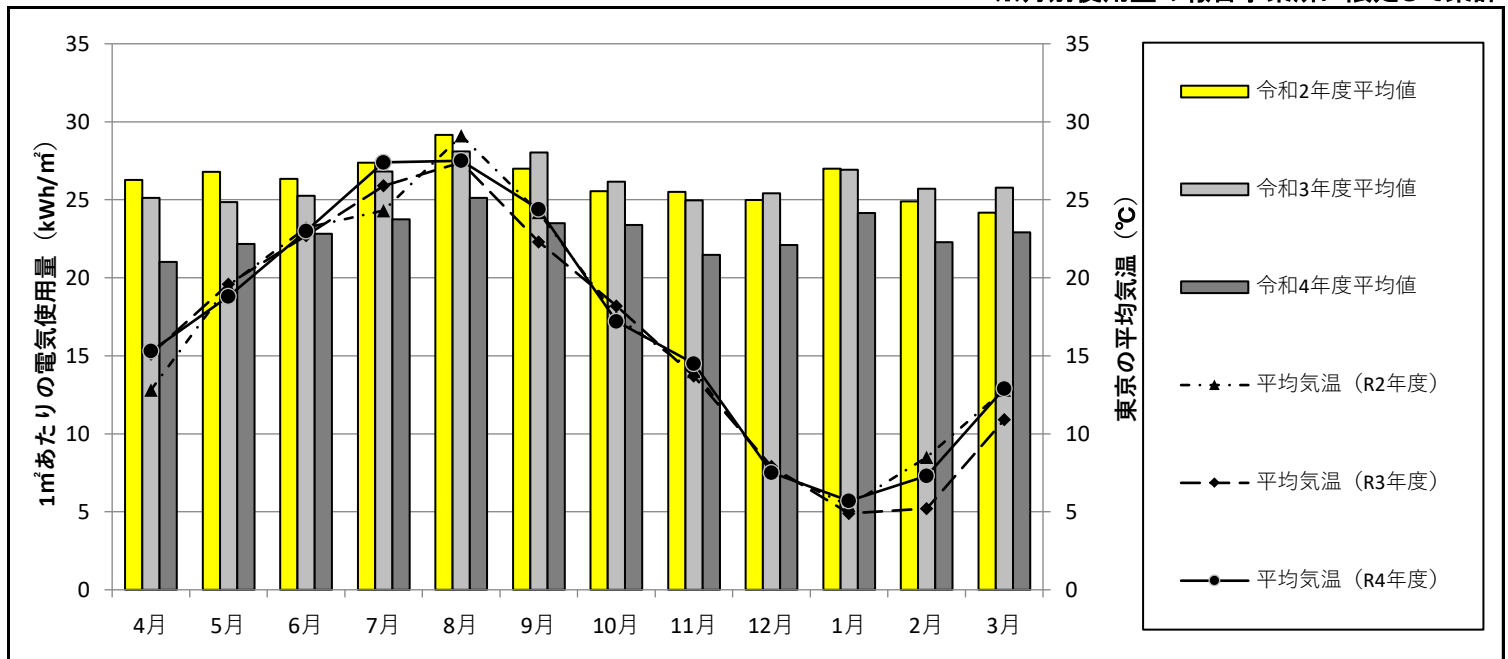


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

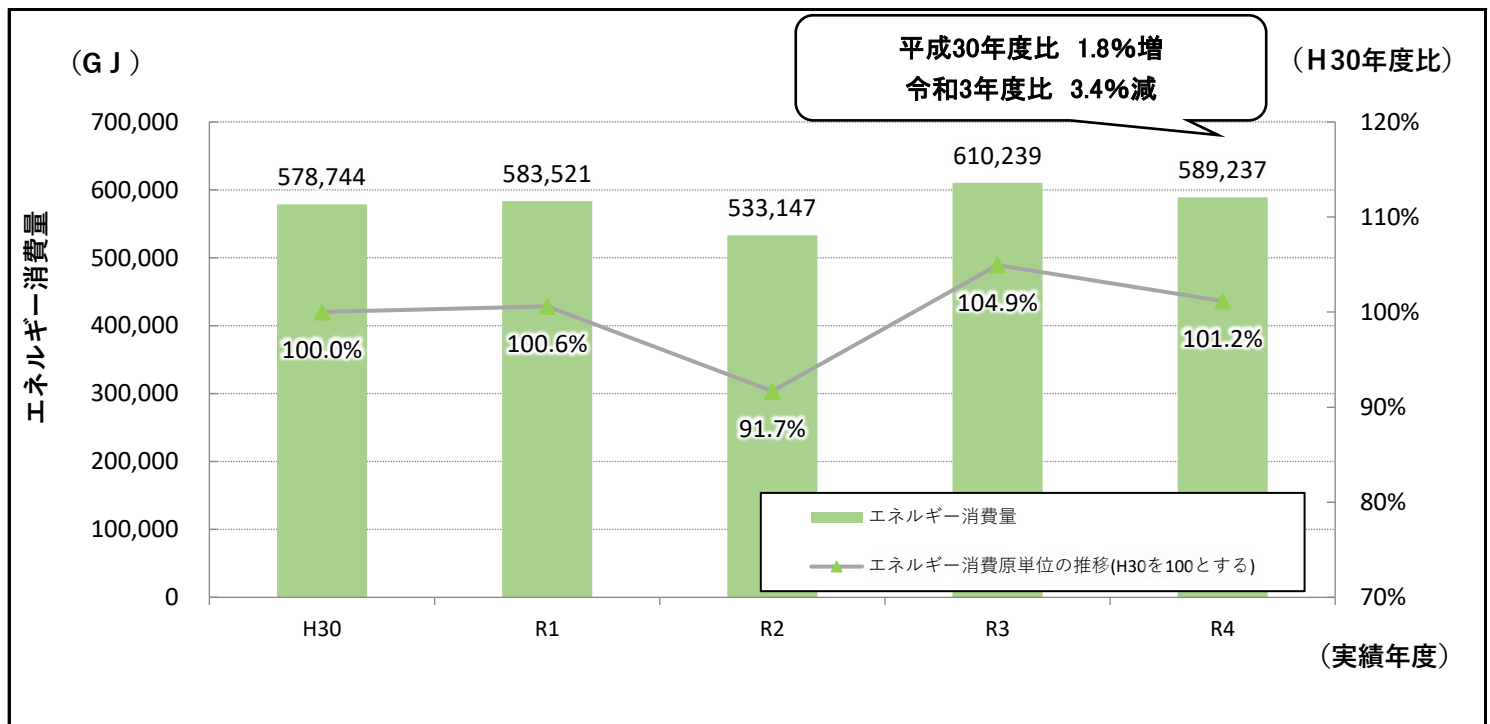
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



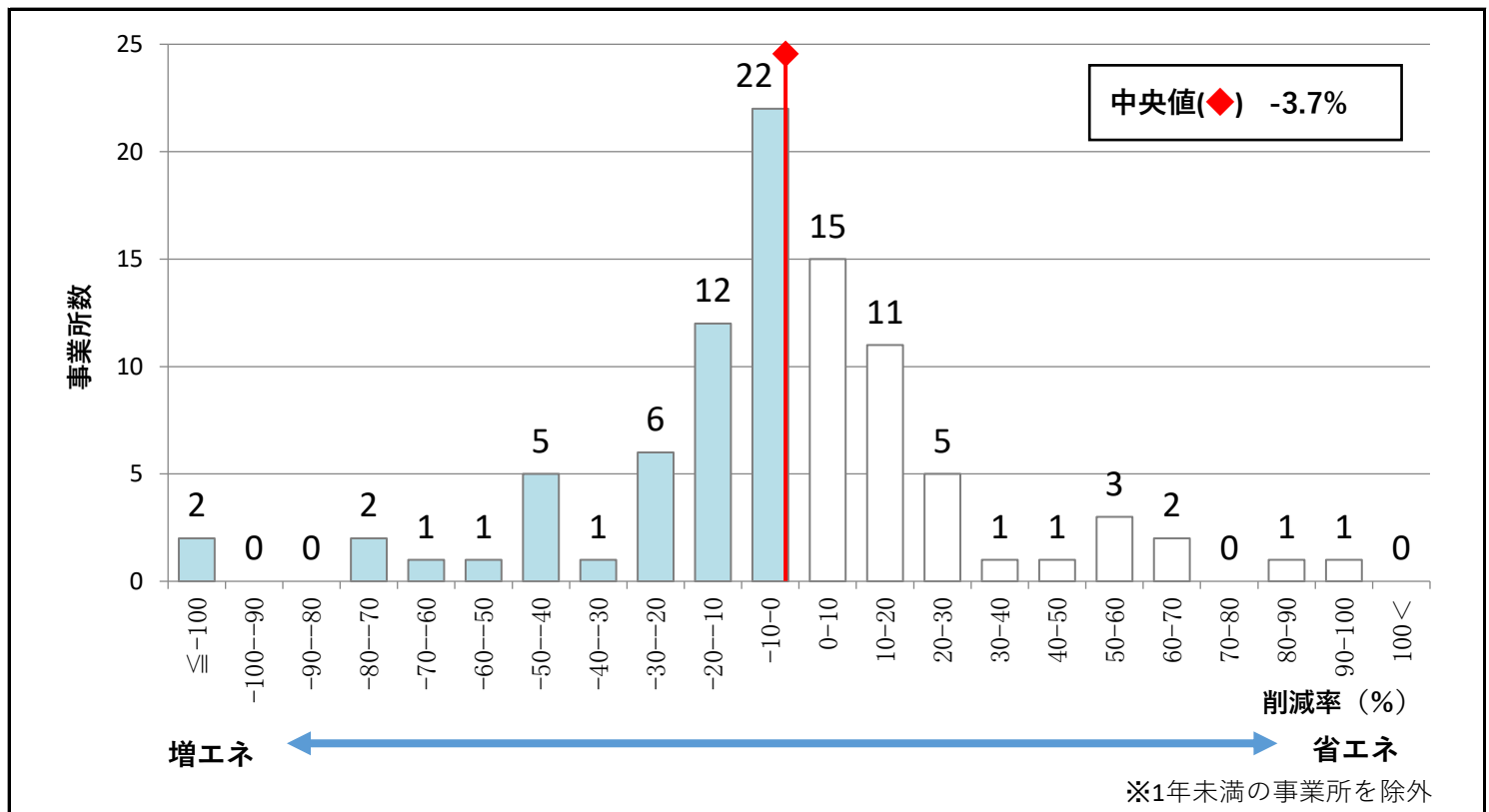
空調、照明の省エネがベースになりますが、ポンプが多いので、高効率モーターの導入や可能な箇所についてはインバータ制御の導入をご計画ください。また下水道施設では防臭対策としての換気ファン動力が大きいいため、ファンへのインバータ制御の導入が特に効果的です。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「88** 廃棄物処理業」 ・報告範囲の主たる用途「工場」「その他」
廃棄物処理施設	142	137	

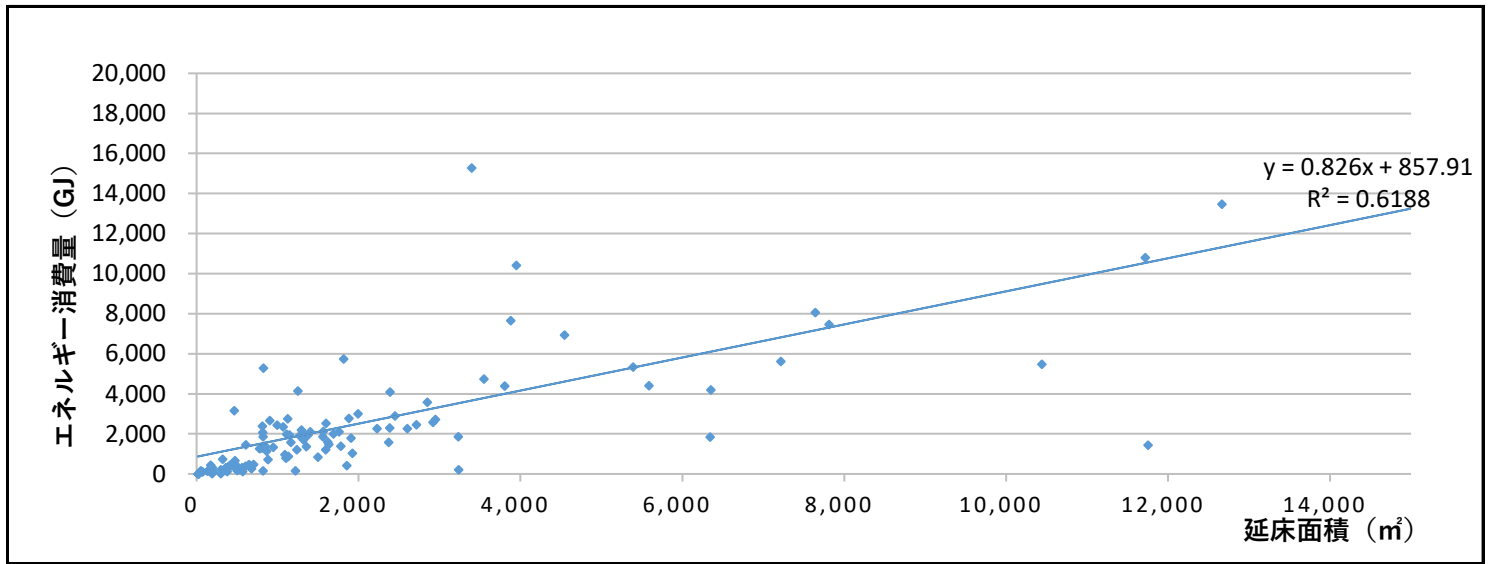
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:93)



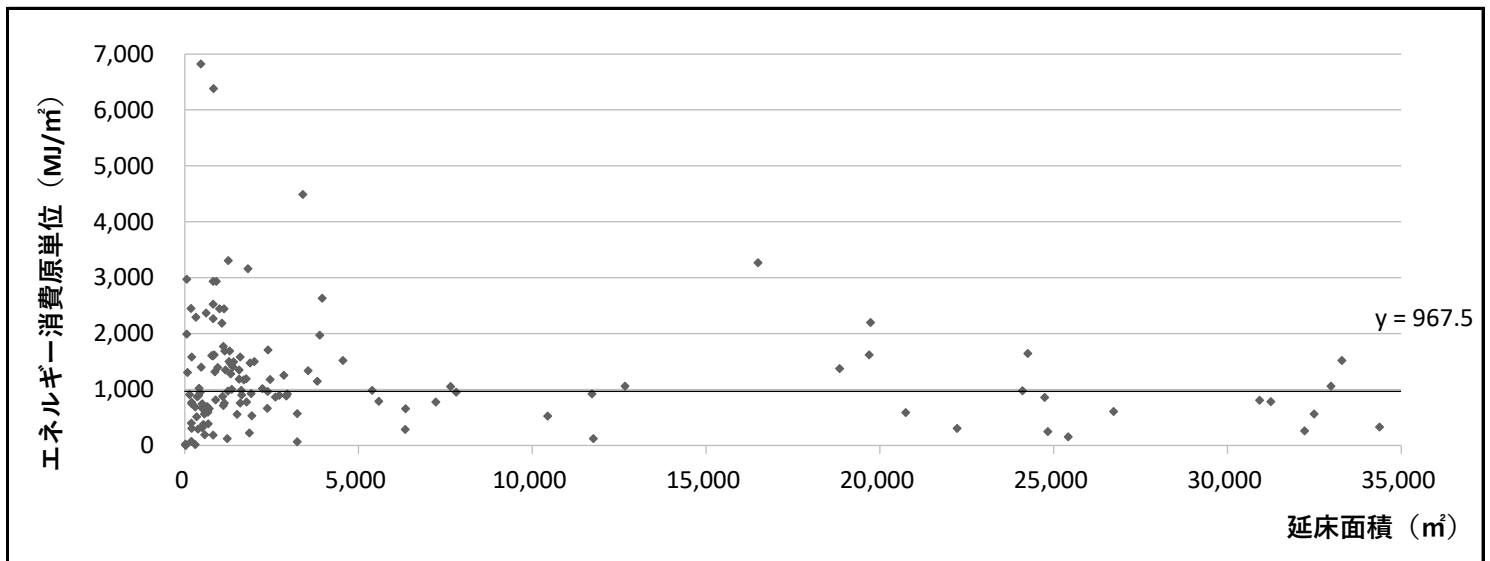
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:92)



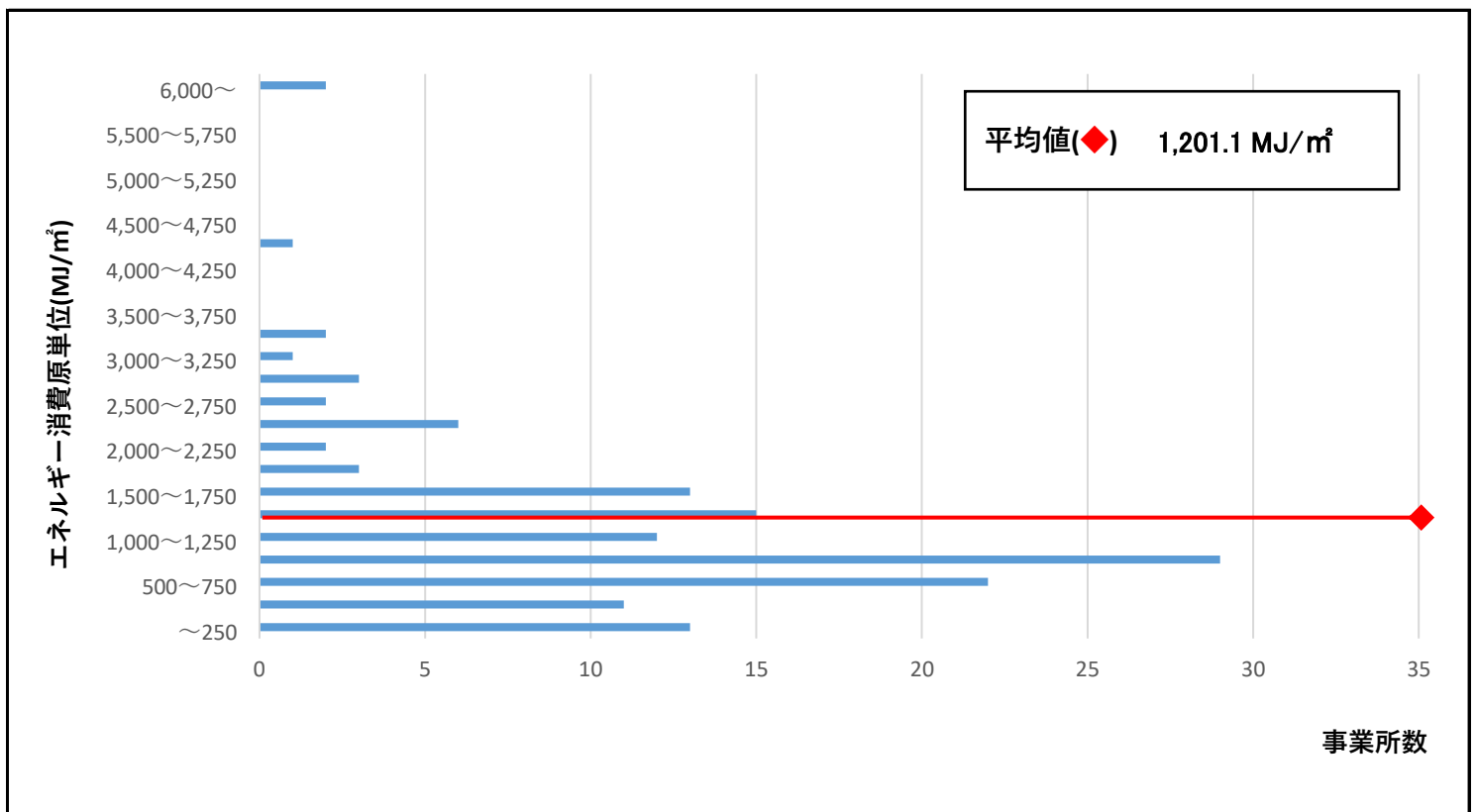
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



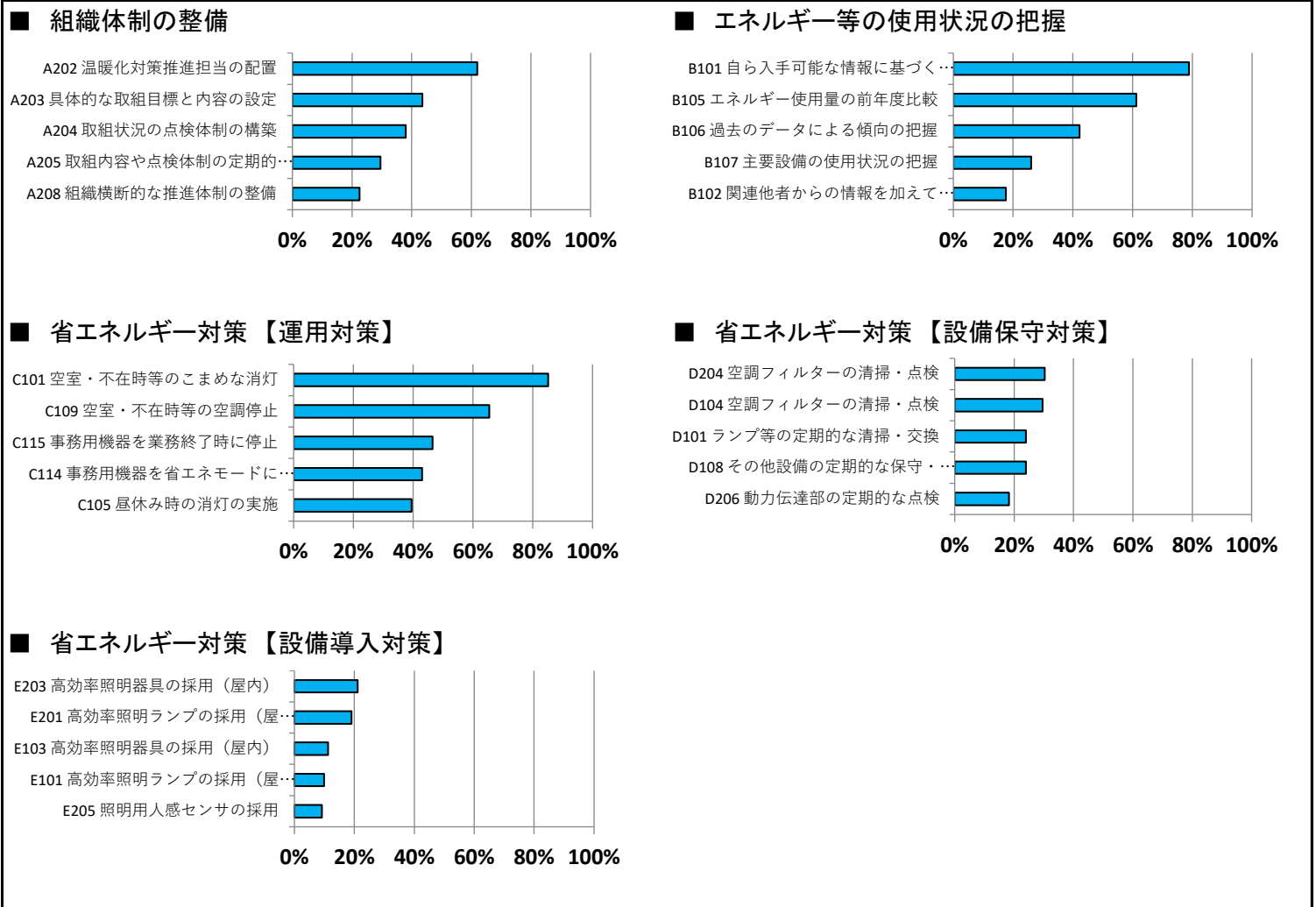
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

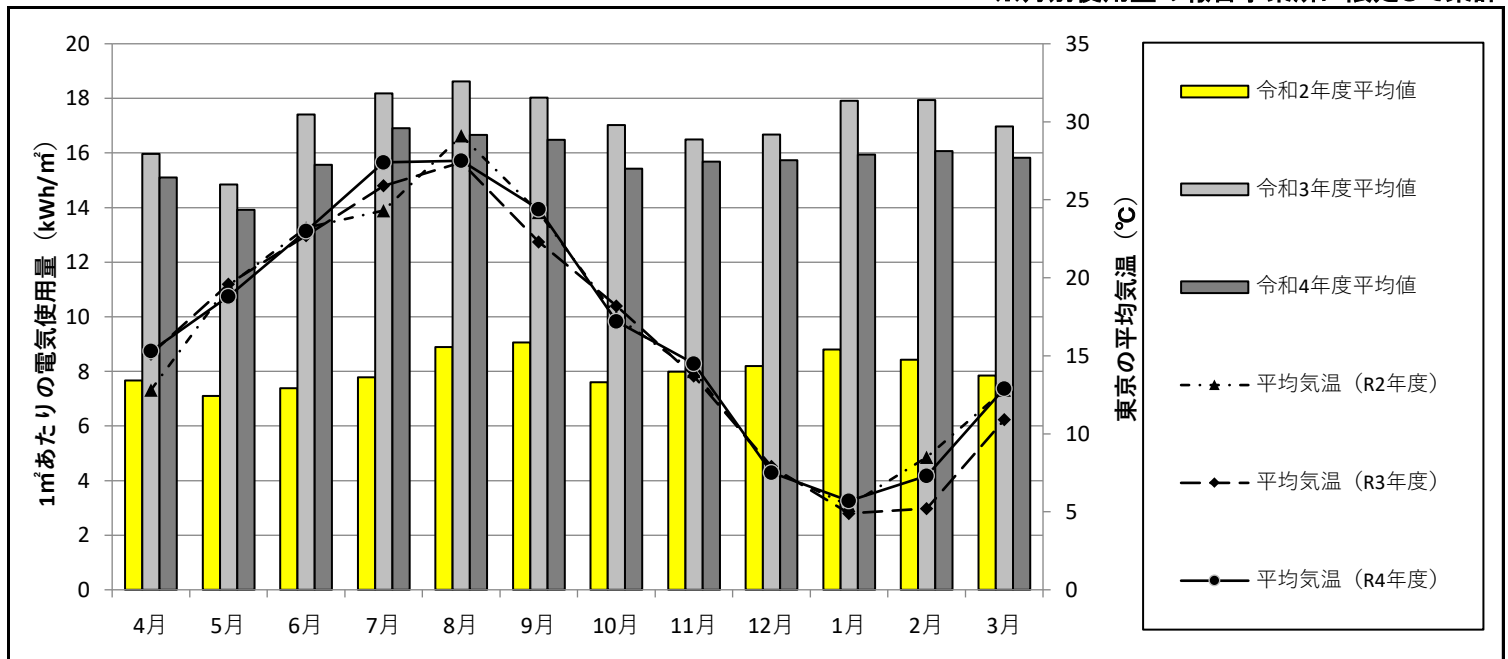


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

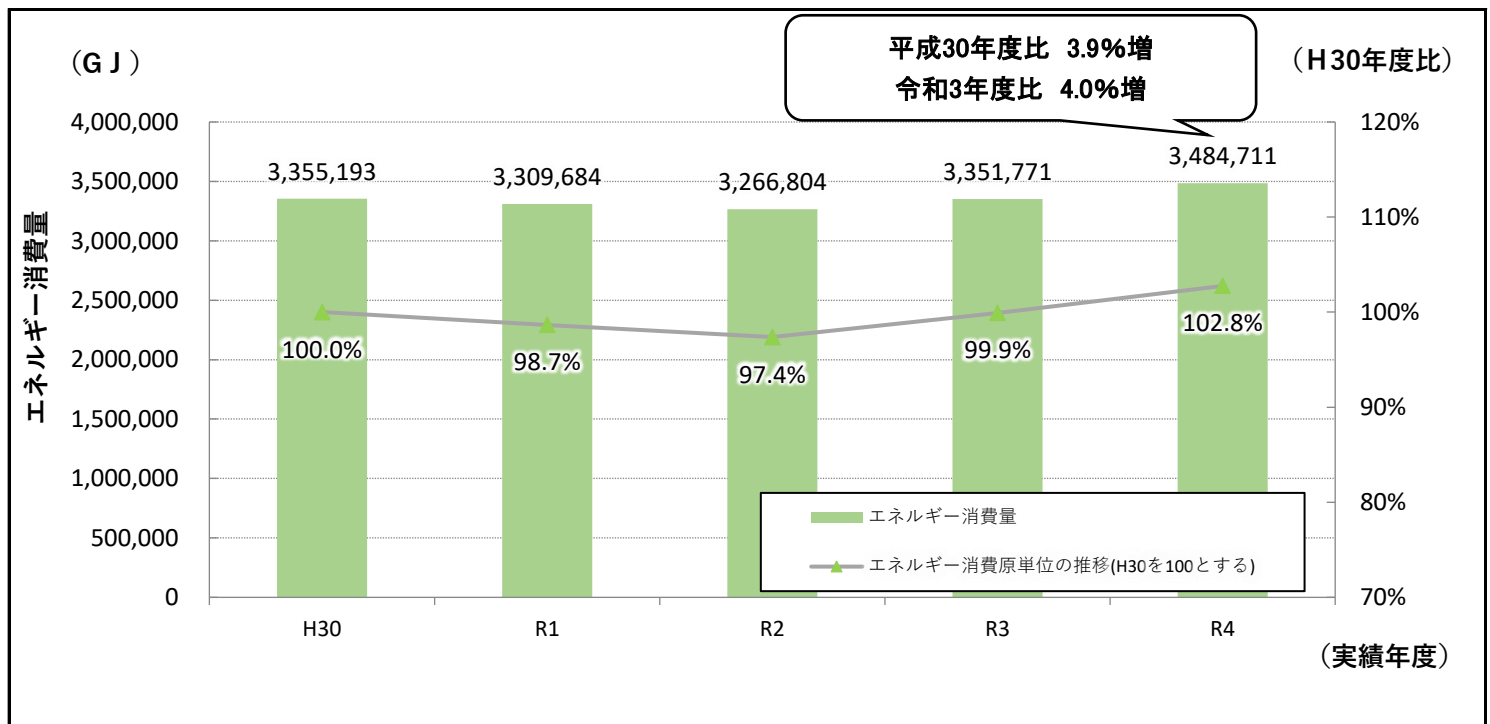
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



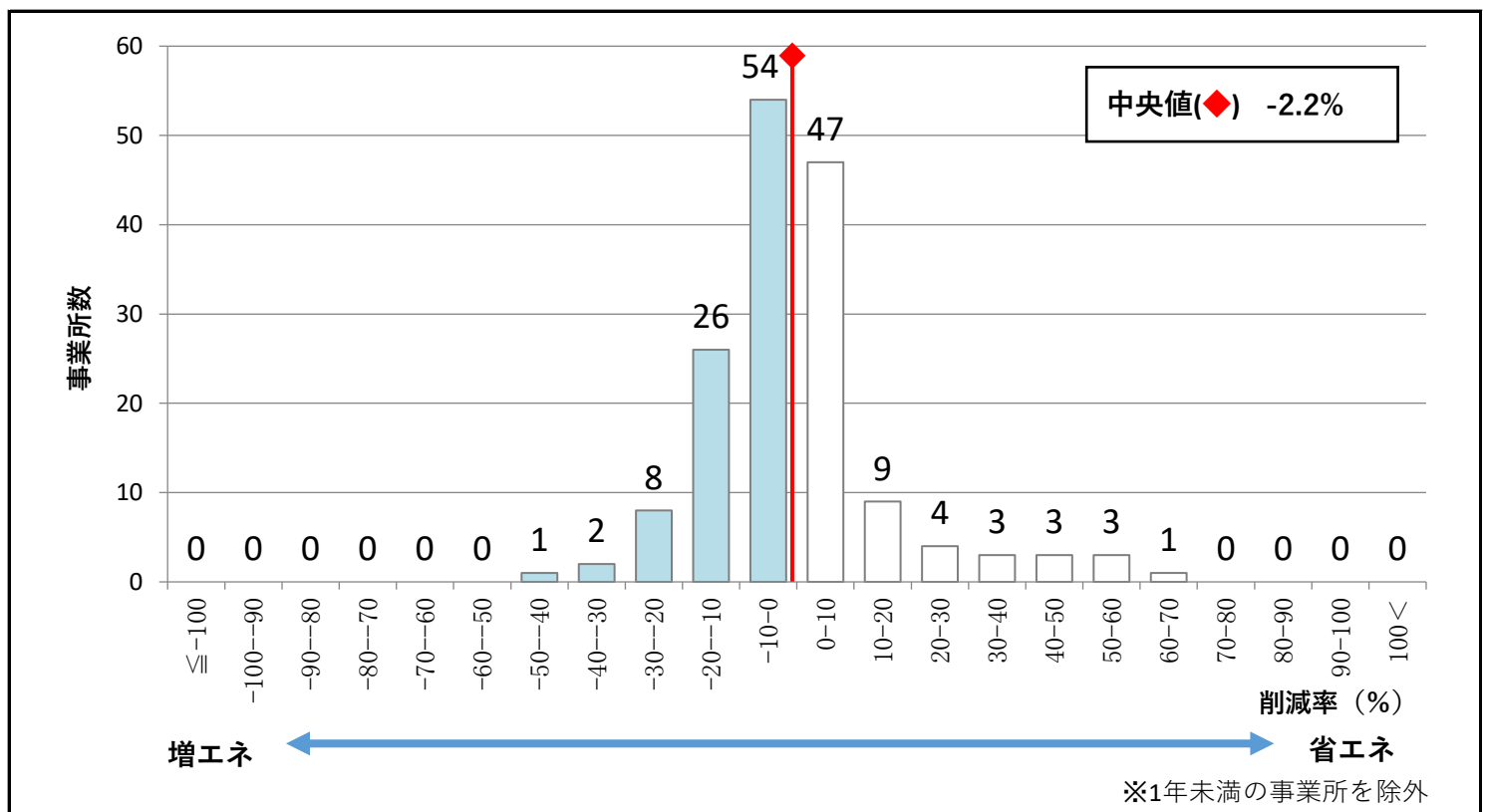
空調、照明の省エネ対策がベースになりますが、廃棄物処理施設では、粉塵・臭気への対策で集塵装置や換気設備が設置され、多くの電力が消費されています。廃棄物の持ち込みの少ない曜日や時間帯には、送風機にインバータ装置を導入し風量を削減して省エネに努めましょう。また水銀灯など高天井照明のLED化を進めましょう。また長時間運転をする搬送コンベア・破碎機等についてもインバータ制御が有効です。稼働時間の長い設備から優先的に省エネ対策をご検討ください。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「37** 通信業」 ・報告範囲の主たる用途「工場」「その他」
地域通信事業	363	351	

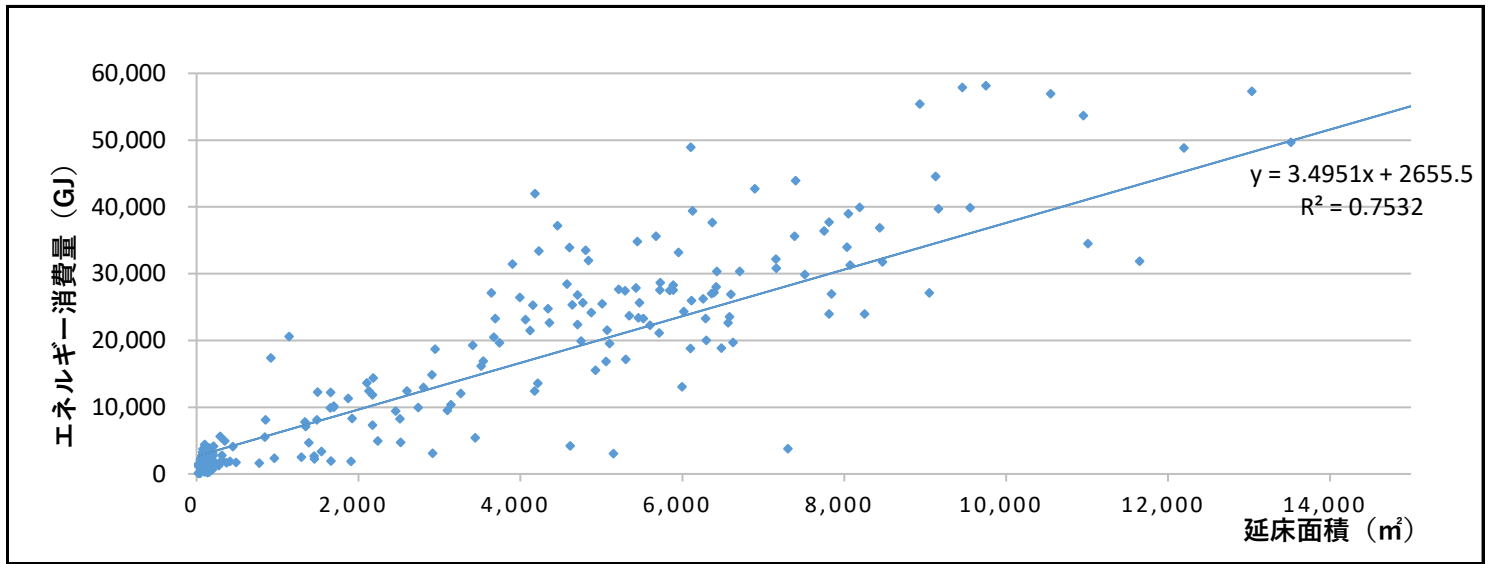
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:161)



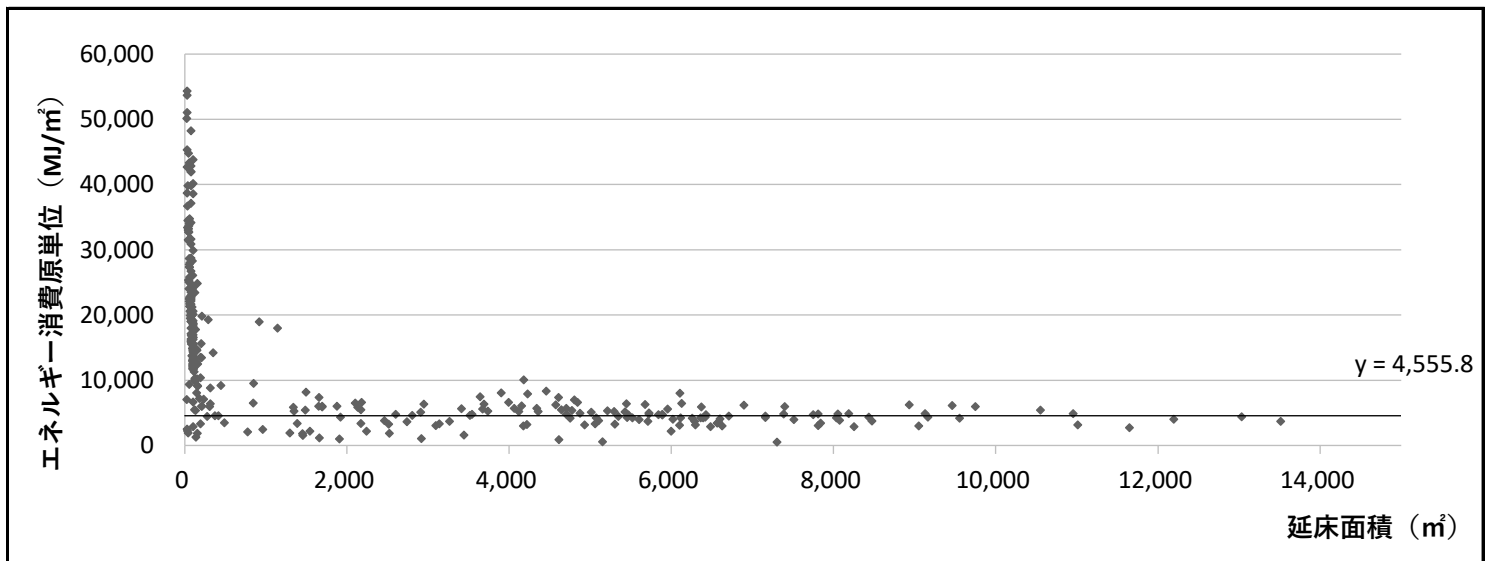
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:161)



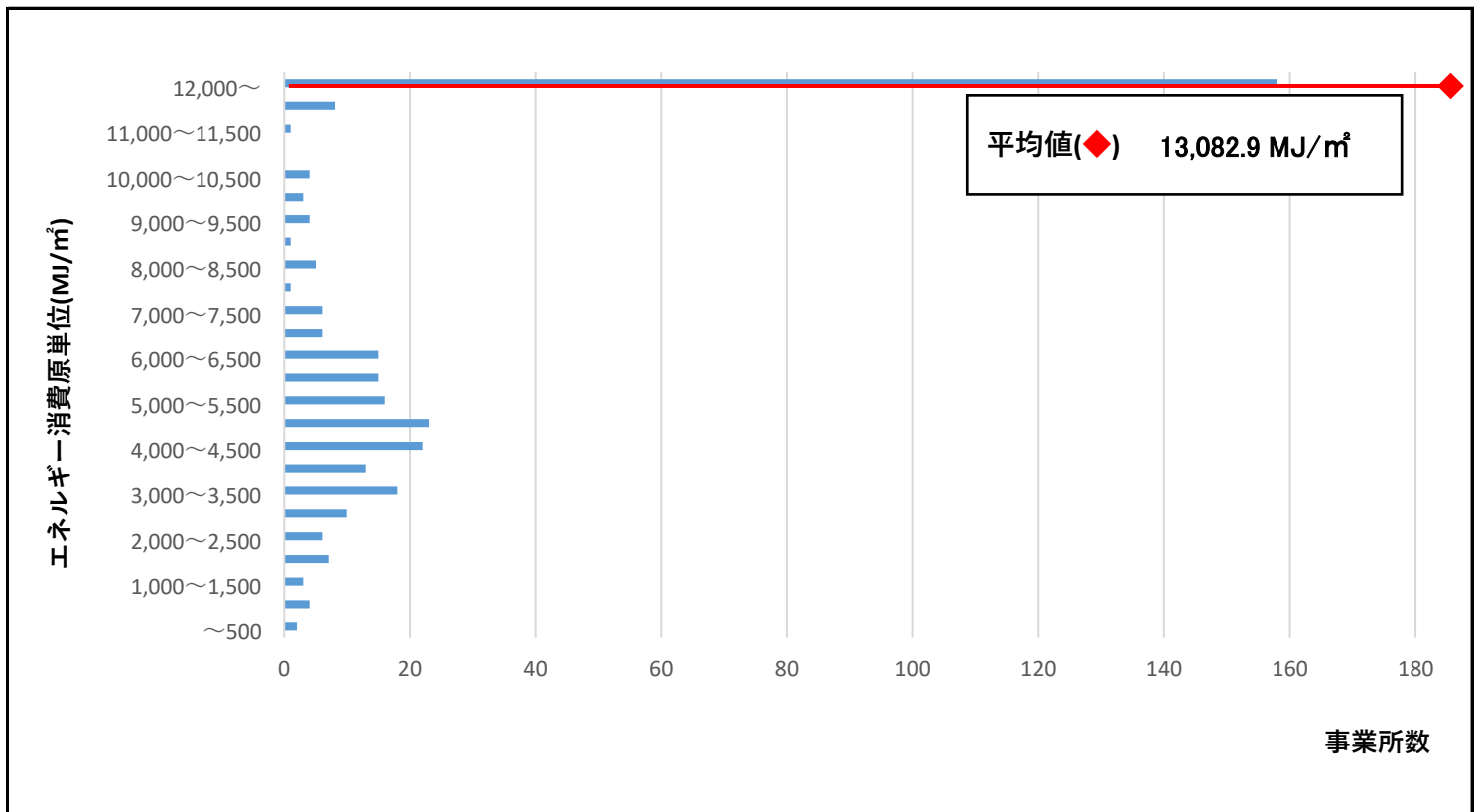
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



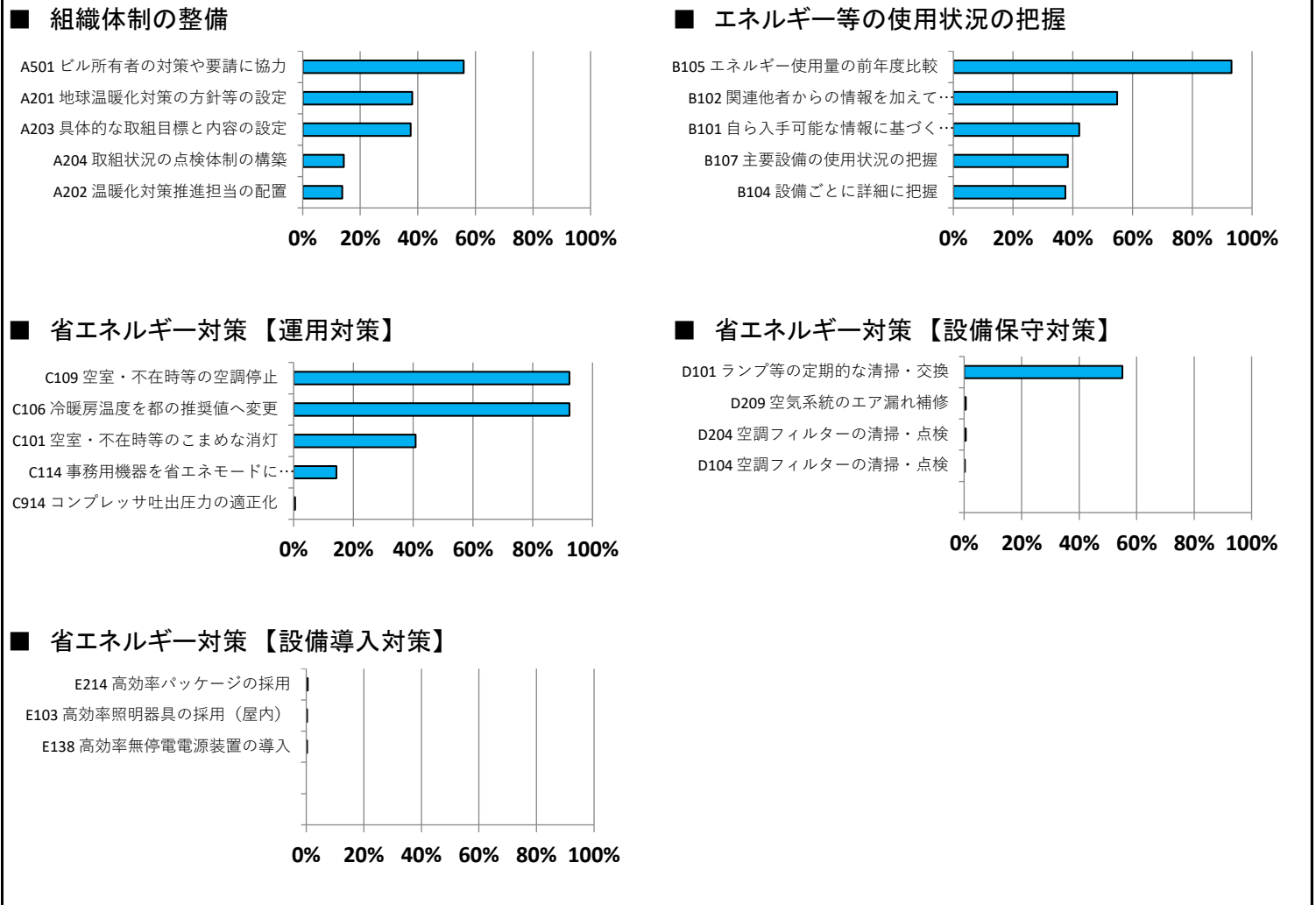
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

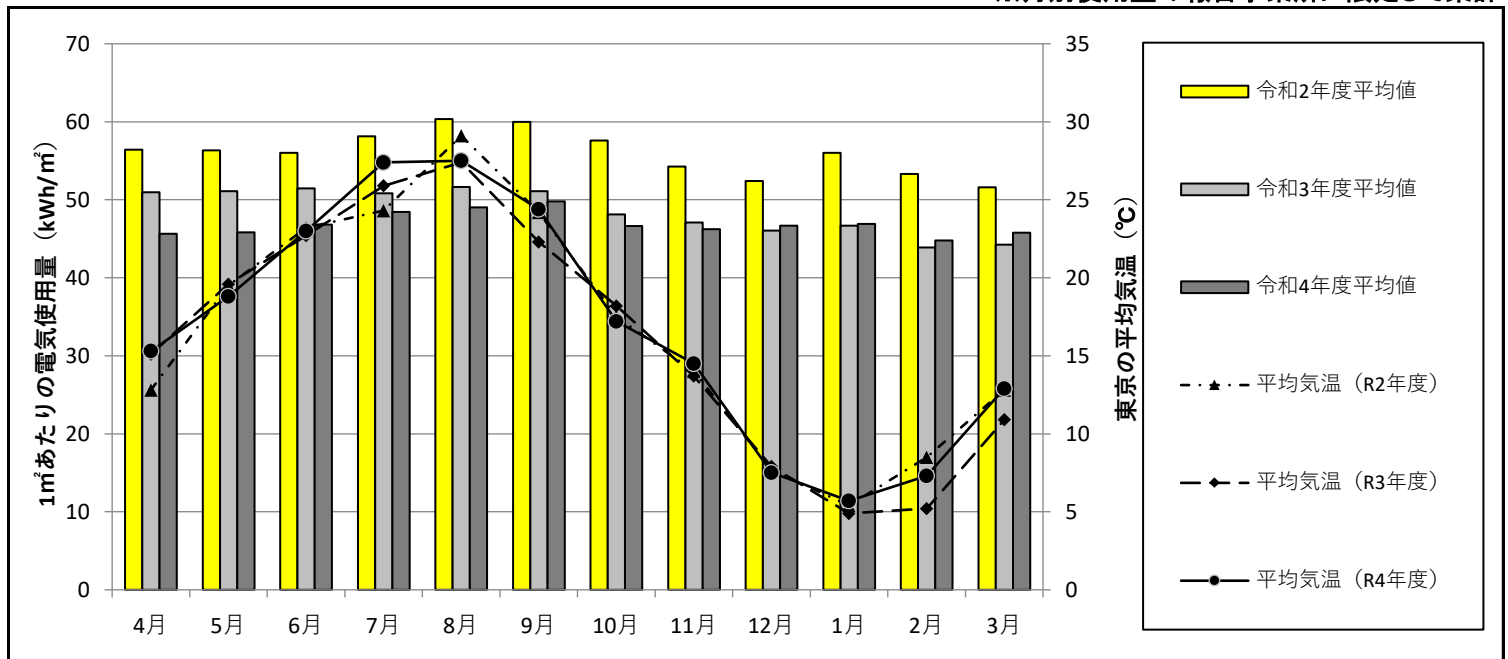


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

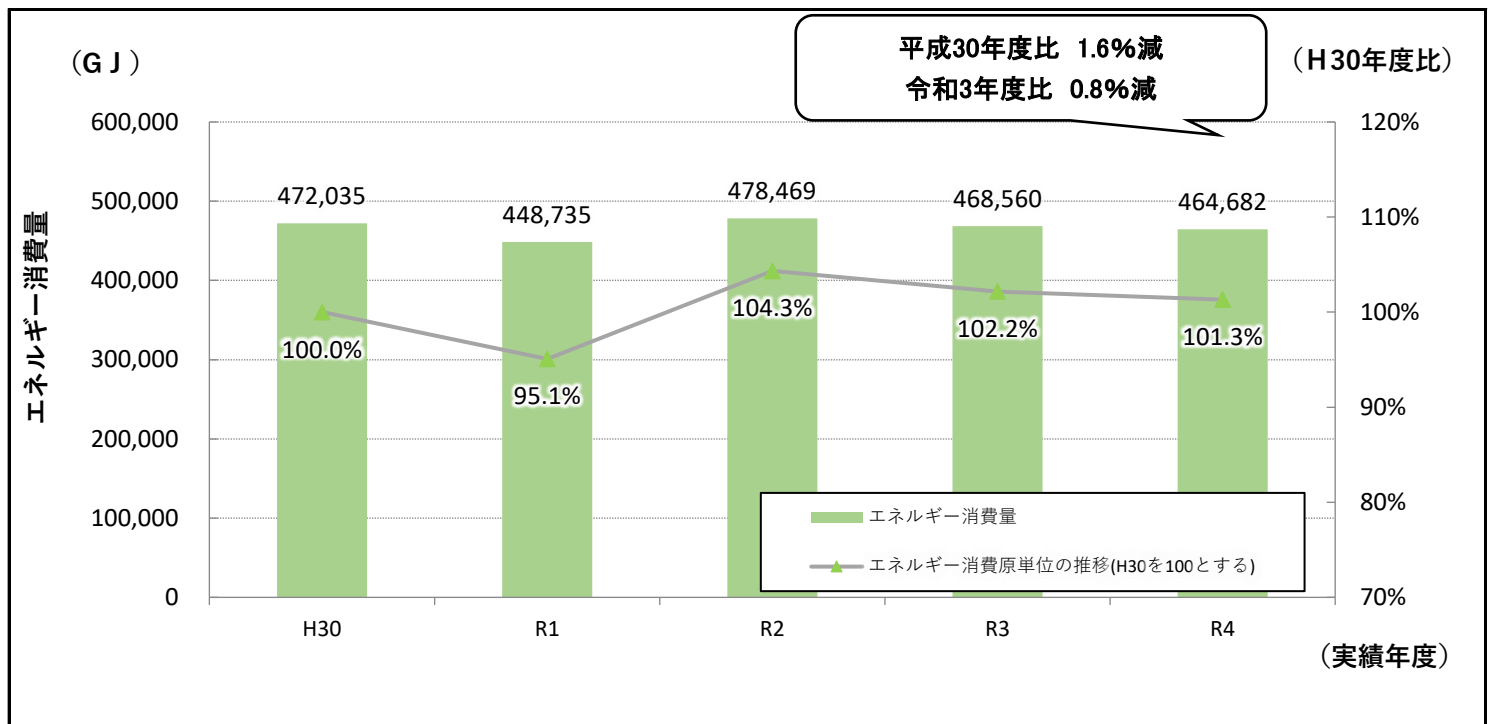
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



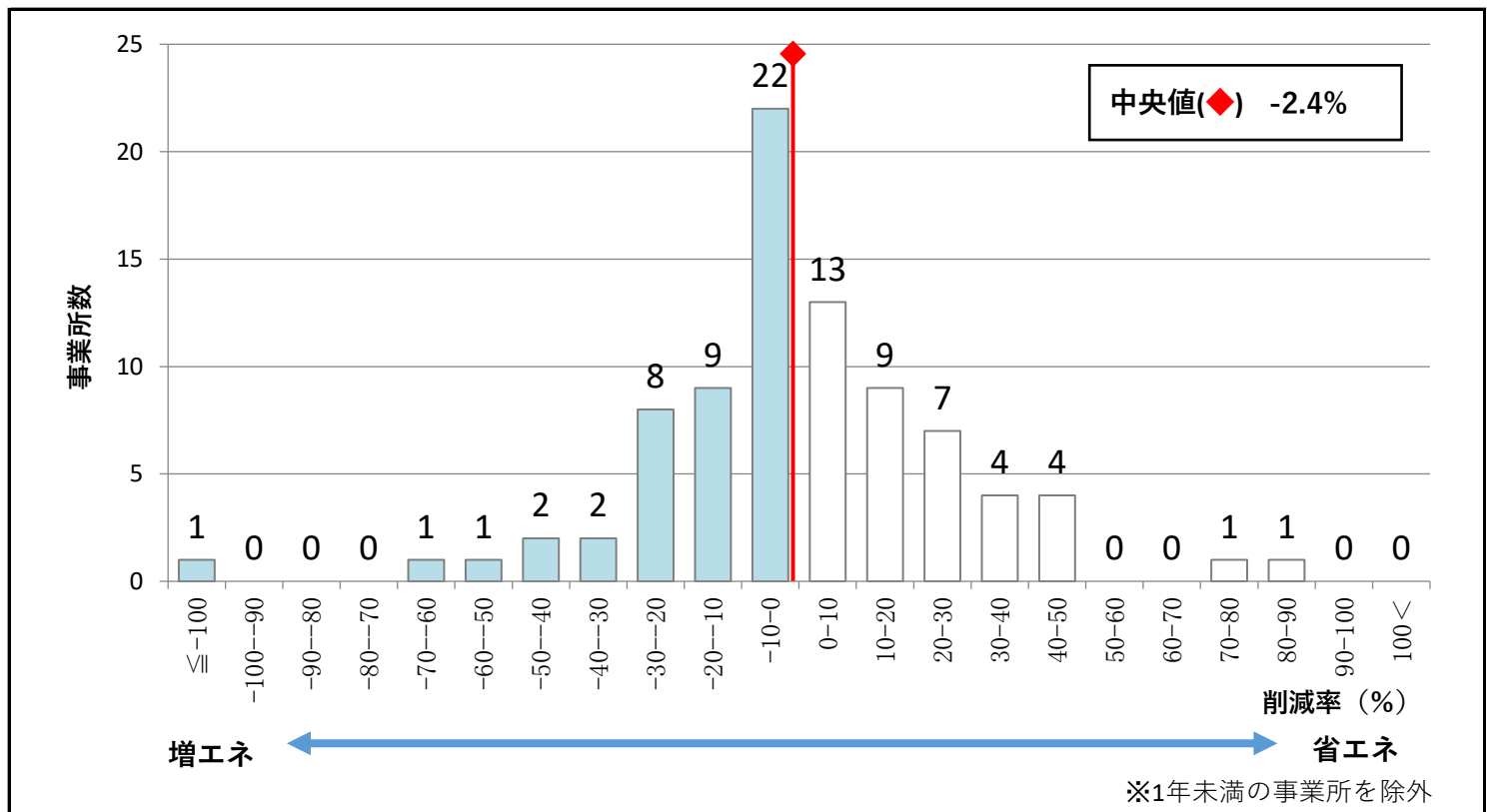
サーバー冷却の電力消費量の削減がポイントになります。サーキュレータなどを活用して室温のバラツキを解消することで冷房設定温度を緩和しましょう。また室内では給気と還気が混ざらないように制気口の配置に注意し、ミキシングロスの低減に留意しましょう。またPUEを把握し、削減目標の設定を行い省エネを進めましょう。
エネルギー使用量や、エネルギー使用の傾向、構成などを把握することで、有効な対策の立案や事業所に適した省エネルギー対策の実施が可能になります。(報告書作成ハンドブック(メニュー編)の個表番号42参照)

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「44** 道路貨物運送業」 ・報告範囲の主たる用途「工場」「その他」
一般貨物自動車運送業	137	134	

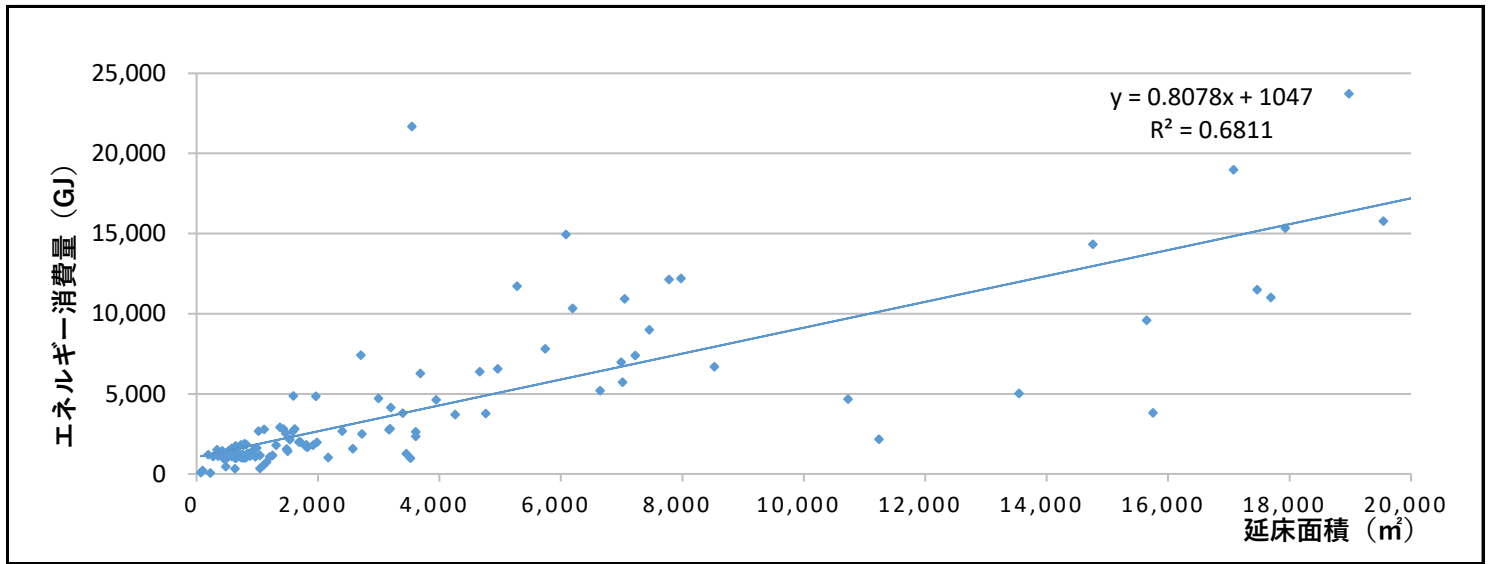
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:88)



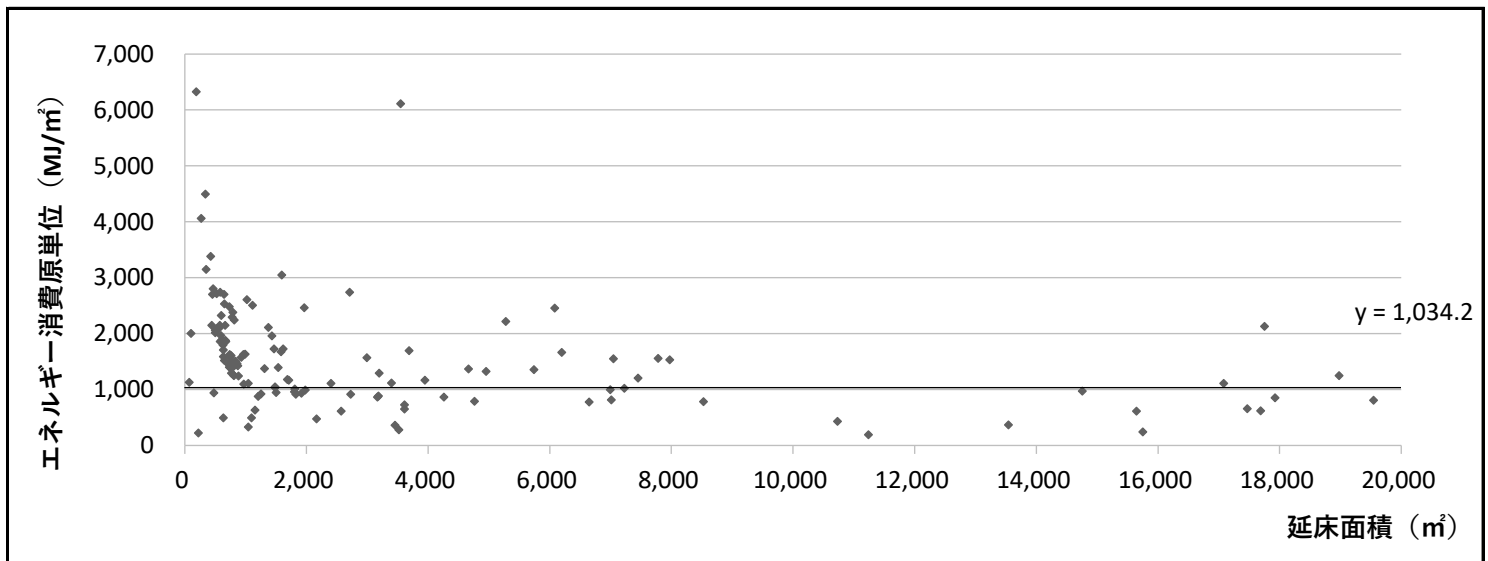
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:85)



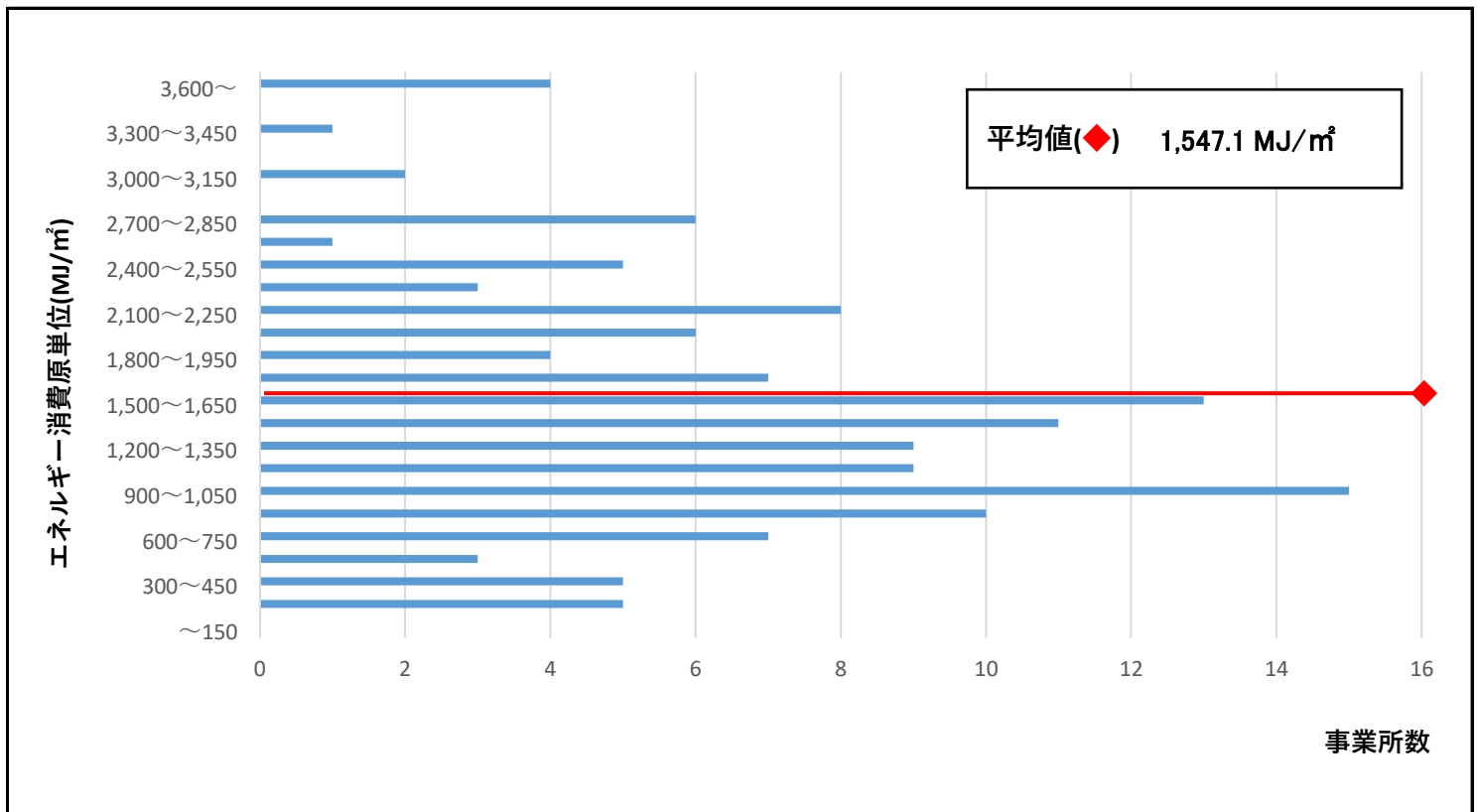
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



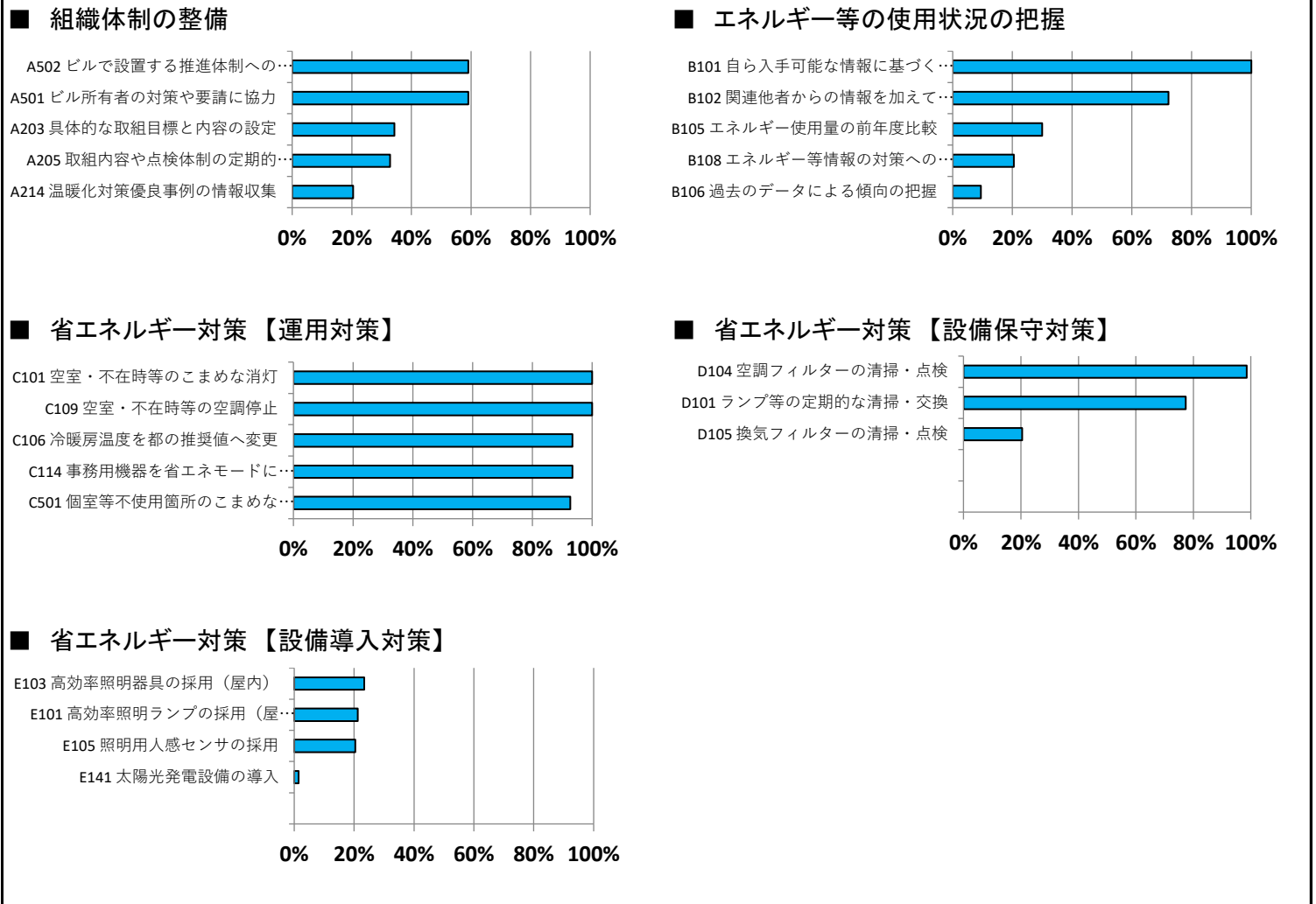
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

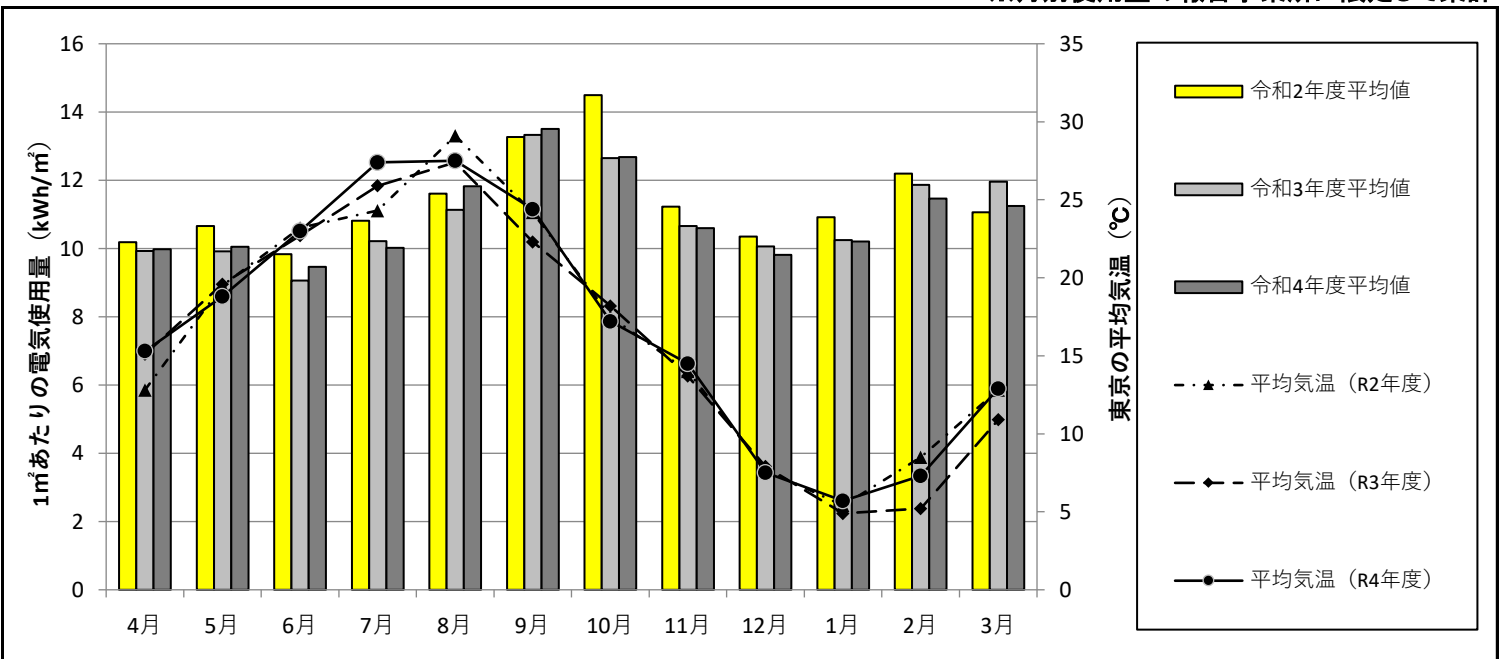


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

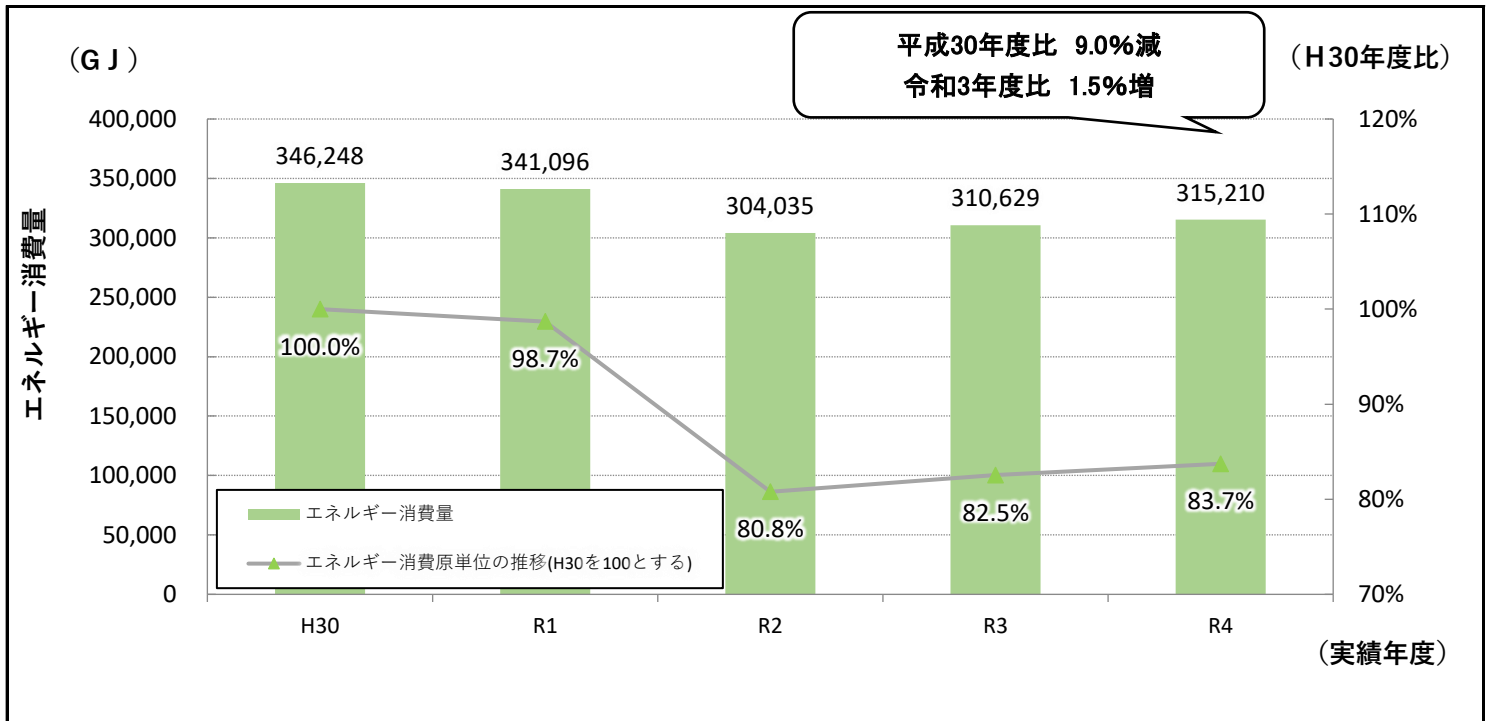
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



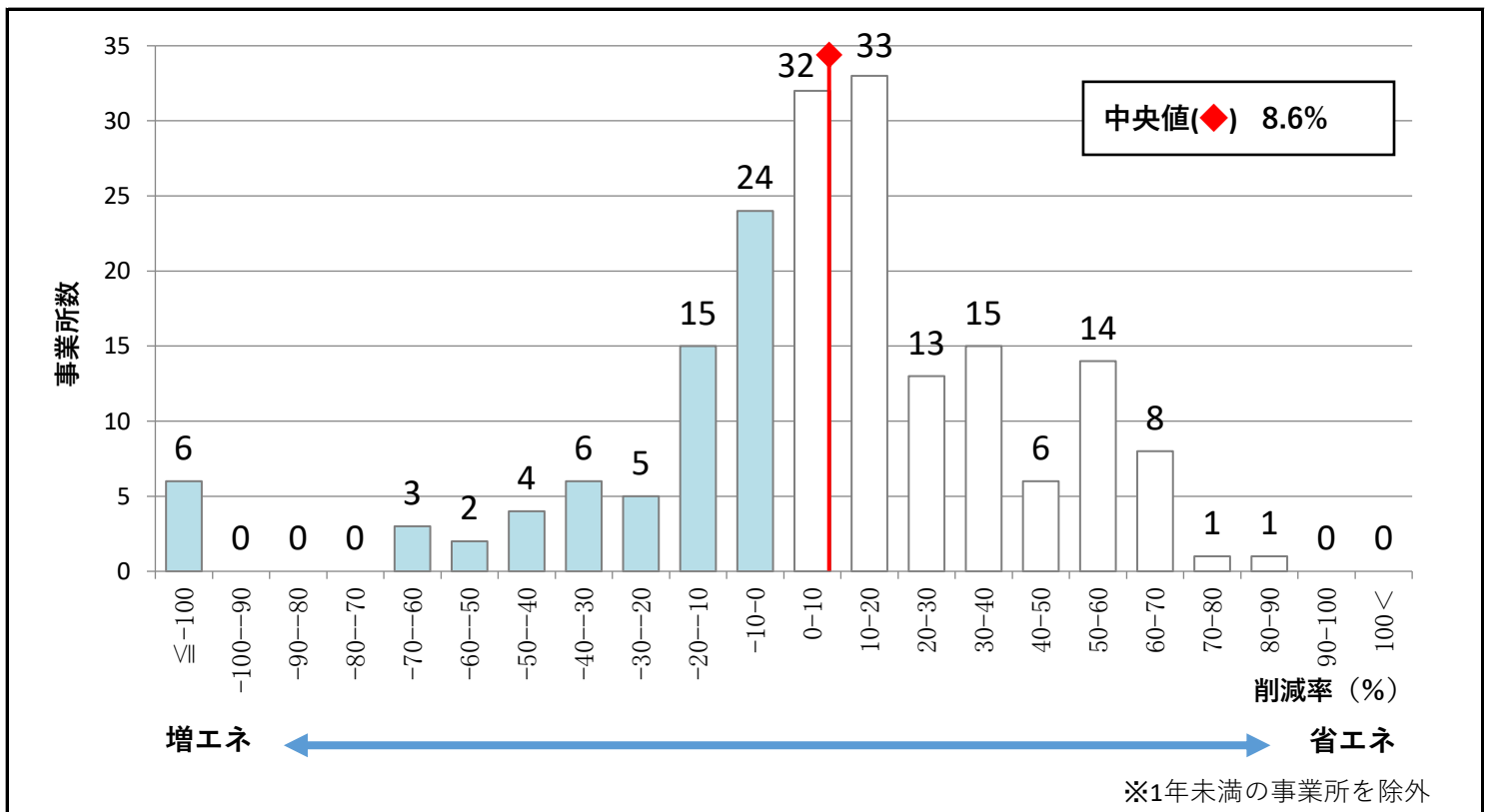
ガソリン車から電気自動車や燃料電池自動車などの環境負荷の少ない車に切り替えましょう。また事前の配達時間連絡や時間指定の徹底など、不在による再配達の削減に努力しましょう。配送センターの照明はLED化を進め、昼間のトラックヤードなど不要箇所の消灯の徹底が望まれます。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8051 公園」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
公園	228	222	

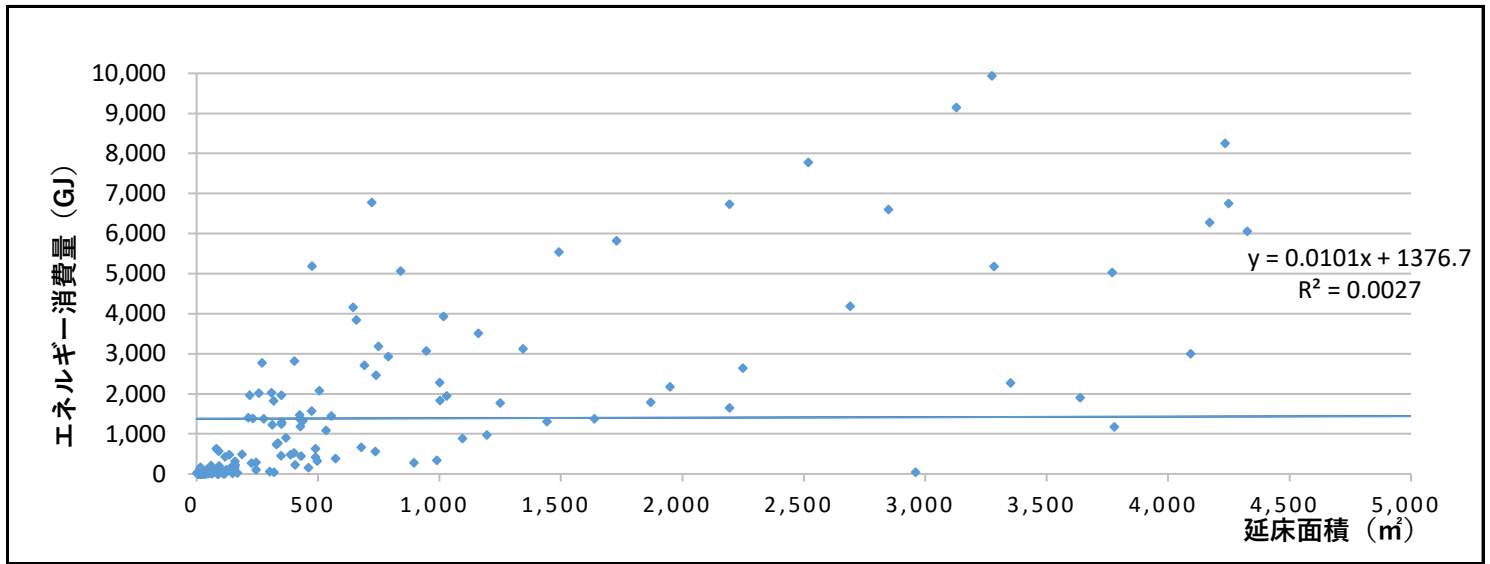
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:211)



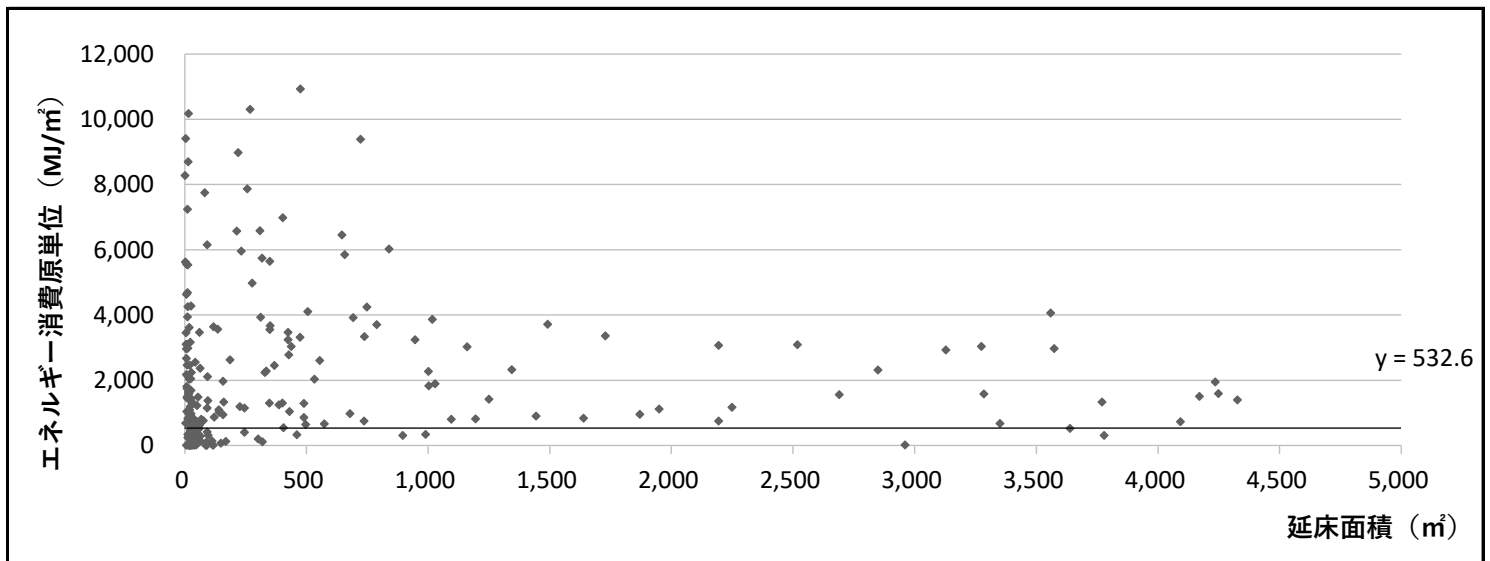
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:188)



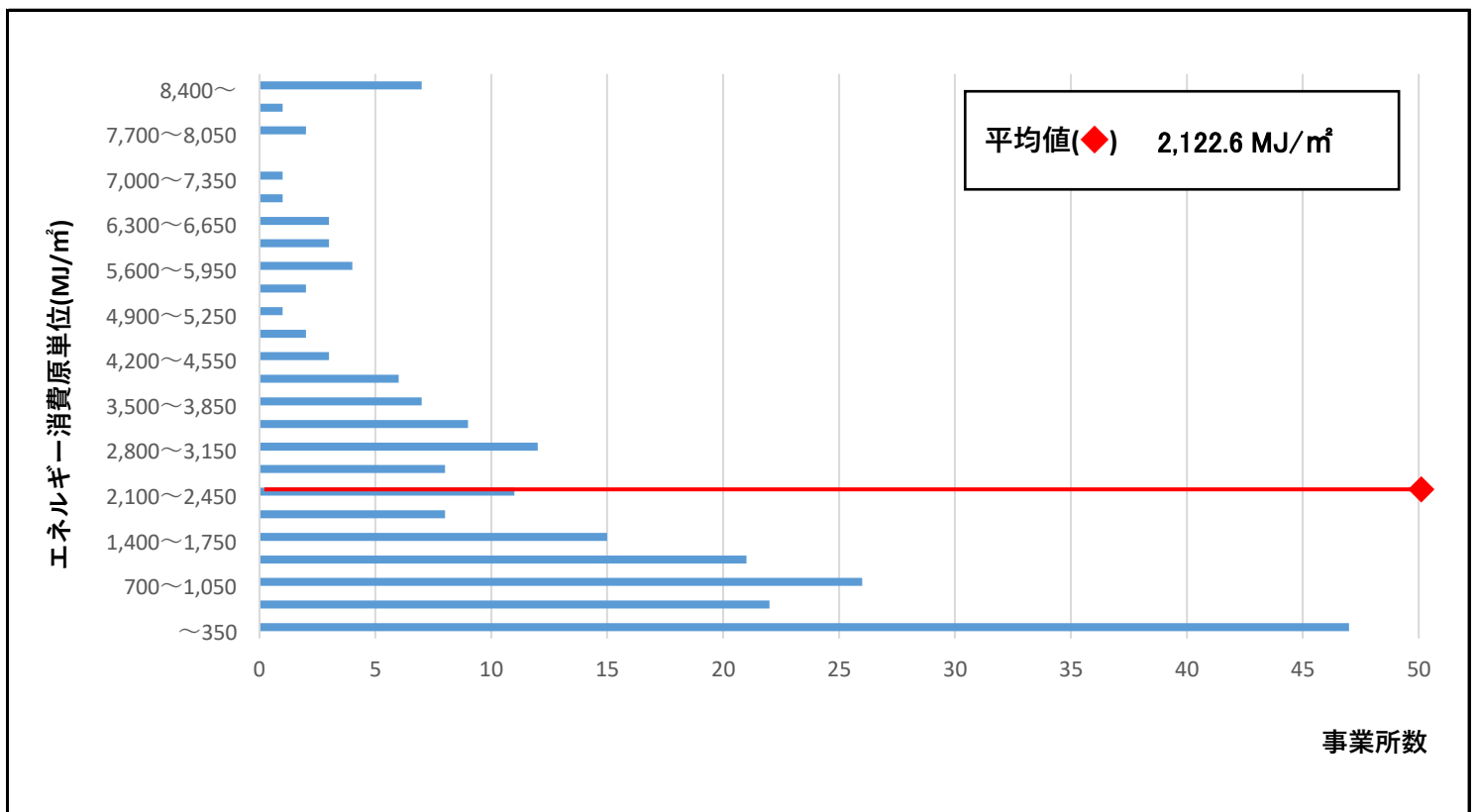
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



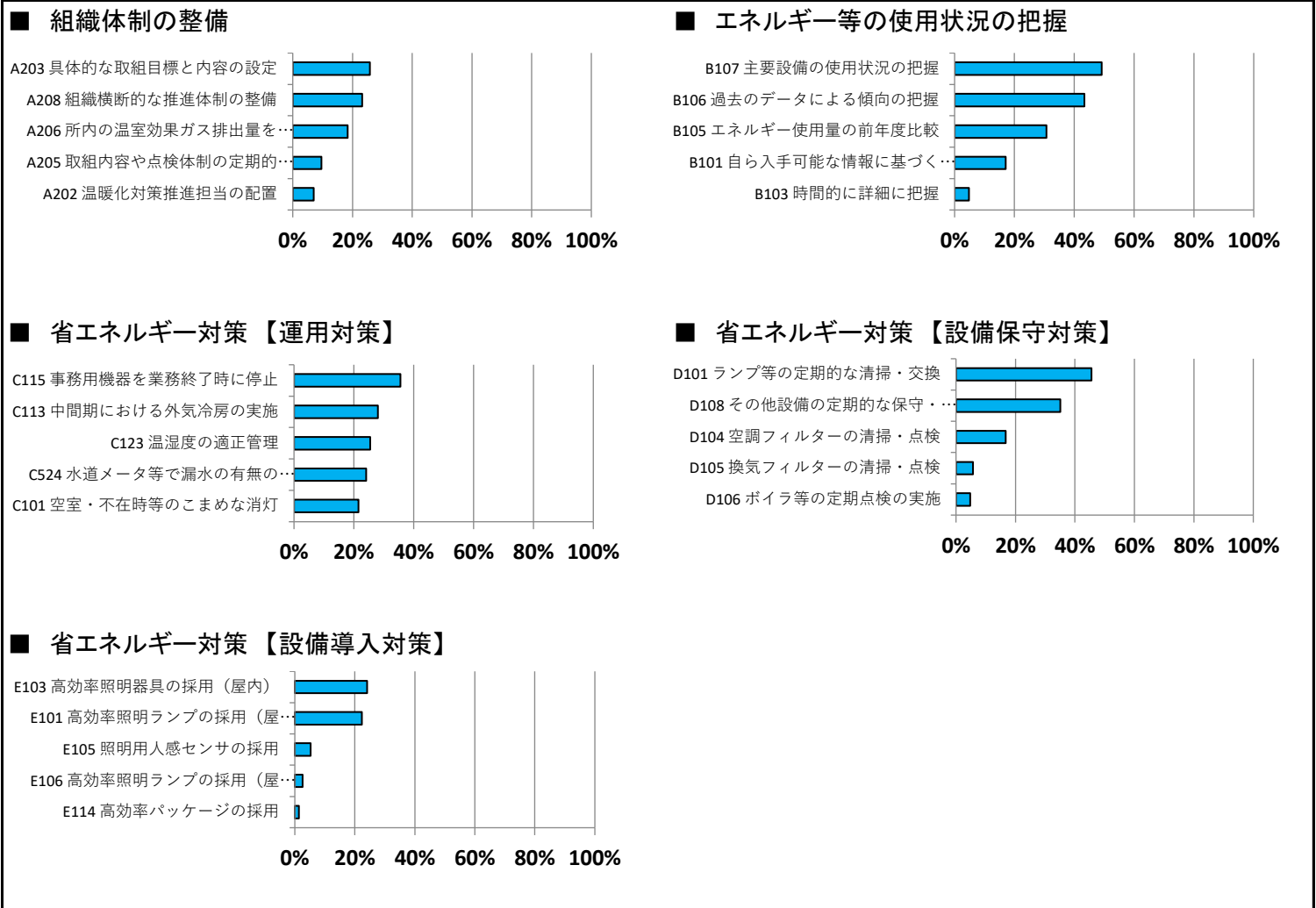
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

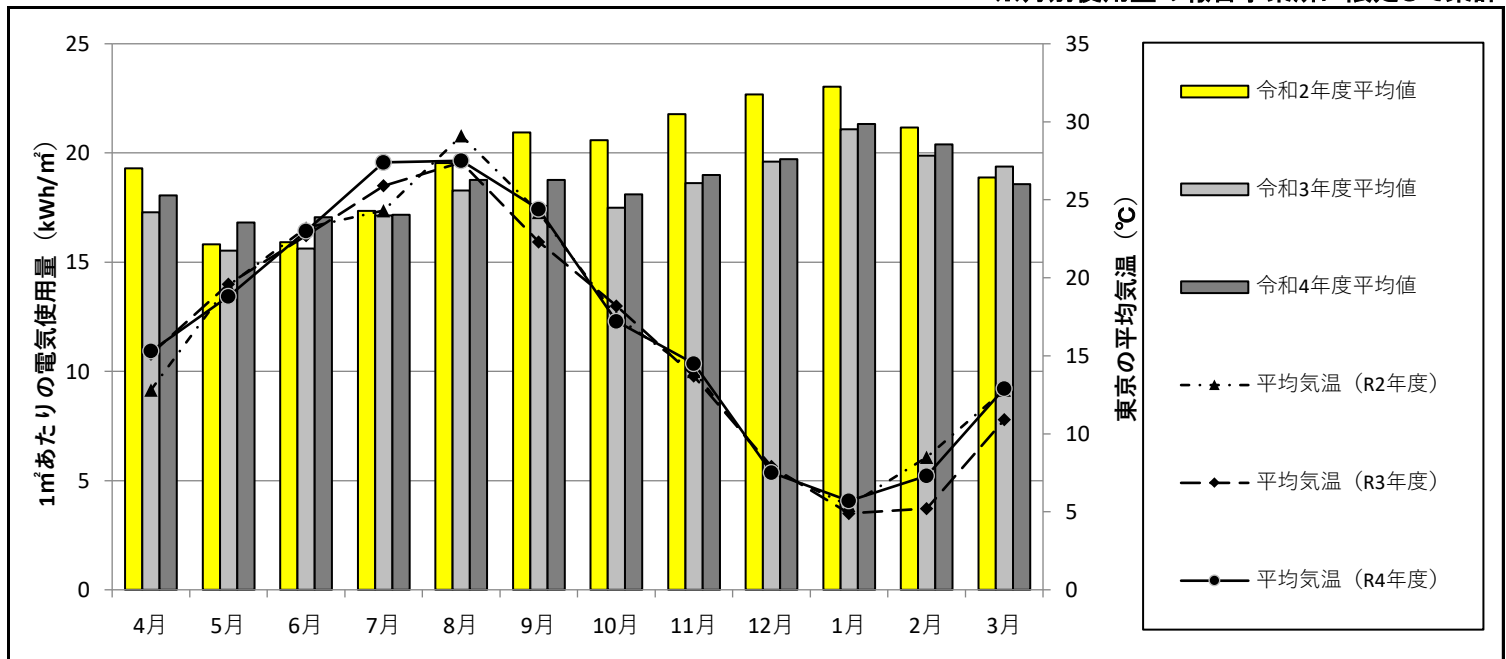


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

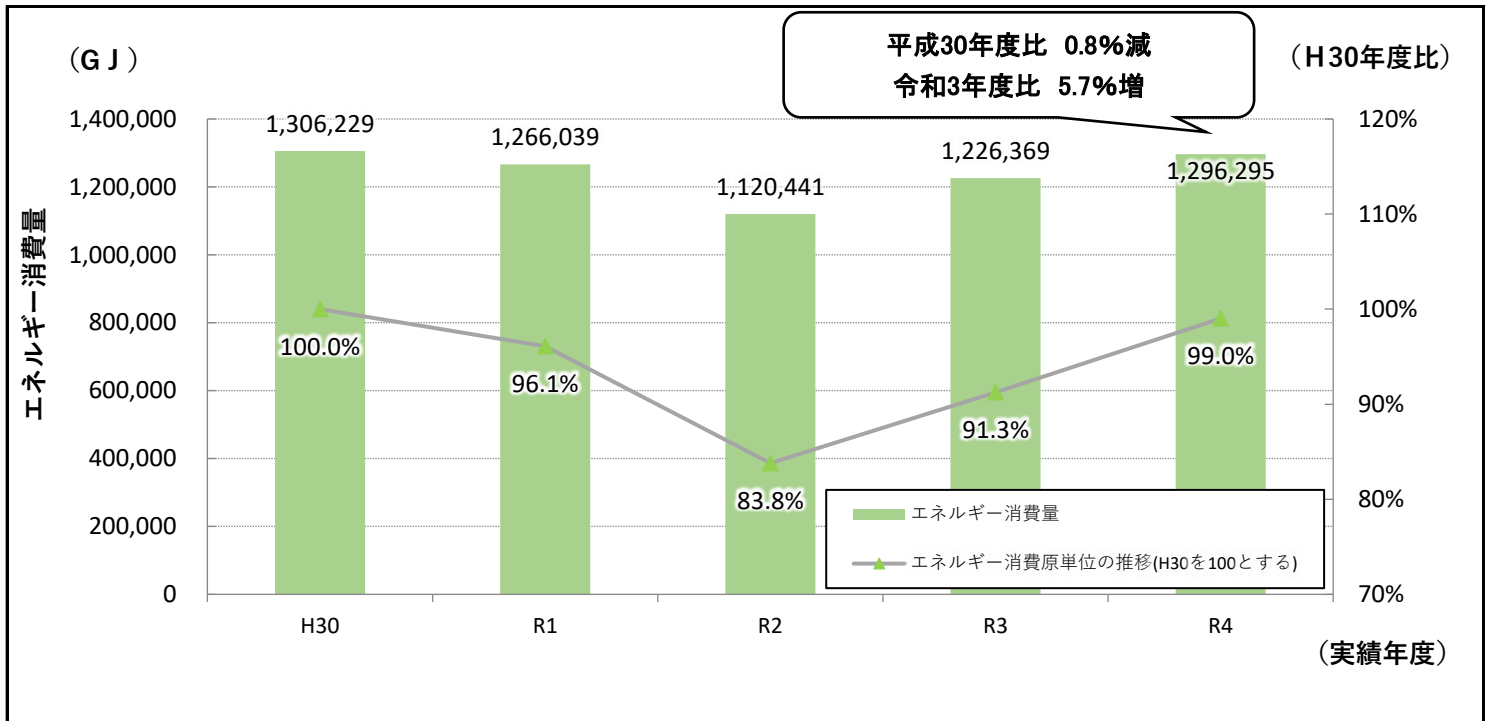
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



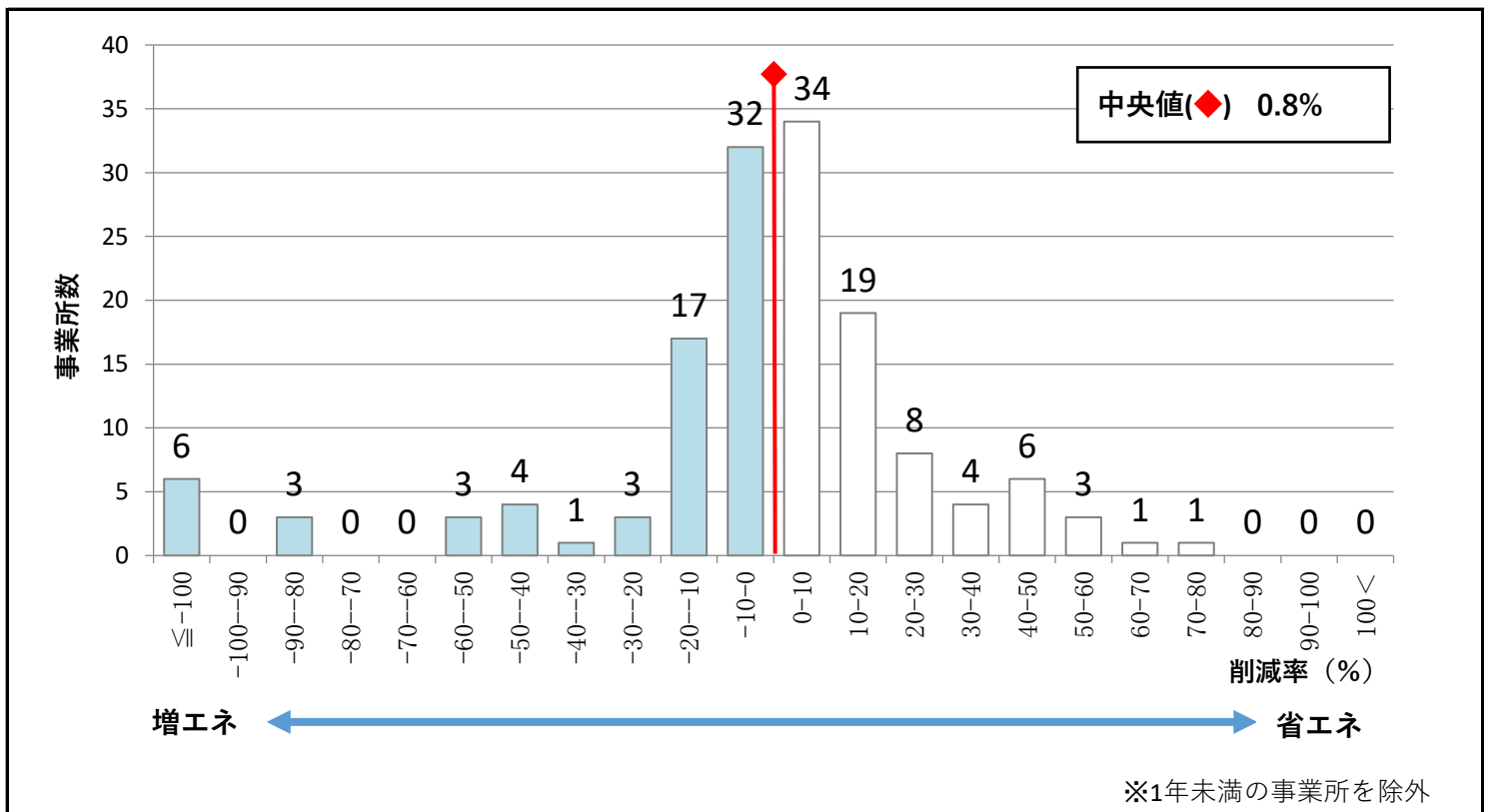
太陽電池や風力発電機を利用したLEDのソーラーウインド街路灯を導入しましょう。また照度センサーやタイマーを取り付け、防犯を考慮した上で必要最小限の点灯時間を心掛けましょう。
【効果の試算】200Wの水銀ランプ街路灯1台をLED街路灯に交換すると、年間10,872円、222kg-CO2の削減になります。
 (水銀灯の消費電力:210W、LED照明器具の消費電力:59W、年間の点灯時間3,000時間、電力単価:24円/kWh、CO2換算係数:0.489kg-CO2として試算。)

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類 「8041 スポーツ施設提供業(別掲を除く)」 「8042 体育館」「8043 ゴルフ場」 「8044 ゴルフ練習場」「8045 ボウリング場」 「8046 テニス場」「8047 バッティング・テニス練習場」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
スポーツ施設	171	167	

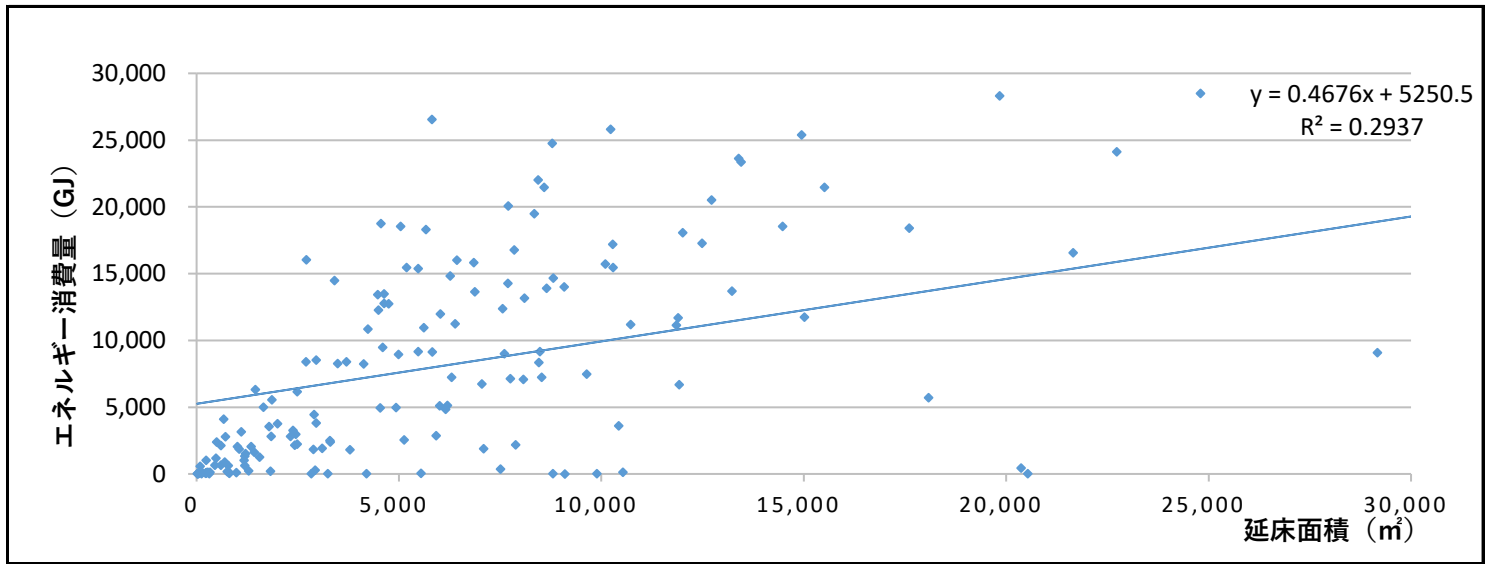
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:150)



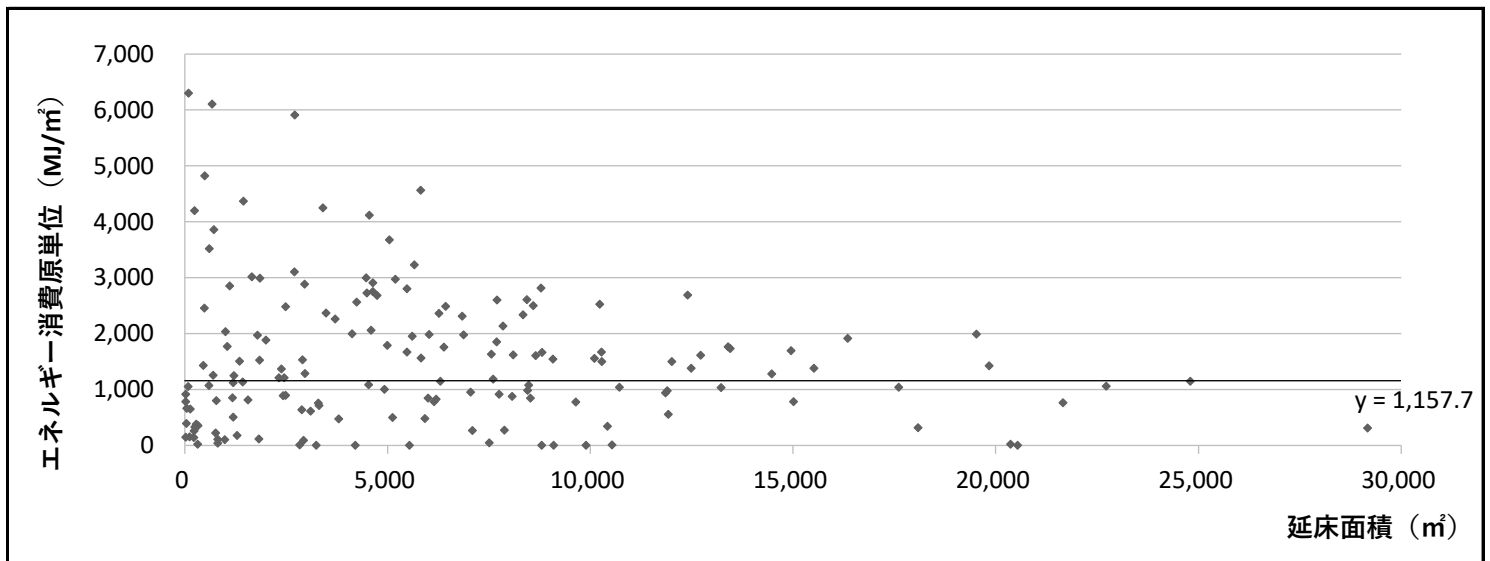
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:145)



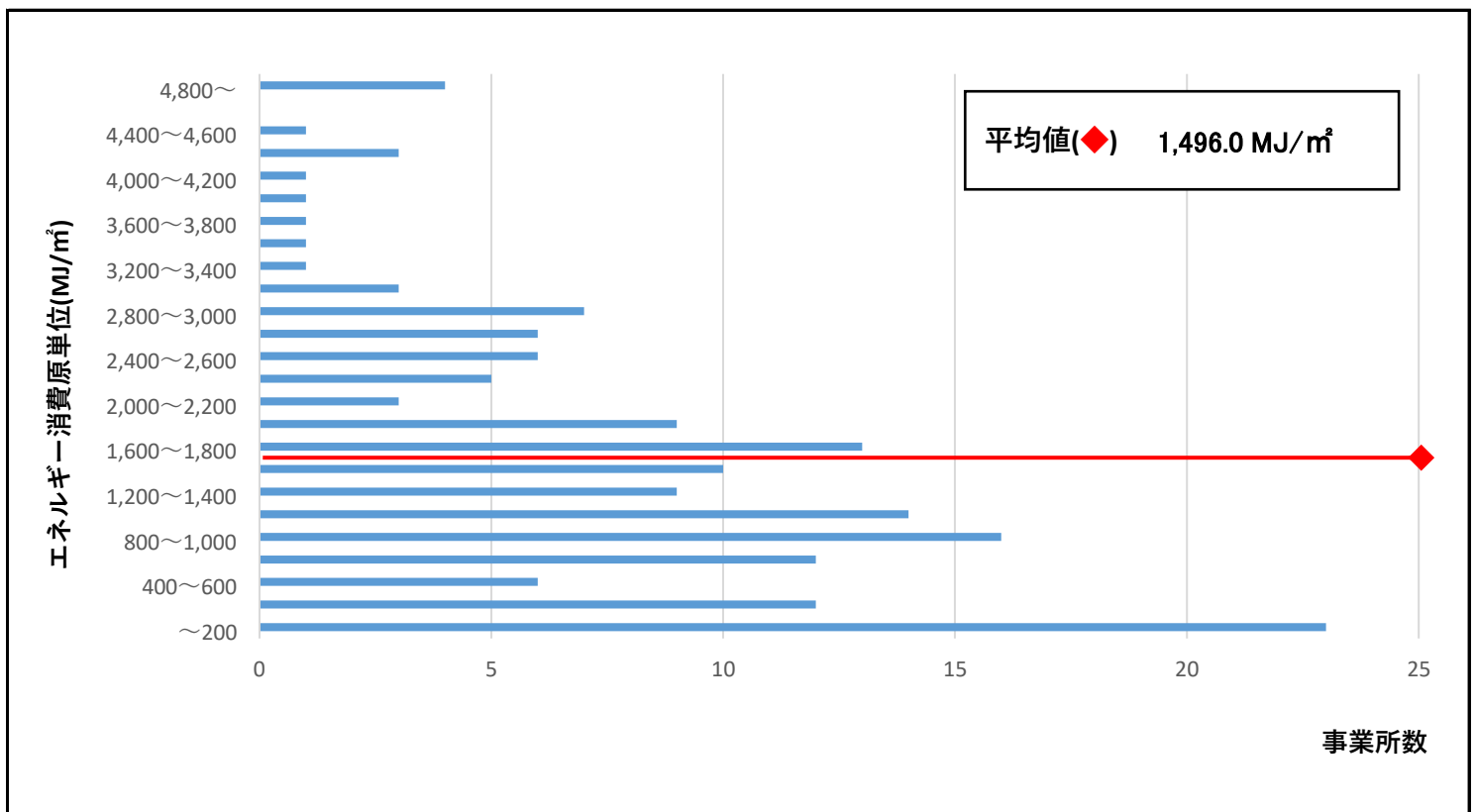
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



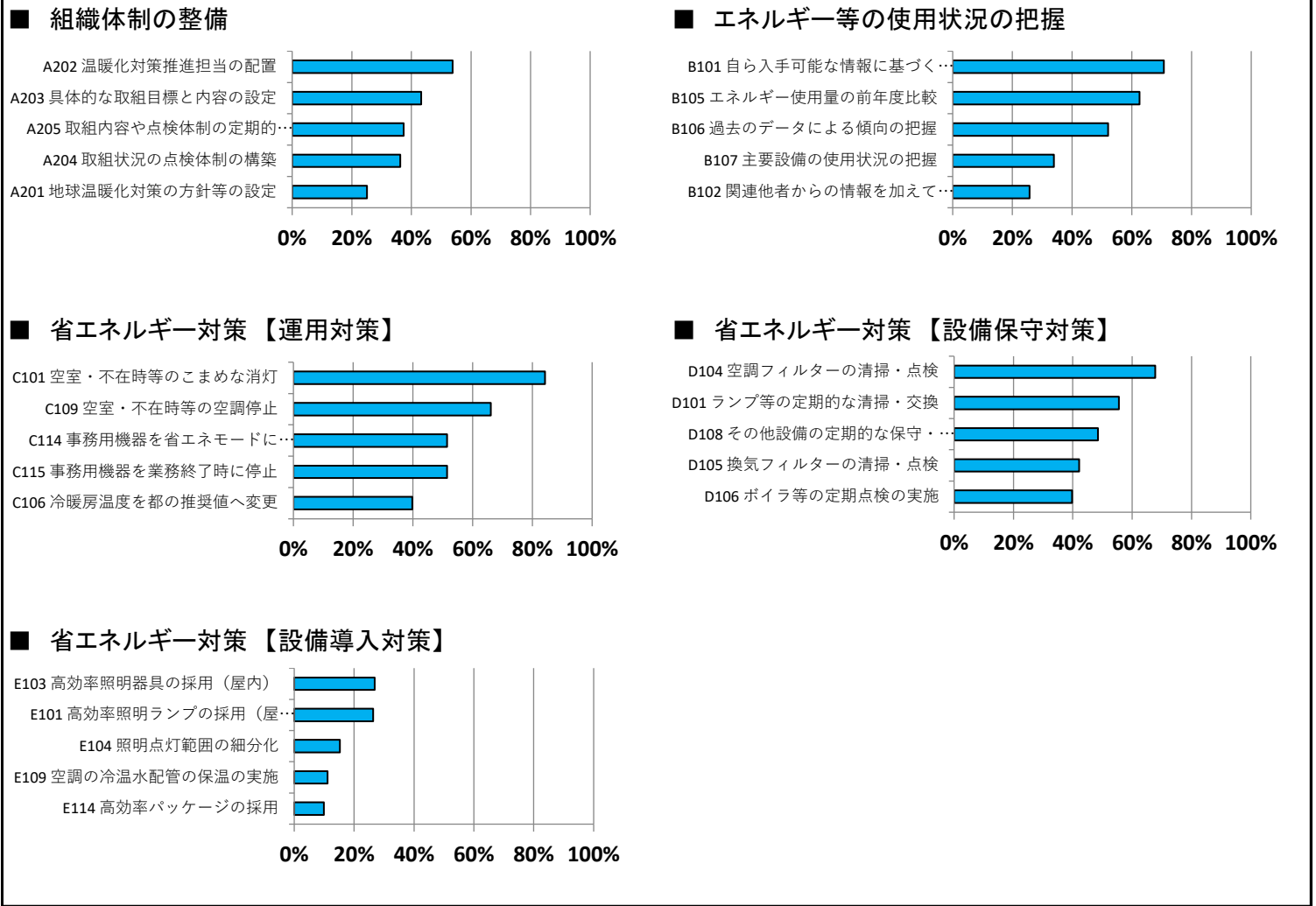
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

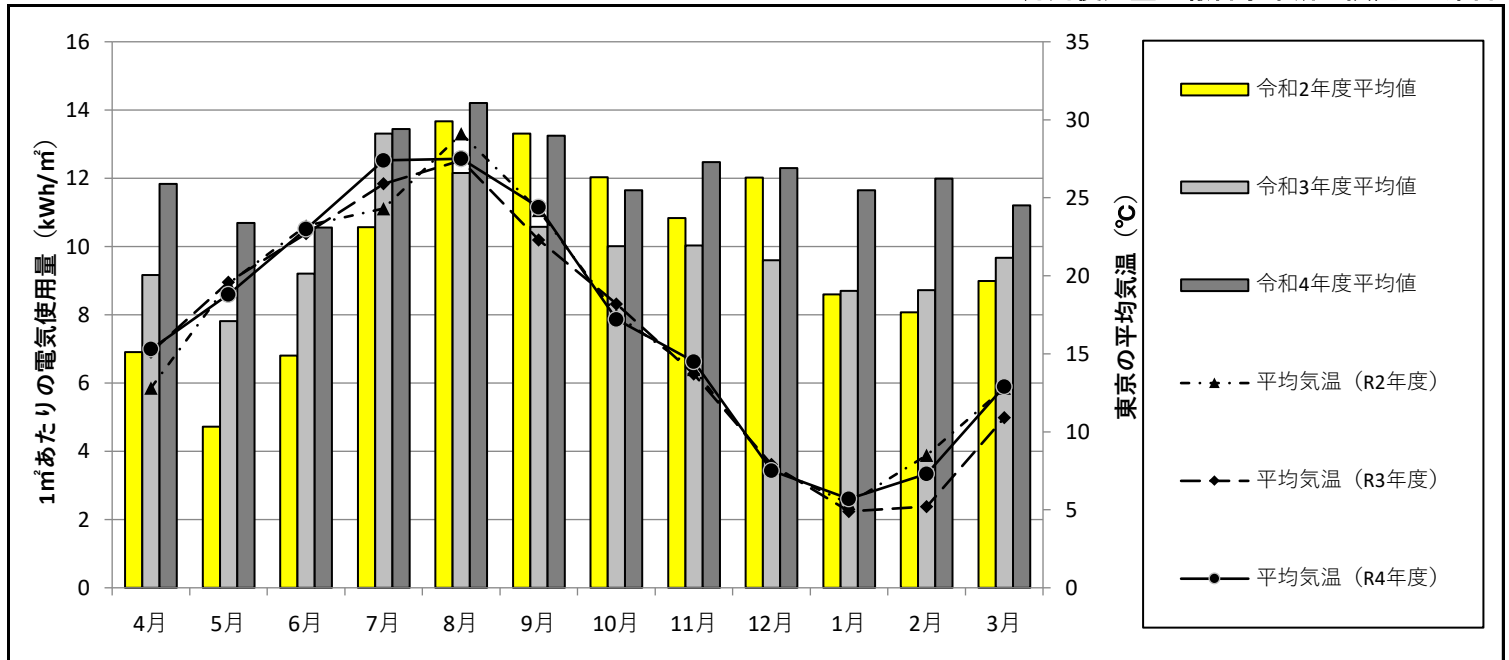


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

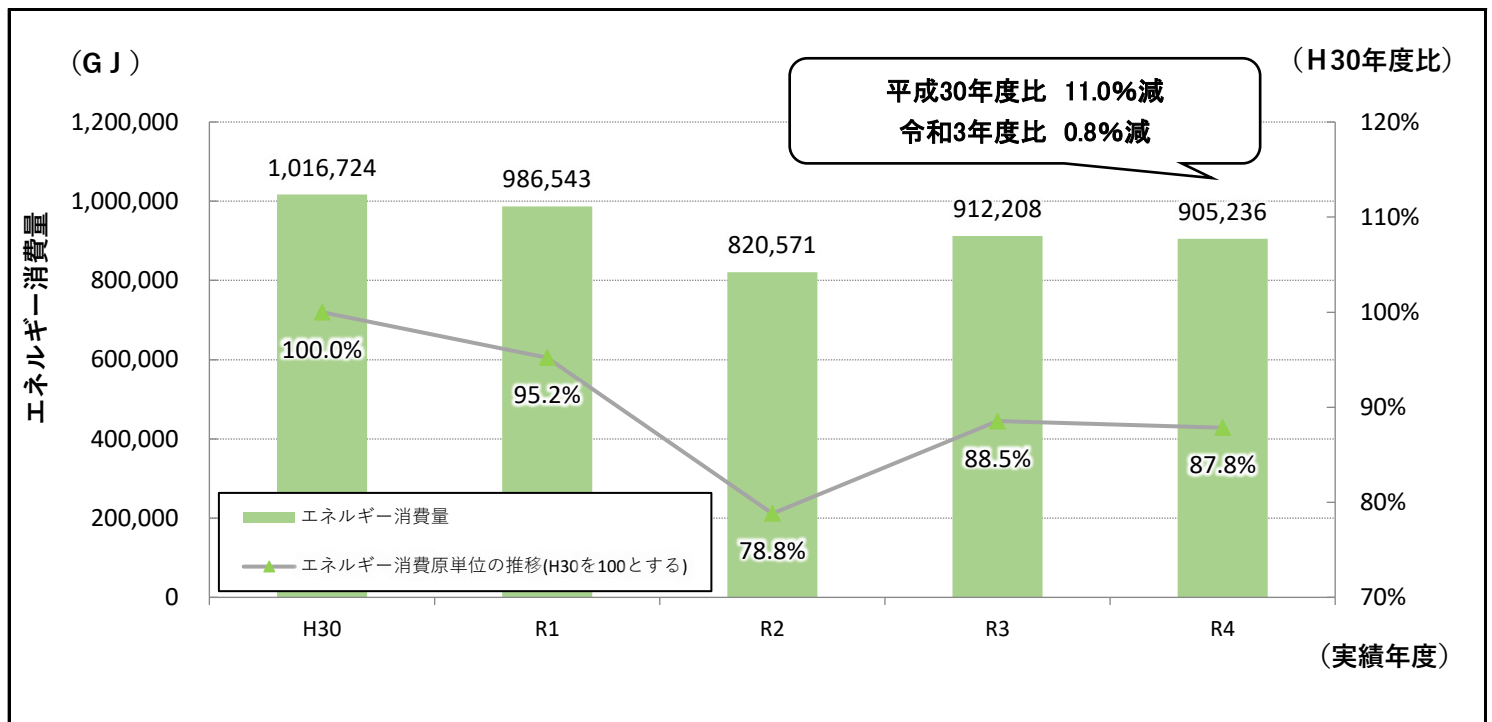
※月別使用量の報告事業所に限定して集計



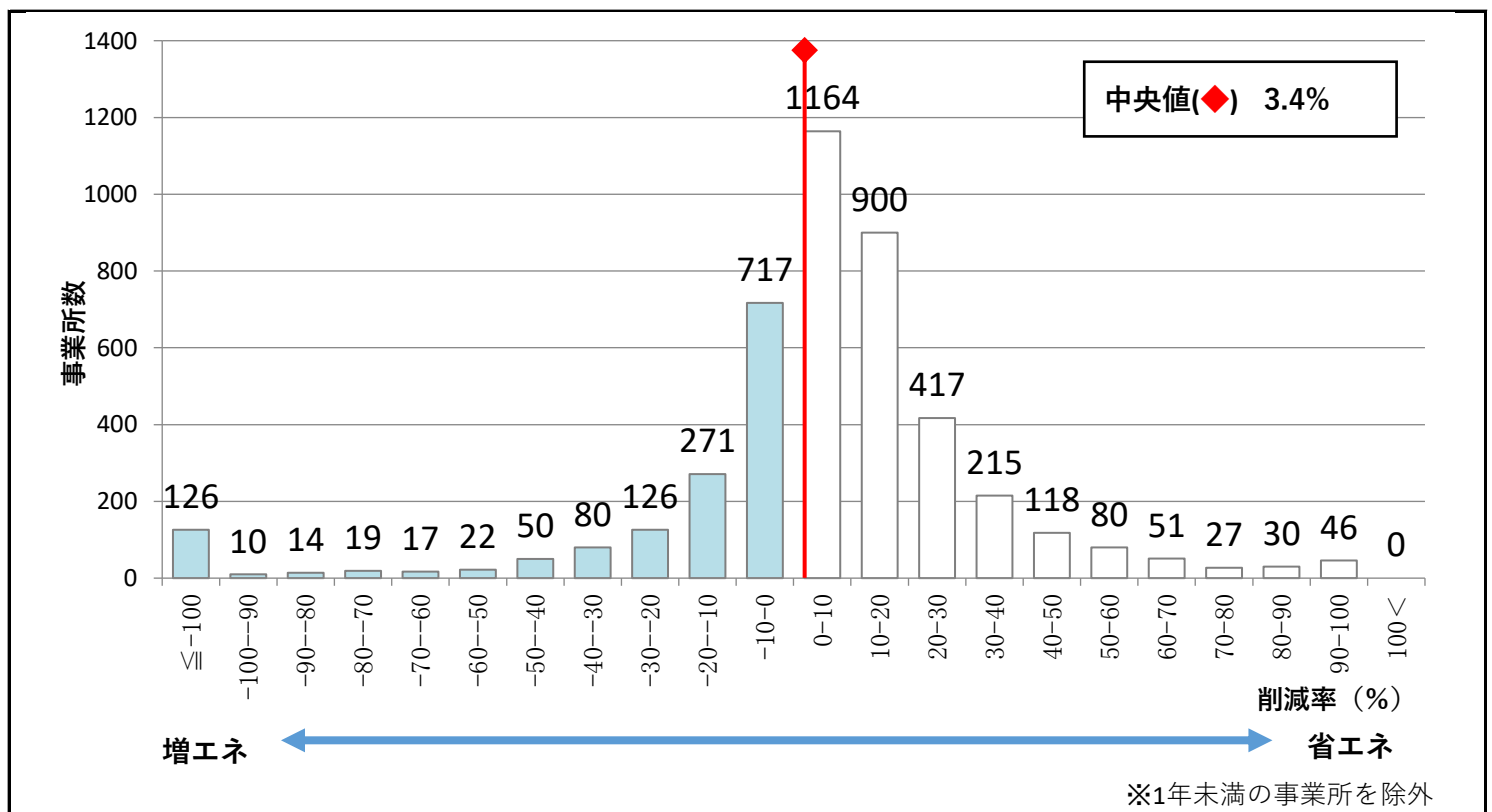
卓球など空調の airflow を嫌う種目を扱う施設では airflow を生じさせない輻射を利用した空調システムも増えているため検討をお勧めします。必要な照度も協議により異なるため、照度の切り替えが可能な調光式の照明器具がおすすめです。プールの循環ろ過ポンプの稼働も、閑散時や夜間など汚れの発生が少ない時間帯は、循環水量をインバータで削減する事も考えましょう。感染防止対策も重要です。CO2センサーを活用して、効率的な換気の確保に努めましょう。1000ppm未満が目安です。

事業所の用途区分	提出事業所数	集計対象の事業所数	<集計対象の説明> ・R4年度実績分を提出した事業所 ・日本標準産業分類「8211 公民館」「9511 集会場」 ・報告範囲の主たる用途「その他」
公民館・集会所	240	237	

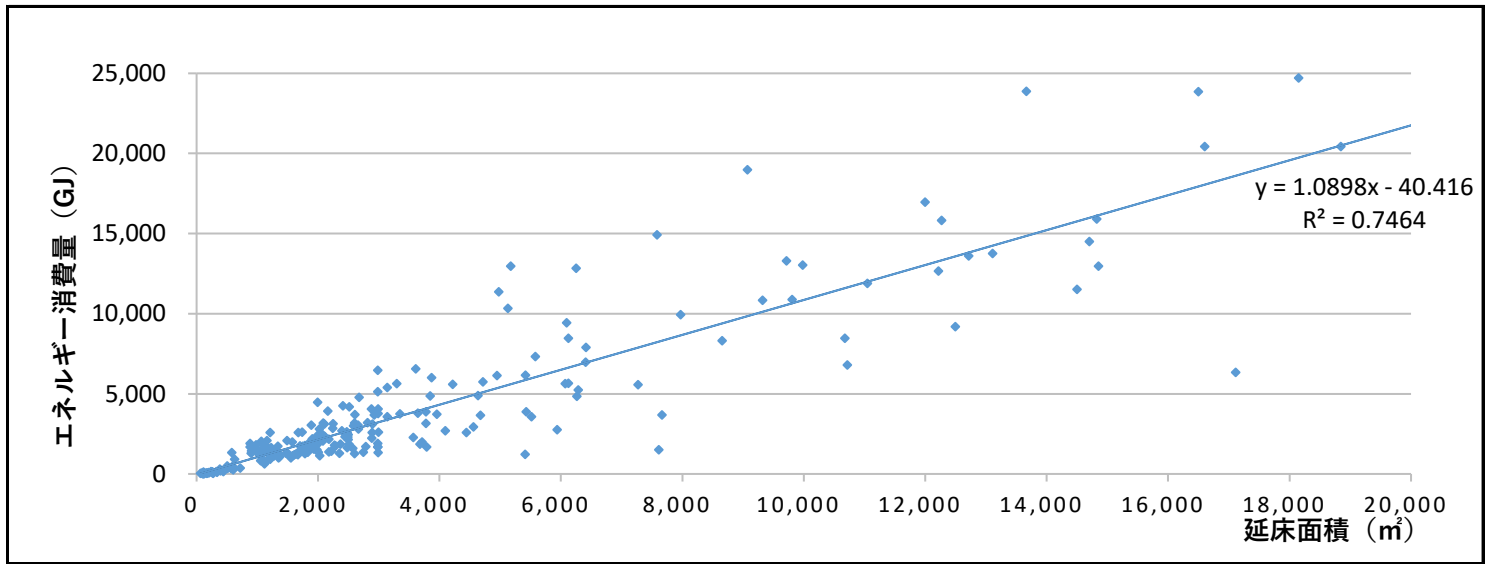
1 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量(実績年度)の合計の推移(事業所数:213)



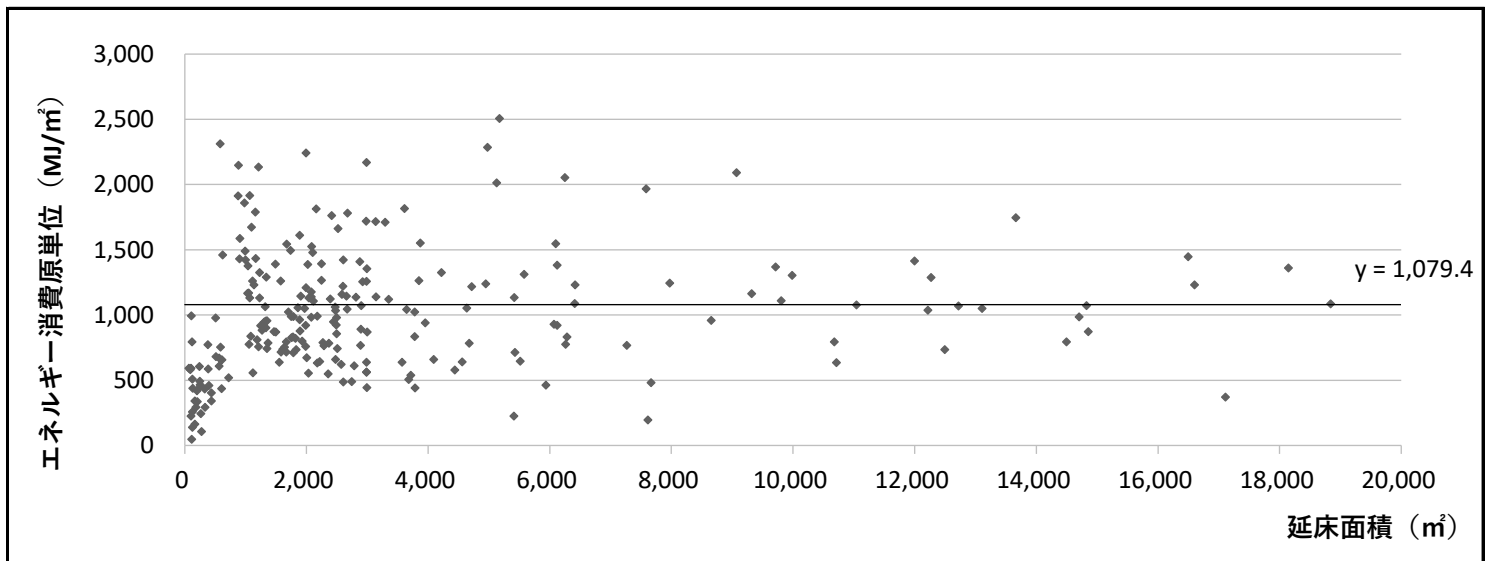
2 5年連続提出事業所の年間エネルギー消費量の削減率(H30とR4比較)の分布(事業所数:211)



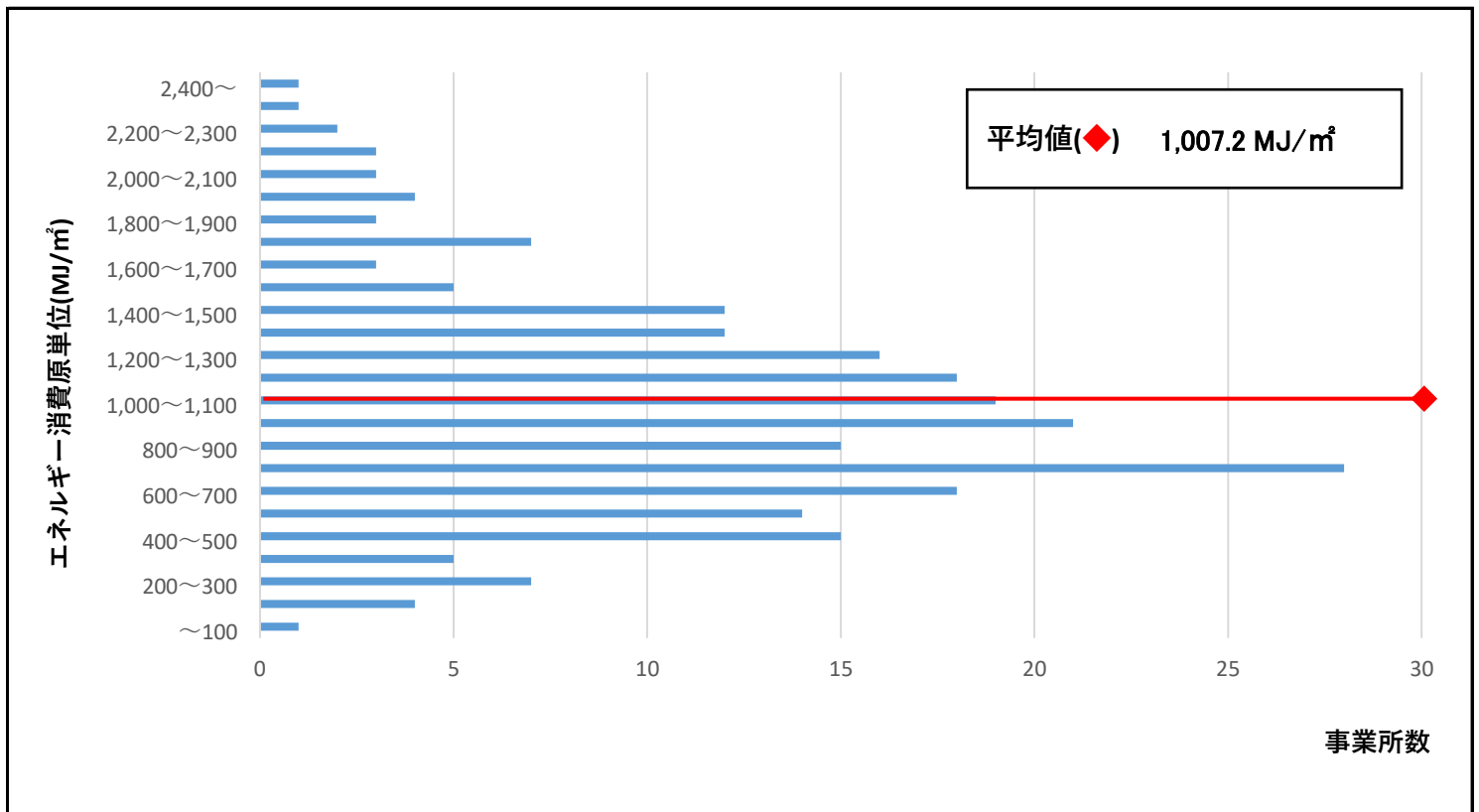
3 各事業所の年間エネルギー消費量と延床面積の分布



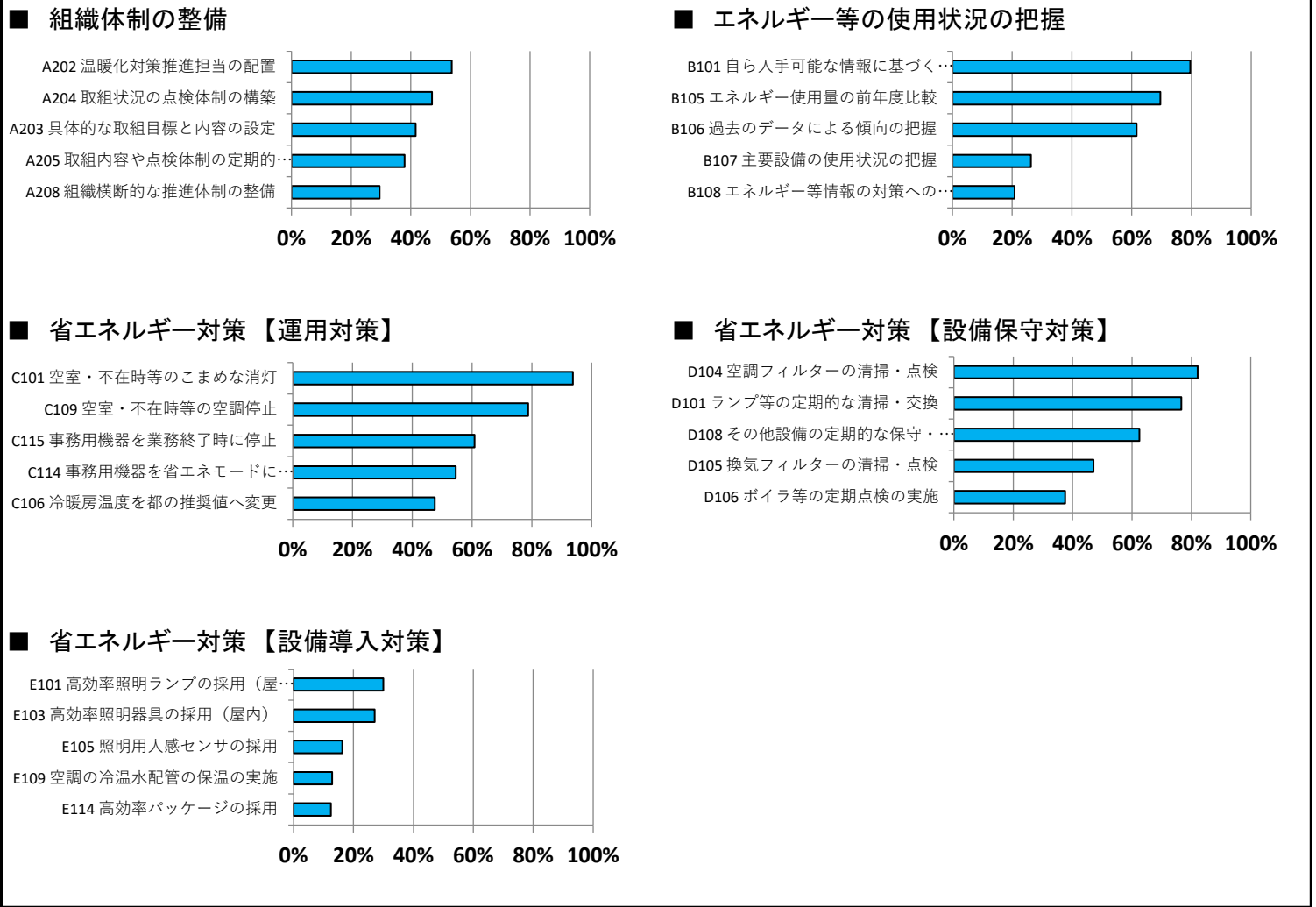
4 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量と延床面積の分布



5 各事業所の1㎡あたりの年間エネルギー消費量の分布

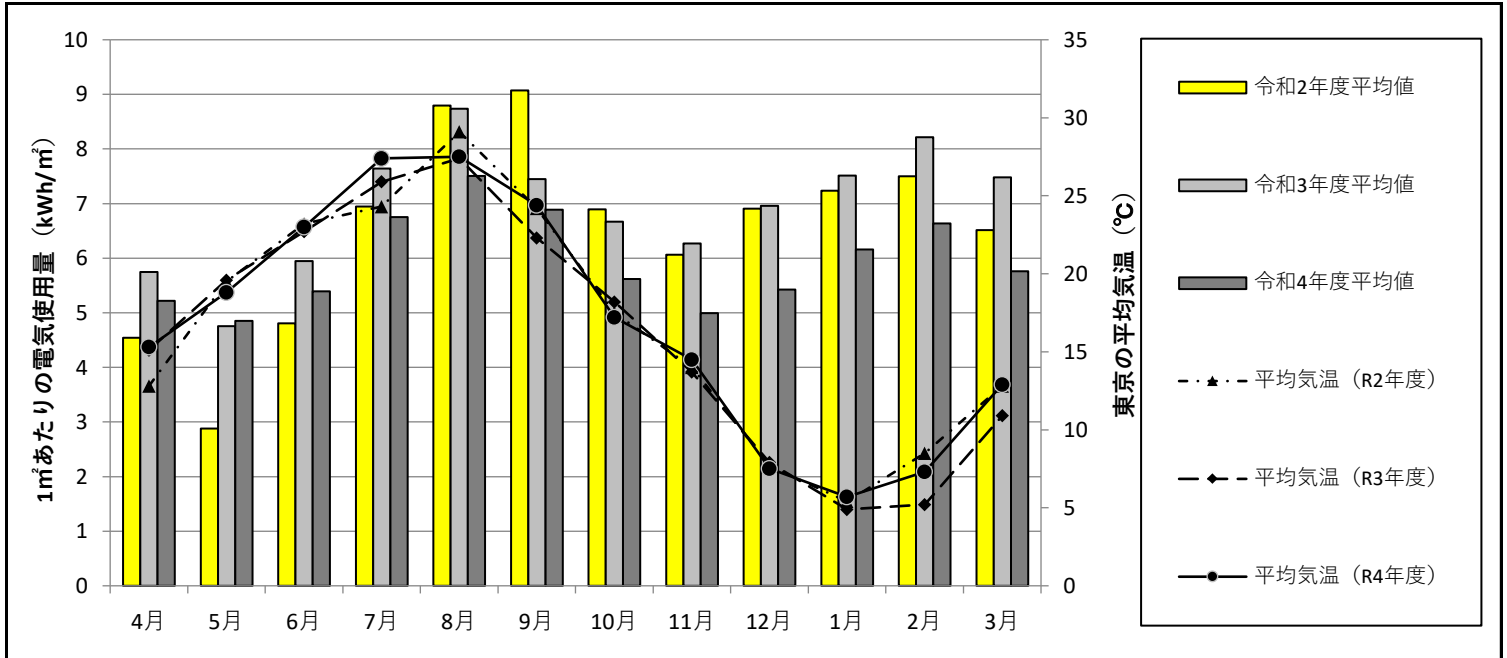


6 事業所の温暖化対策の実施状況(対策メニューの採用率)



7 1㎡あたりの月間電気使用量の平均値と東京都の平均気温月別推移

※月別使用量の報告事業所に限定して集計



不特定多数の都民が不定期に訪れるため、使用されていない部屋が多くあります。不要箇所の消灯・エアコン停止等をこまめに実施しましょう。また長い廊下やトイレ・非常階段等の照明は人感センサーの活用が効果的です。感染防止対策も重要になりますのでCO2センサーを活用するなどして、効率的な換気の確保に努めましょう。
【効果の試算】86Wの照明機器を6台設置している廊下の照明の点灯時間をセンサーによって約40%減らした場合、年間10,402円、212kg-CO2の削減になり、そのコストは36,400円になります。(報告書作成ハンドブック(メニュー編)の個表番号148参照)